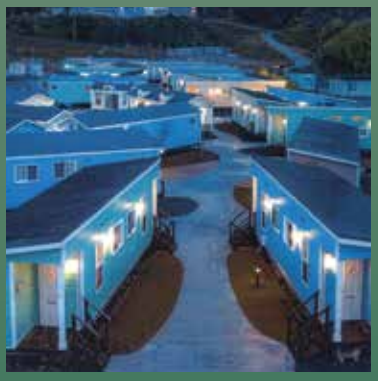
はばたく
300社
経済産業省
中小企業庁

はばたく2020

中小企業・小規模事業者300社

経済産業省 中小企業庁　編



はばたく
中小企業・小規模事業者300社
P1

事業者一覧表(索引)
P355

お問合せ先
P365

はばたく2020
中小企業・小規模事業者300社

刊行に寄せて

令和2年に入ってから、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、世界各国で厳しく経済活動が制限される中、日本においても、製造サプライチェーンの寸断、輸出低迷など前例のない事態が生じました。中小企業・小規模事業者の皆様は、経験したことがないほど、厳しい経営環境に直面しています。また、人口減少、少子高齢化などの構造的な課題も、引き続き企業に大きな影響を与えております。

経済産業省では、こうした状況の下でも、企業が、持続的かつ安定的な成長を実現できるよう、新製品・新サービスの開発、IT導入による業務効率化、販路開拓、下請取引の改善、円滑な世代交代、多様で柔軟な働き方の促進などに全力で取り組んでいきます。

本年のはばたく中小企業・小規模事業者300社では、こうした課題を念頭に「生産性向上」、「需要獲得」、「担い手確保」の3つの分野を軸にしつつ、事業承継、働き方改革、IT利活用などに取り組み、将来の飛躍が期待できる企業を選定させていただきました。

本事例集には、様々な分野で、先進的な取組にチャレンジし、成功されている中小企業・小規模事業者の皆様の「知恵」と「成果」を掲載しております。できるだけ多くの中小企業・小規模事業者の皆様が、これらの取組をヒントに前向きなチャレンジを始めていただき、更なる成長が実現されることを心から祈念いたします。

令和2年11月
経済産業大臣 梶山 弘志

はばたく
中小企業・小規模事業者

本書は、ITサービス導入や経営資源の有効活用等による生産性向上、積極的な海外展開やインバウンド需要の取り込み、多様な人材活用や円滑な事業承継など、様々な分野で活躍している中小企業・小規模事業者を『はばたく中小企業・小規模事業者300社』として選定し、取りまとめたものである。

収録させていただいた事例は、日本商工会議所、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会、全国信用金庫協会、全国信用組合中央協会、日本政策金融公庫、商工組合中央金庫、中小企業基盤整備機構、日本貿易振興機構、産業技術総合研究所、国際協力機構、国際協力銀行及び在外大使館・領事館等のご協力を得て、経済産業局のネットワークも活用して全国から収集した中から、沼上幹委員（一橋大学副学長・理事）を中心とする外部有識者による厳正な審査を経て、選定されたものである。

今回選定された300の事業者の取組事例の情報発信を通じて、さらに多くの中小企業・小規模事業者において、革新的な製品開発・サービス創造や国際競争力の強化への取組が加速されることを期待している。

なお、本冊子の内容については2020年11月現在の掲載企業からの情報を基に作成、編集している。

はばたく2020

中小企業・小規模事業者300社

目次

生産性向上

P17

需要獲得

P147

担い手確保

P309

分野について

生産性向上

高齢化、人手不足などの課題をITサービス導入や経営資源の有効活用等により、解決したり、生産性向上に資する取組を行っている中小企業・小規模事業者。
我が国のイノベーションを支える取組を行っている中小企業・小規模事業者。

需要獲得

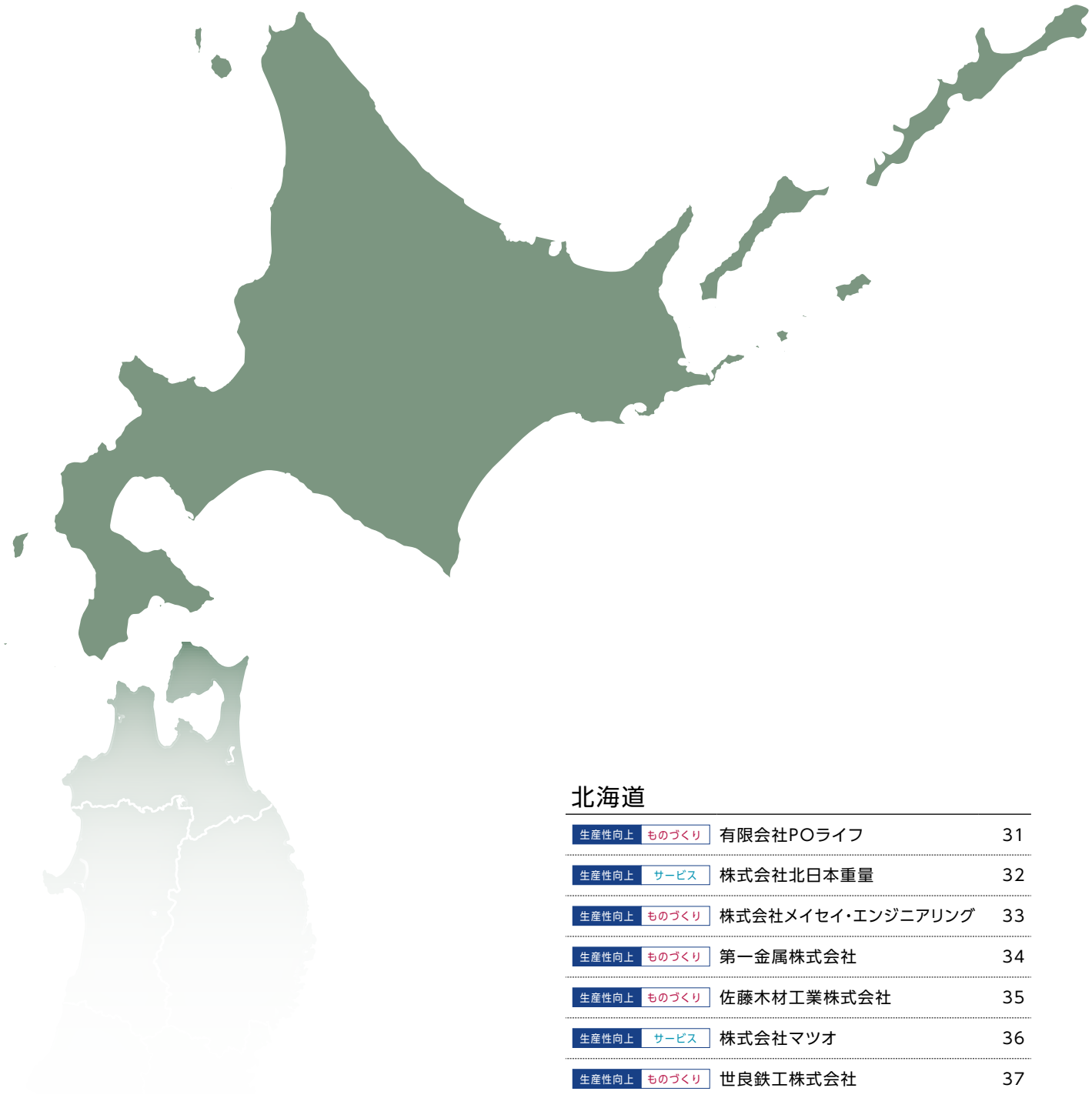
海外展開を通じて、国内の産業基盤の発展に積極的に取り組んでいる企業、地域資源を活かし、インバウンド需要の取込み等、地域経済の活性化に貢献する中小企業・小規模事業者。他事業との連係により新たな分野での需要を獲得した中小企業・小規模事業者。

担い手確保

若者・女性・シニア等の多様な人材を工夫をこらした働き方等で活用する中小企業・小規模事業者。。卓越した技能の維持・発展に取り組んでいる企業、円滑な事業承継・引継ぎ・創業を行う中小企業・小規模事業者。

北海道

生産性向上 ものづくり　生産性向上 サービス　需要獲得 ものづくり　需要獲得 サービス　担い手確保 ものづくり　担い手確保 サービス



北海道

生産性向上 ものづくり	有限会社POライフ	31
生産性向上 サービス	株式会社北日本重量	32
生産性向上 ものづくり	株式会社メイセイ・エンジニアリング	33
生産性向上 ものづくり	第一金属株式会社	34
生産性向上 ものづくり	佐藤木材工業株式会社	35
生産性向上 サービス	株式会社マツオ	36
生産性向上 ものづくり	世良鉄工株式会社	37
生産性向上 ものづくり	エノ産業株式会社	38
需要獲得 サービス	株式会社レアックス	163
需要獲得 ものづくり	株式会社だるま食品本舗	164
需要獲得 ものづくり	株式会社イワクラ	165
需要獲得 ものづくり	マルカイチ水産株式会社	166
担い手確保 ものづくり	太平電気株式会社	315

東北

生産性向上 ものづくり　生産性向上 サービス　需要獲得 ものづくり　需要獲得 サービス　担い手確保 ものづくり　担い手確保 サービス

青森県

生産性向上 サービス	サンライズ産業株式会社	39
需要獲得 ものづくり	株式会社たから	167

岩手県

生産性向上 サービス	株式会社栄組	40
需要獲得 サービス	株式会社ナレロー	168
需要獲得 ものづくり	タヤマスタジオ株式会社	169
需要獲得 サービス	久慈琥珀株式会社	170
需要獲得 ものづくり	小野食品株式会社	171

宮城県

生産性向上 ものづくり	合名会社寒梅酒造	41
需要獲得 サービス	株式会社サイコー	172
需要獲得 ものづくり	株式会社カネダイ	173
需要獲得 サービス	有限会社千田清掃	174
需要獲得 ものづくり	キョーユー株式会社	175

秋田県

需要獲得 ものづくり	北日本コンピューターサービス株式会社	176
需要獲得 ものづくり	株式会社斉藤光学製作所	177

山形県

生産性向上 ものづくり	株式会社岡村工機	42
需要獲得 ものづくり	株式会社庄内クリエート工業	178
担い手確保 サービス	合同会社とびしま	316

福島県

生産性向上 ものづくり	合名会社大木代吉本店	43
需要獲得 ものづくり	株式会社コスモテック	179
担い手確保 サービス	株式会社しらた	317

関東-01

茨城県

生産性向上 ものづくり	株式会社ティー・エム・ピー	44
生産性向上 ものづくり	株式会社エム・ディー精密	45
生産性向上 サービス	ペンギンシステム株式会社	46
生産性向上 ものづくり	株式会社せき	47
生産性向上 ものづくり	株式会社宏機製作所	48
生産性向上 ものづくり	メークス株式会社	49
需要獲得 サービス	株式会社JEMS(JEMS Inc.)	180
需要獲得 ものづくり	株式会社武井工業所	181
需要獲得 ものづくり	農事組合法人宮崎協業	182

栃木県

生産性向上 ものづくり	株式会社丸山製作所	50
需要獲得 ものづくり	丸彦製菓株式会社	183
需要獲得 ものづくり	株式会社アイ電子工業	184

群馬県

生産性向上 ものづくり	株式会社ペリテック	51
生産性向上 ものづくり	株式会社正田製作所	52
生産性向上 ものづくり	鈴木工業株式会社	53
生産性向上 ものづくり	株式会社タイヨー	54
生産性向上 ものづくり	株式会社タツミ製作所	55

埼玉県

生産性向上 ものづくり	有限会社天ケ瀬工業	56
需要獲得 ものづくり	ストラシステム株式会社	185
需要獲得 サービス	笛木醤油株式会社	186

生産性向上 ものづくり　生産性向上 サービス　需要獲得 ものづくり　需要獲得 サービス　担い手確保 ものづくり　担い手確保 サービス

千葉県

生産性向上 サービス	ナチュラルクリーン株式会社	57
需要獲得 ものづくり	松本ESテック株式会社	187
需要獲得 ものづくり	株式会社パール技研	188
需要獲得 サービス	株式会社小出ロール鐵工所	189
需要獲得 ものづくり	岡本硝子株式会社	190
需要獲得 ものづくり	ツルヤマテクノス株式会社	191
担い手確保 ものづくり	島崎熱処理株式会社	318

東京都

生産性向上 サービス	株式会社ヒット	58
生産性向上 ものづくり	株式会社リディアワークス	59
生産性向上 サービス	株式会社アオアクア	60
生産性向上 ものづくり	岡田鈑金株式会社	61
生産性向上 ものづくり	ジー・オー・ピー株式会社	62
生産性向上 ものづくり	エスエスビジネスフォーム株式会社	63
生産性向上 ものづくり	株式会社シラヤマ	64
生産性向上 ものづくり	株式会社サーテック	65
生産性向上 ものづくり	株式会社マキノ	66
生産性向上 ものづくり	株式会社イチカワ	67
需要獲得 サービス	株式会社メリータイムフーズ	192
需要獲得 ものづくり	松山油脂株式会社	193
需要獲得 ものづくり	山口産業株式会社	194
需要獲得 ものづくり	株式会社隅田屋商店	195
需要獲得 ものづくり	株式会社トップウォーターシステムズ	196
需要獲得 ものづくり	東工・バレックス株式会社	197
需要獲得 ものづくり	株式会社三真	198
需要獲得 サービス	福永紙工株式会社	199
需要獲得 サービス	株式会社キープ・ウィルダイニング	200
担い手確保 サービス	宇都宮工業株式会社	319
担い手確保 ものづくり	株式会社田中電気研究所	320

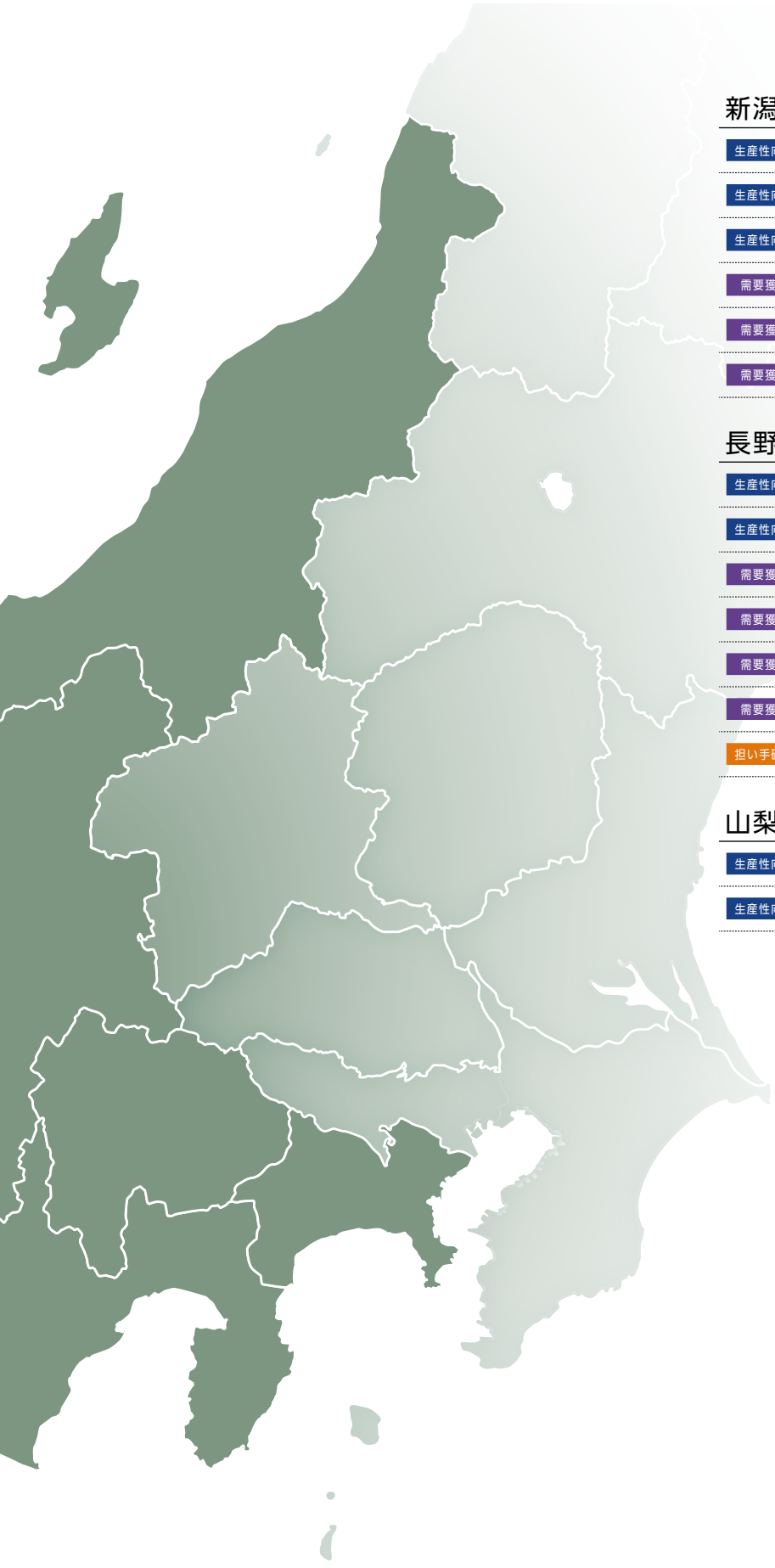
神奈川県

生産性向上 ものづくり	京浜精密工業株式会社	68
生産性向上 ものづくり	株式会社アピック	69
生産性向上 ものづくり	斎藤樹脂工業株式会社	70
需要獲得 サービス	TANOTECH株式会社	201
需要獲得 ものづくり	熊沢酒造株式会社	202
需要獲得 ものづくり	株式会社東横エルメス	203
担い手確保 ものづくり	株式会社大協製作所	321

静岡県

生産性向上 ものづくり	先生精機株式会社	87
生産性向上 サービス	ごはん屋さくら	88
生産性向上 ものづくり	株式会社静岡鐵工所	89
生産性向上 ものづくり	東洋レヂン株式会社	90
生産性向上 サービス	株式会社ヤナギハラメカックス	91
需要獲得 サービス	株式会社元気広場	224
需要獲得 ものづくり	平金産業株式会社	225
需要獲得 ものづくり	静パック有限会社	226
需要獲得 ものづくり	東亜工業株式会社	227
需要獲得 ものづくり	丸善工業株式会社	228
需要獲得 サービス	杉山フルーツ	229
需要獲得 ものづくり	株式会社沖友	230
需要獲得 ものづくり	株式会社流通サービス	231
担い手確保 ものづくり	株式会社オノックスエムティーティー	326
担い手確保 ものづくり	サンコー精産株式会社	327

生産性向上 ものづくり　生産性向上 サービス　需要獲得 ものづくり　需要獲得 サービス　担い手確保 ものづくり　担い手確保 サービス



新潟県

生産性向上 ものづくり	株式会社川崎合成樹脂	71
生産性向上 ものづくり	コネクテックジャパン株式会社	72
生産性向上 ものづくり	ウエノテックス株式会社	73
需要獲得 ものづくり	株式会社青海製作所	204
需要獲得 ものづくり	有限会社TGテクニカ	205
需要獲得 ものづくり	株式会社室岡林業	206

長野県

生産性向上 ものづくり	岡谷熱処理工業株式会社	81
生産性向上 ものづくり	株式会社協和精工	82
需要獲得 サービス	株式会社カンバーランドジャパン	216
需要獲得 ものづくり	株式会社信栄食品	217
需要獲得 ものづくり	株式会社日邦バルブ	218
需要獲得 サービス	白馬観光開発株式会社	219
担い手確保 ものづくり	株式会社シュタール	323

山梨県

生産性向上 サービス	株式会社イチムラボディーショップ	79
生産性向上 サービス	株式会社タスクマスター	80

愛知県

生産性向上 サービス	株式会社エスクリエイト	92
生産性向上 ものづくり	株式会社イワタツール	93
生産性向上 サービス	株式会社ワンデックス	94
生産性向上 ものづくり	アドバンス電気工業株式会社	95
生産性向上 ものづくり	矢留工業株式会社	96
生産性向上 サービス	毎味水産株式会社	97
生産性向上 サービス	アルメック株式会社	98
生産性向上 ものづくり	阪部工業株式会社	99
生産性向上 ものづくり	株式会社西浦化学	100
生産性向上 ものづくり	伊藤工業株式会社	101
生産性向上 ものづくり	カネヤ製綱株式会社	102
生産性向上 ものづくり	朝日理化株式会社	103
生産性向上 ものづくり	安田塗装工業株式会社	104
生産性向上 ものづくり	三幸理研工業株式会社	105
生産性向上 ものづくり	株式会社ウチダ製作所	106
生産性向上 ものづくり	株式会社鈴木化学工業所	107
需要獲得 サービス	株式会社ハナノキ	232
需要獲得 ものづくり	株式会社エストレージ	233
需要獲得 ものづくり	豊岡エンジニアリング株式会社	234
需要獲得 ものづくり	株式会社白惣	235
需要獲得 ものづくり	石川鋳造株式会社	236
需要獲得 サービス	大野精工株式会社	237
担い手確保 ものづくり	株式会社丸八テント商会	328
担い手確保 サービス	アルデックス株式会社	329
担い手確保 サービス	トーエイ株式会社	330

中部

生産性向上 ものづくり　生産性向上 サービス　需要獲得 ものづくり　需要獲得 サービス　担い手確保 ものづくり　担い手確保 サービス

岐阜県

生産性向上 サービス	株式会社リーピー	83
生産性向上 ものづくり	三星刃物株式会社	84
生産性向上 ものづくり	トマト工業株式会社	85
生産性向上 ものづくり	株式会社ライン精工	86
需要獲得 サービス	合同会社おひさま	220
需要獲得 サービス	セントパーツ株式会社	221
需要獲得 ものづくり	小町酒造株式会社	222
需要獲得 ものづくり	株式会社ひでぴょん	223
担い手確保 サービス	株式会社ドングルズ	324
担い手確保 サービス	株式会社本陣平野屋	325

三重県

生産性向上 ものづくり	三恵工業株式会社	108
生産性向上 ものづくり	河田フェザー株式会社	109
需要獲得 ものづくり	三重化学工業株式会社	238
需要獲得 ものづくり	株式会社佐藤製作所	239
担い手確保 ものづくり	サンユー技研工業株式会社	331

富山県

生産性向上 ものづくり	ハリタ金属株式会社	74
生産性向上 ものづくり	立山化成株式会社	75
需要獲得 サービス	日の出屋製菓産業株式会社	207

石川県

生産性向上 ものづくり	株式会社小林製作所	76
生産性向上 ものづくり	共和産業株式会社	77
生産性向上 ものづくり	株式会社ポーラスター	78
需要獲得 ものづくり	株式会社白山	208
需要獲得 ものづくり	北陸製菓株式会社	209
需要獲得 ものづくり	株式会社北菱	210
需要獲得 ものづくり	メカトロ・アソシエーツ株式会社	211
需要獲得 ものづくり	タカノクリエイト株式会社	212

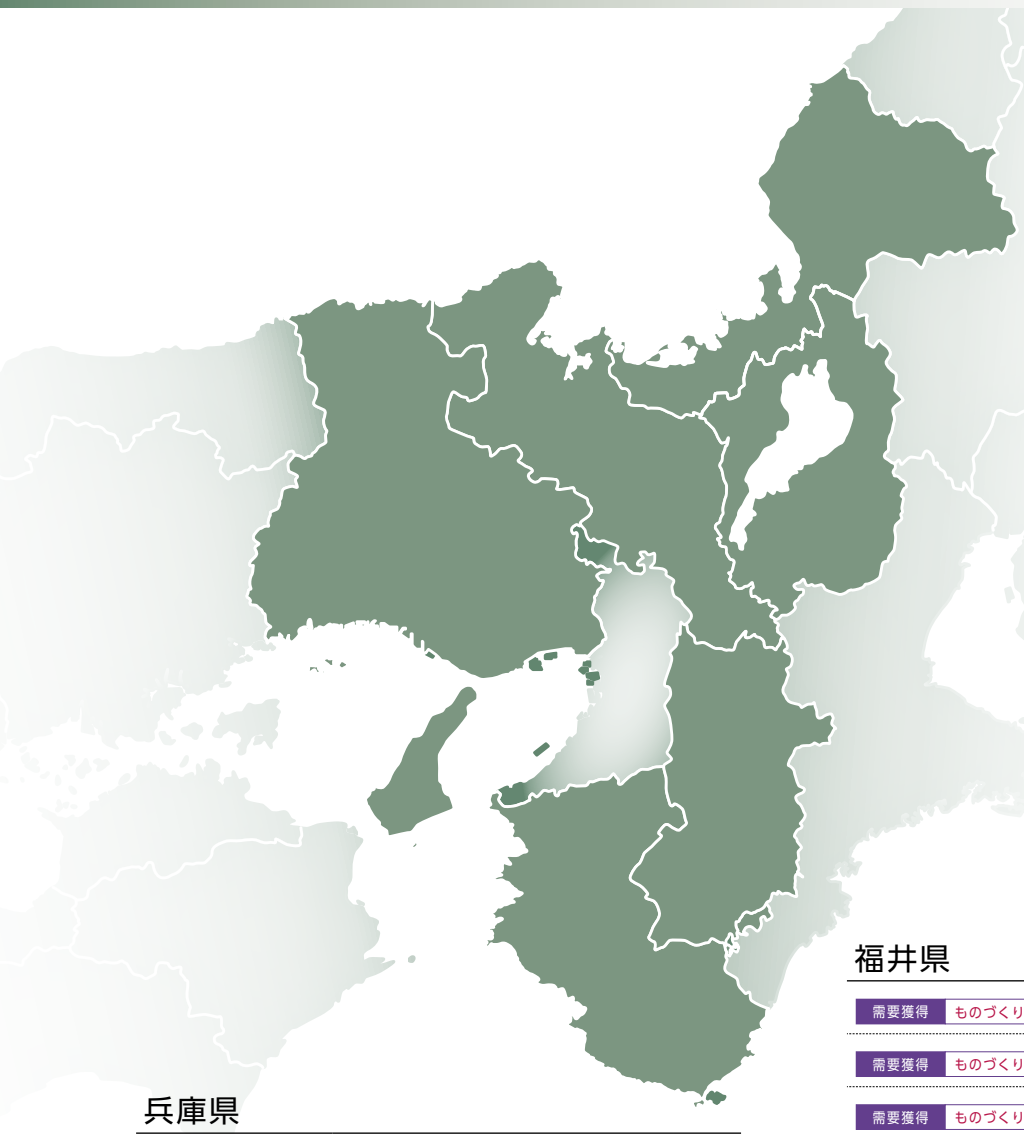
生産性向上 ものづくり　生産性向上 サービス　需要獲得 ものづくり　需要獲得 サービス　担い手確保 ものづくり　担い手確保 サービス

大阪府

生産性向上 サービス	株式会社スーパー・コート	110
生産性向上 サービス	株式会社テクリコ	111
生産性向上 ものづくり	株式会社ウチダ	112
生産性向上 ものづくり	株式会社ナイキ	113
需要獲得 サービス	能勢鋼材株式会社	247
需要獲得 サービス	株式会社フクナガエンジニアリング	248
需要獲得 サービス	株式会社天彦産業	249
需要獲得 サービス	株式会社なにわ花いちば	250
需要獲得 ものづくり	株式会社ラミーコーポレーション	251
需要獲得 ものづくり	平安伸銅工業株式会社	252
需要獲得 ものづくり	松浪硝子工業株式会社	253
需要獲得 ものづくり	藤田金属株式会社	254
需要獲得 ものづくり	ヤマトエスロン株式会社	255
需要獲得 ものづくり	Jトップ株式会社	256
需要獲得 ものづくり	株式会社スタッフ	257
需要獲得 ものづくり	下西技研工業株式会社	258
担い手確保 ものづくり	安田金属工業株式会社	334
担い手確保 サービス	株式会社ナカニ	335
担い手確保 ものづくり	株式会社三栄金属製作所	336
担い手確保 ものづくり	大阪錫器株式会社	337
担い手確保 ものづくり	株式会社廣野鐵工所	338
担い手確保 サービス	大阪糖菓株式会社	339
担い手確保 ものづくり	株式会社アクアテック	340
担い手確保 ものづくり	株式会社CHAMPION CORPORATION	341

近畿

生産性向上 ものづくり　生産性向上 サービス　需要獲得 ものづくり　需要獲得 サービス　担い手確保 ものづくり　担い手確保 サービス



兵庫県

生産性向上 ものづくり	株式会社神戸酒心館	114
生産性向上 ものづくり	株式会社宝角合金製作所	115
生産性向上 サービス	株式会社銀波荘	116
生産性向上 ものづくり	甲南設計工業株式会社	117
生産性向上 ものづくり	龍野コルク工業株式会社	118
需要獲得 ものづくり	阪神機器株式会社	259
需要獲得 サービス	まねき食品株式会社	260
需要獲得 ものづくり	皇漢堂製薬株式会社	261
需要獲得 ものづくり	株式会社ミヤナガ	262
需要獲得 ものづくり	株式会社協和製作所	263
需要獲得 サービス	大徳醤油株式会社	264
需要獲得 ものづくり	株式会社ケーピープラテック	265
需要獲得 ものづくり	株式会社ごとう製革所	266
需要獲得 ものづくり	株式会社亀山鋳造所	267

和歌山県

需要獲得 サービス	和歌山マリーナシティ株式会社	268

福井県

需要獲得 ものづくり	福井経編興業株式会社	213
需要獲得 ものづくり	有限会社北陸ベンディング	214
需要獲得 ものづくり	株式会社NCC	215
担い手確保 サービス	株式会社タッセイ	322

滋賀県

需要獲得 サービス	株式会社パンテック	240
需要獲得 ものづくり	株式会社三鈴	241
需要獲得 サービス	株式会社木の家専門店谷口工務店	242
需要獲得 ものづくり	長谷金属株式会社	243

京都府

需要獲得 サービス	株式会社寺子屋	244
需要獲得 ものづくり	株式会社ナールスコーポレーション	245
需要獲得 ものづくり	株式会社クロスエフェクト	246
担い手確保 サービス	株式会社フューチャースピリッツ	332
担い手確保 サービス	株式会社特殊高所技術	333

奈良県

生産性向上 サービス	株式会社ハンナ	119
生産性向上 ものづくり	大和化学工業株式会社	120

中国

生産性向上 ものづくり　生産性向上 サービス　需要獲得 ものづくり　需要獲得 サービス　担い手確保 ものづくり　担い手確保 サービス

広島県

生産性向上 サービス	株式会社内海機械	122
生産性向上 サービス	株式会社トーエイ	123
需要獲得 ものづくり	オタフクソース株式会社	275
需要獲得 サービス	合同会社よーそろ	276
需要獲得 ものづくり	テラル株式会社	277

鳥取県

需要獲得 ものづくり	株式会社アサヒメッキ	269
需要獲得 サービス	山陰松島遊覧 株式会社	270
担い手確保 サービス	株式会社アクシス	342
担い手確保 サービス	株式会社LASSIC	343

島根県

需要獲得 サービス	浅利観光株式会社	271

岡山県

生産性向上 ものづくり	小橋工業株式会社	121
需要獲得 ものづくり	株式会社三幸工務店	272
需要獲得 サービス	有限会社楓	273
需要獲得 ものづくり	株式会社タック	274
担い手確保 サービス	株式会社WORK SMILE LABO	344

生産性向上 ものづくり　生産性向上 サービス　需要獲得 ものづくり　需要獲得 サービス　担い手確保 ものづくり　担い手確保 サービス

愛媛県

需要獲得 ものづくり	株式会社愛亀	281
需要獲得 ものづくり	株式会社アテックス	282

高知県

生産性向上 ものづくり	菱高精機株式会社	127

香川県

生産性向上 ものづくり	サヌキ畜産フーズ株式会社	125
生産性向上 ものづくり	福寿産業株式会社	126
需要獲得 ものづくり	株式会社サンテック	280
担い手確保 ものづくり	仁尾興産株式会社	345

徳島県

生産性向上 サービス	イツモスマイル株式会社	124
需要獲得 ものづくり	北島酸素株式会社	278
需要獲得 ものづくり	有限会社うずしお食品	279

九州・沖縄

福岡県

生産性向上 サービス	株式会社Windy	128
生産性向上 ものづくり	ムライケミカルパック株式会社	129
生産性向上 ものづくり	九州木材工業株式会社	130
生産性向上 ものづくり	龍宮株式会社	131
生産性向上 ものづくり	株式会社中島ターレット	132
生産性向上 ものづくり	株式会社タケシタ	133
需要獲得 サービス	株式会社辻利茶舗	283
需要獲得 サービス	グリーンリバーホールディングス株式会社	284
需要獲得 ものづくり	エコステージエンジニアリング株式会社	285
需要獲得 ものづくり	株式会社東和コーポレーション	286
需要獲得 ものづくり	株式会社シマブン	287
需要獲得 ものづくり	アイテックシステム株式会社	288
需要獲得 ものづくり	大国段ボール工業株式会社	289
需要獲得 ものづくり	株式会社オークマ	290
需要獲得 サービス	有限会社ラピュタファーム	291
担い手確保 サービス	株式会社NOTE	346
担い手確保 ものづくり	ベルテクネ株式会社	347

佐賀県

生産性向上 ものづくり	日興食品株式会社	134
生産性向上 ものづくり	株式会社唐津プレシジョン	135
生産性向上 ものづくり	株式会社東馬	136
需要獲得 ものづくり	株式会社グリーンテクノ21	292
需要獲得 サービス	合資会社光武酒造場	293

長崎県

生産性向上 ものづくり	有田工業株式会社	137
生産性向上 ものづくり	株式会社ピーエヌ機電	138
需要獲得 ものづくり	長工醤油味噌協同組合	294
需要獲得 ものづくり	株式会社マテックス	295

熊本県

生産性向上 サービス	株式会社共同	139
需要獲得 ものづくり	株式会社フンドーダイ五葉	296
需要獲得 ものづくり	新栄合板工業株式会社	297
需要獲得 サービス	株式会社オオヤブデイリーファーム	298
需要獲得 サービス	通潤酒造株式会社	299
担い手確保 サービス	立尾電設株式会社	348
担い手確保 サービス	株式会社熊本アイディーエム	349
担い手確保 サービス	株式会社お茶の富澤。	350

生産性向上 ものづくり　生産性向上 サービス　需要獲得 ものづくり　需要獲得 サービス　担い手確保 ものづくり　担い手確保 サービス

大分県

生産性向上 サービス	株式会社大分ベニヤ商会	140
生産性向上 サービス	日本フォレスト株式会社	141
需要獲得 サービス	有限会社山城屋	300

宮崎県

生産性向上 ものづくり	株式会社キサヌキ	142
生産性向上 ものづくり	株式会社高嶺木材	143
需要獲得 ものづくり	ジャパンキャビア株式会社	301
担い手確保 サービス	株式会社岡崎組	351

鹿児島県

生産性向上 ものづくり	協業組合ユニカラー	144
需要獲得 サービス	株式会社西原商会	302
需要獲得 ものづくり	坂元醸造株式会社	303
需要獲得 ものづくり	株式会社オキス	304
需要獲得 ものづくり	町田酒造株式会社	305
担い手確保 サービス	村商株式会社	352

沖縄県

生産性向上 ものづくり	タイガー産業株式会社	145
需要獲得 サービス	株式会社セルリアンブルー	306
需要獲得 サービス	大髙商事株式会社	307
需要獲得 ものづくり	株式会社ファッションキャンディ	308
担い手確保 サービス	有限会社海邦ベンダー工業	353

生産性向上

P17 - 145

はばたく2020
中小企業・小規模事業者300社

北海道

ものづくり
有限会社POライフ
最新技術の導入で生産性向上を達成
技術開発に集中し品質向上を実現
31

サービス
株式会社北日本重量
危険度の高い重量物移動作業を改革
独自の装置開発で創業以来事故0を達成
32

ものづくり
株式会社メイセイ・エンジニアリング
高度技術の導入で社会資本の維持に貢献
資格取得の奨励で技術力を担保
33

ものづくり
第一金属株式会社
主力機械や管理システムを独自開発
ムダを極限まで減らし生産性向上を実現
34

ものづくり
佐藤木材工業株式会社
積極的な機械導入で林業現場を意識改革
中心的な存在として地域林業を活性化
35

サービス
株式会社マツオ
積極的なリブランディングを実施
首都圏進出で新規需要を開拓
36

ものづくり
世良鉄工株式会社
設備の高度化による継続的な生産性向上
社員の技能習得による定着率向上
37

ものづくり
エノ産業株式会社
高付加価値の提供により、国内シェアNo.1
業務効率化と定年廃止による人手不足解消
38

青森県

サービス
サンライズ産業株式会社
青森県内トップクラスの運送業者
後継者不在の異業種とのM&Aで地域の雇用を確保
39

岩手県

サービス
株式会社栄組
独自開発技術を強みとした補修補強事業
最新技術の導入による継続的な生産性向上
40

生産性向上

宮城県	ものづくり	**合名会社寒梅酒造** 蔵元5代目の若手経営者による地域密着経営 最新IoT機器を積極導入した酒造り	41
山形県	ものづくり	**株式会社岡村工機** 米沢のけん引役として地域・業界をリード 積極的な設備投資と多様な人材の活用	42
福島県	ものづくり	**合名会社大木代吉本店** 伝統の日本酒プランドをリニューアル 醸造方法を見直しニーズに即した商品開発	43
茨城県	ものづくり	**株式会社ティー・エム・ピー** 下請けは一切やらない生産設備の製造事業 課題解決力を持つマルチプレイヤーを育成	44
	ものづくり	**株式会社エム・ディー精密** 最先端設備の積極的な導入で差別化 社内研究会で社員のチャレンジ精神を醸成	45
	サービス	**ペンギンシステム株式会社** 自社製フレームワークで生産性向上 IT企業では稀な働きやすい環境	46
	ものづくり	**株式会社せき** 市場ニーズを読み新商品を開発 専門性に富んだ人材の積極的な活用	47
	ものづくり	**株式会社宏機製作所** 三次元形状樹脂部品に加飾する新技術 定年を70歳に延長し人材活用	48
	ものづくり	**メークス株式会社** 短納期・高品質のユニット式基礎鉄筋の 開発・製造・販売で、住宅建築業界に貢献	49
栃木県	ものづくり	**株式会社丸山製作所** 長年の技術・経験で、処理が困難とされる 有機性廃棄物の処理装置を開発・製造	50

群馬県

ものづくり

株式会社ペリテック

4000以上の開発実績で培われた
ノウハウで短納期・開発コスト削減を実現

51

ものづくり

株式会社正田製作所

同社独自の生産方式、IoTの活用で
高品質・短納期・低コストを実現

52

ものづくり

鈴木工業株式会社

業務プロセスの徹底したIoT化と
産官学連携で、製造技術・生産性を向上

53

ものづくり

株式会社タイヨー

IoTを活用し、生産性向上と
高度な切削加工技術の承継を実現

54

ものづくり

株式会社タツミ製作所

最新設備導入と高度な加工技術開発で、
お客様のニーズに応える金属部品メーカー

55

埼玉県

ものづくり

有限会社天ケ瀬工業

「美しい製品」づくりをテーマに、確かな
技術で高品質な金属加工製品を提供

56

千葉県

サービス

ナチュラルクリーン株式会社

特殊水洗いと高度なメンテナンスで全国に
顧客を持つウオータークリーニング専門店

57

東京都

サービス

株式会社ヒット

デジタルLEDボードを中心に新サービス
を開発提供し、屋外広告業界をリード

58

ものづくり

株式会社リディアワークス

ファブリックサインの常識を変えた
「LUFAS」をブランド化し事業を拡大

59

サービス

株式会社アオアクア

働きやすい環境づくりで優秀な人材が
集まる看護・介護ステーション

60

東京都

ものづくり
岡田鈑金株式会社
多様な顧客ニーズに応える自社内一貫生産
加工設備を一元管理するシステムの導入
61

ものづくり
ジー・オー・ピー株式会社
現場の声を安全な製品づくりに活かす
製品の個体管理で現場の正確な数を把握
62

ものづくり
エスエスビジネスフォーム株式会社
用紙の高機能化による付加価値向上
インターネット販売サイトによる顧客獲得
63

ものづくり
株式会社シラヤマ
高度な溶接技術を追求したものづくり
自社の強みを活かして、社会に貢献する
64

ものづくり
株式会社サーテック
「品質第一主義」の小型モータ製造・販売
地域企業と連携したSDGs対応サービス
65

ものづくり
株式会社マキノ
「即日板金」で日本のものづくりをリード
自動化とIoTで稼働率を極限まで高める
66

ものづくり
株式会社イチカワ
産学共同研究や他企業協業での高い技術の
ニーズ対応強化と災害復興の生産体制構築
67

神奈川県

ものづくり
京浜精密工業株式会社
環境配慮を重点に、産学連携開発による
高付加価値製品を、多品種少量の一貫生産
68

ものづくり
株式会社アピック
高精度鏡面切削加工の専門技術に特化し、
競争優位を作る事業モデルを構築
69

ものづくり
斎藤樹脂工業株式会社
検査体制徹底で不良ゼロを実現。
一個試作から量産まで一貫生産体制を構築。
70

新潟県

ものづくり
株式会社川崎合成樹脂 71
燕三条の金属加工技術と融合し、
セラミック製品の可能性を広げる焼結加工技術

ものづくり
コネクテックジャパン株式会社 72
先端技術集積地域で半導体の新たな可能を
広げる研究開発により地域再興を目指す

ものづくり
ウエノテックス株式会社 73
一軸破砕機分野で国内トップシェア
AI搭載の廃棄物選別装置を自社開発

富山県

ものづくり
ハリタ金属株式会社 74
循環社会を実現する価値創造企業
We Create 私たちは、つくる

ものづくり
立山化成株式会社 75
医薬品、電子材料等多角的に事業を展開
アルファリポ酸では国内製造シェア100%

石川県

ものづくり
株式会社小林製作所 76
多品種・少量・短納期対応の精密板金加工
独自開発のシステムで全作業を可視化

ものづくり
共和産業株式会社 77
小型建設機キャビン製造では国内トップ
積極的なIoT導入で顧客ニーズに対応

ものづくり
株式会社ポーラスター 78
冷凍寿司のパイオニア
JA等と合弁でブルガリアに進出

山梨県

サービス
株式会社イチムラボディーショップ 79
ミリ単位で計測・補正するエビデンス修理
自動車修理の不安解消でブランド力向上

サービス
株式会社タスクマスター 80
異分野連携で人を支えるAI技術を開発、
警備業界の働き方改革を目指す

長野県	ものづくり	**岡谷熱処理工業株式会社** 研究開発重視の経営で独自技術を開発 IoT導入で生産効率を高めてデータを活用	81
	ものづくり	**株式会社協和精工** 「いい会社をつくろう」を合言葉にIoT導入 改善提案活動で生産性向上を実現	82
岐阜県	サービス	**株式会社リーピー** 「カイゼン」や柔軟な働き方の仕組み構築 経営課題解決型WEBサービスを提供	83
	ものづくり	**三星刃物株式会社** 顧客ニーズに基づく商品開発で贈答市場開拓 ロボットシステム導入でデジタル人材育成	84
	ものづくり	**トマト工業株式会社** 大手下請けから脱却し、不燃建材という 特殊なボードに特化することで差別化	85
	ものづくり	**株式会社ライン精工** 国内有数の加工技術とIoTシステムを武器に、 直近2年間で20%の顧客増に成功	86
静岡県	ものづくり	**先生精機株式会社** 高精度かつ短納期による生産体制を構築、 海外進出や新市場の充実化を目指す	87
	サービス	**ごはん屋さくら** 産学連携より試行錯誤の末開発した 「イズシカめんち」で地域に貢献し成長する食堂	88
	ものづくり	**㈱静岡鐵工所** 顧客ニーズに応えることで技術力を蓄積、 国内の手動機シェア率トップを誇る	89
	ものづくり	**東洋レヂン株式会社** 自動化による生産性向上と付加価値向上 を実現し、新医療市場を創生していく	90

愛知県

サービス

株式会社ヤナギハラメカックス

産業用機械の提供をワンストップで実現
コンサルから設計・製造まで一貫サービス

91

サービス

株式会社エスクリエイト

ものづくりをソフトウェアでトータルサポート
社員のスキル向上で高技術を実現

92

ものづくり

株式会社イワタツール

女性と高齢者が活躍する職場を実現して
世界トップクラスのセンタードリルを生産

93

サービス

株式会社ワンデックス

全国の住宅関連資材会社の力を集結し
商品企画・開発の共同化で付加価値を創出

94

ものづくり

アドバンス電気工業株式会社

「従業員は財産」をモットーに高い技術力と
安定品質で精密バルブの一貫生産を実現

95

ものづくり

矢留工業株式会社

ダクト製造でトップシェア、社員の創意工夫に
より高精度加工技術と安定品質を実現

96

サービス

毎味水産株式会社

徹底した衛生管理と人材の育成で、
多くお客様により良い商品をお届け

97

サービス

アルメック株式会社

独自の再資源化技術と独自の
コミュニケーションツールで他社への競争優位を実現

98

ものづくり

阪部工業株式会社

高い鋳造技術と積極的なロボット導入による
オートメーション化で図る業務効率化

99

ものづくり

株式会社西浦化学

独自の射出成型機とTPM活動で
高付加価値化の実現

100

愛知県

ものづくり
伊藤工業株式会社
独自技術の継承と更なる改善提案により
人材の有効活用を実現
101

ものづくり
カネヤ製綱株式会社
独自の技術開発体制と高齢者も活躍する
人材の適材適所で高付加価値製品を生み出す
102

ものづくり
朝日理化株式会社
高い技術と無盡（つきない）の姿勢で
品質と付加価値の向上を追求し続ける
103

ものづくり
安田塗装工業株式会社
技能士集団のスキルとITの組み合わせで
大型製品の高品質塗装を実現
104

ものづくり
三幸理研工業株式会社
自動制御盤の設計からメンテナンスまで
世界のニーズに提案力と開発力で応える
105

ものづくり
株式会社ウチダ製作所
IoTとデジタル技術でメーカー連携
新たな取組みで金型製造の生産性向上
106

ものづくり
株式会社鈴木化学工業所
人命に影響を及ぼす保安重要部品を製造
難しい製品や技術に取り組みスキルを磨く
107

三重県

ものづくり
三恵工業株式会社
データとIT技術で座り心地にこだわりを
地球環境保全をめざし技術開発に取組む
108

ものづくり
河田フェザー株式会社
羽毛素材のトップメーカーとして業界を牽引
高度な精毛技術により高品質な羽毛を精製
109

大阪府

サービス
株式会社スーパー・コート
ホテルのおもてなしを取り入れた介護施設
介護業務をスマート化しサービスを向上
110

	サービス	**株式会社テクリコ** テクノロジーでリハビリを楽しく 超高齢化社会が抱える問題解決に貢献	111
	ものづくり	**株式会社ウチダ** 最先端の設備と経験豊富な技術力 プレス金型のエキスパート集団	112
	ものづくり	**株式会社ナイキ** オフィス環境の総合クリエーター 幅広い視点から最適なオフィス環境を提案	113
兵庫県	ものづくり	**株式会社神戸酒心館** 清酒・観光・飲食事業の一体運営 IoTを導入し杜氏の伝統技術をデータ化	114
	ものづくり	**株式会社宝角合金製作所** 創業来90年の部品加工技術の蓄積 顧客要求の充足追求と環境経営の両立	115
	サービス	**株式会社銀波荘** 「日本の旅館100選」選出の地元愛追求 ITシステムで旅館業界の共通課題に革新	116
	ものづくり	**甲南設計工業株式会社** ものづくり関連コンテスト3賞受賞 技術的要求を糧とし国際展示会にも出展	117
	ものづくり	**龍野コルク工業株式会社** 発泡スチロール業界先駆者としての先見性 地元企業・大学を巻き込んだ業界活性	118
奈良県	サービス	**株式会社ハンナ** 運送業界の労働環境改善の牽引 ITシステム・データ活用による業務改革	119
	ものづくり	**大和化学工業株式会社** 全国で唯一3手法の成形機を内作保有 製造の幅・納期・品質全てに付加価値追及	120

生産性向上

岡山県	ものづくり	**小橋工業株式会社** 最新IT導入により生産性を大きく向上 人類の課題解決につながる新事業を創造	121
広島県	サービス	**株式会社内海機械** ショールーム化した工場で付加価値向上 最新設備と稼働の視認化で稼働率を向上	122
	サービス	**株式会社トーエイ** 地元生産者連携したITシステムを導入 IT導入で省力化した人員で顧客価値向上	123
徳島県	サービス	**イツモスマイル株式会社** 入居者家族を安心させる新システムを開発 情報共有システムで働き易い環境を実現	124
香川県	ものづくり	**サヌキ畜産フーズ株式会社** 生産性向上と設備の導入で付加価値向上 先端のIT技術を活用した情報化を推進	125
	ものづくり	**福寿産業株式会社** AIを活用し耐久性と美しさを備えた塗装 自動化による飛躍的な業務効率向上	126
高知県	ものづくり	**菱高精機株式会社** 卓越した技術開発力 切削工具のリーディングカンパニー	127
福岡県	サービス	**株式会社Windy** 調剤薬局・医療機関・介護施設向け 調剤関連の先進的システムの開発	128
	ものづくり	**ムライケミカルパック株式会社** 環境対応塗料の開発から製造・施工まで 一貫して取組む特殊塗料メーカー	129
	ものづくり	**九州木材工業株式会社** 無公害の保存木材「エコアコールウッド」 の国内唯一のメーカー	130

	ものづくり	**龍宮株式会社** 日本初の脱脂綿を使った健康な おふとん「パシーマ」のメーカー	131
	ものづくり	**株式会社中島ターレット** 柔軟な対応力と高品質・低コスト・短納期 のワンストップソリューションを実現	132
	ものづくり	**株式会社タケシタ** 技術力と設備力とIoTの組み合わせで 多工程一貫生産の九州発のモノづくり	133
佐賀県	ものづくり	**日興食品株式会社** 新たな技術、環境をいち早く先取りした経営 地域未来牽引企業として地域と共生	134
	ものづくり	**株式会社唐津プレシジョン** 大型旋盤や研削盤、歯車加工機械に特化 高精度、新技術を用いた新製品開発に注力	135
	ものづくり	**株式会社東馬** 生産・営業の効率化により 高品質な家具を全世界に提供	136
長崎県	ものづくり	**有田工業株式会社** 独自の製造機械で塗装技術向上 30年前からIT化でCS向上を推進	137
	ものづくり	**株式会社ピーエヌ機電** 生産の効率化と高品質化を推進 航空機向けブッシング製造に強み	138
熊本県	サービス	**株式会社共同** 地域未活用資源の高付加価値化に成功 食肉の物流から加工・販売までを一貫対応	139
大分県	サービス	**株式会社大分ベニヤ商会** 高付加価値の資材加工専門工場を稼働 IT利活用で業務効率を最適化	140

生産性向上

大分県	サービス	**日本フォレスト株式会社** 未利用資源活用の自然循環サイクルを実現 電力の地産地消モデルを構築	141
宮崎県	ものづくり	**株式会社キサヌキ** 独自システムの開発を積極的に推進 加工工程の短期化や社内情報共有を実現	142
	ものづくり	**株式会社高嶺木材** 飫肥杉の特徴を活かす高度な加工技術 積極的な機械化推進で作業効率改善	143
鹿児島県	ものづくり	**協業組合ユニカラー** 積極的な設備投資や人材育成を継続 特殊印刷のパイオニアとしての地位を確立	144
沖縄県	ものづくり	**タイガー産業株式会社** 徹底した現場主義と工事現場の効率化・ 納期短縮化を図る独自製品の開発が強み	145

有限会社POライフ

生産性向上 ものづくり

北海道札幌市

最新技術の導入で生産性向上を達成
技術開発に集中し品質向上を実現

身体に障がいがある方の義手や義足のほか、けがや病気で整形外科的治療が必要な方の装具の製作・販売を行っている。なかでも、同社の整形靴は、「個別の木型」と「個別のデザイン」にこだわって製作され、使用する人それぞれの症状に効果的な形状はもちろん、気に入ったデザインを1点ずつオーダーメイドで製作している。機能性重視で見た目がおろそかになりがちな整形靴もおしゃれに履けると子供から大人まで高い評価を得ている。

●所在地	北海道札幌市豊平区中の島2条12丁目1-21
●電話／FAX	011-595-7693／011-595-7694
●URL	http://polife.sakura.ne.jp
●代表者	代表取締役　尾田　裕彦

●設立	2004年
●資本金	300万円
●従業員数	8人

最新型システムの導入で製作時間の短縮と品質安定化を両立

ものづくり補助金を活用し、最新型インソール製作システムを導入することで、製作時間の短縮と品質の安定化を実現した。これにより、従来の石膏で足の模型を作る工程が省けたほか、パソコンでCADを用いた設計ができるようになり、製作時間が約1時間も短縮することができた。さらに切削機の加工精度が飛躍的に向上したことで、削り出されたインソールの二次加工の負荷が低減し、全体の作業時間の短縮と品質の安定化が図られ、製品の生産性が向上した。

GOTEC社製のCAD/CAMシステム

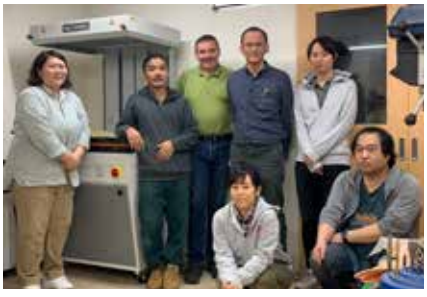
技術開発に集中し、高い要求に対応できる技術力を獲得

インソール製作システムの導入により、熟練工に依存していた切削工程の時間が短縮でき、技術開発に多くの時間を割くことができるようになった。同社製品を必要とされる患者さんには、麻痺や変形などの症状が重く、高い技術が要求されるケースもあるが、熟練工がこれまで以上に技術開発に取組むことができるようになったことで、同社全体の品質向上が実現している。また、オーダーメイド品についても短納期対応が可能になり、多様な要望に応えられる企業として多くの需要を獲得している。

インソールの切削工程

従業員の働き方改革と非熟練工の人材活用を実現

インソール製作システムの導入により、作業工程の削減、作業時間の短縮による従業員の残業時間が減少した。また、高い熟練性が必要な足模型の製作やインソールの二次加工に関しても、相応の技術を持った工員であれば作業が可能となり、働き方改革関連法への対応や人材教育にも取組めるようになっている。実際に、様々な学会・セミナー・講習会等への積極参加を勧奨するなど、働く環境整備と意識高揚にも努め、担い手の維持、確保がなされている。



ドイツマイスターを迎えての社内講習会

株式会社北日本重量

生産性向上 サービス

北海道旭川市

危険度の高い重量物移動作業を改革 独自の装置開発で創業以来事故0を達成

同社は、電力の安定供給を目的とした機器更新工事に伴う重量物の運搬を行う事業者である。従来、重量物の運搬は木材を使用した「コロ曳」が中心であったが、全国初の機械化に成功。同社の独自開発の移動装置は、最大積載量300トンを筆頭に数種類あり、それぞれ特許を取得している。この装置は、作業員の安全が確保されるだけでなく、移動時間の大幅な短縮が可能となっており、道内のみならず、全国の電力会社での施工に用いられている。

●所在地	北海道旭川市永山北2条8丁目9番地6
●電話／FAX	0166-48-9990／0166-48-9909
●URL	http://kitaju.com
●代表者	代表取締役　影本　秀基

●設立	2005年
●資本金	1,000万円
●従業員数	25人

独自の重量物移動装置の開発で、安全、省力化、工期短縮を実現

「コロ曳」を中心とした従来式の重量物移動作業は、作業者の安全確保が容易ではなく、事故の頻発要因となっていた。そこで同社は、作業員の安全を最優先にした作業環境実現のため、独自の移動装置を自社開発して、特許申請を行い、他社の追随を許さない工法を開発した。これは、事故の要因であるコロとウインチを排除して、低摩擦の油圧式スライドプレートを用いた移動装置であり、業界では他に類を見ない、安全、省力化、工期短縮を実現した重量物移動サービスとなっている。

重量物移動装置ZERO3

自社開発装置や3D機器の活用により作業員の負担軽減を実現

自社開発した移動装置を用いることにより、作業員の負担軽減と安全確保の実現がなされたほか、整地作業や後工程を含めた作業期間は、従来工法での3分の1程度にまで短縮することができた。また、従来工法では熟練技術を要する職人を数名必要としていたが、新工法では若手社員1名によるリモコン操作と軽作業員での施工が可能となった。さらに、3Dスキャナーを活用した施工計画書の作成により、見落としや計測ミス等を原因とした再調査は不要となり、現場における作業効率が飛躍的に向上した。

中長距離用3Dレーザースキャナ RTC360

事故を前提とした安全対策で創業以来事故0を達成

同社では、個々の作業員に「(誰もが) 事故を起こす普通の人間である」ことを自覚させることで、事故回避を最優先に作業するよう教育している。社員全員にノートパソコンを支給し、3D施工計画書等を活用した事前ミーティングで、作業内容を可視化して危険の芽を摘み取っている。また、作業現場では、小型カメラ、モバイルディスプレイ、ワイヤレスマイク等の情報･通信機器を導入し、事故要因を一つでも減らすよう防災活動に取組むことで、創業以来、無事故無災害を継続している。

未然に事故を防ぐ3D活用

株式会社メイセイ・エンジニアリング

生産性向上 ものづくり

北海道室蘭市

高度技術の導入で社会資本の維持に貢献
資格取得の奨励で技術力を担保

北海道開発局、並びに北海道建設管理部を主体に、社会的インフラ整備に関する業務（企画、調査、設計、施工管理等）に携わっている。特に、現在問題になっている老朽化橋梁等の鋼構造物点検に強みを持ち、技術力の高度化と業務効率化を進め、持続可能な社会的インフラの維持に貢献している。近年、地質調査、GPS（地理情報システム）による情報管理システム分野へも進出している。

●所在地	北海道室蘭市中島町3丁目11-2
●電話／FAX	0143-43-8113／0143-45-3116
●URL	http://www.mec-eng.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　西潟　勝

●設立	1984年
●資本金	1,000万円
●従業員数	40人

高度技術の積極的導入で壁面点検作業の高度化と効率化を実現

「より高度な技術力、知識、知見をもって『安全にして快適な社会づくり』に貢献すること」を経営理念に掲げ、高度な技術の導入に積極的に取組んでいる。これまで、トンネルや橋梁等構造物の点検においては、点検員が目視で実施するため、足場や点検車を用いる必要があり、コストや作業期間の増大の原因となっていた。そこで同社は、高精度のカメラで橋梁等の構造物を撮影、ひび割れ等の点検を行うシステムを導入した。さらには、コンクリート内部の欠陥を離れた位置から高速診断するシステム（特許出願中）の開発を進め、作業の高度化と効率化を実現している。

超高精細画像を用いた点検システム

新システム構築による短納期の実現で、他社との差別化を達成

同社では、高品質かつ短納期でのサービス提供を念頭においており、効率化に向けた様々な取組を実施している。一例として、これまで、30日程度の工期を必要としたコンクリート構造の橋梁点検の場合、遠方からコンクリート壁面点検が可能な超精細画像撮影カメラ（NEXCO西日本製）を導入し、足場の設置や点検車の準備を不要とすることで、検査にかかる日数を10日程度に短縮させた。それにより、従業員の作業時間短縮やコスト削減がなされ、他社との差別化を達成している。

コンクリート構造の橋梁の検査

従業員の資格取得を奨励し、技術力を底あげ

同社は、従業員の技術力向上のため、資格取得にかかる費用を全額負担し、資格取得時にはお祝い金を支給する等、全社的なサポートを行なっている。その結果、様々な専門資格を持った従業員が多数在籍しており、種々の条件調査や設計ニーズに対して、高度な技術力をもって対応することが可能となっている。技術力の裏づけとして、2017~2019年には3年間連続して、北海道開発局及び北海道より優良工事等表彰を授与している。

北海道開発局優良工事等表彰状

第一金属株式会社

北海道室蘭市

主力機械や管理システムを独自開発 ムダを極限まで減らし生産性向上を実現

薄鋼板のスリット加工事業者として創業し、現在は自動車部品のクラッチプレートの精密打抜き加工、鋼材のプレスから溶接、組立加工、棒線材の冷間成形加工、リサイクルトナーカートリッジの製造販売を手掛けている。製鉄関連企業の集積地の室蘭、自動車産業集積地の苫小牧に工場を有し、ロボットや最新鋭の機械設備を積極的に導入する等、大手自動車部品メーカーの加工を担う北海道の自動車産業を支えている。

●所在地	北海道室蘭市東町3丁目1番5号
●電話／FAX	0143-44-5195／0143-43-5195
●URL	http://www.daiichikinzoku.jp/
●代表者	代表取締役社長　佐藤　公哉

●設立	1970年
●資本金	6,000万円
●従業員数	84人

主力機械を特注仕様の設計、自社修理対応で生産性向上を実現

主力の自動車クラッチプレートの打抜き機械は、加工の精度と生産性をいかにあげるかが課題であるが、スピードを速くし過ぎると精度が安定しない等の問題が発生する。そこで同社は、特注の生産設備を機械メーカーと共同で開発。加えて、社内に電気工事士等の有資格者を配置し、故障の際の修理にも対応することで、生産停止によるロスタイムを削減している。また、製造ラインではIoTを活用し、金型の消耗予測や機械故障を未然に防ぐ予兆保全にも取組み、業務の安定性と生産性向上を図っている。

自動車用クラッチ板

品質管理の徹底で、「JIS Q 9001」品質認証を取得

月産1,000万枚以上の製品品質を保証するためには、加工のスピードとともに、製品検査が重要である。そこで、同社は、これまで、加工者による目視検査を行っていたが、カメラ画像による合否判定システムを導入した。それにより、不具合発生に起因する生産停止時間の削減がなされ、作業者の作業負荷の軽減とともに、生産リードタイムの短縮が実現している。また、品質検査と不良混在防止の徹底により、自動車部品に要求される「JIS Q 9001」を取得している。

JSA QMS JIS Q 9001 JSAQ 1415　MS JAB CM001

「JIS Q 9001」等の品質認証

独自システムと域内調達で、業務効率化とコスト削減を達成

同社では、在庫管理や出荷管理のシステムを自社で開発し、母材と製品のデリバリーを担う商社、高炉メーカー、輸送業者の4者間で管理情報を共有し、緊密なサプライチェーンを構築している。これにより、加工データもオンライン入力して、リアルタイムに反映されるため、デリバリーにおける業務効率化にも寄与している。また、材料の調達の他、金型製作、熱処理加工の外注等を極力域内調達することで、短納期対応や輸送コストの削減を実現している。

本社工場

佐藤木材工業株式会社

生産性向上 ものづくり

北海道紋別市

積極的な機械導入で林業現場を意識改革 中心的な存在として地域林業を活性化

1932年、豊富な森林資源を有する紋別市で下駄製造会社として創業。下駄や割箸の生産を主体とした事業から、トドマツ間伐材の製材事業へとシフトした。また、カラマツの構造用集成材やトドマツとカラマツの集成材も開発した。さらに、ハーベスタ導入をはじめとした、高性能林業機械を次々と採用し、全国の林業現場に意識変革をもたらした。現在では、網走西部流域における中心的存在として地域活性化にも取組んでいる。

●所在地	北海道紋別市上渚滑4丁目1番地
●電話／FAX	0158-25-2031／0158-25-2808
●URL	http://www.satohmokuzai.com/
●代表者	代表取締役社長　佐藤　教誘

●設立	1932年
●資本金	9,450万円
●従業員数	94人

積極的な機械導入で作業効率化による人手不足解消を図る

同社は、自動結束機やツインバンドソーによる間伐材加工、自動選木機・レーザーによる原木の選木、全自動木材乾燥機によるムラのない均一乾燥、最新技術のプレス機による高品質な構造用集成材の生産等、早くから機械導入による業務効率化を推進し、全国の林業現場に意識改革をもたらした。伐採、枝払い、計測等を1台で行える高性能ハーベスタの導入では、機械研修のため若手社員4名を製造元のフィンランドへ派遣し、機械操作を習得させた。帰国後は同僚社員への技術指導を担い、作業効率化と人材育成を両立して、人手不足の解消が図られている。

ハーベスタによる伐採作業

高い技術力を背景とした信頼とブランド力で、全国に販路を拡大

「自然循環型の木材」と「高い技術力」を強みとする同社は、緑の循環「森林認証」(SGEC)を受けた「オホーツク森林認証材製品」を取扱い、東京オリンピック・パラリンピックのメインスタジアムとなる「新国立競技場」でも採用される等、大手商社を通じて全国に販路を広げている。また、社有林だけでなく網走西部地区の複数企業から木材を仕入れて販売している同社は、同地域におけるコネクターハブ企業として、地域未来牽引企業にも選定されている。

同社のオホーツク森林認証材製品

正社員雇用、定年後雇用の給与維持によるシニア人材活躍

長期的展望に基づく安定した企業経営を行うため、その大半を正社員として雇用している。また、会社の定年は60歳であるが、本人の希望により、給与を維持したままで、継続就労が可能となっており、70歳を超えたシニア人材も活躍中である。このような同社における人材の有効活用・高齢化の対策は、人手不足解消に留まらず、地域の雇用の維持・創出に大きく貢献している。

新国立競技場へ製品の納入

株式会社マツオ

生産性向上　サービス

北海道滝川市

積極的なリブランディングを実施
首都圏進出で新規需要を開拓

同社は、1956年の創業以来、羊肉の製造、スーパー・量販店への卸売、レストランの直営に取組み、北海道を代表する食文化であるジンギスカンの普及、発展に貢献してきた。また、北海道では「ジンギスカンといえばマツオ」というポジションを確立しており、団体客減少や消費動向の変化、原材料の高騰、調理現場での人手不足といった環境変化をも乗り越え、4代目である現社長のもとリブランディングに取組み、需要の拡大を図っている。

●所在地	北海道滝川市流通団地1-6-12
●電話／FAX	0125-23-1919／0125-23-7380
●URL	http://corp.matsuo1956.jp/
●代表者	代表取締役社長　松尾　吉洋

●設立	1956年
●資本金	1,100万円
●従業員数	108人

積極的なリブランディングで新規需要を開拓

ロゴの制定、店舗名称の統一、パッケージリニューアル等を手掛ける一方で、事業売却による経営合理化を目的としたスクラップ&ビルドを実施。また、中華やスイーツの企業をM&Aによりグループに加え、本業との相乗効果から収益をあげている。加えて、めん羊牧場の開設、ミートファクトリーの新設等、新規事業にも着手。コンビニエンスストア向けに小パック製品の開発や、高級感あるレストラン、フードコート・商業施設への積極的な展開等、リブランディングに取組み、一般家庭・個人客の需要まで開拓している。

松尾ジンギスカン

調理手順の簡素化と流通形態の見直しで、首都圏進出を加速

重点的に展開している調理提供型の店舗では、調理手順の標準化・簡素化、重労働となる焼き鍋洗いも不要とする等、店舗オペレーションの効率化を図っている。また、客席のロースターや個別空調が不要になったことでスペースやコストの制約が小さくなり、首都圏での出店や量販店等での常時販売も増加している。こうした取組により、現在、都内に5店舗を構え、2019年には東京営業所を開設した。さらに、ジンギスカンの流通温度帯を冷凍に一本化したことで、在庫管理が容易となり、フードロス削減にも寄与している。

松尾ジンギスカン　渋谷パルコ店

地域の学校給食へ食材提供や食育教室の開催を実施

地域への貢献と次世代の継承を目的とし、地元の小中学校へ学校給食用食材の無償提供の他、社員が学校に出向き「味付きジンギスカンの作り方」や「歴史」を学ぶ「出張食育教室」を実施している。マツオのブランドプロミスで掲げる「楽しい・美味しい」思い出作りを実現し、次の時代を担う子どもたちに郷土の味ジンギスカンをより知ってもらう機会として、食文化の伝承・定着にも取組んでいる。

学校給食への食材提供

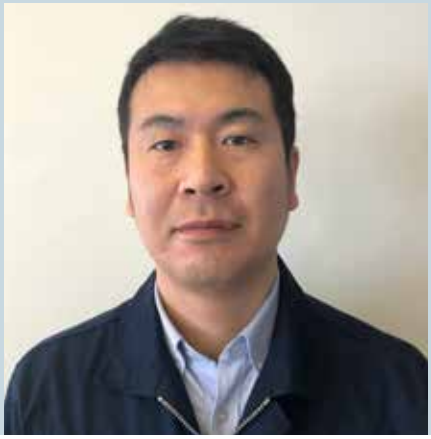
世良鉄工 株式会社

生産性向上 ものづくり

北海道上川郡当麻町

設備の高度化による継続的な生産性向上 社員の技能習得による定着率向上

創業以来、一貫して建築用金属資材の開発・製造に取組んでいる。1978年に主力製品である鋼製床下梁「セラフレーム」を実用新案登録。高規格住宅向けに市場を拡大しつつ、工期短縮・建築コスト削減・災害耐性の強化といった市場ニーズに応える改良に取組み続けている。また、早くから製造工程に切断/溶接等のロボットを導入（2020年2月現在10台）し、生産の合理化・標準化、品質改善を積極的に推進している。



●所在地	北海道上川郡当麻町3条西4丁目
●電話／FAX	0166-84-3111／0166-84-5151
●URL	http://www.seratekkou.co.jp/
●代表者	代表取締役　三上　正幸

●設立	1940年
●資本金	1,000万円
●従業員数	12名

生産設備の高度化・ロボット化による高い生産性

常に「妥協しない良い製品作り」と「お客様の立場に立った物作り」を第1に考えたものづくりに取組んでいる。熟練技術を必要とし、当社製品の品質を左右しかねない切断・溶接等の工程にロボットを積極導入し、複数のロボットを連動制御する技術も向上させることで、常に安定した品質を維持する生産体制を整えている。設備導入にあたってはものづくり補助金等の行政施策を積極的に活用している。お客様第一の生産を常に目指している。

ロボット化された生産設備

大手住宅メーカーとの提携による自社製品の規格化推進と市場拡大

大手住宅メーカー等との業務提携を通じて、自社製品の規格化・標準化を進めることで、自動化された設備のフル活用が可能となっている。それにより、製造コストの削減が実現され、設備稼働率の向上、高い生産性の維持へと繋がっている。さらに、当社製品の市場認知度も着実に向上しており、近年は建築業界の展示商談会等に併せて出展していくことで、付加価値の高い新たな販路にも広がりをみせている。社長自らが先頭に立ち、展示会への出展や公的機関の支援策活用にも取組んでおり、これらの活動を通じて海外市場への進出も模索している。

規格化された自社製品

匠の技術から最新鋭の設備制御技術へ

同社が、最新設備を積極導入し機械化・自動化を進めていくことで、社員に求める技能も伝統的な加工技術から機械制御技術へとウェイトを移している。そのため、同社では、社員の各種技能資格習得を奨励することで社内への定着化を図っている。これにより、人手不足が顕著な北海道の地方都市において安定した雇用の確保がなされている。

いきいきと働く従業員の様子

エノ産業株式会社

北海道上川郡東川町

高付加価値の提供により、国内シェアNo.1 業務効率化と定年廃止による人手不足解消

1964年、チェーン式バーカーという原木（丸太）の皮むき機械を発明し、その製造販売会社として創業。以来、原木皮むき機械や各種木材関連機械（木材人工乾燥機、原木選別機等）を、お客様のニーズに合せて開発している。バーカー専業メーカーとして国内市場の約80%を占めており、海外では世界3大バーカーメーカーの一つに数えられている。新商品の高速大型リングバーカーは国内海外の製材、合板製造業者に好評を得ている。

●所在地	北海道上川郡東川町北町10丁目1番1号
●電話／FAX	0166-82-4000／0166-82-2434
●URL	http://www.eno-sangyo.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　小関　政敏 代表取締役副社長　野呂　千晶

●設立	1964年
●資本金	2,900万円
●従業員数	50名

お客様の要望を聞くのはあたり前、さらに一歩上を目指す

皮むき機は大型化、高速化の要望が増加している。同社では、現行の機械を単に大型化、高速化するだけではなく、各部品の耐久性、修理、メンテナンスの容易化等のグレードアップを実現することによって、お客様の非生産時の時間短縮、労働時間短縮にも貢献している。同社の原木自動切断機は、自動で決められた寸法を切るのではなく、原木径や長さにより切り方を変えることが可能な自動装置である。それにより、原木の歩留りが向上し、お客様の業績向上に貢献している。また、各種機械に原木の歩留りをアップさせる様々な工夫を付加することで、木材という限りある資源の有効利用を図っている。

最新高速バーカー（原木皮むき機械）

社内ネットワークを活用した業務効率化の実現

設計、制御図面作成において、約40年前からいち早くCADを導入。当初は単独で使用していたものを現在ネットワーク化することによりデータの活用共有が可能となり、ミスの低減、業務の分担化が実現し設計時間等の短縮に結びついている。また、顧客リスト、機械リスト、部品在庫リスト等々をデータベース化し、これらを社内ネットワークで閲覧できるようにして、お客様からの問合せや、修理、メンテナンスや部品受注対応の際、当社従業員がスムーズに業務遂行できるような環境を整えている。

CADを使って業務を行う従業員

20年前から実質定年廃止

同社の定年は現在65才だが、約20年前から定年で退職しても、本人の希望と体力があれば、年令制限なしにアルバイトや顧問といった形での就業が可能となっている。それにより、シニア世代のやる気、生き甲斐を助長するに留まらず、若手に対する技術、ノウハウの伝承も可能となり、人材の有効活用、人手不足の解消にもつながっている（65才以上14人在籍）。

65歳以上でも元気に働くシニア世代

サンライズ産業株式会社

生産性向上 サービス

青森県弘前市

青森県内トップクラスの運送業者 後継者不在の異業種とのM&Aで地域の雇用を確保

同社は、1978年社長実父が創業、1986年に法人成りした一般貨物自動車運送業者である。青森県内10か所の他、東北6県に営業所を構えている。18種類の豊富な車種、600台以上の車両を保有しており、多種多様な物を運べることが特長である。また、保管・仕分け・配送・組立の一貫した物流体系を確立し、効率性のある物流戦略を提案している。得意先は700社余を数え、青森県内トップクラスの規模を誇っている。

●所在地	青森県弘前市大字一町田字早稲田863
●電話／FAX	0172-82-3316／0172-82-3317
●URL	http://www.sunrisesangyo.com
●代表者	代表取締役　工藤　博文

●設立	1978年
●資本金	1,215万円
●従業員数	630名

東北全域のネットワーク構築と事業多角化による付加価値向上

主力事業の一つである食品輸送事業は、青森市内に建設された倉庫群をはじめとした北東北各県に設置された冷蔵冷凍倉庫を備えた共配センターで行われている。関東と東北を結ぶ路線と東北全域を結ぶネットワークを構築し、得意先のニーズに柔軟に応えている。さらに、運送に不可欠な自動車に関する知識を活かしたレンタカー事業、中古車買取事業、尿素水の製造・販売、セルフガソリンスタンド等の自動車関連サービス、不動産賃貸業や住宅建築業まで、超多角的な事業展開により付加価値向上が図られている。

倉庫からトラックが出荷している様子

後継者不在の異業種とのM&Aにより地域の雇用を確保

同社では、後継者不在の異業種をM&Aし、従業員が有するノウハウを活用している。具体的には、青森県内のガラス施工業者や、福島県の建築資材卸売業者、及びガソリンスタンド業者を100%グループ会社としている。M&Aにあたっては、全従業員の継続雇用を第一に、育った職人が頑張れる環境を守ることで、人材育成のための時間や経費を抑制するとともに、地域における雇用を確保している。また、従業員も会社存続と雇用継続による安心感の高まりにより、モチベーションが向上し、生産性向上に繋がっている。

異業種でもいきいきと働く従業員の様子

地元における雇用促進と社会貢献への取組

同社社長は、人口減の当地域において、雇用を維持したうえでの会社の継続的発展が地元企業の使命と考え、各営業所が点在する各地域において、地元雇用の拡大を積極的に進めている。また、社長が弘前大学出身ということもあり、弘前大学付属図書館に対しては2016年から10年間の計画で寄付を続けており、同図書館内には同社の寄贈図書コーナーが設置される等、社会貢献にも取組んでいる。

図書館に寄贈された図書コーナー

株式会社栄組

生産性向上 サービス

岩手県遠野市

独自開発技術を強みとした補修補強事業 最新技術の導入による継続的な生産性向上

1955年創業の総合建設会社。特許技術を核としたコンクリート補修技術は国内のコンクリート補修工事に多数採用されているほか、同業者に技術提供を行っている。またひび割れ注入技術である圧力調整注入工法(SAPIS)はコンクリート補修補強事業における海外からの技術的評価も高く、2017年12月からはJICA(国際協力機構)の中小企業海外展開支援事業に採択され、国内外のインフラ長寿命化に貢献する活動を行っている。

●所在地	岩手県遠野市上郷町板沢9-19-1
●電話／FAX	0198-65-3032／0198-65-3324
●URL	https://www.sakaegumi.jp
●代表者	代表取締役　佐々木　栄洋

●設立	1955年
●資本金	5,000万円
●従業員数	34名

独自補修施工技術による企業価値向上に向けた取組

同社のひび割れ注入技術、圧力調整注入工法(SAPIS)、及びコンクリート構造物の長寿命化を実現する、インフラ補修施工マネジメントシステム(SIMMS)による施工実績は300工事を超え、他工法の導入と併せて「補修補強の栄組」ブランドとして価値が高まっている。ひび割れ注入技術は継続的に改良を加え高度化を図っており、国内特許取得のみならず、アメリカで特許取得、ブラジル、インドネシアでは特許申請している。

圧力調整注入工法(SAPIS)で施工している様子

多能工化と最新設備の導入による生産性向上の推進

多能工化による個々の社員の能力向上を図りつつ、多様化する顧客ニーズへの対応、及び業務内容の多角化を進めている。また同業他社との事業連携、産学官連携による共同研究、他分野企業との共同開発等にも積極的に取組んでいる。ドローンを使った遠隔測量機、3Dレーザースキャナー、3次元設計が可能となるBIM/CIMを導入し、継続的な生産性向上を進めている。

ドローンで遠隔測量している様子

建設業者としての完全週休2日制導入と地域未来牽引企業の選出

2017年から岩手県内の建設業者では初となる全社員完全週休2日制を導入している。作業効率を上げるための作業工程の見直しや技術力の向上等を部門ごとに取組み、建設業版QCサークルを実施して改善活動を進めることで労働時間の短縮を実現し、同制度を導入することができた。また革新的な事業を継続させることにより生産性を高め、経営を安定させた企業活動も評価され、経済産業省の地域未来牽引企業に選出されている。こうした取組により青年層の中途採用や新卒者の採用も増えている。

QCサークルに取組む従業員

合名会社寒梅酒造

生産性向上 ものづくり

宮城県大崎市

蔵元5代目の若手経営者による地域密着経営 最新IoT機器を積極導入した酒造り

同社は自社田での酒米栽培から醸造・販売まで一貫して行う栽培醸造蔵である。2011年の東日本大震災により仕込蔵が全壊したが、全国からのご支援を受け同年12月に再建した。世界農業遺産「大崎耕土」に根差す蔵元として地域密着経営を重視し、自社田栽培の酒米と宮城県産米のみで日本酒を造っている。代表銘柄「宮寒梅 純米吟醸45%」はシンガポール航空スイートクラス等にも採用されており、国内市場が縮小するなか、増収に転じている。

●所在地	宮城県大崎市古川柏崎字境田15番地
●電話／FAX	0229-26-2037／0229-26-2263
●URL	http://miyakanbai.com/
●代表者	代表社員　岩﨑　健弥

●設立	1918年
●資本金	1,500万円
●従業員数	7名

最新IoT機器導入を通じた生産性向上と売上拡大

「杜氏の経験と勘、データを組合せた、より品質の高い酒造り」を目指し、温度センサー等のIoT機器とWiFi･クラウド等のシステムを導入している。データ計測や検証・分析等の取組を重ねた結果、生産性が向上し、「宮寒梅」の出荷本数は年間でおよそ150石から600石（1石=約180リットル）へと4倍に増加、同社の売上増加にも寄与している。なお、同システムの導入は小規模酒蔵のIoT活用モデルとして、メディア等で取上げられている。

スイートクラスで提供される宮寒梅

IT環境整備による事務コスト低減と営業機会の獲得

東日本大震災をきっかけに、小規模酒蔵としては先駆的にIT環境整備に取組んでいる。温度計測や発酵状況の目視確認作業は、従来杜氏が昼夜現場に張りつく必要があった。現在は、現場作業を遠隔指示にて行えるようになり、杜氏兼経営者の負担軽減に加え、社員が現場作業を代替できる環境が整い、杜氏兼経営者の営業機会と商品戦略立案の機会が創出されている。また、副次的に酒造りの現場の雰囲気も活発化され、より品質の高い日本酒の製造が可能となっている。

ITが導入された発酵作業の様子

地元女性従業員の積極活用と全社一丸となった酒造りの推進

同社は役員4名、従業員7名(うちパート4名)のうちの5名を地元女性が占めている。製造から出荷までの工程で特に課題となっていた出荷業務において、従業員の多能工化を推し進めており、小規模酒造ながらも効率的な人員配置がなされている。また5S活動を全社で実践し、資材の一元化を図ることで出荷作業が効率化され、女性にとっても働きやすい環境が整備されている。

5Sされた出荷場で元気よく働く従業員

株式会社岡村工機

生産性向上 ものづくり

山形県米沢市

米沢の牽引役として地域・業界をリード
積極的な設備投資と多様な人材の活用

1948年設立の同社は、弱電関連メーカーが集積する山形県米沢市にて、長きに渡り時代を先駆けた機械加工による精密部品製造を手掛けている。2018年12月に超精密加工に適した「スマートファクトリー」を目指し新社屋を新設した。新社屋は超精密加工に適した温度、空調管理が可能で、業務効率化を図りやすい環境となっている。顧客の信頼、従業員の満足度を更に高め、雪の多い地元米沢の発展を支えていきたいと考えている。

●所在地	山形県米沢市アルカディア1丁目808-28
●電話／FAX	0238-27-0211／0238-27-0233
●URL	http://okamurakoki.com
●代表者	代表取締役　岡村　茂

●設立	1948年
●資本金	3,000万円
●従業員数	40名

ものづくり補助金活用による効果的な設備導入

2015年度補正ものづくり補助金で導入した5軸マシニングセンターにより、多台持ちができる機械が増え、取付ミスも減少して生産性が向上した。また、2016年度の同補助金で導入した画像測定器により、検査対象への自動焦点合せが可能となり、1作業あたり約30分の時間削減に寄与した。さらに、2017年度の同補助金で導入した「10パレット横型マシニングセンター」は、多パレット化により生産性向上し、夜間は無人生産が可能になった。3年に渡るものづくり補助金の有効活用の結果、業務効率化と付加価値向上が図られ、顧客からのコスト低減要求にも対処可能となっている。

10パレット横型マシニングセンター

暗黙知の形式知化による高品質なものづくり

これまで手書きだった生産情報をIT化することで、納期や品質情報を簡単・スピーディに共有ができ、トレーサビリティも容易になった。また、作業員は、共有した生産情報をもとに問題点や解決策を自発的に考えるようになり、その結果、不良数の削減や納期の順守にも繋がっている。さらに、AIやIoT技術も取込み、暗黙知の形式知化を積極的に行うことで、より高品質な製品製作への取組がなされている。

IT化された生産情報で仕事する従業員

女性、外国人、高齢者の多様な人材が活躍

同社は、社員全体の半数を占める女性社員や高齢者の雇用にも力を入れている。また、外国人実習生を12名受入れ、技術を伝授し、将来の体制整備に備えている。女性が得意とする微細加工等、繊細で時間のかかる手作業は部品ごとに「スキルマップ」を作成して「業務の見える化」を図り、洗浄工程等の軽作業や地元の短距離輸送には60才を超えた高齢者を1名採用して対応している。さらに、将来フィリピンでの生産を検討しており、実習生が帰国後に活躍することで同国の雇用にも貢献できると考えている。

多様な人材が働いている職場の様子

合名会社大木代吉本店

生産性向上 ものづくり

福島県西白河郡矢吹町

伝統の日本酒ブランドをリニューアル 醸造方法を見直しニーズに即した商品開発

慶応元年（1865年）、福島県矢吹町にて初代大木代吉が清酒製造業として創業。平成25年には蔵元自らが酒造りに取組む蔵元杜氏（とうじ）へと移行し、研究機関と連携する等本物の酒造りに取組んでいる。同社では国産原料、自然な醸造法で安心安全を提供。自社田を保有して休耕田の復活に取組むなど、環境保全や地域活性化にも寄与している。近年料理酒で確立した自然な醸造法を清酒でも採用、高い醸造技術が顧客の評価を得ている。

●所在地	福島県西白河郡矢吹町本町9番地
●電話／FAX	0248-42-2161／0248-42-2162
●URL	https://www.daikichi-sizengo.co.jp/
●代表者	代表社員　大木　雄太

●設立	1954年
●資本金	1,000万円
●従業員数	15人

「こんにちは料理酒」から発展した革新的な酒造り

「楽器正宗」は同社の伝統ブランドであったが、消費者ニーズの変化とともに販売が低迷していた。消費者のニーズは、「味」については、鮮度を重視した爽やかでフレッシュな味わいを好む傾向にあり、「価格」については、普段飲みができ低価格でありながら品質の良い日本酒を求めていた。そこで、同じく同社製品である料理酒の醸造技術を活用し、「楽器正宗」の製造プロセスの改善に着手。革新的な発想により、鮮度が高く、これまでにない新しい日本酒を低価格で販売することが可能となった。

復刻した「楽器正宗」

シャワー式冷却機による鮮度の向上と生産性の拡大

搾ったお酒への火入はお酒の価値を高める重要な工程である。通常は効率優先のため、単方式の熱殺菌充填方法（瓶詰と殺菌が同時）が採られるが、高級酒に限り、瓶詰と殺菌の工程を分離（瓶詰後に改めて湯煎での殺菌）する2段階方式を採用している。近年、清酒は酔う酒から嗜む酒へと変化し、2段階方式による高級酒手法が求められている。そこで殺菌のための湯煎の大型化と冷却のためのシャワー式冷却機の開発を行い、その結果、生産能力が2倍に拡大、鮮度も大幅に向上し、2段階方式への対応を実現できた。

開発したシャワー式冷却機

酒造り技術の伝承と人材育成

従来、蔵元は経営を、杜氏（季節雇用）は酒造りと分業するのが常であった。同社では品質向上と酒造り技術の伝承のため、社内杜氏による酒造りのデータベース化とそれを活用した生産体制へ移行。農閑期には、地元の農業者を造り手として養成し、社員との混成チームで酒造りを組織した。また、近年は経営環境の変化を感じ取る力が重要と感じ、消費者ニーズの把握、商品企画、計数管理を重視した「戦略的な酒造り」が実行できる組織構築とそれを成し得る人材育成を積極的に行っている。

酒造りの様子

株式会社ティー・エム・ピー

生産性向上 ものづくり

茨城県日立市

下請けは一切やらない生産設備の製造事業 課題解決力を持つマルチプレイヤーを育成

生産用設備の製造事業者として1982年に創業。独自のパーツフィーダーや軽量で高精度な直交ロボットを開発。産業用ロボットを完全オーダーメイドで製造・販売する。開発・設計から部品加工・組立・調整作業の全工程を内製化することで、取引先の課題解決ニーズに素早く対応している。「現代のからくり工房」をスローガンに掲げ、自動車・食品・衣料等の様々な業界において生産性を劇的に向上させる自働化・無人化装置を展開している。

●所在地	茨城県日立市大和田町645
●電話／FAX	0294-52-6981／0294-52-3640
●URL	http://www.tmp-jp.com/
●代表者	代表取締役　高橋　一雄

●設立	1982年
●資本金	5,000万円
●従業員数	40人

顧客の生産性を劇的に向上させる「現代のからくり工房」

精密なパーツフィーダー等の自社製品を活用し、更に画像処理装置や加工装置と組合せた独自のFA機器を開発。人手不足による顧客からの自働化・省力化要請を提案型で解決し、生産性向上に寄与している。また、顧客との直接取引を基本とし、アフターサービスは全て無料で行うことによって、取引先のニーズや要望をきめ細かく把握し、製品開発に活かしている。更に、同社はメーカーに部品や資材を納入する専門商社からも、助言を求められる機会が多く、こうした案件も受注基盤となっている。

自社開発のパーツフィーダー

企業城下町での独立経営

創業者である高橋一雄氏は、日立製作所のグループ会社のエンジニアとして勤務した後に独立。日立という企業城下町のなかで、「下請けは一切やらない」、「他社と同じようなものは作らない」という経営方針の下、自社製品の開発・設計・製造に取組んできた。そのため、同社は顧客の要望を白紙の状態から聞いて、製品を開発するといった提案型営業により他社との差別化を図ってきた。その結果、他社には真似のできない独自性のある製品や豊かな発想力・技術力を持つ人財を有している。

社屋にも「現代のからくり工房」

複数業務をこなし、課題解決力を持つマルチプレイヤーの育成

縦割組織の弊害を防ぐため、社員には「組織とは業務遂行上の役割分担であり、社員としての行動の枠ではない（社内にある全ての仕事が社員の仕事である）」ことを徹底して指導している。そのため、メイン担当以外の業務もこなせるマルチプレイヤーとして育成している。また同社では「NEVER GIVE UP（決して諦めない）」「仕事は自分で解決せよ」を理念に掲げ、個々の社員が自分自身で課題を発見して解決方法を考える文化を浸透させている。これにより、社員の課題解決能力の向上を実現している。

組立ての様子

株式会社エム・ディー精密

生産性向上 ものづくり

茨城県高萩市

最先端設備の積極的な導入で差別化
社内研究会で社員のチャレンジ精神を醸成

同社は、1998年設立の精密金型部品の製造加工事業者で、超精密順送プレス金型プレートの製作を得意とする。「超高精度」と「高耐久性」を追求し続け、プレス金型の企画、設計、試作、量産まで一貫した生産体制を構築し、多様化する顧客のニーズに応え続けている。ISO9001、ISO14001 認証を取得する等、高い技術力で高品質な製品を提供しながら、安全な管理体制と環境面に配慮した取組を実施している。

●所在地	茨城県高萩市上手綱3641-48
●電話／FAX	0293-23-8255／0293-23-8256
●URL	https://mdprecision.jp
●代表者	代表取締役社長　立原　賢治

●設立	1998年
●資本金	2,700万円
●従業員数	53人

設備導入で高品質製品の短納期化実現

職人の手作業で行っていた金型プレートの形状部に対する磨き作業に研磨装置を導入。従来の1/6の時間で研磨することが可能となり短納期化を実現した。また、同社は自社の業態に合わせた生産管理システムを構築。様々な情報を一元管理することで、管理事務作業を月間30時間削減した。システムの導入は、見積精度が向上する等の恩恵もあり、結果として受注率が約10%UPした。同社では高い技術とノウハウ、そしてそれらを活かせる設備を持ち、高品質・適正価格・短納期を実現できる体制が構築されている。

高精度金型プレートはピッチ精度±2μm

先端設備の積極的な導入により顧客ニーズに対応

金型プレートの加工工程のなかで、熱処理とワイヤ放電加工は、プレートの精度や耐久性といった品質を左右する、重要でかつ時間のかかる工程である。同社では、プレートの硬度を制御し経時変化による寸法変位を抑えて熱処理可能な設備を導入。変位を極小化する技術を確立して、完全内製化を実現した。また、最先端のワイヤ放電加工機を導入し、超高精度加工により、金型の高寿命・高精度化、さらには短納期化を実現した。これら先端設備の積極的な導入により、顧客評価が上昇、他社との差別化に繋がっている。

高精度加工が可能なワイヤ放電加工機

社内コミュニケーションの活性化によりチャレンジ精神を醸成

同社が、顧客の様々な要請に応えるためには、経験豊富かつ高い技術力を持った技術者の存在が不可欠である。そのため、同社では社内研究会や技術講習会を定期的に開催し、従業員同士が切磋琢磨できる環境を作っている。経営理念に「社員の幸せを通して社会に貢献する」ことを掲げ、若い技術者の意見も積極採用することで、より高い品質へのチャレンジや創意工夫がなされる、風通しの良い社風を醸成している。これらの取組は、社員の働きがいを高め、ベテラン社員と若い社員の交流機会の創出にも繋がっている。

丁寧に技術を伝承する様子

ペンギンシステム株式会社

生産性向上 サービス

茨城県つくば市

自社製フレームワークで生産性向上 IT企業では稀な働きやすい環境

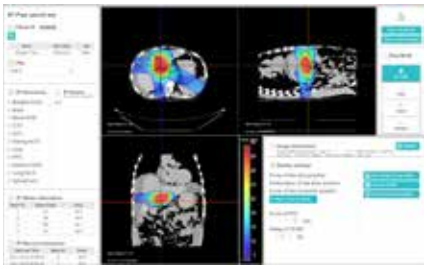
創業時から一貫して「研究開発支援のフルオーダーメイド企業」として、我が国の研究開発やイノベーションを支える研究機関等向けのソフトウェアを製作するIT企業。2006年に創業地の東京から研究開発の集中地である茨城県つくば市に移転。同地における雇用創出や地域での企業間連携にも積極的に取組んでいる。近年は救命訓練向け製品「救トレ」を開発し、海外展開にも積極的に取組んでいる。

●所在地	茨城県つくば市千現2-1-6 つくば研究支援センターCB10
●電話／FAX	029-846-6671／029-846-6672
●URL	https://www.penguins.co.jp
●代表者	代表取締役社長　仁衡　琢磨

●設立	1983年
●資本金	2,500万円
●従業員数	26人

スパイラル型開発により高難度研究開発オーダーメイドに対応

同社は国研・大学等での最先端研究向けのソフトウェアをオーダーメイドするという高難度のビジネスモデルを確立。このモデルは研究開発の特性上、仕様が曖昧で途中変更も多いという困難さを伴うが、同社はプロトタイプの提示や軌道修正の打合せを高頻度で行い、その工程を繰り返しながら質を高めていくスパイラル型開発により克服している。顧客満足度の高いサービスを提供し、研究者からは「高難度のオーダーメイドでは同社が随一の選択肢」という評価を受け、我が国のイノベーションを最前線で支えている。



最先端研究向けのソフトウェア

自社製フレームワークの構築で生産性向上を実現

オーダーメイド事業は品質と製作者の仕事量とが比例するモデルであり、同社も人手不足に直面した。そこで同社は、平成28年度にWebインタフェースを持つ独自のフレームワークを構築し、この利用によりオーダーメイドにおいて重要となる顧客の利用環境の多様性は担保しつつ、人手不足の解消と生産性向上を実現した。この結果、大幅な増員が困難となるなか、平成28年度/平成30年度比で売上高74%増を達成している。

ソフトウェア開発の様子

IT企業では稀な働きやすい環境で人手不足解消

同社は東日本大震災を契機に、時間単位及び半日単位の有給休暇制度を確立し、また、生活残業をなくすため残業代相当の時間分を手当で支給する等、他社に先駆けた働き方改革を実践。これにより、昨年度残業は月平均で8.6時間、有給休暇の取得率は65%となっている。なかには産休・育休を複数回取得して役職者として復帰した女性社員や育休を取得する男性社員も在籍している。なお、同社は2018年に厚労省ユースエール認定を受けたが、これは茨城県内で4社目、IT企業としては初のことであり、さらに同認定を翌2019年にも受けている。

ユースエール認定受賞時の様子

株式会社せき

生産性向上 ものづくり

茨城県ひたちなか市

市場ニーズを読み新商品を開発
専門性に富んだ人材の積極的な活用

明治42年、現在のひたちなか市で創業。以来、青果小売業、卸売業、青果加工工場と業態を変えながら、農業産出額全国3位の茨城県において、新鮮で安心して食べられる野菜を提供している。主力事業は、食品メーカー、スーパーマーケット、コンビニエンスストア向けの業務用加工野菜製造。主に地元産の野菜を原料にカット野菜を中心とした加工野菜を生産している。また、急速凍結機による冷凍野菜の製造・販売等も行っている。

●所在地	茨城県ひたちなか市平磯町18番地
●電話／FAX	029-263-3331／029-263-3332
●URL	http://www.kk-seki.co.jp/
●代表者	代表取締役会長兼社長　関　孝範

●設立	1909年
●資本金	3,000万円
●従業員数	475人

独自製法による「国産冷凍蒸し栗ペースト」を開発

茨城県は全国1位の栗の生産量を誇るが、県内には栗の大規模加工施設がなく、大半は生栗のまま出荷しており生産者の付加価値は高くない。また「中食」の定着化により「加工食品」の地位は確立されてきている。このような状況を踏まえ、同社石岡工場では茨城県産の栗100%を原料とした「国産冷凍蒸し栗ペースト」の製造販売に着手した。製造工程においては、同社の強みである「急速凍結機」を使用し、一般に用いられている緩慢凍結機に比べ、素材の鮮度を保持しつつ製品を加工できるといった特徴がある。

国産冷凍蒸し栗ペースト

製造加工工場の大規模改修による生産性向上・業務効率化

同社の栗ペーストは、大手チェーン店向けの大型受注が中心であり、年間約100トンの生産数量が見込まれている。このように長期安定した受注が見込まれるため、令和2年10月竣工予定で石岡工場の増改築を進めている。具体的には、7億円に上る大型投資により冷蔵設備の増設、及び製造ラインの拡充を図り、人的負担やコストの削減を実施して、大幅な生産性向上と様々な業務効率化を図る。また、各研究機関とは商品開発のための協力･連携体制を構築し、先進的研究に基づく消費者向けの商品展開等にも取組む。

石岡新工場のイメージ図

専門性に富んだ人材の積極的な活用による企業のブランド化

同社では、石岡工場増改築に合せ自社ブランドとなる新商品開発に向け、プロジェクト・チームを発足させる。また、大手食品メーカーのOBやスキルの向上を目指す中途採用者等、優秀な人材を積極的に採用し、商品開発力の向上に取組む計画である。また、本部のスタッフ部門では、金融機関出身者を積極的に採用して、企画運営力の向上、財務体質の強化等、高度で円滑な組織運営体制の構築にも取組んでいる。以上により、人手不足解消に加え、企業価値向上や競争力強化を行い、企業ブランドの構築を行っている。

研究開発の様子

株式会社宏機製作所

生産性向上 ものづくり

茨城県守谷市

三次元形状樹脂部品に加飾する新技術
定年を70歳に延長し人材活用

プラスチック成形やアッセンブリーを基に、自動車部品や業務用加湿器の製造・販売を行うものづくり企業。戦略的基盤技術高度化事業を活用し、三次元形状の樹脂部品にフィルムで加飾する技術「熱粘弾性加飾フィルム融着法」を開発した。この技術は自動車の外装部品に採用されている（加飾フィルムでは世界初）。また同社では、事業計画や財務内容を全社員で共有し、社内改革にも積極的に取組んでいる。平成30年地域未来牽引企業に選定。

●所在地	茨城県守谷市百合ヶ丘1丁目2411-2
●電話／FAX	0297-48-7251／0297-48-7252
●URL	http://www.kohki-ss.jp
●代表者	代表取締役社長　大賀　奉昭

●設立	1984年
●資本金	2,000万円
●従業員数	70人

技術開発を起点とした付加価値向上と生産の効率化

同社が開発した自動車外装部に活用できるフィルム加飾の独自技術は、従来の化学めっき法と比べて、コスト面や環境負荷が小さい等の競争優位性を有しており、近年増加している海外での生産部品との差別化が図られている。その結果、自動車への採用が決まり、国内での事業化に成功した。また、同技術の開発時に併せて開発された加工シミュレーションソフトにより、設計業務の効率化と加工の「見える化」が可能となり、また、ロボットによるレーザートリミング技術の開発により、生産の効率化も図られている。

金属調フィルムを用いたドアハンドル部品

風通しの良い社内環境づくりとIT活用で業務効率化

同社では、期初に事業計画や会社の財務状況などを発表する「事業計画発表会」をパート社員を含め全従業員で開催している。また「月次報告会」を行い、各部門計画の進捗確認や課題共有がなされている。さらに、生産管理システムの導入により、生産状況の「見える化」がなされ、スケジュール管理、業務効率化提案、日報等の情報もIT活用により、社内で共有されている。これらの取組により、全社員が情報を共有し、業務を効率的に推進できる風通しの良い職場環境が創出されている。

事業計画発表会

人材を育て長く働きやすい社内体制の構築

平成26年に定年を70歳に延長して豊富な経験を持つ人材の継続雇用を制度化。専門講師による「管理職向け働き方改革研修会」を開催する等、就業環境の整備に努めている。また、従業員の技術力向上や自己啓発を図るため、「教育訓練休暇制度」を導入し、セミナー等の受講料補助や、長期研修にも参加できる制度を整えている。さらに、各職場で「技能マスター表」を作成し多能工人材の見える化と、適正に合わせた習熟訓練の実施により、人材育成に取組みつつ、長期就労可能な社内体制構築にも取組んでいる。

いばらき生産性向上人材育成スクール

メークス株式会社

生産性向上 ものづくり

茨城県守谷市

短納期・高品質のユニット式基礎鉄筋の開発・製造・販売で、住宅建築業界に貢献

1985年に有限会社森山商事として設立。2000年にメークス株式会社に改称。オーダーメードでユニット鉄筋の割付、部材・部品の調達、積算作業を行い、高品質なユニット式鉄筋を短納期で提供する。ユニット式基礎鉄筋メーカーで唯一全国に生産拠点を展開し、日本の住宅用鉄筋市場でトップクラスのシェアをもつ。「エッチアイベース」等の新製品・新工法開発に尽力し、工事のコストダウン・短納期化により住宅建築業界に貢献している。

●所在地	茨城県守谷市中央4-10-9
●電話／FAX	0297-55-1611／0297-55-1612
●URL	https://www.i-makes.com/
●代表者	代表取締役　森山　雅明

●設立	1985年
●資本金	10,000万円
●従業員数	212人

ユニット式鉄筋で住宅建築業界の働き方改革に貢献

同社は、基礎鉄筋の配筋工程を短縮化できる製品「エッチアイベース(実用新案取得)」等の新製品開発や、溶接組立鉄筋システムである「BRS工法」及び、主筋を溶接しないユニット式鉄筋で、複配筋にも対応可能な工法「225°フック型STP工法(特許取得)」等の新工法開発に尽力している。同社製品により、コスト低減や建築現場工員の高齢化や人材不足等の住宅建築業界が抱える問題を解決するとともに、住宅自体の付加価値向上にも貢献している。

225°フック型STP工法(特許取得)

独自システムの構築・改善により生産性向上、短納期を実現

ユニット式鉄筋製造では、工程の入口となる図面の割付を行う積算作業の効率化が生産性向上のポイントとなる。同社は、必要となる部材の調達、割付を的確に指示するためのシステムを独自に構築し、常時、同システムの改善を行いながら、積算作業の効率化を図っている。これにより、ハウスメーカーからの受注後、速やかに見積りを出すことができ、最短3日以内という短納期対応を実現している。さらに、全国5か所に製造拠点を配置し、日本全国にユニット式鉄筋を迅速に納品している。

独自システムを使った積算作業の様子

高度専門人材として外国人を積極採用し、人材を多角化

2011年から2019年まで、インドネシア人12名、ベトナム人77名、合計89名の技能実習生を採用。ユニット式鉄筋の製造技術、積算業務等の同社基幹業務の技術移転を行い、将来、日本のユニット式鉄筋業界を支える人材の確保に努めている。また、外国留学生を卒業後に採用し、人材ソースの多角化を図っている。現地拠点のキーマンとして活躍できるようするため、インドネシア人を積算作業に重点配置し、独自システムを活用しつつ、的確な積算作業ができる高度専門人材として育成している。

外国人従業員との共同作業風景

株式会社丸山製作所

生産性向上 ものづくり

栃木県鹿沼市

長年の技術・経験で、処理が困難とされる有機性廃棄物の処理装置を開発・製造

同社は省エネルギー型有機性廃棄物処理装置「パグマ」シリーズの開発・製造・販売を行う。畜産系ふん尿等処理が困難とされる有機性廃棄物処理において、同社製品は高含水率廃棄物の処理が可能である。これまでに蓄積された、ものづくり技術や経験といった強みを活かした同社製品は、市場での評価が高く、取引先は全国の畜産農家や自治体等多岐に及び、受注も年々増加している。

●所在地	栃木県鹿沼市茂呂828番地
●電話／FAX	0289-77-7377／0289-77-7366
●URL	https://jec-ks.co.jp/
●代表者	代表取締役　丸山　敏

●設立	2013年
●資本金	1,000万円
●従業員数	12人

有機性廃棄物排出事業者の課題を解決できる製品の開発・製造

同社製品「パグマ」は、自社内の有機性廃棄物を焼却せずに、熱分解で減容させる省エネルギー型廃棄物処理装置である。同社独自開発の「特殊構造サイクロン式水槽」と「除害装置」により、廃棄物の保管や処理時に発生する臭いが除去されるため、市街地に設置が可能となった。また、処理中に発生する熱の再利用が可能であり、利用の幅が広がっている。積極的な産学連携の結果、付加価値が向上した同社製品は、全国から高い注目が集まり、「パグマ」導入の事業者に対し補助金を交付する自治体が増加している。

有機性廃棄物処理装置「パグマ」

需要が多く見込まれる地域に支店を開設し効率的な営業を展開

同製品は大型であるため、顧客による製品導入の検討では、現地に赴いて、デモンストレーションや設置場所の確認、設置費用の見積り等を行うことが不可欠であった。そこで、同社は受注が多い九州地域に支店を開設して、見積りから契約までの期間を大幅に短縮させ、中国、四国、九州地域への営業・サービスを効率的に行っている。これは、社員全員が営業・組立・設置工事までを一貫してできるといった同社の独自性によるものである。今後は北海道方面への支店開設も計画しており、一層の販路拡大を目指している。

会社概観

熟練技術者の採用、若手人材育成の工夫で自社を活性化

他社を定年された熟練技術者の雇用や異業種間の技術交流により、これまで外注に依存しコスト高となっていた「溶接工程」の完全内製化を図っている。また、社内勉強会を開催して若手技術者に技能を伝承し、現場の状況に応じた適切な判断ができる人材の育成にも取組んでいる。さらに、技術系出身者に限らず、幅広い多様な分野の人材を積極的に新規採用している。就労面では「働き方改革」による有給休暇の取得を促し、働きやすい環境づくりを進めて、従業員満足度向上に努めている。

内製化した溶接工程の様子

株式会社ペリテック

生産性向上 ものづくり

群馬県高崎市

4,000以上の開発実績で培われたノウハウで短納期・開発コスト削減を実現

同社は計測・試験用のシステム開発に特化したシステムインテグレーターであり、計測にかかわる様々な課題解決を目指す。同社の技術者の85%以上が「LabVIEW」認定技術者であり、航空宇宙、半導体、理化学、飛行機、自動車等の各産業における牽引企業を高度な設計・開発力で支えている。日本NI社アプリケーションコンテストでは、これまで5回の最優秀賞、優秀賞、部門賞等を受賞している。

●所在地	群馬県高崎市片岡町1-17-2
●電話／FAX	027-328-6970／027-322-7218
●URL	https://www.peritec.co.jp
●代表者	代表取締役　井澤　年宏

●設立	1985年
●資本金	3,000万円
●従業員数	42人

最先端技術の追求とノウハウにより短納期で顧客課題を解決

同社は、最先端技術の追求と4,000以上の開発実績により培われたノウハウにより、短時間で安定稼働が可能なシステム開発を行うことができる。例えば、気象観測システムの構築では、従来と比べて開発期間を1/2以下、開発コストを1/5以下で完成させることに成功した。また、モーションキャプチャを用いて職人の動きを収録し、その保存データをもとにロボット制御技術の提案を行い、職人の高齢化や技術承継といった顧客課題を解決している。

試験・計測システム・装置

自社開発の業務システムと社外システムを組合せ業務効率化

同社では社内の業務フローをシステムに落としこみ、内部統制を遵守した業務管理システムも開発・運用している。また、基幹システムを自社開発しているため、新規事業開始、海外展開、業務形態の変更等に迅速、かつ柔軟に対応している。さらに、社外の優れたシステムも積極的に導入し、IT利活用、プロセス改善等にも取組み、さらなる業務効率化に取組んでいる。

日本NIアプリケーションコンテストでの受賞

力量評価試験と表彰制度による実績評価・モチベーション向上

同社では、スキル評価試験を年3回実施し、個人の技術や能力を適正に評価しているが、同評価試験での成績優秀者や努力が認められる社員には報奨金を出している。また、月1回の全社員が集まる社員大会では、顕著な功績のあった社員を表彰して、モチベーション向上にも努めている。さらに、計測システムエンジニア育成プログラム「エムセップ」を自社開発し、社員の成長を後押しする取組も実施している。このように、同社には努力や実績を評価する社風が根づいており、30代で役職者に登用される社員も多い。

社員大会の様子

株式会社正田製作所

生産性向上 ものづくり

群馬県桐生市

同社独自の生産方式、IoTの活用で高品質・短納期・低コストを実現

同社は、試作開発から量産までを自社内で行う一貫生産体制で、自動車の足回り部品等、高い安全性が求められる製品を製造している。「狭い分野でも世界一」をめざし、究極の1個流しラインの推進、また、自前設備の組合せによる高難度加工に取組み、高品質・短納期・低コストを実現している。IoTを活用した生産状況の「見える化」、働き方改革にも着手し、2017年経済産業省より「地域未来牽引企業」に認定されている。

●所在地	群馬県桐生市新里町板橋320-1
●電話／FAX	0277-74-2421／0277-74-5136
●URL	http://www.shodass.com/
●代表者	代表取締役会長　正田　勝啓

●設立	1952年
●資本金	9,900万円
●従業員数	187人

自前設備を最大限活用した高難度加工や軽量化ニーズへの対応

同社は、90%の稼働率、60%のファンクションタイム、手扱い1工程4秒、1個流しという基本姿勢を貫く、SPS(SHODA Production System)を確立し、自前設備で高難度の加工にも対応可能な生産体制を構築している。その結果、顧客の依頼に迅速に対応でき、量産化までのリードタイムや設備投資を圧縮し、短納期と低コストを両立させている。また、自動車部品において注目を集める軽量化技術においても、薄肉化、一体化、材料置換え等の幅広いアプローチによって、軽量化と機能性の両立を図っており、高付加価値化への取組を促進している。

軽量化と機能性を両立した自動車部品

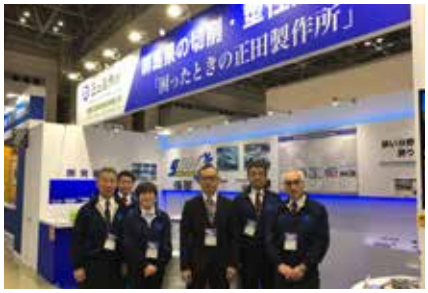
IoTを活用した生産状況の「見える化」

2016年に「IoTによる中堅・中小企業の競争力強化に関する研究会」(経済産業研究所)への参加をきっかけにIoT化を促進。2018年には製造ライン遠隔モニタリングシステムを設置し、稼働状況、生産実績、時間あたり生産数、稼働時間等をリアルタイム、かつラインごとに確認できるように「見える化」をした。また、クラウド上に保管・集約された生産実績のデータにより、担当者は随時生産状況を把握することができる。

IoTを活用した製造現場

女性や高齢者が柔軟に働ける生産システム構築への挑戦

IoTを活用した生産状況の「見える化」を発展させ、女性や高齢者が空き時間や自分の好きな時間に働ける出退勤システムの構築に挑戦している。ラインごとの生産状況に応じて作業者募集の情報をスマートフォンに流し、それを見て登録者が出勤予約をするという「自律的出勤型」の仕組である。女性や高齢者でも対応可能な生産工程構築とIoTの活用により、生産効率の向上と柔軟な働き方の両立をめざしている。



狭い分野でも世界一をめざす技術屋集団

鈴木工業株式会社

生産性向上 ものづくり

群馬県太田市

業務プロセスの徹底したIoT化と産学官連携で、製造技術・生産性を向上

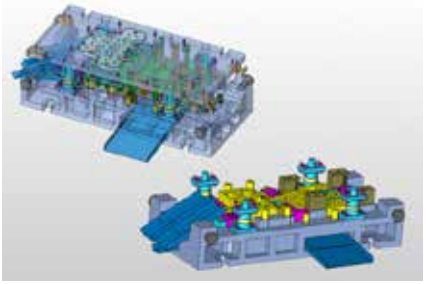
同社は、主に自動車用プレス金型の設計製作を行う金属用金型の製造メーカーである。地域の製造業においていち早く情報化に取組み、金型生産プロセスにIoTを積極的に活用して、高い生産性を実現している。また、競合他社に先駆けてプレス成型の解析技術を導入し、高品質な製品を短納期で納入している。さらに、群馬県産業技術センター等と連携して社内のIoT化を推進し、生産プロセスの省人化に取組んでいる。

●所在地	群馬県太田市西新町135-8
●電話／FAX	0276-33-9533／0276-31-9501
●URL	http://www.suzuki-kg.com/
●代表者	代表取締役社長　鈴木　翔太

●設立	1964年
●資本金	1,000万円
●従業員数	30人

加工の難しい超ハイテン材用金型の超短納期製作に挑む

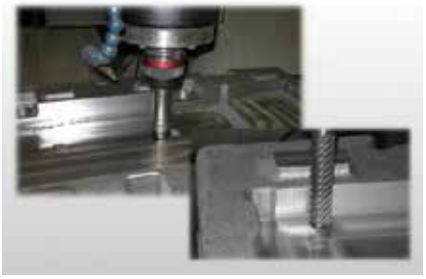
次世代自動車であるEVを普及するためには、難加工材料である超ハイテン材を用いた軽量化が必要であり、プレス金型の製作技術の革新が求められている。同社は、経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業に採択され、プレス金型の超短納期(従来4ヶ月を2ヶ月に短縮)での製造に取組んでいる。世界最大規模の金型ユーザーをアドバイザーとして、各要素技術の専門家と連携しながら、大企業でも難しい業務プロセスの徹底したIoT化を実現し、短納期要請にも対応可能な技術力の向上を図っている。



3次元設計の導入による生産性向上

産学官連携によりIoT活用を促進し、生産性を向上

図面の電子化によるペーパーレス化、CAE解析結果の金型設計への活用、加工への3Dモデルの活用、離れた工場の遠隔地監視等、IoT活用により省人化を図り、創出した労働力の有効活用がなされている。また、産学官と連携し、新たに①切削加工における振動や切削抵抗に着目した状態監視技術、②5軸加工機とロボットあるいは機外段取を組合せた自動加工技術、③AI搭載加工機の最適加工条件を分析し、得られた情報を既存の加工機に適用する等、生産性向上に向けた取組を継続的に行っている。



鋳物1次加工の無人化によるコスト削減

女性・シニア・外国人など多様な人材を活用

同社は、女性、シニア、外国人の登用にも積極的であり、太田市が主催した「おおた子育て支援就職面接会」では5名の女性を採用している。また、子育てへの配慮やIoT活用により時間外労働を削減する等、ワークライフバランスを推進している。さらに、シニアを2名雇用し、IoT化で熟練作業者の高度な技能の標準化や水平展開にも取組んでいる。太田市は南米出身者やその2世が多く居住する地域であり、南米出身3名の外国人の採用や外国人研修生を受入れる等、多様な人材の確保に努めている。

CADで作業をする女性社員の皆さん

株式会社タイヨー

生産性向上 ものづくり

群馬県みどり市

IoTを活用し、生産性向上と高度な切削加工技術の承継を実現

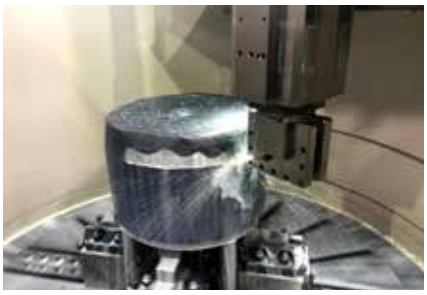
同社は、航空機、船舶、原子力・火力発電所向け大型金属部品の精密加工を行う特殊金属切削加工メーカーで、超耐熱合金等の難加工材料製の鍛造品を高能率で切削加工する技術を有する。同社製品は、航空機用エンジン部品等の高い安全性が必要な設備等に使用され、今後の成長が見込れる航空宇宙分野において、重要なサプライチェーンの一角を担う。また、これまでの取組が評価され、2018年に地域未来牽引企業に選定された。

●所在地	群馬県みどり市大間々町浅原1458番地
●電話／FAX	0277-72-3860／0277-73-6455
●URL	http://www.sunfield.ne.jp/~tyo3860/taiyo/index.html
●代表者	代表取締役社長　川合　義一

●設立	1973年
●資本金	3,000万円
●従業員数	38人

熟練作業者のノウハウを見える化し、技術承継を推進

同社が加工する鍛造品は、異形形状で硬度のばらつきがあるため、素材にあわせた加工条件が必要となる。同社では、これまで熟練作業者の経験によって行われていた加工を、複数のセンサーを用い、その判断基準のデータ化・見える化に取組んでいる。このように、同社独自のデータベースを作成することで、効率的に技術の承継が図られ、高齢化や人手不足の課題を解決するとともに、製品の付加価値を向上させている。



鍛造品の切削加工現場

IoTの活用で、多台持ちと加工の自動化・無人化を実現

同社では、IoT活用により、加工ライン設備と測定機をLANで接続し、生産に有益な情報を見える化して生産性向上に取組んでいる。例えば「あんどん」によって、加工機の稼働状態と残り加工時間を表示し、次の作業を明確化している。この仕組により、従来は加工機1台に作業者1人の付帯が必須であったが、加工機の多台持ちと加工の自動化・無人化が可能となる等、業務効率化に繋がっている。さらに、1工程での評価結果を次工程での加工条件にフィー ドフォワードする手法を体系的に構築する等、革新性・優位性を有している。

「あんどん」による業務の効率化

新人教育体制を確立し、多能工を育成

同社では、熟練作業者の判断基準のデータ化・見える化により、新人作業者が早期に技術を獲得できる体制を構築している。また、積極的にジョブローテーションを行い、多種の加工ができる多能工の育成を図っている。さらに、地域の工業高校から積極的に新規採用を行い、地域社会の維持可能な発展にも貢献している。資格取得支援制度の充実、OJT、現場ごとの仕事目標の立案等により、モチベーションや能力向上を促進し、初めて社会人となる学生に定置しやすい環境づくりをすることで低離職率を実現している。

新人教育の様子

株式会社タツミ製作所

生産性向上 ものづくり

群馬県みどり市

最新設備導入と高度な加工技術開発で、お客様のニーズに応える金属部品メーカー

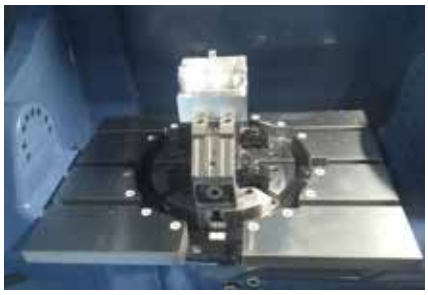
同社は、今年で創業51年になる自動車や産業機械分野の金属部品加工メーカーである。マシニングセンタ19台とNC旋盤20台を保有し、多工程の製品において高精度で高品質な加工で顧客から高い評価を得ている。また、2001年にはISO9001を取得し継続的改善による生産技術の高度化に努めている。この取組が評価されサプライヤ表彰を受けたことが社員の士気向上につながり、新規受注獲得の原動力となっている。

●所在地	群馬県みどり市大間々町大間々379-4
●電話／FAX	0277-73-5191／0277-73-0364
●URL	https://tatumi-ss.co.jp/pub/company.html
●代表者	代表取締役　赤石　康生

●設立	1979年
●資本金	1,000万円
●従業員数	15人

高精度な加工技術の開発により、顧客の望む高品質を実現

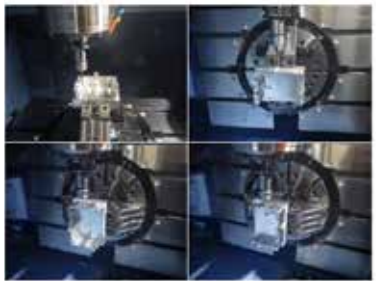
自動運転用制御器では、高い加工精度が要求され、加工中のワークの変形抑制が重要となる。変形しやすい薄肉製品の加工精度を向上させるため、群馬県産業技術センターの助言のもと、変形を抑制するための固定方法と加工条件について加工実験を繰返すことで最適化を実現した。また、高精度な加工技術を支える5軸加工機の活用では、三次元測定機で制作した基準ゲージで加工機の静的誤差を把握し、適切なプログラム修正やメンテナンス時に活用することで、他社に勝る加工品質を実現している。



最適な固定方法、加工方法実現のための実験

最新設備導入で生産プロセスの属人的作業を効率化

次世代自動車開発では様々な試作品を高い加工精度かつ短納期で納めることが求められる。同社では、5軸加工機によるワンチャックで加工を完結させる技術を開発し、多工程の加工プロセスにおける手作業での段取替を不要とした。また、EVの試作開発で求められる大型金属部品の高精度化と品質保証のための全数検査に対し、CADモデルベースの測定手法と首振りプローブにより、属人的作業を削減し業務を効率化した。これらの技術開発や生産プロセス革新で、他社に勝る品質、納期、コストを実現している。



5軸加工機におけるワンチャック加工

従業員を「人財」として捉え、高度加工技術者として育てる

同社が高い評価と信頼を得ている精密加工は、従業員の技術力あってのものである。そのため、従業員を「人財」として捉え、従業員一人ひとりが高度加工技術者として成長できるよう技術研修参加の機会を設けるとともに、従業員が自ら考え行動できるよう指導している。また、先端設備の積極的導入により段取替え等のムダ時間を短縮させ、多能工化の促進により機械の多台持ちを可能とする生産体制を整備し、生産性の向上を図っている。

従業員の技術研修

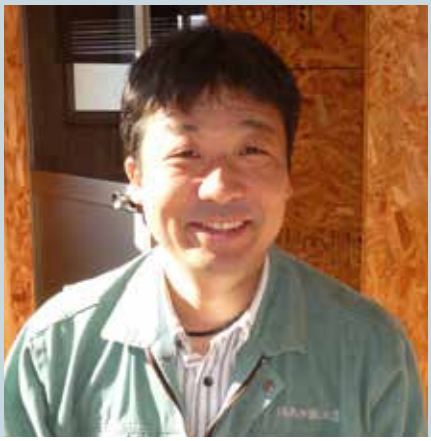
有限会社天ヶ瀬工業

生産性向上 ものづくり

埼玉県飯能市

「美しい製品」づくりをテーマに、確かな技術で高品質な金属加工製品を提供

同社は創業以来一貫して、製品の筐体、搬送機、部品加工等、金属製品の開発、設計、製造を行っている。「美しい製品」づくりへの真摯な取組をテーマとして、お客様とのコミュニケーションを大切にしながら、徹底した検査体制のもと、信頼できる製品づくりに取組んでいる。2004年にISO9001を取得し、2009年には彩の国指定工場にも認定された。また、補助金等を活用した積極的な設備投資により生産性向上を図っている。



●所在地	埼玉県飯能市赤沢727番地1号
●電話／FAX	042-977-0464／042-977-0247
●URL	https://www.amagase-kk.co.jp/
●代表者	代表取締役　天ヶ瀬　和弘

●設立	1973年
●資本金	300万円
●従業員数	32人

パイプ穴あけ加工の加工時間短縮による付加価値向上

同社はものづくり補助金を活用した先端設備導入を積極的に行い、差別化、競争力強化による付価値向上に取組んでいる。レーザー加工機の1台増設で余力が生じた際には、既存の機械加工機で10分/回を要していたパイプの穴あけ加工をレーザー加工機を用いて数秒/回の加工を実現した。パイプの穴あけ加工は多品種の製品で必要な工程であり、レーザー加工機導入後は飛躍的に生産性が向上したことから、同社の総加工時間を5%以上削減することができ付加価値向上につながった。

レーザー加工機でのパイプ穴あけ加工

受注管理システム導入による業務効率化

見積り、受注、出荷、請求、集金までの流れを一元管理できる独自の受注管理システムを、約1千万円の投資と1年半の期間をかけて開発し、令和元年に導入した。業務課と生産管理課のシステムを連動させ、どの部署からもすべての情報が把握でき、製品時の情報をリアルタイムに確認することができる等、これまでエクセルで行っていた業務を大幅に効率化した。システム導入により受注管理にかかる業務量が30%以上減少し、業務部門の残業時間はもちろん、会社全体としての残業時間が大きく減少した。

独自に開発した受注管理システム

高齢化や人材不足等の課題をダイバーシティ経営により克服

同社は、従業員を一番大切と考え、従業員がやりがいを持って働けるよう、一人ひとりの性格や能力を適正に判断して、適材適所に配置している。近年の高齢化や人材不足等の課題に対しては、高齢従業員や他社を定年退職した人材、外国人等の採用に加え、女性若手従業員に責任のある業務を任せて女性活躍を積極的に進めている。また、勤務時間や定休日を変更する等の働き方改革を推進して、作業効率の向上や働く環境の整備を行い、さらには、OJTによる技術伝承にも力を入れている。

新入社員が受講するKeyToMeセミナー

ナチュラルクリーン株式会社

生産性向上 サービス

千葉県君津市

特殊水洗いと高度なメンテナンスで全国に顧客を持つウォータークリーニング専門店

同社は、地下400メートルから汲み上げた天然水を使った特殊水洗いによる高品質のウォータークリーニング専門店である。また、シミ抜きや染色補正、かけつぎ等のメンテナンス評価が高い。衣類の他、革製品やドレスや着物等も取扱い、その復元技術は度々テレビで紹介されている。都内の日本橋三越本店、伊勢丹新宿店メンズ館等にも店舗を持ち、顧客は全国に及んでいるが、地元には恩返し価格でウォータークリーニングを提供している。

●所在地	千葉県君津市外箕輪2-10-1
●電話／FAX	0439-57-2611／0439-52-8978
●URL	http://www.naturalclean.co.jp/
●代表者	代表取締役　山田　幸雄

●設立	1972年
●資本金	5,550万円
●従業員数	36人

衣類やバッグ等、本来の姿を復元するお医者さんとしての役割

同社は、クリーニング以外にもバッグや靴等の「想い出の時を戻してほしい品物」の復元も行っており、全国から依頼が集まる。例えば、「亡き母が80年前に手作りしてくれた刺繍入りペンケースの復元」という依頼に対し、「想いを込めて縫われた糸は解かず、細かいシミ抜きを繰り返し復元する」といったサービスである。長く使用して様々なダメージを受けた衣類や愛用品を、洗いやシミ抜き、染色補正、修理やかけつぎ等により、本来の形に復元する仕上げ技術で、同社ならではの付加価値を提供している。

復元したバッグ

機械化と人財力向上による処理時間短縮で生産性向上

22年間に及ぶ高級ブランド製品の水洗い経験で得られたノウハウと職人の復元技術が、同社のサービス提供を可能にしている。手間がかかるウォータークリーニングの生産性を高めるため、職人が、入荷、検品、見積、洗い、仕上、出荷の各工程を短時間で処理し、短納期対応がなされている。これにより、入荷サイクルが短くなり売上向上に繋がっている。また、パーツごとの専門のプレス機とハンドプレスを併用し、職人誰もが、短時間で高品質の仕上りを実現できるよう日々研鑽を重ねている。

職人によるクリーニング作業の様子

女性従業員の活躍を支える技術・人間性向上への取組

同社は全従業員の7割が女性であり、数多くの女性従業員が活躍している。毎日スタッフ全員のミーティングを実施し、クリーニング技術の向上だけでなく、人間性の向上に取組み、「日々の生活の中で相手の立場に立ち、やさしさ、親切、思いやりを発揮できることが人生の基本であり、同時に接客の基本である」と学んでいる。また、洋服の製造や美術品の復元、レザーのケア等のそれぞれの第一人者を招いて講習会を行い、高いレベルの技術に触れることで自分たちの技術を向上させるような取組も行っている。

従業員参加の講習会

株式会社ヒット

生産性向上 サービス

東京都中央区

デジタルLEDボードを中心に新サービスを開発提供し、屋外広告業界をリード

同社は、創業以来業界をリードし顧客目線の斬新な発想力で様々なサービスを開発提供している屋外広告業者で、渋谷ハチ公前400㎡LEDビジョン等競争力の高い掲出用物件を保有している。新規事業として平成24年に事業化した巨大LEDビジョンによる看板広告では、複数広告主との同時期契約が可能で、切替等のメンテナンスが容易で、低コストと高収益性を実現し、渋谷ハチ公前を皮切りに積極的な事業展開を行っている。

●所在地	東京都中央区銀座7-14-14　GINZA7ビル
●電話／FAX	03-3543-7771／03-3543-2811
●URL	http://www.hit-ad.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　松丸　敦之

●設立	1991年
●資本金	2,950万円
●従業員数	66人

積極的な設備投資やサービス開発で日本の屋外広告業界を牽引

国内の屋外看板業界は比較的小規模な事業者が多いが、いち早くデジタルLED化に取組み、同一デザインの連続放映ができるネットワークボードの設置を実現する等、積極的な設備投資やサービス開発により業界を牽引している。また、屋外ビジョンの放映動画は、インターネットを介した放映システムを採用し、遠隔での広告素材のコントロール、露出量や広告素材の細かな調整にも対応している。また、顧客が放映画像をいつでも確認できるようWEBカメラのネット回線を開放する等、高い付加価値を提供している。

渋谷ハチ公前400㎡LEDビジョン

アナログ看板のデジタル化推進とさらなるIT活用への取組

メインの提供媒体をアナログ看板からデジタルLEDビジョンへ転換し、アナログ看板で発生していた広告物の製作費用や現状回復費用を不要とすることで、顧客の大幅なコスト削減を実現。出稿準備期間も短縮し、顧客の広告に対する投資効率も高めている。また、インターネットを活用した放映システムの導入で自社・顧客ともに広告掲出に係る大幅な工数軽減を実現し、業務の効率化を図っている。さらに、広告出稿のための工数を現状よりも軽減するため、出稿フローのオンライン化や自動化にも取組んでいる。

多数のデジタルボードをIT管理

サービスへの認識を容易にして、経験の浅い社員を短期戦力化

屋外広告業界は、テレビCM業界やインターネット広告業界と比べて、古い業界と思われやすく、求人募集においても採用に苦労していた。同社は、自社の媒体を、「日本一の大きさ」「渋谷スクランブル交差点に位置する」等、売り手、買い手にとってのわかりやすさをアピールし、専門知識がなくても販売できるサービスと認識されている。それにより社員の安心感が醸成化され、経験の浅い社員を短期戦力化するとともに、採用では、社員紹介制度を創設しそのインセンティブ効果等により人材確保がなされている。

経験が浅くても活躍する社員たち

株式会社リディアワークス

生産性向上 ものづくり

東京都墨田区

ファブリックサインの常識を変えた「LUFAS」をブランド化し事業を拡大

同社は、広告看板、サインシステムの製造・施工業者である。デジタルサイネージは導入コストが高く、バナーやタペストリーは外光がないと見えづらい、紙のポスターは破損しやすい、という課題を解決する内照式広告看板システム「LUFAS」を自社開発し、国内外の市場を開拓している。「LUFAS」は看板の取付、取外しの容易さや、環境負荷削減、職人不足解消、安全性等の面が高く評価されている。

●所在地	東京都墨田区立川3-6-5 3F
●電話／FAX	03-6659-5215／03-6659-5217
●URL	http://rideaworks.com
●代表者	代表取締役　小林　史人

●設立	2010年
●資本金	1,000万円
●従業員数	14人

グッドデザイン賞ベスト100を受賞しブランド力を向上

同社の開発した電飾ファブリックサインシステム「LUFAS」は布製の印刷物に帯状のラバーを縫製し、フレーム枠周囲の溝に差込むだけで簡単に取付できる商品である。一度フレームを導入した後は印刷物の取替が容易であることから、顧客からの評価が高く、その結果リピート受注が増加して、収益性向上に繋がっている。また、シンプルなデザインも高く評価されており、「2019年度グッドデザイン賞ベスト100」を受賞したことで製品ブランド力が向上し、売上拡大にも繋がっている。

LUFAS®－ルーファス－

社内のIT化による情報共有化で業務の効率化を実現

同社は、見積から納品までの一連の業務プロセスにおいて、情報の共有化による業務改善を進めるため、営業支援システムである「Salesforce」の導入を決定した。ITコーディネータ、ITベンダーとチームを組み、2020年初頭の運用開始を目指し、同社の業務にとって最適なシステム構築を進めている。社内のIT化を進め、PC入力作業の負荷軽減や情報の一元化、見積書の記載項目の平準化等を実施し、業務の効率化を目指している。

営業支援システム導入 打合せ風景

「LUFAS」事業の拡大に向けた専任スタッフの育成

従来は「印刷～施工までの一貫したビジュアル装飾」事業が売上の大半を占めていたが、現在は「LUFAS」事業の拡大により、同事業は全体売上の約7割に達している。今後、同事業のさらなる拡大を見据え、事業の選択と集中を図るべく専任スタッフの育成に力を入れている。また、「LUFAS」の製造から施工までを一貫対応して、生産性の向上を図るとともに、専任スタッフを中心に新しいラインナップ商品等を開発して、顧客に永く「LUFAS」を選んでもらえる仕組作りにも取組んでいる。

「LUFAS」を活用した空間事例

株式会社アオアクア

生産性向上　サービス

東京都江東区

働きやすい環境づくりで優秀な人材が集まる医療と介護に特化した事業所

同社は、城東地区を中心に訪問看護リハビリステーション、居宅介護支援事業所、福祉用具事業所を展開している。看護師、リハビリ、ケアマネ、福祉用具専門員、医療事務等の医療福祉分野の経験スキルを持つ約100人の専門スタッフが、利用者に合った最適なケアプランを考え、必要なサポートを24時間365日体制で提供している。さらに地域医療機関と連携し、より良い在宅医療と高いサービス提供の実現により、利用者数が毎年増加している。

●所在地	東京都江東区大島8-5-1 N&Hビル4階
●電話／FAX	03-5628-6120／03-5628-6140
●URL	https://aoakua.net/
●代表者	代表取締役　井上　晴貴

●設立	2011年
●資本金	950万円
●従業員数	96人

社員の目的意識を高め、モチベーションアップで生産性向上

同社は、社員一人ひとりが自己分析と年間自己研修計画を策定して、目標を明確にすることでモチベーションの向上を図っている。また、チーム単位で利益獲得を競うしくみを導入し、個々の競争を促すとともに利益に対する意識を高め、生産性の向上を図っている。さらに、同社では残業の抑制や様々な節約の取組に対してポイントを付与しているが、同相当額を毎月外国の孤児に寄付する制度を設けている。社内では、孤児の写真等を掲示し、社員の経費削減に対する意識と社会貢献に対する意識を高めている。

支援している孤児の写真の掲示

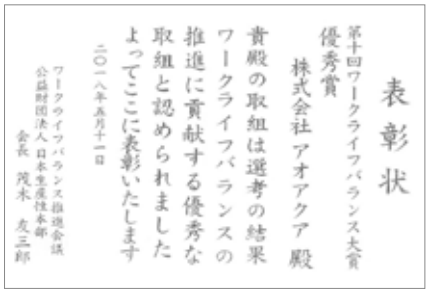
ICTの活用と個人のスキルアップにより業務効率化

同社では、電子カルテやクラウドシステムの活用による各営業所との情報共有により、効率的な業務運営がなされている。なお、音声入力を導入した電子カルテの活用により、厚生労働省委託事業・日本看護協会の「看護業務の効率化・先進事例アワード2019」のAI・ICT等の技術の活用部門優秀賞を受賞している。また、個人スキル向上のための制度では、外部研修費用の全額支給がなされ、先輩社員との同行訪問での実務指導や症例検討等、徹底した個人教育によるスキル向上を図っている。

電子カルテシステム

積極的に休暇取得を促す働き方改革を推進

同社は、有給休暇消化率100%、年間休日130日以上、休日管理表のクラウド上での可視化等、休暇取得を積極的に促す働き方改革を推進しており、「日本生産性ワークライフバランス大賞」や「東京ライフワークバランス賞」を受賞している。外部からも働きやすい職場と認識されており、働きたい人が自然と集まってくる状態である。その結果として、適正な従業員数が確保されており有給取得を推進できる好循環サイクルが構築されている。また、高齢者人材の活用でも、70歳以上のパート採用も行っている。


表彰状

第十回ワークライフバランス大賞
優秀賞
株式会社 アオアクア 殿

貴殿の取組は選考の結果
ワークライフバランスの
推進に貢献する優秀な
取組と認められました
よってここに表彰いたします

二〇一八年六月十一日

ワークライフバランス推進会議
公益財団法人 日本生産性本部
会長　茂木　友三郎

ワークライフバランス大賞の表彰状

岡田鈑金株式会社

生産性向上 ものづくり

東京都大田区

多様な顧客ニーズに応える自社内一貫生産 加工設備を一元管理するシステムの導入

1923年創業の岡田鈑金株式会社は、1949年より現在の本社（東京都大田区）にて板金業を営む。その後、多様化する顧客ニーズに応えるため工場を茨城県に移転。「スピード対応」「柔軟性」を重視し、社員一丸となって顧客満足度の向上を図る。現在は、工場の規模を拡大し、設計から塗装・組立にも対応し一貫生産体制を構築している。また、工作機械メーカーと連携し、最新技術を取込み、さらなる生産効率の向上に努めている。

●所在地	東京都大田区新蒲田1-22-18
●電話／FAX	03-3734-7101／03-3735-7218
●URL	http://www.oban.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　増田　武夫

●設立	1952年
●資本金	1,000万円
●従業員数	150人

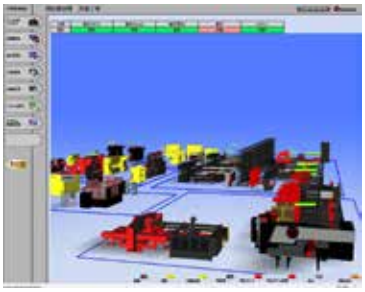
顧客の多様なニーズに応える社内一貫生産体制を実現

顧客ニーズに合わせ、生産効率の向上を実現するべく最新設備の導入を行ってきた。さらに、これまでの板金加工に留まらず廃業を検討していた大田区の製造事業者の協力も得て、その設備と技術を同社工場に移転することも行ってきた。これらの活動の結果、工場敷地は60,000㎡に拡大し、設計・精密板金・プレス・塗装・シルク印刷・組立・保管まで一貫生産が可能となった。現在では、さらに無人運転・省力運転を進め、24時間生産体制を実現。これらを付加価値とし顧客より高い信頼を得ている。

高効率生産を実現する同社の最新設備

加工設備を一元管理するトータルネットワークシステム

急ぎの注文にも対応できる柔軟で高効率な生産を実現するために工場別・設備別に生産する体制を構築している。そして、それを支えるために工場内の加工設備の稼働状況を一元管理するトータルネットワークシステムを導入。万が一、加工設備に不具合が生じた場合でも、同社の事務所で即座に対応が可能となっている。また、本システムは工作機械メーカーとも繋がっており、遠隔操作で不具合調整等が可能である。同社製品の品質、納期、コストを高度に管理する本システムは他社に対して優位性を持っている。



加工設備を一元管理するシステム

熟練工による精密板金加工と若手社員への技術継承

同社は充実した最新設備に加え、熟練工の板金加工も得意としている。最新設備と熟練工の高い技術力を融合することで、他社では困難とされる難易度の高い製品に積極的に取組んでいる。特に溶接など技術レベルの差がそのまま品質を左右する製品においても寸法精度を確保しつつ高品質仕上げを可能としている。また、熟練工と若手社員との技術の継承にも積極的に取組んでおり、研修会等により人材育成を行っている。こうして、顧客の様々な要望に応えられるよう日々技術レベルの向上を図っている。

熟練工による若手社員への技術継承

ジー・オー・ピー株式会社

生産性向上 ものづくり

東京都渋谷区

現場の声を安全な製品づくりに活かす 製品の個体管理で現場の正確な数を把握

建設用仮設機材の開発・製造及びレンタル・販売事業を行うジー・オー・ピー株式会社は、3つのZERO「事故ZERO・修理ZERO・滅失ZERO」を目指し、現場第一主義かつ高品質な製品で、安全を提供する成長企業である。同社の製品は、グッドデザイン賞を9回受賞（2009年～2015年、2018年、2019年）。また同社は、攻めのIT経営中小企業百選（2017年）など多数の表彰を受けている。

●所在地	東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエア13F
●電話／FAX	03-5534-1800／03-5534-1805
●URL	http://www.gop.co.jp/
●代表者	代表取締役　千田　豊治

●設立	1981年
●資本金	1,000万円
●従業員数	87人

顧客ニーズを自社製品開発に反映した高収益ビジネスモデル

同社は貸出先の建設現場で半年ごとに無償で製品数と使用状況点検を行い、現場の職人たちの生の声・ニーズを把握。それらを自社開発の製品に反映し、他社と競合しないオンリーワン製品を造ることで市場における価格主導権を獲得している。さらに同社の取扱エリアは関東圏中心であるが、全国には代理店制度を通じて販売先を限定。すべての顧客に品質と安全性を担保し、サービスレベルを維持することで、高い信頼性と顧客満足を得た結果、高単価×高稼働で、高収益なビジネスモデルを実現している。

現場の声から生まれた主力製品

ITを活用した個体管理による業務効率化と提案型営業の実施

QRコードやICタグをすべての製品に取付け、個体管理を実施。リアルタイムで使用期間・貸出先の会社や現場が特定でき、管理の簡略化と滅失防止を図っている。また個体管理データベース構築によってユーザー側からアプリを利用して使用業者の変更や棚卸作業が可能となり業務効率化を実現している。加えて、従来、熟練の作業員が手作業で作成していた仮設資材の山積み表を自動作成するシステムを考案し、現場での正確な適正使用量を把握したうえで顧客ニーズを先取りした提案型営業が可能となった。

QRコードで全製品の個体管理を実施

働き方改革を実践して、前期比146%の売上増を達成

2018年度より全社員が1か月連続休暇を取得できる制度を開始。プライベートの充実を図るとともに、社員の自己啓発を促すため会社より一時金を支給した。さらに、休暇取得者の業務引継ぎを確実に行うため、業務のIT化と「一人二役」がこなせる多能工化を推進。現場ではタブレットとQRコード読込リーダーを活用して、営業担当やSGコスモス（女性チーム）も点検活動を実施できる環境を整備した。こうして、働き方改革を実践し、社員の生産性を上げることで、売上は前期比146%を達成した。

働き方改革を実践し、活躍する同社の社員

エスエスビジネスフォーム株式会社

生産性向上 ものづくり

東京都荒川区

用紙の高機能化による付加価値向上 インターネット販売サイトによる顧客獲得

エスエスビジネスフォーム株式会社は、1974年会計システムコンサルティング業で創業、現在は伝票帳票類の印刷製本が主な生業である。1990年代以降に伝票印刷物の需要低迷が続き経営に苦慮するも、現代表者への事業承継を契機に、下請けからの脱却を目指して商品開発やインターネット販売に着手、大幅に業績が改善する。2019年には、同業他社をM&Aして業績をさらに拡大、東京都の経営革新優秀賞「最優秀賞」を受賞する。

●所在地	東京都荒川区東日暮里2-38-8 SSビル3F （工場：埼玉県所沢市亀ヶ谷426-1）
●電話／FAX	03-3801-7881／03-3801-7896 （工場：04-2936-8473／04-2944-6419）
●URL	http://www.ssbf.co.jp/
●代表者	代表取締役　酒井　雅志

●設立	1983年
●資本金	1,000万円
●従業員数	22人

ロットの大小に対応し、ワンストップで直販を行う

同社の売上の7割を占める商品は、「ミシン目入り用紙」である。2017年に最新型ミシン目加工機を導入したことにより、作業手順が異なる大ロット（巻取ロール紙からの連続作業）から小ロット（用紙1枚ごとの単発作業）まで受注することができ、かつ、ミシン目加工～印刷をワンストップで直販を行う国内唯一の製造業者となった。また、同社はノーカーボン紙に独自の技術を加え、顧客が自ら印刷する方法をインターネットにて情報発信を行うことで、様々な業種・規模の新規顧客の獲得に繋げた。

同社が導入した最新型ミシン目加工機

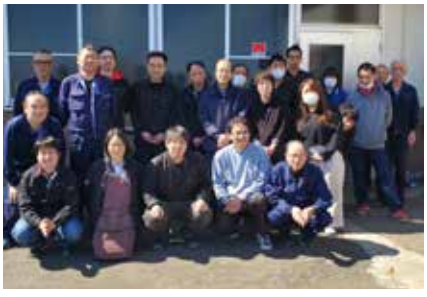
ユーザーの声を反映したインターネット販売サイトの運営

2015年に各種プリンター用紙のインターネット販売サイト「用紙Labo」を開設。これに伴い、自社製の販売管理システムを構築し、業務効率化を図る。加えて、「レビューを書いたら5%クーポン進呈」など、絶えずユーザーの意見を収集、サービス等の改善に取組んでいる。また、顔が見えないインターネット販売で最も重要な要素を「信頼性」と位置づけ、ユーザーが通常のネット注文と同じ手順でサンプル品を注文できるという他では類を見ないシステムを構築。ユーザーから高く評価されている。

顧客要求に対応した高機能プリンター用紙

M&Aによる生産力増強と事業継続のための取組

インターネット販売事業の成長を受けて雇用を増やしているものの、近年は需要増加に対して生産が追いつかない状況が見受けられるようになった。そこで、同社は、同社よりも規模が大きい同業他社を買収し、生産力の増強を図った。また、東日本大震災時の経験から、災害時にも事業継続していけるよう安定供給体制の構築が課題であった。それを解決するために、現在は商品・原材料の仕入れを山口県に生産拠点を持つ製紙メーカーとも取引し、被災時もサプライチェーンが途切れないよう工夫している。



エスエスビジネスフォーム株式会社の皆様

株式会社シラヤマ

東京都江戸川区

高度な溶接技術を追求したものづくり 自社の強みを活かして、社会に貢献する

株式会社シラヤマは、1949年に創業以来、スチールを中心とした製品とその技術を主として展開をしてきた。その後、ステンレスやアルミ材等に関して自社独自の製品技術を磨き、現在は、近代建築の大空間を構築するには欠かせないカーテンウォールを市場に送り込んでいる。他には橋梁工事、特殊熱押出形鋼、大型機械製缶等を製造し、官公庁などに数多く納品している。また数々の特許や商標を取得し意匠金属・鉄骨の分野をリードする。

●所在地	東京都江戸川区平井2丁目1番8号
●電話／FAX	03-3682-8355／03-3682-7160
●URL	http://www.shirayama.net/
●代表者	代表取締役会長　白山　良一

●設立	1949年
●資本金	3,600万円
●従業員数	59人

超高層ビル建築における高難度の要求に応える高い技術力

同社は、高度な溶接や歪み取りの技術を用い、日本全国の超高層ビルのガラスを支えるためのスチール製支持材を製作している。この超高層ビルのガラスを支えるための支持材は、意匠性、溶接、曲り、長尺、耐用年数など難度の高い技術が求められる。「人生は一生勉強、死ぬまで努力。技術をもって社会に奉仕せよ」を社訓とする同社は、技術力を向上させ、精度管理、品質管理を徹底し、優位性の高い製品を製作していくことで、これに応えてきた。代表的な製品に東京スカイツリーの展望台の支持材がある。

超高層ビルで使用されるスチール製支持材

自社の強みを活かして、社会に貢献することで業績を拡大する

全国には橋梁が70万橋以上ある。それら橋梁の中には修繕やメンテナンスが必要なものも少なくない。そこで、独自の鋼加工技術を利用し、橋梁が持つ課題を解決する製品を取揃えてきた。例えば、狭い橋梁は、通勤・通学時の安全性の確保や、災害時における迅速な避難ができない。この課題に対し、桁や橋脚の補強は不要で、通行を止めず、施工期間を短縮しながら、橋梁を拡幅する特許工法を提供している。このように同社は、自社の強みを活かし、社会に貢献することで業績を拡大している。

同社の強みを活かした橋梁土木製品

さらなる生産性向上と品質向上への取組

さらなる生産性向上と品質向上を図るために次の4点の取組を行っている。①ISO9001：2015を元に工場における品質管理システムを継続的に改善し、成熟化させる。②機械設備等を新規導入しインフラ整備を進める、そして生産性向上を目的として、社員を多能工化する教育を実施する。③社内のパソコンをネットワーク化することで情報の見える化を推進し、社内コミュニケーションの活性化・充実化を図る。④電子化を推進することにより、製作工程のコストを20%低下させる。

ISO9001：2015認証の千葉工場

株式会社サーテック

生産性向上 ものづくり

東京都青梅市

「品質第一主義」の小型モータ製造・販売 地域企業と連携したSDGs対応サービス

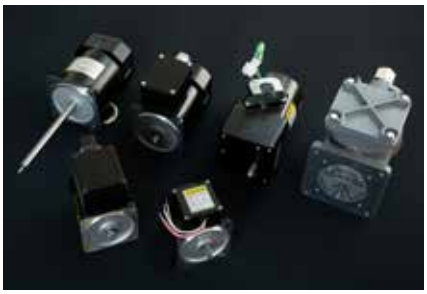
株式会社サーテックは、2011年に(株)横河サーテックの事業譲渡を受けて設立。設立当初より受継いだ「小型ギヤードモータ製造・販売事業」を主力とする。「品質第一主義」を掲げ、製品やサービスに対する顧客の信頼と満足度を求めて蓄積した技術力・ノウハウを最大限に活かし、地域企業と連携した「受託金属加工・OEM製造」、環境問題やコスト削減に役立つ「環境・エコロジー事業」といった新分野における事業展開を目指す。

●所在地	東京都青梅市根ケ布1-380
●電話／FAX	0428-22-5111／0428-22-5115
●URL	http://www.stc-m.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　柳内　剛

●設立	2011年
●資本金	2,000万円
●従業員数	80人

「品質第一主義」を根幹としたサーテックブランドの確立

主力事業となる小型モータは、半導体製造装置の純水の配管バルブ、ビル空調装置等と様々な用途に使われている。顧客要望に寄り添った設計・製造を行い、製品供給からメンテナンスに至るまでの一貫した対応は、顧客から高い信頼と評価を得ている。加えて、「品質第一主義」を掲げ、小型モータ及びその速度とトルクを制御する変速機に至る部品をほぼ自社内で製造することで、顧客満足度は向上している。このようにして確立したサーテックブランドは、同社の価値向上に大きく寄与している



「品質第一主義」で製造される小型モータ

IoT活用による連携企業間の生産情報見える化を推進

「受託金属加工・OEM製造」において、外部の連携企業間との開発・製造などの連携を強化するため、「IoT活用による連携企業間の見える化」を推進した。連携企業間で共通の機械装置を設置し、クラウドで稼働情報を共有する生産体制を構築。これにより、各連携企業が持つ高品質な技術と設備を効率的に活用し、多品種・少量生産が可能となった。この結果、生産量の変動や不測の事態等にも迅速に対応可能となった。こうして顧客からの要求へ柔軟な対応を行うことで、新たな顧客獲得に繋がった。

高品質な金属加工が可能な設備

環境・エコロジー事業でSDGs達成の一翼を担う

小型モータ事業のなかで課題となっていた環境負荷の問題に着目し、事業連携パートナーとの協同によるSDGsビジネスプロジェクトを立ちあげ、オイルリユースサービスを開始した。オイルリユースサービスとは、使用済みの不水溶性の油（洗浄油や切削油等）の不純物を、超音波を活用した小型装置等で除去し、潤滑油としてリユースするサービスである。貴重な資源を節約し、CO2と産業廃棄物の削減を図ることで地球環境に配慮しながら、顧客に廃油処理や新油購入費用削減のコストメリットを提供する。

オイルリユースサービスの処理効果の例

株式会社マキノ

生産性向上 ものづくり

東京都町田市

「即日板金」で日本のものづくりをリード 自動化とIoTで稼働率を極限まで高める

1969年創業の株式会社マキノは精密板金加工により、半導体製造装置関連部品、通信機器関連部品などを取扱う。主に試作品を手がけ、「即日板金」という多品種小ロット・超短納期の仕事を得意とする。IoTという言葉が一般化する以前からIT化を進め、工場の稼働状況の見える化や自動化、データ分析による効率化を実現。積極的な設備投資と相まって、24時間対応型の精密板金工場が顧客の求める「今すぐ欲しい」を可能とする。

●所在地	東京都町田市小山ヶ丘3-10
●電話／FAX	042-798-5611／042-798-5612
●URL	http://www.kk-makino.co.jp/
●代表者	代表取締役　牧野　挙一郎

●設立	1969年
●資本金	2,000万円
●従業員数	46人

高い技術力と内製化により、顧客からの「即日板金」に対応

同社は「即日板金」加工により、高品質な製品をいつでも受注したその日に出荷することが可能である。取扱い製品は、通信機器・真空機器・医療機器・分析機器の試作・量産板金・段曲げ（Z曲げ）金型加工など。精密洗浄作業を内製化していることも強みであり、真空パックにより、同社製品をそのまま、真空チャンバー内に取付できる。Z曲げ加工の金型は、通常の段曲げでは2工程加工が必要なところを1工程で加工できるなど高い技術力を持つ（日本・ドイツ・フランス・英国・米国特許取得済み）。

同社が導入した最新のレーザー加工機械

徹底的な自動化とIoTで工場の稼働率を極限まで高める

2007年に高さ12段×幅18列の世界最長・最速の自動材料倉庫を導入。材料倉庫は各ブランキングマシンと連動させ、ワークスケジュールを組んで夜間休日無人自動化を実現。さらに、IoTにより加工機械の稼働データをすべて吸い上げるシステムを導入。データ分析から徹底的な自動化を積極的に進め、工場の稼働率を極限まで高めるよう日々課題の改善を実施している。また、金属加工業者間における工程の外注化をECサイトで受発注できるプラットフォームを開発し、2020年に運営を開始する予定である。

世界最長・最速の自動材料倉庫

IT活用と成果の見える化による従業員のモチベーション向上

本営業活動では、日々2,500件近くの見積り作業があり、受注件数は1日あたり最大で2,000件。担当者が1人あたり約500件を捌くため、非常に負荷がかかっていた。そこで受注の自動処理システムを導入し、業務を効率化した。また、生産活動では、i Pod touchを活用し、加工担当者、工程、工数を把握。人と業務、製品を紐づけて管理を行い、稼働状況の最適化を図っている。この取組は、数字で従業員の成果を把握できるため、従業員のモチベーション向上にも繋がっている。

IT化により工場稼働状況などを一元管理

株式会社イチカワ

生産性向上 ものづくり

東京都羽村市

産学共同研究による要素技術の探求と社会インフラ産業の発展に貢献する生産体制

1963年に各種変圧器メーカーとして創業し、現在では電源機器、電子機器、車両用制御装置、計装用制御盤などの設計から製造、試験、保守に至るまで、一貫した生産体制で製品ライフサイクルを総合的にサポートしている。IoT技術やものづくり技術の高度化にも注力して技術力の強化に努めている。生産拠点を中国にも展開し、グローバルな視点にたち、製造サービスを総合的サポートする体制を整えている。

●所在地	東京都羽村市神明台4-8-39
●電話／FAX	042-553-1311／—
●URL	https://www.ichikawa.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　市川　博士

●設立	1963年
●資本金	4,800万円
●従業員数	218名

大学との共同研究、国内事業でのコア技術でビジネスを拡大

信州大学との共同研究によりトランス要素技術を開発。これに車両装置事業で培った技術とトランス製品の相乗で、高度な車両用インバーター制御ユニット技術を確立。高圧絶縁、高耐ノイズ、衝撃・振動などの課題を実現する開発力、技術力、製造力、品質力、コスト競争力と販売力を持ち、小型ゲートアンプ用トランスは、ニッチ市場で高いシェアを占めている。工学分野の技術を応用して、信州大学と共同で医療分野のモニタ装置を開発。緊急医療現場や脳外科施設の監視モニタとして期待されている。

2018年に導入した3次元外観検査装置

製造サービスから課題解決・提案型ビジネスへ事業を発展

電子機器における組込プログラム開発をベースに、システム開発に発展させ、さらにIT技術を導入して装置からシステムユニットにビジネスを拡大。2000年代より中国パートナー企業を開拓し、2010年に中国・上海に現地法人（上海市市川電気科技有限公司）を設立。成長が見込める海外の鉄道や電力市場へ販路を拡大。現在は、中国現地での保守事業を展開し、顧客ニーズを総合的にサポートするビジネスモデルに転換。M&Aによりトランスメーカーとの経営統合を実施し、国内トランス事業を強化。

中国・蘇州におけるトランス製造拠点

IoT化推進室を設立して、ものづくり体制の改革に取組む

ものづくりの現場において、作業者の改善要求に応える生産システムと製造技術を継承するナレッジベースが必要である。そのため製造技術を理解したIT技術者を独自で育成している。2018年にIoT化推進室を立ちあげ、先端のIoT技術をものづくり現場へ積極的に展開して、製造力強化に着手している。独自で開発したデジタル手順システムは、製造手配・図面表示・工程管理・動画手順を一元化するものであり、製造業務のフレームワークとなり、生産効率を進めている。

デジタル手順「iM-Manager」

京浜精密工業株式会社

生産性向上 ものづくり

神奈川県横浜市

環境に配慮した生産活動、産学連携開発による高付加価値製品、一気通貫生産ライン

創業時より国内外の最新鋭の技術を積極的に導入し、自動車用機能部品メーカーとして発展。加工製品を粗形材から加工・組立までに至る、軽量化と環境配慮に重点を置いた生産活動に注力。特にアルミダイカスト工法には強みがあり、3.2mm程度の一般的なダイカストに比し、1.5mm程度まで薄肉化する技術を保有。主力製品の中には市場シェアの7割を占めているものもあり、製品技術・品質について高い競争力を有している。

●所在地	神奈川県横浜市神奈川区入江2丁目12-4
●電話／FAX	045-401-4721／045-421-6821
●URL	http://www.ksk-inc.co.jp/
●代表者	代表取締役　駒場　徹郎

●設立	1960年
●資本金	9,900万円
●従業員数	492名

アルミダイカスト品の高強度・高精度塑性結合の研究開発

工業大学の研究室との産学連携で「塑性流動結合」と呼ばれるアルミダイカスト部品と鉄部品の結合技術の開発に成功。本技術は、低コスト･軽量化ニーズに対応するために、同社が独自開発を行い、複雑形状の製品の結合、更なる高強度化､部品加工コストや結合コストの削減等を実現。また従来品に比べ、コストの34%削減と18%の軽量化を達成。産学連携や技術開発に積極的に取組むことで製造技術の競争力を高めている。

塑性流動結合による製品

究極の一個流しを可能にした「一気通貫生産ライン」

省スペース、省エネルギー、高品質、高生産性に対応した「世界初の超小型ダイカストマシン」を開発。生産ラインの先頭に本マシンを配置することにより､仕上～出荷までの工程を一気通貫で生産することが可能なワンピースフローラインを実現。在庫の98%削減とリードタイムの65%の削減に成功し、低コストかつ商品質という究極のジャストインタイム生産を実現し、顧客の要求リードタイム内に生産することにより製品の付加価値の向上を図っている。

ワンピースフローライン

環境に配慮した生産活動と地域社会に貢献する環境保全活動

CSRを遵守し、地域に貢献すると共に　世の中にとって必要な会社であり続ける企業として、生産活動にも環境に優しくリサイクルし易いアルミニウムダイカストを採用し、省エネルギー化と省資源を実現している。また地域の環境保全活動には、社員及び関連会社が一丸で参加し、持続可能な社会づくりに貢献。本取組はCO_2削減について評価され、栃木県庁から表彰されている。また使用済ペットボトルのキャップの回収にも力を入れており、善意銀行を通して地域の福祉事業にも貢献している。

地域社会への貢献

株式会社アピック

生産性向上 ものづくり

神奈川県川崎市

高精度鏡面研削加工の専門技術に特化し、競争優位を作る事業モデルを構築

超硬合金を研磨・研削することにより、マイクロコネクタ向けプレス金型部品を製造している会社である。高精度鏡面研削加工を得意としている。一品一様のパーツを受注生産にて製作しており、NC搭載の最新機種と熟練の加工者が持つ経験と技術で、顧客要望に柔軟に対応できる体制をとっている。国内大手のコネクタメーカが主要顧客であり、スマートフォン向けのマイクロコネクタ用金型部品の提供が主である。

●所在地	神奈川県川崎市高津区宇奈根 744-8
●電話／FAX	044-833-2406／044-822-2318
●URL	http://www.apic-inc.co.jp/company
●代表者	代表取締役　新井　聡

●設立	1980年
●資本金	1,000万円
●従業員数	15名

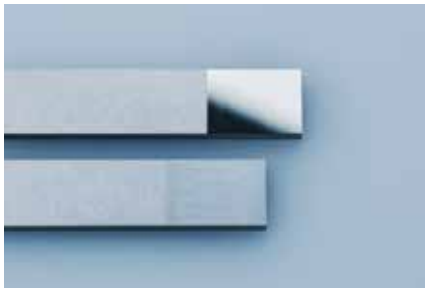
高精度鏡面研削加工技術

同社は主にスマートフォン内部に使用されるマイクロコネクタ製造のための金型部品を製造・供給している。スマートフォンは大型化が進む一方で内部の部品は年々小型化を要求され、製造品質においても公差±1ミクロンを求められる。このような高精度加工要件を満たす技術を保有する数少ない企業の一つであり、国内大手コネクタメーカにとっても欠かせない会社となっている。また、一度コスト面で海外へ製造・加工を移した顧客も最近では同社へ戻ってくるケースも出てきている。

高精度加工要件を満たす製品

専門技術に特化した競争優位を作る事業モデル

海外への生産移転が進む大型部品に手を広げることなく、小型部品の高精度鏡面研削加工に特化し品質面・納期面・コスト面に磨きをかけることで事業を成長させている。特に高精度を実現する鏡面研削加工は先端設備の導入はもちろんのこと、熟練した技術者のノウハウも必要不可欠となる。同社は先端設備導入と鏡面研削加工に就いて10年以上の経験を有する熟練技術者が複数おり、簡単には摸倣できないビジネスモデルを構築している。



鏡面加工

従業員を大切にするリーダー

代表である新井聡氏は今年度、事業承継により代表取締役へ就任した。先代から引き継がれている「精密加工の未来を拓く」の経営理念を社内に浸透させ、世界に誇れるものづくりに貢献するべく技術の開発・工場に努めている。さらに従業員の“幸せや働きがい”を大切に事業運営を行っているため、離職率は極めて低く、技術力のあるベテラン従業員と若手従業員が定着する環境が整っており、同社強みの根源となっている。

社員がいきいき働く現場

斎藤樹脂工業株式会社

生産性向上 ものづくり

神奈川県綾瀬市

検査体制徹底で不良ゼロを実現。一個試作から量産まで一貫生産体制を構築。

医療機関や研究機関、半導体分野等のハイレベルな要求に、長年培った技術と実績で精密切削加工から成形まで対応。汎用エンプラからスーパーエンジニアプラスティックまで幅広い機械切削加工を取扱っている。当初、樹脂切削のみだった同社はM&Aにより他の樹脂加工分野を傘下に入れ、切削加工による1個の試作から射出成型による量産まで一貫体制を構築、市内経済を牽引する中核企業である。

●所在地	神奈川県綾瀬市吉岡507-3
●電話／FAX	046-776-4181／046-776-4185
●URL	http://www.saitojushi.co.jp/
●代表者	代表取締役　斉藤　隆訓

●設立	1968年
●資本金	1,000万円
●従業員数	74名

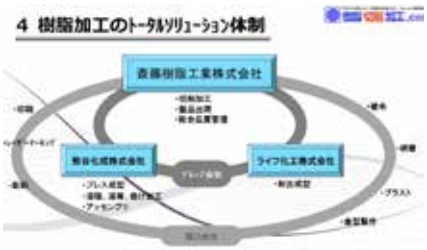
徹底の温度・湿度管理、検査体制で不良ゼロ、寸法安定性実現

温度や湿度の微妙な変化によって形状変化を発生させる樹脂・プラスチックの繊細な性質に対応するため、工場内の温度と湿度等の加工環境を徹底的に管理し、すべての製品を樹脂・プラスチックが最も安定する22℃、50%の恒温・恒湿工場内で生産を行っている。その上で加工現場で二重の検査を行い、さらに最新鋭の検査設備を備えた検査室で最終検査をもう一度実施するという検査の徹底で、不良品を見逃さない体制を構築している。

製品はすべて徹底した温度管理で生産

樹脂一貫生産体制構築により1個の試作から量産まで対応

同社は当初、樹脂切削の企業だったが、M&Aにより他の樹脂加工分野を傘下とし、切削加工による1個の試作から射出成型による量産まで一貫生産体制を構築している。目的、用途に応じた豊富なバリエーションから的確に選べる多彩な素材の提供と、一貫生産体制の構築で、提案力の向上、コストの軽減、納期安定など、競争力の強化が図られている。加工は以下の設備機器により行っている。
①機械加工（斎藤樹脂工業株式会社）　②板加工（熊谷化成株式会社）
③成型加工（ライフ化工株式会社）



試作から量産までの一貫生産体制

企業として災害支援に加え、災害ボランティアにも積極参加

東日本大震災をはじめ、各種災害発生の場合には義援金の寄付を行うとともに、災害により操業がストップした企業の資金繰りを援助するため、被災企業の在庫となっている樹脂材料の買取等の支援を行っている。また、代表である斉藤氏は「あやせ災害ボランティアネットワーク」の理事として12年従事し、防災フェスタの開催や市防災訓練への協力、子ども会、中学生等への防災教室・講座等を開催し、防災の取組を行っている。

市の防災訓練への協力

株式会社川崎合成樹脂

生産性向上 ものづくり

新潟県三条市

燕三条の金属加工技術と融合し、セラミック製品の可能性を広げる焼結加工技術

1936年木工業として創業。同社のつよみは現在は調理器具中心のプラスチック製品や刃物を組込んだ成型品を製造販売。金型設計から成形、加工組立、物流までの一貫生産体制とオリジナル商品の企画・開発力である。顧客からの高い評価のもと、高強度樹脂成型やファインセラミック成型によるキッチン用品を生産。一貫生産体制と充実した設備、長年培ったノウハウで、多様なニーズに柔軟に対応。ISO9001認証を取得し地域未来牽引企業となっている。

●所在地	新潟県三条市下保内401-17
●電話／FAX	0256-38-2531／0256-38-3666
●URL	http://www.kawasaki-plastics.jp/
●代表者	代表取締役社長　川﨑　雄輔

●設立	1951年
●資本金	2,500万円
●従業員数	75名

セラミック製品の焼結加工技術の確立

高強度樹脂成型やファインセラミック成型によるキッチン用品製造会社として、金属刃物やセラミックを使った野菜調理器、卓上調理器など大手企業のOEMを供給元とするビジネスモデルを展開している。セラミックは硬度が高く加工工程では、ダイヤモンドカッターを使うなどコストが嵩むことが難点であったが、同社は材料を専用の型に流し込んで焼結する技術を確立し、加工費用を従来の10分の1に抑えることを実現している。

セラミックのキッチン用品

燕三条の金属加工技術との融合で広がる可能性

新潟県燕三条地域は「金物の町」として知られ、古くから伝わる伝統を代々受継いできた職人による金属加工製品は世界の人々をも魅了している。同社では燕三条の金属加工技術を融合した製品(金属製・セラミック製の刃物を組み込んだ調理器具)を数多く世に送り出し、目的に合った素材を使い、融合させることで単独では得られない付加価値を生み出している。2020年4月より既存プラスチック製品の一部を生分解性素材に段階的に切替え、自然環境を配慮した取組に着手する予定である。

金属加工技術を融合した商品

円滑な事業承継を経て、会社の活性化を図る

2016年創業80周年を機に事業承継を行った。強力なリーダーシップを発揮した前社長の川﨑会長と子息の川﨑社長とは「良いものは受継ぎながら、新しいことにも挑戦したい。武器である素材の複合化をキーワードに、新たな分野に参入したい」という同社の思いを共有し、意思の疎通と連携が取れている。企画開発・生産管理・営業における万全の組織体制が構築され、社員一丸となって、ものづくりの技術力の向上と販路開拓に注力している。雇用創出にも積極的に取組み、毎年5名以上を地元から新規採用している。設備投資の際には補助金申請にチャレンジしている。

笑顔でゼロからのモノづくり

コネクテックジャパン株式会社

生産性向上 ものづくり

新潟県妙高市

先端技術集積地域で半導体の新たな可能を広げる研究開発により地域再興を目指す

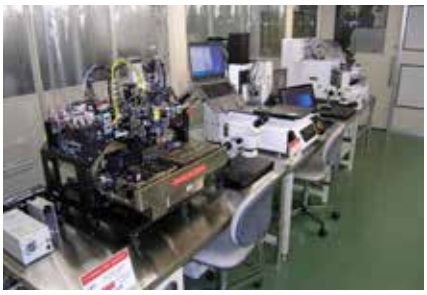
同社は半導体及び電子部品と生産技術の開発を通じて、世界の製造業の未来への貢献を考えている。半導体チップやDRAM、センサー、モジュールなどの実装形態に応じ、セラミック、有機、フィルムなど様々な基板材料を用い、低温低荷重のダメージフリープロセスで実現し、顧客の課題に対し、最適なソリューションを提供。製品・技術の可能性を広げ「仕事の喜び」をもって「新しい技術を創造する」ことを続けている。

●所在地	新潟県妙高市工団町3-1
●電話／FAX	025-572-7020／025-572-7120
●URL	http://www.connectec-japan.com/
●代表者	取締役CEO　平田　勝則

●設立	2009年
●資本金	10,000万円
●従業員数	33名

低温・低荷重フリップチップ実装を可能にした半導体実装工法

IoT・ウエアラブル製品に多用される半導MEMやフィルム基板は熱に弱く、260℃はんだフリップチップ実装では劣化や変形が生じる。同社の優位性は、はんだ実装に替え80℃～170℃の低温1/20の荷重で実装できる革新的工法開発である。当技術で1m×3.5mデスクトップサイズの実装装置を実現、製造工程数は34工程から3工程に削減、コンパクトで安価な半導体実装ラインのデスクトップファクトリを実現。デスクトップファクトリの複数設置、複数事業所での所有で今後のIoT用半導体組立で必須の多品種変量生産対応を実現した。



半導体実装装置

多種多様な半導体・MEMS組立対応の実装開発ビジネスモデル構築

同社の受託実装開発ビジネスモデルの優位性は、独自の製造プロセスである低温接合で、主要工程が3工程と少なく、製造ライン切替が容易であり、多品種かつ少量～大量までの生産に対応可能である。また経験豊富な各々の開発人員が日本中の会社、技術、人をコネクトして開発を進め、独自の低温接合に加え、顧客の要望を満たす様々な製造プロセスの提案が可能。さらに複数顧客の最先端開発の方向性を理解し数年先の未来を踏まえた開発提案が可能である。

半導体・MEMS組立の実装開発ビジネスモデル構築

先端技術集積地域の歴史的技術の延長で地域の再興を目指す

上越妙高地域は半導体製造の集積地域であったが生産の海外移転で衰退した。自身もリストラ・離職した大手半導体の元役員の同社社長は、この地域でゼロから再起をめざし、世界800社を訪ねて市場を把握し、世界的新技術を元にIoT時代に対応したVBを起業した。同じ半導体分野で高度技術者の雇用を同地域で再創出中であり、競争環境変化で生じる高度技術者の雇用ミスマッチ対策と地域再活性化に取組んでいる。

先端技術集積地の地域再興を目指す

ウエノテックス株式会社

生産性向上 ものづくり

新潟県上越市

一軸破砕機分野で国内トップシェア AI搭載の廃棄物選別装置を自社開発

産業用廃棄物処理用破砕機や天井クレーン等の環境機器及び産業機械の企画、開発から設計・製造・設置・試運転・メンテナンスサービスまでを一貫して行う他、取引先からの精密機械や大型製缶の加工等の個別対応も行っている。特に、破砕機は抜群の処理能力を発揮し、一軸破砕機分野では国内トップシェアを誇る。さらに、AIやIoT技術を搭載した廃棄物選別装置を自社開発する等、高付加価値の省力化・省人化装置を提供している。

●所在地	新潟県上越市柿崎区柿崎7396-10
●電話／FAX	025-536-2266／025-536-9836
●URL	http://www.uenotex.co.jp
●代表者	代表取締役社長　上野　光陽

●設立	1937年
●資本金	7,500万円
●従業員数	118人

企画からメンテナンスまでの一貫体制で破砕機等を提供

企画・開発から設計・製造・設置・試運転・メンテナンスまで一貫体制の強みと創業から受け継がれる顧客志向のものづくりを徹底することで、国内トップシェアを誇る一軸破砕機を筆頭に、各種環境機器及び産業機械を製造している。また、取引先からの精密機械や大型製缶の加工等の個別対応も行うエキスパート企業である。同社が製造する国内最大級の二軸破砕機は万能型で東日本大震災や熊本地震等各地の災害で発生したがれき処理にも活用されている。

仙台震災がれき処理現場にて

最新技術の有効活用と自社生産設備の見える化

最新の破砕機にはIoTを搭載し顧客の生産性の向上に役立てる等、AIやIoT等の新技術を取入れることで製品の高付加価値化に取組んでいる。最近では、コンベヤ上を流れる廃棄物の材質名を90%以上の精度で識別できるAI技術搭載の選別装置を開発。これにより熟練技術がない作業員でもゴミの分別が可能となり、人手不足に悩む廃棄物処理現場の課題解決につながっている。また、自社の生産設備にもIoTを搭載し稼働状況や停止要因の分析を行うことで業務の効率化を図っている。

AI搭載自動選別機URANOS

ベテランの技術承継と若手人材の採用・育成

組織内に「生産技術指導」枠を設け、ベテランで定年を迎えた人材を再雇用し技能伝承のために配置している。生産事前検討会への参加やベテラン技術の作業標準書の整備を行う等、社員の技能向上、モチベーションアップ、生産性向上につなげている。AI強化のために都内に設立した子会社を活用しAI人材の確保を図るとともに、上越市の地域ブランド「メイド・イン上越」の認証を積極的に受けることで地元でのブランド構築と人材確保にも努めている。

メイドイン上越認証製品

ハリタ金属株式会社

富山県高岡市

循環社会を実現する価値創造企業
We Create　私たちは、つくる

一般・産業廃棄物の収集運搬・中間処理、家電・小型家電・自動車リサイクル事業等を主な事業内容とし、金属等の素材の資源循環に大きく貢献している。創業以来培ってきた経験や実績に、次世代技術とソフトを組合せ、素材そのものの価値を最大限に引出し、新しい概念の素材をつくり、新たな社会的意義のある価値をつくり出す、高付加価値の資源循環ビジネスに積極的に取組んでいる。

●所在地	富山県高岡市福岡町本領1053-1
●電話／FAX	0766-64-3516／0766-64-3046
●URL	http://www.harita.co.jp
●代表者	代表取締役　張田　真

●設立	1975年
●資本金	5,000万円
●従業員数	267人

革新的なリサイクル技術の開発

レーザー技術の応用により廃棄物を元素レベルで成分分析し選別できる機器の開発･実用化に世界で初めて成功する等､使用済み製品から再生可能な「素材」をつくり出す技術開発に積極的に取組んでいる。また、シュレッダーから選別まで自動化した「素材化プラント」を設備し、従来の方法では回収困難な微量のレアメタルの回収も可能としている。さらに、太陽光パネルのリサイクルシステムの構築等将来的課題解消のための実証事業にも参加している。

射水リサイクルセンターのシュレッダー

高付加価値型リサイクル関連ビジネスの展開

最適で高度な資源循環社会確立のために、リサイクル関連ビジネスを幅広く展開している、具体的には、①産業廃棄物、事務系一般廃棄物、家庭系一般廃棄物、フロンの回収・破壊、蛍光灯破砕等の廃棄処理を行う廃棄物処理事業、②業界初となる使用済みLED照明器具の回収・リサイクルスキームを確立する等小型家電や家電の再資源化を促進するリサイクル事業、③創業以来培ってきた経験・実績・知識等を活かして客先企業の課題解決をトータルでサポートする廃棄物ソリューション事業、である。

射水リサイクルセンターの磁力選別ライン

働き方改革や地域貢献等社会的存在としての企業活動

社会的存在としての企業がどうあるべきかを考え、様々な活動を展開している。具体的には、①仕事と育児の両立を支援するための雇用環境の整備や有給休暇の目標率設定等働き方改革の推進、②地域のエコイベントの開催協力や工場見学・職場体験の受入れ等地域の環境意識向上への取組、③IoT技術を活用した廃棄物処理現場の省人化・安全性向上やドライバー教育・緊急事態訓練の徹底等安全な職場環境の整備、等に注力している。

中学生の工場見学

立山化成株式会社

生産性向上 ものづくり

富山県射水市

医薬品、電子材料等多角的に事業を展開 α−リポ酸では国内製造シェア100％

医薬品原薬及び中間体、電子デバイス用機能性有機材料、瞬間接着剤中間体、各種有機工業薬品、健康食品及び化粧品素材の製造を事業としており、特にジェネリック医薬品原薬の自社開発製造及び新薬開発受託に注力している。また、化粧品や健康食品の原料として注目されるα−リポ酸の国内製造シェア100％を誇る。生産拠点は富山県と福岡県の2か所であり、富山県には研究所も併設している。

●所在地	富山県射水市大江1133
●電話／FAX	0766-55-3700／0766-55-1545
●URL	http://www.tateyamakasei.com
●代表者	代表取締役社長　片口　真

●設立	1953年
●資本金	8,000万円
●従業員数	193人

研究開発と品質管理体制の充実により高受注率を実現

ジェネリック医薬品の研究開発に注力しており、直近5年間で15品目をDMF（ドラッグマスターファイル：原薬の製造関連データを事前に審査当局に登録する制度）に登録する等現在までに20品目以上を登録、うち7割が受注採択されており製品の競争力は高い。また、輸入原薬の高純度化も行っている。国際的な医薬品等の製造管理基準にも適合した高い品質管理を行っており、当社の精製工程を通すことで原薬の純度と信頼性が高まる等の付加価値を創出している。

工場設備

医薬品関連技術を応用して健康食品や電子材料分野にも進出

α−リポ酸は元々は代謝や肝機能回復のための医薬品だが、最近では化粧品や健康食品の原料としても注目されている。α−リポ酸はその品質の高さから取引先の信頼を獲得している。このα−リポ酸を活用して会社の知名度アップ戦略として、オリジナル健康食品「リポ衛門」を製造する等、健康食品分野にも進出している。さらに、医薬品原薬製造で培った高い技術を電子材料等他の分野にも応用しており、医薬品のみならず、工業薬品や電子材料等の製造への多角化を実現している企業である。

リポ衛門パッケージ

働きやすい職場環境の整備により研究人材を採用・確保

有機化学や合成について専門知識を持つ人材を多数採用。研究者出身の従業員にとって働きやすく能力を最大限に発揮できるよう新たに設置する研究棟にはフリーアドレスを採用する等フレキシブルな職場環境の構築に努めている。明確なキャリアパスや評価制度がある他、資格取得費用負担や社内研修の充実等、従業員の育成にも注力している。また、奨学金返還支援制度をはじめとした従業員ファーストな制度や、社内語学教室等の福利厚生も充実しており、3年以内の離職率は0％である。

研究棟の職場風景

株式会社小林製作所

生産性向上 ものづくり

石川県白山市

多品種・少量・短納期対応の精密板金加工 独自開発のシステムで全作業を可視化

歴史的には鋳物師としての勅許を受けていた1600年頃まで遡れる技術者集団が大正時代に創業（会社設立は1947年）。現在は多品種・少量・短納期を得意とする精密板金加工企業である。独自に開発した生産管理システム「Sopak」により製造に必要なあらゆる情報を収集・可視化して活用している。このシステムにより数量1個2個の小ロット単位から月に2万種以上の製品について、5日以内という短納期での製造・出荷を可能としている。

●所在地	石川県白山市水島町429-17
●電話／FAX	076-277-7330／076-277-7331
●URL	http://www.kobayashi-mfg.co.jp/
●代表者	代表取締役　小林　靖典

●設立	1947年
●資本金	1,000万円
●従業員数	143人

積極的設備投資と熟練の技術・提案力で幅広い製品分野を受注

機器カバー、半導体製造装置筐体等の薄板精密板金、製缶、塗装等を行っている。熟練の職人の技術と積極的に導入している最新の機械装置との融合により1/100ミリの精度が求められる小型部品から数メートルの大物まで幅広い製品分野の受注に対応している。また、ITをフル活用することで、超高精度が求められる精密板金加工において、月2万種以上の多品種少量注文を2日から5日の短納期で納めることを実現している。さらに、板金加工によるコスト削減や精度向上等顧客のニーズに応える各種提案も行っている。

自社開発治具ロボットと製品サンプル

IT化・自動化投資の推進により短納期と高い生産性を実現

短納期の実現に貢献しているのが業務のIT化であり、そのシステムのほとんどを社長を中心に自社で開発している。特に生産管理システム「Sopak」（2012年IT経営力大賞経済産業大臣賞授賞）は、社内に設置された200台以上のカメラと連動して、「いつ・どこで・だれが・なにを・どのように」を瞬時に把握することが可能であり、納期と数量に合わせた適切な作業を可能としている。また、開発、受注から出荷までの全工程・部署に最新の自動化設備を積極的に導入することで高い生産性を実現している。

Sopakシステムのカメラ

IT化による技術承継や女性の活用等多面的な方法による人材確保

「Sopak」システムの導入により社員一人ひとりの個別指導が容易となり、さらに作業者が作業現場でバーコードを読み込むことで、過去に熟練技術者が同じ部品を加工した画像を確認できるため、「人」に蓄積していたモノづくりのノウハウを「会社全体」で共有化することを可能にしている。また、事務職だけでなく製造、技術を含めた全ての工程でリーダー職の約33%を女性が占める等女性の活躍が目立つ職場でもある。このような取組により、多面的に次世代の担い手の育成・確保を推進している。

ITを活用した技術承継

共和産業株式会社

生産性向上 ものづくり

石川県白山市

小型建設機キャビン製造では国内トップ 積極的なIoT導入で顧客ニーズに対応

1974年、建設機械や農業機械等のキャビン（オペレーターが乗車する部分）の専門メーカーとして創業以来、優れた開発力と柔軟な対応力で業績を伸ばしている。特に、小型建設機械分野では国内多くの主要メーカーにキャビンを供給しており、トップクラスのシェアを獲得している。近年、積極的にIoTを導入し、安全性・機能性に加え操作性やデザイン性等ユーザーニーズを先読みした顧客満足度の高い製品提供を実現している。

●所在地	石川県白山市竹松町2810
●電話／FAX	076-276-2141／076-276-2654
●URL	https://www.kyowa-cab.co.jp
●代表者	代表取締役社長執行役員　高井　俊一

●設立	1974年
●資本金	8,400万円
●従業員数	398人

多様化するユーザーニーズに応える一貫生産体制の構築

建設機械のキャビンに求められるニーズは、従来からの安全性や機能性に加え、デザイン性や機能性等多様化、高度化している。このようなニーズに応えるため、設計・開発から部品・部材の調達、塗装・組立・検査・納品に至るまで一貫した連携体制を構築し、生産性向上、コスト削減、多品種少量生産と的確な納期の実現等、満足度の高い製品の供給を実現している。また、海外展開しているユーザーのニーズを的確に把握するため、中国・タイに現地法人を設立する等、海外展開にも取組んでいる。

出荷待機場

ユーザー、サプライヤーまでつながるIoTシステムの活用

自社開発のIoTシステムを活用することで、開発の初期段階からコスト･品質･生産性を織り込みながら生産部門と緊密に連携しつつ試作開発を同時並行的に行い、ユーザーニーズに対応した付加価値の高い製品の提案を可能としている。また、製造現場においても作業者が携帯するスマホやタブレットを活用することで業務の効率化を実現するとともに、一部のデータをユーザーやサプライヤーと共有することで、進捗状況の共有や資材の自動発注を実現している。

部品ピッキング端末

積極的な人財投資による人財の多様化

自社Webサイトの工夫や民間就職サイトの積極的な活用により、毎年10名程度の新規採用に加え、システムエンジニア等の中途採用や大手企業OBの採用により人財の多様化を図っている。また、設計開発部門への若手女性社員の配属、製造現場に大手企業OB、中途採用者、外国人技能研修生等が共同した生産現場を実現する等、多様な人財が働きがいをもって仕事ができる環境の整備に努めている。さらに、自発的な提案や地域ボランティア活動への参加を推奨する等、企業文化の創生にも注力している。

ミーティング風景

株式会社ポーラスター

生産性向上 ものづくり

石川県白山市

冷凍寿司のパイオニア JA等と合弁でブルガリアに進出

「冷凍寿司のパイオニア」というキャッチフレーズのもと、冷凍寿司等の製造販売を行う。材料は全て国産米を使用。主要取引先の航空会社には年間数百万食以上の機内食を提供、大手食品会社・テーマパーク等とも取引があり、独自の冷凍技術で製造された寿司は高い評価を得ている。近年、海外展開にも注力し、平成29年12月にはJA等とブルガリアに合弁会社を設立。平成30年には経済産業省から地域未来牽引企業に選定されている。

●所在地	石川県白山市木津町1613
●電話／FAX	076-276-2468／076-276-2553
●URL	http://polar-star.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　石野　祐次

●設立	1965年
●資本金	3,040万円
●従業員数	162人

独自開発の冷凍技術で安全・高鮮度の冷凍寿司を安定的に供給

熱伝導の優れたブライン凍結、マイナス100度を超える低温ガスを吹きつける窒素凍結等に加え、独自の冷凍技術を開発し、国内14件、海外5件の特許を取得している。この技術により寿司のネタ・シャリを急速冷凍することで、素材の細胞を傷つけず、雑菌の増殖を防ぐことが可能となり、安全かつ鮮度の高い冷凍寿司を製造している。主要取引先の大手航空会社に年間数百万食の機内食を提供する等、多くの取引先向けに安定的に製品を供給できる体制を構築している。

冷凍寿司の盛付例

「和食」のユネスコ無形文化遺産登録を機に海外市場に進出

平成25年12月の「和食」のユネスコ無形文化遺産登録を機に、「和食」のなかでも人気の高い寿司の海外市場開拓に着手。平成26年のアメリカ向け輸出開始、平成27年のミラノ万博出品を皮切りに、海外市場の取込を戦略的に実施している。平成29年12月にはJA及び地元の食品卸会社と合弁でブルガリアに冷凍寿司製造販売会社を設立。日本国産米を使った冷凍寿司をEUで販売している他、将来的には中東への販売も視野に入れている。

ブルガリア合弁会社

働きやすい環境を構築し、地域の雇用を創出

年間休日を105日から115日に拡大、1時間単位での有給休暇利用制度を導入する等、働き方改革を推進し、働きやすい環境構築に注力している。さらに、子供の看護休暇制度を導入したり、出産・子育てにより退職した従業員が再就職を希望する場合は中断したキャリアを補填するための教育を実施する等、子育てと仕事の両立にも配慮している。また、従業員（パート・アルバイト含む）の内65歳以上が15人を占める等、地域内の雇用創出にも貢献している。

工場の作業風景

株式会社イチムラボディーショップ

生産性向上 サービス

山梨県南アルプス市

ミリ単位で計測・補正するエビデンス修理 自動車修理の不安解消でブランド力向上

3Dコンピューター計測器で修理前後の車体をミリ単位で計測して顧客に測定データを提供、修理状況の見える化を実現することで「嘘、偽りのない本物の修理」を提供する自動車整備工場を展開。同社の技術を支える最新整備機器を備え、空調完備、土足厳禁の「オペルーム」を備えた工場を2016年に新設。ボクシング高校生チャンピオンだった市村社長は業界活性化と技術力向上を後押しすべく、全国で技術講師・講演を行っている。

●所在地	山梨県南アルプス市上今諏訪779-1
●電話／FAX	055-282-8919／055-282-8918
●URL	http://ichimura-bodyshop.com
●代表者	代表取締役　市村　智
●設立	1969年
●資本金	300万円
●従業員数	9人

先端技術の導入や環境保全の推進でブランド力を向上

車体をミリ単位で計測・補正する機器を導入し、より精密化する車に対応。過渡期を迎える自動車整備業界でのなかでも、ハイブリット車や自動運転技術等に対応した高度先端整備技術を学び、常に先端のサービス提供を目指している。自動車修理業だけに留まらず、カーライフを楽しむためのカスタマイズや車の美観を保護及び、塗って剥がせる塗料など顧客に新たな提案を行うことで付加価値の高い提案を行っている。環境保全の一環として有機溶剤を使わない次世代塗料と言われる水性塗料を使用している。

TOUCHで車体をミリ単位で計測

工程管理システムの導入で働き方と業務の効率化の両立

3次元計測機を用い、修繕前、修繕後と車体の状況を数値化（見える化）して顧客に提供。見積りシステムにより正確かつ信頼性の高い作業時間と料金を提示している。さらに、効率的な生産体制を確保するために工程管理システムの導入、工程管理ボードを活用。週1回の社内・社外勉強会の開催により人材育成を促進し、業務効率化を図っている。清潔で作業のしやすい環境を整え、身体に負担の少ない塗料を使用するなど従業員にとって働きやすく誇りを持って働ける工場づくりを目指す。

イタリア製ジグ式フレーム修正機

実習生・女性・定年退職者などダイバーシティー人材の活用

実修生に対して従業員が講師となり、組織の活性化と将来の生産体制を構築。さらに、60歳を超えた熟練工を継続雇用し、経験やノウハウを備えた人材育成の強化を実現している。業界内の女性比率が極めて低いが、女性の就業促進に向け、業界内では珍しい女性スタッフ専用トイレ及び更衣室を備えている。いろいろな働き方や人種や宗教の方々でも最低限のプライベートエリアを守れる休憩室完備や心理カウンセラー及び業務カウンセラーによる月1度のカウンセリング実施で従業員の満足度向上を実現している。

清潔で効率よく働ける作業環境

株式会社タスクマスター

生産性向上 サービス

山梨県甲州市

異分野連携で人を支えるAI技術を開発、警備業界の働き方改革を目指す

山梨県を中心としたエリアで公共施設や大型商業施設の施設警備、大規模イベントや花火大会などの雑踏警備、公共事業を中心とした交通誘導警備を行う。独自のプログラムで警備員の研修を行い、品質の高い警備業務を提供している。近年は、警備員の確保が難しくなり、IT（AI、IoT）を活用したサービス展開で現場の生産性向上に取組む。さらに、人材派遣やアウトソーシング業務など包括的なサービスで顧客のニーズに応えている。

●所在地	山梨県甲州市塩山上於曽1085-1 甲州市役所地下1階
●電話／FAX	0553-33-8068／0553-33-8048
●URL	http://www.taskmaster.jp/
●代表者	代表取締役　秋山　一也

●設立	2001年
●資本金	300万円
●従業員数	50人

AI、IoT技術活用でシステム商品開発、新たな収益源獲得

警備業界では、かつてないほどの人材の高齢化、人手不足に陥っている。従来、売上・利益の拡大には人手の確保が必須であり、直接売上に繋がらない活動に多くの労力を割く必要があった。そこで新たに、異分野連携によってAI、IoT技術を活用し人と協業できる警備システムを開発し、警備品質と生産性を向上させ顧客満足度を高めた。さらに、警備システムの販売と導入サポートやシステムメンテナンスといった新たな事業分野の開拓を実現、受注型業務からサービス提供型ビジネスへ転換し、事業拡大を図っている。

AI技術を活用した警備システム事業

AIとカメラを活用した交通誘導システムで警備業務を省人化

通常、片側交互通行の現場では、それぞれ交通誘導員が配置され無線で通信を行うことで交通誘導を行っており、3名の誘導警備員が必要となる。AIとカメラを活用した工事現場用道路交通誘導システムを活用することで、AIが車両等の接近を検知した場合、LED表示装置に「進行」や「停止」を意味する動画を自動的に表示する。これにより、3名現場を1名で行うことができるようになり未曾有の人員不足に陥っている警備員の1現場あたりの使用人数を減らし、警備業務の省人化を実現する。

人を支える交通誘導システム

人材の必要性の再定義を行いIT化に対応する人材教育に注力

警備業は教育産業といわれるほど人材教育は重要であり、特にサービス提供のIT化を進めるなかで、人が活躍すべき役割は変わってきており様々な教育、訓練方法で独自の人材教育を実施している。具体的には、業務適正を見極める診断テストを取入れ、人の特性に応じた教育を実施。効率的に教育を行うためのオンデマインド教育や複数の現場での実践教育も実施している。ITを活用しつつも、システムを使うのは人であり、緊急時等、最後は人の判断が必要となるため人材教育には力を入れている。

訓練の様子

岡谷熱処理工業株式会社

生産性向上 ものづくり

長野県岡谷市

研究開発重視の経営で独自技術を開発 IoT導入で生産効率を高めてデータを活用

1960年創業、熱処理、コーティング、表面改質など金属加工処理サービスを提供している。量産物にも対応するが、金型・工具への加工に重点をおき、少量・特殊条件の対応を得意としている。研究開発重視の経営を行っており、熱処理、コーティングにおいては他社にない独自の技術を保有している。顧客は地元メーカーから日本全国と幅広いが、同社の高度な技術を求めてメキシコなど海外企業からも取引の申出を受けている。

●所在地	長野県岡谷市南宮1-5-2
●電話／FAX	0266-23-4610／0266-23-4652
●URL	https://www.okanetu.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　滝澤　秀一

●設立	1961年
●資本金	1,400万円
●従業員数	34人

オンリーワンの先進的技術開発と装置化を実現

従来、不可能と思われていた熱処理時のひずみを極小化する技術、工具寿命を伸ばす超多層膜コーティング技術など、付加価値の高い金属加工技術の開発に力を入れている。例えば、歪み極小化熱処理技術は金型の熱処理後に発生する歪みを最小限に抑えることで、その後の研磨処理時間を最大40分の1の短縮が実現、県内外の金型メーカーから好評を博している。このような前例にとらわれない独自の技術開発を実現するために、新たな機械装置の導入に加え、加工装置の開発･製造までを同社が手掛けている。

高精度な熱処理技術

IoTや品質規格による高品質と効率化を追求

平日に加え、夜間・休日に熱処理炉の稼働管理を行っていたが、工場外で熱処理炉の稼働状況の把握が可能なIoTの仕組を導入したことで負荷を低減。また、異常が発生した際も早期対応遠隔操作が実現、さらに災害等の緊急時には炉の強制停止も可能としている。熱処理装置の温度や電力など細かなデータを蓄積できるようになり、経験に左右されない高品質な加工環境作りに取組んでいる。また、航空機分野への展開を見据え、2020年年度末のJISQ9100認証取得を目指し、効率的で高品質を維持できる社内体制の構築と品質管理マネージメントシステムの作成に取組んでいる。

スマートフォンで稼働状況を確認

幅広い世代が働きやすい環境を整備して地域の雇用創出へ寄与

「環境省策定のエコアクション21」を導入、効率化による作業時間の短縮、残業時間の削減など働き方改革に取組む。定年を60歳から65歳に延長、65歳以降はパートタイムという形で雇用を継続し、高齢者でも働きやすく長く勤めることのできる環境を整備している。また、長時間労働を避け、個々の負担を分散するため、半年で6名を雇用をするなど地域の雇用創出を担っている。

働きやすい環境を整備

株式会社協和精工

生産性向上 ものづくり

長野県下伊那郡高森町

「いい会社をつくろう」を合言葉にIoT導入 改善提案活動で生産性向上を実現

産業・医療・エネルギー・電子機器等の分野で使用される磁気ブレーキや精密機械部品の加工・組立を行う。単なる部品加工だけではなく、設計開発、組立までを担うユニットメーカーを目指す。電磁ブレーキはオーダーメイドで開発から量産まで一貫体制で対応、今や世界大手ロボットメーカーに採用されている。既存事業にとどまらず、防災機器や宇宙関連機器などの新しい分野にも挑戦している。

●所在地	長野県下伊那郡高森町山吹1646-5
●電話／FAX	0265-35-8288／0265-35-8339
●URL	http://kyowaseiko.jp/
●代表者	代表取締役社長　橋場　浩之

●設立	1966年
●資本金	3,500万円
●従業員数	185名

改善提案活動や10年以上継続するQC活動で生産性を向上

定年退職した元大手メーカー工場長を採用し、前職で培った経験とノウハウを活用。その社員が中心となり「3K（協和精工、改善、改革）」活動と名づけた改善提案活動を展開して、トヨタ生産方式など社外の知見を取入れることで生産性向上を図っている。6~7名の小集団「ホットサークル」によるQC活動を10年以上継続。これら独自の改善活動により大幅な残業時間の短縮を実現させた。残業時間の減少を生産性向上の効果と捉え、残業時間減少分は特別手当として社員に還元、働き方改革に寄与している。

従業員による3K活動

IoT活用による工場稼働状況の「見える化」

東京工業大学と共同開発により工場のIoT化に取組んでいる。従来は社員の経験と勘に頼った生産ラインの運営が行われていたが、各工作機械にセンサーを取付け、機械ごとの稼働状況をデータとして蓄積し、「見える化」を実現。生産計画と照らし合わせて改善活動に繋げている。経験と勘だけに頼らず、生産効率の向上のための課題解決の重要なツールとして活用している。

スマートフォンで稼働状況を確認

多様な人材の活用で新ダイバーシティ経営企業100選に選定

「人のつながり」を大切にしており、個別の事情や定年退職でUターンした人材を積極的に採用。多様なバックグラウンドを持つ中途採用者のノウハウを社内で活かし、事業拡大の機会と捉えて新たな分野にも積極的にチャレンジしている。例えば宇宙ステーション内の実験装置事業はこれら多用な人材の活用から広がった事業分野である。このような取組が評価され、新ダイバーシティ経営企業100選に選定された。また、「地域のリーディングカンパニーに」を経営理念に掲げ、地元の清掃や防災対策にも取組んでいる。

中途社員の経験を新規事業に活用

株式会社リーピー

生産性向上 サービス

岐阜県岐阜市

「カイゼン」や柔軟な働き方の仕組構築 経営課題解決型WEBサービスを提供

「WEBで地方をおもしろくする」というビジョンを持つ同社は、集客や人材採用、EC等に特化したWEBマーケティング戦略構築やWEBで提供するソフトウェアによる業務改善事業を展開。単にWEBサイト制作請負やWEBサービス提供だけではなく、経営レベルの課題に注目し、解決するためのWEB活用を提案している。その結果、創業後わずか6.5年で420社を超える企業の売上向上や採用強化に貢献し、顧客は全国に広がっている。

●所在地	岐阜県岐阜市香蘭3-7
●電話／FAX	058-215-0066／058-215-0067
●URL	https://leapy.jp
●代表者	代表取締役　川口　聡

●設立	2013年
●資本金	1,000万円
●従業員数	26人

経営課題を解決するコンサルティング型WEBサービスを提供

単なるWEBサイト制作の請負ではなく、売上利益向上や採用強化などのWEBマーケティング上の課題を明確にし、それに相応しいソリューションとして、顧客の利益向上、地域の経済活動の促進につながるようなWEB制作を提供している。さらに、顧客420社を超える課題解決支援のノウハウを集積し、経営にかかわる多くの課題解決に役立つソフトウェアを開発。大手システム会社のものに比べて、過度な仕様をそぎ落とすことでコストパフォーマンスが高いサービスを提供している。

顧客が本来持つ強みをWEB上で表現する

「カイゼン」活動によって社員の創造性育成と効率化を両立

制作現場に「カイゼン」活動を取入れ、WEB制作の創造性を損ねることなく、作業進捗の“見える化”や作業の“標準化”を進めている。具体的には「日報は15分ごとに記載し、全員の作業内容や進捗を見える化する」「創造性を損ねずに標準化を推進」「標準以上に時間がかかったタスクの抽出と分析を行う」「プロジェクト終了ごとに、全員でミーティングをして反省点やノウハウを共有」等に取組む。また、各拠点をビデオ会議で常時接続して情報交換を行っている。

ビデオ会議でリアルタイムに情報交換

好きな場所・時間に働ける仕組構築で優秀な人材を有効活用

「個人が最大限のパフォーマンスを発揮できる時間、環境で働くことが、生産性向上につながる」「子育てにも参画してほしい」という考えのもと、働きやすさや育児参画につながるリモートワークの導入、働く時間帯も社員が自ら決めることができる仕組を構築し、全国から優れた人材を積極的に採用をしている。また、社員のスキルアップのために、職種毎に必要なスキルとレベルを定量的に計る「スキルアップシート」や個々のスキルを高めるための職種ごとのミーティングなどを導入し、技術の向上に努めている。

優秀な社員がスキルアップを目指せる環境

三星刃物株式会社

生産性向上 ものづくり

岐阜県関市

顧客ニーズに基づく商品開発で贈答市場開拓 ロボットシステム導入でデジタル人材育成

創業明治6年。刃物産地岐阜県関市に本社を構える刃物メーカー。刃物の製造販売、輸出入で拡大してきたがOEM生産では厳しい経営状況が続いていた。そこで「一生モノの包丁」をコンセプトに機能性・審美性を両立する革新的な商品を開発し、家庭向け自社ブランド「和　NAGOMI」の新規事業を立ちあげた。顧客ニーズに基づいた贈答市場開拓やアフターサービスに力を入れ、国内市場のみならず海外市場への参入を視野に入れている。

●所在地	岐阜県関市下有知5178番地
●電話／FAX	0575-22-2345／0575-22-2347
●URL	https://nagomi.mitsuboshi-cutlery.com/
●代表者	代表取締役　社長　渡邉　隆久

●設立	1947年
●資本金	1,000万円
●従業員数	40人

モニター調査と購買行動分析で顧客ニーズを反映した商品開発

モニター調査を重ね、本当の料理好きが欲しがる包丁を開発。顧客の購買履歴の分析により、想定していた料理好き生活者の道具へのこだわりニーズだけでなく、贈答品ニーズの高まりに着目した。そこで、大手広告代理店との協業によりブランドロゴ・箱のデザインを全面的に刷新、新たに箱・テーマ別のギフトラッピング・のし・袋を製作した。また、核となる販路の一つである自社ECサイトにおいて贈答用ラッピングに対応した機能を拡充、顧客ニーズに対応することで付加価値向上を図っている。

利用シーンから選べるギフトラッピング

ロボットシステム導入と多能工化で残業時間を75%削減を目指す

熟練技能者3名が若手技能者6名への教育を行っており、仕上り具合の確認・微調整しながら製造作業を進めている。当該作業に膨大な時間を要していたことが課題であった。最も時間を要する製品ハンドル部の研削・研磨工程で作業手順を8段階に細分化、段階的にロボットシステムを導入することにより自動化・省力化を実現した。さらに若手技能者の多能工化で作業の平準化を図り、一人あたりの生産性を向上、毎月40時間以上発生していた残業時間を5時間以内に削減して働き方の改革を目指している。

ロボットシステムによる精細な研磨作業

ロボットシステム導入にともなう社内デジタル人材の育成

ロボットシステム導入を契機として、デジタル作業を担える人材を育成する必要があった。具体的には、研削・研磨工程で最適な加工条件を導出するためには細かな補正が必要で、ロボットを操作するためのティーチングプログラム（教示作業）の修正などソフト面とロボットアームや刃物把持治具などのハード面の知識を習得する必要があった。そこでロボットシステムインテグレータ協力のもと、現場での実作業を通じてハード面・ソフト面の知識を高める教育を行い、社内デジタル人材を育成した。

教示作業で細やかな補正を行う

トマト工業株式会社

生産性向上 ものづくり

岐阜県関市

大手下請けから脱却し、不燃建材という特殊なボードに特化することで差別化

建材加工・不燃材、化粧板販売、OEM製造メーカー。大手下請けをやめ、不燃建材という特殊なボードに特化、また材料販売に加工を合せることで付加価値をつけ高い利益率を誇る。「従業員と会社の成長を通じて地域と社会に貢献する」という経営理念をもとに、資格取得支援を全面的にバックアップしたり、設備投資・贈答品・消耗品に関し顧客や地域業者を優先した採用や、地域行事に協賛する取組を実践している。

●所在地	岐阜県関市富之保3861-1
●電話／FAX	0575-49-3648／0575-49-3718
●URL	http://www.tomatokogyo.com/
●代表者	代表取締役社長　馬渕　敦史

●設立	2008年
●資本金	1,000万円
●従業員数	16名（パート含む）

難加工材を1箇所ですべて加工できる全国即納体制

材料の販売に加工をプラスし差別化を図っている。切断のみ、研磨のみという専門加工特化型ライバル企業が多いなか、切断、切削、研磨、貼合、化粧、小口貼り、穴開けをはじめ様々な加工が可能である。複合工程を1箇所でできるため、顧客視点で品質、価格、納期面でメリットを享受できる仕組を確立した。加えて、他社が参入していない不燃建材という分野に特化していることで、競合優位性を発揮している。ロボットと自動加工機を積極的に活用し高負荷がかかる材料の加工を受注、顧客拡大を図っている。

超厚耐火ボード・ケイカル貼合品

クラウド活用で即納体制×材料販売×加工の高付加価値化

在庫を加工するため加工スピードが圧倒的に速いうえ、顧客の細かい要望を拾い出すことでボード販売×（カット加工+貼合加工+化粧加工）と付加価値を段階的に上げることに成功した。加えて2019年よりクラウドを活用した新システム「E-アシスト」を導入し会社全体で情報を共有、分散する工場工程間で情報のやり取りが早くなり、さらなる納期改善を遂行している。「E-アシスト」は①納期改善、②生産性向上、③従業員満足で高い評価を獲得し、2019年「全国中小企業クラウド実践大賞 奨励賞」を受賞した。

「E-アシスト」の導入で付加価値向上

人材の育成や多様な人材の活用により働き方改革を推進

前述の「E-アシスト」を社長の想いや感謝の伝達、社員一人ひとりの良いところの共有に活用、また働き方改革により休日数の増加により、従業員満足度を高め離職を防ぐ取組を実施している。またダイバーシティへの取組を積極的に行っており、大学生長期インターン（6ヶ月、1年）、シルバー人材（地域お年寄り採用）外国人実習生、3号実習生等、人材確保が難しい郡部地域にあっても、定期的に若手を含む多様な人材を確保している。

長期インターン生と子供達のワークショップ

株式会社ライン精工

生産性向上 ものづくり

岐阜県各務原市

国内有数の加工技術とIoTシステムを武器に、直近2年間で20%の顧客増に成功

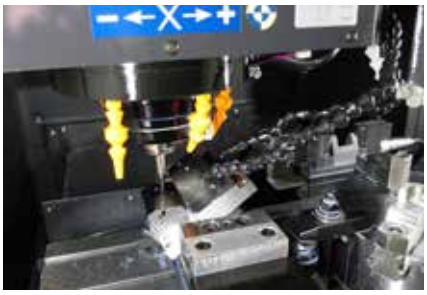
冷間鍛造用金型、各種精密治具、各種機械部品の設計および製造を行う。ミクロン単位での精度が必要な金型部品加工を中心に、単品部品や治具の製作を得意としている。その他にも自動車・工作機械・産業機械・航空機・医療業界他多数の幅広い分野で必要とされる精密部品に、材料手配から製品納入まで一貫して対応している。ダイス・ハイス鋼をはじめ、超硬やセラミック等の高硬度材の加工を得意としている。

●所在地	岐阜県各務原市前渡東町4丁目180
●電話／FAX	058-386-8161／058-386-8266
●URL	http://www.rhine-s.co.jp/
●代表者	取締役社長　長瀬　徹

●設立	1980年
●資本金	2,800万円
●従業員数	31人

国内トップクラスの超硬度材の加工技術で需要獲得

冷間鍛造型や樹脂金型の中でも、難加工といわれる超硬度材で1ミクロン単位の精度を必要とする加工技術が強み。割型等特徴的な部品や、超硬･セラミック等特殊材料での製作にも対応に加え、大手企業の厳しい要求水準をクリアしており、航空機、自動車、医療分野へ年間6,000点もの製品を提供している。パンチやダイなどの金型部品をはじめ、特殊部品・材料を用いた製作にも対応できる。また切削、熱処理、研磨、仕上げまですべてを社内で加工し、顧客の短納期要求にも応えることで、直近2年間で約20%の顧客増加に繋がっている。



機械を利用した高硬度材加工

独自の生産管理システムで「高い技術力」を維持

IoTを活用した独自の生産管理システム導入により、ノウハウが蓄積された10万件に及ぶデータから工程を参考に決定を行うことで、若手社員でも難加工にチャレンジする環境ができ、技術力の維持が図られている。同データを基に、早期段階で最も効率的な工程の組立可能で競争力を強化し、顧客獲得に繋がっている。また様々な技術提案にも活用しており、例えば金型部品の耐久性や機能性の向上に係る提案では、工法変更により部品寿命が333倍も向上した。

生産管理システムの利用

不具合を現状と過去の両方で検証し、さらなる進化へ

生産管理システムで稼働状況の可視化、製造工程の履歴管理により生産性の向上に取組み、2017年から2019年の利益率は1.8倍に増加した。全従業員にタブレット端末を貸与し、作業開始・中断・終了を端末に入力して全工程の稼働時間を把握している。また過去の不具合事例を参考に、加工方法の見直しを行っている。不良品が出る毎に委員会を開催し､ベテラン･若手社員でデータ等を参考に要因検討を実施、育成にも繋がっている。

熟練工のノウハウを若手に伝承

先生精機株式会社

生産性向上 ものづくり

静岡県静岡市

高精度かつ短納期による生産体制を構築、海外進出や新市場の充実化を目指す

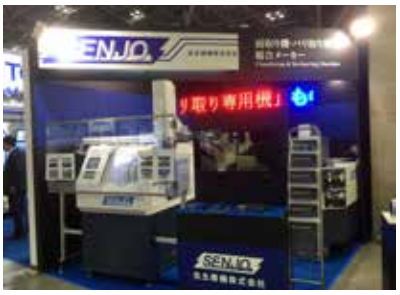
面取り機・バリ取り機を製造・販売するメーカー。独自の倣い方式による加工は、ティーチングレスで簡単かつ正確な面取り・バリ取りを実現、国内外各地へ納入しお客様から高い評価を得ている。時代の変化を的確に捉え、創業以来培った技術力を生かしてニーズに応えてきた。今後も、常に顧客の方向性を理解し、柔軟なアイディアと経験に裏打ちされた堅固なノウハウで要望を具現化して、良きパートナーであり続けていく。

●所在地	静岡県静岡市清水区宍原622-7
●電話／FAX	054-394-0777／054-360-2007
●URL	http://www.senjo-seiki.co.jp
●代表者	代表取締役社長　先生　武司

●設立	1972年
●資本金	5,000万円
●従業員数	87人

熟練工レベルのバリ取り・面取りを実現する専用機の供給

バリ取り、面取りに特化した機械を主力製品としている。高い品質要求やコストの問題等、多様化と高度化したニーズに応えるべく徹底的に研究を重ね、熟練工レベルのスピーディーかつ高度なバリ取り・面取りを実現している。また、部品製造から組立まで一貫した製造工程にて対応できる中小企業は全国的にも数少ないなか、独自の改善を図りながら対応力の強化を続けており、同業他社と比較し優位性を確保し続けている。なお、国内63件、海外4件の特許を保有している。



主力製品のバリ取り機

社内加工技術高度化による生産体制の転換と新市場強化

長年の課題であった中核部品の社外図面開示の抑制と、ワークの複雑形状化、製品短納期化要請へ対応するため、高精度マシニングセンタおよび最新式CAMを導入した。社内加工技術の高度化を図り中核部品の内製化をさらに進め、既存社内設備と連携し既存部品のCADデータ化を行った。内製化率の向上と高精度かつ短納期による生産体制の構築により、顧客からの発注に即時対応でき、その結果消耗品である中核部品の販売やアフターメンテナンス市場への対応の充実を図れるようになった。

導入した高精度マシニングセンタ

地元雇用創出への貢献と多様な人材の活用

地方公共団体が実施する学生の地元企業への就職促進を目的としたツアーへ協力し、地元企業の技術力やすばらしさを積極的にPRしている。また地元大学生、高校生を中心に5人程度を定期的に新規採用するなど、地元雇用の創出に貢献している。合せて、外国籍人材を海外営業の貴重な戦力として積極的に採用している。海外事業者向け営業に従事し外国語を駆使して海外商社と人脈を築き、販路開拓に注力している。なお、輸出先は16か国を超え、さらに拡大している

地元学生に対し工場見学を実施

ごはん屋さくら

生産性向上　サービス

静岡県静岡市

産学連携より試行錯誤の末開発した「イズシカめんち」で地域に貢献し成長する食堂

創業以来、桜えび料理を中心とした定食料理を提供している。気さくな接客と確かな美味しさから多くの顧客の支持を得ている。メディアに取あげられる機会も多く、地元のみならず遠方からの来客も非常に多い点が特徴であり、安定した経営に繋がっている。今後さらなる事業基盤の強化に向け、他の目玉商品の開発にも積極的に取組んでおり、平成30年には伊豆地域に生息する野生鹿の肉を使用したメンチカツの開発を実現させた。

●所在地	静岡県静岡市清水区由比今宿1027-8
●電話／FAX	054-376-0101／054-376-0023
●URL	http://www13.plala.or.jp/sakuraya110/
●代表者	代表　伊藤　忠雅

●設立	2005年
●資本金	ー
●従業員数	12名

産学の連携により地域の課題に貢献する新商品開発

新商品「イズシカめんち」は、地域に貢献したいという同店の想いと、鹿による農産物の食害問題を広く知ってもらいたいという静岡県立大学食品栄養学部の市川教授及び学生の想いが合致し、共同開発に至った商品である。低脂肪という鹿肉の大きな利点を活かすため、調理手法の研究や改良を積み重ね完成した「イズシカめんち」は、地域の小さな食堂ではあまり例のない産学連携の取組であり、テレビ局の取材をはじめ大きな反響を得ることができた。結果、同社ブランドの向上と商圏の拡大に大きく寄与した。

産学連携で開発した「イズシカめんち」

業務効率化のための設備投資やキャッシュレスへの対応

少人数で店内業務に対応するため、調理や接客の配置を固定せず、全従業員が全ての作業が行えるように従業員教育を実施している。積極的な新商品開発と広報事業等で来店客が増加したため、メニューの提供時間短縮の改善や食器洗浄機の導入による手作業の圧縮など、積極的に業務効率化を推進している。また、より効果的・効率的な広報活動を実施するため、自社HPの充実とインスタグラムの開設を行っている他、最近ではQRコード決済を導入し、時代の変化に合せ改善する努力を続けている。

全員が多能工で構成される厨房

代表の人柄・想いが根付き老若男女に愛される食堂に成長

同店は、「気軽さと気さくさ」を理念としている。「どなたでも美味しく召し上がっていただきたい」という想いから、子供や高齢者には食べづらさのある桜えびのかき揚げをほぐさず美味しく食べられるように、「桜えびバラ天丼」を開発、平成26年に経営革新の承認を得ている。このような顧客一人ひとりの要望に応える姿勢は従業員にも浸透している。顧客の潜在的なニーズにアンテナを常に張り巡らせている代表の一途な想いが、観光客のみでなく地元客にも支えられる名物食堂へと成長させた。

代表の想いが詰まる店舗

株式会社静岡鐵工所

生産性向上 ものづくり

静岡県静岡市

顧客ニーズに応えることで技術力を蓄積、国内の手動機シェア率トップを誇る

1877年創業、1936年設立の手動・NCフライス盤、マシニングセンタの製造を行う専門メーカーである。本社を含め7か所の営業所を持ち、日本全国へ展開している。永年、蓄積された技術に対する評価は高く、製品は国内外の工場や学校に納入され、「静岡のフライス盤」として業界に広く浸透している。2年に1度開催される「技能グランプリ」において、フライス盤職種競技の会場に選出されている。

●所在地	静岡県静岡市葵区産女1022
●電話／FAX	054-278-3451／054-278-3452
●URL	http://www.shizuokatekko.co.jp/
●代表者	取締役社長　野賀　美作

●設立	1936年
●資本金	10,000万円
●従業員数	110名

業歴140年で培った技術と経験

マシンの主要コンポーネンツはもちろん、構成パーツのすべてに高い品質基準を設けている。素材や部品においても、製品のクオリティを落とすことに繋がる要因は一切排除する姿勢を貫く。部品の切削加工・研削仕上においては、信頼のおける機械のみを設備した。究極の平面精度、直角精度を要求されるサーフェスには、マイスターとも呼ぶべき熟練技能者の勘と腕により、ミクロン領域での精緻を極めるキサゲ仕上を実施することで、経年変化の少ない、長期間高精度を維持するマシンの製造に結び付く。

精緻を極める熟練のキサゲ仕上

デスクトップタイプ超小型マシニングセンタ「DT-30N」

工作機械の専門メーカーが手がけ、「机上の工作機械品質」を実現した画期的マシンとして、各方面の注目を集めている。当マシンは、軽金属の小物パーツや電極、治具の加工、試作はもちろん、コアなモデラーの個人使用にも対応している。ファナックCNCの搭載により本格マシニングセンタに匹敵する性能がある。顧客ニーズに応えつつ技術力を蓄積させ、製品の付加価値向上に努めている。

注目を集める「DT-30N」

公的機関や学校で行う教育のためのマシン製造

公的機関においては教育や技術向上のために必ず手動機が必要となる。同社では大手競合企業の取扱が少ない手動機を通じてものづくりを支えている。また顧客志向を徹底している。顧客の声を製品の開発に反映させ、豊富なオプション仕様を用意するセミカスタマイズ手法により、理想の1台を提供し続けている。国内において手動機のシェア率はトップであり、安定した受注を確保し続けている。

国内トップのシェア率を誇る手動機

東洋レヂン株式会社

生産性向上 ものづくり

静岡県富士市

自動化による生産性向上と付加価値向上を実現し、新医療市場を創生していく

1967年1月、静岡県富士市にプラスチック原料加工工業として創業開始、プラスチック成形・着色を行う医療機器・医療部品製造メーカーである。本社工場は医療機器製造販売業許可を取得、製品は様々な知財を取得している。現社長は2013年より当社社長に就任し、先代からの目標の下請からの脱却、自立企業を目指し、自社商品の開発と他社に頼らない経営に着手した。徐々に売上を伸ばし製造販売の基礎を築いた。

●所在地	静岡県富士市厚原2104-1
●電話／FAX	0545-71-2023／0545-71-8429
●URL	http://www.resin.co.jp/index.html
●代表者	代表取締役社長　井出　茂昭

●設立	1967年
●資本金	1,600万円
●従業員数	80名

プラスチック微細加工技術による製造販売と新医療市場開拓

プラスチック製品の微細加工と成形技術に長け、「マイクロコーン」という微細突起を保持し、痛みや可動域の改善効果のある医療機器（商品名：ソマセプト及びソマレゾン）を開発、製造し販売している。μmレベルの成形技術を保持し量産販売する会社は少ない。医師や療法士をはじめ多くの施設で導入され、新たなる簡便な治療方法として活用されている。また公益に寄与することを目的に地域疼痛ケア協会を設立し、企業の枠を超えたビジネスモデルへ挑戦している。

主力製品を製造する工場

AIとIoTの活用による作業効率と品質向上の実践

①AIロボットを製造ラインへ導入し、不良品の出ない製造システムを構築したことで原材料の無駄を削減し、作業効率の向上に繋がっている。②AI及びIoTを活用し、作業員の作業状況改善を実施し、人件費用の抑制と品質の安定的な担保を行っている。③全ての工程で画像装置やIoTを導入することで、自動機の簡略化と更なる効率化とコストダウン達成、及び品質と付加価値の向上を実践している。

工場で活躍するAIロボット

作業標準化と多能工化による人材活用

安定した製造を可能にするため、従業員教育の一環としてISO13485及びQMS（医療機器製造に関する手順）等の作業標準書の整備を通じ標準化を進めている。標準化が困難な作業にはOJTを中心とした教育計画を作成、従業員に対し定期的な研修を行うとともに、より効率を向上するための技術開発や製造システムの検討に活用し、製品開発能力、設計能力の向上に努めている。作業の標準化により空いた人員・時間を、ものづくりのみに囚われない教育訓練を行い、人材の有効活用を実践している。

積極的なセミナーへの参加

株式会社ヤナギハラメカックス

生産性向上 サービス

静岡県榛原郡吉田町

産業用ロボットシステムの提供 設計から製造までを一貫サービス

同社は1967年設立、創業52年になる産業用機械製造の企業である。工作機械業界に始まり、自動車業界、印刷業界、食品業界、半導体業界と対象領域は多岐に渡る。近年ではロボットを活用したFAの需要が活性化しており、顧客の期待に応えるため、産業用ロボットの導入を積極的に提案している。最適なシステムの提案から、設計・部品加工・組立・電装・据付に至るまで、自社で一貫して行えるのが特徴である。

●所在地	静岡県榛原郡吉田町住吉1541
●電話／FAX	0548-32-1133／0548-32-6735
●URL	http://www.y-mechax.com/
●代表者	代表取締役社長　柳原　一清

●設立	1967年
●資本金	5,000万円
●従業員数	90人

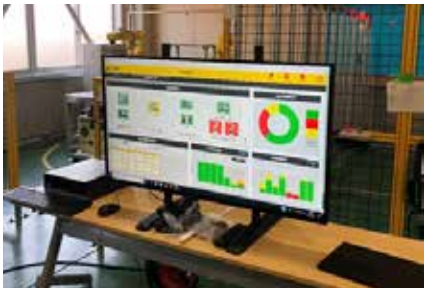
FA化のトータルコーディネートによる付加価値向上

一般的に、中小事業者がFA化によるライン構築や生産性向上計画を策定するときは、コンサルタントを利用する。一方、産業用ロボットメーカーの多くは、ロボットの製造と販売に特化しており、システム全体のコンサルタント業務まで請け負うことは難しい。同社では設備導入のアドバイスや実証実験を行うことで、「相談→要望に基づいた計画策定→ロボット選定→（実証実験）→製造→販売→設置」をワンストップ事業として行っており、顧客の要望に適したFA化を実現している。

ロボットシステムインテグレーション

IoT導入による自社業務の効率化

同社は自社の自動化、IoT化にも取組んでおり、FIELD system（FUNUC社製）などをモデル事業として導入し、業務効率化を推進している。中小企業の多くは、機械の稼働状況のデータの集積や計算を人手や個別の端末で行っているが、当システムでは、接続された機械装置全ての稼働状態・稼働実績の確認、及び、データ分析をパソコンで一元管理することで、工程管理の簡易化、データ集積計算にかかる時間の削減、迅速なメンテナンスを可能とし、製造工程における時間の無駄を大幅に削減している。



機械の状態を一元管理するIoTシステム

中途採用を有効活用した適材適所と即戦力化

同社では今年度中途9名・新卒3名を採用した。採用した人材は、FA事業、機械部品加工事業、OEM/ODM事業及び総務部門と、面接時に希望した事業へ配属されている。中小企業では人手不足の影響により若手育成が難しいなか、即戦力となる中途採用を行い、新卒人材の育成係としての役割を担ってもらうことで、事業の継続性と人材育成の両面を補っている。さらに、外国人ロボット関連人材を採用する予定であり、今後は様々な人材が活躍するダイバーシティー企業への取組を積極的に行っていく。

ロボットシステム事業を支える従業員

株式会社エスクリエイト

生産性向上 サービス

愛知県名古屋市

ものづくりをソフトウェアでトータルサポート 社員のスキル向上で高技術を実現

同社は、ものづくりの世界を進化させるソフトウェアサービスを事業領域としている。顧客の立場に立ち、品質、コスト、納期、生産性、安全性を追求したシステムを、企画立案から設計・開発、ハードウェア・ソフトウェア選定、システム保守までの一貫したサービスで提供している。主にCAD/CAM、生産管理、計測・制御システムを開発。中堅中小企業向けサービスとして、見える化ソリューション、ITコンサルティングも提供している。

●所在地	愛知県名古屋市中区錦1-4-16 KDX名古屋日銀前ビル4F
●電話／FAX	052-222-3600／052-222-3699
●URL	https://www.screate-soft.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　本山　景一

●設立	1994年
●資本金	1,000万円
●従業員数	52人

ものづくりの世界を進化させるソフトウェアサービスの提供

ものづくり全体を、ソフトウェアサービスによってトータルにサポートする。企画立案から設計・開発、ハードウェア・ソフトウェア選定、保守まで、一貫したサービスを提供。さらに、見える化ソリューションやITコンサルティングなど、これまでに培った知識、スキル、経験などの強みを活かして、企業のIT利活用や、業務効率化に向けた事業も展開している。自ら顧客にアイデアを提案することでサービスの付加価値を向上し、ソフトウェアサービスで我が国のイノベーションを支える取組を実施している。

ものづくりを支えるソフトウェアサービス

充実した開発環境と品質管理のもとで行うアプリ開発

オブジェクト指向によるシステム設計により、複雑なソフトウェア開発と品質管理の効率化を実現。また、優れたハードウェア環境と各種ソフトウェアを駆使して、余裕のある開発環境を確立している。新作リスクアセスメント支援ツール『安全革命』は、ものづくり現場において危険源や危害を網羅的に抽出して、リスク評価を行うアプリ。プルダウンメニューや文章候補表示機能、アセスメントの履歴管理や過去データの再利用、JIS規格参照機能によって、リスクアセスメント作業の省力化、効率化を実現している。

リスクアセスメント支援ツール・安全革命

希望に沿った資格取得支援とスキルアップの取組

社員の興味や技術習得に応じたスキルアップを支援するため、資格取得支援制度を設けている。本制度を利用して「情報処理安全確保支援士」資格を取得した社員を、ISMS情報システムチームや内部監査チームに配置するなど、適性や希望を考慮して活躍できる場を提供している。また、業務知識に精通したベテラン社員と大学院で高度な専門知識を習得した若手社員を、1チームにして業務を担当させたことで、両者のスキルアップだけでなく、顧客からも高評価が得られ、その後の継続的な取引につながっている。

ベテラン社員と若手社員の打合せ風景

株式会社イワタツール

生産性向上 ものづくり

愛知県名古屋市

女性と高齢者が活躍する職場を実現して世界トップクラスの特殊用途ドリルを生産

同社は、特殊用途ドリルを日本で初めて国産化した創業92年目の企業である。切削工具メーカーとしての基本は崩さず、ダイヤモンドなどの新素材のドリル開発やIoT活用など、常に新しい取組にチャレンジし続けている。「自社技術が世界トップクラス」と自負する約20種類のドリルに注力しており、それらの独自技術は他社の追随を許さない。ユーザーは、自動車、宇宙、航空、半導体、食品、医療など多業種に渡っている。

●所在地	名古屋市守山区花咲台2丁目901番地 テクノヒル名古屋E-3
●電話／FAX	052-739-1083／052-739-1084
●URL	http://www.iwatatool.co.jp
●代表者	代表取締役社長　岩田　昌尚

●設立	1928年
●資本金	4,000万円
●従業員数	40人

補助金活用による開発体制

焼入鋼などの高硬度材用の小径深穴ドリルをはじめ、小径工具の分野で世界最高速加工が可能なドリル（特許取得）や、最小径8μmのドリルなどを自社で開発しており、その精度、加工速度、寿命においては世界トップレベルの技術を持っている。これをさらに進化させるため、世界最先端の設備をそろえ、技術開発と生産性・品質向上に努めている。3年前からサポイン事業により、CBNコーティング切削工具を、企業、大学などと協力して開発、今後実用化していく予定である。

主力製品の小径深穴ドリル

IoT活用による生産管理体制

昨年度、IoTを活用して、主要設備の稼働状況と生産工程の管理システムを刷新、業務効率の向上を図った。現在は、生産計画と工程進捗、機械稼働状況の一元管理が可能なシステムの開発を行っており、年内にはタイや中国の拠点の稼働状況も、日本国内でリアルタイムに管理することが可能なシステムを構築する。

IoTを活用した生産管理システム

スタッフの約半数が女性と高齢者

技術分野に苦手意識のある方や、小さなお子様をお持ちの女性、70歳以上の高齢者などでも、基礎的な技術教育と、それぞれの得意分野を活かし、プライベートと両立した働き方ができる体制を構築している。産休・育休はもちろんのこと、時短勤務、時差出勤などの勤務体制や人員配置を実現したり、体に負担をかけない業務内容に絞るなど、ある程度まとまった人数で、お互いをカバーできる組織を構築している。

活躍する女性従業員

株式会社ワンデックス

生産性向上 サービス

愛知県春日井市

全国の住宅関連資材会社の力を集結し商品企画・開発の共同化で付加価値を創出

同社は、2020年に創業50周年を迎えるエクステリアやガーデン資材の総合商社である。全国の住宅関連資材の卸販売会社33社が参加している独自のブランド「Only One Club」により、独創的で充実した品揃えと確かな販売システムを構築。顧客に新しい生活のスタイルを提案し、商品の組立や取付も自社で育成した熟練の職人が行うことで付加価値をプラス。東海地区No.1を目指して積極的に事業を展開している。

●所在地	愛知県春日井市大泉寺町大池下443-145
●電話／FAX	0568-89-3355／0568-89-0333
●URL	http://www.onedex.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　南　史朗

●設立	1970年
●資本金	1,000万円
●従業員数	81人

同業他社との共同ブランドとユニットビルダーによる安心施工

同社の付加価値向上に資する取組は大きく分けて2点ある。1点目は同社社長が全国同業者に呼び掛けて立ちあげた「Only One Club」のブランド力で、現在は北海道から沖縄までネットワークを持っている。商品企画・開発を共同で行うことで独創的なラインナップを実現させている。2点目は専属のユニットビルダー（職人）を組織化することにより、単に商品を販売するだけでなく、安心安全な工事を提供することで顧客の満足度の向上に寄与。この2点により、地域内の幅広い顧客ニーズに応えている。

ユニットビルダーによる安心安全な施工

オリジナルの商品販売管理システムの構築による差別化

従前は、仕入先への発注及び販売先への請求を紙媒体で行っており非効率であった。そこで独自の商品販売管理システムを構築することで、IT化による改善を図っている。具体的には仕入先の商品番号と自社の発注番号を紐づけて管理することで発注を簡素化し、販売先にはメールにて納期回答や請求書の配信を行っている。加えて新規顧客情報の管理も、同システムを活用することでペーパーレス化に成功した。小口先を含めると約2,000社に及ぶ販売先管理が電子媒体で行えるまでに至った。

オリジナルの商品販売管理システム

働きたい主婦に注目した採用活動

毎年地元大学の新卒を3、4名正社員として採用しているが、同時に積極的な女性職員の採用も行っている。子育てとの両立に奮闘するママは、定時時間内の中で業務が終わるよう効率化を考え仕事に取組を行っているため、時間外勤務の短縮に繋がった。また、子育て中のママに嬉しい時間単位有給や半日有給の制度があるため、学校行事等に参加しやすい環境が整っているので、有給消化率の改善にも寄与している。

女性職員も働きやすい職場環境

アドバンス電気工業株式会社

生産性向上 ものづくり

愛知県春日井市

「従業員は財産」をモットーに高い技術力と安定品質で精密バルブの一貫生産を実現

昭和56年に名古屋市千種区にて創業。半導体製造装置や医療分析機器向けに各種精密バルブを開発・設計から製造まで一貫して行っている。愛知県の本社工場の他、沖縄県、韓国、台湾に工場があり、熊本県と米国カリフォルニア州の販売事務所をあわせて環太平洋に展開している。同社の精密バルブは、各種機械の「流体制御」を担う重要な部品であり、成長を続ける半導体や医療業界において世界のトップクラスの企業から高い評価を受けている。

●所在地	愛知県春日井市廻間町浦屋敷519-1
●電話／FAX	0568-88-7300／0568-88-7345
●URL	https://www.advance-e.jp/
●代表者	代表取締役社長　飛田　剛

●設立	1981年
●資本金	10,000万円
●従業員数	370人

高品質のバルブを開発・生産するための経験とノウハウが蓄積

創業時から培ったスーパーエンプラに関する経験とノウハウから、信頼性の高い製品を常に市場へ提供している。人口透析装置や血液分析装置に使用されている電磁弁シリーズや流量センサー、半導体の製造工程において使用されるエアー弁には、高品質、高精密、高清浄度、長寿命が求められている。こうした要求に答えるため、開発設計段階でのスーパーエンプラをはじめ、各種素材の選定、それを製品化するための経験とノウハウを蓄積している。多くの特許を取得しており、海外特許技術も製品に展開している。

信頼性の高い精密バルブ製品

開発・設計から製造に至るまでを一貫して自社内にて実施

開発・設計から製造に至るまでを一貫して自社内で実施することで、効率化を実現している。愛知県の本社工場のほか、沖縄県、韓国、台湾にグループ会社の工場があり、拠点に合せた生産を行っている。自動加工機、自動組立機や自動搬送機などのロボット導入により、効率化、省人化、省力化を促進。同時に安定した品質を目指した製造工程を確立している。柔軟な生産を実現するため一部の生産設備を内製化している。一部部品の海外調達、海外拠点生産と地域産業への貢献を同時に目指している。

ロボットが導入された生産ライン

従業員の働く環境を整備、産休制度など子育て世代支援が充実

会社の基本理念である「従業員は財産、人は宝」（従業員が気持よく働ける環境でなければ、良い製品も良いアイデアも生まれてこない）の考えをもとに、従業員の働く環境の整備を促進している。超過労働時間の削減、給与システムの見直し等、従業員のモチベーションを引きあげる取組を行っている。女性従業員へ産休制度の積極的な利用促進を行うとともに、産休後の職場復帰を支援。子育て世代が働きやすい環境の整備に努めている。

多くの女性従業員が活躍できる職場

矢留工業株式会社

生産性向上 ものづくり

愛知県春日井市

ダクト製造でトップシェア、社員の創意工夫により高精度加工技術と安定品質を実現

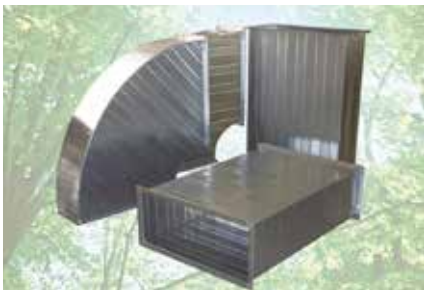
同社は、紡績工場の繊維ダスト除去の設備製造で設立し、現在、中部地域のダクト業界でトップシェアを有している。空気調和設備では工事現場での図面引き・製作を工場製作に切換え、空調ダクトでは業界初のアーク溶接ロボットを導入して、組立行程までの自動化ラインを構築。さらに環境負荷低減のためダクトの軽量化を進め、自動車分野等の塗装プラント事業へも展開している。平成27年に「愛知ブランド企業」に認定された。

●所在地	愛知県春日井市上田楽町291番地
●電話／FAX	0568-31-8152／0568-32-5986
●URL	http://www.yatome.co.jp
●代表者	代表取締役社長　東海林　昌仁

●設立	1961年
●資本金	5,000万円
●従業員数	51人

ロボット・自動化ラインの構築と高精度加工技術で軽量化実現

空調ダクト用アングル材のフランジ溶接で、業界初のアーク溶接ロボットを導入して、省人化と生産能力拡大および高精度化、品質の安定化を実現した。空調ダクト用で材料コイルの引出し・切断から、ダクト形状組立までの工程の自動化ラインを中部地域で初めて構築。設備現場への輸送時の負荷低減、及び、設置労力の低減のためダクトの軽量化を進め、「ラインエコ」を開発し特許登録した。さらに塗装ラインの枠体の高精度レーザー加工により、板厚の薄板化と軽量化、及び品質の安定化を実現した。



高強度・軽量化が実現された空調ダクト

熟練溶接手法を組込む治具設備の工夫で溶接品質を安定化

大型ダクトは重量が大きく取扱いが困難なため、特に軽量化が求められている。大型ダクトは板材の材質によりティグ溶接と炭酸ガス溶接とに使い分けられ、板厚を薄くすると熱の逃げが小さくなり熱膨張差による歪が大きくなるため、溶接変形が大きくなりやすい。両用の溶接が可能な治具・設備の開発をすることにより、熟練工員だけではなく経験の少ない作業員でも、より薄い板厚での溶接を可能にして、安定した生産性と品質の安定化を得ている。

安定した生産性を実現する治具設備

作業環境での負担軽減と社員の意識改革を支える仕組の導入

騒音対策のため工場内を密閉しているため、作業所内の全てに空調稼働させている。また、重量物を扱うため、工程間の運搬車の載物台を人の腰の高さに設定したり、工場内の全柱と全スパン間で天井クレーンを利用できるようにしている。社員の創意工夫を促し、能力の向上を図ることを目的としたグループ活動での提案制度と、その表彰制度を設けている。さらに元役員、元部門長を再雇用することで、各部門の熟練者が現役管理職・監督と中堅社員にノウハウを伝授している。

創意工夫が施された空調設備製造ライン

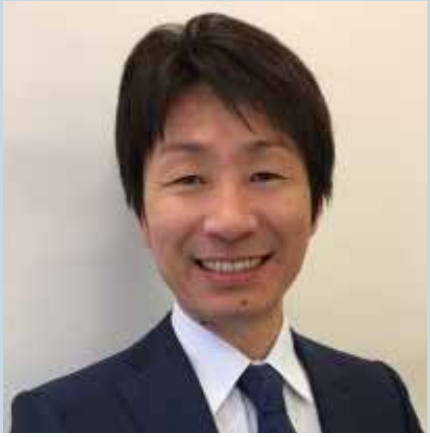
毎味水産株式会社

生産性向上 サービス

愛知県西尾市

徹底した衛生管理と人材の育成で、多くのお客様により良い商品をお届け

同社は、全国有数の漁獲量を誇る一色漁港を拠点とした三河地域最大の老舗の「海老問屋」である。当該地域では地域資源としてえびせんべいが指定されており、この製造最大手「株式会社坂角総本舗」の主力商品「ゆかり」に使用される海老は同社が100%のシェアを有している。近年では、三河湾から水揚げされる海産物の減少に伴い、培った仕入ノウハウを活かして海外からも材料を仕入れ地元企業及び全国の企業に販売している。



●所在地	愛知県西尾市一色町坂田新田沖向103番地2
●電話／FAX	0563-72-8511／0563-72-1535
●URL	http://www.kotomi-suisan.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　藤井　崇悟

●設立	1950年
●資本金	2,000万円
●従業員数	68人

新鮮素材の徹底した衛生管理による高付加価値の実現

同社は、仕入れた海老の徹底した衛生管理を実施することで、商品の高付加価値化を実現している。平成29年に新設した工場には、最新の衛生管理システムを導入し、冷凍工程ではマイナス40～43度の急速冷凍技術を駆使して鮮度維持に努めており、冷凍中の水分蒸発、乾燥・酸化によりたんぱく質が変質する「冷凍焼け」への対策も行っている。平成30年には対米輸出水産食品HACCPの認定を取得。こうした取組が評価され、「食品衛生優良施設」として表彰を受けている。

徹底した衛生管理

多くのお客様に良い商品をお届けするための業務効率化

同社は、最新の設備を導入した工場を新設し、生産性を向上させた。むきえび等の処理能力が従来の1.5倍となり、全体生産量で年間3,000tを超える加工処理を可能とした。また、従前から積み重ねてきたIQF（個別急速凍結）技術・設備においても革新され、製造品の鮮度を維持し管理する能力がさらに向上した。加えて、各工程の作業導線についても見直しを行い、衛生・品質管理体制を整え、顧客からの多種・多様なニーズに対応できるよう業務の効率化を実現した。

生産性を高める業務効率化

「変わらぬ顧客満足」を実現するための人材の有効活用と育成

平成29年に新築した工場は、品質・生産性の向上とともに、働きやすい環境の整備を目指したものであり、従業員満足度を追求している。年に1回全従業員との面談を実施、各従業員の部門配属や現場担当配置について希望を聞き、希望に応じたキャリアチェンジを実施している。また仕入・検品・出荷部門の班長などに、「えびのことなら“えび博士”」「チルド商品のまとめ役！カリスマ班長」といったユニークな名称をつけ、従業員間のコミュニケーション活発化を図っている。

人材育成に注力

アルメック株式会社

生産性向上　サービス

愛知県豊明市

独自の再資源化技術とコミュニケーション強化策で未来に亘る競争優位性を実現

同社は、昭和34年創業。役割を終えた多様な金属類を再生し、独自の技術とノウハウで高品質な原料の製造・販売を行う「資源製造供給会社」である。回収した金属類は適切なサイズに整え、加工工程前後の精緻な選別･解体作業によって品質を確保、高品位な製品に生まれ変わって地場の各製鋼・伸銅メーカーに販売している。読書会「木鶏クラブ」の実施、3年連続「健康経営優良法人」認定取得など、働きやすい職場づくりにも注力している。

●所在地	愛知県豊明市前後町三ツ谷1361
●電話／FAX	0562-97-7215／0562-97-8181
●URL	https://www.armec.jp/
●代表者	代表取締役社長　星河　秀樹

●設立	1959年
●資本金	1,000万円
●従業員数	67人

複合物の再資源化能力向上による競争優位の実現

近年は金属とプラスチックなどにより構成された「複合物」の廃棄が増えており、従来以上の高度な処理技術を求められている。同社では2013年にシュレッダープラントを導入し、各種選別装置の導入やキーデバイスであるローターノッカーの開発（特許･意匠取得）などにより､複合物の再資源化を可能にした。さらには「愛知環境賞」を受賞した「非鉄ピックアップライン」、雑銅線から純良な銅を抽出する「ナゲットライン」構築など独自の技術開発を進め、付加価値の向上と他社に対する競争優位を実現している。

ナゲットライン

部署間連携・コミュニケーション強化による業務効率化

同社では、社内向けSNSツール「TUNAG(ツナグ)」を導入して、各部署ごとに有している高い技術力やスキルを最大限活かした業務効率化を実現している。具体的には独自のコンテンツを採り入れた同ツールを活用して、年間計画の進捗状況から仲間への「サンクスメッセージ」まで全社でリアルタイムに共有、あらゆるコミュニケーションをTUNAG上で行えるようにカスタマイズを随時行っている。その結果、社内の情報共有速度が飛躍的に高まり、業務効率化と社員満足度向上に大きく貢献している。

社内向けコミュニケーションツール

活発な採用活動とジョブローテーションによる人材の有効活用

同社は、会社の将来を担う人材として新卒の採用を積極的に行っている。現場の作業だけでなく総務部門の体験メニューも加えたインターンシップ、若手社員が中心となって行う会社説明会など毎年工夫を重ねるとともに「理念採用」を掲げ、会社としての考えを学生に丁寧に伝えることで入社後のイメージギャップを可能な限り低くしている。また既存社員に対して「ジョブローテーション」を積極的に行い、幅広い知識と技術を体得することでオールマイティーに活躍できる人材を育成し、生産性の向上を図っている。

新卒の採用風景

阪部工業株式会社

生産性向上 ものづくり

愛知県西尾市

高い鋳造技術とIoT・AI技術の導入による生産マネジメントシステムの構築

昭和10年に名古屋市にて創業し、現在は「専業に徹し、変化に挑戦する。品質重視。人の和の尊重とクリーンファンドリーを目指す。」をスローガンに、トヨタ自動車(株)等の協力企業として、ダクタイル鋳鉄を主力に、自動車部品、建設用部品、工作機械部品等の鋳鉄鋳物素材から最終製品の機械加工仕上に至るまでの一貫した生産体制を構築し、重量品から軽量品まであらゆるニーズにフレキシブルに対応している。

●所在地	愛知県西尾市中畑町水荒井8番地
●電話／FAX	056-359-8181／056-359-4679
●URL	http://www.sakabekogyo.jp
●代表者	代表取締役　阪部　幸司

●設立	1935年
●資本金	1,000万円
●従業員数	232人

多様な素材製造を可能とする最新鋭の鋳造設備及び技術の確立

鋳造方案設定時にCAE解析を活用し、三次元CAD/CAMを使用することにより、小型化・耐熱化・複雑化に必要な技術が蓄積され、設計・鋳造における高品質体制を構築している。鋳造設備においては、エネルギー効率が高い溶解設備と、高効率な抜枠造型機を有する造型ライン設備等の先端設備を導入することで、コストを低減し、生産効率を高め競合他社との差別化を図っている。

IoT機能を取入れた高い鋳造の技術力

IoT機能及びAIを活用した精密加工技術の確立

IoT機能及びAIを活用して人と情報をつなげている。「つながった」情報系ネットワークを管理(見える化ソリューション)することで、生産状況がリアルタイムに数値化され、そしてネック工程の見える化を実現する。異常や警告をアイコンと色で表示し、情報を見える化し、「加工品質の確保」「設備稼働率の向上」「生産性の向上」、につなげる生産マネジメントシステムを構築している。

IoT及びAIの導入

採用後の従業員定着に向けた福利厚生の充実

地元からの若手従業員の雇用を積極的に行っており、採用後の定着および従業員一人ひとりが力を十分に発揮できるように福利厚生の充実を図っている。具体的には、ゴルフ、温泉、釣りなどの社内クラブを整備することで、年齢・上下関係のない従業員同士のコミュニケーションの場を提供している。業務面においても「良いものは良い人によりつくられる」という信念に基づき、技術だけでなく良い人づくりにつながるよう丁寧なOJTや作業標準化に取組んでいる。

活発な社内クラブ活動

株式会社西浦化学

愛知県蒲郡市

独自の射出成型機とTPM活動で高付加価値化の実現

同社は、昭和45年創業し、自動車向け樹脂部品の射出成形及び成形品の組つけを主な事業としている。成形では金型360トン以下の小型成形に特化し、単なる成形品の組つけに留まらず印刷・塗装や静電と吹つけ技術を用いた植毛などの二次加工も行い、取引先ニーズに沿った付加価値の高い製品を供給している。また、自社で成形機や印刷機器の開発・製造も手掛け、コンパクトでより省エネルギーな設備を実用化している。

●所在地	愛知県蒲郡市浜町13番地3
●電話／FAX	053-367-7171／053-367-7177
●URL	http://nisiura.co.jp/
●代表者	代表取締役　牧原　邦松

●設立	1970年
●資本金	2,000万円
●従業員数	128人

2色同時成形、印刷・塗装、植毛による成形品の付加価値向上

同社は自社開発の小型成形機を進化させて2色材料の同時成形という二次加工の一次加工化も実現し、自社で印刷機器も開発して、タンポ印刷による成形品への印刷や塗装も行っている。さらに、静電植毛とファイバーコート（吹つけ植毛）の2つの植毛技術を持ち、自動車部品以外でもエアコンの吹出し口やこたつのガードといった産業機器、エアコンやカメラの弱電部品、化粧材などあらゆる分野に対応することで、多様化する顧客ニーズに沿った柔軟な対応が可能となり、付加価値の高い製品の提供を可能としている。

自社開発の小型射出成型機

TPM活動によるロス・ムダの削減と高性能生産機の自社開発

同社は、TPM（総合的生産保全）活動を通し、徹底的にロス・ムダの排除に取組んでおり、生産プロセスのさらなる改善、業務の効率化を積極的に行っている。また、コンパクトライン実現を目指して、自社での小型成形機開発と二次加工同期化事業についても積極的に取組んでいる。それに加え、成形機だけにとどまらず、印刷機器などの開発・製造も手掛け、コンパクトでより省エネルギーな設備の導入による生産性向上・コスト低減に取組んでいる。

活発なTPM活動

キャリアプランを考慮し、積極的に社外教育機関の研修に参加

同社も他社と同様に従業員の高齢化や人手不足が大きな課題となっている。これらの課題の解消を目的として、それぞれのセクションで常にロス・ムダの排除を目的とした改善活動を実現できる力量を備えた人材を育成するべく、社外教育機関が行っている「射出成形技能コース」や「養成訓練プラスチック製品成形科」などの社外研修に積極的に参加させている。その結果、射出成形技能士をはじめ多くの資格をもつ従業員が増え、社員一人ひとりの力量を考慮した従業員のキャリアプラン体制を構築している。

積極的な社外研修の奨励

伊藤工業株式会社

愛知県西尾市

独自技術の継承とさらなる技術革新に向け人材の有効活用を実現

同社は、昭和26年に西尾市にて創業し、「人と人のふれあいを大切にし、“和”を尊び未来に向けて飛躍する」をスローガンに、工作機械や産業機械の駆動系部品を主力製品として、切削加工、旋削加工、研削加工、組付け業務を行っている。多品種小ロット品における独自の生産体制を構築し、高精度・高品質な部品を提供しており、特に鋳鉄の加工においては材料手配から加工完成品まで一貫生産で対応できる強みを持っている。

●所在地	愛知県西尾市十郎島町下縄71
●電話／FAX	056-365-6111／056-365-6115
●URL	http://www.itou-kogyo.co.jp
●代表者	代表取締役　伊藤　武行

●設立	1951年
●資本金	5,000万円
●従業員数	41人

多品種少量生産体制を構築して付加価値向上に貢献

同社は、生産性の高い多品種少量生産体制を構築し、売上向上や競争力強化を図っている。この生産体制は、マシニングセンタ多パレット方式と同社独自の専用治具を融合して行うものであり、多品種の部品を無人運転により日々繰り返し生産が可能なほか、1個単位での極小ロット生産も可能である。加えて、加工機の段取り工程の削減に努めることで、製品精度の向上および生産自動化による生産性の向上を実現するなど、付加価値向上に資する取組を行っている。

最新式の加工機

5軸制御マシニングセンタ導入による業務の効率化

同社は、多面加工を5軸制御マシニングセンタで行うことにより、複数必要だった工程を1つに集約している。加えて、マシニングセンタと同社独自の専用治具を融合することで、多品種の部品を夜間に無人運転にて生産することを可能にしている。その結果、より少ない従業員で、多くの受注をこなせるようになり、業務の効率化が実現された。また、顧客から受領した図面をデータ化し、CAMにてNCプログラムを作成し、マシニング加工を同時並行することで、リードタイム短縮にもつなげることができた。

5軸制御マシニングセンタ

従業員の意見を積極的に取入れ若手のモチベーションアップ

同社のコア技術となる独自の専用加工治具や特殊切削工具は、熟練の従業員が長年の経験と勘を基に独自で図面を描かずに製造していたため、技術の継承がなされない恐れがあった。そのため、この独自技術のノウハウをデータ化することで若手従業員への技術承継を進めている。また、若手従業員の意見も積極的に取入れる仕組を構築して、熟練工と若手従業員のモチベーションアップにつながる取組も行っている。

生き生き働く若手従業員

カネヤ製綱株式会社

愛知県蒲郡市

独自の技術開発体制と高齢者も活躍する人材の適材適所で高付加価値製品を生み出す

同社は繊維ロープの総合メーカーとして、独自技術で開発したモノフィラメント原糸から、多種多様な素材や撚り構成を持つ合成繊維ロープを製造販売している。農業業界・水産業界・船舶業界・建設業界・レジャー業界等あらゆる産業分野で活用され、用途も多岐にわたっており、新たなロープのオーダーメード生産体制を確立している。このようなことから、多くの分野にて信頼と実績を築いている。

●所在地	愛知県蒲郡市形原町北戸甫井11の1
●電話／FAX	0533-57-3151／0533-57-3155
●URL	http://www.kaneyaseiko.co.jp/
●代表者	代表取締役　牧原　昇司

●設立	1947年
●資本金	7,000万円
●従業員数	123人

原糸の高強度化と耐摩耗性の強化による製品付加価値の向上

産業資材の様々な分野で、より高強度で、擦れに強く、耐候性能力の高いロープが求められている。そのため、原糸の延伸工程で原糸中の繊維が動き易くする温度（熱量）と、繊維の並びを引揃えられる引張割合（延伸倍率）が重要となる。同社は、平成30年に多段延伸装置を改良した同社オリジナルのモノフィラメント製造装置を導入し、付加価値向上実現した。また、あいち産業科学技術総合センター三河繊維技術センターとも共同研究を継続しており、より付加価値の高い繊維ロープを探求している。

高付加価値を追求した研究開発

建設による紡糸製造部移転と業務効率化

同社は、平成30年に隣接する西尾市に新工場を建設して原糸製造を移転し、モノフィラメントに対応したフレキシブルな生産体制を確立した。旧紡糸工場では、作業スペースの確保や機械の配置に限界があったが、移転後は作業スペースを十分に確保し、作業工程の流れに沿った機械の配置等を行うことによって、非効率であった工程が改善され、大幅に業務の効率化が進んだ。

新工場の移転による業務の効率化

年代・能力に合わせた人員配置と地域高齢者の雇用創出

同社の従業員は、パートを含め18才から75才まで幅広い人材を採用しており、それぞれの年代と能力に合わせた適材適所での人員配置を行っている。同社に10年以上在籍する従業員と経験の浅い従業員がペアを組んで業務を行うことで、社内における技術承継がスムーズに行われる体制を取っている。本社工場を構える蒲郡市は繊維ロープ産地であることからロープ製造を経験していた高齢者も多く、内職を依頼することがあり、地域での雇用創出にも貢献している。

地域高齢者の雇用創出

朝日理化株式会社

愛知県西尾市

高い技術と無盡（つきない）の姿勢で品質と付加価値の向上を追求し続ける

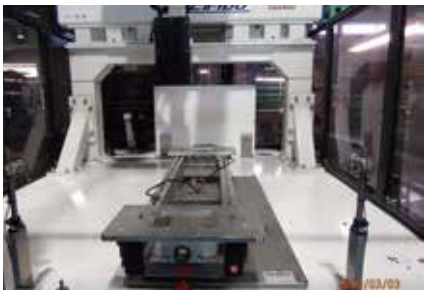
社是の「無盡」（つきない）は常に新しいもの・ことへの挑戦の姿勢を現している。同社は自動車、電動工具向けのエンジニアリングプラスチック部品、汎用プラスチック部品の量産精密成形加工を手掛け、高い技術力と厳格な品質管理により、自動車エンジンの電子基盤カバーのシェアは国内トップクラスである。企画・設計から金型設計・製作、射出成形・組立まで一貫して行える体制を構築、ISO9001、14001認証も取得している。

●所在地	愛知県西尾市西浅井町尾ヶ山5番地96
●電話／FAX	0563-52-3368／0563-52-3378
●URL	http://www.asahi-rk.jp
●代表者	代表取締役　朝岡　陽子

●設立	1974年
●資本金	1,200万円
●従業員数	113名

不良率低減と高付加価値化へのたゆまぬ取組

成形工程内のタクトで高感度CCDカメラを利用した不良検知システムを導入し、不良検出精度を飛躍的に向上させ、検査効率化によるコストダウンを実現。また、ガス抜き可能な特殊成形機を導入して、成形中に材料から発生するガスによる不良を削減。EV用電装部品インサート成形技術を確立するための竪型成形機の導入、自動車の予防安全装置部品インサート成形の高品質・低コスト化のための電動横型成形機とロボットシステムの構築など、新しい設備を順次導入し、さらなる高付加価値製品の製造を進めている。



カメラ検査システム

リアルタイム生産管理システムによる将来に向けた業務効率化

リアルタイム生産管理システムを導入して業務効率化に取組んでいる。このシステムは、生産現場の情報をリアルタイムに業務サーバーに反映し、各部門が使用できる情報に変換して、提供するものである。これにより、材料の交換効率や金型・成形機の状態を長期的に考慮した高効率な生産工程計画の構築、在庫スペースと在庫数の最小化、予備材料の最小化、不測の事態に備えて柔軟性を有した生産管理体制構築、長期的視点に基づいた計画的受注の獲得が可能になる。

リアルタイム生産管理システム

充実した研修制度と活発なサークル活動、改善提案表彰制度

若手従業員にはリーダー研修、技能講習、品質管理推進者研修、ポリテクセンターでの生産性向上支援訓練等を行い、人材育成に努めている。5S推進活動、ISO9001/14001推進活動、QC活動、生産効率推進活動、合理化活動等のサークル活動も盛んであり、社内のコミュニケーションも活発である。改善提案表彰制度もあり、従業員のアイデアを生かして生産性を向上させている。また、職場環境の改善、働き方改革につながる活動として、現場の要望を経営者に届け、現場改善に生かす取組も実施している。

外部団体による生産性向上支援訓練

安田塗装工業株式会社

愛知県安城市

技能士集団のスキルとITの組合せで大型製品の高品質塗装を実現

実装機、工作機械メーカー向けの大型躯体・架台の塗装を専門領域としている。広大な敷地に大型塗装設備を有し、何人もの塗装技能士がこれを駆使することで、長さ10m、高さ3mを超える大型被塗装物でもムラなく高精度に塗装を行い、製品の外観意匠性の保持による製品訴求力の向上に資することのできる企業である。また、塗装という事業活動が地球環境に大きくかかわっていることを認識し、事業活動と環境保護の両立に取組んでいる。

●所在地	愛知県安城市根崎町西新切83-1
●電話／FAX	0566-92-7705／0566-92-7708
●URL	http://www.yasudatoso.co.jp
●代表者	代表取締役　安田　利久

●設立	1979年
●資本金	1,000万円
●従業員数	33名

広大な面積の塗装工場の環境改善で生産性と品質の向上実現

通常、大型の被塗装物は手作業で行うと塗装ムラ等の品質の低下が発生する。同社では広大な塗装工場を活かした大型の塗装ブースで吹付塗装を行うことにより、他社が模倣困難な高品質を実現している。塗装工場は、土砂砕石工場跡を改良したため、場内が薄暗く作業効率が悪いという課題があったが、防爆LED照明を導入し場内を明るくすることで、作業員の塗装速度が上がり、同時に塗装工程における不良の目視確認が徹底され品質向上が実現した。作業環境の改善が、生産性の向上と塗装品質の向上に繋がっている。

作業環境を改善した工場内

ITを活用して定年退職期を迎えた熟練職人の技術を継承

高度な技術を持つ熟練職人の定年退職期を迎え、技術の代替のために塗装ロボットやベル型塗装機の導入を進めている。ロボットや塗装機の導入にあたり、スキルの低い職人の作業を代替させるのではなく、一級国家資格者が使用することで、被塗装物による塗装順序の違いや最適な塗膜形成のための塗料噴出量の判断等、熟練職人の持つスキルをロボットに記憶させ、同社の高い塗装技術を反映した競合他社が模倣困難なロボットとしている。ITの活用によって技術承継と生産性の向上を行っている。

熟練職人のスキルを記憶した塗装ロボット

国家資格取得の奨励でやる気を高め働きやすい職場を実現

同社は資格の取得を積極的に奨励し、日常業務よりOJTを活用して熟練職人から経験の浅い職人に対し、技能の移転を行っている。この取組により、若手職人の仕事に対する意欲が高まり、資格保有者が増加し、一級塗装技能士13名、二級塗装技能士3名を有する技能士集団となっている。一般的に3Kといわれる塗装現場であるにもかかわらず、先輩社員から後輩社員へのコミュニケーションが深く取れており、若手職人の定着率が高い職場となっている。

熟練職人から若手職人に対するOJT

三幸理研工業株式会社

生産性向上 ものづくり

愛知県豊明市

自動制御盤の設計からメンテナンスまで世界のニーズに提案力と開発力で応える

同社は、1964年創業以来、自動制御分野に重点を置き、県内外の機械メーカーとタイアップしてあらゆるシステム構築に挑戦。現在では、ライン制御盤・分電盤の設計、製造及び設置からメンテナンスに至るまでの一貫生産体制を確立し、特に大型自動制御や各種制御盤の分野において、業界内から高い評価を得ている。国内大手企業を中心に取引先は幅広く、近年では海外規格対応の製品開発も行い、国際競争力も有している。

●所在地	愛知県豊明市栄町南舘114-2
●電話／FAX	0562-97-5141／0562-96-1047
●URL	http://www.sankoriken.co.jp
●代表者	代表取締役　三枝　義典

●設立	1964年
●資本金	1,000万円
●従業員数	51名

設計仕様打合せで不具合チェックを行い製品付加価値向上

同社では、制御盤製作に入る前の設計仕様段階の打合せを重視しており、設計段階における事前不具合チェックを実施することで、製品の高付加価値化に取組んでいる。最新のCAD8台を導入し、設計仕様打合せの段階においてCAD上で作図した図面を「組図化」することで、図面上では把握できなかった事前不具合を抽出する。これを営業部門にフィードバックすることで設計段階での製品造りこみを強化し、製造リードタイムの短縮及び最終製品の高品質化に取組んでいる。

設計仕様打合せ

工程改善提案制度を積極採用し継続して業務効率化

同社では、品質管理レベルの向上及び業務効率化による生産性向上に向け、全社員が提案できる工程改善提案制度を実施しており、細かな改善提案でも積極的に採用している。現場社員にも改善意識は浸透しており、年間50件以上の提案が出されている。近年では最新CADによる組図化に加え、新型部品受注時の社内講習の実施、新人社員でもわかりやすい製造マニュアルの提示等の提案があり、常に創意工夫に取組んでいる。この取組は取引先からも評価され、「品質改善部門優秀賞」等の形で表彰されている。

改善提案発表会

資格取得の奨励や女性の適材適所での活用で品質を確保

高品質の製品を供給するため、社員の資格取得を奨励している。特に機械内配線及び制御盤納入時の現地配線工事において、外注に依存せず工事後の試運転まで含めたトータルサポートを行っているため電気工事施工、危険物取扱者等を中心に資格取得者が増えている。また制御盤製造における組つけ工程は手先の器用さが求められるため、地元の主婦を中心にパート採用を進めている。パート女性は年1回の社員旅行及び経営指針発表会にも参加し、業務へ積極的な取組を行っている。

パート女性による制御盤製造工程

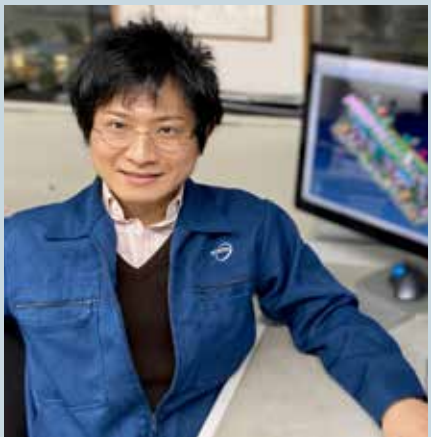
株式会社ウチダ製作所

生産性向上 ものづくり

愛知県知多市

IoTとデジタル技術でメーカー連携 新たな取組で金型製造の生産性向上

1980年にプレス加工メーカーとして創業し、金型設計製造から自動車向け部品のプレス加工、タップ加工まで一貫して受注できることが強みである。主力製品である車の窓に使用するサッシブラケットは不良率ゼロレベルの品質を達成している。国内各地の中小金型メーカーと連携しIoTとデジタル技術を活用した今までにないシステム「中小金型メーカー版コネクテッドインダストリーズ」を構築することで金型製造の生産性向上を進めている。

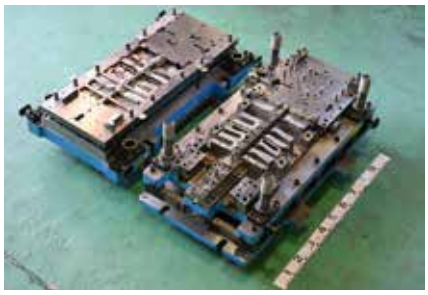


●所在地	愛知県知多市金沢字郷中120番地の2
●電話／FAX	0569-42-0939／0569-43-8039
●URL	http://www.uchida-mc.co.jp/
●代表者	代表取締役　森　光賢

●設立	1980年
●資本金	500万円
●従業員数	21名

複数メーカーが得意分野を担当し高付加価値金型の受注実現

高付加価値金型の製作には高額な設備が必要なため、従来は大手金型メーカーしか制作できなかったが、同社が主体となりIoTとデジタル技術を活用した金型共同受注システムを構築し、複数の中小メーカーが得意分野を持ち寄ることで設計製作の受注に成功している。同社は、全体の取まとめとプレス加工の強みを生かし試作を担当している。今後、参加企業の増加で連携体としての技術力の向上が見込まれ、同社も強みを活かした分野を担当することで高付加価値金型の受注・生産の増加を実現できる。



高付加価値金型

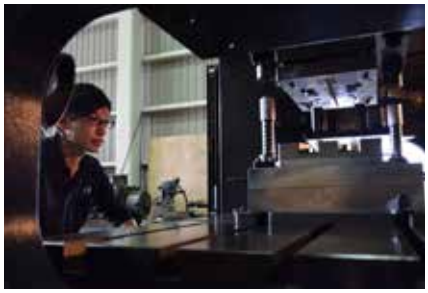
連携体の地域・業種を越えた受注活動で仕事量の平準化を実現

金型の設計・製作には繁忙期と閑散期があり、金型を必要とする業界により時期が異なることに着目し、複数メーカーが地域と業界を超えて連携することで、設備の稼働率を共有・平準化し効率化を図る。安価な方式のIoTデバイスを開発し、各社のデータをクラウドに送信し分析することで、各社設備の稼働率を数値化・見える化している。受注した金型は、Webで各社の設備の稼働状況を確認し、各社の強みと仕事量に応じて共同で設計･製作を行っている。この取組により低価格でも高い利益率を実現している。

クラウドIoTを利用したメーカー連携

若手技術者の武者修行と、働くママ応援フレックス制度

通常金型設計者が育つには10年かかるといわれている。同社では若手技術者を3年で金型設計者に育成するために、3次元CAD、CAE解析の教育を行うとともに、連携している企業に派遣し、金型設計・調整の経験を豊富に積ませる制度を作り運用している。また、人手不足対策と地元の雇用創出を図るため「働くママ応援フレックス制度」を導入し、地域の働く女性活用を行っている。これは目標出勤日数を定め、家庭の状況に合せて曜日などは自由に変更可能なパートタイム勤務制度であり、効果をあげている。



若手技術者の金型設計・調整武者修行

株式会社鈴木化学工業所

生産性向上 ものづくり

愛知県額田郡幸田町

人命に影響を及ぼす保安重要部品を製造 難しい製品や技術に取組みスキルを磨く

樹脂精密成形と溶着をコア技術に持ち、自動車の燃料系精密部品とタンクアセンブリーを得意分野としている。創業当時から、高い精度と安全性が要求される保安重要部品を製造しており、売上の7割を占める。高い技術力・品質管理力で車の安全性、走行の快適性、さらには軽量化やリサイクル容易化で環境対応にも取組んでいる。最近では、電気・水素自動車のエネルギー充填口部品を製造する等、自動車メーカーからの高い信頼を得ている。

●所在地	愛知県額田郡幸田町大字六栗字左右作2番地1
●電話／FAX	0564-64-1058／0564-64-1010
●URL	http://www.suzukikagaku.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　小幡　和史

●設立	1960年
●資本金	3,500万円
●従業員数	184名

ITやロボットを積極的に導入し生産性や品質管理能力を向上

高齢化や人手不足を補うこと、また生産工程における単純作業での不良発生を抑える目的で、ヒューマノイドロボットを導入し、人が苦手とする繰返し作業はロボットが行い、ロボットが苦手とする精密作業は人が行う共同作業工程を確立している。他にもカメラを使用し製品の部品欠品を画像解析で判定するシステムも取入れている。また、同社は他社が敬遠する難度の高い製品を積極的に受注する方針であり、これを実現するため、3年連続して売上高の7%を超える設備投資を行い、生産性や品質の向上を図っている。

作業者とロボットの共同作業

自社開発のIoTシステムでデータを可視化し効率化

毎日の生産作業の前後に発生する段取作業の短縮を行い、生産作業の効率化をめざしている。このため、稼働率・生産数・サイクルといった組付けや加工のための設備の生産状況を可視化することによって、作業改善や生産性向上を目的としたIoTシステムの導入に取組んでいる。このシステムを取入れることで設備の生産性を20%向上させることを目標に進めており、有効的に活用するためにシステム開発は自社独自で進め、IT人材の育成にも力を注いでいる。

IoTシステムでのデータ可視化

若手とベテラン社員の融合による部門活性化の推進

大卒新入社員は1年間の社内研修で全部門を経験後、希望を考慮したうえで決定することで配属のミスマッチを少なくしている。これにより過去10年間の入社後3年間在籍率は92%と高くなっている。配属後はベテラン社員とコンビを組み指導を受けながら仕事を進めることで、教える側も刺激を受け部門のマンネリ化、停滞化を防止している。この結果、役職者年齢は50代・40代・30代で33%ずつと均等であり部門の活性化が行われている。資格取得に対する支援も行い高度な技術を支える一助となっている。

大卒社員の社内研修の様子

三恵工業株式会社

生産性向上 ものづくり

三重県鈴鹿市

データとIT技術で座り心地にこだわりを 地球環境保全をめざし技術開発に取組む

創業以来約70年にわたり人と環境にやさしいイスを製造・販売している。「MY DEAR GLOBE」～親愛なる私たちの地球～を基本理念とし、環境に配慮した商品仕様、工場設備を展開し、社会のニーズに沿ったイスを提供している。人間工学的手法の利用や1,000人のデータ収集で快適な座り心地を追及し特許も取得し、機能面を追求する一方、再生材の積極的利用等による環境と調和した新技術開発も最重要と位置づけている。

●所在地	三重県鈴鹿市上野町字助町48番地
●電話／FAX	059-378-1243／059-378-3718
●URL	http://www.isu-sankei.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　岡田　篤典

●設立	1951年
●資本金	5,000万円
●従業員数	100人

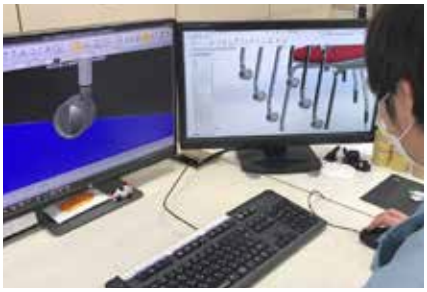
先端設備の積極的な導入による付加価値向上

従業員の高齢化や人手不足に対応するため溶接工程等においてロボットの導入を進めている。イスに不可欠なパイプ同士の接合においてデザインを損なわずに外観品質を保つ溶接にロボットで挑戦し、職人並みの外観品質を実現。工数も飛躍的に削減し競争力向上につながり、付加価値向上と売上向上が実現している。また、この製品の販売は自社ブランド力の向上につながり、これを活かした他の商品開発展開、OEM展開によるさらなる付加価値向上を目指す取組を行っている。

ロボットによる溶接工程

事業強化のためさまざまな段階でIT技術を活用

同社では、事業のさまざまな段階でIT活用による業務効率化を行っている。設計段階から3D-CADを活用し、解析及び評価を実施して設計を効率的に進めている。試作段階では3D造形による納期短縮を実現している。また、製造のための治具金型の手配にITを活用することにより短期立ちあげを実現している。量産段階では製造販売の受発注プロセス改善にITを活用し、完成品在庫の適正化、仕掛品在庫の効率化を行い、受注から出荷までの日数を7日で実現しており、高い顧客満足度を得ることができている。



3D-CADを用いた設計作業

従業員に寄り添った働き方への取組

働き方改革前から有給休暇を取得しやすい社風があり、残業時間の削減、男性の育児休業取得、パート社員の社会保険加入、希望者の70歳以上での雇用等を実現し、従業員に寄り添った取組を続けている。雇用面では、毎年高校新卒者を採用し世代の差が生じないようにすることで、コミュニケーションを取りやすい環境が生まれ、会社全体へ良い影響を及ぼしている。採用から3年以内の離職は、10年間発生していない。また専門性の高い研究開発人材を新技術開発に投入する等高度人材育成にも取組んでいる。

従業員のコミュニケーション

河田フェザー株式会社

生産性向上 ものづくり

三重県多気郡明和町

羽毛素材のトップメーカーとして業界を牽引 高度な精製技術により高品質な羽毛を提供

1891年に羽毛商として創業。羽毛素材のトップメーカーとして世界の羽毛マーケットと国内の羽毛業界を牽引している。国内初のスキー用、タウンユース用「ダウンウェア」の生産や羽毛ふとんの生産に取組み、国内需要を開拓してきた。1991年には世界最大の全自動羽毛精製ラインを整備。羽毛に付着したアカやホコリなどの付着物を徹底的に取除き、高品質で清潔な羽毛を精製している。

●所在地	三重県多気郡明和町大字山大淀3255番地
●電話／FAX	0596-55-2431／0596-55-4156
●URL	https://kwd.jp/
●代表者	代表取締役　河田　敏勝

●設立	1963年
●資本金	4,320万円
●従業員数	43人

特殊加工により羽毛の機能性を高め、付加価値を向上

同社の高度な技術により精製された羽毛は、特殊加工が容易となる。遠赤外線加工や抗菌防臭加工、防炎加工、撥水加工等の機能を付加することができる。また、独自の特許技術により羽毛と多機能繊維ファイバーを融合させ、立体的な製品形状の維持を可能とする。羽毛製品の機能を高め、付加価値向上につなげている。さらに、同社の技術は海外から輸入する新毛の処理だけでなく、国内で回収した羽毛のリサイクルにも対応可能。安定的に良質な原材料を確保しつつ、様々なニーズに応じた機能性の高い製品を供給している。

精製された高品質な羽毛

清潔な羽毛を生産する全自動精製ラインを無人化

国内最大規模の精製工場は、ITを活用し、1994年に羽毛精製ラインの完全無人化による24時間稼働を可能とした。精製工程では自社独自の除塵機を配備し、洗浄・乾燥後の再除塵に取組むなど、工程を工夫。徹底的な洗浄による高品質な羽毛の生産を実現している。また、羽毛ふとんの生産工程にもオートメーション化を取入れ、羽詰機を完全自動化。1979年の生産開始当時には生産量が100枚/8時間であったものが、2011年には2000枚/8時間と、20数年で生産量を20倍に伸ばしている。

自動化された生産設備

IT化・無人化と健康事業所宣言により働きやすさを実現

羽毛精製工程におけるIT化・無人化の実現により、生産工程に必要となる従業員数を削減。慢性的な人材不足を克服している。また、羽毛製品の解体作業に地域の障がい者就労支援施設を活用することで、障がい者の就労機会の創出にもつなげている。「健康経営優良法人」の認定を見据えて、平成30年6月1日に健康事業所宣言を実施。従業員の健康維持や増進、活力増強にも取組んでいる。従業員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスに配慮し、労働環境を整え、働きやすい職場をつくっている。

本社兼明和工場の外観

株式会社スーパー・コート

生産性向上 サービス

大阪府大阪市

ホテルのおもてなしを取入れた介護施設 介護業務をスマート化しサービスを向上

ホテルチェーンのスーパーホテルを母体とし、ホテルのホスピタリティを持ち合わせた介護施設を創りたいという思いにより会社を設立。有料老人ホーム、賃貸マンションの運営・管理等を行う。平成27年に異分野連携新事業分野開拓計画の認定を受け、ITによる介護記録や薬歴情報を連動させる仕組を導入。介護スタッフおよび看護師・薬剤師の業務効率化によるサービス水準の向上とワークライフバランスの充実を両立している。

●所在地	大阪府大阪市西区西本町1-7-7
●電話／FAX	06-6543-2291／06-6543-9007
●URL	http://www.supercourt.jp/
●代表者	代表取締役　山本　健策

●設立	1995年
●資本金	5,000万円
●従業員数	778人

ホテルのおもてなしを取入れた質の高いサービス

有料老人ホームの競争が激化するなか、同社はホテル業を母体としていることから、ホテル並みのホスピタリティを提供することを会社設立時からの目標としている。医療機関との提携による高度な医療サービスや身体機能の向上を目指したトレーニング、認知症ケア専門士を配置して五感を刺激する療法を取入れた認知症ケアなど、多様なサービスを提供している。 さらに、本物の天然温泉を配送するなど、ホテルのおもてなしを取入れた独自のサービスを展開し、他社との差別化を図っている。

高齢者運動トレーニング（SC-Fit）の様子

電子介護記録システムの導入による業務の効率化

電子介護記録システムを導入し、介護記録と投薬・薬歴情報を相互連携・参照させている。これまでの手書きによる介護記録の作成業務をシステム化することで、職員負担を軽減。さらに、投薬・薬歴情報との連動により、入居者の日々のバイタル情報をはじめとした各種介護記録を提携薬局へ提供可能とした。これにより、介護施設側では投薬ミスを防止し、ご入居者・ご家族への安全・安心を提供。また薬局側においても、介護記録情報活用による投薬タイミングの最適化が可能となり、サービス向上につながっている。

介護記録情報端末にて方針共有する様子

人材育成と質の高い介護サービスの提供

介護業界においては、サービスを提供する「人」の育成が、事業の付加価値向上を決定づける。そのため、介護技術レベルを認定するケアマイスター制度や、ライセンス制度など様々な仕組を設け、従業員の介護スキルとマインドを醸成。また、IT化により従業員の業務負担を軽減することで、質の高いサービス提供との相乗効果を図っている。さらに、グローバル人材育成にも取組み、フィリピン、ベトナム等からの留学生を受入れ、メンタル面のサポートを含めた独自教育により、協働体制を確立している。

グローバル人材研修の様子

株式会社テクリコ

生産性向上 サービス

大阪府大阪市

テクノロジーでリハビリを楽しく
超高齢化社会が抱える問題解決に貢献

メディカルヘルスケア分野におけるソフトウェア・システムの研究開発や製造、販売を行うヘルステック企業。MR(複合現実)技術を活用したリハビリテーション治療システムを関西医科大学と共同研究している。現実世界でゴーグル越しにCGのトレーニングメニューを投影させることにより、日常生活に近い三次元空間でのリハビリが可能。高いリハビリ効果が期待できる。現在はトレーニングアプリ「リハまる」を医療現場等に提供中。

●所在地	大阪府大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル23階
●電話／FAX	06-6343-8450／06-6343-8460
●URL	http://rehamaru.jp/
●代表者	代表取締役　杉山　崇
●設立	2005年
●資本金	300万円
●従業員数	6人

ゲームの要素を取入れた楽しいリハビリ「リハまる」を開発

高次脳機能障害(言語や記憶、注意、情報といった認知機能に起こる障害)や認知症のリハビリトレーニングのためのソリューションを関西医科大学と連携して開発。ゴーグル越しに3D CGを投影することで、より実践的なリハビリを可能としている。また、リハビリのコンテンツにインタラクティブ性を持たせたり、難易度を変更できたりするなど、同社がこれまでゲーム制作で培ってきたノウハウを活用。楽しくリハビリトレーニングを続けるための工夫がなされている。

MR技術を活用した「リハまる」アプリ

医療・介護現場の業務を大幅に軽減する新しいリハビリ手法

従来の紙と鉛筆でのリハビリでは、患者の様子を常に観察する必要があった。新たに開発したゴーグル型デバイスでは、視線や行動履歴が自動記録・採点されるため、リハビリ実施中にスタッフは別の業務を実施できる。また、自動化により準備から採点、評価、片づけまでの作業時間を大幅に短縮。なかには、作業時間が18分から3分へ短縮された事例もあるなど、リハビリ現場の業務効率化につながっている。人手不足が深刻な医療・介護業界の生産性向上のニーズを満たす新たなリハビリの手法を提供している。

自動記録・採点による業務効率化

理学療法士や作業療法士など多様な人材を有効活用

アワードでの受賞歴や学会での発表を通じて、理学療法士や作業療法士という医療・福祉系の資格を有する人材2名が同社の事業目的や理念に共感し入社。従来からの事業であるゲーム開発の技術やノウハウと、医療・福祉系の専門知識を融合させることで、リハビリの企画提案からサービス開発までスピーディにワンストップで行うことが可能となった。また、従業員のなかには、家庭の事情により在宅で働くエンジニアもいる。それぞれの事情に配慮したうえで、専門知識や技術ノウハウを活用し研究開発に取組んでいる。

サービス開発の様子

株式会社ウチダ

生産性向上 ものづくり

大阪府大東市

最先端の設備と経験豊富な技術力 プレス金型のエキスパート集団

自動車ボディ用のプレス金型製造メーカー。骨格部品に活用する高張力鋼板（超ハイテン材：SPC980）の量産金型を世界で初めて実現。硬くて丈夫だが、加工が難しいとされる素材の部品量産に向けたプレス金型の新技術を切り拓き、技術的優位性を確保している。 金型の受注生産のみならず、培ったノウハウを活かしプレス工程そのものの構成も提案するなど総合力に長けた企業である。

●所在地	大阪府大東市新田本町12-6
●電話／FAX	072-874-3377／072-874-3839
●URL	http://www.uchidanet.co.jp
●代表者	代表取締役社長　内田　祥嗣

●設立	1964年
●資本金	3,000万円
●従業員数	120人

自動車ボディ向け超ハイテン材の量産金型を世界で初めて実現

プレス金型のハイスペック素材である超ハイテン材（SPC980）の量産金型を世界で初めて実現した。硬くて丈夫であるが加工が難しい素材の金型設計と工程設計に大きな強みを持つ。1990年代初頭、他社に先駆けてハイテン材加工機器の大型設備投資を実施。その後、トップランナー（業界リーダー）としての地位を確立している。また、単なる下請け業務だけでなく、企画段階から顧客に対してコンサルや工程提案等を行う。その後、製品開発・生産を行うことで、高性能かつ信頼性の高い製品を供給している。

最先端設備による金型の生産

金型設計から調整、検品までの一貫体制構築による生産性向上

大型のトライプレス機を日本で最初に導入し、金型のトライプレスと調整作業を社内で一貫して対応できる体制を構築。3D CAD/CAMとそれを利用したシミュレーション技術の導入にもいち早く踏み切り、これまで培ったノウハウを駆使して、効率的な工程設計を可能にしている。さらに、完成品の検査システムも整備することで、設計からシミュレーション、工程検討、金型加工、調整、検品、出荷まで一連の工程を社内で完結。完成度の高い製品を供給する生産性の高い一貫システムを構築している。

3D CAD設計による金型づくり

新卒採用と雇用延長によりスムーズな技能継承を実現

1990年代後半から継続的に新卒採用を繰り返し、平均年齢の若返りとバランスの取れた年齢構成を実現。ベテランの雇用延長にも取組み技能継承の体制を構築している。金型設計と製造プロセスを分業化することにより、学歴にとらわれず様々な人材が得意分野を活かして活躍できる場を提供。技術技能のプロフェッショナルとして誇りをもって働ける職場の構築に努めている。また、日本車生産拠点のグローバル展開に伴い、外国人材の活用によるグローバル対応力の強化にも取組んでいる。

次代を担う人材へ金型技術を伝承

株式会社ナイキ

生産性向上 ものづくり

大阪府大阪市

オフィス環境の総合クリエーター
幅広い視点から最適なオフィス環境を提案

事務用机、事務用チェア、収納家具、ローパーティションなど、鋼製のオフィス家具の製造・販売を行う。工場はファクトリーオートメーション化を進め、良質の製品をスピーディーにお届けするシステムを構築。現在はオフィス家具の製造・販売だけでなく、オフィス環境の「総合クリエーター」として、中堅・中小企業のオフィスをターゲットに、事務所移転手続全般を請け負うプロジェクトマネジメントも推進している。

●所在地	大阪府大阪市中央区南本町4丁目5-7
●電話／FAX	06-6244-9824／06-6244-0489
●URL	https://www.naiki.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　内記　政春

●設立	1960年
●資本金	30,000万円
●従業員数	320人

製品開発力とプロジェクトマネジメントによる付加価値向上

製品開発に力を入れている。ユーザーの視点に立った使い勝手の良い機能性やデザイン性を追求することで、価格競争に巻き込まれにくい製品を企画・開発している。また、オフィスの新設・移転の検討段階から相談に乗り、計画の立案から各種工事･引越しまでをワンストップで引受けている。スケジュール、コスト、品質、情報、工事、リスクなどを責任を持って管理する「プロジェクトマネジメント」を推進することで、ユーザーの満足度を高め付加価値の向上を図っている。

機能性、デザイン性を備えたオフィス家具

ファクトリーオートメーション化により業務効率化を推進

人手不足の克服、職場環境の改善、及び業務の効率化を図るため、プレス自動化ラインやマルチスポット溶接機、コンピューターや各種ロボットなど最新の生産設備を導入。ファクトリーオートメーション化を進めてきた。これにより、多彩な製品をスピーディーかつフレキシブルに供給できる生産体制を確立している。また、独自の業務・環境改善運動やTQC活動を積極的に展開。そこで得られた情報や経験を製品作りにフィードバックすることで、より完成度の高い製品作りを目指している。

自動化が進んだ製造現場

女性や高齢者も働きやすい職場環境を整備し地域の雇用に貢献

工場に勤務する従業員の作業負担の軽減、及び身体への負荷を避けるため、溶接や塗装工程等を自動化。塗装ラインで使用する塗料を有害化学物質を含まない粉体塗装に転換するなど、職場環境の改善に積極的に取組んでいる。女性や高齢者にも働きやすい職場環境を整備することで、人材確保と離職率の低減を実現している。また、従業員が改善提案により、自ら働きやすい環境作りに参加できる仕組を整備している。さらに、地元の高校生を中心に毎年5~6名の採用を行い、地域の雇用にも貢献している。

従業員への現場研修

株式会社神戸酒心館

生産性向上 ものづくり

兵庫県神戸市

清酒・観光・飲食事業の一体運営 IoTを導入し杜氏の伝統技術をデータ化

1751年（宝暦元年）創業。「自然と人を見つめるものづくりで、地産地消をベースとした地域振興を目指す」をスローガンに、清酒製造業、観光事業、飲食事業の一体化による価値創造を目指している。ベテランの杜氏による熟練の経験や技術で成立していた酒造りの各工程を数値化し、データ管理を導入することで、高品質な製品を安定的に生産している。ノーベル賞の公式行事で提供されるなど(今年で9回目)、国内外で高い評価を得る。

●所在地	神戸市東灘区御影塚町1-8-17
●電話／FAX	078-821-2911／078-851-7959
●URL	https://www.shushinkan.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　安福　武之助

●設立	1997年
●資本金	6,000万円
●従業員数	49人

「タライ麹造り」により高付加価値な日本酒の安定供給を実現

杜氏の高齢化による引退を機に、2006年より通年雇用の「社員による酒造り」を開始。2010年に、伝統の木製ではなくプラスチック製の「タライ」を使用した「タライ麹造り」を本格的に導入した。水分管理を徹底することで強い麹をつくることが可能となり、「大吟醸」や「純米吟醸」などの高付加価値な日本酒の品質が向上。「全国新酒鑑評会」「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」など国際的な酒類コンクールでの金賞受賞などの成果につながっている。

ノーベル賞公式行事の提供酒

杜氏の伝統技術をデータ化し、IoT技術の導入で生産性向上

ベテランの杜氏による熟練の経験や技術を数値化し、データ管理を導入。独自技術の「タライ麹造り」をはじめ、温度管理、循環水などの運転状況を最新のIoT技術とスマートフォンを使った遠隔監視システムでモニタリングしている。これらの制御技術を用いることで、ベテランの杜氏に依存しない「社員だけによる酒造り」を実現。徹夜作業を廃止しても高品質な製品を安定的に生産することが可能となった。また、通年生産により設備稼働率の向上を実現し、省エネルギーと売上の増加を両立している。

遠隔監視システムによる生産管理

労働時間の大幅な削減

生産管理プロセスのデータ化に重点課題として取組んでいる。ベテラン社員から若手社員への技術継承に力を入れ、より高品質な酒造りを目指す。スマートフォンを使ったモニタリングシステムの導入で遠隔制御が可能となり、泊り・宿直制度、夜間早朝勤務制度などを廃止。年末年始の勤務も2名から1名体制とし、社員の負担を低減している。2021年までに週40時間勤務と完全週休2日制の導入を目指す。「きつい職場」環境から脱却し、社員の働き甲斐を高めることで、「働き方改革」を一層進展させる。

ベテラン社員から若手社員への技術継承

株式会社宝角合金製作所

生産性向上 ものづくり

兵庫県姫路市

創業以来91年の部品加工技術の蓄積 顧客要求の充足追求と環境経営の両立

産業用機械の中大型部品機械加工を得意とする部品製造業者であり、大型部品の精密加工を多品種少量・短納期で提供する体制を構築。特に大型鋳物加工では、70年以上の鋳物製造からの一貫した部品加工技術とノウハウを蓄積し、顧客要求への的確な対応で信頼度も高い。2010年には放置竹林の資源活用を意図した竹粉砕機バンブーミルを独自開発・製造し、土壌改良剤・消臭抗菌等への活用に大きな期待がなされている。

●所在地	兵庫県姫路市飾磨区中島1345-2
●電話／FAX	079-234-4116／079-234-5116
●URL	http://www.houz.co.jp
●代表者	代表取締役　寶角　勝利

●設立	1929年
●資本金	2,000万円
●従業員数	48名

環境対応製品開発によるブランド価値向上

戦後の各種自社製品開発製造期より精密加工技術を醸成。受注生産方式の加工に移って以降は、2010年に放置竹林の竹の超微細な粉末加工装置を開発製造し、竹に含まれる乳酸菌やバクテリアの効果による土壌改良剤、畜産飼料改良剤、堆肥・肥料資材、糞尿の消臭・除菌剤への活用可能な事業を展開。この事業が2019年3月にテレビのニュース番組で全国放映されて以降ホームページへのアクセス件数も増加し、本業の大型部品加工への引合が増加するというブランド価値向上の効果を生んでいる。

竹粉砕機バンブーミルとテレビ取材風景

IT化の推進と新工場による生産効率の向上取組

経営課題として納期遅れと生産効率の向上に取組み、工場内Wi-Fi化とタブレット端末の導入を行い、作業者の手元での情報確認により全社で1日約9時間のムダを削減。加えて全社プロジェクト活動により、5S・標準化・見える化で約150項目もの改善を実施。今後は新工場が稼働予定で、大型マシニングセンターや複合加工機を導入し、加工時の段取替えを減らす工夫を施すことでリードタイム短縮を図り、生産効率を更に高める予定。併せて全社のIT化再構築も検討開始予定。

手元での情報確認

若者が技能錬磨し、経営と現場が一体となれる社風作り

創業90周年を超える企業であるが、社員の平均年齢が36歳と若く、世代交代が上手く図られ若者が元気で活躍する職場作りができている。設備もNC制御の加工機だけでなく汎用旋盤を活用したり治具の設計製作を行い、個人の技能を高め伝統の技が継承可能な体制を構築。経営者から若手まで階層を超えたメンバーによる改善活動を重ねることで、若手メンバーであっても経営者の考える経営課題と現場の抱える問題点とを紐づけて考えられる場と社風作りが進行している。

従業員集合写真

株式会社銀波荘

生産性向上　サービス

兵庫県赤穂市

「日本の旅館100選」選出の地元愛追求 ITシステムで旅館業界の共通課題に革新

赤穂の温泉旅館「絶景露天風呂の宿 銀波荘」を経営している。銀波荘は35室の比較的小規模で、赤穂の牡蠣を中心とした瀬戸内の新鮮な料理と浴槽に縁が無い海や空と一体化したかのような露天風呂を楽しむことができる旅館である。さらに、モニターやハンディを活用して食事を提供するタイミングを厨房と共有する独自のITシステムの仕組みを構築するなど、旅館の生産性向上に向けた取組を積極的に行っている。

●所在地	兵庫県赤穂市御崎2-8
●電話／FAX	0791-45-3355／0791-45-2828
●URL	https://www.ginpaso.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　成世　敏昭

●設立	1951年
●資本金	3,000万円
●従業員数	75名

おもてなし向上への積極投資でリピーター・新規顧客獲得

料理は地元の食材にこだわり、瀬戸内の絶景が楽しめるようにロビーやレストランをリニューアルして、銀波荘でしか経験できないくつろぎ・癒しの空間づくりを演出している。業務効率化とともに顧客満足向上のためのハード・ソフト両面への積極的な投資を行うことにより、おもてなしを向上させ、リピーター獲得に取組んでいる。また、平日限定の0泊2食で日帰りで食事や温泉を楽しんでもらうプランを打出すことにより、閑散期の客室稼働率を高めるとともに、新規顧客開拓につなげている。

瀬戸内の絶景へのこだわり

独自のITシステム活用による料理提供プロセスの効率化

旅館業務で効率化の課題とされる食事の提供タイミングの調理場との共有について、タッチパネルを活用した独自のITシステムを導入。具体的には、懐石の料理数が10～11品、5コースあるなかで、担当者が料理の内容や順序を覚えることに苦労するという課題に対し、画面上に料理の種類を表示させサーブの順番がわかるシステムを活用。結果的に料理の出し間違い、料理の順序を迷うことがなくなり、確実に顧客に料理を提供することが可能になった。

タッチパネル活用の様子

情報共有の仕組整備と限られた人員での生産性向上

旅館業全体の課題であるスタッフ間の情報共有については、チャットツールの導入と、部署ごとのグループ分けを行い、従業員の気づきを画像つきで随時情報共有する仕組を作るなど、シフト交代制の業務のなかで手戻りや確認漏れを防ぐための取組を実施。さらに毎年の新人採用等でフロントや国際・人文・知識を有した専門職の外国人の雇用も積極的に行うなど次世代を担う人材獲得も順調であり、家賃無料社宅などを導入して若手でも働き続けやすい環境を整備している。

従業員集合写真

甲南設計工業株式会社

兵庫県三木市

ものづくり関連コンテスト3賞受賞 技術的要求を糧とし国際展示会にも出展

プラスチック関連機械、一般産業自動機械、省力機器の製造・販売。『業界の常識は 未来の非常識！甲南の常識は 未来のスタンダード！』をモットーに、柔軟な発想・高い設計力で完成度の高い製品を提案、高度な技術で独創的な設備を世の中に送り出してきた。特に、世界初・国内初の機器開発を行っており、中でも一昨年、世界初の樹脂シート切断機を上市、ひょうごNo.1ものづくり大賞知事賞（技術部門）他2賞を受賞した。

●所在地	兵庫県三木市吉川町金会1004-3
●電話／FAX	0794-76-2788／0794-76-2888
●URL	http://konansk.com/
●代表者	代表取締役社長　澤田　昌浩

●設立	1980年
●資本金	4,000万円
●従業員数	21名

創業以来51年間の不断の高度な技術的要求への対応

創業以来51年間省力化設備における顧客からの技術的要求に答え続け、昨年から今年にかけてのものづくりに対する3つのコンテスト：「関西ものづくり新撰2019環境エネルギー部門」、「ひょうごNo.1ものづくり大賞知事賞（技術部門）」「中小企業優秀新技術・新製品賞／優良賞」受賞がブランディングに後押し。直近では世界初の【切屑の出ない樹脂シート切断機】や【全自動樹脂シート巻取機】を開発・上市し、2019年10月独デュッセルドルフで開催された世界最大のプラスチック機械の国際展示会に出展、欧州メーカーから注目・絶賛された。

国際展示会の様子

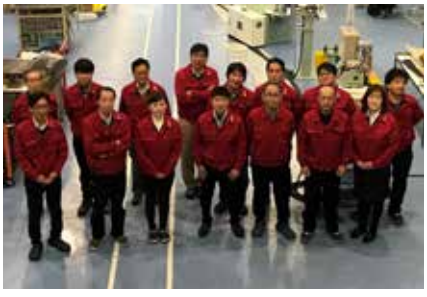
3D CAD、大型マシニングセンターの導入

設計部門に3D CADを導入し、製造には最新鋭の大型マシニングセンターを導入することで、既存の技術力に加えさらに加工速度・作業効率性という面でも増強を図っている。また設計業務においては、必ずしも作業速度が上がる正解があるわけではなく、自分で考え込まず周りに相談してアイデアを聞いたり、経験談を聞いたりして少しでもCADが止まる時間を短くなるよう、協力して改善していく風土を醸成している。

3D CAD

女性・シルバーの活用及び適材適所の人員配置

海外現場での女性の積極的起用を意識し、設計製造に女性採用を実施し高待遇で活躍の場を提供。また、ベテラン社員の定年により、平均年齢が30歳に若返り、若手社員には世代の担い手となるべく外部研修会、マネージャー研修会等の参加を推奨。一方で定年を迎えた社員に対してもシニアとして設計人材（工場熟練工）の再雇用を実施し、経験を活かし業務のサポートを行うなど、ベテラン、中堅、経験浅のバランスが、時代とともに上手くローテーションしていく体制を念頭に、最適な人員配置を考えている。


従業員集合写真

龍野コルク工業株式会社

生産性向上 ものづくり

兵庫県たつの市

発泡スチロール業界先駆者としての先見性 地元企業・大学を巻込んだ業界活性

発泡スチロール製品量産の先駆けとも言える企業。2002年はりま産学交流会への参加を機に、製品の生産性改善、切削模型を用いた成形品開発ロス最小化などに従事。また医療分野の各専門機関と連携し機能性ビーズクッション、形状記憶式の患者体位固定具やMRI装置内で使用する磁場の歪抑制パッドなどの開発も推進。地元企業・大学との連携による新たな発泡スチロールの用途開発が堅調な売上高へ大きく寄与している。

●所在地	兵庫県たつの市龍野町島田321
●電話／FAX	0791-63-1301／0791-63-3106
●URL	https://www.tatsuno-cork.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　片岡　孝次

●設立	1958年
●資本金	7,500万円
●従業員数	58名

市場ニーズへのスピード対応と新たな市場の創造

発泡スチロールをはじめとする様々な樹脂からできたビーズ法発泡プラスチックを用いて市場のニーズに対応してきた。発泡スチロールの強みを活かして健康・医療分野にも進出しており、健康分野ではリハビリテーション学教授の監修のもと差別化された発泡ビーズを内封した機能性ビーズクッションを開発。医療分野においては軽さや低コスト、ソフトな手触りを実現した固定具をベースに新商品を開発提供している。何れも、全国展開に相応しい高付加価値の商品である。

機能性ビーズクッション

裾野の広い地元企業・大学と、あたり前の見直し

創業当初からの発泡成形品事業では、従来のあたり前を見直し、原理原則に基づいた理論の元必要設備を投入。結果、従来比約3割の省エネ、約15%の成形時間短縮を実現。さらに重要な成形品生産工程の一つとされてきた「強制乾燥工程」を不要化し、原価の低減、省スペース化へ取組み成果をあげている。加工品事業の加工機では、産産連携により標準機の2倍強の生産能力を達成。地元企業・大学との連携姿勢は、2010年の「ひょうごユニバーサル社会づくり賞」受賞や社長の「はりま産学交流会」2代目会長としての地域産業活性牽引活動にも表れている。

はりま産学交流会

成長を実感できる全員経営参画企業

地域未来牽引企業、ひょうごオンリーワン企業の選定に恥じぬよう人財育成を実施。具体的には、本人と上司の評価を記入した「気付きシート」を用いた個人面談や社員一人ひとりに代表者メッセージを添えての一時金支給等。また各人が宣言した取組内容の掲示や奨学金返済補助制度など、働きやすい環境・社内の一体感づくりに努め低離職率を維持している。加えて地元小中学生の工場見学の積極的な受入等、地域教育にも貢献している。

地元小中学生の工場見学

株式会社 ハンナ

生産性向上 サービス

奈良県奈良市

運送業界の労働環境改善の牽引
ITシステム・データ活用による業務改革

ハンナは、創業40年以上の運送事業者であり、グリーン経営認証/ISO39001認証/健康経営優良法人取得/ホワイト物流推進運動参加等、公的指標をいち早く取得している。また、独自のシステム（HANTOS）により、業務を「効率化」「見える化」し、課題を早期に発見、迅速な対応を行っている。このことにより、業務が標準化され、未経験者への引継ぎも容易となった。

●所在地	奈良県奈良市北永井町372番地
●電話／FAX	0742-63-8787／0742-63-8788
●URL	https://hanna-co.jp/
●代表者	代表取締役社長　下村　由加里

●設立	1980年
●資本金	1,000万円
●従業員数	116名

データ分析を通じた最適な配送方式の確立と人材育成

顧客ニーズをベースに、安全性・効率性・収益性を考え、最適な配送方法を提案。各車に搭載された車載端末機器により、リアルタイムで位置情報や庫内温度を、顧客にフィードバックすることができ、顧客の価値向上に貢献している。また、社の財産である人材育成については、入社時の座学に始まり、管理職による社員研修、年2回の安全大会、外部研修への参加等、個々の能力開発を積極的に行っている。

社内研修実施風景

独自システム導入等による業務の効率性・安全性・安定性追求

独自システム により、運行情報・GPSデータ・ドライバーの出退勤状況・日報情報を一元管理し、ドライバーの手待ち時間を削減、業務を効率化し、長時間労働の撲滅に取組んでいる（日本ロジスティクスシステム協会主催の関西物流改善事例発表会2019で「ITを活用したドライバーの働き方改革への取組」として事例発表）。また、ISO39001の要項を踏まえ、常にカスタマイズし、安全性の向上に努めている。BCP対策の一環として、新規拠点開設やリモートワーク導入も検討している。

IT活用による情報一元管理の事例発表

健康経営と柔軟な働き方による人財開発

「心身が健康でないと安全運転はできない」との考えから、社員の健康に会社が深く関わることで、個々の意識が向上した。結果として、コミュニケーションが活発になり、社内が活性化し、離職率が低下。喫煙率は30%低下を達成。2017年に健康経営優良法人奈良県初認定。2018年奈良県知事表彰受賞。さらに社員の長所（タレント力）に適した配属、女性管理者の配置により女性・新卒社員・高齢者の入社希望が増加。デジタル化が進む運輸業界のなかで、今後は判断力・創造力を持つ人財開発を目指していく。

従業員写真

大和化学工業株式会社

生産性向上 ものづくり

奈良県北葛城郡広陵町

全国でも希少な3手法の成形機を内作保有 製造の幅・納期・品質全てに付加価値追及

工業用プラスチック部品の製造を専門としており、中空成形のみならず射出成形機、真空成形機を内作保有することから、自動車部品に係る輸送用トレーや電力用部材、医療・介護用部材まで幅広い製品を手掛けている。また、3Dプリンターなどによる3D技術を活用した製品設計も手掛けていることから、設計から製造までワンストップのサポートを実現しており、顧客の要望に沿った高品質な製品の提供を行っている。

●所在地	奈良県北葛城郡広陵町南郷986番地1
●電話／FAX	0745-54-5121／0745-54-5539
●URL	https://daiwaci.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　東田　誠次

●設立	1958年
●資本金	1,000万円
●従業員数	28名

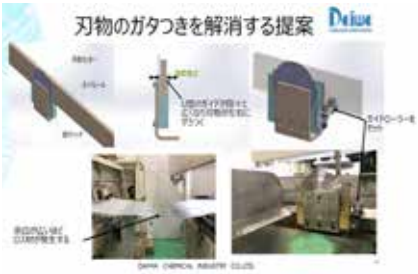
きめ細か・スピーディーな対応による顧客ニーズの充足

自社で保有する3Dプリンターなどを活用した3D技術により、立体的な試作品を用いた提案が可能であり、顧客と製品化を実現するうえでの課題点などを共有しながら、要望に即した形状やサイズを製造していくきめ細かなサービスを実現している。また、振動検査や成分検査といった製品の品質を確認するために不可欠な検査に関しても自社で実施可能。複数の成形手法を製造することのできる設備や技術を保有・改良し、かつスピーディーな新製品の開発も妥協せず、あらゆる面での高付加価値を追求している。

3D技術の活用

最短当日納品・ワンストップサポートを実現する生産体制

高い技術を持つベテラン社員でなくとも、安定的に高品質な製品を製造するため、「機械と対話する」ことができる経営者や社員により、他分野の技術などを応用した機械設備の改良を自社で実施。これにより本来であれば危険を伴うような工程や高い技術を要する工程に対して、経験の浅い社員やアルバイト、パートタイムの社員であっても安心して従事できる効率的な体制を構築し、ワンストップでのサポートや最短で当日の納品を可能にしている。



自社での機械設備の改良

働き方改革の実現と社員育成による人材の有効活用

社員にとって働きやすい環境を実現するため、同社製品・顧客対応の高付加価値に基づく他社との優位性を生かし、同業他社では行われている24時間体制での生産を行わず、原則残業は実施しない体制を実現している。また、外部講師を招いた研修の開催や全社員を対象とした国家検定、社内検定の受検など社員教育にも注力している他、パート職員から正社員への登用も実施しており、モチベーション向上と人材の有効活用に寄与。更に将来の事業承継ビジョンも周知し、将来的にも安心して働ける環境を整備している。

社員教育の様子

小橋工業株式会社

生産性向上 ものづくり

岡山県岡山市

最新IT導入により生産性を大きく向上
地球の課題解決につながる新事業を創造

1910年の創業以来、農業の機械化を推進し、農業分野の課題解決及び食糧増産に貢献。「地球を耕す」という理念のもと、長年培ってきた技術力・開発力に新しい知識を取入れ、農地だけでなく地球規模の課題解決に取組んでいる。持続可能な社会に向けてSDGs（持続可能な開発目標）にも取組み、大地だけなく、大海・大空の無限の可能性を掘起こし、より豊かな生活及び地球を次世代に残すべく社会的課題の解決を目指す。

●所在地	岡山県岡山市南区中畦684
●電話／FAX	086-298-3111／086-298-9010
●URL	http://www.kobashiindustries.com/
●代表者	代表取締役社長　小橋　正次郎

●設立	1910年
●資本金	10,000万円
●従業員数	256人

作業機と耕うん爪を両方製造する日本唯一の企業

作業機と耕うん爪を両方製造する日本唯一の企業で、耕うん爪とその特性を活かした作業機の独自の技術開発力を有する。国内トップシェアを誇る耕うん爪は、特許取得の爪形状及び高い圧延技術により耐久性に優れ、低燃費・高効率の安定した作業品質を実現。また労働負荷が大きい田畑の畦塗作業を完全機械化し、さらに作業時間を大幅に短縮した「オート畦塗り機」は業界初の技術開発で、農家の生産性向上に大きく貢献。

オートあぜ塗り機（ガイア）作業

会社全部門一体で顧客ニーズを取込み、国内トップシェア

収益向上を目指す農家のニーズに応えるべく、国内で初めてトラクター用大型耕うんローターを開発。大規模稲作農家向けのラインナップを充実し、効率化を求める農家から好評で、売上は好調を維持。「顧客との接点は製品である」という信念のもと、顧客に徹底的に寄り添う新商品開発の仕組を構築。農家に密着した草の根レベルの情報収集と、ニーズを的確に捉えた商品開発と展示会・実演会のきめ細かな実施により、製品の付加価値が顧客に認知され、代掻き機、あぜ塗り機の分野で国内トップシェアを誇る。

耕うんローター（アースローター）作業

地球や人類の課題解決につながる新事業を創造

自社技術の新たな事業領域への応用を進め、スタートアップ企業と協業し、耕作放棄地を活用したミドリムシ培養プールの実用化及びバイオ燃料の商用飛行や、次世代ドローンの量産化支援、植物工場の収穫機械開発、次世代農業の機械化等、新しい価値の共創に取組む。また多くのものづくりスタートアップ企業が抱える量産課題を支援する「ものづくりプラットフォーム」の構築に尽力。地球や人類の課題解決に資する研究開発型の革新的テクノロジーの社会実装を目指し、持続可能な社会の実現に取組む。

あぜ型微細藻類（ミドリムシ）培養プール

株式会社内海機械

生産性向上 サービス

広島県府中市

ショールーム化した工場で付加価値向上
最新設備と稼働の視認化で稼働率を向上

工作機械部品の製造加工を中心に医療機器部品、食品工場の機械部品等の加工を行っている。繊維メーカーとして創業したが、木工用機械製造業に業種を転換。さらに工作機械部品加工に主軸を移す等、創業から70年、その時代に合った事業に転換している。工作機械部品の加工においても、当初は多ロットで利幅の薄い部品加工をしていたが、社内改革を行い、2016年から、単品・短納期に特化し利益率の高い事業を展開している。

●所在地	広島県府中市鵜飼町743―1
●電話／FAX	0847-45-6300／0847-45-6400
●URL	http://www.utsumi-kikai.co.jp
●代表者	代表取締役　内海　和浩

●設立	1949年
●資本金	4,980万円
●従業員数	13人

工作機械部品の「単品・短納期(3日以内)」加工サービス

工作機械部品加工の現場において、発注漏れや急な設計変更等により単品発注かつ早急な加工が必要な場合が頻繁にあるが、専門に対応できる事業者が見受けられなかった。そこで同社は、単品・超短納期市場を見いだし、社内体制を整え、2016年に単品受注で受注後、早い場合即日、遅くとも3日以内に納品する「単品・超短納期」サービスを開始した。納期遅れは企業にとって死活問題で、同社が受皿になることで発注企業のニーズを満たしている。ニッチな分野を極めたことで高付加価値な事業を実現した。

「単品・短納期」加工の加工工程の一部

経営資源を最大に活用することで高付加価値を実現

既存の経営資源を最大化することで「単品・超短納期サービス」(高付加価値化)を実現している。独自の組織体制を構築し、PDCAサイクルを高速回転させ、日々の目標を明確にし、効率良く最終目的(単品・超短納期で生産することで、取引先ニーズに対応)を達成する仕組を作っている。「単品･超短納期」に絞ったことで、商圏は広くなり、広域に応じた販売促進策(オウンドメディア等)を打つことで新規取引先の拡大に繋がっている。

超短納期を実現させる日々の目標管理

災害時での適切な判断により、被害の最小化の取組を実施

平成30年7月豪雨により工場裏の山から染み込んだ雨水が沸き上がった。避難指示により早期退社、翌日休業等の対応をした。また、従業員の自宅の被災により通常生産に影響が出た。被災後は、生産調整の実施や、被害を受けた従業員への出勤調整等を行い、取引先に影響が出ないように事業を継続した。災害時には近所の土砂の撤去を行い、土砂による汚れを高圧洗浄した。

同社工場の外観

株式会社トーエイ

生産性向上 サービス

広島県庄原市

地元生産者と連携したITシステムを導入 IT導入で省力化した人員で顧客価値向上

昭和59年に旧広島県比婆郡東城町の地元商店主11者により、共同店舗「ショッピングタウントーエイ」として開業し、地元住民に食料品、衣料、日用雑貨等を提供している。平成26年から庄原市学校給食共同調理場の調理業務を受託、平成27年に庄原市西城町の空き店舗へ出店する等、山間部で買い物難民が生じないよう貢献している。本年より、移動販売車による「移動スーパー東城元気便」を開始し、地域住民に寄り添った事業を展開中。

●所在地	広島県庄原市東城町川東1172
●電話／FAX	0847-72-4111／0847-73-0056
●URL	http://www.tohei.jp/
●代表者	代表取締役社長　名越　圭佑

●設立	1983年
●資本金	5,000万円
●従業員数	70人

地元生産者、仕入等事業者、地元消費者を結ぶ場を提供

スーパー、コンビニとの差別化を図り、地元消費者へ訴求するため、地元生産者の野菜や地場メーカーの食品を売り場へ直接持ち込み、売出価格を決定できる「地産地消コーナー」を設置した。地元生産者から小ロット商品でも受入れることで、新鮮かつ豊富な品揃えで、消費者の満足度を高めている。生産者、事業者、消費者を結ぶ「場」として「屋上バーベキューコーナー」「コミュニティーカフェ」を設置する等、地域資源を活用しつつ活性化の起点となることを目指している。

店内の地産消費コーナーの様子

IT導入やポイント還元で、生産性・顧客満足度が大幅に向上

徹底的なITシステム導入や、顧客の囲い込を進め、平成29年に店舗内へ売上管理システムと直結したセミセルフレジ、カートインスキャナー、産直管理システムを導入。事務作業の省力化に取組んだ結果、レジ精算時間が40%短縮し、事務作業も3時間／日削減ができ、生産性が向上。本年3月には東城町商工会が決済事業者となって、地元商店街と連携した電子マネー「ほろかカード」を導入し地区人口8割の顧客を囲い込に成功し、ポイント還元制度により手数料が地域に循環する仕組を構築。

「ほろかカード」をご愛用頂いてる皆様

被災者への食料・衣料品等の継続供給、義援金の店舗内受付

平成30年7月豪雨で東城町地区で河川が氾濫し、多くの住家被害が発生。同社も仕入先や物流網の被災に直面したが、調達先や運航ルートを急きょ変更し、休業せず地元被災者への食料・衣料品等を継続供給した。また発災2日後から義援金の受付を本店店舗内で開始し、集めた義援金を商工会へ送り、地区内の被災者や事業所への支援を実施した。同社はこれを機に令和元年に中小企業強靱化計画を策定し、老朽化した非常用発電機を更新した。

店舗の外観

イツモスマイル株式会社

生産性向上 サービス

徳島県徳島市

入居者家族を安心させる新システムを開発
情報共有システムで働き易い環境を実現

徳島県の介護サービス事業者で、特に在宅サービスに関して幅広く事業を展開。クリニックの運営、訪問看護による医療体制の充実化を図ったことで重度患者の受入が可能となり、サービスつき高齢者向け住宅やデイサービス等は高稼働率を維持している。また、介護サービスに付随する様々なニーズを掘り起こし、積極的に事業化へ展開。雇用面では、保育所との提携等、子育て世代の従業員が働き易い環境整備を実施している。

●所在地	徳島県徳島市佐古二番町5番11号
●電話／FAX	088-611-3131／088-611-3130
●URL	http://itsumosmile.jp/
●代表者	代表取締役　大田　仁大 代表取締役　小泉　卓也 代表取締役　和田　文平

●設立	2003年
●資本金	300万円
●従業員数	280人

システム開発により、家族も安心できる介護サービスの実現

高齢者の健康状態をセンサーマットとウェブカメラ等で二重に見守るシステム（イツモツナガル@ホーム）を開発。非接触、非拘束のストレスフリーの状態で呼吸数や心拍数を監視し、異常があればカメラの映像や通話で確認する体制を実現。容体の急変等をすぐに確認できるため、すぐに職員や家族に知らせることが可能となり、安心・安全なサービスを提供できる。自社の有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅に導入しており、今後は外部施設や在宅介護への販路拡大を検討している。

イツモツナガル@ホームのナースコール

介護サービスによる介護報酬のみに依存しない多角経営を展開

各種在宅介護事業のみならず、業務改善・新規開設のコンサルティングサービス、M&Aの仲介、クリニック運営、宅配水事業、遺品整理事業、人材育成事業といった多岐にわたるサービスを実施している。介護サービスの実施を通し、そのサービスに付随するニーズを掘り起こし、ニーズに応じた新たなサービスを積極的に事業化。介護報酬のみに依存しない事業運営を行っており、多角経営を行うことによるシナジー効果も期待される。

同社グループのクリニックの待合室

非常災害対策計画の策定に向け取組中

火災や地震だけでなく、水害や土砂災害等にも対処するための非常災害対策計画の策定に向けて取組んでいる。災害時において利用者の安全を確保できるような体制を構築し、日々従事する職員の意識づけにも役立てたい。

同社の本社ビルの外観

サヌキ畜産フーズ株式会社

生産性向上 ものづくり

香川県三豊市

生産性向上と設備の導入で付加価値向上 先端のIT技術を活用した情報化を推進

同社は、業務用及びOEMの冷凍トンカツを主力とした加熱冷凍食品を製造販売している。本社工場、観音寺工場で商品を製造しているが、関連事業として、精肉・精肉惣菜等の小売店であるミートピアサヌキや首都圏にトンカツ店5店舗を運営する株式会社坂井精肉店も傘下に持つ。販売先は、大手外食チェーン店、スーパーマーケット、コンビニ等全国に広がっている。特に業務用トンカツは国内において高いシェアを有する。

●所在地	香川県三豊市詫間町詫間2112-140
●電話／FAX	0875-83-6262／0875-83-6265
●URL	https://www.meatpia-sanuki.com
●代表者	代表取締役　増田　浩

●設立	1980年
●資本金	9,000万円
●従業員数	165人

製造技術の応用で安定した品質の維持と商品開発力を確保

同社の技術的特長は、ハム、ソーセージの製造技術を使って、冷凍トンカツを製造しているところにある。このことにより、商品の形状及び重量のばらつきが極力抑えられる。その技術の中心は、豚肉に特殊な液を加えて漬け込み、その後、充填してプレスするところにある。この技術により、定量・定型の商品製造が可能となり、巻きかつ等、他社にない特殊形状のカツの製造も可能となる。FSSC22000の認証も取得している。

トンカツの生産工程の一部

設計開発プロセスの高度化と多様な業種へ進出し優位性を創出

製造する商品の設計・開発を受託者である同社が主体となって行うODM（Original Design Manufacturing）を推進し、受注型のOEMに加え提案型のODMによる優位性のある受注体制を確立している。また、食品製造業だけではなく、生肉加工技術を活かして、ハムやベーコン等の小売業やトンカツチェーンにも事業を広げ、シナジー効果を発揮するとともに、他社にない独自のビジネスモデルを構築している。

同社が提供している加工食品の一例

経営理念に基づく被災者・被災企業への支援と防災の取組

震災、豪雨災害等の被災地に対する義援金等の支援を実施している。引続き、被災者や被災事業者への防災・復興支援について対応を検討していく。防災については、地域とも連携し、迅速な情報収集、緊急連絡網の整備、安否確認方法の明確化、防災訓練等を積極的に行い、地域の方々や社員、社員の家族を守り、支援するためにできることを実施していく方針である。

同社工場の外観

福寿産業株式会社

生産性向上 ものづくり

香川県三豊市

AIを活用した環境対応型の粉体静電塗装自動化による飛躍的な業務効率向上

主に金属塗装及び住宅エクステリア関連部材の塗装を行っている。粉体塗装がヨーロッパから日本に初めて伝わった1970年頃から、粉体塗装が今後の塗装業界のスタンダードになることを予期し、この分野に特化したパイオニア的な存在である。技術の高さから電機・産業機械等様々な業界大手からの受注も増加。今年は創業50周年を迎える節目にあたる。後継者への事業承継も控えており、ニッチトップ企業として、飛躍が期待できる。

●所在地	香川県三豊市三野町下高瀬2135
●電話／FAX	0875-72-4433／0875-73-4783
●URL	http://fukujyusangyo.net/
●代表者	代表取締役　浅野　忠一

●設立	1970年
●資本金	1,210万円
●従業員数	30人

AI設備による高付加価値化及び自動化による短期納品の実現

AI塗装設備の導入及び徹底した自動化の推進により、高品質・短期納品を実現している。また、日本で初めて塗装対象物の感知や塗料の再利用を自動制御するスイス製の電子基盤を導入する等、従来の塗装ラインを見直すことでリードタイムを大幅に短縮することに成功している。オーバースプレーとなった塗料の再利用を行うことで産業廃棄物を出さないエコ塗装を実現すると同時に、原価の低減によるコスト面での競争力も高くなっている。

同社のAI塗装設備の一部

徹底した「選択と集中」による生産性向上と収益力確保

生産性向上及び収益力確保において、いかに色や質感を変更せず塗装ラインを停止させないかが最も重要な課題である。多様な提案ができることが是とされる現代で、同社は高品質な塗装・短期納品により顧客の信頼を得たうえであえて少ない選択肢の提案を行っている。顧客を誘導することで塗装ラインを極限まで停止させずに集中的に稼働させ、高い収益力を確保している。このビジネスモデルにより、大手が断るような小口の受注にも対応し、顧客の囲い込みに成功している。

同社の塗装ラインの一部

BCPを策定し、社内で勉強会

香川県が推進している中小企業BCP策定等支援補助金に申請する等、災害等有事に対する備えをしている。定期的に上級リスクコンサルタントを招へいし、社内で勉強会を開催しており社員の危機管理意識の醸成に意欲的に取組んでいる。

同社工場の外観

菱高精機株式会社

生産性向上 ものづくり

高知県高岡郡中土佐町

卓越した技術開発力
切削工具のリーディングカンパニー

高知県が過疎対策として工場誘致を行った際に、その第一号として切削工具メーカーとして1968年に従業員30名で創業。現在は50名を超え地域の重要な就業の場を提供。創業当初より技術基盤を確立するため、国内の大手メーカーや欧州を中心に海外メーカーとも技術提携を行う。これをベースに自社の技術や発想を組入れた切削工具、さらには刃物研磨機械等、独創性のある形状や機能を持った製品を開発、提供している。

●所在地	高知県高岡郡中土佐町上ノ加江2085番地2
●電話／FAX	088-954-0221／088-954-0170
●URL	http://www.ryoco.co.jp
●代表者	代表取締役　町田　淳一郎

●設立	1968年
●資本金	4,500万円
●従業員数	52人

加工データ蓄積による製品開発や製品評価のスピードアップ

顧客ニーズは、より高精度かつ迅速化対応のための製品開発と改良が求められている。そのため、性能比較を行える立形マシニングセンタを導入した。これにより、切削工具の切削試験による回転数や負荷率、切屑飛散状況等を加工データとして蓄積・比較が可能になった。この加工データに基づき、顧客ニーズに対応した設計や開発が可能となり、開発精度の向上と開発期間の短縮化が図られることになった。このような開発環境の整備が、現在の競合他社との差別化や競争力強化の向上に結び付いている。

立形マシニングセンタ(NVX5080)

各種データの「見える化」による営業力・競争力の向上

同社の強みは、切削工具に関わる顧客個々のニーズや課題に対して、その解決方法を工具の開発や改良を通じて提案し、具現化していくことにある。前述のように各種データをデータベース化し、試作品や既存製品の改良に役立てる一方、競合他社製品や同社の従来品と提案製品のデータをグラフ等で「見える化」し、比較できる資料を作成している。これにより、同社製品が競合他社や従来製品より相対的な優位性を顧客に示し、説得力のある説明ができるようになり、収益力の拡大の源になっている。

切削試験状況

積極的・継続的な挑戦による新たな価値の創出

新たな価値の創出のために、切削工具以外に、工作機械と刃物をつなぐツーリング、あるいは個々の切削機器をトータルさせた切削システムの開発等を行っている。さらに、航空宇宙産業や自動車産業等で、今後の構造材として有力視されているCFRP（炭素繊維強化プラスチック）があるが、これは多くの課題を抱える難削材でもある。しかしながら、現在、大手メーカーの協力も得ながらCFRPに対応した切削工具の開発に取組んでいる。必ずユーザーの期待に応えられる製品を開発できると確信している。

航空宇宙産業用　切削工具

株式会社Windy

生産性向上　サービス

福岡県福岡市

調剤薬局・医療機関・介護施設向け調剤関連の先進的システムの開発

調剤に関わる業務の過誤防止や効率化等のため、さまざまなシステムを開発提供している。また、患者が入院時等薬剤師が持参した薬の正確な情報を把握するために、持参薬のスキャニングによる画像処理システムや、処方薬の飲み忘れ・誤飲を防ぐための「お薬カレンダー」等の新システムを開発している。さらに、薬局と医療機関等をネットワーク化し、患者等の情報の共有化を図ること等を通じて地域包括システムの実現に取組んでいる。

●所在地	福岡県福岡市博多区博多駅東2-8-9 ソフィアビル304
●電話／FAX	092-474-1007／092-474-1008
●URL	http://e-windy.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　中村　行延

●設立	2002年
●資本金	1,000万円
●従業員数	6人

外部関係機関等との協力関係を活かした新たな価値の創出

同社は、「電子薬歴システム（ブランド名：らく歴）」等の提供により、全国に約1,000店舗の顧客を抱えている。これらの顧客から高い評価を得ている「薬剤画像処理システム」や「お薬カレンダー」等のシステム商品の普及拡大に務めている。なお、「らく歴」や「お薬カレンダー」の開発にあたっては、地元のものづくり企業、医薬機関向け販社の技術・知見等も活用させていただいている。今後も新システムやサービス向上のための開発を通じて、新たな価値の創出を進めていく。

広がる電子薬歴「らく歴」

システム開発の内製化とラボとの機能確立による業務の明確化

同社のコアとなるシステムのソフト開発は全て内製化している。一方、ハードの開発・製造は地元のものづくり企業に依頼している。また、北九州市にラボを設立し、本社（福岡市）では、システム開発の他、既存商品のメンテナンス、プログラムのカスタマイズ等を行っている。ラボでは、異分野での自社技術の活用法の検討・開発や営業エリア拡大等の新事業を行うことにしている。このように機能を明確に分担することで、全体としての業務効率化と生産性の向上を図っている。

錠剤自動除包装置「一包奉仕」

従業員の専門性を有効活用した効果的な組織マネジメント

従業員は、薬剤師、システムエンジニア等専門家を雇用している。業務は、企業戦略や問題意識等の共有化を図るとともに、各々専門分野に集中している。新たな販路開拓等の活動については経営者自身が担っている。これにより、限られた人材を効率的・効果的に活用でき、同社の成長や収益力の向上に結びついている。また、出社・退社時刻を設けないフレックスタイム制等を導入し、働きやすい職場環境の構築・整備を行っている。これらの施策により、2002年の創業以来、1人も退職者を出していない。

日誌作成「らくRepo」、VRリハビリ

ムライケミカルパック株式会社

生産性向上 ものづくり

福岡県久留米市

環境対応塗料の開発から製造・施工まで一貫して取組む特殊塗料メーカー

独自に開発した高機能特殊塗料の製造・販売・施工を一貫して手がける塗料メーカー。高い遮熱・断熱効果を有する塗料を、建屋の屋根や壁面にコーティングすることで、室内温度を低減し、作業環境の改善、電力費の削減、建屋の強度化・美化等を実現している。また、アスベストの無害化処理工事等や、ダイオキシンの適正な除染処理を手掛ける等、環境問題の解決に向けて先進的な取組も行っている。

●所在地	福岡県久留米市藤山町696-5
●電話／FAX	0942-21-7667／0942-22-4570
●URL	https://www.murai.co.jp
●代表者	代表取締役社長　村井　正隆

●設立	1967年
●資本金	29,300万円
●従業員数	30人

異業種連携による販路拡大と付加価値の向上

2005年より異業種連携を促進し、同社製品の施工が可能な企業グループの組織化を全国各地で図る。メンバー企業には毎年、厳しい技術研修等を実施し、品質向上を図った結果、ユーザーに対して同社製品を10年間の機能保証することを実現した。さらに、全国の企業グループメンバーを毎年、本社に集め、座学及び実務研修等を実施。本研修終了認定を受けた技術水準の高い企業にのみ、同社製品の施工を許可する等、ブランド化・付加価値向上に資する取組を行っている。

企業グループと社員が一堂に会し座学研修

最新ソフトの導入による生産性の向上

最新の設計支援ソフト、画像加工・編集ソフト等を導入し、現場経験の少ない本社従業員でも施工物件の図面作成やイメージ画像等を簡易かつ速やかに作成することを可能にした。これにより、これらの業務を効果的に役割分担することが可能になり、大幅な作業軽減と効率化を実現した。さらに、施工管理ソフトも導入し、工期遅れの防止、作業の手戻り削減等業務効率が大幅に向上。その結果、残業時間の大幅な削減、粗利益率の向上に結びついた。今後も業務改善に取組み、さらに生産性の向上を図っていく。

設計支援・画像処理ソフトなどを有効活用

シニアの活躍で人手不足解消と円滑な技術・技能伝承の実現

「定年(満60歳）後も、希望者全員を満65歳まで再雇用または継続雇用する」と就業規則に明記。その際、定年前の業務を継続する場合、賃金額は基本的に従前の額を支給している。昇給と賞与についても定年前よりも若干低下するものの、支給対象としている。また、製造部門の社員及び継続雇用者の労働荷重軽減策として休日出勤をなしにし、さらに、時間外労働もほぼゼロを維持。こうした取組により、人手不足解消と技術・技能伝承が円滑にされるとともに、社員のモチベーションアップとなっている。

女性講師を招いて意識改革実現への取組

九州木材工業株式会社

生産性向上 ものづくり

福岡県筑後市

無公害の保存木材「エコアコールウッド」の国内唯一のメーカー

産学官連携により革新的な保存処理木材「エコアコールウッド」の開発を、1999年に成功させた。この新製品は、多くの文化財資産や住宅または非住宅等に採用され耐久性向上に貢献。主な事業は、エコアコールウッドの製造・販売をはじめ、木材製品への保存剤の注入・乾燥等の受託加工であり、その他伐採業務等の委託業務である。現在は、新たな事業として海外展開も視野に入れ、日本初の不燃木材の開発に取組んでいる。

●所在地	福岡県筑後市大字和泉309-1
●電話／FAX	0942-53-2174／0942-52-5158
●URL	http://www.kyumoku.co.jp
●代表者	代表取締役社長　角　博

●設立	1930年
●資本金	4,956万円
●従業員数	197人

日本初「不燃木材」の開発による国産材輸出メーカーへの挑戦

今の難燃材は、注入されている難燃剤が湿度が高いと水分を吸着し滲み出てくることや、品質保証ができるほどの均一な薬剤分布が確立されていない課題がある。そこで、同社は新事業として木材の付加価値向上策の一環として、2017年度の戦略的基盤技術高度化支援事業に採択された、日本初の「不燃木材」の開発に注力している。現在は、不燃木材の試作開発が終了し、最終の製品評価を行っている段階である。この新「不燃木材」が国内に上市された後には、海外への展開も計画されている。

不燃木材の開発

全員参加の清掃活動で働きやすい職場作りと業務効率化の推進

積極的な設備投資を行うとともに、ソフト即ち“ヒト”面も併せて生産性の向上に取組んでいる。毎朝・夕の清掃活動や2か月に1回の大掃除、さらには毎月1回、環境整備活動の状況をチェックするなどを行っている。狙いは、安全第一・品質向上はもとより、社員自らが仕事をしやすい職場環境を作り、部門の垣根を超えた社員間のコミュニケーションの機会を増やすことにある。その効果は大きく、徹底的に掃除することで、仕事や作業に対する社員の気づきや感性が醸成され、業務の効率化に繋がっている。

掃除大賞2020受賞式

社員が能力を発揮し仕事と生活の調和を図れる雇用環境の整備

次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定している。社員が能力を発揮し仕事と生活の調和を図り、働きやすい雇用環境のために、有給休暇取得率60%以上等の目標を掲げ実施している。さらに、特別の事情がない限り残業月10時間以内、育児休業取得促進、定年後も当人が希望すればいつまでも働ける体制などを整備している。今後も以上のような施策の活用を促進していくとともに、さらに社員の働きやすい環境整備や人材活用と生産性向上を伴った働き方改革に取組んでいく。

全社研修会

龍宮株式会社

生産性向上 ものづくり

福岡県うきは市

日本初の脱脂綿を使った健康なおふとん「パシーマ」のメーカー

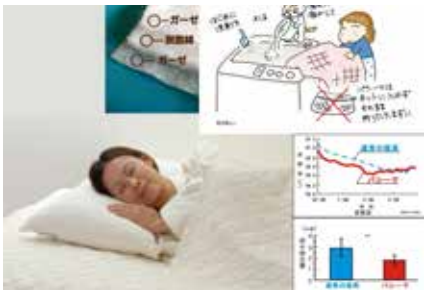
戦後衣料の欠乏時に、タオルを作るため、残存する中古機械を利用し、布団わたから糸を作り出す紡績法を考案して創業。その後、医療用の脱脂綿、ガーゼ、不織布、綿を基本とした製品開発に取組み、精製法から縫製、形状にいたるまでこだわっている。現在の主力製品は、日本初の脱脂綿とガーゼを用いた健康寝具「パシーマ®」で、この商品は、洗える、ホコリがでない、等の特長があり、顧客の健康促進に貢献している。

●所在地	福岡県うきは市吉井町新治278
●電話／FAX	0943-75-3148／0943-75-3140
●URL	http://pasima.com/
●代表者	代表取締役社長　梯　恒三

●設立	1957年
●資本金	2,800万円
●従業員数	40人

高品質かつ機能性に優れた寝具：「パシーマ」で高い収益性を獲得

高品質かつ機能性に優れた寝具：「パシーマ」の特長。①製品の機能：洗うほどやわらかくなる、抜群の吸収力、高い保温力等。②客観的評価：大学との睡眠に関する調査・研究により、良質な睡眠をもたらす結果を得る。2003年世界安全規格のエコテックス規格のクラスⅠ認証を寝具で日本初取得。③品質管理：自社一貫生産と1枚1枚職人による細かな作業・検品により、厳格な品質管理体制を敷いている。市場から「パシーマ」は高い評価を得て、繊維業界では類を見ない高収益性を獲得している。



良質な睡眠をもたらすパシーマ

ITシステム等の導入により作業工程を改善し生産性を向上

次の施策により生産性を向上させている。①トレーサビリティ管理システム、異常発見管理システム、在庫管理システムの導入により、注文時、製造時の在庫管理や問題究明と工程改善が迅速化され、効率化が進んでいる。②自動停止・自動修復機能を有する最新機械も導入し、自社メンテナンスを行い生産の効率化を図っている。③作業者を多能工化し、一人三役制度を実施している。また、従業員の教育とポジションの交代制を導入し、工程間の平準化と生産性の向上を図っている。

一つずつ番号があり、トレーサビリティも

女性や再雇用者が活躍できる職場環境と充実した社員教育制度

①従業員の6割、役職者の3割以上が女性であり、女性が働きやすい職場として短時間勤務制の導入や有給を取得しやすい環境づくりを行う等働き方改革を実践している。②社員の年齢層は幅広く在籍し、障害者も雇用しており、60歳定年後も希望者は継続して勤務してもらい、技術承継や若手従業員の育成の役割を担っている。③社員研修、資格取得費用は全額会社が負担しており、資格取得者には特別手当を支給し、従業員のモチベーション向上を図る等、自己研修や自主勉強会を推奨・支援をしている。

先輩が若い後輩を指導・育成

株式会社中島ターレット

生産性向上 ものづくり

福岡県遠賀郡岡垣町

柔軟な対応力と高品質・低コスト・短納期のワンストップソリューションを実現

「優れた技術力と設備力で高精度の加工をタイムリーに応える」をモットーに、ロボットや半導体製造装置の関連部品等を製造している。最新鋭の工作機械を有し、三次元測定機や輪郭・直角度測定機等充実した設備・機械と技術力により高精度な製品を提供している。多品種小ロットにも対応し、低コスト・短納期にも応えている。現在は新市場として、航空宇宙関連部品や、有機EL製造装置や理化学機器用部品等にも着手している。

●所在地	福岡県遠賀郡岡垣町大字戸切379-1	●設立	1964年
		●資本金	3,000万円
●電話／FAX	093-283-3030／093-283-3028	●従業員数	109人
●URL	http://www.turret.co.jp/		
●代表者	代表取締役　中嶋　英二郎		

先端設備を導入し、業務の効率化と生産性の向上を推進

業務効率化を図るため先端設備を導入。2013年度では「高精度・高能率マシニングセンター導入によるロボット部品加工の競争力強化」に取組み、当該部品の加工時間を1~2割削減した。2014年度では「高精度・高能率のNC旋盤導入による、トップランナーモーターフレームの加工工程削減と競争力強化」に取組み、当該部品の加工時間とコストを3割以上削減した。業務の効率化を推進し、大幅な業務効率化と生産性向上が図られている。

マシニングセンターと治具での高効率生産

新市場開拓に対応した付加価値製品の生産拡大

2016年度以降は、新市場を開拓するため生産体制の整備を積極的に進めている。2016年度は、「ウエハー搬送ロボットのアルミ部品の低コスト実現と稼働率向上による競争力強化」に取組み、新たな半導体需要に対応した生産体制を整備した。翌年度では、「航空宇宙部品の加工信頼性向上と低コスト実現のための複合加工機の導入」に取組み、高精度な要請に応えられる体制を整え、新市場のニーズに応えられる製品の提供を可能にし、付加価値向上とさらなるブランド力向上が図られている。

複合加工機による高精度加工

多様な人材が働きやすい環境及び人材育成の仕組を整備

①20年ほど前から小集団活動を継続し、5S・生産性に関わるアクションプランを作成実行すること、能力やモチベーション向上を図っている。②女性・シニアには軽量な物のみハンドリングできるように工夫している。③「働き方改革」への取組として、2019年は前年よりも5日間、年間休日を増加。今後は、2年間で6日間、年間休日を段階的に増加する予定である。④社員全員を対象にした勉強会を毎日開催している。⑤社員の誕生月には、社長との昼食会を実施している。

活動板（改善活動の見える化）

株式会社タケシタ

生産性向上 ものづくり

福岡県三潴郡大木町

『技術力』×『設備力』×『IoT』で大型加工に特化した九州発のモノづくり

同社は半導体・FPD関連の他、様々な産業用生産設備に向けて精密製缶溶接や精密機械加工を行っている。今後高まりつつある大型加工ニーズに先駆けて、大型工作機を積極的に導入するとともに、大型製缶一貫生産体制の確立に取組んだ。現在では九州トップクラスの設備力と、多工程一貫生産を実現する技術力を武器に、全国の装置メーカーから受注を獲得している。また技術者の確保、育成を重要事項と捉え、様々な施策にも取組んでいる。

●所在地	福岡県三潴郡大木町大字大藪871
●電話／FAX	0944-33-2000／0944-33-0100
●URL	https://www.takeshita.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　竹下　義人

●設立	1999年
●資本金	3,000万円
●従業員数	46人

大型製缶一貫生産と大型精密機械加工に強み

産業用生産設備の筐体である装置架台・フレームを溶接から機械加工、塗装、装置組立までの多工程を一貫生産できる技術力に強みがある。複雑形状の架台･フレームも、高い溶接技術で熱影響による歪みを最小限に抑え、大型工作機による切削加工では、自社設計の特殊治具を用いて、鋳物の重切削加工から真空チャンバーの大型アルミ加工まで高精度・高品位加工を実現している。また、ISOを活用した品質管理システムを強化し、米国ASME規格にも準拠した体制を確立しており、大型放射光施設や米国の原子力発電施設等、より厳格な品質管理を求められる場所でも強みを発揮している。

製造現場

IoTとAIで工作機の稼働状況の見える化と保守予測に挑戦

工場のIoT化を推進し、すべての工作機をネットワークにつないで稼働状況の見える化を実現。これを生産管理システムと結びつけて生産性の向上につなげている。また、新しい工作機には稼働時のセンサー情報から機械の状態や将来の保守についてAIが分析診断する機能をつけており、さらなる生産性向上に取組んでいる。これらのIoTへの取組を通じて、より組織横断的な業務の平準化が可能となり、これまで人手不足で対応できなかった引合いについても部門間の異動を通じて受注対応できるようになっている。

稼働状況の見える化

資格取得の支援と働き方改革で技術者の育成と確保を実施

一貫生産を支える技術力は競争力の源泉であり、その維持向上を図るため、部門毎の改善発表会を毎月実施するほか、日本溶接協会や技能検定等の専門資格の取得支援制度を充実させるとともに、定年延長、再雇用制度を設け、熟練技術者の技術承継にも力をいれている。また、働き方改革にも注力し、労務コンサルタントの知見も取入れ、就業規則、賃金規則の見直しを実施。残業時間の抑制や、休暇取得を奨励し、雇用環境の改善を図っている。

毎月の改善発表会の様子

日興食品株式会社

生産性向上 ものづくり

佐賀県佐賀市

新たな技術、環境をいち早く先取りした経営 地域未来牽引企業として地域と共生

1956年に創業。缶詰製造特有の熱に係る技術の豊富な経験・知識の獲得と、創業から継続的に設備の近代化と生産方法の改善を行ってきたことで、現在は「ミカン、甘夏缶詰」部門の生産シェアが全国一位となっている。現在もこれまで目視を前提としてきた工程を画像処理技術を用いて省力化を図り生産性向上を実現する等、従来の経営手法にこだわらない新たな技術・手法を積極的に導入している。

●所在地	佐賀県佐賀市大和町大字尼寺1369
●電話／FAX	0952-62-2151／0952-62-2250
●URL	http://www.nikko-foods.co.jp
●代表者	代表取締役　上野　嘉彦

●設立	1956年
●資本金	3,000万円
●従業員数	180人

画像処理システム導入で熟練技術者不足にも対応

画像処理による巻締検査機、果肉画像選別機等の設備の導入により、生産に係る必要工数が削減され、全社的な工数の配分が可能となり、社内でのフレキシブルな人材配置を実現している。工数の削減により工場内の複数のラインを同時に稼働させ、生産性の向上を図っている。また、労力を要していた選別工程についても、多人数で長時間の作業であったが、選別時間の短縮による業務の効率化と選別精度が向上したことによってより高いレベルで不良品が排除され、安全性の向上にも寄与している。

果肉選別画像処理システムの画面

大手メーカーと比べても遜色ない品質管理の実現

缶詰の巻締は缶詰製造上、食品の安全性を確保する重要管理点であり、この巻締が適切な形状であるかどうかの検査は、熟練の検査技術をもつ限られた人員の手と目視によるものであった。検査員の高齢化が進むなか、最終製品検査である巻締外観検査に画像処理検査機を導入し、作業工程数の削減による効率化で付加価値の向上を図った。また、前処理工程での機械式通過型巻締検査と合せて二重で検査を行う等、大手メーカーと同等レベルの品質管理により、OEM先としての信頼性も向上し、受注の拡大に取組んでいる。

品質管理の現場

社員の働きやすさや地域の振興発展への対応

熟練の技術を要していた工程を機械化したことで、高齢者や経験の浅い従業員でも携わることのできる人に優しい職場を構築して人材を有効活用している。また甘夏の外皮除去を地域の障害者施設に業務委託することや、災害支援活動を積極的に行う等、生産の効率化だけでなく地域と共生するという経営理念の実践も行っている。

選別工程での従業員たち

株式会社唐津プレシジョン

生産性向上 ものづくり

佐賀県唐津市

大型旋盤や研削盤、歯車加工機械に特化 高精度、新技術を用いた新製品開発に注力

主に大型・超大型の横軸の旋盤、研削盤と歯車加工機械を製作している。創業110年の今日に至る間には様々な工作機械を製作していたが、独自の強みを活かしこれらの機種に特化。これらの製品はユーザーの高い評価を獲得し、世界の有力ブランドとして地位を確立している。今後もこだわりのものづくりの伝統を受け継ぎながら、ニッチトップ製品戦略の下で、高精度、新技術への挑戦、新製品の開発に力を入れようとしている。

●所在地	佐賀県唐津市二タ子3丁目12番41号
●電話／FAX	0955-72-1111／0955-72-1110
●URL	http://www.karats.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　竹尾　啓助

●設立	1909年
●資本金	10,000万円
●従業員数	140人

ロボット導入により品質の安定化、工期短縮を実現

国の支援策、専門家の知見を効果的に活用し、製造工程に同社初となるロボットの導入に挑戦。手作業に頼っていた「大型旋盤」の部品加工について、品質の安定化とリードタイムの短縮に成功している。さらに取組で培ったロボット活用の経験値を応用し、ワーク(加工部品)搬送ロボットが付属した「歯切り盤」の開発に取組んでいる。また、併せて、製造現場全般に亘って、間接時間の最小化を目的に、5S/4S活動（10年目）と併せて、各人の作業内容の見える化システムの構築を目指している。

導入されたロボット

次世代の歯車加工技術であるギアスカイビングマシンを開発

ギアテクノロジーのさらなるレベルアップに取組むことで次世代の歯車加工技術であるギアスカイビングマシンの開発に成功している。これは従来のギアシェーパーに比べて加工時間を大幅に短縮することが可能となり、顧客の生産性向上にも大きく貢献している。さらなる高機能化実現のため、令和元年、国立研究開発法人産業技術総合研究所との共同研究をスタートしている。将来的には、IoT 、AIを応用した新技術、新機能を付加し、世界のハイレベルの歯車加工への貢献を目指している。

ギヤスカイピングマシン

工作機械製造に必須の高度なスキルを獲得するという伝統

設計技術者から製造技能職者全般にわたって資格取得を督励しており、中心となる設計部門、機械工作部門、組立仕上部門ともに技能検定1級取得を目指している。また機械工作部門では多くの者が2機種を担当できる多能工化がなされている。これは70歳前後のベテラン従業員約10名による後進の指導の成果でもある。全職場を通して離職者が少なく、工作機械製造に不可欠な高度スキルを時間をかけて身につける伝統は企業文化化しており、この文化「こだわりのものづくり」をさらに強める事を目指している。

伝統を継承する社員たち

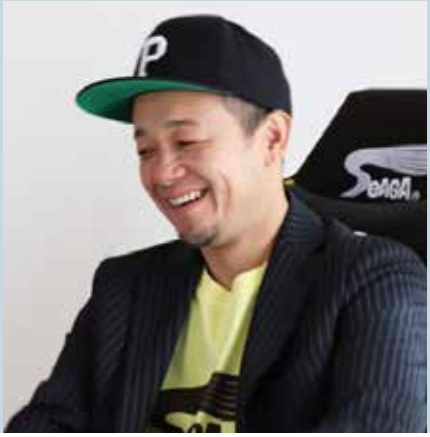
株式会社東馬

生産性向上 ものづくり

佐賀県神埼市

生産・営業の効率化により高品質な家具を全世界に提供

1921年に佐賀県有明町で創業したインテリア家具メーカーである。業績堅調な高価格路線の家具小売業者への販売やオリジナルデザインのブランド確立等の施策により、月間生産数は、国内5千本、自社設計による海外OEM5千本と県内最大規模。返品率も1%と少ない。来年の創業100周年というマイルストーンに向けて、全社一丸となり「おしゃれな家具で人々の暮らしをより豊かに」企業を目指している。



●所在地	佐賀県神埼市千代田町直鳥1738番地
●電話／FAX	0952-44-5888／0952-44-5828
●URL	https://www.tohma.net/
●代表者	代表取締役　東島　眞介

●設立	1966年
●資本金	5,000万円
●従業員数	56人

積極的な投資と全社的なブランド戦略による付加価値向上

かつて機械設備の段取では、ベテラン職人の勘と経験による入念な調整と複数回に及ぶテスト加工が必要だったものを、先端設備導入で解決した。積極的な設備投資により返品率は1%(業界平均8%)を達成という技術優位性を持つ。また現在は、若年工員でもプログラミング後、一度のテスト加工で量産可能となっている。一方で設計部門では最新ソフトを導入し、営業に提案するデザイン・試作がより早くより高度になり、営業効率の向上につながっている。またコンサルを入れて全社的なブランディングを進めており電話対応といった細かい点まで計画的･戦略的に行っている。

先端の機械設備

KAIZEN活動と積極的なICT投資による業務効率化

トヨタOBのコンサルタントを月に1回招聘し、KAIZEN活動に取組んでいる。今年度は縁貼り加工工程にて、ロットごとの段取替時間を62%（9分35秒→3分40秒）低減する等の結果を出している。また3S・KAIZENの取組で年間1224件、8,621千円の効果を実現している。さらに2019年には受発注システムを一新し、顧客・取引先によって電話・FAX・メールと様々な経路で流れている情報を一元管理化。情報の信頼性が高まった他、担当者の時間外労働を7割削減している。

KAIZEN活動の様子

ベテラン職人の再雇用と若手育成による人材の有効活用

積極的な採用を行っており､20代が従業員の約4割を占めている。採用後は、現場でのOJTにとどまらず、社外の視点が必要なテーマについては、Off-JTも積極的に実施し、社外でも通用する資質向上に努めている。生産部門以外でも多能工化を進め、お互いの仕事をカバーし合える体制を整備することで、休暇の取やすい環境を整えている。また定年後の再雇用も多く､再雇用者は技術･技能の若手への指導も担当している。

様々な年代の社員たち

有田工業株式会社

生産性向上 ものづくり

長崎県諫早市

独自の製造機械で塗装技術向上 30年前からIT化でCS向上を推進

溶融亜鉛めっきと粉体塗装を基幹事業とし、船舶の内部配管パイプや橋梁等の高欄（防護柵）等の表面処理加工を行っている。また、近年製品の開発販売を促進し、反転機や環境に配慮したゴミステーションを製造販売している。溶融亜鉛めっき+塗装のハイブリッド防錆仕様という独自技術や、独自の工程管理・顧客管理システム導入でCSの高い顧客サービスを実現している。平成29年度12月「地域未来牽引企業」に選定された。

●所在地	長崎県諫早市貝津町1769-1
●電話／FAX	0957-25-1588／0957-26-9844
●URL	http//www.arita-k.co.jp
●代表者	代表取締役社長　有田　能子

●設立	1954年
●資本金	5,000万円
●従業員数	150人

独自開発の製造機械・ロボットによる業務効率化

作業者の高齢化対応のため省力化と効率化を目的とし、浮上式作業台を開発することで安心安全な製品の仕上活動ができる環境が整っている。この作業台は特許取得済である。またメッキ製品の仕上作業において、受注製品の前面を確認するために重量製品を回転させる際の効率化と安全性を考慮した「反転機」を開発した。これによって安心して大型重量物の態勢移動が可能となっている。この反転機は、実用新案として申請済であり、第65回長崎県発明くふう展　中小企業の部優秀賞を受賞。その他に鉄鋼製品製作加工時の切断作業を自動で行うロボットの開発も行っている。

作業現場の製造機械

独自開発の工程管理システムによる情報の一元化の実現

高齢化、人手不足等の課題に対し、30年前にIT化を推進することで現在100台を超すパソコンで営業情報、物量、納期、品質、価格、請求、入金等々の諸情報の共有化が定着している。これにより製品に関する多くの情報が確認できて、生産性向上に大きく寄与している。また顧客の立場では、連絡すれば、預けている製品加工の進捗状況が即答できることや、顧客からの錯綜した物件情報に対して、出荷段階で要望とおりに整理整頓してニーズを反映した出荷が可能となりCS向上に寄与している。

AGシステムの画面

人事制度を基軸とした多能工化の実現と女性の活躍

各部門でスキルマップの作成や年2回の考課査定に伴う目標面談時に半期ごとの業務スキルの習熟目標を明確化する等の取組によって、多能工化を実現している。またキャリアパスを明示することによって、経年とキャリア構築や給与の相関がわかるようし、これにより自分の将来設計に直結することで、離職率が低減できている。またこのような制度により間接事務系での女性の貢献だけでなく、現場作業者としても女性が活躍をしている。

明るく働く社員たち

株式会社ピーエヌ機電

生産性向上 ものづくり

長崎県西彼杵郡時津町

生産の効率化と高品質化を推進 航空機向けブッシング製造に強み

1999年に橋本商会の製造部門から独立。プレス加工部門においては主に電磁鋼板を使用し、モーター及び発電機の鉄心の打抜き加工や、付属部品の製作を行い、機械加工部門においては、CNC旋盤及びマシニングセンターを中心に部品の製作を行っている。航空機向けのブッシング製造に特化した強みを持ち、20年以上の実績がある。高精度な加工技術を用いた高付加価値部品を多品種少量から多量まで幅広く供給している。

●所在地	長崎県西彼杵郡時津町西時津郷1000-135
●電話／FAX	095-882-5181／095-882-7658
●URL	https://www.pn-kiden.co.jp
●代表者	代表取締役　橋本　進

●設立	1999年
●資本金	7,250万円
●従業員数	32人

早期の製造着手や複合加工機導入等による自社の競争力強化

あえてメーカーを揃えた複合加工機を導入し、オペレーションの画一化を行ったことで、従業員による操作効率が向上し、当初は月産品目が100個程度であった生産力を、1日で生産できるまでに向上させている。また、合せて効率的な運用のためのプログラム管理を徹底することにより、ゆがみが生じにくい加工等品質管理を追求し、多量生産と品質保全の両立を実現させている。約20年前から今後成長が見込まれる航空機産業に参入し、以来蓄積されてきたブッシング製造に係るノウハウは他社の追随を許さず、高付加価値の部品を多量に納入できる体制を整えている。

ブッシング

主要取引先と連携した調達・保管方法の効率化

素材調達スキームでは、「機体整備会社の発注後、特殊合金メーカーから材料が届くまでのタイムラグ」、「材料到着後の在庫管理の手間」といった問題点が存在している。当該問題点を改善するため、三者間でスキームの変更を行い、同社内の敷地に特殊合金メーカーの委託倉庫を設置することで、問題点を解決している。この在庫管理業務の低減により、生産部門により多くの人員を配置できるようになり、またタイムラグ低減により、生産量の計画的な平準化、納入の早期化を実現している。

敷地内の倉庫の様子

社内制度導入による少数精鋭型の製造現場の構築・維持

製造過程において従業員に複数の工程を経験させることで、従業員全員が工程の流れを総合的に理解して多能工となるようにジョブローテーションを導入している。この仕組により、業務の相互補助が可能となり、休暇が取やすい風土が確立されている。また、独自の力量認定制度、業務改善に係る社内表彰制度等を導入することで、従業員の意識とやる気が向上し、生産効率の向上に加え、離職率の低下も実現している。

製造現場の従業員たち

株式会社共同

生産性向上 サービス

熊本県合志市

地域未活用資源の高付加価値化に成功 食肉の物流から加工・販売までを一貫対応

1971年にトラック輸送から始め、物流センター、食肉加工、飲食・直販と時代に合わせ事業領域を拡大。食肉加工施設「熊本ミートセンター」に、飲食・物販・交流の複合施設「ママトコキッチン」を併設。地域資源である経産牛を熟成肉として高付加価値を実現し地域経済の活性化に寄与するとともに、地域の子供たちに食育体験の場を提供している。2018年、熊本県ブライト企業及び地域未来牽引企業に選定。

●所在地	熊本県合志市栄3766-24
●電話／FAX	096-248-1133／096-248-5880
●URL	http://www.kyodo-logi.com
●代表者	代表取締役　山下　敏文

●設立	1971年
●資本金	1,000万円
●従業員数	284人

市場価値の低い経産牛を「熟成肉」とし高い付加価値を実現

熊本県は酪農業が盛んであるが、その役割を終えた経産牛（乳を搾った後の牛）はランクの低い肉として扱われる。高度に健康管理されているものの、肉質が硬くミンチ等に用途が限られるためである。同社は、この経産牛を熟成肉として加工・活用することで、付加価値の高い商品として提供している。イベント等を合せ年間3万人を集客する「ママトコキッチン」を拠点に情報発信に注力し、認知度・ブランド力の向上に取組む。

熟成肉として高い付加価値をつけた経産牛

物流・加工・販売のワンストップ体制を確立

食肉の流通経路は、一般的に多くの中間業者が介在し、複雑なサプライチェーンとなっている。同社は、物流から食肉加工、自社運営施設による直販までを一貫して対応することが可能であり、一般的なサプライチェーンの半分程度の経路まで短縮し、流通コストを削減している。食肉加工施設では最新鋭の設備と熟練の技術者により一次加工（枝肉解体）、二次加工（精肉）、三次加工（ハム・ソーセージ等の加工品製造）までを一貫して対応することが可能である。

食肉加工施設の様子

AI 技術を活用したシステム導入で生産性向上

物流現場に導入した最新仕分システム「ボイスピッキングシステム」は、音声による仕分指示・作業完了の応答ができ、機械の操作も簡単に行うことができる。この導入により生産性が1.3倍向上。作業中の発話で検品や数値入力が可能になり、仕分ミスゼロを実現している。また、このような現場改善を進める背景には「障がいを持った方が働きやすい職場は、健常者も働きやすい職場である」という考えがある。2003年から障がい者の積極的な雇用を行い、現在の障がい者雇用率は15%を超えている。

AI 技術によるボイスピッキングシステム

株式会社大分ベニヤ商会

生産性向上 サービス

大分県大分市

高付加価値の資材加工専門工場を稼働 IT利活用で業務効率を最適化

1963年創業の建材卸売業者。合板及び新建材を「豊富な在庫」及び「適時適量の配送」を意識した仕事に注力している。市場にマッチした商品を常に見つめ直し、相場に見合う適時適量に在庫することで価格を抑えるとともに、職人を待たせない配送を心掛ける。また、建材・建具の補修を手掛ける関連会社を有し、売りっぱなしにすることなく最後まで現場を見届けるアフターフォローにも注力している。

●所在地	大分県大分市東浜1丁目8番6号
●電話／FAX	097-558-7492／097-558-4104
●URL	http://www.oitabeniya.co.jp
●代表者	代表取締役社長　坂本　知隆

●設立	1963年
●資本金	1,000万円
●従業員数	23人

最新鋭の機械導入で付加価値の高い加工サービスを提供

最新鋭の「合板加工機」と「羽柄材加工機」を有するプレカット専門工場を2019年より稼働させ、木材問屋や材木店等から持ち込まれる資材の加工サービスを提供している。羽柄材は、構造を支える細かい部材であり、その種類が多く多岐に亘る。この加工は従来、建設現場の職人が手作業で行っていたが、最新鋭の機械を用いることで工場での加工が可能となる。建設現場の省力化に寄与する、付加価値の高いサービスを提供している。

細かい部材の加工が可能な羽柄材加工機

見積から配送までをITで管理し、スピードと正確性を向上

図面からサイズ等歩留りを考えながら、無駄なく建材をピックアップする独自の見積システムを導入。「スピード」と「正確性」を重視した見積を行い、取引先とともに無駄な時間と材料を削減している。また、全営業社員にタブレット端末を配布し、営業と配送の部門間で情報を随時更新・共有し管理の重複や漏れを防ぐとともに、ジャストインタイムのスピードある配送を実現している。

全営業社員に配布しているタブレット端末

若手への技能継承と風通しの良い職場環境づくり

プレカット専門工場の竣工に合わせ、他社で長年工場長として勤めた人材が定年退職したことを機に社員として採用し、そのノウハウとオペレーションを若手従業員に継承している。従前はペーパーで記入していた業務日報を、専用アプリに変更し、経営者及び従業員双方で共有する仕組みを構築。業務改善等に必要な取組について自由に意見交換ができるといった、風通しのよい職場環境の醸成を進めている。

風通しのよい職場環境

日本フォレスト株式会社

生産性向上 サービス

大分県日田市

未利用資源活用の自然循環サイクルを実現 電力の地産地消モデルを構築

木質バイオマス発電設備の設計や、バイオマスチップ（バイオマス発電の燃料）の製造を手掛ける。近隣エリアから間伐材等を集め、バイオマスチップを製造し、併設する木質バイオマス発電所で発電。電力会社を通して地域への電力供給を行う。間伐材等の有効活用と再植林により、CO_2の吸収と排出のバランスをゼロに保つ「カーボンニュートラル」を実現している。

●所在地	大分県日田市諸留町2813-22
●電話／FAX	0973-26-0750／0973-26-0760
●URL	http://www.n-forest.jp/
●代表者	代表取締役　森山　和浩

●設立	2004年
●資本金	1,000万円
●従業員数	36人

地域未利用資源を活用した新たな自然循環サイクルを実現

地域の林業者等と共同で協議会を設立。協議会を通じて間伐材等を購入し、木質チップ化、発電を行い地域に電力供給する仕組を構築。地域の未利用資源である間伐材等に新たな商品価値を付加し、植林・育成～未利用材の有効活用～再植林・育成、という自然循環サイクルを実現している。持続可能な自然循環サイクルにより、林業者の所得向上と森林再生を図る。併せて、CO_2の吸収と排出のバランスをゼロに保つ「カーボンニュートラル」を実現している。また、災害時に発生した大量の流木等を積極的に受入れる等地域の復興支援に貢献している。

木質バイオマスの自然循環

地域内における原料安定調達の基盤を確立

多くのバイオマス発電所は、近隣から十分に集材できず、輸入した海外木材やPKS（椰子殻）を混焼するため、輸送コストとCO_2発生が課題となっている。しかし同社は、協議会を通じて間伐材等を効率的かつ安定的に確保する体制を構築。発電所から半径50km以内の山林から間伐材等を安定的に集材し、原料を地域材で賄うことで輸送コストとCO_2発生を抑制している。

地域の間伐材等（未利用材）

電力の地産地消モデルを構築

木材需要の低迷、輸入材との競合、生産高齢化に苦しむ地域の林業集積地において、地域の未利用資源を活用した木質バイオマス発電という電力の地産地消モデルを導入。同社単独ではなく地域の林業者や住民と連携した仕組を構築し、地域における新たな木材需要の創出、生産者の所得向上・林業活性化、森林再生、雇用創出に貢献している。ITで集中管理することで発電設備は24時間稼働し、高い事業効率を実現している。

24時間稼働の木質バイオマス発電所

株式会社キサヌキ

生産性向上 ものづくり

宮崎県延岡市

独自システムの開発を積極的に推進 加工工程の短期化や社内情報共有を実現

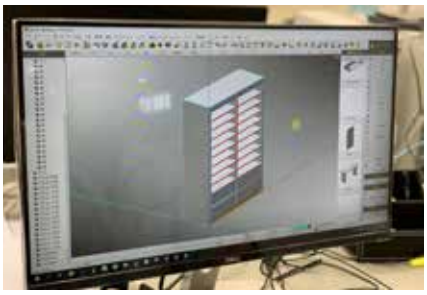
1967年創業。店舗企画や設計・施工・管理、別注家具・取付家具・ガラス陳列ケースの製造、塗装・照明・サイン工事等の設計から施工までを一貫して行う。職人技術と先端設備で構成される生産システムによる高品質な製品は世界の高級有名ブランドの店舗什器にも採用されている。若手の育成・抜擢を行い、労働意欲の醸成や雇用確保等持続的な企業体制の構築に努めている。

●所在地	宮崎県延岡市粟野名町2015番地1
●電話／FAX	0982-33-2141／0982-33-2090
●URL	http://kisanuki.co.jp/
●代表者	代表取締役　木佐貫　浩司

●創業	1967年
●資本金	1,170万円
●従業員数	50人

図面と工作機械を連動するシステムを導入し、短納期化を実現

設計図面からCAD/CAMへデータ連携できる製造設計システムを導入。設計図面を読み込むと部材の計算を行い、各工作機械とデータを共有し、複雑な曲面を持つ什器の精密加工を行う。従来の手作業では1~2日かかっていたような加工が、高精度の品質を保ったまま、20分程度の短時間で仕上げることが可能となっている。また、作図の3D表現力により、顧客に対するプレゼン効果が向上している。



図面と工作機械を連動させた設計システム

全社員で作業工程の状況が把握できる工程管理システムを導入

全社員で各員の工程進捗や資材の納入状況がわかるシステムを構築。各自がタブレットで当日の作業予定を入力し、モニターにより共有化している。作業に遅れが生じた工程では、モニターに赤ランプが点灯するため、他の担当者がカバーに回ることができ、計画通りの工数で加工が完了している。資材の到着予定もモニターに表示されるため、在庫の問合せといった無駄な作業が削減できている。また、資材の使用状況も管理でき、原価管理の徹底にも寄与している。

全社員で利用する工程管理システム

若手技術者育成への取組

若手技術者の育成のため、2010年以降の技能五輪全国大会にほぼ毎年出場している。また、小中学校の木工教室や就職説明会のブース作り等を通して、最適手順の考案や自分の仕事を他者に説明するスキル磨かせている。こうした姿をみた学生が一緒に働きたいと志望してきており、県内外からの新卒採用もできている。女性からも働きたいと思われる工場にするため機械化を進め重労働を無くし、各機械には集塵システムを備え清潔にしている。

若手技術者の育成に注力

株式会社高嶺木材

生産性向上 ものづくり

宮崎県日南市

飫肥杉の特徴を活かす高度な加工技術 積極的な機械化推進で作業効率改善

原木調達、製材、建材品への加工・販売までの一連の工程を自社内で対応可能な機械・設備を有する建材加工・販売業者。SGEC（森林認証制度）やJAS規格（製材工場）の認定を取得し、徹底した品質管理のもと、高品質な商品を提供している。飫肥杉を活用した自社ブランド製品等、幅広い商品ラインナップをそろえ、顧客のサイズや好みに応じたオーダーメイド加工にも対応している。

●所在地	宮崎県日南市大字伊比井173-1
●電話／FAX	0987-29-1234／0987-29-1434
●URL	http://www.taka-moku.co.jp/
●代表者	代表取締役　高嶺　清二

●設立	1985年
●資本金	1,350万円
●従業員数	122人

原材料の良さを活かした高度な加工技術を確立

準不燃木材に認定されている上質な飫肥杉を、独自の加工技術により、割れや歪みを抑えつつ、表面はヒノキのように硬く、中は杉の柔らかさを残した高強度・高耐久の建材を製造している。木の中心部分の「赤み」と呼ばれる希少な部分を使用した「飫肥レッド」というブランドで知られるウッドデッキ用建材等、高付加価値の自社ブランド商品も手掛ける。飫肥杉は、高い耐腐食性が求められる別荘用建材といった高付加価値商品のほか、JR九州の観光特急の内装や東京都オリンピック選手村の建材にも採用されている。

飫肥杉の特徴を活かした「飫肥レッド」

大胆な機械化と省力化による業務効率化

3~4年前から機械化・省力化を推進。2020年には最新の設備・機械を導入する新工場を稼働させ、さらなる生産性向上を進めている。同工場に導入する設備は、使用する木のサイズを統一して加工し、仕分け作業の手間を省く等、作業量の大幅な軽減が可能。これにより、従来の工場では70人は必要な作業工数を、わずか20人で対応する等、生産ラインに必要な従業員を大幅に削減する運営となっている。製品の品質を維持したまま、従来の数倍の作業効率を実現している。

最新設備を導入した新工場

従業員のモチベーション向上に寄与する施策を拡充

従業員のモチベーション向上のため、待遇面の改善を進めているほか、働きやすさ改善と社内の一体感向上、コミュニケーション円滑化のため、会社負担による資格取得支援を充実させている。また、従業員が家を建てる際に同社の建材を使用すれば、その利益分は全額本人に還元する等、福利厚生面の充実も図っている。同時に、3年前にベトナム人技能実習生を採用し、社内での多様な人材活用を試みている。

職場環境改善や能力開発支援を強化

協業組合ユニカラー

生産性向上 ものづくり

鹿児島県日置市

積極的な設備投資や人材育成を継続 特殊印刷のパイオニアとしての地位を確立

1974年、県内の印刷業者5社により「サツマ特殊製版協同組合」を設立し、1977年に完全協業化により本組合に組織変更。積極的な設備投資や人材育成により、紙以外の素材への印刷や「レンチキュラー印刷」といった高品質な特殊印刷を多く手掛け、デジタル化をはじめとする時代の変化にいち早く対応している。2019年には、敷地面積約9,400平米の広大な新本社工場が完成。

●所在地	鹿児島県日置市伊集院町郡2042-39
●電話／FAX	099-813-7213／099-813-7214
●URL	http://www.unicolor.jp/
●代表者	理事長　岩重　昌勝

●設立	1974年
●資本金	2,880万円
●従業員数	77人

特殊印刷分野のパイオニアとして高い商品訴求力を実現

国内に数台しかない特殊な印刷機に独自改良を加え、LED UVオフセット印刷、レンチキュラー印刷、疑似エンボス印刷等全国でも例がない特殊印刷分野のパイオニアとしての地位を確立。従来の印刷物では十分に伝えることができなかった高級感等がアピールでき、大手企業からの受注獲得につながっている。例えば、デジタルカメラのパッケージ印刷では、偽造品かを判別するポイントである微細なマイクロマークを正確に再現できる印刷技術により、継続的な取引につながっている。特殊印刷を中心とした積極的なオンリーワン戦略により、付加価値の高い印刷サービスを提供している。

最新鋭LED UVオフセット印刷機

新工場設立を機に業務効率化を推進

2019年の新本社工場の完成に伴い、製造だけでなく企画や事務部門も同建物内のワンフロアに集約、フリーアドレスオフィスを導入。職員はノートPCを持って空いているデスクで業務を行うことで、固定化したメンバー以外にも職位や部署を超えてスタッフ同士で交流が生まれる等、コミュニケーションの活性化が図られている。業務の「見える化」が進むことで、業務効率化を推進している。

各部門が集う新工場

補助金活用で新システムを導入、生産性が向上

特殊印刷は通常より高い品質水準を要求されるが、従前は1日平均約2万枚の印刷物の検品を3名体制で行っており、生産性の低下を招いていた。2018年度「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」を活用し印刷品質管理システムを導入。これまで目視で確認してきた非効率な検品工程が自動で識別可能となり生産性が向上。また、それまで検品工程に従事していた経験豊かなベテラン職員を他部門に配置する等、多能工化の推進にも寄与している。

印刷品質管理システム

タイガー産業株式会社

生産性向上 ものづくり

沖縄県うるま市

徹底した現場主義と建設現場の効率化・低コストと短納期化の独自製品開発が強み

総合金物卸商として、建設資材・建築金物の製造、及び販売を行っている。国内（沖縄、大阪）、海外（中国）に工場、国内各地に販売拠点を保有している。海外、国内の製造拠点・仕入ルートを活用し、「沖縄から本土、世界をめざして」を合言葉に、国内外のネットワークを駆使して沖縄の製造業を牽引している。

●所在地	沖縄県うるま市字洲崎12番地11
●電話／FAX	098-982-1888／098-982-1857
●URL	http://www.tiger-sg.co.jp
●代表者	代表取締役社長　島袋　盛義

●設立	1979年
●資本金	3,000万円
●従業員数	190人

徹底した現場主義に基づく製品開発

「沖縄から本土・世界へ」を合言葉に、沖縄で開発されたTGパイルは、沖縄特有の琉球石灰岩や泥岩など強力地盤にも対応した製品で、県内外から高い評価を受けている。経営者・開発陣による固定観念にとらわれない工程や設計上の工夫＝「アイデア」を製品に反映することで、他社対比で圧倒的なコスト競争力を実現。「アイデア」に答え続けることで、結果的に同社の「現場力」は日本国内だけでなく、中国現地でも大きな強みとなっている。

主力商品「TGパイル」

ITを活用した計数管理の徹底

経営者のスピーディな意思判断につなげるべく、各営業所、製造部門は全て統一の基準でデータ管理され、本社にリアルタイムで情報が集約される仕組みを構築している。経営の意思決定に活用すると同時に、社内での情報共有にも役立っている。ITを活用した社内計数管理は全国的にも高い水準にある。

オリジナル販売管理ソフト画面

働き手の確保・技術の継承

経営者自ら現場の最前線で指揮を執ると同時に、自身の哲学に共鳴する幹部社員に国内各地の製造・販売拠点を任せ後進の育成に努めている。また、60歳以上の工場職員については再雇用を行い、OJTによる現場若手職員へ技術の伝承を行っている。また、中長期的には定年自体の延長を検討している。同一労働同一賃金の考え方に基づき、性別や年齢にとらわれない新たな人事制度や働き方の導入を検討し、働き手の確保に努めている。

社内OJTの様子

需要獲得

P147 - 308

はばたく2020
中小企業・小規模事業者300社

北海道	サービス	株式会社レアックス 最新テクノロジーと地球科学の融合による地盤環境技術を提供し、社会発展に貢献	163
	ものづくり	株式会社だるま食品本舗 地域とともに付加価値商品「たまふくら」の開発、顧客ニーズに対応して需要獲得	164
	ものづくり	株式会社イワクラ 建築廃材・災害倒木に付加価値を付けた製品を開発。地域貢献と循環型事業を確立	165
	ものづくり	マルカイチ水産株式会社 オホーツク海の新鮮な魚介を、こだわりの製法と品質管理を徹底した工場で生産	166
青森県	ものづくり	株式会社たから にんにく一筋のこだわりで、田子産にんにく・熟成黒にんにくを国内外に販売	167
岩手県	サービス	株式会社ナレロー 新たな学習形態「反転授業」を可能にするマイクロソフトオフィス学習ソフトの開発	168
	ものづくり	タヤマスタジオ株式会社 伝統工芸品の新たな価値を創造し、国内外への積極的な販路開拓に取組む	169
	サービス	久慈琥珀株式会社 知的好奇心を刺激する体験型施設の開発 新成型技術の開発による異分野への進出	170
	ものづくり	小野食品株式会社 自社ブランド構築でビジネスモデルを転換 地域の消費者・生産者とともに復興を牽引	171
宮城県	サービス	株式会社サイコー 廃棄物全般の「総合コンサルティング業」 循環型社会づくりや地域社会への貢献活動	172

宮城県	ものづくり	**株式会社カネダイ** BtoBからBtoCへビジネスモデル転換 地域資源を活用し震災復興に貢献	173
	サービス	**有限会社千田清掃** 世界的課題の地球温暖化対策にチャレンジ 災害対応や地域産業振興にも貢献	174
	ものづくり	**キョーユー株式会社** 航空宇宙関連産業への事業展開 他社との連携により地域産業の発展に貢献	175
秋田県	ものづくり	**北日本コンピューターサービス株式会社** 海外展開を見据えた研究と社内基盤づくり 積極的な他社との共同研究・開発	176
	ものづくり	**株式会社斉藤光学製作所** 「技術」の輸出による海外需要の取り込み 働き方改革で地方出身の優秀人材を獲得	177
山形県	ものづくり	**株式会社庄内クリエート工業** 高付加価値の医療機械分野に進出 地元採用・企業連携等で地域経済にも貢献	178
福島県	ものづくり	**株式会社コスモテック** JICA事業を活用しベトナム進出に挑戦 産学連携で地域経済活性化にも貢献	179
茨城県	サービス	**株式会社JEMS(JEMS Inc.)** 環境に特化したシステム開発と アウトソーシング受託で企業コンプライアンスを実現	180
	ものづくり	**株式会社武井工業所** 高い製品開発力で多種類のコンクリート製品を 供給、インドへの進出も果たす	181
	ものづくり	**農事組合法人宮崎協業** 地域に密着しながら最新の機械・技術を活用し、 6次産業化など新たな事業を展開	182

栃木県	ものづくり	丸彦製菓株式会社 「製品は企業の心」を具現化し、 大手メーカーとの差別化と地域ブランドに貢献	183
	ものづくり	株式会社アイ電子工業 技術相談やコンサルテーション力に強み 地域の国際化にも取り組む	184
埼玉県	ものづくり	ストラシステム株式会社 新型業務用ストレッチフィルム『コマキ』の 開発で環境に優しい商品を創造	185
	サービス	笛木醤油株式会社 新商品「パウダー醤油」で海外需要を獲得 体験型複合施設で「コト消費」の強化へ	186
千葉県	ものづくり	松本ESテック株式会社 攻めの設備投資と高度な加工技術で メーカーに信頼される製品開発パートナー	187
	ものづくり	株式会社パール技研 選択と集中により試作品製造に特化 逆提案までを実現するコネクターハブ企業	188
	サービス	株式会社小出ロール鐵工所 「顧客の操業を止めない」対応力と 高付加価値サービスで顧客の信頼を獲得	189
	ものづくり	岡本硝子株式会社 「グローバル・ニッチトップ」を合言葉に 顧客ニーズのトレンドに目を向ける	190
	ものづくり	ツルヤマテクノス株式会社 「コンビナートの主治医」としての信頼 新工場により大型化するニーズへも対応	191
東京都	サービス	株式会社メリータイムフーズ 日本式の品質管理を導入し、 ミャンマー産のエビの高付加価値化を実現	192

東京都

ものづくり
松山油脂株式会社
越境ECによる積極的なアジア戦略
徳島産の和柑橘を用いた産学官連携への挑戦
193

ものづくり
山口産業株式会社
人と環境に配慮する独自のなめし技術
「ラセッテー製法」で持続可能な事業を実現
194

ものづくり
株式会社隅田屋商店
プロが厳選した最高品質のお米の提供
炊飯法の伝授を通じて顧客をリピーター化
195

ものづくり
株式会社トップウォーターシステムズ
災害時でも利用ができる移動式浄水装置
「TOPレスキューROⅡ」
196

ものづくり
東工・バレックス株式会社
顧客の要望に全力で応える姿勢が、
ロケットエンジン用のバルブの受注獲得へ
197

ものづくり
株式会社三真
伝統的な技法を踏襲しつつ新商品を開発
社長の想いが名店とのコラボを実現
198

サービス
福永紙工株式会社
従来型の印刷業を脱却し、紙の可能性を追求
オリジナル紙製品で新たな市場を開拓
199

サービス
株式会社キープ・ウィルダイニング
「地元を豊かに」地場食材活用と地元特化の
店舗展開で、若者が楽しめる街をつくる
200

神奈川県

サービス
TANOTECH株式会社
福祉と教育のプラットフォーム提供を通じ
世界に通用する健康システムを目指す
201

ものづくり
熊沢酒造株式会社
湘南唯一の蔵元が提供する、地域資源を活用した
新たな味わいと、食を楽しめる空間
202

	ものづくり	**株式会社東横エルメス** 国内実績のある品質の高い計測技術やサービスで途上国への進出を目指す	203
新潟県	ものづくり	**株式会社青海製作所** 精密加工技術のオンリーワンを目指し輸送用機械器具製造から医療機器分野に参入	204
	ものづくり	**有限会社TGテクニカ** 海上自衛隊で実績のある商品を軸に燕ブランドを確立、新たな需要獲得へ	205
	ものづくり	**株式会社室岡林業** 100%新潟県内産丸太杭の需要拡大上越地域木材の独自性とブランディング	206
富山県	サービス	**日の出屋製菓産業株式会社** 地産地証こだわり商品の“コト消費”拡大自ら観光資源を創出し地元に還元する	207
石川県	ものづくり	**株式会社白山** 世界シェア第2位の光コネクタメーカー拡大する需要に対応して生産性向上	208
	ものづくり	**北陸製菓株式会社** 安全な原料、地域の食材で作った健康志向のお菓子を、世界の家族みんなに届けたい	209
	ものづくり	**株式会社北菱** 下水管の維持管理を優れたロボットで実現製造からアフターまで一貫システムで提供	210
	ものづくり	**メカトロ・アソシエーツ株式会社** 産業用ロボットに特化した高い技術力海外の需要拡大にも積極的に取り組み	211
	ものづくり	**タカノクリエイト株式会社** 山中漆器の技術とICTを活用した生産体制で国内外の顧客の要望に対応	212

福井県	ものづくり	福井経編興業株式会社 ニット生地の製造技術をメディカル製品の開発に応用、新たな事業分野の需要を開拓	213
	ものづくり	有限会社北陸ベンディング 眉骨で支える新発想のさばえルーペの誕生 地元同業他種連携による異業種需要の獲得	214
	ものづくり	株式会社NCC 業界初の低温処理イオンプレーティング装置を開発し幅広い素材の加工を実現	215
長野県	サービス	株式会社カンバーランドジャパン 国内初の災害用としてのトレーラーハウス 他社にはない特徴的な構造で需要を獲得	216
	ものづくり	株式会社信栄食品 地元農業者と連携し自社ブランド開発 "品質・ヘルシーさ"をキーに海外へ進出	217
	ものづくり	株式会社日邦バルブ 新技術と一貫製造体制を活かした製品開発 ユーザーニーズを先取りし需要を獲得	218
	サービス	白馬観光開発株式会社 地域の魅力を再発見、日本有数のスキーリゾートから四季を楽しむリゾートへの進化	219
岐阜県	サービス	合同会社おひさま 『競争社会』ではなく『共想社会』を目指し地域で最新・最幸のサービスを提供.	220
	サービス	セントパーツ株式会社 新興国での自動車中古部品販売・整備サービス 日本品質サービス提供で顧客拡大	221
	ものづくり	小町酒造株式会社 音楽響く蔵が育てる、ほっとする旨味の酒 海外品評会の入選により需要を拡大	222

静岡県

ものづくり
株式会社ひでぴょん
オーダーシートを手掛けるプロ集団
あったらいいなを叶える製品で需要拡大
223

サービス
株式会社元気広場
機能訓練、認知症予防の介護施設に特化
大学との連携プログラムにより需要を創出
224

ものづくり
平金産業株式会社
マグロの残滓を液体肥料として需要を拡大
飼料製造技術を活かした化粧品等の製造
225

ものづくり
静パック有限会社
ティーバッグ、スティックバッグの充填専業、
幅広い分野、海外用製品へ受注を拡大
226

ものづくり
東亜工業株式会社
オーダーメイド餃子製造機で世界シェアトップ
コンサルティングで顧客を繁盛店へ
227

ものづくり
丸善工業株式会社
「ワクワクするもの創り」でお客様が
本当に欲しい製品を開発し世界中に展開
228

サービス
杉山フルーツ
身の丈にあった経営とこだわりが商品の
プレミアム感を生みオンリーワン戦略を実現
229

ものづくり
株式会社沖友
高付加価値ドライフード販売により新たな
需要を創出。地域資源の特産品化にも貢献
230

ものづくり
株式会社流通サービス
抹茶の茶葉の栽培から加工・販売までを
一貫して行い海外から高評価を獲得
231

愛知県

サービス
株式会社ハナノキ
顧客ニーズを捉え常識に囚われない新たな
商品の開発により、米の需要を拡大
232

愛知県

ものづくり
株式会社エストレージ
顧客のニーズを満足させるフルオーダー
壁面収納家具を低コスト・短納期で提供
233

ものづくり
豊岡エンジニアリング株式会社
人材育成や技術移転を通じて
ベトナムでの産業用ロボット需要を開拓
234

ものづくり
株式会社白惣
野球用バット製造の長年の実績と高い技術力を
活かして自社ブランドで世界へ進出
235

ものづくり
石川鋳造株式会社
高い鋳造技術力を活かした
自社開発商品「おもいのフライパン」が大ヒット
236

サービス
大野精工株式会社
農業関連分野へ進出、国際的な
優良企業認証とモンドセレクション金賞受賞
237

三重県

ものづくり
三重化学工業株式会社
「冷やす」「温める」をコア技術に、
海外市場、医療市場に積極的に展開
238

ものづくり
株式会社佐藤製作所
国内でのモノづくりを堅持しつつ、高い技術力により
海外メーカーに部品供給を開始
239

滋賀県

サービス
株式会社パンテック
新しい装置やシステムの開発により世界的
な廃プラスチックの課題を解決
240

ものづくり
株式会社三鈴
ミクロン単位の電線加工技術と海外拠点
により多様なマーケットの需要を獲得
241

サービス
株式会社木の家専門店谷口工務店
商店街全体をホテルに見立てた「講 大津百町」により
地域経済の活性化を実現
242

	ものづくり	**長谷金属株式会社** 一貫生産体制による高い対応力が強み 常に新技術習得と新市場開拓を追求	243
京都府	サービス	**株式会社寺子屋** オリジナルコンセプトショップと地域資源の 相乗効果により観光需要を創出	244
	ものづくり	**株式会社ナールスコーポレーション** コラーゲンを産生する化粧品原料「ナールスゲン」 産学連携による社会実装を実現	245
	ものづくり	**株式会社クロスエフェクト** 世界の開発案件を最短・最速で支援 開発者の期待を超える試作品の提供	246
大阪府	サービス	**能勢鋼材株式会社** 製造業の「困った」を一貫支援で解決 サプライチェーン統括企業として事業展開	247
	サービス	**株式会社フクナガエンジニアリング** かかわる、ひろがる、つながる お客様の課題解決ソリューションを提供	248
	サービス	**株式会社天彦産業** 目指すは特殊鋼調達力No.1 特殊鋼素材をトータルプロデュース	249
	サービス	**株式会社なにわ花いちば** 花と緑で豊かな感性を築き、暮らしに快適で 多彩な生活文化の創造を提案	250
	ものづくり	**株式会社ラミーコーポレーション** 常に進化するラミネートメーカー 日本で培ったノウハウを基に世界に挑む	251
	ものづくり	**平安伸銅工業株式会社** 突っ張り棒の老舗ニッチトップメーカー 今の時代にあった暮らしの提案で新規開拓	252

大阪府

ものづくり
松浪硝子工業株式会社
世界水準での独自性とスピード化に溢れる「小さな世界企業」
253

ものづくり
藤田金属株式会社
より快適なキッチンと暮らしを求めて「軽い」「優しい」「便利な」金属の追求
254

ものづくり
ヤマトエスロン株式会社
オーラルケア製品のトップメーカーが歯周病検出装置で歯科医療分野へ進出
255

ものづくり
Jトップ株式会社
次世代環境浄化システムを提案し地球環境への貢献とSDGsへの貢献
256

ものづくり
株式会社スタッフ
一貫受注システムの確立から、ワンストップトータルソリューションサービスへ
257

ものづくり
下西技研工業株式会社
大阪東部企業と連携し世界トップシェアに海外での一気通貫生産で顧客ニーズに対応
258

兵庫県

ものづくり
阪神機器株式会社
地域企業との連携で技術ポテンシャル向上地元の知的強みを生かし新分野へ挑戦
259

サービス
まねき食品株式会社
老舗駅弁企業が海外に日本食をアピール兵庫県産食材にこだわる商品開発
260

ものづくり
皇漢堂製薬株式会社
ジェネリックで高品質低価格医薬品を実現国内製造医薬品をアジア各国に輸出
261

ものづくり
株式会社ミヤナガ
作業性や安全性に優れ、あらゆる穴あけに対応する国内トップのドリルメーカー
262

	ものづくり	**株式会社協和製作所** モーターローラーで海外物流効率化に寄与 物流業界のIoT化で人手不足に対応	263
	サービス	**大徳醤油株式会社** 醤油を作る体験を販売し新規顧客を獲得 豊岡市認定の大豆利用など希少商品を販売	264
	ものづくり	**株式会社ケーピープラテック** 容器開発で弁当の密閉性・保温性を実現 世界市場進出に向けた海外企業との連携	265
	ものづくり	**株式会社ごとう製革所** 伝統のなめし革製造技術で独自に高品質化 受注体制構築で海外需要を獲得	266
	ものづくり	**株式会社亀山鋳造所** フルモールド鋳造法で高品質な鋳物を製造 インドネシアを拠点に海外進出	267
和歌山県	サービス	**和歌山マリーナシティ株式会社** 和歌山県の水産資源で集客する テーマパーク	268
鳥取県	ものづくり	**株式会社アサヒメッキ** ステンレス化学発色処理技術を革新 技術を利用し津山市産業発展に貢献	269
	サービス	**山陰松島遊覧 株式会社** 山陰海岸ジオパークで着地型観光を展開 日本海初スィーツクルーズ船「Muse」運航	270
島根県	サービス	**浅利観光株式会社** 島根の観光産業の一翼を担う事業展開 地域貢献する地元資本として高い知名度	271
岡山県	ものづくり	**株式会社三幸工務店** 岡山で育んだ力でアセアンへ積極展開 低ライフサイクルコストのインフラに貢献	272

岡山県

サービス

有限会社楓
地元食材にこだわり最高の味とおもてなし
『祥華風すき焼き』を開発、高付加価値化
273

ものづくり

株式会社タック
国内外シールド工事の地盤沈下ゼロに貢献
社員が考え実行する経営と地域貢献で発展
274

広島県

ものづくり

オタフクソース株式会社
お好み焼き文化の伝道師として世界へ
現地ニーズに合わせてハラルも認証取得
275

サービス

合同会社よーそろ
生涯雇用で社員の成長と会社の発展が目標
地域福祉へ貢献するレーザー金属加工会社
276

ものづくり

テラル株式会社
設立後から海外へ目を向け積極的に海外展開
次世代を見据えた研究開発を推進
277

徳島県

ものづくり

北島酸素株式会社
SDGsのGoal3「健康と福祉」への貢献
地域経済と連携した産業クラスターの構築
278

ものづくり

有限会社うずしお食品
海外需要獲得へ向けた海外ルートの確立
高付加価値商品の開発による新市場創出
279

香川県

ものづくり

株式会社サンテック
アジアのMonodzukuri企業への進化
SDGsの取組による国際社会への貢献
280

愛媛県

ものづくり

株式会社愛亀
コンセプトは『“グローカル”なインフラの町医者』
農商工福連携など地域に根差した営み
281

ものづくり

株式会社アテックス
地域の課題解決・地域経済の活性化
暦年の自社技術による次世代の製品開発
282

福岡県

サービス

株式会社辻利茶舗

高付加価値商品の開発で新たな需要を開拓
フランチャイズ展開で本場の味を海外へ

283

サービス

グリーンリバーホールディングス株式会社

日本産バジルの流通拡大を推進
独自技術による高付加価値農業を展開

284

ものづくり

エコステージエンジニアリング株式会社

自社特許技術で循環型社会の実現を推進
海外進出し現地の環境負荷低減へ貢献

285

ものづくり

株式会社東和コーポレーション

特許技術の商品開発でニッチな需要に対応
知的財産権を活用し海外へはばたく

286

ものづくり

株式会社シマブン

高い商品開発力で地域経済活性化に貢献
ASEANへ積極的に海外展開

287

ものづくり

アイテックシステム株式会社

バイオトイレの開発や様々なニーズに対応
環境維持に貢献しながら工場の自動化を目指す

288

ものづくり

大国段ボール工業株式会社

BtoBからBtoB+Cに転換し、
猫の爪とぎや幼児用玩具等の製造、ネット販売

289

ものづくり

株式会社オークマ

室内ドアを主力とする木質建材メーカー
中国大手企業販売網を活用した販路開拓

290

サービス

有限会社ラピュタファーム

食材の8割を地元から調達する
バイキングレストランを併設した観光果樹園

291

佐賀県

ものづくり

株式会社グリーンテクノ21

食品工場から廃棄される卵殻を利用し、
ゼロ・エミッション社会をめざす

292

佐賀県	サービス	**合資会社光武酒造場** 世界最高権威IWCでの受賞をはじめ、 国内外の数々のコンクールで高い評価	293
長崎県	ものづくり	**長工醤油味噌協同組合** 同業者に先駆けて無添加・有機商品の 開発に取り組み、醤油・味噌業界全体を牽引	294
	ものづくり	**株式会社マテックス** 総合エンジニアリングで培った技術と信頼 地域に健康と活性化を提供	295
熊本県	ものづくり	**株式会社フンドーダイ五葉** 醤油の常識を覆す革新的な製品 決め手は伝統と挑戦するDNA	296
	ものづくり	**新栄合板工業株式会社** 森林環境保全のため全量国産材を使用 「環境と地域の未来」を見据えた経営	297
	サービス	**株式会社オオヤブデイリーファーム** 自社の生乳を最大限活かす方法を模索 たどり着いた「奇跡のヨーグルト」	298
	サービス	**通潤酒造株式会社** 熊本地震を契機に生まれ変わった酒蔵 目指すのは地域全体の発展	299
大分県	サービス	**有限会社山城屋** 宿泊客の8割がインバウンド 秘訣は外国人目線が安心できるサービス	300
宮崎県	ものづくり	**ジャパンキャビア株式会社** 技術を駆使した高品質キャビアの製造 日本産キャビアとして初めて海外輸出開始	301
鹿児島県	サービス	**株式会社西原商会** 経営理念「味の世界をひろげる」のもと グループ経営で「味のイノベーター」に	302

沖縄県

ものづくり

坂元醸造株式会社

壺造りの米酢を「くろず（黒酢）」と命名
変わらない伝統製法で新しい顧客層を開拓

303

ものづくり

株式会社オキス

廃棄ロスがなく、栄養価の高い
「乾燥野菜」で国内、海外に展開

304

ものづくり

町田酒造株式会社

減圧蒸留焼酎のパイオニア
本物・高級志向の黒糖焼酎

305

サービス

株式会社セルリアンブルー

沖縄の自然・文化を体験する豊富なツアー
多言語対応によるインバウンド需要の獲得

306

サービス

大髙商事株式会社

多角化経営を目指した新たな事業展開
地域資源をブレンドした自然発酵健康飲料

307

ものづくり

株式会社ファッションキャンディ

地域資源と斬新なアイデアによる商品開発
沖縄県菓子業界および泡盛業界の先導役

308

株式会社レアックス

需要獲得 サービス

北海道札幌市

最新テクノロジーと地球科学の融合による地盤環境技術を提供し、社会発展に貢献

「地層観察カメラ」や「ボーリングコア周辺画像記録システム」等、調査用機器を独自開発する技術力と、それら機器を駆使した地質関連ソリューションを提供する企業。「SDGs」をいち早く企業経営に取込み、国際協力機構（JICA）の事業に参画し、途上国における水不足問題解決のための調査研究や現地の人材育成を含めた技術移転等を通じて積極的に国際貢献活動を進めている。

●所在地	北海道札幌市東区北24条東17丁目1番12号
●電話／FAX	011-780-2222／011-780-2221
●URL	http://www.raax.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　成田　昌幸

●設立	1988年
●資本金	5,000万円
●従業員数	36名

国際協力機構（JICA）支援事業を活用し海外市場への挑戦

国際協力機構の中小企業海外展開支援事業（案件化調査及び普及･実証事業）に採択され、南米ボリビアで自社開発の井戸診断用カメラを使用した井戸の長寿命化にかかる事業を実施。同社の製品・技術が深刻な水不足で悩むボリビアにある約3,500本の既存井戸の再活性化に貢献できることを実証し、かつ、ビジネスチャンスになることを確認。現在、現地業者と販売代理店契約を締結し、本格的なビジネス展開をしつつある。

ボリビアでの取組

体験型科学学習イベントや地域プロジェクトへ参加し地域貢献

道内で開催される「体験型科学学習イベント」では、地元理系大学と共同研究で開発したVR技術を用いたボーリング孔内部での地層調査を疑似体験できる。そのイベントを通じて、地域の子供たちが科学を楽しく学ぶ環境を提供し、地域の人材育成に貢献。また、2030年の開通を目指す北海道新幹線札幌延伸工事、国内でも有数の集客力を誇る札幌市円山動物園の増築工事等、地域への波及効果が大きい数多くのプロジェクトで地層調査を担い、地域活性化に貢献している。

体験型科学学習イベント

顧客に応じた調査方法と先端技術による高精度調査の実現

顧客ニーズや現場状況に応じた調査機器や調査手法を自社開発できる技術力と、国内外で1,500件以上を手掛けた豊富な調査実績から得た知見を活かし、5年スパンで新製品を開発している。常に高精度調査に向けた取組を進めており、他社では調査が不可能な小口径のボーリング地点や高温高深度等の過酷条件下での高精度な調査が可能。近年では調査結果に基づく地層分析にIoTやVR等の先端技術を導入することで、さらなる高速高精度の調査分析を実現し、付加価値を向上させている。

BIP-6高精度展開画像

株式会社だるま食品本舗

需要獲得 ものづくり

北海道函館市

地域とともに付加価値商品「たまふくら」の開発、顧客ニーズに対応して需要獲得

同社は、情熱と粘り強い努力で日配品ビジネスを切り拓く納豆等製造業。海外バイヤーからのニーズに応じ、解凍しても高品質を維持する「冷凍納豆」を開発。直近10年間で8か国・地域へと輸出先を拡大し、海外売上は3年連続10%増加している。国内では、北海道の希少素材である極大粒大豆「たまふくら」の加工適性を研究し、新商品「函館たまふくら納豆」を開発。競争が激しい首都圏市場で顧客を獲得。

●所在地	北海道函館市西桔梗町(本社工場、第2工場)
●電話／FAX	0138-49-3569／0138-49-0068
●URL	http://darumahonpo.main.jp/
●代表者	代表取締役社長　工藤　哲也

●設立	1970年
●資本金	2,500万円
●従業員数	13名

賞味期限を延長した「冷凍納豆」の商品開発で海外販路開拓

海外バイヤーからの「冷蔵ではなく冷凍」、「賞味期限は1年以上」、というニーズに応え、北海道立工業技術センターと連携し、解凍しても高品質を維持する「冷凍納豆」を開発。この冷凍納豆の開発により、新たに海外への販路を開拓し、収益増、販売先のポートフォリオ安定化、工場稼働率向上を実現。また、物流・商流・情報流を統一することで、スピーディーな対応が可能となり、高い顧客満足度を実現している。

海外向け「冷凍納豆」

極大粒大豆「たまふくら」を使った商品開発で地域へ貢献

北海道立中央農業試験場で平成19年に誕生した豊かな食味を持つ極大粒大豆である「たまふくら大豆」に育種段階から注目。農業改良普及センターや生産者等と連携しながら加工適性の改良を行う。種まき時点から生育状況を段階的にデータ化し、最適な生産方法や収穫時期等を確立。生産者との情報交換を密にしている。「たまふくら大豆」生産の高品質化及び、安定化のため、「たまふくら大豆」の原料買取単価が10年前から約20%増加しており、地域経済への波及効果をもたらしている。

極大粒大豆「たまふくら」

地元の力を結集した高付加価値商品を開発、首都圏へ販路拡大

素材の改良、製法の工夫等、地元の知見を結集して開発した「函館たまふくら納豆」は、競争の厳しい首都圏で実施される北海道物産展へ継続的に出展をしている。納豆の味わいに評価と支持を集め、高リピート率の顧客を獲得している。また、地域の素材である「がごめ昆布」と、「たまふくら大豆」を使用した「ごちそう納豆」を開発。消費者の健康志向に訴求する商品であり、地元素材の付加価値向上に資する取組を行っている。

「ごちそう納豆」

株式会社イワクラ

需要獲得 ものづくり

北海道苫小牧市

建築廃材・災害倒木に付加価値をつけた製品を開発 地域貢献と循環型事業を確立

創業以来の事業である森林の伐採から植林までの林業を頂点に木製品関連の製造、販売と多種多様な事業を展開。産業廃棄物として処理されていた建築廃材や災害倒木等を活用したリサイクル製品「パーティクルボード」を国内で初めて生産、また、建築材に使用できない低質木材の付加価値向上にも取組む。社内事業ではゼロエミッション化の環境経営に取組み、持続可能なビジネスモデルを確立。

●所在地	北海道苫小牧市晴海町23番地1
●電話／FAX	0144-55-6811／0144-55-7497
●URL	https://www.iwakura-corp.jp/
●代表者	代表取締役社長　岡本　泰雄

●設立	1913年
●資本金	20,000万円
●従業員数	165人

多岐にわたる海外ビジネスにより経営基盤を強化

同社は、木材資源の有効活用を目的に、歩留りが極めて高いパーティクルボードの製造技術をドイツから導入し、日本で初めて製造販売を行い国内新産業を創出。また､国内住宅市場で成長を続けるツーバイフォー住宅用部材を､カナダから直接輸入し、コスト競争力・収益性の強化を図る。その他、欧州より合板(OSB)の輸入販売も行っている。更に、経営基盤の強化を図るため、ピアノ用部材の輸出を中国に10年前から実施。近年は、国内メーカーを経由してアメリカ向けに部材を製造販売。

ツーバイフォー工場

地域資源を活用した高付加価値商品により地域経済へ貢献

主力商品であるパーティクルボードを製品化し、北海道内外に販売していることにより従来産業廃棄物として処理されていた地域資源に価値を付すとともに、地元行政や企業の処理費用の削減にも寄与し、地域経済活性化・地域課題の解決に高く貢献している。さらに、製材等で利用できない低質木材を、木質バイオマス発電・ボイラーの燃料としてチップ化し、北海道の林産業の活性化にも貢献している。

リサイクル製品「パーティクルボード」

異業種連携による付加価値商品の開発で新規需要を開拓

新規需要の獲得のため、異業種連携を推進している。コンビニエンスストア会社とは、店舗の新建築工法を共同開発し、約280店を建設。産学官連携及び特殊車両メーカーと、CO_2排出抑制・石油代替エネルギーとして期待される木質ペレットを活用したボイラーへのペレットの安定供給システムを開発し、自治体向けを主に年間1,500tのペレットを供給している。社内事業におけるゼロエミッション化といった環境経営の取組が、企業価値を向上させ、共感を得た企業との取引に至っている。

バイオマスエネルギー「木質ペレット」

マルカイチ水産株式会社

需要獲得 ものづくり

北海道紋別市

オホーツク海の新鮮な魚介を、こだわりの製法と品質管理を徹底した工場で生産

「海の幸を人の幸へ」を企業理念として、オホーツク近海で獲れたホタテ貝・イクラ等各種魚介類の加工・販売を主力としている。創業以来、ロシアから輸入した活ガニを加工販売し、活ガニの輸入においては国内シェア約70%（平成28年度実績）を占め、北海道内で有数の事業規模。HACCP等に対応した生産体制と品質管理体制を整備し、EU・米国・中国等へホタテ貝の輸出を行ないグローバルに事業展開。

●所在地	北海道紋別市新港町2丁目11番地7
●電話／FAX	0158-24-1234／0158-23-9272
●URL	http://www.marukaichi.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　片山　裕一

●設立	1972年
●資本金	2,000万円
●従業員数	200人

HACCP等に対応した厳格な生産・品質管理体制の整備

HACCP等に対応した生産体制と厳格な品質管理体制を整備し、EU・米国・中国等へホタテ貝の輸出を行い、グローバルに事業展開。ホタテ加工施設、第7工場は、対EU輸出水産食品認定施設として認定を受けている。また、アジア展開を視野に、国際食品見本市への出展や、金融機関主催の商談会に参加。主力のロシアからのカニの輸入については、ロシアとの合弁会社の設立や、ロシア国籍の人材を採用してロシアビジネスのパイプ役となっている。

ホタテ加工施設

オホーツク海の新鮮な魚介類を活用した産地の魅力発信

同社は、良質な魚介類の宝庫であるオホーツク海からの新鮮な魚介類を主原料として、活ガニ専用工場、ボイル専用工場、ホタテ専用工場、冷凍工場等で水産加工を通じて商品化している。また、水揚げされたばかりのホタテの原貝について、工場内への搬入、貝柱の取り出し、製品化まで一連の作業工程が見学できる「ホタテ製造ライン観覧回廊」を新設。産地の魅力を直接発信する直売所や、海鮮炉端焼きレストランの経営も行い、観光面でも地域経済活性化に貢献している。

ホタテ製造ライン観覧回廊

獲れたての鮮度と素材ごとの製法にこだわり様々な工夫を実施

同社は、品質面で食品の安全管理を確保する「食品マネジメントシステムISO22000（カニ部門）」の取得、「HACCPシステム」の導入、「MSC」認証（ホタテ工場）の取得をしている。また、新設加工工場や大型設備を年ごとに設置して機械化を進める一方、カニは職人の目利きによる素材選別・プロの手で塩加減や時間管理したボイル・丁寧な洗浄を行い、イクラは一粒一粒を全て手作業で選別する等、獲れたての鮮度と素材ごとの製法にこだわった、本物の美味しさを届ける様々な工夫を講じている。

手作業によるイクラの選別

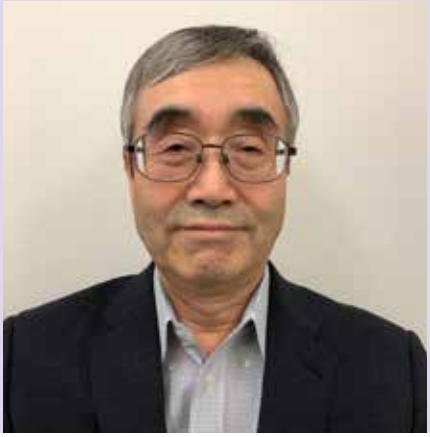
株式会社たから

需要獲得 ものづくり

青森県三戸郡田子町

にんにく一筋のこだわりで、田子産にんにく・熟成黒にんにくを国内外に販売

にんにくを青果として販売する他、黒にんにく、生むきにんにく、すりおろし、チップ、パウダー等の加工販売に加えてインターネットによる販売も手掛けているにんにく専門会社。生産から加工、販売までのフードバリューチェーンに一貫して取組んでいる。取扱うにんにくは、自社生産と県内の農家からの買付分で年間500トンにのぼる。独自の製法により、黒にんにくの熟成期間を短縮し、生産効率の高い技術を有する。



●所在地	青森県三戸郡田子町大字茂市字佐内田15-3
●電話／FAX	0179-20-8550／0179-20-8551
●URL	https://takara229.com/ec/
●代表者	代表取締役社長　寶田　喜美男

●設立	2002年
●資本金	1,000万円
●従業員数	35人

東南アジアに特化した活動を実施し、現地代理店と契約

イスラム教徒の多い東南アジアに着目し、「ハラール認証」を2015年5月に取得。その後、毎年5か国ほどの頻度で東南アジアや中東各国で行われる食品フェスティバルに出展。2016年、ベトナムの現地法人と代理店契約を結び、2018年にはベトナムと台湾への輸出を開始。2019年には、国際協力機構（JICA）の中小企業・SDGsビジネス支援事業を活用し、フィリピンにおけるにんにく栽培、黒にんにく加工の可能性や市場調査を実施。フィリピンへの輸出手続きの準備も進める。

ハラール認証

同社は青森県の黒にんにくブランド化に貢献

同社は国内にんにく生産量の約7割を占め、かつ最大のにんにく加工品生産地である青森県（生産量：青森県/全国=10.1/14.7万トン、2016年農林水産省統計資料）に所在。「青森県黒にんにく協会」会員であるが、同協会が青森の黒にんにくのブランド化を目的に特許庁へ申請した「地域団体商標登録」は、2015年に登録。同社の2016年度の売上は協会総売上の1/3を占め、「にんにくの町田子町」として国内外へのアピールに貢献。

青森県黒にんにく協会

生にんにくより高付加価値の黒にんにくを短い熟成期間で製造

生にんにくを熟成させ製造する黒にんにくは、生の状態に比べてポリフェノールやアミノ酸が豊富であるとされ付加価値を高めている。黒にんにくに加工することで青果販売よりも2倍以上の収益性が見込め、また、一般的な黒にんにくの熟成期間と比較し、約半分の2週間に短縮する技術を持ち、生産効率が高い。加えて、加工過程の安全性を担保するHACCPを2019年に取得しており、高付加価値・高収益の商品となっている。

熟成黒にんにく

株式会社ナレロー

需要獲得 サービス

岩手県盛岡市

新たな学習形態「反転授業」を可能にするマイクロソフトオフィス学習ソフトの開発

2002年に東北初のe-learning事業者として創業し、マイクロソフトオフィス学習ソフト「ナレロー®」を開発。 ナレロー®は「習うより慣れろ」のことわざに由来し、楽しみながら習得できる独創的学習スタイルをコンセプトにしたソフトである。国内ユーザー数は約7万人で全国の大学生の約1割がナレロー®を利用している。サービスのクラウド化や中国語版ナレロー®の開発にも成功し、新規ユーザーの獲得を実現している。

●所在地	岩手県盛岡市中央通3-1-2
●電話／FAX	019-656-1706／019-656-1709
●URL	http://narero.com
●代表者	代表取締役社長　瀬戸山　光宏
●設立	2005年
●資本金	300万円
●従業員数	非公開

中国語版「ナレロー®」の開発を足掛かりとした海外進出

2016年から、岩手大学および高雄師範大学と三者での共同研究を開始した。テーマは、①高雄のICT教育の現状と今後について　②高雄における「ナレロー®」の最適な導入時期・導入方法について　③文化・国籍・言語などの差異を問わずに利用できるユーザビリティ向上を図るユニバーサルデザインについて、の3点である。この研究成果をもとに、中国語版「ナレロー®」の開発に成功した。その後、高雄師範大学の紹介で高校4校がナレロー®を導入するなど、毎年約4,000人の新規ユーザーを獲得している。

中国語版「ナレロー®」の開発

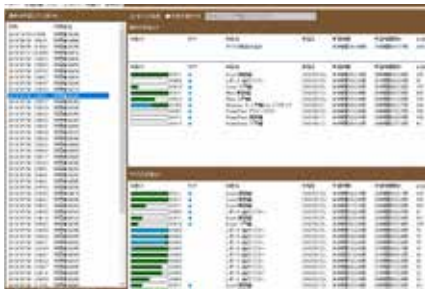
産学連携によるユーザビリティ改善と教育効果向上への貢献

同社は産学連携に積極的に取組んでおり、2010年からは岩手大学教育学部と、2017年からは岩手県立大学ソフトウェア情報学部と共同研究を行っている。産学連携を通じて、「ナレロー®」のユーザビリティ改善が実現するとともに、その成果が、同学における情報リテラシー授業の教育効果UPにつながるという好循環を生んでいる。

高雄師範大学・岩手大学との共同研究

クラウド化による提供サービスの高度化・新サービスの創出

クラウド化により柔軟なサービス提供が可能となり、かつ、学習ログというビッグデータを取り扱うことで新たなサービスを創出することに成功した。クラウド型成績管理システム「ナレロー®プレミアムシステム」は、教職員と学生とがクラウド上で学習ログを共有することができる。そうすることで、授業に対するレディネス(学習の準備が整っている状態)の習慣化を図ることができる。また、学習時間の管理も可能で、一夜漬けなど偏った学習の有無や、ランキング化によるクラス内での学生の頑張りなどを可視化することができる。



クラウド上で学習ログを共有

タヤマスタジオ株式会社

需要獲得 ものづくり

岩手県盛岡市

伝統工芸品の新たな価値を創造し、国内外への積極的な販路開拓に取組む

伝統工芸品「南部鉄器」を核に、現代の生活に寄り添った新たな価値を創造し多角的に事業を展開。①現代の名工で同社技術顧問の田山和康氏の作品を海外へ販売する伝統工芸事業②若手職人が手がける「あかいりんご」の製造・販売や南部鉄器のイベント企画・運営を行うライフスタイル事業③地域振興等を目的としたshop&cafeの運営を行う場づくり事業等、今までの伝統工芸品の「売り方」の概念に囚われないチャレンジを続けている。

●所在地	岩手県盛岡市中ノ橋通1-5-2 唐たけし寫場1階
●電話／FAX	019-691-9161／019-601-2141
●URL	https://www.tayamastudio1.com/
●代表者	代表取締役　田山　貴紘

●設立	2013年
●資本金	300万円
●従業員数	13人

高付加価値な南部鉄器の輸出

同社の南部鉄器の輸出先の多くは東南アジアであり、数年待ちの商品もある。しかし、競合他社も海外展開に取組んでいるため、同社の高度な技術でしか製造し得ない「和銑」を使用した鉄瓶の商品開発で差別化を図り、さらなる企業ブランディングに努めている。また、職人を含め英語・中国語での対応が可能という同社の強みを活かし、海外展示会等へ積極的に参加して商品価値を直接PRする等、販路開拓に取組んでいる。

「現代の名工」田山和康氏の作品

南部鉄器を核とした地域活性化の取組

地域資源の南部鉄器の裾野を広げるべく、高価格商品が主力である伝統工芸品事業と、伝統技法を活かしつつ現代のライフスタイルに合った鉄瓶を提案するライフスタイル事業を分離し、各事業で南部鉄器のブランディングを行っている。また、海外・全国展開を積極的に行う一方、岩手が誇る南部鉄器に対する地元での理解が十分でないとの危機感から、地元の展示施設や商業施設でのワークショップも開催している。その他、同社が運営するshop&cafeでは、自社商品のPRだけでなく、岩手県盛岡市の観光資源を国内外へPRする拠点とすべく計画を進めている。

地元岩手で南部鉄器のワークショップ

アフターサービス打ち出した販売戦略

ライフスタイル事業では、新たな消費者の獲得のため「鉄瓶がある暮らし」を提案。販売に際して以下4つのポイントを打出し、アフターサービス等を充実させることで、購買時の新たなインセンティブを付与している。①IHでも使える鉄瓶(※広報物でも敢えてIH+南部鉄器の写真を採用)②シリアルナンバーによる品質管理と顧客サポート③生涯補償（※錆びるのでは?という不安を払拭するため2回まではお直し無料）④LINEによる質問受付サービス

LINEによる質問受付サービス

久慈琥珀株式会社

需要獲得　サービス

岩手県久慈市

知的好奇心を刺激する体験型施設の開発
新成型技術の開発による異分野への進出

昭和56年、久慈産琥珀の地場産業育成の観点から、岩手県及び久慈市より誘致を受け琥珀加工企業として設立。琥珀産出地の利を生かし、原石採掘からアクセサリーの製造・販売、アフターケアを一貫して行うと同時に、博物館運営で観光客を呼び込み、久慈産琥珀のブランド力向上に貢献してきた。近年では、琥珀粉末の高品位・効率的な新成形技術の開発により、印鑑素材等の異分野にも進出し、製造品目の拡大・変革に取組んでいる。

●所在地	岩手県久慈市小久慈町第19-156-133
●電話／FAX	0194-59-3821／0194-59-3515
●URL	http://www.kuji.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　新田　久男

●設立	1981年
●資本金	4,000万円
●従業員数	60人

学術的知的好奇心を刺激する体験型観光施設の開発

久慈市の地域資源である「琥珀」を活用し、学術的知的好奇心を刺激する体験型観光施設「久慈アンバーランド」を開発中。体験型観光メニューのバリエーション拡充、久慈市管内の観光施設との連携、恐竜・古代生物関連イベントの開催等により、観光客数の増加・地域活性化に貢献している。特に近年では、久慈層群が日本の恐竜化石の産地として研究者・古生物学者らから認識されている。2018年6月には同社の琥珀採掘体験場で体験参加者が掘り当てた化石がティラノサウルス類の歯の化石であることが判明。その後、博物館での特別企画展の開催など、情報発信やプロモーションを強化している。

「琥珀博物館」の新館及び本館

新たな価値を生み出す新成形技術を開発

大切な資源である琥珀の有効活用のため、これまで活用されてこなかった小さな琥珀のかけらを精錬し、粉末状にしたものをインゴット（延べ板）として再生する新たな成形技術「リファインドアンバー」を開発。従来不可能であった形状・大きさの製品開発も可能となった。この技術を生かし、印鑑、時計、ネームプレート、文具等の製造・販売事業を新たに展開している。

上皇上皇妃へ献上された万年筆

中華圏等での琥珀販売の拡大、リトアニアとの交流

琥珀は中華圏等のアジアや北欧で古くから人気があり、同社は中国福建省の店舗（海外特約店）やオンラインショップで琥珀のアクセサリー等を販売している。また、自社HPに中国語サイトを設け、中華圏向けに情報発信を積極的に行い、認知度向上を図っている。さらに、「琥珀の採れる港町」の縁で、1989年に久慈市とリトアニアのクライペダ市が姉妹都市となったことをきっかけに、リトアニアの工芸品や民芸品・菓子・酒等を輸入し、「リトアニア館」にて展示・販売を行っている。

リトアニア館での展示・販売

小野食品株式会社

需要獲得 ものづくり

岩手県釜石市

自社ブランド構築でビジネスモデルを転換 地域の消費者・生産者とともに復興を牽引

地元三陸産の新鮮な水産物を活かし、年々変化する顧客の多様なニーズに合わせた商品開発や、日本食に欠かせない魚料理を手軽に美味しく食べるための商品開発に取組む。東日本大震災で、竣工直後の工場を含む3工場が被災し多くの顧客を失うが、外食・産業向け中心だった事業を自社通販ブランド「三陸おのや」中心の事業にビジネスモデルを転換、V字回復を果たした。さらに、近隣加工業者と連携する等、地域の発展に向け挑戦を続けている。

●所在地	岩手県釜石市両石町4-24-7
●電話／FAX	0193-23-4675／ 0193-23-6332
●URL	http://onofoods.com/corporate/
●代表者	代表取締役　小野　昭男

●設立	1988年
●資本金	5,000万円
●従業員数	106人

通販ブランド「三陸おのや」を構築しビジネスモデルを転換

旬や品質にこだわり、毎回異なる魚メニューを顧客に定期配達するサービス「海のごちそう頒布会」が顧客から好評で、「三陸おのや」ファンが着実に増加。自家消費のみならず贈答品としても全国の消費者に受け、震災前と比較して220%の売上増を実現した。また、当通販事業での商品開発力を生かして、東京に設立した営業所を中心に、全国の高齢者施設向けに「美味しく高齢者に優しいお魚調理品」を展開中、さらに海外市場開拓に向けた活動にもチャレンジを始めているところである。

自社通販ブランド「三陸おのや」

地域に根差したビジネススタイルの確立

「自社だけでなく地域全体が良くなること」を常に念頭に事業を展開している。第一次産業の漁業をベースにしながら、地元の生産者と連携して新商品開発や販売を行ったり、近隣の水産加工業者と協力して地域の活性化に取組んでいる。今後も、既成概念に囚われず、自らが牽引役となり地域の消費者・生産者とともに地元の復興を牽引していく。

海のごちそう頒布会

独自の商品開発で消費者のニーズに応える

核家族化・高齢化・マンション世帯増により様々なニーズを持つ消費者が、日本の伝統食である魚料理を、温めるだけの手軽さで美味しく味わえるように商品開発をしている。鮮度にこだわった素材を厳選し、手間暇をかけた仕込を惜しまず、化学調味料・保存料・着色料を一切使用せず、手づくり感のある魚惣菜を開発・提供している。また、高齢者の顧客が多い当社ならではの視点で、介護現場において重要な口腔ケア商品がほとんど開発されていない社会的ニーズも捉える。ナマコの持つ口腔粘膜保護作用及びカンジタ抑制・滋養強壮機能を生かした高機能介護食品「ナマコゼリー(仮)」を、岩手県の各関係者と協力しながら開発を進めている。

地域消費者との連携（工場前直売会）

株式会社サイコー

需要獲得　サービス

宮城県仙台市

廃棄物全般の「総合リサイクル企業」循環型社会づくりや地域社会への貢献活動

古紙回収、一般／産業廃棄物処理、機密書類の破砕処理等の事業を展開。仙台市より平成29年度仙台「四方よし」企業大賞を受賞した。また、全国のスーパーと連携し、スーパーに古紙を持ち込むと重量に応じた買い物ポイントが付与される「古紙リサイクルポイントシステム」を構築。リサイクルをより身近にするシステムを提供するなど、「顧客が感動するサービスとは何か」を常に考え、新たな付加価値を生み出している。

●所在地	宮城県仙台市宮城野区岩切分台1-8-4
●電話／FAX	022-255-3150／022-255-9955
●URL	https://kk-saikoh.co.jp/
●代表者	代表取締役　齋藤　孝志

●設立	1973年
●資本金	3,000万円
●従業員数	215人

古紙回収業から廃棄物全般の総合リサイクル企業へ飛躍

創業時は、古紙回収を中心にリサイクル事業を展開。顧客からの「廃棄物全般に渡り回収・リサイクルして欲しい」とのニーズに応えるべく、産廃／一般廃棄物の収集運搬・処理の許可を取得。他社に先駆けて廃棄物全般のワンストップ対応を実現することで競争優位性を獲得した。2000年に東北では業界初のISO14001を取得し、資源循環型社会実現への貢献活動を行ってきた。2008年にはプライバシーマークを取得して個人情報保護法の全面施行に対応し、機密文書処理サービスを開始。2009年からは、事業者が環境保全とコスト削減の両方を実現できるように、廃棄物全般に関する総合リサイクル企業として活躍の場を広げている。

廃棄物全般の総合リサイクル企業

地域に活力を与える「古紙リサイクルポイントシステム」

全国350店舗のスーパーと連携し、新聞・雑誌・段ボールなどの古紙の回収コンテナをスーパーの敷地内に設置。家庭で不要になった古紙類をリサイクルできる「古紙リサイクルポイントシステム」を提供している。持ち込んだ古紙の重量に応じて買い物ポイントを付与することで、お得にリサイクルできる仕組みを整備し、資源循環による温暖化防止にも貢献している。

古紙リサイクルポイントシステム

地域社会貢献活動への取組

年に数回行われる環境に関する展示会や、行政主催の環境イベント等へ同社も積極的に参加し、環境教育も含めたリサイクルの啓発活動等を行っている。また、小中学生の職場体験受入、大学生のインターンシップ受入、リサイクル施設の見学受入、地域イベントの事務局を担当する等、幅広く地域貢献活動に取組んでいる。

リサイクル施設見学の様子

株式会社カネダイ

需要獲得 ものづくり

宮城県気仙沼市

B to BからB to Cへビジネスモデル転換 地域資源を活用し震災復興に貢献

宮城県気仙沼市に本拠を置き、昭和17年の創業以来、船舶石油販売業をはじめ、廻船問屋業、漁業、石油・ガス販売業、水産加工業と事業を展開している。震災により国内の全ての工場やオフィスを失ったが、中国工場を起点に震災から数日で事業を再開。2017年3月、南気仙沼工場を再建・稼動し、積極的な事業展開を行っている。

●所在地	宮城県気仙沼市川口町1-100
●電話／FAX	0226-23-1721／0226-23-5371
●URL	http://kanimonogatari.jp/
●代表者	代表取締役社長　佐藤　亮輔

●設立	1942年
●資本金	1,200万円
●従業員数	120名

震災後、B to BからB to Cへビジネスモデルを転換

主軸事業のカニ・エビを中心とした水産加工食品事業において、震災前の企業間取引から消費者との直販にビジネスモデルを転換し、新しい市場開拓に挑戦。その柱となるのが、南大西洋沖で漁獲され、被災地気仙沼の地域資源認定でもある「まるずわいがに」。船上でボイルして瞬間凍結し、自社の工場に持ち込んでむき身加工している。漁獲から製造、販売まで行う一気通貫型加工は同社しかない。このまるずわいがにを活用してこれまでのBtoBからBtoCモデルへ脱却を図るため、新ブランドの「かに物語」を立ちあげる。新しい分野のスープや惣菜加工にも力を入れ販路開拓に尽力し、震災復興を牽引している。

幻の蟹：「まるずわいがに」

日系ブランドを武器に中国国内での販売拡大

従来、中国国内での販売に関する収益管理の仕組みがなかったが、事業損益の見える化を図りPDCAがまわる仕組みを作ることに成功。また、海外子会社との情報共有の機会を増やし、相互理解を深めることで、収益改善をはかる体制を作った。その結果、成長市場である中国において、日系ブランドとしての高い評価を得て、中国国内での売上高を順調に伸ばしている。

同社所有の中国工場

HACCP取得による安心・安全な商品提供の確立

同社は、2017年の新工場の稼働開始に伴い、2019年12月にHACCPを取得。その高い管理体制によるクリーンな工場運営はもちろんながら、トレーサビリティに対する社会的なニーズの高まりに応えるため常に安心・安全な商品提供を心掛けている。また、「美味しい」をテーマとしてこだわりの商品をお届けするために、社是の「和心　誠心」を商品に込め、お客様に喜んでいただける提案をしている。従業員の能力向上にも積極的に取組んでおり、製造工程管理、法令順守に基づく表示管理、各種検査の実施の他、全社員に食品安全に関わる教育訓練を実施している。

徹底管理によるクリーンな工場

有限会社千田清掃

需要獲得　サービス

宮城県大崎市

世界的課題の地球温暖化対策にチャレンジ 災害対応や地域産業振興にも貢献

1952年創業。し尿汲取、浄化槽維持管理、給排水設備の管理・修繕工事等を行う。近年、地球温暖化が騒がれるなか、「我々にできることはないのか」との発想から、2005年よりバイオディーゼル燃料の製造に取組む。2017年には、全国のバイオディーゼル燃料のなかで初めて、同社の製品がエコマークの認定を受け、高純度化（高品質化）を実現するとともに、二酸化炭素の大幅な削減にも貢献している。

●所在地	宮城県大崎市古川狐塚字西田77番地
●電話／FAX	0229-27-3151／0229-27-3155
●URL	http://www.clean77.jp/
●代表者	代表取締役　千田　信良

●設立	1991年
●資本金	1,000万円
●従業員数	40人

RE100への挑戦。パリ協定・温室効果ガス削減への取組

地球温暖化対策が世界的に緊急の課題となるなか、バイオディーゼル燃料は化石燃料の代替燃料として利用拡大が期待され、世界的にも、日本国内でも供給より需要が大きい状態が続くと考えられている。その大きな要因として、「世界的な温室効果ガス削減の枠組の策定」がある。同社は宮城県内において、宮城県やグリーン購入ネットワークの協力を得ながら、バイオディーゼル燃料の普及や自社内においてのエネルギー地産地消を通じRE100プロジェクトに挑戦している。

二酸化炭素排出削減への貢献

廃食用油の高度再資源化による持続可能型社会への取組

地元大崎市はバイオマスタウン構想を2009年に公示しており、同市から業務委託を受けて市内16箇所から廃食用油の定期回収を行っている。回収した廃食用油はリサイクルされ大崎市の公用車の燃料として供給されている。また近隣自治体の大衡村でも同様に村民回収が行われ、農業用トラクターやコンバイン燃料として利用されている。一方、建設業界では建設現場における二酸化炭素の廃出量を削減する目標を掲げており、バイオディーゼル燃料の利用拡大が進んでいる。

高純度・高品質のバイオディーゼル燃料

大手企業との災害協定締結と子供達への環境出前講座の実施

ネクスコ東日本、NTT東日本と災害協定を締結。常に使用する作業車等でバイオディーゼル燃料が利用されている。建設工事現場には、同社のタンクローリーでパトロール給油を行っている。また、宮城県と大崎市と連携し子供達への環境出前講座を行っている。さらに、地元の中小企業4社で出資・設立した「おおさき未来エネルギー株式会社」では、大崎市の市有地を活用した大規模太陽光発電事業を通じ、エネルギーの地産地消を推進。その売電収益の一部を地域の産業振興のために活用している。

メガソーラー発電事業

キョーユー株式会社

宮城県遠田郡美里町

航空宇宙関連産業への事業展開 他社との連携により地域産業の発展に貢献

1974年に金属部品製造加工業として創業。電子デバイス分野を主力に置き、2002年から金型や自動化設備等の設計・組立てを開始、2008年からは高付加価値産業（自動車、航空宇宙、医療機器、半導体製造装置）に参入し、販路拡大に取組む。その他、省力化機械の設計製作、多品種少量／少ロット生産の強みを活かし、航空機組立治具の設計製作・試作部品、試験装置用部品などの精密加工を展開している。

●所在地	宮城県遠田郡美里町関根新苗代江149-1
●電話／FAX	0229-34-2329／0229-34-1460
●URL	https://www.kyoyu.jp
●代表者	代表取締役　畑中　得實

●設立	1974年
●資本金	8,888万円
●従業員数	92人

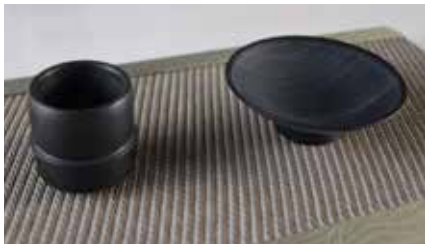
強固な社内体制基盤と企業間連携による海外展開

販路開拓や海外展開に向けた社内体制強化のため、営業部門が窓口となり、見積り・受注・納入に至るまでのプロセスをISO規格に準拠。さらに、QCDを加味した事前審議会を開催し、高い顧客満足度を得られる生産システムを構築した。また、宮城県内の中小製造業5社が航空機産業への参入を目指すために結成した共同受注体「エアーズみやぎ」に、代表幹事企業として参画。長期的な成長市場である航空機産業からの受注のため、企業同士の強みを活かし、不足部分を補完し合うことで、ワンチームでの新規受注体制を構築している。2018年には、裾野拡大に大きく貢献したことが評価され、産業の発展や地域経済の活性化に最も貢献にした団体として「富県宮城グランプリ」を受賞。

航空機産業への参入

地域経済の牽引役として宮城県内の産業発展に貢献

東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻市雄勝町の復興支援を目的に、「雄勝石」を加工した極上の冷酒用酒器「雄勝の濡れ盃」を製作。また、東北大学大学院やNPO法人未来産業創造おおさき、自治体との産学官連携を図り、同社の強みである精密加工技術を駆使することで、硬くて割れやすい天然石の加工に成功。宮城県内の産業発展に大きく貢献している。



雄勝の濡れ盃

伝統工芸品や他社とのコラボによる新製品開発

「玉虫塗」や「雄勝硯」など宮城県を代表する伝統工芸品、メッキ加工やステンレス加工を手がける企業等との連携による製品開発にも取組む。これまでにワイングラスやトロフィー、ペーパーウェイトなどのコラボ商品を開発。仙台市在住のインテリアデザイナーと職人らが共同で商品を製作するプロジェクトへ参画。アルミなどを複雑な形状に切削加工する工程を担当。仙台で開催された仙台カップ国際ユースサッカー大会の優勝トロフィーなどを製作した。

コラボ商品のワイングラス

北日本コンピューターサービス株式会社

需要獲得 ものづくり

秋田県秋田市

海外展開を見据えた研究と社内基盤づくり 積極的な他社との共同研究・開発

同社は地方自治体向け情報システムの開発・販売・運用支援を主要業務とし、特に福祉行政サービスの支援システムが主力製品である。なかでも、生活保護システムは全国の566自治体で利用されており、市場占有率は60％を超える。また、生活保護世帯への適切なケアプランの提供やケースワーカーの負担軽減のため、東京大学と共同研究を進めるなど積極的な取組をしているほか、同社代表は地元業界団体の代表として地域経済を牽引している。

●所在地	秋田県秋田市南通築地15-32
●電話／FAX	018-834-1811／018-834-1815
●URL	https://www.kitacom.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　江畑　佳明

●設立	1969年
●資本金	1,000万円
●従業員数	236人

海外市場への展開を見据えた海外視察の取組

海外市場への展開実績はないものの、海外市場への展開を見据えた海外視察を継続しており、同社代表が次世代の幹部候補を引率し、定期的に欧州を視察している。また、2017年度からは社員10名程度での海外視察を実施しており、2017年度及び2018年度は台湾、2019年度はサンフランシスコ、シリコンバレーに視察団を派遣した。社内では、海外における技術や市場の動向について情報収集を継続しているほか、地元業界団体の長として同様の調査・分析に積極的に取組んでいる。

米国、シリコンバレーでの海外視察の様子

地元シンクタンク及び地元トップ企業との協業

地元シンクタンクである秋田県産業技術センターとの共同開発により「自然言語処理AI」を開発、2018年2月にリリースされた。現在は、ファーストユーザー受注とメイドインAKITAのAIを全国展開している。また、従業員の健康診断データを活用した健康経営を支援するWeb（クラウド）サービスを、地元有力企業と協業で開発しており、2020年4月にサービスインを予定している。サービスイン後は、秋田県民の健康増進に寄与すべく計画を進めている。

同社が共同開発した「自然言語処理AI」

AI及びWeb（クラウド）サービスを新たな事業領域へ展開

現在は、地方自治体が主力事業領域であるが（B to G）、今後は、民間企業をターゲット顧客としたAIソリューションの提供も主力事業としていく（B to B）。具体的な取組としては、専任の研究開発部門であるデジタルイノベーション課とマーケティング部門であるデジタルビジネス推進室を創設し、需要獲得に向けた研究等を行っている。また、健康経営を支援するクラウドサービスの提供等により、お客様のデジタルトランスフォーメーションを実現する。

クラウド型・健康経営支援サービス

株式会社斉藤光学製作所

需要獲得 ものづくり

秋田県仙北郡美郷町

「技術」の発信による海外需要の取込み 働き方改革で地方出身の優秀人材を獲得

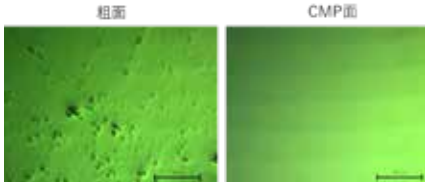
1977年に埼玉県で創業。腕時計のカバーガラスの成形・研磨加工が主要事業だったが、海外企業台頭への危機感から、高付加価値の技術・サービスの提供を目指し社内改革を実施。2015年に秋田県へ本社移転し、強みの研磨技術を、光学材料から次世代半導体まで幅広い材料分野に活かしている。受託加工、受託評価・研究、加工コンサルティングなど研磨技術のトータルソリューションを提供し業績を拡大、地域の雇用にも貢献している。

●所在地	秋田県仙北郡美郷町本堂城回字若林118-3
●電話／FAX	018-785-3300／018-785-3302
●URL	https://saito-os.com/
●代表者	代表取締役　齊藤　伸英

●設立	1977年
●資本金	1,000万円
●従業員数	63人

高度な研磨加工技術の発信で海外の需要も取込む

海外企業と取引するにあたっては、事前に取引先についての調査を行い、研磨加工コンサルティングを行ううえでの収支予測も十分に行う。そうすることで、海外展開のリスクを最小限に抑えるとともに、海外の市場動向を把握することが可能になる。また、社内でビジネス英語研修を導入し従業員の語学力を向上させることで、取引先との信頼関係を築くことができる。このような着実な取組と戦略的な設備投資により、研磨加工コンサルティングという自社の「技術」を発信することで、国内のみならず海外の需要も取込むことに成功している。



高度な研磨加工技術

社内改革により優秀な人材の確保に成功

秋田県へ移転後、毎年2~3名の地元新卒者を採用し、従業員数は直近5年間で16名増加。今後は、先進的事業の推進により、大卒者など高度な技術を持つ地元出身者等のUIJターン雇用を見込んでいる。また、働き方改革にも積極的に取組み、仕事と子育てを両立しやすい環境づくりを目指している。例えば、子育て世代の支援を目的とした「保育手当」の導入、家族との時間を過ごすためのノー残業デイの設定等、従業員全員と面談を実施し、その意見をもとに賃金面等で新制度をつくるなどの改革を進め、社員満足度を高めている。

地元人材採用に向けたPRの様子

技術サービス事業の拡大による交流人口の増加

同社の技術センターを開放してオープンイノベーションを行っており、県外及び海外の顧客が年間延べ120人ほど来社している。当該顧客は2~5日間程度秋田県に滞在し、同社のエンジニアとともに実験を実施。今後、この技術サービス事業の拡大により、交流人口の増加やそれに伴う経済波及効果、県外への秋田県産業等のアピールにも寄与すべく活動している。

技術センター開放による交流

株式会社庄内クリエート工業

需要獲得 ものづくり

山形県鶴岡市

高付加価値の医療機械分野に進出 地元採用・企業連携等で地域経済にも貢献

大手メーカー向け産業用機械、自社開発医療機械の設計・開発・製造を一貫対応する総合エンジニアリング会社。機械加工、溶接加工、焼付粉体塗装、電気計装、組立工程などにおいて高い技術を持つ。長年にわたる産業用装置の製造で培った技術やノウハウを活用し、医療機械「高周波がん治療機器」を自社開発。国内医療施設への納品実績を積み重ね、顧客からの高い評価が広がることで、現在では海外からの引合いも受けている。

●所在地	山形県鶴岡市下清水字内田元72-40
●電話／FAX	0235-24-7922／0235-24-3327
●URL	http://www.s-create.jp
●代表者	代表取締役会長　小田　治一

●設立	1977年
●資本金	4,360万円
●従業員数	80人

同社の装置が大手メーカーの海外展開事業に貢献

同社は国内大手メーカー向けに特殊産業用装置を製造しており、自動車産業や各種素材産業における海外事業拡大に貢献している。また、同社の技術力を活かした高周波式がん治療機器「アスクーフ8」を自社開発。国内の病院への納入実績が拡大するなか、アジア各国など海外の引合いも受けており、海外展開に向けた事業化検討に取組んでいる。今後は、医療機器械の分野でも成長が期待される。

高周波がん治療機器「アスクーフ8」

鶴岡の地域資源「精密金属加工製品」を牽引し地域経済に貢献

地域の雇用を活用し、各種の特殊産業用機械装置の開発および製造を同社で一貫対応。地元の新卒採用を定期的に行っており、モノづくり技術の次世代への承継に注力している。教育体制の整備や技能資格取得への支援などにより人材育成に取組んでいる。また、同社の受注拡大に伴い、メッキや部品加工を担う地元企業との生産体制を構築し、地域経済活性化や雇用維持に貢献している。メディカル事業においては山形大学医学部・工学部や慶応義塾大学先端生命科学研究所、鶴岡国立高専等と連携し研究開発を進めている。

地元採用で地域の雇用に貢献

付加価値の高いメディカル事業の拡大

産業用機械装置の受注製造と比べ、自社開発した医療機器「高周波式がん治療機器アスクーフ8」の付加価値は高い。当該医療機器については、病院等の医療施設への納入実績が拡大中であり、筑波大学医学部等と提携して、臨床データを取得・活用し、機械の開発・改善・改良にも取組んでいる。医療機器の分野では、現在普及している様々な装置においても医療機器開発手順に沿った新規開発・改良の需要が強く、同社の製造技術の活用により、今後も事業拡大および付加価値の更なる向上が期待される。

筑波大学医学部共同研究と市民講座

株式会社コスモテック

需要獲得 ものづくり

福島県郡山市

JICA事業を活用しベトナム進出に挑戦 産学連携で地域経済活性化にも貢献

産業用機械のオーダーメイドによる開発受託やメンテナンス等を主要事業とし、顧客の専門分野に合った設計・製造に定評がある福島県郡山市のエンジニアリングメーカーである。設備機械の設計や自動制御機器の開発で蓄積された技術力で、「人にやさしいシステムを商品化する」という基本理念のもと、「福祉」「環境」「食の安全」「リサイクル」をテーマに、介護福祉や省エネ機器の自社商品開発にも取組んでいる。

●所在地	福島県郡山市喜久田町字菖蒲池22-438
●電話／FAX	024-959-5501／024-959-5503
●URL	http://cosmotec-kk.jp/pc/company.html
●代表者	代表取締役社長　谷島　昇

●設立	1990年
●資本金	7,500万円
●従業員数	19人

JICA事業を活用しアジア諸国への事業展開を目指す

今後さらにアジア諸国で高齢化が進み、国内外で介護福祉関連機器の需要が拡大していくと予想される。そのため、顧客がより購入しやすいよう製造コストを削減していく必要がある。同社は、ベトナムでの生産を念頭に、価格競争力と高品質を併せ持った製品を生産することで、アジア諸国の大きな需要の獲得を目指す。すでに、JICA基礎調査を活用して、同国における介護福祉分野の事業性等を確認。現在は、現地法人を設立し事業展開を進めている。

歩行補助いす「コスモウォーカー」

大学や地元企業との連携を通じた地域経済活性化への貢献

同社では、国立大学や自治体、介護福祉施設との連携を通じて、現場ニーズに応じた介護ベットや身体障害者向け機器の開発・製造を行ってきた。連携先は、北海道岩見沢市の福祉施設、岩手大学、山形大学、東北大学、筑波大学等、多岐に渡る。また、同社のもう一つの柱である特注機械の設計製造事業（エンジニアリングサービス）は、福島県の多くの地元企業と協力関係を築いて展開している。同社のベトナム進出により受注が増えることで、地元企業の業績向上に貢献が期待される。

脚漕ぎ車椅子（福島大学から依頼）

復興や地域経済活性化への貢献

東日本大震災・原子力災害により、福島県は放射能汚染問題で大打撃を受けた。同社では、除染トラックを開発し、郡山地区や本宮地区等の道路除染に貢献した。また、震災で県内の10万事業所のうち1万事業所が閉所するなか、同社は海外展開にチャレンジすることで、地域企業に元気を与えてきた。同社のチャレンジは、福島県が打ち出した「新生ふくしま産業プラン」における重点プロジェクトの、「中小企業の復興」と「医療関連産業の強化」に貢献するものである。

震災復興に貢献した除染トラック

株式会社JEMS（JEMS Inc.）

需要獲得　サービス

茨城県つくば市

環境に特化したシステム開発とアウトソーシング受託で企業コンプライアンスを実現

1994年設立。廃棄物業界に特化した「IT」技術及び「アウトソーシング」を融合させ、持続可能な循環型社会を実現させるための高度な環境コンプライアンス体制を実現。全国45,000以上の排出現場で活用されている。さらに2019年の経営統合により、環境業界全体に視野を広げ、環境情報企業としてグローバルな視点から低炭素化社会や資源循環の最適化に向けたITソリューション、情報管理サービスを提供している。

●所在地	茨城県つくば市東新井31-13
●電話／FAX	029-863-7215／029-863-7216
●URL	https://www.j-ems.jp/
●代表者	代表取締役　須永　裕毅

●設立	1994年
●資本金	10,000万円
●従業員数	238名

企業の環境コンプライアンス実現を支え持続可能な循環型社会を創造

廃棄物の排出・処理に関する法令等の頻繁な変更による複雑さや曖昧さ、多様な排出品目の分類の難しさなどに、コンプライアンスを重視し、変化に即応しながら適切な排出・処理を管理していくことは企業にとって極めて煩雑な作業である。これらの課題に対して、廃棄物の排出から処理までを一貫した環境総合管理システムを提供し、さらに、業務自体を一括でアウトソーシングとして請負う体制など、付加価値の高いサービスを通じて、企業の環境コンプライアンスの実現と持続可能な循環型社会の創造をサポートしている。

環境総合管理システム

海外展開を通じて、アジアの環境問題に積極的に取組む

国内外に自社開発部門を抱え、様々なニーズに対して迅速かつ柔軟にITソリューションを提供している。さらに、「IT×環境」を軸に、循環型社会の構築のため、アジアへの積極的な事業展開を進め、2018年からはJICAの中小企業海外展開支援事業を活用し、廃棄物の不適切な処理が問題となっているタイにて、廃棄物の適正管理支援システム運営を目指して調査を実施。2019年にはJICAの普及・実証・ビジネス化事業に採択され、事業計画案策定の準備を進めている。

海外拠点の様子

災害廃棄物の総合管理システムにより迅速な災害対策と復旧活動に寄与

災害廃棄物の輸送においても管理システムが使われており、災害からの復旧支援に大きく貢献している。東日本大震災により発生した災害廃棄物の輸送管理システムに加え、福島原発事故により発生した除染除去土壌等についても、仮置場から中間貯蔵施設への輸送を管理するシステム（タグづけ登録）や、貯蔵実績管理に同社システムが利用されており、放射性汚染物質の輸送作業の効率化と輸送の安全性確保に貢献している。

除去土壌輸送管理システム

株式会社武井工業所

需要獲得 ものづくり

茨城県石岡市

高い製品開発力で多種類のコンクリート製品を供給、インドへの進出も果たす

1939年創業以来、コンクリート製品（主に土木構造物向け）を製造・販売している。茨城県を代表する老舗企業として、国内大手ゼネコンから道路工事業者等まで販売先は約800社におよび、関東圏を事業基盤とする。創業80年の事業実績、変化する社会ニーズに合致した製品開発力と高い技術力により取扱いアイテム数は約2万種類あり、道路用製品や水路用製品等の自社製品は高い評価を得ている。

●所在地	茨城県石岡市若松1-3-26
●電話／FAX	029-924-5200／029-924-5222
●URL	http://www.takei21.co.jp/
●代表者	代表取締役　武井　厚

●設立	1939年
●資本金	10,000万円
●従業員数	214人

ニーズに応じた製品開発力で約2万種類のコンクリート製品を供給

創業80年の歴史に培われた高い製品開発力と技術力により、ニーズに応じた多様なコンクリート製品を提供。その対応能力の高さは地方自治体や建設会社から厚い信頼を得ている。土木工事向け製品に強みを持ち、特に道路用側溝ではU字型側溝と蓋が一体化したボックス型の側溝製品(製品名 フリードレーン)が主力製品である。近年は民間建設工事市場に特化した製品開発とマーケティングに注力することで、公共工事等年度予算の変動の影響を受けにくく、同業他社に比して官需より民需による売上比率が非常に高い。

ニーズに応じた多彩な製品ラインナップ

インド進出により収益確保と現地のインフラ整備や社会環境改善に貢献

コンクリート製品業界は、新設工事から維持補修工事へのシフト等により需要が縮小傾向にある。一方、JICA海外事業案件化調査を受託し、インドにおける日本のコンクリート製品の市場適合性を調査したことにより、同国の経済発展、公衆衛生の向上、防災減災などあらゆる分野において、日本の発展に寄与してきたコンクリート製品が同国においても役立てることを確信し、2019年現地法人を設立。経営理念である「より安全で快適な社会作りに全力で貢献する」を同国で実践すべく製造販売を手掛けつつある。

日本の技術でインドのインフラ整備に貢献

変化する社会インフラのニーズに合致した事業の展開

わが国では、今後20年間で建設後50年以上経過する道路橋等施設の割合が加速度的に高くなっている。公共事業が新設工事から維持補修工事へとシフトしていくニーズを捉え2016年4月にインフラ長寿命化部を設置し、インフラ構造物の点検業務に参入することにより、新たな分野においても経営理念の実践を行っている。

点検業務を通じて安心・安全を提供

農事組合法人宮崎協業

需要獲得 ものづくり

茨城県結城市

地域に密着しながら最新の機械・技術を活用し、6次産業化など新たな事業を展開

1971年3月に組合員19戸が参加して「宮崎麦作協同組合」を設立し、大型機械導入による経費削減と省力化促進に向けた米麦作の共同耕作及び作業受託を開始。1988年に法人化し、『農事組合法人宮崎協業』となる。2001年からは、普通作（麦、大豆等）と野菜作の両立を図り、新しい農業経営スタイルに挑戦。現在では6次産業化や県の大規模経営体育成事業としての茨城モデル水稲メガファーム育成事業にも取組んでいる。

●所在地	茨城県結城市小森807-1
●電話／FAX	0296-32-0391／0296-32-0616
●URL	http://actnosato.com
●代表者	組合長　大島　寛

●設立	1971年
●資本金	3,222万円
●従業員数	25人

IT技術や機械を駆使した農業で効率化

大型機械やGPS搭載の農機具、ドローン、小型モーターボートなど、最新の機械とIT技術を積極的に利用して効率的な農作業を行っている。従来は過酷な仕事であった田植えは機械とGPSを使うことで自動作業による対応を進めている。耕運機もレーザーで地面との高さを測りながら平らに耕し、農薬を撒くのもドローンの活用を取入れている。水田は小型のモーターボートを使いながら効率化と効果的な農業を実践している。

ドローンによる防虫作業

大規模農業からメガファーム構想へ

同社は約100ヘクタールの土地を使って麦や飼料米などの二毛作体制で運営しているため、年間合計で200ヘクタールを作付している。今後は農業後継者や就農者不足による放棄農地を借り受けることによって、農地の集積・集約化を図るメガファーム構想を進めていく。大規模化とIT等先端技術の導入によるビジネスモデルを確立することで企業体質を強化し、6次産業化など新たな事業展開を目指している。

ホールクロップサイレージ作業

これからの時代に合わせた様々な農業と地域活性化

同社の加工部門では味噌やジャム、干しいもなどを加工製造し、地域の物産センターなどで土産物として販売している。特に今年度は、県と連携して地域資源を活用した事業に取組んでいる。具体的には、農と人を結びつけるもので顔の見える消費者やファンづくり、市内の北と南の繋がりなどを再構築することによって新しい関係をつくりあげること。さらに、農と地域を結びつけるものでは、農を中心とした地域の魅力を創造するなど、農の分野の地域資源を有効活用することで地域の活性化に取組んでいる。

加工食品商品

丸彦製菓株式会社

需要獲得 ものづくり

栃木県日光市

「製品は企業の心」を具現化し、大手メーカーとの差別化と地域ブランドに貢献

企業理念である「製品は企業の心」のもと、100%国内産米を使用し、原材料にできるだけよいものを使い高品質な商品を追求する米菓メーカーである。さらに、安全安心の商品づくりを目指し、2017年11月FSSC2200・ISO22000の認証を取得し、海外への拡販にも挑戦している。北関東売上高No.1企業としてCSR活動にも積極的に取組んでいる。

●所在地	栃木県日光市芹沼1989-1
●電話／FAX	0288-31-1600／0288-31-1611
●URL	http://www.maruhikoseika.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　山田　邦彦

●設立	1927年
●資本金	3,900万円
●従業員数	353人

「匠の心」をブランドに国産米100%に拘った商品づくり

主な取引先は大手食品スーパー、大型百貨店、コンビニや地方スーパーなど幅広く、商社を通して海外へも輸出され、その人気度も高い。また、大手取引先や大手問屋から高品質の評価を受けている。原材料は100%国内産を使用、生産はロボット化を図っている一方、あえて手間隙を掛け手作り感を大切にしている商品も多数生産している。製造の最終工程では、リニアモーターで駆動するステンレス製コンベアを使用し、商品の破損を防いでいる。

国産米100%に拘る「匠の心」

年間50万人の集客を誇る「日光おかき工房」を工場に併設

自然遺産日光の表玄関に位置する工場は観光工場としての設備を配し、地域密着はもちろんのこと、多くのお客様にお越しいただくために休憩コーナーを設け、ソフトドリンク無料(飲み放題) とし、店舗に陳列された商品の殆どを「試食」できるようにしている。年間の来店客数は50万人を超える。敷地内は来店いただいたお客様にゆったりとくつろいでいただけるよう、多くの木々を積極的に配している。工場の屋根を利用した太陽光発電事業にも参画し、自然環境に優しい企業として工場敷地内には緑化にも力をいれている。

工場併設の「日光おかき工場」

地産地消最優先に日光・鬼怒川ブランドの価値向上に貢献

日光市や東武鉄道とのコラボレーションによる日光ブランド拡販に精進している（日光市には年間1,200万人の観光客が押し寄せた経緯もある)。東武鉄道のSL大樹車内で季節商品等をお配りし、拡販を図っている。道の駅「日光街道ニコニコ本陣」の商業施設にも出展している。さらに、鬼怒川エリアには和洋菓子販売の「鬼怒川お菓子の城」を子会社として持ち、日光・鬼怒川観光で米菓と和洋菓子のシナジー効果による拡販を進めている。

SL大樹がプリントされた「SL煎」

株式会社アイ電子工業

需要獲得 ものづくり

栃木県大田原市

技術相談やコンサルテーション力に強み 地域の国際化にも取組む

医療機器や通信機器など、産業向けの機器や機械の製造を主な事業としている。顧客に応じたコンサルテーションに基づき、設計段階から、開発・製造・組立・検査までを一貫して社内で行うことができる、他社にはない強みを有している。蓄積した技術力を生かし、タイル壁の内部損傷を非破壊で検査する建造物内部診断装置、オゾン水生成器や簡易濃度計、レーザー墨出し器などの計測機器など、高度精密機器を自社製品として製造している。

●所在地	栃木県大田原市美原3丁目3323番地12
●電話／FAX	0287-60-0057／0287-60-0162
●URL	https://ailove.co.jp/
●代表者	代表取締役　高橋　温

●設立	1980年
●資本金	10,000万円
●従業員数	90人

技術相談や提案力、地域の技術ネットワークの活用が強み

通信機器の受託生産が中心であったが、顧客ニーズに対応していく過程のなかで、医療・環境・建設などの幅広い分野の産業向けの機器や機械を、設計・開発・製造することで、高い技術力を蓄積し続けてきている。設計段階からの技術相談やコンサルテーション力を強化しており、顧客の課題に対応した製品を迅速に製造する技術力を有している。また、自社だけでは対応が難しい開発案件には、自社が有する地域の技術ネットワークを活用し対応する高い連携力を保有している。

技術力・提案力を高める

地震等の復興現場、家畜等の伝染病防止の現場で活用

自社製造している建造物内部診断装置は、タイル壁の内部損傷を非破壊で可視化する機能を有しており、地震等の復興現場で活用されている。また、内部損傷を把握することで、建物の老朽化や倒壊・破損等を事前に防止することができる。さらに、オゾン生成装置は、家畜等の伝染病を防止する現場で使用されている。

建造物の内部診断システム

自社技術ネットワークを拡充・強化し、海外展開で収益化

自社が有する地域のネットワーク力を生かし、日本からベトナムへの進出、中国等からベトナムへの進出・移転の受皿として、ベトナムのダナン2か所でレンタル工場を運営している。ダナン大学と覚書を締結し、ITスキル等を有する大学卒業生を自社や県内企業等に派遣するなど、栃木県とベトナムの架け橋となる事業を進めている。この取組は、自社が有する地域の技術ネットワークのなかに、ベトナム企業や大学、ベトナムに進出した日系企業の双方を取込み、自社のネットワークの幅を広げることにつながっている。

ベトナムの中小企業向けレンタル工場

ストラシステム株式会社

需要獲得 ものづくり

埼玉県朝霞市

新型業務用ストレッチフィルム『コマキ』の開発で環境に優しい商品を創造

「地球や環境に優しい商品を創造・発掘・開発する」をモットーに、物流関係の機材・資材や環境機器、省人省力システムの開発・設計・販売までを行っている。近年では、ものづくり補助金により開発した新型の業務用ストレッチフィルム『コマキ』を大々的に売り出しており、上記の自社モットーが色濃く反映された当製品を拡販し、企業理念を広く実現していきたいと考えている。

●所在地	埼玉県朝霞市北原2-13-6
●電話／FAX	048-473-0180／048-473-0190
●URL	http://stra-a.co.jp/
●代表者	代表取締役　古市　良也

●設立	1993年
●資本金	3,000万円
●従業員数	15人

既存のストレッチフィルムとは一線を画す製品を開発

ものづくり補助金で導入した業務用ストレッチフィルムの巻取装置により、資材コスト削減・労働負荷削減・環境汚染物質削減の3点を大幅なレベルで改善した新型ストレッチフィルムの開発を行った。また、同社提供のホルダー使用により、専用の機械がなくても素手で簡単に扱えるようになった。なお、フィルムの芯となる紙管は70%削減され、大幅にエコで省スペースな製品を実現した。

従来品との差別化

環境に徹底的に配慮した製品で廃棄物を削減

環境への配慮思考を強く打ち出しており、同社のあらゆる製品を開発する際のモットーとしている。また、微差レベルの環境配慮ではなく大幅なエコ製品を開発しており、当事業で開発した『コマキ』に関しても、紙管に使用される紙の使用量を大幅に削減し、廃棄処理時のCO_2を約90%も削減することに成功した。そして、同社提供の特殊ストレッチフィルムを使用すれば、廃棄時のゴミも約半分にすることが可能である。

環境に配慮した製品

BtoC向けにも販路を見い出せる製品として販路拡大

国内3件・海外6件の特許を有する優れた製品であり、様々なシーンで活用ができるため、今後は既存の国内BtoBへ販売のみならず、BtoCおよび海外展開も視野に入れている。簡単に手でちぎれる特殊素材のハンディタイプの試作も完成し、近日中にインターネット販売を開始する予定。

BtoC向けにも販路を見い出せる製品

笛木醤油株式会社

需要獲得　サービス

埼玉県比企郡川島町

新商品「パウダー醤油」で海外需要を獲得
体験型複合施設で「コト消費」の強化へ

江戸時代中期寛政元年（1789年）の創業から230年に渡り、伝統的な醸造方法を守り続ける老舗の醤油蔵。創業以来、取引先や地域社会を大事にしながら、全国各地、さらには海外にも展開。醤油以外も醤油を使った加工調味料を開発し販売をしている。また、「しょうゆでつなぐみんなの笑顔」をコンセプトに、“たべる”・“まなぶ”・“かう”・“あそぶ”の4つをテーマにした体験型複合施設「しょうゆパーク」を新たにオープン。

●所在地	埼玉県比企郡川島町上伊草660
●電話／FAX	049-297-0041／049-297-5978
●URL	https://kinbue.jp/
●代表者	代表取締役社長　笛木　正司

●設立	1789年
●資本金	2,000万円
●従業員数	70人

自社商品を堅調に海外へ展開、新たにパウダー醤油の開発に

積極的に海外展示会や商談会を活用するなかで、伝統的な製造方法で醸造したこだわりの醤油は、各国のバイヤーからも高い評価を受け、香港、台湾、オーストラリア、フランス、米国、カナダ、マレーシアの7か国に輸出展開。海外における日本食ブームも追い風となり、海外においてミシュラン一つ星のレストランから引合いを受ける等、取引店が拡大している。また、新たに開発したパウダー醤油はアルコール含有量が極めて微量であるため、ハラル圏へも輸出が可能になる等、今後も販路拡大が見込まれる。

海外のシェフからも高評価のクラフト醤油

体験型複合施設「しょうゆパーク」により直販店の売上を強化

「しょうゆでつなぐみんなの笑顔」をコンセプトに、“たべる”・“まなぶ”・“かう”・“あそぶ”の4つをテーマにした体験型複合施設をオープン。新たに飲食エリアを設置（たべる）、体験型の工場見学の実施（まなぶ）、直売店の強化（かう）、パーク内に遊具等の子供が遊べる場を提供（あそぶ）、といった取組により、地域住民を中心に新たな需要を獲得している。醤油を製造して販売するだけでなく、醤油ができるまでの過程を意識した「コト消費」を重視し、直販店での販売強化とファンづくりを進めている。

職人手造りの木桶を器にしたメニュー

地元で採れる原料を活用した醤油の製造と地域の魅力発信

食育や地産地消の推進の一環として、埼玉県産大豆・小麦を100%使用した「彩花しょうゆ」を製造。当醤油は県内の学校給食に採用されており、自社の醤油蔵にある木桶5本は学校給食用として契約している。また、希少価値の高い、埼玉県小川町の青山在来大豆と小麦を100%使用した「木桶初しぼり」を販売。大豆の種まき、収穫、醤油の仕込みまでを体験できる食育イベントにすることで、この取組への大きな共感を生み、出荷数も堅調に伸びている。

在来大豆の醤油で農林水産省局長賞を受賞

松本ESテック株式会社

需要獲得 ものづくり

千葉県千葉市

攻めの設備投資と高度な加工技術で メーカーに信頼される製品開発パートナー

電磁鋼帯加工と、超精密モーターコアの製造業者。スリットした電磁鋼帯を、様々な部品メーカーに供給している。超精密モーターは、携帯電話のバイブレーション機能や自動車に搭載するモーター等に使用される。超精密モーターコアの原材料である電磁鋼帯は、通常の鋼帯と素材特性が異なることから、高度な加工技術を要するのが特徴。多様化する顧客ニーズに応えるべく、新たな設備を導入する等、常に進化し続けている。

●所在地	千葉県千葉市花見川区幕張町2-7714
●電話／FAX	043-273-7174／043-273-7171
●URL	http://www.m-est.co.jp
●代表者	代表取締役社長　松本　晴代

●設立	1950年
●資本金	3,000万円
●従業員数	78人

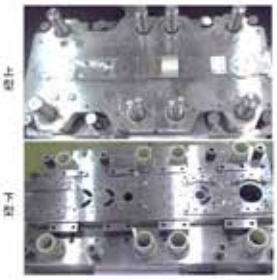
攻めの設備投資と高い加工技術で高効率な製品を実現

超精密モーターコアの原材料である電磁鋼帯は、通常の鋼帯とは素材特性が異なるため、高度な加工技術を要する。同社は技術・品質面でメーカーから信頼されているなか、積極的な設備投資も行っており、2018年世界初号機であるAIDAMSP-3000-330を導入し、設備面でも高い競争力をもつ。同社が扱う無方向性電磁鋼帯はさまざまな機器の高効率化に適しているため、同社のモーターが採用された自動車や省エネエアコン等は、完成品としてメーカーから輸出されている。

AIDA MSP3000-330

メーカーの製品開発パートナーとしての役割を発揮

環境問題において化石燃料から電気エネルギーへの切替が求められる等、顧客のニーズは多様化している。同社の製造するモーターを機器に内蔵することで、少ない電力で最大のパフォーマンスを実現できるようになり、高まる需要へ技術力で対応している。また、同社は金型製作からモーター組立まで一貫生産が可能であり、長年のノウハウを活かしメーカーと協力して金型から試作品を製作する等、メーカーの製品開発パートナーとして信頼されている。



自社製作したモーター部品順送金型

安定した経営と人材育成により地元の雇用創出に貢献

企業の発展を担うのは人であり、人を活かすこと、人を大切にすることこそ、経営の課題ととらえ意欲と能力を有効に活用するための経営管理手法を実施している。電磁鋼帯加工のスペシャリストとしての、創業以来培ってきた高度な生産技術のノウハウと、品質本意の職人気質を承継すべく人材育成に取組んでいる。社内のOJTの強化、必要資格取得の会社支援等、従業員定着、技術承継に努めている。若手女性経営者ならではの視点で人員配置、攻めの設備投資等従業員の働きやすい環境づくりにも尽力している。

本社・幕張工場

株式会社パール技研

需要獲得 ものづくり

千葉県船橋市

選択と集中により試作品製造に特化
逆提案までを実現するコネクターハブ企業

創業60年以上の歴史を有する精密金属加工業。大量生産の自動車部品を中心に製造していたが2011年に事業承継し、経営体制を見直し選択と集中を行う。自社の強みである精密加工技術を武器に、量産品中心の製造から試作品製造に特化。大手自動車メーカの研究所へ供給する等、技術で戦える企業へと変革し業績をV字回復。また、他社との連携を強化し、ロボット・航空宇宙分野、医療分野等にも精密加工部品を提供している。

●所在地	千葉県船橋市旭町2-8-31
●電話／FAX	047-438-6648／047-439-4621
●URL	http://www.pearl-giken.co.jp
●代表者	代表取締役　小嶋　大介

●設立	1956年
●資本金	3,000万円
●従業員数	34人

国内自動車メーカーの研究所と共同で試作開発

同社は“メイド・イン・ジャパン”の誇りを持ち、スピーディーかつ正確にミクロン単位の高精度なものまで仕上げていくクオリティと難削材の加工力を強みとしている。直接海外取引は行っていないが、国内自動車メーカーの研究所から自動車・バイクのエンジン部品やレーシングカー用部品の試作を受注し、成長産業である航空宇宙分野、ロボット産業にも進出しており、海外進出をする国内自動車メーカー等を高度な技術力により下支えしている。

高精度技術を保証する検査機器

加工業同士のネットワークを活用したワンストップサービス

精密金属加工分野において顧客からのあらゆる加工相談に対応することができる。深海8000mを目指した探査機開発、産学官金連携「江戸っ子1号プロジェクト」の経験を経て他社連携を積極的に推進。東京東地域・千葉県内の金属加工業との連携のほか、各業界で活躍する製造業が集まる団体「全日本製造業コマ対戦」に参画し、同団体内での連携も増えてきている。加工業同士の広いネットワークを活用し、自社がコネクターハブ企業としての役割を有し、地域経済の活性化に貢献している。

加工メーカーとの情報共有会

下請け体質から脱却し発注側目線での逆提案を実現

プロジェクトへの参画により、国の機関であるJAMSTECや大学、金融機関と連携し海底探査機の開発・製造・販売まで携わる。これまでオーダー通りのものを提供する下請け体質であったが製品開発の流れを一通り経験することで、造り手だけでなく設計側の考えも取入れた製造を実現している。次工程のことを視野に入れた下処理を施す等、他社にはない加工サービスの提供や、提案型の営業活動も可能となり、成長産業である航空宇宙分野、医療分野への進出につながっている。

小型自律型無人潜水機　RAVI

株式会社小出ロール鐵工所

需要獲得 サービス

千葉県習志野市

「顧客の操業を止めない」対応力と高付加価値サービスで顧客の信頼を獲得

創業105年を迎えた国内唯一のロールシャフト加工専業メーカー。各種プラントで使用され欠損・摩耗等が生じたロール・シャフトの機能を保つトータルメンテナンスを実施。また、出張による検査やリバースエンジニアリング（図面がない部品を再生する事業）等も行う。関東を中心に東日本管内の大型ロール再生加工を同社が一手に引受けており、製鉄、化学等京葉臨海地域をはじめ、装置産業の生産現場を下支えする重要な役割を担っている。

●所在地	千葉県習志野市東習志野6-21-8
●電話／FAX	047-475-3811／047-475-2422
●URL	http://koideroll.co.jp/
●代表者	代表取締役　小出　明治

●設立	1914年
●資本金	1,679万円
●従業員数	102人

国内トップクラスの加工技術と柔軟な対応力

国内唯一のロールシャフト加工専業メーカーであり、軸物なら小から大まで、ミクロン単位の高精度製品の加工に対応している。従業員が15時間を2交代体制で機械を操作し「顧客の操業を止めない」体制を取っており、圧延ロールの研磨では「当日受注、翌日納品」等の緊急対応も日常的に行っている。部材仕入（小出ロールエンジニアリング）と運送（小出運輸）もグループ会社内で行っており、この迅速かつ柔軟な即応力が、取引先の信頼を勝ちとる強みとなっている。

大型ロールの加工打合せ

出張工事やリバースエンジニアリングで高付加価値サービスを提供

製作メーカーが不明、図面がないといった問題を抱えるロール・シャフトについて、近年導入した移動式3次元測定器を駆使して、今まで不可能だった複雑な形状の製品でも、測定データから図面を作成する「リバースエンジニアリング」や、クレーン設備がない、人手不足で作業ができないといった課題を抱える顧客に対し、専門部隊が現地を確認し、設備・状況に応じて対応する「出張工事」等の新規事業を展開。新たな切り口での事業展開により、他社の追従を許さない独自の高付加価値サービスを確立している。

客先工場内でのロール交換作業

京葉臨海地域の産業集積を活かし日本のものづくりに貢献

京葉臨海地域をはじめ県内に鉄鋼、電機、非鉄、化学、食品等関連事業所が集積していることを活かし、プラントで使用されるロール・シャフトの再生・製造事業を展開。同社の直接的な顧客は川上産業（原料メーカー）であるが、その先には、日本を代表する自動車メーカー等も顧客として名を連ねる。近年、自動車も安全性やデザイン性等の観点から、ニーズに応じて多品種小ロットの材料供給が増え、ロール再生受注数も増加傾向にある。地域の装置産業のみならず、日本の生産現場を下支えする重要な役割を担っている。

千葉県にある習志野工場内風景

岡本硝子株式会社

需要獲得 ものづくり

千葉県柏市

「グローバル・ニッチトップ」を合言葉に顧客ニーズのトレンドに目を向ける

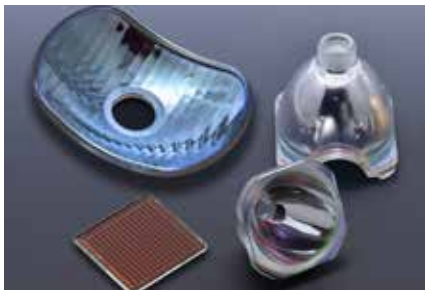
特殊ガラス製造のグローバル・ニッチトップ企業。硝材開発技術・成型技術・薄膜技術を武器に、3つの世界シェアNo.1製品（プロジェクター用マルチレンズ、同反射鏡、歯科用デンタルミラー）を製造。洗濯機用ドアガラスや耐圧ガラスのような大型成型品や光学フィルター等、他社で製作困難な製品も扱う。また、LEDやレーザー等の固体光源が次世代光源として注目され、同社の耐光性・耐熱性に優れた光学用ガラスレンズに期待が寄せられる。

●所在地	千葉県柏市十余二380番地
●電話／FAX	04-7137-3111／04-7137-3112
●URL	https://ogc-jp.com/
●代表者	代表取締役会長　岡本　毅

●設立	1928年
●資本金	248,602万円
●従業員数	206人

グローバル・ニッチトップを合言葉に3つの世界シェアを獲得

「グローバル・ニッチトップ」を合言葉に、製品開発、顧客ニーズのトレンドに目を向けている。特に、ガラスを組成から開発する硝材開発技術、精密に成型する成型技術、形状のある製品にも均一に成膜できる薄膜技術という3つのコア技術により、プロジェクター用反射鏡（世界シェア約86.4%〈当社推定：以下同じ〉）や同内部レンズ（世界シェア61.2%）、歯科用のデンタルミラー（世界シェア約72%）では、世界トップのシェアを獲得している。



デンタル/フライアイ/反射鏡

積極的な産学連携により地域の研究開発に貢献

常にニッチな市場でオンリーワンを目指している研究開発型の企業であり、千葉大学の国際共同研究「南極のニュートリノ観測施設（IceCube）」に使用するニュートリノ観測器のカバーガラス球の開発を行い、地域の研究開発に貢献している。また、産学官にも積極的で、製品開発や技術開発に関して、同社に近接する東京大学の柏キャンパスの研究者とも連携を図っている。

高反射・高耐久性銀ミラー

新たなガラスのニーズに対応する製品開発と生産体制の構築

近年では特に新規製品の開発に力を入れており、ガラスフリットやペースト、機能性薄膜の高反射高耐久銀ミラー（Hi-Silver®）などは顧客からも高い評価を得ている。また、高輝度・高出力なLEDやレーザー化の流れにより、固体光源に対応するレンズ等も樹脂からガラスへのパラダイムシフトが始まり、新たなガラスのニーズに対応すべく、製品開発や生産体制の構築にも力を入れている。

電子部品を支えるミクロなガラス

ツルヤマテクノス株式会社

需要獲得 ものづくり

千葉県市原市

「コンビナートの主治医」としての信頼 新工場により大型化するニーズへも対応

千葉県市原市の京葉コンビナートにて石油精製工場をはじめ大手エネルギー工場に定期点検、突発メンテナンスを行う業者として1969年に創業。2018年には地域未来牽引企業として県内有数の優良企業として選定。特に同社の「熱交換器のリチュービング技術」は大手石油関連企業も一目置く技術力の高さを誇っている。近年では同社の製缶技術にも注目されており、護衛艦関連の受注も獲得する等、今後も一層の成長が見込まれる。

●所在地	千葉県市原市青柳北2丁目3番地の1
●電話／FAX	0436-21-6522／0436-21-4001
●URL	
●代表者	代表取締役社長　鶴山　孝行

●設立	1969年
●資本金	3,200万円
●従業員数	76人

「コンビナートの主治医」としてプラントの安定操業に貢献

同社の熱交換器リチュービング技術は関東圏内においてもトップレベルの技術力を持ち、大手石油メーカーの常駐協力業者として指定されており、工場の安定操業に大いに貢献している。当該コンビナートでは24時間操業している会社も多く、一時の稼働停止が大損害となるなかで、同社は緊急時の際にも直ちに現地にて対応し、原因の解明・修理を行っている。「困った時のツルヤマテクノス」として業界からの期待も大きい。

石油・化学コンビナート

新工場建設により、プラントをはじめ大型化するニーズへ対応

2020年4月に稼働する新工場では、60t熱交換器やコンルーフタンク等の大型設備へのスピーディーな対応が可能になる。また、大型天井クレーン等の設備を充実させており、大幅な生産性向上が見込まれる。さらに、プラント以外にも護衛艦のガスタービンエンジンの排気消音設備についても、さらなる大型護衛艦への対応が可能になり、多方面の付加価値向上に繋がる見込である。

第二工場

千葉県との連携により地域経済活性化に寄与する計画を策定

千葉県、関東経済産業局と連携のもと、地域未来牽引事業計画を策定し、地域雇用を5年後には計画当初比50人、37.5%増加させることを計画。採用にあたっては関東一円の学校からの新卒採用、中途採用を進め、若手人材の採用増加も見込む。入社後に同社の高い技術力を教育・継承し、同社内におけるプラント整備のスペシャリストを増やすことで、コンビナートの安定稼働・生産効率の向上への寄与が見込まれる。また、地域活性化を目的とした多目的ホールの保有、市原市の「お祭り」の実行委員会等のメンバーとして地域経済活性化にも積極的に参画している。

地域未来牽引企業の「選定証」

株式会社メリータイムフーズ

需要獲得 サービス

東京都中央区

日本式の品質管理を導入し、ミャンマー産のエビの高付加価値化を実現

ベトナム・ミャンマーを始めとした東南／南アジアの水産・農産物を加工し、日本の外食チェーンやメーカー、卸・量販店向けに販売する。マグロ、タコ、イカ、カニ等様々な水産物を扱うが、特に他社に先駆けてミャンマーにおけるエビの養殖産業に着目し、現地資本の協力を得て同国最大規模となる工場を立ち上げた。これにより同国のサプライチェーン構築の一助を担うだけでなく、現地労働環境の改善、雇用の確保を実現し高く評価されている。

●所在地	東京都中央区銀座2-10-6 山岸ビル
●電話／FAX	03-3545-2621／03-3545-2622
●URL	http://mtfoods.co.jp
●代表者	代表取締役　飯森　正裕

●設立	2002年
●資本金	1,000万
●従業員数	11人

日本式の品質管理、生産管理をASEANへ

ミャンマーの養殖／栽培産業に日本式の生産管理技術を導入し、作業の効率化・商品の品質向上を図っている。現地の関連法人Merry Time Foods Myamar Co. Ltd. が運営する加工工場ではトレーサビリティ、ポストハーベストなどの安全性にも配慮した生産管理を実現し、特に、エビ輸出企業としては日系企業の中で最大手である。また、「業者からの仕入~工場での加工~取引先への販売」までの一貫生産体制を構築することで、高度な品質管理を実現している。

海外工場での作業風景

地方の水産加工業のネットワークを活用し、国内需要を喚起

同社では、愛知県の三河湾のように、地場産業として水産加工に強みを持つ企業に積極的な業務委託を行っている。日本国内では漁業生産量の減少、消費者の「魚離れ」による水産物需要の減退により、水産加工業は全体として縮小傾向にあるが、国内事業者と連携することで、水産加工業を通じた地域活性化に貢献。さらには各地の地場企業が持つ技術や資源の有効活用によって、海外産地の良質な食材を日本市場に適合した形へと加工でき、国内需要の喚起に繋がっている。

ミャンマーで日本向けに加工された商品

品質が高く、安全な水産加工品を、海外から日本向けに輸出

ミャンマーの工場では女性社員・工員を積極的に採用し、女性の社会的地位向上を後押し。また、日本と同等の設備、近代的加工技術を導入し労働環境を改善した。こうした取組を経て、豊富な労働力を活かした「きめ細やかな製品作り」を可能としている。特に、エビの殻ムキ、背ワタ取り、ヤリイカのムキ加工等、手作業でなければできない作業工程において、同社工場の強みが活かされている。ミャンマーのラカイン州で加工されたエビ冷凍加工品は日本企業向けにも販売されているが、市場での評価は高い。

入社式に参加するミャンマーの女性たち

松山油脂株式会社

需要獲得 ものづくり

東京都墨田区

越境ECによる積極的なアジア戦略
徳島産の和柑橘を用いた産学官連携への挑戦

1908年に雑貨商として創業。戦後すぐに石けんの製造を始め、OEM受託製造を生業とする。現代表への事業承継を機に、自社ブランドへとシフトし、1995年、初めての自社ブランド「Mマークシリーズ」を発売。以後、ボディケア・ヘアケア・スキンケア（ウオッシュ&ケア）と製品を拡充してきた。2006年に山梨県富士河口湖町にて第二工場が稼働。2019年には徳島県佐那河内村にて第6次産業「山神果樹薬草園」事業を立ち上げた。

●所在地	東京都墨田区東墨田2-17-8
●電話／FAX	03-3613-1334／03-3619-1358
●URL	https://www.matsuyama.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　松山　剛己

●設立	1930年
●資本金	1,800万円
●従業員数	306人

国内にとどまらず、越境ECサイトを活用して販売網をアジアへ拡大

2016年より越境ECサイトを活用し、中国市場を中心に香港・ベトナム・マレーシア・シンガポールと海外に販売網を広げている。海外展開を開始してまだ数年だが、自社全体の売上高に占める海外売上高は約3割にまで拡大した。中国においては現地SNSに公式アカウントを作成するなどブランディングにも注力。認知度の低い詰替用の普及にも挑戦している。また、在日外国人向けにも工場見学を合せたイベントを実施するなど、国内外において認知度向上に資するさまざまなことに取組んでいる。

昔ながらの製法「釜焚き枠練りせっけん」

「身体の内側と外側からすこやかに」でブランド拡大

すこやかな肌を、ウオッシュ&ケアという身体の外側からだけでなく、内側からもサポートしたいという考えから、2015年に飲食事業を開始し、直営店「GREENBOWL」を展開。豊富な野菜を手軽に食べられるスローフードスタンドとして、現在都内に2店舗を構えている。また、前述の山神果樹薬草園では、国内では稀有な方式で天然精油と果汁を抽出。従来とは異なる香り立ちの化粧品、味わいの異なる飲料、食品等の製造販売を進める。商品は、山神果樹薬草園ブランドとして国内外で販売予定。

国産柚子精油を配合したラインアップ

地元産植物を由来とする化粧品原料の研究開発

山梨大学と連携し、地元産のモモを由来とする脂質蓄積酵母を研究。現在は自社でモモ果汁発酵エキスの研究開発を行っている。また、徳島市内に事業所を設け、柚子やすだち等、和柑橘の有効な活用法について、徳島大学・徳島県立工業技術センターと共同研究している。さらに、同県佐那河内村に第6次産業となる山神果樹薬草園を設立。和柑橘の研究農園や、精油、果汁等の加工施設をつくり、地元での雇用や、学生のインターン、UターンやIターンを目的とした就労体験も受入れる計画である。

自社栽培植物を使ったブランドも展開

山口産業株式会社

需要獲得 ものづくり

東京都墨田区

人と環境に配慮する独自のなめし技術「ラセッテー製法」で持続可能な事業を実現

国産ピッグスキン（豚皮・豚革）のほか、猪・鹿・羊・牛・馬・ダチョウ・熊皮のなめしや染色加工をし、上質で実用性のある皮革素材を製造。素肌のような革を創ることを目指し、植物タンニンで皮をなめす独自技術「ラセッテー製法」を開発。これにより従来のクロム（塩基性硫酸クロム）を使ったなめしに比べ環境や人体に有害な物質の排出リスクを最小限に留めることを可能とした。新たな価値を持った皮革はマーケットからも注目されている。

●所在地	東京都墨田区東墨田3-11-10
●電話／FAX	03-3617-3868／03-3613-3239
●URL	https://yamaguchi-sangyou.co.jp
●代表者	代表取締役社長　山口　明宏

●創業	1938年
●資本金	1,000万円
●従業員数	4人

ラセッテー製法を広め、モンゴルレザーのブランド化を推進

優良な家畜生産国であるモンゴルに対して、JICA協力のもと、ラセッテーなめし製法を技術提供。環境や人に良い、柔らかいといった付加価値をもたらすことで、モンゴルレザーのブランド化を推進するための調査に協力し、両国の産業振興に貢献した。同社は国内で製造した皮革においても、多くの海外メーカーと取引実績を持つが、今後は自社のラセッテーなめし製法を広く技術移転することによって、外部連携を強化し、ヨーロッパなどの広い市場への展開も目指す。

現地同業者とモンゴルレザーのブランド化へ

日本各地の獣皮を有効活用し、産地ブランド革の開発に携わる

通常、獣害対策として駆除された鹿や猪は、有効資源として利用されることなく廃棄されることも多い。同社では、獣害対策後の排出皮有効資源化と日本原産の天然皮革開発に協力。これまで国内350か所以上の地域から獣皮を預かり、ラセッテーなめし加工を施すことで、改めて獣革素材として産地へ還してきた実績を有する。また、地域の活性化につなげる獣皮活用支援事業「MATAGIプロジェクト」を主催し、大学、NPO法人等とともに実行委員会を立ちあげて、獣害に悩む産地や団体をサポートしている。

皮革なめしに使用する木樽

「やさしい革の約束」を通じた持続可能性の実現

欧米では一般化しつつある動物福祉に配慮した原料皮調達に日本国内で初めて対応。環境に配慮した同社の製法技術と品質優位性に基づいて、「やさしい革の約束」の名称で、4つの目標を設定している。①「排水中クロムのゼロ」、②「動物のストレスがゼロ」、③「働く人のストレスがゼロ」、④「不公正な取引がゼロ」。これらの取組が、海外ブランド（メーカー）からの調達優位性となるだけでなく、養豚農家との連携を強め、持続可能な安定供給へと結びついている。

『やさしい革の約束』のロゴマーク

株式会社隅田屋商店

需要獲得 ものづくり

東京都墨田区

プロが厳選した最高品質のお米の提供 炊飯法の伝授を通じて顧客をリピーター化

1905年創業の米殻専門店。店主は、墨田区で百年以上続く米屋の知識と五つ星お米マイスターの資格を持つ。香り、味、粘り、食感、外観の5つの観点から、“その時”最高の組合せでブレンドをした玄米を、代々受け継ぐ大型循環式精米機を使い、じっくり何度も精米（古式精米製法）。これにより高品質なオリジナル商品を販売する。お米にこだわる全てのお客様へ、優れた目利きと配合技術による、安全で美味しいお米を提案している。

●所在地	東京都墨田区東駒形1-6-1
●電話／FAX	03-3626-1135／03-3626-1130
●URL	http://sumidaya.jp
●代表者	代表取締役社長　片山　真一

●設立	1905年
●資本金	1,000万円
●従業員数	7人

日本産米にこだわり、日本全国から特長ある原料玄米を厳選

同社では全国の銘柄から厳選し、特長ある原料玄米をブレンド。各地のお米を多くの人に味わってもらう機会を提供するだけでなく、日本の地域資源を世界に向けてPRする役割を果たしている。特に同社の精米では、お米の旨みを最大限に引出すために通常の7倍の手間と時間をかける「古式精米製法」を採用。これによって作られる同社商品は、その革新性と墨田区の伝統や技術継承の面から評価され、地域ブランド「すみだモダン」に認証されている。地元経済活性化へ繋げるべく、さらなる海外展開が期待される。

お米本来の香りと旨みを残す丁寧な精米

海外において日本米の炊飯法を伝授するサポート

海外では、炊飯環境が異なる等の様々な要因から、日本産のお米を美味しく炊飯するには困難がつきまとう。そこで店主は自ら現地に出向き、その地域の水や炊飯器に合せ上手に日本産米が炊けるよう、炊飯教室を開催。また取引先へは業務用の炊飯指導も実施している。商品の販売だけで終わらず、炊飯の仕方までフォローすることで、顧客のリピーター化を実現。最高級日本産米として自社商品のブランドを育て、米国西海岸を始め、台湾、シンガポールといった海外の小売店や高級寿司店から多くの受注を獲得している。

海外で人気を博している同社の炊飯教室

味にこだわった自社商品の販売と、日本米の優位性をアピール

同社では、ナンバーワンではなくオンリーワンを目指すことを経営方針とし、おかずによってご飯を選べるような、それぞれ味わいの異なるオリジナル商品を販売。特に、品質面では誤解されやすいブランド米のイメージを覆すため、包材にもこだわり抜きハイエンド消費者層への販売を重視する。また、炊飯研究では日々研鑽を重ねており、動画を用いてわかりやすく炊飯法を紹介している。「冷めても硬くならず、甘さが持続し保湿力も高い日本産米」を目指し、圧倒的な商品の差別化と付加価値向上を図っている。

『吟撰 隅田屋米』は味にこだわる方へ

株式会社トップウォーターシステムズ

需要獲得 ものづくり

東京都大田区

災害時でも利用ができる移動式浄水装置「TOPレスキューROⅡ」

逆浸透膜（RO膜）純水器・イオン交換樹脂等の開発・設計・製造からメンテナンスまでを手がける産業用純水装置メーカー。斬新なアイディア、高度な技術力、柔軟なサポートに定評があり、これまでにメーカー・研究機関・病院・海外企業等、幅広い分野へ製品を供給。環境や水質汚染問題にも積極的に取組み、限りある水資源の活用を通じた持続可能な社会の実現を目指している。2019年「ISO9001」認証取得、大田区「優工場」認定。

●所在地	東京都大田区大森西5-27-15 梅森プラットフォーム内
●電話／FAX	03-6715-1902／03-6715-1903
●URL	https://www.top-water.co.jp/
●代表者	代表取締役　武田　龍太郎

●設立	2004年
●資本金	600万円
●従業員数	12人

地域の防災力向上をアシスト

東日本大震災被災地では、同社の（RO膜）純水装置の使用によって有害物質を分子レベルで除去できることが実証された。これを経て医療現場での利用にも対応可能な純水装置（「TOPレスキューROⅡ」）の開発･商品化に至っている。同社では装置を災害指定病院へ導入するだけには留まらず、定期的に都内の避難訓練で、プール水から不純物を取除き飲料水を作り出すデモンストレーションを実施。非常時に安心で安全な水ができるものとして、地域間の防災意識向上、地域の連携強化にも大きな貢献をしている。

避難訓練でも注目された純水技術

アフリカ等の海外ニーズを掘り起こし、さらなる飛躍を目指す

海外展開ではグレナダ国（カリブ）へのODA、カンボジア王国への装置納入等、これまでに多数の実績を持つ。また、2019年には上海国際輸入博覧会、川崎国際環境技術展にも出展し、海外向けの製品開発にも力を入れているが､特にインフラの未整備から日常的に水事情が深刻なアフリカ地域からは､「TOPレスキューROⅡ」への関心度が高い。同社では今後も、海外における潜在的な需要の獲得にも目を向け、海外ネットワークの強化、高度海外人材活用等も視野に入れて、さらなる飛躍を目指していく。

積極的に海外展示会へも出展

どこでも必要な場所へ安全・安心な水を提供

「TOPレスキューROⅡ」は、災害発生時にも手軽に移動ができるように、リヤカー方式を採用。また、停電等の非常時でも利用ができるよう、太陽光発電システムを搭載し、省電力設計による長時間運転を実現した。さらには無菌純水システムの搭載により、重要度の高い災害医療の現場へ医療用衛生水の提供が可能。現在、同社では装置の小型化、量販化に向けた研究開発に臨んでおり、メンテナンスも手軽にできるよう改良することで、一般家庭及び小規模施設等への販売・利用促進も検討している。

「TOPレスキューROⅡ」で水の安心を

東工・バレックス株式会社

需要獲得 ものづくり

東京都江戸川区

顧客の要望に全力で応える姿勢が、ロケットエンジン用のバルブの受注獲得へ

各種自動調節弁（コントロールバルブ）の製造・販売メーカー。1台ごとの受注生産により、高温高圧・超低温・酸アルカリ性流体にも使用可能なコントロール精度の高いバルブ作りを得意とする。同社のバルブ製品は新エネルギー分野・航空宇宙分野・先端研究分野等、多様な導入実績を有する。現社長は3代目で、東京商工会議所青年部の役員として活躍。また、（一社）日本バルブ工業会では人財育成委員会委員長として業界内の人材育成にも貢献。

●所在地	東京都江戸川区松島4-2-17
●電話／FAX	03-3655-5161／03-3655-6769
●URL	http://www.toko-valex.co.jp
●代表者	代表取締役社長　横山　達也

●設立	1957年
●資本金	3,000万円
●従業員数	62人

新規設計でゼロからの製造を請け負う高い技術力

コントロールバルブとは、モーターや空気圧等の仕組みによってバルブを動かし、配管を流れる水やガス等の流量を自動調節する製品のこと。同社では様々な流体に対応をしてきた技術力と実績から、既成の量産品以外に、新規設計でゼロからの製造依頼を請け負うこともあり、例えば水素ステーションで用いるための高圧・超低温に対応したバルブや、ロケットエンジンに使用する燃料制御用バルブ等の製造実績も持つ。このような積み重ねを経て、「困ったら東工・バレックスに相談すればいい」という評判も得るに至る。

インフラ設備を裏で支えるバルブ製品

上海事務所を開設、特殊分野を中心にアジア商圏を開拓

同社は、大手企業が手を出さないような特殊バルブの製造も1台からの受注生産で請け負うことで、ノウハウを蓄積してきた。社員が仕事に取組む基本姿勢として、「創造・挑戦・責任・協働」の4つを掲げており、ベテラン社員指導の下、若手にも責任ある業務を任せ、積極的に技能者の育成と技術承継を図っている。近年、特殊バルブのニーズは国内だけに留まらず、海外、特に中国からの注文も増えており、アジア圏への直接輸出による売上は15%程度を占めるまでに成長。更なる事業領域の拡大を目指している。

4つの「C」は私たちの不変のテーマです

近隣企業と協力会を結成。幅広い特注品パーツの製造も可能に

本社や福島工場の取引先19社と協力会を結成。協力工場との連携強化を通じて、幅広い受注要求に対応している。また業務プロセスの改善を経て、同業他社に比べ短期で特注品の納品が可能。同社のバルブは半導体等のハイテク産業や、ガス・電気等の重要インフラ施設でも利用されるため、メンテナンスにも力を入れており、自社から現地へと直接訪問をしてサービス提供するのはもちろん、部品交換時にも確実な検査を実施し、顧客から信頼を獲得している。ISO9001認証取得。エコアクション21認証・登録。

同僚たちと協力して仕事に臨む製造現場

株式会社三真

需要獲得 ものづくり

東京都江戸川区

伝統的な技法を踏襲しつつ新商品を開発 社長の想いが名店とのコラボを実現

昭和47年に米菓専門メーカーとして創業、事業承継をきっかけに様々な企画・コラボ商品を生み出し、世にないあられの創作米菓というジャンルを確立し現在に至る。定番商品販売やOEM製造から攻めに転じ、オリジナリティー溢れる自社企画商品で新たな販路を開拓した。知名度や研究開発費がないなか、老舗飲食店等とのコラボや、従来のあられ製造の発想にはない商品開発を、企画から開発、製造に至るまで圧倒的な速さで展開している。

●所在地	東京都江戸川区本一色1-20-10 ハビテーションワコー101
●電話／FAX	03-3655-0034／03-3655-0052
●URL	http://www.san-shin.com/
●代表者	代表取締役社長　加藤　久幸

●設立	1972年
●資本金	6,000万円
●従業員数	123名

昔ながらの味と製法を継承、時代のニーズにアレンジし創造

「昔ながらの味と製法を継承しながらも時代のニーズにアレンジし創造する」という企業理念により、これまでにない新しい発想により、伝統的な米菓「あられ」に付加価値を与えている。常識にとらわれずに、米菓主材料であるもち米にポテトを混ぜ込んだ商品、米菓にライ麦やえんどう豆などを混ぜ込んだ商品の開発等、これまでにない食感の探求や発想を実現している。自社企画商品等、新製品を次々と生み出し、素早いサイクルで展開することで差別化を図っている。

昔ながらの味と製法を継承

社長自らリサーチし味を研究、名店とのコラボを実現

加藤社長の「世の中を驚かす商品を作りたい」という想いから、自ら全国を周り、ご当地の美味しいものをリサーチし味を研究している。老舗有名店はもちろん、ご当地ラーメンやご当地カレーなどとも直接交渉し、伝統的な日本の米菓「あられ」で味を再現している。自社の研究開発力・技術力が、老舗の飲食店がこだわり抜いた味の再現を可能としている。今後は、国内だけでなくアジア、ヨーロッパのブランドと組んでイノベーションを巻き起こしたいと考えている。

名店コラボシリーズ

千葉県、埼玉県の雇用に貢献し工場兼直売店により地域活性化

千葉県茂原市に工場兼直売店「あられちゃん家」をオープン、いすみ鉄道の旧車両を設置し休憩所にする等で地域を活性化。平成29年には埼玉県加須市にも工場兼直売店をオープンし、「あられちゃん家」のブランディングを実施。企画商品開発の取組強化や販路拡大によって生産量を増加させることで、平成26年の従業員数60名から現在では従業員数120名超と2倍以上の雇用を生み出し、地域に貢献している。

千葉工場直営店「あられちゃん家」

福永紙工株式会社

需要獲得 サービス

東京都立川市

従来型の印刷業を脱却し、紙の可能性を追求 オリジナル紙製品で新たな市場を開拓

紙製品・パッケージ等の企画デザイン、構造設計、オフセット印刷、打抜き加工、貼り加工、箔押、エンボス加工、レーザーカット加工等の設備と技術力で一貫生産を行う紙器製造会社。2006年に「かみの工作所」プロジェクトを発足し、従来型の完全受注生産、下請け型からの脱却を模索。多数のクリエイターと協働したデザイン性の高いオリジナル紙製品の企画・製造・販売に注力し、新たな紙製品の市場開拓に取組んでいる。

●所在地	東京都立川市錦町6-10-4
●電話／FAX	042-523-1515／042-527-4632
●URL	https://www.fukunaga-print.co.jp
●代表者	代表取締役　山田　明良

●設立	1963年
●資本金	4,800万円
●従業員数	40 人

「JAPAN HOUSE」プロジェクト参画による海外展開

「紙の可能性をデザインで追求する」ことをテーマに2006年「かみの工作所」プロジェクトを発足。これまでに総勢35組のデザイナーと協働製作を実施し、デザイン性に富んだ紙製品を企画・開発し、数多くの展示会へ出展している。日本のアートやデザインの魅力を世界に広く伝える取組である「JAPAN HOUSE」プロジェクト（外務省が所轄）への参画や、世界の約200か所の美術館内のショップへの卸売、世界各国のイベント出展やオリジナル紙製品のインスタレーションや販売等を行っている。

企業やアーティストとコラボ「空気の器」

プレミアム婚姻届による地域経済活性化への貢献

同社で企画、デザイン開発し、立川市に提案して実現した「プレミアム婚姻届」は、2019年度グッドデザイン賞を受賞。婚姻届は通常提出すると控えが残らないが、複写式にすることで筆跡を残すとともに、写真も貼ることが可能な仕様にした。地元の自治体とデザイナーとで三位一体となり、企画からデザイン・製造・PR・メディア対応をトータルでディレクションして、立川市のシティプロモーションに貢献したことが評価された。また、2016年内閣府／ふるさと名品オブザイヤー地方創生大賞も受賞している。

グッドデザイン賞のプレミアム婚姻届

紙製品の需要拡大に期待

廃プラスチックが環境問題として大きく取あげられるなか、プラスチックの代替品として紙製品の需要が多くなっている。デザイン性に富んだ同社企画製品が注目され、さまざまな紙製パッケージや、衣料品店における有料紙袋として今後のさらなる需要拡大が期待されている。また、2020年4月、立川の大型文化施設「GREEN SPRINGS」内に自社ディレクションによるSHOPの運営を開始し、新たな事業拡大への足掛かりとなっている。

紙のPOP UP SHOPを企画・運営

株式会社キープ・ウィルダイニング

需要獲得 サービス

東京都町田市

「地元を豊かに」地場食材活用と地元特化の店舗展開で、若者が楽しめる街をつくる

武相エリア（かつての武蔵の国と相模の国の国境一帯）を中心に、様々な業態の飲食店をグループ全体で36店舗運営（レストラン、ダイニング、カフェ、居酒屋、和食、パティスリー）。近年では、コワーキングスペースやホステル等のスペースビジネスにも着手。「自分たちの地元をもっと豊かにする」をモットーに、出店は武相エリアに特化し、武相の地場食材を積極的に使用している。

●所在地	東京都町田市原町田6-9-8 AETA 町田4階
●電話／FAX	042-851-8460／042-851-8462
●URL	https://www.keepwill.com/
●代表者	代表取締役　保志　真人

●設立	2004年
●資本金	4,800万円
●従業員数	約700人

町田駅を拠点に、武相エリアに魅力的な若者の街をつくる

町田駅を拠点に、地元に特化して店舗を展開している。町田はかつてカフェ砂漠と呼ばれていたが、現在は多様な独自性ある飲食店が立ち並ぶ、若者の街のイメージに変わりつつある。この背景に同社の地元に根差した店舗展開の影響がある。2019年には西東京最大級のルーフトップレストランをオープン。飲食店だけでなく、コワーキングスペースやホステルといったスペース事業も立ちあげている。同社のビジネスモデルは、町田の活性化に大きく寄与している。

レストランでパーティを楽しむ若者たち

武相エリアの地場食材をプロデュース、料理に積極的に採用

相模原の幸福豚、地場のオーガニック野菜、町田ブルーベリー、町田日本一醤油等、武相エリアで生産している食材や調味料を積極的に料理に使用している。地域の魅力的な食材を発信し続けることは、料理による他の飲食店との差別化だけでなく、地場農家への貢献や、武相エリア全体のイメージ向上に繋がっている。

地場野菜を活用した人気料理

ホスピタリティを全社員に浸透し、サービスレベルを高める

毎年、理念と価値感の浸透を目的に「キープウィルアワード」と呼ぶ成果発表会を開催。店舗やホスピタリティの優れた従業員を表彰し、社外にも広報することでQSCの向上を図っている。お客様目線でおもてなしやサービスを確認するため、覆面調査も実施している。居酒屋日本一を決める「居酒屋甲子園」にも毎年出場している。この他にもおもてなし規格認証（紺認証）の取得海外のレストランやカフェで本場の文化に触れて技術を学ぶ海外研修支援制度等、お客様に提供するサービスを向上する取組みや、教育・サポート体制の構築を行っている。

成果発表会の集合写真

TANOTECH株式会社

需要獲得 サービス

神奈川県平塚市

福祉と教育のプラットフォーム提供を通じ世界に通用する健康システムを目指す

主な事業はソフトウエア開発。情報技術を駆使し、福祉・介護施設や教育の分野でプラットフォームの共創を目指す。「TANO」という商品の開発を通じて、利用者の自立支援及びモーショントレーニングを可能とする。既存のサービスと新しいサービスを融合させ、利用者の喜びと負荷軽減に向け開発。常に身近な課題解決に着目し、テクノロジーとアイデアで解決を目指す。海外にもサービスを提供し、各国において格差低減に貢献する。

●所在地	神奈川県平塚市宮の前1-4 パーレン平塚ビル5F
●電話／FAX	0463-73-5490／0463-73-5491
●URL	http://tanotech.jp/
●代表者	代表取締役　三田村　勉

●設立	2018年
●資本金	500万円
●従業員数	4人

最新技術を活用した、福祉と教育のプラットフォームの提供

自社開発商品「TANO」は、「運動」「発声」「測定」を利用者が気軽に、かつ長期にわたり活用できる点が特徴。認知症や重度障がい者、また幼児まで、幅広い層の方が利用でき、介助者の負担も軽減される設計となっている。身体回復訓練（リハビリ）の効果測定を行った結果、普段同じような動作を1～2分程度しか持続できない被験者が、長時間にわたってリハビリに取組めている。また、最新技術を活用するために、国際間の連携や学生を巻き込む仕組を積極的に取組んでいる。

自社開発商品「TANO」

スピード感と遊び心を持つ、世界に通用する技術開発

介護福祉に特化し、100種類以上の運動や計測が含まれたシステムは、世界から注目されている。開発は現場ニーズをスピード感をもって柔軟に取入れている。特にAIを駆使した健康測定システムは世界で注目されており、利用者に合わせて自動的にプログラムを選び、正確なデータを測定できる。三田村社長は実世界とテクノロジーを融合し、最小労力で最大の効果を生むビジネスモデル構築に努め、教育と福祉分野にエンジニア的思考で取組んでいる。新しい技術から生み出される未知のサービスが提供できるよう、開発者の遊び心や利用者の喜びを探求している。

AIを駆使した健康測定システム

起業後1年半で中国、韓国、台湾、香港に事業展開

シンガポールやベトナム、カタール、アメリカ等、海外の展示会に積極的に出展し、起業して1年半足らずで中国、香港、韓国に代理店を発掘。既に中国に40台、香港には30台、韓国には20台、台湾には2台の販売実績がある。今後この分野の世界的な需要がますます見込まれ、同社システムは多言語対応していることから、上述の国以外からの引合いも多い。海外市場を積極的に開拓し、世界での普及を推進していく。

海外展示会への出展の様子

熊沢酒造株式会社

需要獲得 ものづくり

神奈川県茅ヶ崎市

湘南唯一の蔵元が提供する、地域資源を活用した新たな味わいと、食を楽しめる空間

1872年に創業、今は湘南に残る唯一の蔵元となった。地元産の農産物を使った日本酒やビールの他、ソーセージやビール酵母を使用したパンの製造・販売等、多角的な事業を展開する。敷地内に蔵や古民家を改装したレストラン、カフェ、ベーカリー、雑貨屋が立ち並び、人の集まる酒蔵を形成。現在は国内外の要望に応え「湘南スパークリングリキュールシリーズ」を開発中。地域の活性化に加え、湘南地域を世界に発信する役割を担っている。

●所在地	神奈川県茅ヶ崎市香川7-10-7
●電話／FAX	0467-52-6118／0467-62-6119
●URL	https://www.kumazawa.jp/
●代表者	代表取締役　熊澤　信也

●設立	1872年
●資本金	2,400万円
●従業員数	70人

湘南の風土を感じる、地域資源を生かした日本酒、コラボ商品

代表銘柄「天青」は、熱酒瓶詰と急速冷却で生酒の風味を残し、湘南らしい涼やかな日本酒として愛されている。米は山田錦と茅ヶ崎産の五百万石、仕込水は日本三名水の一つ・丹沢山系を源とする相模川や酒匂川の伏流水を使用する。2013年にNPO法人西湘をあそぶ会と共同で無農薬完熟みかんを使用した「大磯こたつみかんエール」を開発・販売、好評を得た。その後、レモングラス使用の「Lemongrass　Hopper」、コーヒー豆使用の「コーヒーエール」へと発展し、地域の農産物の活用と知名度向上に貢献している。現在は清酒ベースのコラボレーション商品を試作中で、小田原産片浦レモンを使用したレモンスパークリングの開発を進めている。

コラボ商品「大磯こたつみかんエール」

古い建物と豊かな緑に包まれた、人が集まり楽しめる空間

敷地内に酒蔵とともに、古民家を改装したカフェやレストラン、ビール酵母を活用したパンが味わえるベーカリー、湘南地域のアーティストの作品を展示・販売するギャラリーが並ぶ。豊かな緑と古い建物に囲まれた空間の独特な魅力を求めて、日々県内外から多くの人が訪れる。敷地内でイベントを開催する等、地域の交流の場としても地域活性化に貢献している。季節やイベントの際は、旬の果実を使用した酒、父の日ビール、クリスマスビール、ハロウィンの時期限定ラベルのビール等、視覚的な楽しさも提供する。

古い建物と緑のなか、休日を楽しむ人たち

現地輸入代理店と連携し、海外の消費者をファンに

現在、アメリカ・スペイン・スイス・シンガポールに日本酒を輸出。特にアメリカとスペインの輸入代理店はたびたび酒蔵を訪れ、商品だけでなく酒蔵の歴史や地域性を理解し、飲食店への情報提供を十分に行って、同社と商品のファン拡大を支援している。シンガポールにはビールも輸出し、高価格帯の商品にも関わらず、ファンが増え続けている。

日本酒「天青」

株式会社東横エルメス

需要獲得 サービス

神奈川県海老名市

国内実績のある品質の高い計測技術やサービスで途上国への進出を目指す

同社は、岩盤の変動、コンクリート内部のひずみ・内部応力、工事域近傍の既設構造物の沈下・傾斜等、さまざまな挙動を検知するために用いるセンサーのメーカーである。これらのセンサーは、ダム・トンネル・橋や超高層ビル等の大型構造物をつくる際に、施工中の安全と完成後の安定を確保するために用いられる。横浜ベイブリッジ、ランドマークタワーなど日本を代表する構造物にも使用された。東京や福岡、韓国にも拠点がある。

●所在地	神奈川県海老名市東柏ヶ谷5-15-18
●電話／FAX	046-233-7744／046-233-9311
●URL	http://www.elmes.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　宮川　勝洋

●設立	1976年
●資本金	8,000万円
●従業員数	62人

品質の高い様々な計測器・技術・サービスを提供

同社は大規模構造物や基礎地盤を施工中に正確に測定・分析し、崩壊事故等が発生する危険性を把握・共有する「計測施工」の計測器とサービスを提供している。自社で幅広い種類の計測器を全て生産しており、現場の状況に応じて素早い改良を行っている。また独自技術で特許取得した製品も多く、提供できる様々な種類の計測器の質の高さにおいて、高く評価されている。東日本大震災からの復興においては、多数の道路工事やトンネル工事等、幅広い種類のインフラ整備工事に、同社の技術・サービスが活用されている。

計測器が使われる現場の写真

計測器開発から現場での計測まで、一貫したサービスを提供

計測器の開発・製造・販売だけでなく、実際の計測作業提供サービスもできる点は他社にない特徴である。現場ニーズに合せた計測器の開発･製造から、当該機材を利用した計測までの業務をパッケージ化することで、ユーザー側に利用しやすく、かつ安価にサービスを提供する。社長の強いイニシアティブのもと、①顧客対応を積極的に行い顧客ニーズの把握の実施、②長年蓄積した高度な技術力を駆使しニーズに極力沿った製品の開発やサービスの提供、の両面を重視した経営が行われている。

計測作業提供サービス例

途上国の発展を支えるインフラ整備への貢献

韓国で土木設計業務を受注した実績を有する他、現在、ベトナムへの海外展開を目指した準備に取組んでいる。ベトナムにおけるインフラ整備の概況や施工上の問題点、計測施工にかかるニーズについて把握したうえで、2019年よりJICAの支援スキーム（中小企業・SDGsビジネス支援事業、基礎調査）を活用し、現地調査等により海外展開準備に必要な詳細情報の収集を進めている。現在、成功確度の高いベトナムへの進出を検討している。

韓国での土木業務事例の様子

株式会社青海製作所

需要獲得 ものづくり

新潟県新潟市

精密加工技術のオンリーワンを目指し 輸送用機械器具製造から医療機器分野に参入

1965年に精密部品加工業として創業。高精度な切削加工、微細加工、薄肉加工、難削材・難形状品の加工を短納期で対応できる生産体制と技術を有している。自動車部品製造が中心だったが、2005年頃から医療機器分野に参入。すでに医療機器メーカーなど多数の業界と取引を開始し、参入後約15年で同社の売上の3割を占めるまでに成長した。近年は海外の医療展示会にも積極的に出展して、海外展開を本格化させている。

●所在地	新潟県新潟市南区下曲通字中江下787番地
●電話／FAX	025-371-1510／025-371-1520
●URL	http://www.aomi-ss.jp/
●代表者	代表取締役　青海　剛

●設立	1992年
●資本金	1,000万円
●従業員数	116人

できるまで挑戦し、精密加工技術でオンリーワンを目指す社風

同社の強みは①小ロット超短納期対応、②薄肉切削加工、超微細加工、難削材加工などの特殊加工、③世界最高水準の品質保証の3点である。これらの強みを可能にしているのは、積極的な設備投資である。同社は、どんな注文にも応えられるように、世界中から最新鋭の機械装置を導入している。特殊加工が可能な設備に加え、世界最高水準の測定器も自社内に設置することで、製造した製品の品質を出荷前に隅々まで検品し、ワンランク上の品質保証を行うことで他社との差別化を図っている。

最新鋭の設備で差別化を図る

卓越した精密切削加工技術で医療関連部品への挑戦

同社が製造する医療用部品は高クラス医療機器が中心。これは、最新鋭の設備によって「どんなものでも作れる、対応できる」ということで他社との差別化が図りやすいためである。現在医療機器参入から15年で、同社の売上高に占める医療関連部品製造は3割となり、医療関連が新たな事業の柱として成立つまでに成長している。医療認可については、2005年に医療機器製造業許可、2014年にISO13485（医療機器品質マネジメントシステム）を認証取得した。

確かな技術による精密切削加工部品

地域の大学や企業と協力し、地域経済の活性化に貢献

地域内の大学や企業との協力関係の確立によって、大動脈解離治療用ステントや腸内洗浄装置等の開発製造を行っている。また、積極的な投資を継続し、工場建設は全て地域内の企業に依頼、設備や工具・材料調達、熱処理や表面処理なども地域内の商社や企業に依頼している。ここ5年で地域内から約50名の雇用を行い、地域経済の活性化に貢献している。技術力を重視する同社は、分業制でなく1人の技術者で製品全てを完結させ、日々新しい案件に取組むことで社員を一流の技術者に育成している。

社員が働きやすい充実した福利厚生施設

有限会社TGテクニカ

需要獲得 ものづくり

新潟県燕市

海上自衛隊で実績のある商品を軸に燕ブランドを確立、新たな需要獲得へ

機械部品金属プレス加工業者で、絞り加工、へら絞りを得意としており、燕本社では金属板金加工、東京営業所では電子制御装置システムの設計製造を手掛けている。家庭用日用品や、自動車部品・制御盤用部品等が主力製品。近年は、コロナ放電による空間清浄器をフォレストウェル社と共同開発し、昨期より販売を開始している。従業員15名は皆、燕三条出身者を採用し、地方創生の一翼を担う「ものづくり」を行う。

●所在地	新潟県燕市小関字江東1414番地1
●電話／FAX	0256-61-6215／0256-61-6220
●URL	http://www.tgtech.co.jp/
●代表者	代表取締役　富樫　克二

●設立	2003年
●資本金	300万円
●従業員数	15人

海上自衛隊に納入した空間清浄器の開発

「j・air」は、空間の空気を活性化させ、小型で置く場所に困らない、ファンがないため作動音がほとんどなく心地よい空間を演出できる、電気代が安いことが特徴。マイナスイオンと低濃度のオゾンを内部で同時に発生させることで、強力な臭いや病原菌の元を制御・破壊する（高さ・幅サイズ125mm、最大25畳程度の空間に対応。国内で実用新案登録済）。すでに海上自衛隊でも導入されており、製品の高品質が証明されている。

小型・静音・高性能の空間清浄器

燕三条の技術力を活かした共同開発品で、利益率の確保を実現

ほぼ全て内製化しているため営業利益率を確保している。今後、知財権を活かして、大手メーカーからのOEM製造の受注獲得や、商品ラインナップの増加で、収益拡大するビジネスモデルを展開する。空間清浄器に注力することで、地方創生の一翼を担い、メイドインツバメのブランドの確立・普及を通じて、地場産業（雑貨・洋食器等以外）の産業発展を目指す。

メイドインツバメブランドの商品例

大気汚染に悩む中国やタイ等への販路拡大

空間清浄器はすでにアジア圏への販売実績がある。今後、大気汚染に悩むアジア圏の国のさらなるニーズ調査を踏まえて、新たな製品開発、海外展開に向けた社内体制の整備や外部ネットワークの活用を進めていく。その際、燕三条地区内での企業連携を活かして生産体制を構築し、地域の雇用確保へ取組む。また、自治体・関係機関との連携した補助金活用、展示会等を通じて販路拡大にも注力していく。

展示会出展を通じた販路拡大

株式会社室岡林業

需要獲得 ものづくり

新潟県上越市

丸太杭の量産体制整備で安定供給を実現 Webサイトでブランディングに成功

新潟県上越市で、地域産木材専門の製材業を営み、全国的に数少ない土木・景観用木材製造を得意としている。地盤改良用の丸太杭の製造に注力し、近年ではWebサイトを活用した情報発信により販路開拓に成功し、関東地方を中心に全国の建設現場へ納品している。自社オリジナル商品の開発にも注力し、高付加価値テーブル、ベンチなどを開発。民間や海外ユーザーからの受注を増やすとともに、木材の用途・販路の新たな可能性を拡げている。

●所在地	新潟県上越市大字下荒浜393-1
●電話／FAX	025-543-6246／025-543-7226
●URL	https://muro-rin.com/
●代表者	代表取締役社長　室岡　大蔵

●設立	1980年
●資本金	1,600万円
●従業員数	13名

丸太杭の量産体制整備と、差別化技術確立で高付加価値を実現

丸太杭専用の製造機を構築（平成25年度補正 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業）し、量産体制を整備。製品ストック量は対前年比4割増で、安定供給と納期短縮を実現した。他社製品との差別化を図るべく、杭頭（建設重機が打撃等の力を加える側）を面取りする技術を確立することで高付加価値を実現、顧客から選ばれる企業へとなった。

丸太杭を用いた地中の森工法

Webサイトによる集客の仕組づくりとチャネルの見直し

顧客の理解を深めるため、Webサイトで商品情報や導入事例、一貫したものづくり・サービス体制を発信し、独自性や魅力を伝えている（ブランディング）。これにより、全国から問合せが寄せられるようになり、新規顧客との折衝数が大幅に増え、受注獲得につながっている。潜在顧客の掘起しにもつながり、高付加価値商品である"ゆきまがりベンチ"は、既製品では満足できないユーザーニーズを捉え、同商品の販売数が増えたことで、利益率改善に寄与している。

ゆきまがりベンチ

上越地域産木材の新たな需要発見、海外ユーザーへの提供

オーストラリア出身のインバウンド専門のペンション経営者から、Webサイトを通して、「豪雪地域特有の雪の重みで根が曲がった形状の木材で、オリジナリティ溢れる家具づくりをしたい」との要望を受け、同社は立木の選別・伐採・製材・加工・品質管理まで一貫して行った。従来、豪雪地域の木材は扱い難さから敬遠されてきたが、海外のユーザーにとっては独創的と感じ取られ、上越地域産木材の新たな需要掘起しと、魅力再発見につながった。これをきっかけに、海外ユーザーへの販路開拓を目指している。

雪国がつくった美しいデザイン

日の出屋製菓産業株式会社

需要獲得 サービス

富山県南砺市

地産地証こだわり商品の“コト消費”拡大 自ら観光資源を創出し地元に還元する

創業95年の米菓メーカーとして、顧客接点を重視し、直営店や通販等の直販ルートを強化、工場見学や手焼き体験可能な複合施設を開設することで、ファンの獲得と客単価向上を図ると同時に、地元の着地型観光への貢献を行っている。「類ありて比なし」の理念の下、地域資源を使用し「地産地証」を展開する。2011年に原料米の富山県産100%を達成、富山県地産地消優良活動賞を受賞、自然循環型企業を目指し直営自社農場を営んでいる。

●所在地	富山県南砺市田中411
●電話／FAX	0763-52-3011／0763-52-2153
●URL	https://www.hinodeya-seika.com/
●代表者	代表取締役会長　川合　声一

●設立	1924年
●資本金	8,000万
●従業員数	360名

富山県産の素材を使い、地産地証のこだわり商品を実践

庶民の生活に溶け込む懐かしい米菓作りを起源に、自社精米、富山米100%、国産副材料にこだわり、昔ながらの杵つき製法で作る米菓を生産。富山県産の素材を使い、その土地で製造し安全・安心の証明まで行う地産地証を推進し、差別化を図っている。精米時の米糠を有効活用、収穫した農産物の直営店販売や、製品の副材料活用に繋げる自然循環型農業により、さらなる差別化を展開している。安全・安心を証明するため、一般客にも工場見学を公開し「地産地証」を実践している。

昔ながらの杵つき製法

“コト消費”拡大に向けたサービス展開

顧客接点の強化やファン作り、そして「コトづくり」強化のため、工場見学や手焼き体験、喫茶を併設した複合型施設を開設し、地元企業や施設、個人と連携している。大手旅行会社にはない地元の自然、文化、食等の強みを活かした着地型観光を推進し、インバウンド需要や域外誘客に務めている。台湾atreにも直営店を出店し、世界遺産五箇山の古代民謡「こきりこ踊り」披露等の現地メディアへの露出戦略により、訪日観光客を誘致する好循環を図っている。

台湾atreの直営店

“北陸”を軸とした斬新なアイデアによる認知度向上

主力商品原料のしろえびのブランド化のため「富山湾の宝石」を商標登録し、認知度向上を図っている。金沢金箔との連携による最高級米菓の製品化、地域資源を活用した新商品開発にも注力する等、斬新なアイデアによる認知度向上やブランド化を推進している。お客様に安心して召し上がっていただく目的で、しろえびせんべいファクトリー（立山工場）では工場見学、ささら屋福光本店・立山本店ではおせんべい手焼き体験を行い、地域に根差した活動を行っている。

しろえびせんべいファクトリー

株式会社白山

石川県金沢市

世界シェア第2位の光コネクタメーカー 拡大する需要に対応して生産性向上

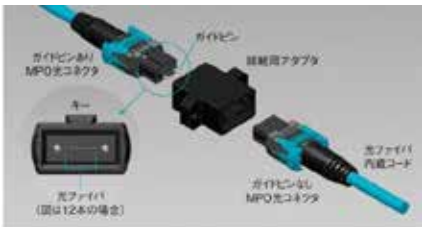
同社は東京三田で創業し、旧電電公社の電話機を雷から守る雷防護装置（保安器）を製造してきた。その後、2016年10月に本社を東京から製造拠点がある石川県に移転し、光通信関連製品などの開発・製造に注力している。また、石川県工業試験場や北陸先端科学技術大学院大学と連携し新たな事業（熱電素子開発）にも取組む。

●所在地	石川県金沢市鞍月2丁目2番地 石川県繊維会館1階
●電話／FAX	076-255-2875／076-255-3495
●URL	https://www.hakusan-mfg.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　米川　達也

●設立	1947年
●資本金	10,000万円
●従業員数	101人

データセンタに不可欠な世界トップレベルの光コネクタ製造

同社の光関連製品は、高度なプラスチック成型技術を用いた光ケーブルを接続するコネクタである。特に北米を中心とするIT企業のデータセンタ内の機器を繋ぐ際に用いられ、世界シェア第2位を誇る。光ケーブルの接続では、光が通過する穴の精度がサブミクロン（1/10ミクロン）単位で求められ、同社は世界最高の低接続損失レベルである。最近のコネクタへのニーズは、「より小さくより大容量かつ高速の通信を可能にすること」で、同社はさらなる高い成型技術の実現に向け、金型の開発などにつとめている。



プラスチック成型技術を用いた光コネクタ

海外ユーザーとの直接取引の確立と、海外展開体制の構築

光通信のニーズは、光通信回線から、巨大なデータセンタ内の光配線、装置間等をつなぐ光伝送路へと、その応用分野が加速度的に広がりつつある。現在の光コネクタの同社の世界シェアは25%で第2位であるが、シェア拡大に向けて、国内商社経由の海外（米、欧）展開だけではなく、海外ユーザーへの直接販売ルートの確立とユーザーニーズ把握を進めている。海外展開のさらなる強化のため、元JETROの職員を採用し海外展開の専任として体制を構築している。

データセンタ内の光配線

需要拡大に対応するため、工場をIoT化し生産性を向上

世界的な需要拡大に伴い、同社のコネクタ需要は増加しており、生産工場をIoT化して生産効率を高めている。生産工場では、現在13台の製造機械で約70万個/月のコネクタを製造しているが、全ての機械にセンサーを取付け、それぞれの機械の稼働時間や生産個数、トラブルの有無をモニタリングできるようにした。その結果、従来5~6人配置していたオペレーターを2人まで削減でき、これらの削減人員を検査業務などの必要な工程に配置することで生産性が大きく向上している。

生産工場をIoT化

北陸製菓株式会社

需要獲得 ものづくり

石川県金沢市

安全な原料、地域の食材で作った健康志向のお菓子を、世界の家族みんなに届けたい

1918年に設立し、第2次世界大戦中は乾パン・乾燥飯を、戦後はビスケット、クッキー、米菓、煎餅等の菓子を製造・販売。近年は地元食材を活かしたビスケットや、「ビーバー」等の地産・地消の製品、ムーミン、サンリオ、ドラえもん等の人気キャラクターのコラボ商品等、多種多様な製品を手掛ける。添加物不使用や食物アレルギー対応の商品開発にも積極的に取組み、安全・安心を最優先した、世代を超えて愛されるお菓子作りを目指す。

●所在地	石川県金沢市押野2丁目290-1
●電話／FAX	076-243-1000／076-244-6686
●URL	https://hokka.jp/
●代表者	代表取締役社長　髙﨑　憲親

●設立	1918年
●資本金	5,000万円
●従業員数	110人

健康志向の時代に応える、素材を活かした安心・安全なお菓子

基本製法は創業以来100年間変えていない。素材本来の味を最大限に引出すため、余計なものは極力入れず、飽きのこないシンプルなおいしさを大切にし、家族みんなで食べたい安心なお菓子を丁寧に作る。現代では、おいしいだけでなくカロリーや原材料にこだわった商品が好まれ、食物アレルギーに悩む人も増えた。これまでの商品イメージは守りながら、健康志向の高まりを受け、「素材でカラダ想い」シリーズの商品開発に積極的に取組むとともに、ベビーフード事業への参入も視野に入れている。

女性中心の企画開発チーム

地元や北陸の地域資源を活用したお菓子で、地域を活性化

「米蜜ビスケット」は、長い歴史を持つ「飴の俵屋」の「じろあめ」、(株)ヤマト醤油味噌の「玄米甘酒」を使用して料理研究家と共同開発した。地元企業と連携し、金沢の地域資源を活用した、会社を代表する菓子である。富山の白えびを使用した「ビーバー」は、米国NBAの八村塁選手のチームメイトのSNSがきっかけで人気商品となった。今後は北陸を世界に発信する地元キャラクターとして育てながら、さらなる輸出促進に繋げていきたい。

ビーバー(菓子とキャラクター)

企業理念「世界に笑顔とおいしさを届ける」の新たな挑戦

国内市場減少のなか、いち早く海外販路の獲得に目を向けるとともに、アジアでのキャラクター商品の人気を踏まえ、サンリオ、ドラえもん、ムーミン等の人気キャラクターのビスケット、クッキーの販売を開始した。2015年から輸出を本格化し、原則的に各国に総代理店を置き、一社独占販売を実施。現在は中国、韓国、台湾、香港、マカオ、ベトナム、カンボジア、タイ、マレーシア、シンガポール、豪州、米国等、13か国へ輸出し、輸出額は全売上の10%を占める。生産性向上に向けた設備投資に加え、食の安心安全及び輸出における品質管理の目的でHACCPの認証を取得し、付加価値向上に取組む。

サンリオ、ドラえもん商品

株式会社北菱

需要獲得 ものづくり

石川県小松市

下水管の維持管理にロボットが活躍
設計からアフターサービスまでの一貫体制

1950年に自動車販売業として石川県小松市で創業し、70周年を迎える。現在は、建設機械・産業機械部品のほか航空エンジン部品の一貫製造、特殊車輌・下水道維持管理製品を扱う。自社製下水道維持管理ロボットを商品化し、ドイツ製下水道ロボットの輸入・販売も開始する。自社商品スーパーミニモグプラスは、2019年にグッドデザイン賞を受賞。2018年にJISQ9100の認証取得を行い航空機エンジン部品製造への参入を果たした。

●所在地	石川県小松市長田町イ18
●電話／FAX	0761-21-3311／0761-21-9800
●URL	https://www.kabu-hokuryo.com/about/
●代表者	代表取締役社長　谷口　直樹

●設立	1957年
●資本金	4,101万円
●従業員数	120名

狭い下水管の維持管理をデザイン性にも優れたロボットで実現

下水道維持管理ロボット、穿孔機（下水道管内の異物除去や更生工事後のライニング材の穴あけで使用）は、人が中に入って作業ができない口径600mm以下の下水道管において、異物や木の根の除去を行う。管内の流動空間を確保するとともに、さらなる下水管の損傷を防ぐことができる。下水道管メンテナンスロボットの研究開発は、2017年度いしかわ企業研究者表彰事業表彰を受け、研究開発に積極的な姿勢と、壊れにくい設計技術力が高い評価を受け、2019年度「グッドデザイン賞」を受賞している。

下水道本管用穿孔ロボット

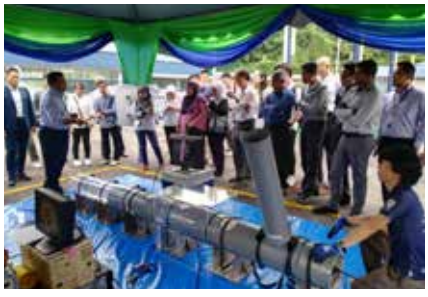
自社独自の一貫システムによる高いクオリティの実現

設計→製造→検査→アフターサービスをワンストップで行う「一貫システム」にこだわり、お客様ニーズに応えている。世界的な成長産業である航空機産業において、航空エンジンの難削素材加工及び精密部品加工ニーズが高まっている。技術的にも性能的にも高いクオリティを求められるため、工法設計・加工・品質検査の「一貫システム」で取組み、業界のニーズに応えている。今後の業界拡大に合わせ、積極的な設備投資を行い生産能力拡大、技術革新を図ることで業界の成長にも寄与している。

自社独自の一貫システム

マレーシアの下水道課題を解決すべく、進出を準備中

JICAの案件化調査を実施し、マレーシアの現地調査及び下水道維持管理団体への自社商品の販促や紹介活動を実施している。現地サプライヤーとの代理店契約を締結し、海外市場へのビジネス展開に積極的に取組んでいる。マレーシアの下水道課題をモデルケースに、他国への展開も検討している。海外の企業訪問や展示会の視察、出展にも積極的で、エアショー2020in SingaporeとFunboroughでは、海外企業との商談会に参加し、プレゼンを行う予定としている。


マレーシアでの現地調査

メカトロ・アソシエーツ株式会社

需要獲得 ものづくり

石川県小松市

産業用ロボットに特化した高い技術力 海外の需要拡大にも積極的に取組

2006年に石川県小松市で産業用ロボットメーカーとして創業。システム設計から導入までのメカニカルサービス、技術サービス、治具設計や製作、販売までをトータルに手掛けている。「ケズルーノ」「ナラウーノ」等ユニークなネーミングのロボットシステムは、多くの企業が直面する省力化や昨今の人材不足に対応するものであり、ニーズが一層高まっている。海外の需要拡大にも積極的に取組み、4期連続過去最高売上高を更新している。

●所在地	石川県小松市一針町ヌ57-1
●電話／FAX	0761-21-6166／0761-21-6388
●URL	https://www.mec-as.co.jp
●代表者	代表取締役　酒井　良明
●設立	2006年
●資本金	2,000万円
●従業員数	15名

産業用ロボットに特化した技術で、高付加価値サービスを提供

産業用ロボットに特化した高い技術力で、システム設計からメンテナンスまで一貫した付加価値の高いサービスを提供している。社員全員がSIerとして高い能力を持っており、取引先の現場での自動化ニーズに的確に対応できるロボットシステムをコーディネートしている。平成25年度に新連携事業計画の認定を受け、職人の持つ「磨きの技」のデジタル化に取組み、仕上げ磨きロボットで再現することで、顧客のニーズに的確に対応している。

ワークにそって『ナラウーノ』チラシ

現場のニーズにきめ細かく対応する、ロボットシステムの提供

産業用ロボットは、製造現場での扱いやすさを重視した開発を行っており、対話式プログラム利用により現場作業者でも簡単にプログラム作成が可能となっており、ロボット初心者でも短時間で操作できるように設計されている。工作ロボットには、顧客が理解しやすいようにユニークでわかりやすいネーミングを用いるとともに、3D図面やシミュレーションを用いた販売活動からアフターフォローまで、技術力の高い営業社員が高いサービスを提供している。

ユニークなネーミングの工作ロボット

海外での積極的な新規需要取込による売上拡大

顧客である国内自動車メーカーやサプライヤーが生産拠点を海外に移転するなか、自社の技術力が活かせる自動化・省力化のニーズが高まると判断し、2015年にタイに現地法人を設立した。海外の販売においては、低価格化への創意工夫や用途の拡大、代理店の拡大にも積極的に取組み、プロモーションによる認知度を向上させることで、売上を伸ばしている。海外展開の実績により、新たな国内の取引先を開拓することにも成功している。

タイに現地法人を設立

タカノクリエイト株式会社

需要獲得 ものづくり

石川県加賀市

山中漆器の技術とICTを活用した生産体制で国内外の顧客の要望に対応

業務用樹脂食器の製造販売やノベルティ等の供給を行っている。デザイン設計から成型、製造まで一貫したシステムで、製造・販売、複雑形状や多品種小ロット等、顧客の要望に対応。柔軟な開発体制により、大手回転寿司チェーンで使用されている寿司皿の国内でトップシェアを維持。環境問題に対応するため、リサイクル可能なPET樹脂に、山中漆器産地の技法を用い、創業以来の実績とノウハウでコストを低減した確かな製品を製造している。

●所在地	石川県加賀市宇谷町タ1番地5
●電話／FAX	0761-76-0070／0761-77-3538
●URL	http://www.takano-create.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　小西　広大

●設立	1969年
●資本金	4,800万円
●従業員数	38人

漆器の技術とノウハウで複雑形状や小ロット多品種生産を実現

漆器産地で培った実績と技術、ノウハウを活かし、プラスチック食器等のコストダウンを図り、品質の良い製品を実現した。商品の用途に応じ、デザイン・設計・金型・樹脂選定・二次加工等を行う一貫したシステムで商品を製造・販売している。「ICTを活用した山中漆器生産性向上プロジェクト」を導入し、成型・塗装・蒔絵の分業体制を見直して効率化に取組んだ。また、一部で職人の「塗り」工程を導入し、複雑形状の製品や小ロット多品種生産が可能な技術力で、製品の品質や信頼性を確保、製品の優位性を確立できた。

伝統の技術が受け継がれている山中漆器

ユニバーサルデザイン製品開発とジャストインタイムの生産

主力製品の樹脂製食器では、自動会計対応の寿司皿や、年齢・性別・国籍に捕らわれないユニバーサルデザインを盛込んだ製品の開発。海外店舗向けの製品では、現地特有の色彩やデザインの需要に合せて、顧客獲得につながるビジネスモデルを構築している。また、ジャストインタイム生産方式で、回転寿司店の在庫負担をなくして輸入品との価格競争力が発揮できたことで、海外企業から輸入している企業が同社製品へシフトするよう取組んでいる。寿司皿の国内生産で70%のシェアを保っている。

国内外で利用されている回転寿司皿

環境配慮型食器をパナソニック電工（株）と共同開発

環境問題対応した塗り物PET樹脂製の寿司皿を、業界で初めて製品化した。ペットボトルと同じ素材を塗り物用・レンジ対応用の用途別に新素材を開発。特長は①環境ホルモンを含まない、②燃やしてもダイオキシンが発生しない、③塗り加工が施されたままリサイクルできる、④耐熱性が高い、⑤臭気がなく味移りしない等である。環境に配慮したエコな製品は軽くて割れず、積みあげれらるという機能を持ち、今までにない製品を実現できた。

地球にやさしい環境配慮型食器

福井経編興業株式会社

需要獲得 ものづくり

福井県福井市

ニット生地の製造技術をメディカル製品の開発に応用、新たな事業分野の需要を開拓

ニット生地の製造メーカーとして、婦人紳士衣料、スポーツウェア、資材用途等、あらゆる生地の開発・製造を手掛ける。ラグビーワールドカップ2019の日本代表フォワード用ユニフォームにも同社の生地が採用された。創業以来75年間培ってきた「編み」の技術を生かし、近年はメディカル製品の開発に注力している。「心・血管修復パッチ」は疾患のある小児の身体の成長に合わせて伸長する特性を持ち、2019年に臨床試験を開始した。

●所在地	福井県福井市西開発3丁目519-3
●電話／FAX	0776-54-3602／0776-54-3692
●URL	http://www.fukutate.co.jp
●代表者	代表取締役社長　髙木　義秀

●設立	1944年
●資本金	8,000万円
●従業員数	90人

あらゆる機能性素材を製造する、経編業界のトップランナー

創業以来ニット生地の製造を手掛け、ストレッチ性を誇る「ハイテンション」シリーズは20年以上続くロングセラー商品である。婦人紳士衣料をはじめ、スポーツウェア、ユニフォーム、車輛用内装材、資材用途まで、あらゆる機能性素材の開発を行っている。ラグビーワールドカップ2019の日本代表のフォワード用ユニフォームにも同社の生地が採用され、前回大会より12%の軽量化、9%の耐久性向上を実現した。

ラグビーワールドカップ2019のユニフォーム

「衣料」から「医療」へ、編み技術をメディカル製品に応用

新規事業としてメディカル製品の開発に着手し、世界で初めて、疾患のある小児の身体の成長に合わせて一緒に伸長する特性を持つ「心・血管修復パッチ」を開発した。これまで必要であった再手術を回避し、患者の負担を軽減する。池井戸潤氏の小説「下町ロケット ガウディ計画」に登場する新技術のモチーフとなり、テレビドラマにも協力した。2019年5月に臨床試験を開始し、経過は順調である。また、福井大学医学部と産学連携し、低摩擦で通気性が良く床ずれを予防する「褥瘡予防ベッドシーツ」の開発を進めている。

心・血管修復パッチイメージ

メディカル製品量産に向けた、製造体制と品質管理体制の構築

「心・血管修復パッチ」の量産に向けて、メディカル製品専用のクリーンルームを設置した。また、製造プロセスを管理する「メディカル推進プロジェクトチーム」を新設し、医療機器の品質マネジメントシステムISO13485：2016の認証を取得した。製造体制、品質管理体制に万全を期し、高付加価値の製品を新たな事業の柱とする。工場では編みあげた反物を検査出荷場まで自動搬送するロボットの導入、生産スタッフの多能工化等によって生産性を向上させている。

編立工場全体

有限会社北陸ベンディング

需要獲得 ものづくり

福井県鯖江市

眉骨で支える新発想のさばえルーペの誕生
地元同業他種連携による異業種需要の獲得

めがねのまち鯖江で眼鏡部品を中心に金属加工を行う。「ベンディング（巻き）加工」と「コイリング（曲げ）加工」を得意とし、難加工材であるチタンやチタン合金を自在に扱う業界屈指の技術力を誇る。既存の技術にこだわらず、レーザーマーキングやレーザー溶接、ロボット導入など新しい技術も積極的に取入れている。長年の金属加工で培ってきた確かな技術や知見を使い、自社開発した『さばえルーペ』が多方面から絶賛されている。

●所在地	福井県鯖江市舟枝町5-13-4
●電話／FAX	0778-54-0123／0778-54-0700
●URL	https://www.h-bending.co.jp
●代表者	代表取締役　萩原　勉

●設立	1993年
●資本金	1,500万円
●従業員数	30名

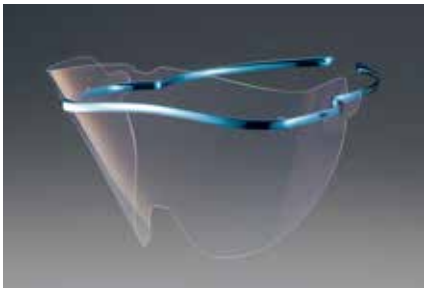
「さばえルーペ」　～今までにない天使の掛け心地～

眉骨で支える新発想の「さばえルーペ」は、鯖江市長が命名した。眉骨でフロント部を支え、後部は頭をテンプルで包み込むように装着する構造にすることで、荷重が分散され、今までにない柔らかな掛け心地と安定感を実現している。眼鏡の保持方法と競合しないため、ストレスなく眼鏡と併用が可能となっている。開発の段階から携帯性を重視し、レンズ保持部やテンプルを折りたためる構造としたことで、収納時の厚み約13mmを実現。胸ポケットに収まる専用ケースで持ち運び可能となっている。

眉骨で支える新発想の「さばえルーペ」

今後需要が増えるであろう、ウェアラブルフレーム製作に特化

2012年ごろ海外大手IT企業からの依頼で、チタン製ウェアラブルフレームの試作を始めた。他国の企業との競争に総合力で勝りファーストベンダーとなる。試作機の開発から一次量産まで携わり、確固たるチタンフレームの曲げ技術を確立。このとき得た技術力と知見が国内の様々な企業から求められ、数々のウェアラブルフレームの開発依頼を受けるまでになっている。現在手掛けている医療シールド用チタンフレームは、欧州などに輸出され高い評価を得ている。



医療シールド用チタンフレーム

地元同業他種企業との連携を強化し、異業種からの需要獲得

横の連携がない眼鏡業界において、受注減少に危機感を覚えた同業他種企業5社（現在は6社）が、異業種からの需要獲得のため平成20年に「チタンクリエーター福井グループ」を立ちあげ、結成。展示会等で、眼鏡部品製造で培った技術力をアピールし、医療や美容、アクセサリー等、様々な異業種から受注獲得に成功。グループ内で対応できない案件は、他の県内企業を紹介する等、パイプ役も担っている。

チタンクリエーター福井グループ展示会

株式会社NCC

需要獲得 ものづくり

福井県鯖江市

業界初の低温処理イオンプレーティング装置を開発し幅広い素材の加工を実現

大手眼鏡フレームメーカーで、長年イオンプレーティングの技術開発に携わってきた社長が独立し、2005年創業。超硬質で上質なカラーリングに特徴のあるイオンプレーティングの受注加工並びに、イオンプレーティング装置製造・販売業を展開。独自開発のイオンプレーティング装置により業界初の低温処理が可能となり、金属だけでなく幅広い素材への加工を手掛ける。

●所在地	福井県鯖江市吉谷町2-97
●電話／FAX	0778-52-9077／0778-52-9078
●URL	https://www.ncc-japan.com/
●代表者	代表取締役　下内　孝博

●設立	2005年
●資本金	1,500万円
●従業員数	15人

業界初プラスチック製品のイオンプレーティング加工を事業化

イオンプレーティングとは航空宇宙技術の一貫としてアメリカNASAで開発された技術で、切削工具や金型の耐久性向上の技術として世界に広まった。同社では独自に開発した装置とその装置のオペレーションプロセスのノウハウにより、金属以外の加工も可能とした。低温処理技術によりプラスチック製品へのイオンプレーティング加工を業界で初めて事業化した。オーダーメイドによる設計から製作・運用サポート・メンテナンスまで一貫して行い、納入先とワンストップで繋がることで価格競争を回避できた。

装飾性の高いプラスチック製品

合弁会社を設立し東南アジアでイオンプレーティング事業展開

イオンプレーティングの海外事業展開を見据え、台湾での商談会に参加。2020年に台湾での合弁会社設立が確定しており、現在、現地でのイオンプレーティング技術者・管理者の育成に注力している。合弁先は電気メッキ装置の製造販売事業で東南アジアの華僑系企業を中心にシェアを持ち、当社のイオンプレーティング受託加工事業との連携により表面処理事業のシェア拡大を目指す。合弁は数年後の東南アジアへのイオンプレーティング装置販売事業も視野に入れ取組んでいる。

イオンプレーティング装置で海外展開

地域の眼鏡産業で培った独自の加工技術で課題解決に貢献

鯖江市の基幹産業の眼鏡産業で培った独自技術により、眼鏡フレームの表面処理企業に装置の販売、技術を指導している。市内の越前漆器メーカーや近隣の越前焼（陶芸）の工房と連携した新商品の開発。高度なチタン加工技術で医療機器（外科用手術器具）の製造する眼鏡メーカーと協力し、人にやさしい金属アレルギーフリーの同社のイオンプレーティング被膜技術の活用に取組んでいる。社長は“大きい会社”ではなく、従業員にも、顧客にも、社会にも、満足感、幸福感を届けられる“良い会社”を目指している。

人に無害の金属被膜に対応した製品

株式会社カンバーランドジャパン

需要獲得 サービス

長野県長野市

国内初の災害用としてのトレーラーハウス 他社にはない特徴的な構造で需要を獲得

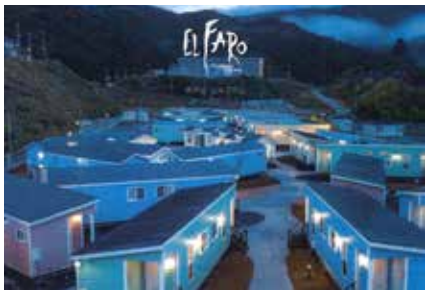
1994年レジャー用トレーラーハウスの製造販売を目的に、長野県長野市で創業。創業した当年に阪神淡路大震災が発生したことを契機に、2016年日本で初めて被災者向けの居住用トレーラーハウスを納入。利便性や価格等の面から、従前の仮設住宅よりも優れていたことから注目を浴びることとなり、その後は、レジャー用と災害用の両面から事業拡大。日本RV輸入協会に入会し、現在は理事長としてトレーラーハウスの普及に尽力している。

●所在地	長野県長野市南長池337-1
●電話／FAX	026-221-9997／026-221-4848
●URL	http://thno1.com
●代表者	代表取締役　原田　英世

●設立	1995年
●資本金	1,000万円
●従業員数	17名

国内初の「災害用」としてのトレーラーハウスの利用

被災地では、1日も早い復興を必要としている。従来の仮設住宅は、建設までの時間やコストの面で問題があり、トレーラーハウスで代用することを提案している。容易に移動可能で取壊す必要がないこと、バリアフリー等にも対応可能なこと、災害時の住宅としての優位性により、活用が徐々に広まっている。トレーラーハウスには、車輪がついており、全国どこへでも輸送が可能となる。設置した後でも容易に動かすことが可能で、長い期間居住が可能となり、被災地復興の妨げにもならない。



トレーラーを利用したホテル エルファロ

トレーラーハウスできままな田舎暮らしを提案

トレーラーハウスは、本来はレジャー用であり、農地や山間部に設置し、農業体験等をする際の居住施設としての利用を検討している。山間部でのアクティビティや農業体験は、首都圏や外国人からの評判も高く、インバウンド需要を取込むことや、観光資源を活用した地域活性化にもつながる。長野県内は、DMO（観光地域作りのかじ取りを行う法人）の設立も盛んであり、レジャー用トレーラーハウス事業では、他社や団体を巻き込んだ活動となる。

田舎暮らし　トレーラーハウスの活用

他社にはない特徴的な構造と配慮

自社トレーラーハウスは、特殊な屋上構造やバリアフリー等、他社製品にはない特徴がある。社長自身が主体となり業界団体を設立し、自治体との連携をいち早く行ったことで、他社よりも先んじて様々な情報を収集することが可能となっている。情報収集力や対応実績により、自社のトレーラーハウス提案を付加価値の高いものにしている。自社トレーラーハウスは、災害発生時高速道路を適法に走行可能であり、被災地にスムーズに輸送可能なことや、納入実績も豊富なことから、安心感という付加価値を提供している。

他社にはない特徴的なトレーラーハウス

株式会社信栄食品

需要獲得 ものづくり

長野県松本市

地元生産者と連携し自社ブランド開発 “品質・ヘルシーさ”をキーに海外へ進出

国産原料にこだわった餃子の専門メーカー。大手スーパーや飲食店向けのOEMを手掛け、小売業向け総菜用餃子のシェアは全国でもトップクラスを誇る。新たな需要獲得のため、地元生産者と連携し、自社ブランド製品「松本一本ねぎ餃子」を新たに開発。海外展開にも積極的に取組んでおり、アジア、豪州等にも展開。社会貢献活動として、市内小学校で食育事業に取組み、伝統野菜を次世代に繋げるための活動を行っている。

●所在地	長野県松本市並柳4丁目1番37号
●電話／FAX	0263-26-6261／0263-26-6878
●URL	https://www.sinei-foods.co.jp/
●代表者	代表取締役　神倉　藤男

●設立	1993年
●資本金	1,000万円
●従業員数	40人

地元生産者と連携し、地元産品を活用した新たなブランド確立

同社はOEM取引において、単に大量生産するのではなく、取引先のニーズに応えたオリジナルの味つけや、大手では対応できない多品種・小ロット・短納期を実現している。この顧客に寄り添ったものづくりに取組んでいる点が、同社の強みである。さらに、新たな需要獲得を目指して地元生産者と連携し、地理的表示登録した伝統野菜を活用する自社ブランド製品「松本一本ねぎ餃子」を新たに開発。国産原料の使用・食の安全性も追求し、ISO22000およびFSSC22000を取得済である。

松本一本ねぎ餃子

直営店でニーズを把握し、消費者目線の新商品開発

顧客ニーズをいち早く掴み、売れ筋の選定や新商品開発に結びつけるため、直営店を展開している。アレルギー対応や保存料無添加等、健康に配慮した、グルテンフリー米粉餃子、糖質や塩分を抑えた医療・介護食向けの餃子等の商品を開発・販売している。また高齢者の健康食としてたんぱく質を多く含んだ餃子等も開発。さらに企業間連携を活用して、同社がハブとなって新商品開発に積極的に取組んでいる。地元の味噌・醤油メーカー等と連携して、発酵食品を使った餃子の開発にも取組んでいる。

開発した低糖質餃子

松本発の高品質な「ギョーザ」を世界へ

少子高齢化・人口減少を背景に、国内需要に依存した展開では新たな需要獲得が困難になるため、海外展開に積極的に取組んでいる。オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、香港、タイ、アメリカに輸出している。海外での日本食ブームを追い風に、現地での学校給食への採用を皮切りとして、一般家庭、日本食レストランにも取引先を拡大。「品質」「ヘルシーさ」を志向する現地富裕層をターゲットにした商品開発（保存料･化学調味料無添加商品等）も行い、更なる海外需要獲得を目指している。

ベジタリアン、ビーガン向け餃子

株式会社日邦バルブ

需要獲得 ものづくり

長野県松本市

新技術と一貫製造体制を活かした製品開発 ユーザーニーズを先取りし需要を獲得

明治16年創業、水道用バルブ国内シェア3位の100年企業。ニーズを先取りする開発力と、素材から製品までの一貫製造体制が強み。ライフスタイルの変化に対応した新バルブ開発に努め、ボールバルブ導入や安全・安心を確保する逆流防止用具の普及、高層住宅における新給水システムの提案等、ユーザー目線での新製品開発、付加価値向上に取組んでいる。信州大学との共同研究や欧米との技術提携等にも、積極的に取組んでいる。

●所在地	長野県松本市笹賀3046番地
●電話／FAX	0263-58-2705／—
●URL	https://www.nippov.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　菅原　博

●設立	1948年
●資本金	25,000万円
●従業員数	330名

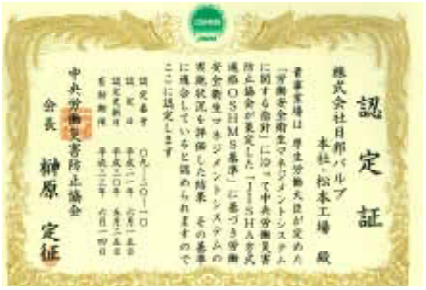
ニーズを先取りする開発力と素材から製品までの一貫製造体制

ライフスタイルの変化に対応しながら、ユーザー目線での製品開発に取組む。ユーザーの安全・安心のため、新技術を採用した給水管の逆流防止装置の開発等、製品開発でも卓越した技術を有している。鉛の新浸出基準をクリアした鉛レス青銅合金「セイフアロイ」を業界に先駆けて開発し、人に優しく環境に配慮した素材として、全ての製品に使用している。素材の調達から始まり、鋳造・加工・組立、出荷まで一貫した自社生産体制と、高品質でニーズを先取りした設計・開発により、他社との差別化を行っている。

素材から出荷までの一貫した自社生産体制

地球環境に配慮した製品・従業員を大切にする職場環境づくり

創業136周年を迎えた同社は、時代を先取りしたものづくりのみならず、従業員や自然環境を大切にした経営を行っている。水質保全の観点から、人と自然に優しいエコロジカルな製品づくりに取組み、ISO14001も取得。従業員の職場環境の改善にも注力し、従来危険な作業工程であったラインに対して、最先端の自動化等の設備を導入し「災害ゼロから危険ゼロへ」を合言葉に、積極的にリスクを回避する労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）を取入れた、安全管理の徹底に取組んでいる。


認定証

労働安全衛生マネジメントシステム認証書

産学官連携による「低圧損減圧式逆流防止器BLH」の開発

欧米発祥の給水用具である「減圧式逆流防止器」の水圧の損失を大幅に低減した「低圧損減圧式逆流防止器BLH」を製品化した。開発にあたり、地元大学との連携を強化し、産学共同研究事業助成金（松本市）の活用、国立大学法人信州大学との2年半の共同研究、さらに経済産業省の平成21年、24年ものづくり補助金を経て、低圧損化の基本原理を、国内外で特許2件を取得。BLHの普及や、より安全な水使用環境の啓発のため、成果を発信し、地域経済の活性化にも寄与している。

BLHと止水栓を組合せたユニット

白馬観光開発株式会社

需要獲得 サービス

長野県北安曇郡白馬村

地域の魅力を再発見、日本有数のスキーリゾートから四季を楽しむリゾートへの進化

国際山岳リゾートとして国内外、特に豪州等の人気が高い白馬村と小谷村において、八方尾根・白馬岩岳・栂池高原という、日本有数のスキー場を運営する索道事業者。周辺3市村の10スキー場で構成する「Hakuba Valley Promotion Board」の中心を担う企業。共通リフト券の導入や民宿街のリノベーション等、周辺エリアと連携しながら、白馬ブランド強化とグリーン期の需要拡大に向けて地域を牽引している。

●所在地	長野県北安曇郡白馬村大字北城6329-1
●電話／FAX	0261-72-3150／0261-72-4742
●URL	https://www.nsd-hakuba.jp/
●代表者	代表取締役社長　和田　寛

●設立	1958年
●資本金	10,000万円
●従業員数	92人

白馬山麓10スキー場で連携、共同でプロモーションを展開

白馬山麓10スキー場では、同社を含む企業14社がHakuba Valley Promotion Board（HVPB）を設立。HVPBが中心となって、1つのスキー場として楽しめる共通の自動改札システムの導入や、シャトルバスのスキー場間の頻繁な運行等を行い、利便性を向上した。SNSやインフルエンサーを活用したプロモーションを中国等に展開、昨シーズンの外国人は総来場者の2割を超え、約37万人と過去最高を記録。

シャトルバスに乗る、外国人スキー客たち

冬の白馬から、四季を楽しめる「通年マウンテンリゾート」へ

白馬地域はスキー・スノーボード人口減少、高齢化等の課題に直面し、スノーリゾートから通年型マウンテンリゾートへと転換を図っている。グリーン期の誘客のために、白馬岩岳の山頂テラスやアドベンチャー施設「白馬つがいけWOW!」の開設、トレッキング、登山、マウンテンバイク、ドッグラン、幼児・小学生向け大自然体験プログラム等、様々なアクティビティを整備。白馬村の2019年グリーン期の来場者数は約106万人と前年の11%増になり、過去5年間の最高を記録。冬期以外もファミリー層や若年層を呼び込む仕組みの構築に貢献した。

アドベンチャー施設で楽しむ家族連れ

地域生産者、外部企業・組織と連携し、白馬地域の魅力を向上

長野県内金融機関、地域経済活性化支援機構（REVIC）等が運営する「ALL信州観光活性化ファンド」の支援を受け、地域の「食」の魅力を高めるため、地元産の白馬豚を使ったハム・ソーセージを製造・販売する工房を設置。また、廃業の続く民宿街を長期滞在に適した「高級古民家リゾート」に整備する取組を進めている。アウトドア総合メーカーとも共同出資し、体験型複合施設「スノーピークランドステーション白馬」を今春開業する。

白馬豚のハム・ソーセージ

合同会社おひさま

需要獲得　サービス

岐阜県中津川市

『競争社会』ではなく『共想社会』を目指し地域で最新・最幸のサービスを提供

『競争社会』ではなく『共想社会』を目指し、他と同じものをつくらない、新しい価値を創造する。高齢者、障害児童に対するリハビリテーションやデイサービスなど、医療・福祉を中心としたサービスを展開。専門家の知見を活かした新たな価値の提供と雇用を創出し、地域サービスや働く場の選択肢を拡充した。利用者のためになるサービスと地域の潜在ニーズの掘起し、地域に根ざした最新・「最幸」のサービスを創造、提供し続けている。

●所在地	岐阜県中津川市中一色町3-14 三洋堂ビル1階
●電話／FAX	0573-65-5225／0573-65-5225
●URL	https://ohisama.group/index.php
●代表者	代表社員　藤井　真也
●設立	2012年
●資本金	300万円
●従業員数	85人

異業種企業とのコラボで日常生活にとけ込んだサービスを提供

行政や異業種企業とも積極的に連携し、空いていたテナントを利活用して認知症の知識を深められるよう認知症相談ができるカフェを運営。一般の方も利用でき、誰もが利用したくなるようなおしゃれな空間を演出した。またショッピングモール内に設置した通所型の買い物リハビリサービス事業は、利用者本人には通う楽しみが増えてリハビリの効果が上がり、店舗側は来店者数が増えるという、ショッピングモールと利用者両者にとってWIN-WINの関係を構築。幸福度をあげるための独自のアイデアで次々と質の高い新サービスを展開している。

認知症相談のできるカフェ事業

リハビリテーション専門家が障害児に寄り添う新たな支援事業

障害児童支援事業では、‘ありの巣’をイメージしたわくわく感を感じさせるデザイン性の高い空間を演出し、児童も大人も通いたくなる施設を提供した。障害児の運動・生活能力を高め、社会との交流を深められるよう、個々に合せたリハビリプログラムを言語聴覚士、作業療法士等専門家が作成し、家族の相談や今後の支援計画立案サービスを提供。地域のサービスの質の向上や連携を図るために、他施設とのネットワークを構築し、制度解釈など勉強会等を定期的に運営し、地域のサービスの質の向上に貢献している。

みんなが通いたくなる‘ありの巣’

地域の陶器製造技術を活かしたリハビリ器具のオカリナを開発

地元の陶器製造職人と同社の療法士が連携し、障害者・高齢者でも扱いやすく、リハビリに向いた形状のオカリナを開発。プラスチックの笛の音や質感ではなく、地元産の陶器のあたたかみのある質感や音色を味わって欲しいという思いからである。現在新しいオカリナを用いたリハビリプログラムを作成中。オカリナはあえて白地とし、リハビリの一貫として絵を描くことも検討。

地域資源を活かしたリハビリ用オカリナ

セントパーツ株式会社

需要獲得 サービス

岐阜県羽島市

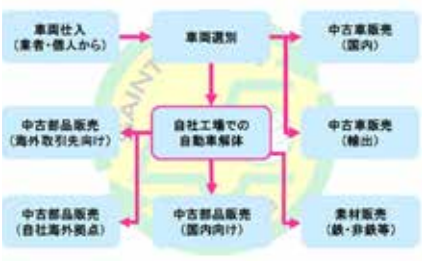
新興国での自動車中古部品販売・整備サービス 日本品質サービス提供で顧客拡大

同社は、「高品質な自動車保有関連サービスと資源の有効活用を世界に浸透させる」を事業理念として設立。自動車ユーザーやディーラーから購入した自動車を解体し、取出した中古部品を世界および日本国内に販売。UAEおよびマレーシアといった再輸出地点を経由する、日本発自動車用中古部品流通市場の変革を目指す。日本から最終消費地までの商品とサービスの直接提供を通じ、新興国における自動車保有サービスの質向上に取組む。

●所在地	岐阜県羽島市正木町不破一色字西口460番地
●電話／FAX	058-394-0051／058-394-0052
●URL	http://www.saintparts.co.jp/
●代表者	代表取締役　種谷　謙一
●設立	2013年
●資本金	3,000万円
●従業員数	16人

日本クオリティの自動車関連サービスを、自社拠点で提供

これまで日本から新興国の取引先へ商品販売を行っていた業界において、ユーザーのいるタンザニアに自社の販売拠点を整備。駐在日本人スタッフを中心に販売を実施している。このことにより、ユーザーからの要望収集と商品クレーム対応が直接でき、きめ細やかなサービスが提供できる体制を構築した。日本人整備士のノウハウを活用した自動車整備事業や、日本発自動車関連製品（オイル・洗車機等）の販売・導入を通じて、日本ブランドの影響力拡大に取組んでいる。



セントパーツの事業

中古自動車輸出企業と連携し、顧客拡大と満足度向上

日本からタンザニアへ中古車輸出する企業は多いが、ほとんどが商社経由である。そこで、「JAPAN CAR SERVICE CENTER」という屋号の元、日系中古車輸出企業との提携を進め、中古車輸出企業の販売顧客に、直接、商品のOEM販売やアフターサービスを行うなど、日本車ユーザーの満足度向上に繋げる取組を行っている。日本では事業開始まで勤務経験や居住経験のない地域にて単独で事業を立ちあげ、5年で16名の地元スタッフの雇用を創出した。現在、海外で2名が駐在勤務している。

タンザニア拠点のスタッフ

タンザニアにおける自社拠点運営

右ハンドル国が多くを占める東アフリカ地域は日本の中古車中心の市場となるため、港町を有するタンザニアで事業を展開。2015年に部品販売を行う自社拠点を設置し、自社スタッフを配置して日本本社との連携を図った。将来的には、内陸部であるザンビア、マラウィ、ジンバブエへの事業展開を視野に入れている。タンザニアにおいては同様の展開を行う日系企業は存在せず、年々中古車輸入で自動車数が増加する同国において、大きな影響力のある企業となるための基礎作りを行っている。

タンザニアの自社拠点

小町酒造株式会社

需要獲得 ものづくり

岐阜県各務原市

音楽響く蔵が育てる、ほっとする旨味の酒
海外品評会の入選により需要を拡大

明治27年各務原の地で創業。清流長良川の伏流水を用いた伝統的製法により、日本酒「長良川」を製造・販売している。「旨味ある酒」造りのため、お酒の仕込みと熟成中に音楽を聞かせることで“自然音楽響く酒蔵”として話題性を集めている。5代目蔵元の金武直歩氏は、地域色を全面に出した市場展開、先端設備導入による生産性向上、季節や月ごとに味わいの異なる日本酒を提供する四季商品により、顧客の満足度向上を実現している。

●所在地	岐阜県各務原市蘇原伊吹町2-15
●電話／FAX	058-382-0077／058-371-1027
●URL	http://www.nagaragawa.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　金武　直歩

●設立	1984年
●資本金	1,000万円
●従業員数	5名

120年継がれる伝統技と地域の米、水で醸す岐阜の地酒物語

創業1894年の酒蔵は「文化財」であり、仕込み水は、蔵の地下を流れる「清流長良川」の伏流水を使用している。長良川は世界農業遺産に登録されており、伏流水は『名水百選』にも選ばれている。酒米は、主に岐阜県唯一の酒造好適米「飛騨ほまれ」を使用している。このように自然豊かな岐阜の地域性を、商品ストーリーとしてお客さまにしっかりと伝え、ブランド・イメージの創造に取組んでいる。日本一の辛口酒「長良川超辛口+20」など、エッジの利いた商品展開で都市圏の百貨店や専門店で高評を得ている。

創業1894年の酒蔵

日本酒ブームに先駆けて海外展開に取組み、需要を拡大

フェイスブック等により、海外のバイヤーや消費者との繋がりを充実させてきた。輸出は25年の実績があり、現在は、米国や豪州等8か国に出荷している。和食はサーモン人気が高まり、第六の味覚“UMAMI”がブームに。他の蔵がスムーズな酒を提供するなかで、旨味ある料理に相性の良い「コク」のあるお酒を提供することで、差別化を推し進める。ロサンゼルス酒品評会優勝から始まり、IWC(世界酒コンクール)、KURANDO(フランス)、香港酒品評会等で入賞を果たす等、世界の品評会で評価されている。

ロサンゼルス酒品評会優勝

完全発酵による、米の旨みを最大限引出した酒づくり

基本理念に「日本酒は人が造るものでなく、生物が醸すものである」との想いがある。お酒を造るに欠かせない麹菌・酵母菌の発酵環境を、できるだけ自然に近い状態に近づけ、酵母が自然な状態で発酵を終息することを重視した完全発酵により、米の旨みを最大限引出した「旨みある酒」を醸したい想いである。発酵環境をより自然に近い環境波動に近づけるコンセプトの音楽を一年中酒蔵に響かせて、醸造・熟成をしている。“造り手の想い”が商品の機能性およびイメージ特性向上に寄与し、付加価値となっている。

“自然音楽響く酒蔵”

株式会社ひでぴょん

需要獲得 ものづくり

岐阜県揖斐郡大野町

オーダーシートを手掛けるプロ集団 あったらいいなを叶える製品で需要拡大

2003年シート二次加工の専門製造業として、岐阜県大野町で創業し、独自ブランドで全国に展開している。クロスシート、塩ビシート、ネット、メッシュシート等のあらゆる素材のシート加工を専門に行っている。ユーザーの要望に応じて、規格量産品から単品オーダー加工まで、シートに関する多種の商品を製造・販売しており、全て受注生産（国産メーカー生地使用）である。工場の改修工事により作業エリアを拡大、生産性向上に努めている。

●所在地	岐阜県揖斐郡大野町大字瀬古373番地5
●電話／FAX	0585-36-1344／0585-36-1355
●URL	http://www.hidepyon.co.jp/
●代表者	代表取締役　田邉　英彦

●設立	2003年
●資本金	1,000万円
●従業員数	20名

ユーザーのあったらいいなを叶える製品を提供し、特許を取得

ユーザーのあったらいいなを叶えるために、独自アイデアでシート加工を行い、オリジナル商品を提供している。コンクリートの養生では、シート単体では外部との断熱性に限界があり、ボイラー用の燃料費がかかる。そこで、シートを二重にして、外部環境とコンクリート品との間に空気層を設けることで、断熱性を高め、高温高湿を長期間維持しつつ、ボイラー用の燃料を大きく低減できる商品を開発した。これらの独自技術は、特許や実用新案を申請している。商標も多数取得し、メディアにも多数紹介されている。

日本が誇るビジネス大賞2019に掲載

色による付加価値でオリジナルブランドを展開

独自のオリジナルブランド展開により、過去にない十色シートを製造している。ブルーシートといえば、青色シートしか存在しなかったが、多種多様の取扱経験を活かし、色設計から関与することで、レッド、オレンジ、ライトグリーン、グレー等のシートを開発している。好きな色が選べるため、軽トラックシートもお洒落にコーデできるようになった。独自の取組として、シートに「補修キット」をつけて販売することで、シートが破損した時に補修が可能なため、長期間の使用が可能となり付加価値を向上させている。

独自のオリジナルブランド十色シート

岐阜県信用協会カイゼン塾1号企業として経営改善を達成

岐阜県信用協会主催のカイゼン塾1号企業として、仕事の見える化、組織・作業手順改善に着手。組織図の作成、従業員の責任の明確化とモチベーションアップを目指し、改善を実施した。1年後には、生産性25%向上、生産品目数も倍に改善し、フレックスタイムの導入、従業員の働きやすい環境作りにも取組んでいる。人材育成のため従業員をカイゼン塾2号企業へ派遣し、社内改善を進めるとともに、カイゼン塾参加企業内の経営改善にも貢献している。

カイゼン塾での取組風景

株式会社元気広場

需要獲得 サービス

静岡県静岡市

機能訓練、認知症予防の介護施設に特化 大学との連携プログラムにより需要を創出

平成22年静岡県静岡市に通所介護施設を創業。 元気で長生き、寝たきり老人のいない町づくりを目指し「元気広場」を運営している。「自立支援型」通所介護施設を直営8施設、加盟店方式で11施設を展開している。大学等と独自の機能訓練、認知予防プログラムを開発することで、自宅で自立生活が送られるサービスを提供している。元気と笑顔が集まる広場、通うこと、良くなることを楽しみに、通所介護施設の新しい形を提案する。

●所在地	静岡県静岡市葵区御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル14F
●電話／FAX	054-205-5808／054-205-5810
●URL	http://www.genkihiroba.jp
●代表者	代表取締役社長　竹内　豪一

●設立	2010年
●資本金	2,000万円
●従業員数	200名

機能訓練、認知予防の独自システムにより高い需要を創出

「自立支援型」のデイサービスを目指し、体系的なリハビリテーションプログラムにより、利用者の身体・生活機能の向上、認知症予防を目指し、自宅での自立生活が送られるように支援を行っている。他業種と連携することで、独自の介護プログラムを多数所有しており、フランチャイズでも同様の効果を発揮している。具体的な課題を利用者に明示し、目標を設定することで、積極的な参加を促し、満足度を高めている。昨年比で利用者も2倍に増加し、8期連続増収増益を達成している。

「自立支援型」のデイサービス

大学との連携によるリハビリテーションプログラムの共同開発

在宅生活を想定した、リハビリテーションプログラムを常葉大学准教授と共同で開発し、日常生活上の課題（例：寝返り、起上り）を摘出し、オーダーメイドで利用者ごとの運動プログラムに反映させている。「どこでも」「だれでも」同一の効果を得られることが特徴で、特許も取得している。筑波大学とも、認知症予防プログラムの共同開発を行っている。異分野企業とも連携して、小型カメラやスマートフォンアプリを活用した、リハビリテーションプログラムの開発、AIの活用研究等も行っている。

リハビリテーションプログラムの実施

限定正社員制度の導入等により多様な働き方と活躍の場を提供

「限定正社員制度」の新設により、勤務地や職務、労働時間や曜日選択が設定可能となり、今まで正社員になることを敬遠していたパート職員が、正社員を目指す一つの制度として活用されている。パートから限定正社員となる人材も多く、正社員の女性比率は、10%未満から30%超となっている。業界では人材の確保が難問となっているが、安定的に働ける環境の提供と女性の活躍の場を提供している。働きやすい環境の提供により、地域雇用と地域経済の活性化に貢献している。

限定正社員制度の働く職場

平金産業株式会社

静岡県静岡市

マグロだけで魚粉・魚油を作り需要を拡大 マグロからコラーゲンを作り、販路を開拓

1937年静岡県静岡市で創業以来、魚粉や魚油等を製造。マグロ等の漁業が盛んな静岡県という立地を生かし、地元でとれたマグロの残滓等を利用し乾燥させ、魚粉や魚油に加工、販売している。本来廃棄をされる残滓等を利用することで、環境にも配慮した事業である他、原料をマグロだけに限定した魚粉、魚油、液体肥料は、業界から高い支持を得ている。最近は、高濃度高分子のコラーゲンを利用した新規事業にも積極的に挑戦している。

●所在地	静岡県静岡市駿河区豊田2丁目9番17号
●電話／FAX	054-286-0288／054-286-5693
●URL	http://hirakinsangyou.jp/
●代表者	代表取締役社長　長島　十己知

●設立	1937年
●資本金	3,538万円
●従業員数	23名

地元資源を活用した、高品質かつ安定した製造体制

清水、焼津で水揚げされたマグロの加工残滓を主原料とし、魚粉・魚油等を製造。本来廃棄される残滓を再利用し、魚粉や魚油等に加工し販売することで、地元資源の有効活用・地域経済活性化・環境問題にも貢献している。入荷したマグロの加工残滓等の低温管理ノウハウや、乾燥後の近赤外線の分析機による品質維持により、高品質の製品製造を可能としている。仕入ルートは、長年の地元への貢献により培ってきた独自のものであり、安定した材料確保が可能となっている。

清水漁港の全景

廃棄物をより有効なものにリサイクルする

マグロ漁が盛んな静岡という立地を活かした、安定した仕入ルートを確立。飼料の製造には、安定した仕入ルートの確立と製造管理が不可欠であり、新規参入は困難であるとともに、飼料需要は安定している。最近は、単価の高い水産向けの飼料に使用されている。「廃棄物をより有効なものにリサイクルする」という信念のもと、幅広い廃棄物を原料として受入れるとともに、家畜向け飼料の製造も行っている点が特徴であり、強味となっている。

新社屋の全景

高濃度高分子のコラーゲンを利用した新規事業展開

「私たちは魚の廃棄物をリサイクルし、人々の健康に役立つものづくりをしています」の考えのもと、フィッシュミール事業、肥料事業、コラーゲン事業を展開している。マグロの皮を独自製法により抽出した、高濃度高分子のコラーゲンを利用し、アジアを中心とした海外に、ペットフードや化粧品を売出す体制を整備している。化粧品は、ハラール認証を取得しイスラム国への展開を見込んでいる。

コラーゲンを利用した化粧品事業への進出

静パック有限会社

需要獲得 ものづくり

静岡県静岡市

ティーバッグ、スティックバッグの充填専業、幅広い分野、海外用製品へ受注を拡大

1975年設立。緑茶、抹茶、紅茶、コーヒー等のティーバッグ、粉末用スティックバッグ等を受託加工し、大手メーカーにOEM供給。海外向けが売上の2割を占め、ベトナムの駐在事務所を拠点にアジアへの販路拡大に取組む。HACCP認証、有機JAS認証、SQF等の国際認証も積極的に取得している。他、新規事業としてハーブ栽培や化粧品製造を開始する等、静岡県の成長産業として期待される分野でも需要拡大を目指している。

●所在地	静岡県静岡市駿河区中原713
●電話／FAX	054-281-9092／054-287-4556
●URL	http://shizu-pack.com/
●代表者	代表取締役　佐野　哲一

●設立	1975年
●資本金	5,000万円
●従業員数	70人

高い充填技術で、食品から化粧品等、幅広い分野に需要を拡大

1987年に世界初の三角錐ピラミッド型ティーバッグの製造を開始、その後も形状や材質の工夫を続けている。2000年代初めには、スティック包装への抹茶の窒素入り充填の製造を、国内他社に先駆けて開始した。これにより抹茶の賞味期限が1年に延び、輸出しやすい商品となった。また、青汁スティックバッグの充填技術は、食品分野に止まらず化粧品の試供品や入浴剤等、多様な商品に応用でき、幅広い分野で需要を獲得している。

製造ラインIoT化研究による生産性向上

地域資源の活用、化粧品事業参入による地域経済活性化

静岡県が生産量日本一を誇る茶葉を独自技術で充填し、輸出を拡大することで県内茶業の発展への貢献が期待される。新規事業として参入した化粧品事業も、静岡県の化粧品生産金額は全国3位（2017年）で成長産業として期待されている。県が推進する「フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト」において、他企業と協力して製品を開発する「食品等開発研究会」等に参加しており、新たな連携による売上の増加も期待される。

静岡銘菓「8の字」ブランドの継承

安全・安心を追求、認証を積極的に取得し、厳しく品質管理

食の安全・安心と、品質に強いこだわりがある。静岡県のミニHACCP認証、有機JAS認証、GFSI(世界食品安全イニシアチブ）のSQF(Safe Quality Food）認証等を取得して、国際基準に準じた厳しい品質管理を行っている。2019年のSQF監査では最高位のエクセレントを取得した。アメリカへの輸出に必要なコーシャ認証（ユダヤ教の教義に順じた衛生管理）も取得し、ハラル認証対応商品も製造可能である。同社の製品品質は国際的にも定評があり、競争力を有している。

認証の基準で製造したOEM製品

東亜工業株式会社

需要獲得 ものづくり

静岡県浜松市

オーダーメイド餃子製造機で世界シェアトップ コンサルティングで顧客を繁盛店へ

餃子製造機で国内外シェアトップ(国内6割・海外3割)を誇る。フルオーダーメイドによる受注生産により、顧客による餃子の皮の大きさ・厚みなど細かなニーズに対応可能。グループ会社の餃子専門店から飲食店経営ノウハウを習得し、また飲食店の気持ち・ニーズ・悩みを餃子製造機の開発に繋げた。また、飲食店経営の成功に裏打ちされた、餃子ビジネスコンサルティングは顧客を繁盛店へと導いている。

●所在地	静岡県浜松市北区三方原町260-1
●電話／FAX	053-436-2101／053-437-7337
●URL	https://www.toa-industry.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　請井　正

●設立	1963年
●資本金	3,200万円
●従業員数	40人

餃子の魅力を味と生産性の双方でフルサポートできる体制

各店のこだわり抜いた餃子の正確な食感・味が再現できるオリジナル設計で、熟練工による一貫生産によるオンリーワンの餃子製造機を生産。当社製品である「餃子革命(1,500個／時)」「TX−16 (10,000個/時)」は生産速度や省人化ニーズにも対応。また、餃子専門店「浜太郎」の経営により、現場を通じて飲食店のニーズを収集し、餃子製造機の開発や餃子ビジネスコンサルティングを実施。餃子製造機導入後は、万全なメンテナンス体制により、飲食店をトータルでサポート。持ち帰りや移動式販売といった顧客の新たな業態への挑戦のサポートも行っている。

毎時10,000個の餃子を製造できる

日本発「ギョーザ」の世界展開による、餃子文化の普及

2012年、中国に餃子機製造や販売を手掛ける現地法人を設立。中国･香港･台湾には同拠点から販売している。輸出先の国・地域は40を超え、海外への総出荷は約800台、海外シェア3割を誇る。また、日本のラーメン人気を追い風に、海外において「ギョーザ」にも関心が高まっている。日本全国から集客する餃子専門店「浜太郎」での実績を携え､中国進出を計画。更にアメリカ、オーストラリアなどへ出店を目指し、海外での日本発「ギョーザ」店の知名度が高まれば、製造機の販売にも相乗効果が期待できる。

餃子専門店で知名度をあげる

「餃子の街浜松」PR活動で、観光資源の地位確立に貢献

「浜太郎」の餃子が浜松餃子まつりでグランプリを受賞したことは、『餃子の街』浜松の存在感を示した。店舗に併設された餃子センターでは、国内外の観光客のバスが押し寄せ、浜松のPRに貢献。インバウンド拡大による域内観光消費を促進した。また、餃子製造機の導入により、生産量が安定し、飲食店が抱える手作業による餃子づくりの課題を解決。経営の立直しや廃業回避により、店の味を守ることにも貢献している。

餃子を浜松の観光資源に

丸善工業株式会社

需要獲得 ものづくり

静岡県三島市

「ワクワクするもの創り」でお客様が本当に欲しい製品を開発し世界中に展開

小型建設機械、自動車検査装置などの製造販売を行う総合機械メーカー。「オンリーワン製品」、「世界品質」にこだわるものづくりにより、ニッチな市場ながら高いシェアを確保する企業である。油圧式小型建設機械では国内トップシェアを誇り、メイドインジャパンにこだわった高い商品開発力を背景に、「MARUZEN」ブランドで国内はもとより海外への販路を広げ業容を拡大。

●所在地	静岡県三島市長伏155-8
●電話／FAX	055-977-2140／055-977-2184
●URL	https://maruzenkogyo.co.jp
●代表者	代表取締役社長　諏訪部　行生

●設立	1954年
●資本金	2,550万円
●従業員数	112名

地域の特性に合せた商品開発で全世界に販路を拡大

「多品種少量のもの創りに徹底的に磨きをかけ、世界中のお客様のニーズを満たす製品開発で、世界中のお客様の笑顔を作り出す」をスローガンに、世界トップシェアを目指し、性能面で世界No.1の製品を多く有する。従来は日本の顧客向け製品を輸出していたが、海外市場への展開に力を入れるなか、海外顧客の要望による製品開発を増やし、着実に海外市場でのシェアを拡大。販売地域も、欧州、アジア、米国とバランスよく展開している。新製品の市場展開を容易とする販売ネットワークを持つことが同社の強みである。

道路工事、建設工事等で使用される小型建設機械

国内外での販売・アフターフォローの一気通貫サービスを提供

国内の販路として10か所の営業所と5千社超の代理店を持ち、幅広いジャンル、多種多様なお客様の問合せやアフターフォローに対応。不測の事態で製品不良が生じた場合に備え、17か所のサービスセンターを設置。お客様の声に寄り添いながら「本当に喜んでいただける製品」を開発・販売し、ただ販売して終了ではなく、販売後もお客様本位のアフターフォローを提供し続けることで、顧客との強固な信頼関係を構築。

お客様本位の販売とアフターサービス

地元採用や地域内企業との取引による地域経済活性化への貢献

「1機種を1万台創るより、100機種を100台ずつ創りたい。その方が楽しいし、ワクワクするよね。」をモットーに常に新技術、新商品の開発を求めて研究開発、販路開拓は絶やさない企業風土を持っている。その担い手となる人材として地元雇用の増加を行ったり、仕入先は静岡県内企業が大半であったりと、地域経済の活性化にも貢献している。設立から50年以上経過している地元工業団地内の中心企業として、地域における同社のプレゼンスも高い。

「ワクワクするもの創り」を目指す社員

杉山フルーツ

需要獲得 サービス

静岡県富士市

身の丈にあった経営とこだわりが商品のプレミアム感を生みオンリーワン戦略を実現

杉山清氏は、ホテルのフランス料理部門のシェフとして活躍後、1982年に代表（3代目）に就任。隣接する大手スーパーによる集客効果により店は繁盛していたが、スーパーの撤退を機に方針転換。価格競争に巻き込まれない高級品を扱うギフトに特化。さらに、2005年に季節の完熟フルーツや高級フルーツを使った生ゼリーの製造販売を開始して大反響となる。パート、アルバイトを含む従業員15名で、こだわりの果物店を経営中。

●所在地	静岡県富士市吉原2-4-3
●電話／FAX	0545-52-1458／—
●URL	http://sugikiyo.com/
●代表者	代表　杉山　清

●設立	1950年
●資本金	—
●従業員数	15名

高級フルーツを超える高級「生ゼリー」で高付加価値化を実現

贈答用の高級フルーツを惜しみなく使った「生ゼリー」を開発。水中花をイメージしてフルーツを生ゼリーの中に美しく浮かせる一つひとつを手作りした「作品」となっており、高付加価値化を実現。保存料を一切使用せず、全て手作業でつくる、商品破損が危惧されることから地方発送は行わない等、数々のこだわりと、来店しないと手に入らないというプレミアム感が究極の「オンリーワン戦略」となる。「行列ができる果物店」として、全国的な知名度を獲得。実際に休日には県外からも多くのお客様が来店する。

ショーケースを飾る色鮮やかなゼリー

「身の丈経営」守りつつ後継者による海外展開を慎重に検討

家族経営の商店として身の丈に合った経営を徹底。店舗数拡大やライセンス契約による商品化等の事業拡大は目指さない。スケールメリットではなくスモールメリットを活かす経営で、小規模事業者の「持続的発展」を体現している。一方でJAPANブランドとして海外展開することへの期待が高まっており、後継者（4代目）を中心にホーチミン市への出店を検討中。委託販売ではない販売方法を実施する、現地の農産品等を使用する、新しいゼリーの開発を進めるなどのハードルを自らに課し、慎重に検討を進めている。

商店街で営業している杉山フルーツの店舗

静岡県産品の仕入や地元高校生との連携など地域活性化に挑む

地元の産品を重視し、静岡県内16軒のメロン農家や17軒のイチゴ農家などから、杉山氏の目利き力で質の高い果物を仕入れている。また、静岡県の6次産業化プロジェクト「ふじのくにベジタブルスイーツプロジェクト」に協力。静岡県立富岳館高校の生徒が復活させた富士宮の伝統野菜「村山人参」を使った生ゼリー等を創作。野菜嫌いの子供たちが喜ぶよう星型やハート型に型抜きした村山人参が浮かぶ美味しくて楽しい生ゼリーを完成させ、好評を博した。今後も地域経済の活性化に取組むこととしている。

地元等の高級果物を使ったギフトセット

株式会社沖友

需要獲得 ものづくり

静岡県藤枝市

高付加価値ドライフード販売により新たな需要を創出。地域資源の特産品化にも貢献

代表取締役の強いリーダーシップのもと世界に先駆けてマイクロ波減圧乾燥機を実用化、同機で生産した高付加価値ドライフード「スゴカン」の販売や、これまでドライフード化が難しかった地域の特産品の委託加工を行うなど、国内外の販路開拓を図っている。2015年からは駿河湾深層水を活用した中間養生による沖縄県産の海ぶどうの新たな流通方法を構築。鮮度を維持した流通を実現し、藤枝市に「ふじえだの海ぶどう」を定着させた。

●所在地	静岡県藤枝市高柳3-30-23
●電話／FAX	054-636-3700／054-637-1881
●URL	https://okiyu.jp/
●代表者	代表取締役　岡村　邦康

●設立	1998年
●資本金	2,000万円
●従業員数	3名

形や色、香り、成分を損なわない無添加のドライフードを実現

多くの食品で用いられる熱風乾燥では、乾燥温度が高く、脂質の酸化、タンパク質の変成、変色や割れなどの品質劣化が生じやすい。フリーズドライも凍結過程で氷結晶が生成・成長するため、細胞や組織が損傷を受け、風味、食感が損なわれる。しかし、マイクロ波減圧乾燥機では、加熱昇温や冷却のための熱エネルギーを使わず、乾燥に必要な蒸発潜熱のみを供給して低温で乾燥させるため、より生に近い形状や色彩・香気・成分を保持できる。この技術を使用したドライフード「スゴカン」は、高い評価を得ている。

マイクロ波減圧乾燥機で乾燥させた果物

製造受託による全国の地域資源の特産品化に貢献

熱風乾燥等によるドライフード商品化を試みたが、形状や色彩・香気・成分等を失い、思うような成果が得られず、断念した企業は多い。そのような全国の企業が「スゴカン」や乾燥技術を知り、製造委託の依頼が絶えない。静岡県内ではゆずやイチゴの特産品化やワサビ葉のように破棄してしまう原料の高付加価値化、鹿児島県の文旦の果皮や沖縄県のアセロラなど地域資源の特産品化等、これまで累計約350件、令和元年でも約40件の製造委託や試験乾燥依頼があり、全国各地の農作物等の特産品化に貢献している。

マイクロ波減圧乾燥機

海外展示会・商談会への継続・積極的な出展

マイクロ波減圧乾燥機技術により生産した無添加ドライフード「スゴカン」の海外事業展開を図るため、2017年より輸出業務等の専門家と顧問契約を締結し、海外への展示会・商談会への出展・同行と、海外展開に備えた社内体制の整備を進めている。東南アジアのバイヤーが集る沖縄大交易会、FOODEX JAPAN、静岡県商工会連合会や行政が主催の海外販路開拓支援（展示会・商談会）へ積極的に出展し、数多くの問合せをいただき商談を継続している。これまでに「スゴカン」は13件以上の販売実績がある。

台南市での商談会参加（ホテル内ブース）

株式会社流通サービス

需要獲得 ものづくり

静岡県菊川市

抹茶の茶葉の栽培から加工・販売までを一貫して行い海外から高評価を獲得

深蒸し茶発祥の地、菊川市で茶葉の栽培から製茶を行う一般的な茶屋であったが、加工・販売まで一貫して行うために4代目の現社長が（株）流通サービスを創業。現在では緑茶のみならず抹茶の製造販売に着手し、紅茶やコーヒー豆も取扱う。茶農家として全国で初めてソーラーシェアリングに着手し、農場の拡大や生産性向上に取組むほか、海外の展示会等において社長自ら積極的な営業活動を行い、海外販路開拓を次々と実現。

●所在地	静岡県菊川市倉沢340
●電話／FAX	0537-35-6868／0537-35-6680
●URL	https://www.ecofarm.co.jp/index.html
●代表者	代表取締役　服部　吉明

●設立	1989年
●資本金	1,000万円
●従業員数	7名

栽培から販売までの一貫体制等で海外バイヤーの信頼獲得

茶葉栽培から加工、販売まで一貫して行い、時にはバイヤーを農地に招待、製茶作業まで一緒に行うことで、ニーズに対応した商品開発とバイヤーの信頼獲得に成功。また、展示会では和服を着てお茶を点てるパフォーマンス、店舗に訪問したバイヤーに抹茶の使い方講習を実施。世界的な人気により抹茶自体を取扱う店は増えているが、正しい使い方・点て方を理解していないケースが多い。販売後のフォローまで実施することで、抹茶及び同社の商品の魅力を適切に伝えることにも成功している。

海外向け抹茶「FUJI-MATCHA」

環境に配慮した栽培方法や有機栽培等により付加価値を向上

同社は東日本大震災後に風評被害を受けた経験から、環境への配慮やサステナブルな茶葉栽培の重要性に着目。茶農家で初のソーラーシェアリングの導入により効率的な生産に成功。また近年、緑茶の健康機能は世界的に注目されており、特に抹茶は茶殻が出ず栄養成分を残さず摂取できることでも人気を得ている。海外での人気をビジネスチャンスとして捉え、海外の味覚に合わせた抹茶用の品種の取扱いや有機JAS認証取得、高GABA玉露の開発など、健康志向の高い海外富裕層向けの販路開拓に成功している。

茶畑と茶畑に設置した太陽光発電システム

静岡県指定の地域産業資源「静岡茶」活用のモデルケース

抹茶は煎茶の約2倍の価格で取引される。しかし煎茶に比べ茶葉栽培や加工に手間がかかるため、国内生産量は緑茶全体の数パーセントである。このため、海外で流通している抹茶のはほとんどが中国産で、抹茶の定義にはあてはまらない低価格商品が多い。同社では南アルプスの麓の高地で気温の寒暖差を活かした高級な碾茶（抹茶の原料）を育て、自らが役員の組合工場で碾茶加工し、自社工場で石臼を使い丁寧に抹茶を製造。静岡茶のブランド力向上に貢献するほか、国内茶農家の付加価値向上モデルとなりうる取組である。

農事組合法人天竜愛倶里ふぁーむ製茶工場

株式会社ハナノキ

需要獲得　サービス

愛知県北名古屋市

顧客ニーズを捉え常識に囚われない新たな商品の開発により、米の需要を拡大

1907年の創業以来、「顧客第一主義」をベースに多くの取引先の信頼を得てきた米の卸売り企業。2018年には精米HACCPを取得する等、安心・安全な商品供給体制を構築している。新たな販路として2006年に開いたネットショップは、顧客目線に立ったサービスが評価され、楽天市場で数々の賞を獲得。ギフト向けのキューブ包装商品や健康や美容を意識した人向けの「健美玄米」を独自に開発する等、新たな需要も獲得している。

●所在地	愛知県北名古屋市井瀬木井の元36番地
●電話／FAX	0568-22-3711／0568-22-3346
●URL	http://www.hananoki.co.jp
●代表者	代表取締役社長　池山　真一郎

●創業	1907年
●資本金	7,000万円
●従業員数	80名

徹底した顧客サービスと多様なニーズに合わせた新商品の開発

ネットショップの店舗は外部委託せず自社で運営。朝9時まで（一部商品は正午まで）の注文は当日出荷し、ほとんどの地域に翌日到着を実現。また、お客様の要望に親身になって対応する等、きめ細かなサービスを徹底することで約8割がリピーター。一方、商品開発では、パッケージデザインに優れた商品、少量パックの商品を開発し、お土産や引き出物、来店記念品等新たな用途を開拓。また、自社独自の精米製法を活かし、健康志向の女性向けに食べやすく栄養価のある玄米商品を開発するなどニーズの発掘にも尽力。

ネットショップ「ハーベストシーズン」

お土産商品による海外需要の獲得から本格進出を目指す

精米HACCP認定を取得する等、販売する「米」の品質水準を維持する仕組を確立。「徹底した品質管理・安全・鮮度」を強みに、海外向けの販売にも意欲的に挑戦を続けている。少量の真空パック商品「キューブ米」は、訪日観光客向けのお土産商品として空港等で販売。5年前から台湾の日系百貨店に卸しており、今年からはもち麦を香港のネットショップ向けに販売開始。米文化のある東南アジアに本格進出するため、米の酸化を防ぐ窒素充填などにより保存性を高め、ロングライフ高品質の商品を開発している。

コンパクトなパッケージの「キューブ米」

地元農家との取引拡大や学校・自治体と連携により地域に貢献

農家の所得向上のため米の直接販売比率を引きあげる政府方針を受け、2017年に玄米倉庫を新設し、貯蔵能力を1.3倍とした。地元の若い米生産者との直接取引を増やすことで、地元農家の活性化に貢献。学校給食用の受託精米も行っており、地元愛知県産米を学校給食へ供給、自治体が開催する小学生のための職業体験イベントや料理アイディアコンテスト等を通じて地元の食材について理解を深める活動に取組んでいる。また、「キューブ米」は地元自治体のふるさと納税の返礼品にも選定されている。

最大1千トンを貯蔵できる新設の玄米倉庫

株式会社エストレージ

需要獲得 ものづくり

愛知県名古屋市

顧客のニーズを満足させるフルオーダー壁面収納家具を低コスト・短納期で提供

一般消費者向けフルオーダーの壁面収納家具の製造販売を『収納ラボ』ブランドで展開。『収納』に対する需要に特化した独自ノウハウを生かし、単なる既成家具の小売ではなく、家族構成や趣味などお客様のライフスタイルを考慮した自由度の高い設計デザインを実現した壁面収納家具を提供。なお、商品は耐震性への対応など他社に比べ優位性のあるものとなっている。また、その生産においては地域産業である木工業の存続育成にも継続的に貢献中。

●所在地	愛知県名古屋市千種区東山通5-20-1 サン東山公園ウェスト1F
●電話／FAX	052-753-4515／052-753-4516
●URL	https://www.estorage.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　矢島　克記

●設立	2007年
●資本金	20万円
●従業員数	40名

短納期・高品質の完全フルオーダー壁面収納家具の製造・販売

「この壁面にこういう収納家具を」とオーダーすることが車を買うようにあたり前にできる全国初といえる『フルオーダー収納家具』のビジネスモデル『収納ラボ』を展開。『収納ラボ』の各地のショールームでは、短納期・高品質の完全フルオーダー壁面収納家具をお客様に販売。従前のいわゆる造作家具やユニット家具では満足できない顧客ニーズに対応するために、地域資源である「愛知の木製家具」「飛騨の木製家具」等のものづくりのノウハウを生かした商品も提供。

お客様の要望を叶えた壁面収納

独自設計システムと商品の工夫により低コストと短納期を実現

営業部門がプランニングしたデータから自動的に加工展開図を生成・分解し、加工データとして製造部門に渡す独自の設計システムを使用。人的ミスが生じない効率的な一貫生産を実現。また、家具職人による造作家具のような自由度を保ちつつ、安全性が検証された、耐久性のある家具を合理的に製造。こうして設計から、製造、設置に至る各工程で効率化を実現したことで、同型の商品と比較し、製造原価50%以上削減、納期も2分の1以下となっており、高品質な商品を短納期で安定供給することを可能にした。

お客様のご自宅で家具を設置する様子

耐震性がより高い壁面収納家具を提案

阪神淡路大震災では、家具の転倒による圧死・窒息死が全体の約8割との指摘もあり、家具の耐震性確保は非常に重要である。市販の家具を耐震グッズで固定する際、壁面内側の建築躯体の下地部分をセンサー等で探して確実に固定する必要があるが、一般消費者にとっては非常に難しい作業となっている。『収納ラボ』では、地震の際の被害を防ぐことは壁面収納家具を製造するメーカーとしての使命と捉え、家具の独自固定技術・壁面天井高いっぱいの家具設計・高所の扉への耐震ラッチ装備などの商品提案を行っている。

天井まで使用した家具のオーダー事例

豊岡エンジニアリング株式会社

需要獲得 ものづくり

愛知県岡崎市

人材育成や技術移転を通じて ベトナムでの産業用ロボット需要を開拓

「世界のものづくりに貢献する」を社是とする豊岡グループの一員で、FA(Factory Automation)・産業用ロボットメーカーである。主に自動車向け金属切削後のバリ取、金属加工の取出し、搬送用などの産業用ロボットシステムを開発・生産している。ODAを活用し、日越トレーニング・技術移転センターで高度技術者の育成や技術移転を行うことを通じて、ベトナムでの産業用ロボットの普及を目指している。

●所在地	愛知県岡崎市上青野町字中屋敷123番地
●電話／FAX	0564-43-5551／0564-57-6227
●URL	http://www.toyooka-eg.co.jp/index.html
●代表者	代表取締役　松井　俊介

●設立	1988年
●資本金	6,120万円
●従業員数	25人

ODAのスキームを活用してベトナム進出の橋頭保を構築

2007年からベトナムで自動化のニーズの調査を開始し、JICA中小企業・SDGsビジネス支援事業を活用し、ベトナム・サイゴンハイテクパーク内に設置された「日越トレーニング・技術移転センター（VJTC）」の設立・運営に関わっている。当センターに機材を導入。工場の自動化や産業用ロボットの活用など、高度な技術を持つ人材の育成や技術移転を通じて、ベトナムでの産業用ロボットの普及、ビジネス展開が期待される。

日越トレーニング・技術移転センター（VJTC）風景

地域連携による次世代のものづくりを支える技術開発

豊橋技術科学大学のベトナム人留学生を雇用するなど、豊橋技術科学大学と連携して現地ニーズに適したロボットシステム開発を行っている。同社が開発したロボット専用スピンドル（商品名）「あの手・この手・その手」は「愛知の地域資源」認定を受けている。また、「あの手・この手・その手」は岡崎商工会議所の「ものづくり大賞」で「特別賞」を受賞。「特別賞」受賞企業は同社が唯一である。

「あの手・この手・その手」

現地人材育成を通じた市場拡大の土台作り

愛知県内の工場で2005年からベトナム人技術者を継続的に採用し、ベトナム市場参入を2011年頃から検討。人件費の上昇に加え、ベトナムが目指す工業国化にはロボットが必要になると判断し、ロボット研修を通じてロボット需要の裾野を広げることと並行して、ロボットに理解がある日系工場にFAによる経営の効率化を提案。需要をより拡大するため、ベトナム国全体の製造業底あげを目指し「日越トレーニング・技術移転センター(VJTC)」の運営に取組んでいる。また教育訓練分野でSier協会、名古屋工業大学産学官金連携機構、及び周辺企業との協力・共同を強めている。

訓練現場

株式会社白惣

需要獲得 ものづくり

愛知県豊川市

野球用バット製造の長年の実績と高い技術力を活かして自社ブランドで世界へ進出

野球用バット製造業者として70年に渡る実績があり、職人のもつ伝統技術と新素材や新技術を融合させた革新的な製品を数々創出。近年では、工場のFA化を積極的に導入し、お客様の要望にいち早くお答えできる会社として、同社の存在価値が高くなっている。また、これまで培った伝統的な技術力や顧客要望に対する対応力を世界に発信するため、海外市場へも進出し始めている。

●所在地	愛知県豊川市牛久保町常盤69番地
●電話／FAX	0533-86-6026／0533-89-0802
●URL	www.hakusoh.com　www.sparkslugger.com
●代表者	代表取締役　岩瀬　淳一郎

●設立	1954年
●資本金	1,500万円
●従業員数	27人

自社ブランドで世界各国への進出

国内市場は各ブランドがシェアの取合いをしていて劇的に増加する見込みが少ないため、海外で自社ブランド販売し、シェアの拡大を図る試みをしている。2018年2月より自社ブランドを販売する会社をアメリカに立ちあげ、Spark All Over The Worldをスローガンに世界各国へ進出。北米南米を軸として、アフリカ、ヨーロッパ、アジア各国とのつながりを持ち、Sparkを伝播。最終的には日本に逆輸入するように取組んでいる。

自社ブランド製品

自社ブランドの逆輸入でやがては地域活性化に地域の顔として貢献

地域の小中学校に対して、社会見学として工場案内をしたり、職業体験として一本のバットを作成する過程を学んでもらうなど、地域の青少年にとっては有意義な経験をしてもらい成長の一助になっている。現在は、国内ではOEMという性質上、表に立ってアピールすることは少ないが、海外で自社ブランドをアピールをしており、日本に逆輸入となったときは、地域の顔として地域活性化に表立って貢献できる。バットだけでなく、グローブやボール、日本文化の発信も行っているため、戻ってきたときのインパクトは大きい。

地域貢献の現場

ITを利用したカスタムオーダーバットによる世界の顧客獲得

近年、既製品を店舗で購入する人は少なくなり、自分だけの特別なものを購入したいという概念が広まって、個人がカスタムしてオーダーをするケースが多くなっている。世界各国からの受注を受けるべく、e-コマースを活用して、さらに国内では初となるネット上からもイメージが湧くようなカスタムオーダーバットの受注ができる仕組みを整えている。顧客の痒いところに手が届くような、日本の製品の正確さや、表面の美しさ、それらは木製バットにおいて海外市場では見られないため強力な武器となる。

e-コマースの事例

石川鋳造株式会社

需要獲得 ものづくり

愛知県碧南市

高い鋳造技術力を活かした自社開発商品「おもいのフライパン」が大ヒット

80年にわたり培った鋳造技術で、水道管部品、重機・ロボット等の産業機械部品を鋳造により製造する。自動車部品等製造業向けのアルミ溶解用鋳鉄ルツボ・ラドル等の資材の自社開発・販売にも取組む。今後の事業環境の変化を見通して、下請脱却を目指して初めて一般消費者向けに自社開発した「おもいのフライパン」が大ヒット。ルツボ・ラドル等を含めた自社開発製品を主力とする企業への転換を目指す。

●所在地	愛知県碧南市中松町1丁目12番地
●電話／FAX	0566-41-0661／0566-41-2580
●URL	http://ishikawa-chuzo.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　石川　鋼逸

●設立	1938年
●資本金	2,400万円
●従業員数	41人

世界中にある「肉をおいしく食べたい」というニーズに対応

お肉を好きな人をターゲットにアメリカ、ヨーロッパ、アジアなどへの展開を模索している。2019年3月には、台湾での商談会に出向き、現地ならではの料理・調理器具のニーズを調査。また、アメリカのレストランオーナー等を通じた特注品の商談もある。通関の問題もあり国内同様の自社サイトでの販売はできないが、今後も現地を訪問し、信頼できる企業とのコラボレーションや代理店・パートナーを通じて、「おもいのフライパン」でおいしい肉料理を世界中に届けることを目指している。

海外での商談風景

下請から付加価値の高い自社開発製品を主力とする企業への転換

自動車産業が変革期を迎えるなか、CASEとりわけ電動化が進むことで、エンジンに多く使われるアルミ部品、ひいては同社が扱うアルミ溶解用鋳鉄ルツボ・ラドル市場も縮小が予想される。付加価値の高い新事業の柱を模索するなかで、熟知する鋳物の特性や技術、品質等を見つめ直し、一般消費者向け商品の自社開発に挑戦。前代未聞の重いフライパンは、重量が「おもい」、職人の「おもい」、お客様の「おもい」にかけて「おもいのフライパン」と命名。下請企業の一般消費者向け自社ブランド開発の先進事例となっている。

おもいのフライパン

鋳物本来の魅力を引き出す技術力で、食の安全安心を提供

世の中の鋳物製品はほとんど塗装やコーティングがなされ、鋳物の利点である熱伝導率をさげてしまっていることに着目し、自社の強みである鋳肌を美しく仕上げる技術力で、無塗装の最終製品を実現。塗装やコーティングが剥がれる心配のない調理器具として、食の安全安心をも提供。また、取っ手の長さ・太さ・取付け角度のバランスも追求することで、鋳物の蓄熱性を引出すためにギリギリまで厚くしながらも、握力の弱い女性でも苦にならずに扱える商品となっている。

安全安心

大野精工株式会社

需要獲得 サービス

愛知県西尾市

農業関連分野へ進出、国際的な優良企業認証とモンドセレクション金賞受賞

専用機の部品製作・試作品製作、及び開発支援にて精密部品加工・超鏡面仕上加工等を手掛ける。特に超精密加工技術で実現する『Rz0.2μmの超鏡面ラップ加工』に優れ、取引先に高く評価されており、売上高推移も堅調である。現在は、地域貢献・地元雇用貢献のために事業の多角化を進め、農業関連分野へ進出。2018年3月に西尾市に農園カフェ&バウムクーヘンの専門店である「キングファームカフェ」を開設。

●所在地	愛知県西尾市下羽角町大縄35番地1
●電話／FAX	0563-75-3922／0563-75-3933
●URL	www.ohnoseiko.com
●代表者	代表取締役　大野　龍太郎

●設立	2001年
●資本金	1,500万円
●従業員数	262人

キングファームが「GLOBAL G.A.P」の認証を取得

自家農園キングファームは、品質の高い農産物が高収量で栽培できるよう、植物と土壌の微生物との共生関係を活用した栽培方法を採用し、農業技術を必要とする部分を環境制御システム（温度調整・CO_2濃度調整）で自動化している。食品安全・労働環境・環境保全に関する218のチェック項目をクリアした「持続的な生産活動」を実践する優良企業（農場）に与えられる世界共通のブランドである「GLOBAL G.A.P」の認証を取得している。

キングファーム

培土を使った減農薬栽培と地域性を重視した商品作り

バウムクーヘンは、原材料の30%を占める卵に、太田商店（本社岡崎市）の地元ブランド卵「ランニングエッグ」を使用している。また、減農薬栽培にこだわりハウスで収穫したイチゴやメロンに加え、西尾市の特産である抹茶を使用した地域性を活かした商品も販売している。カフェでは収穫したトマトやイチゴ、メロンを使ったその時々の流行に沿ったメニューを提供していることでSNSを通じての反響もでており、県内だけでなく、他県からの観光客も訪れるなど、地域経済の活性化に繋がる存在感も示している。

バウムクーヘン

バウムクーヘン4品目が2019年度モンドセレクションで金賞を受賞

バウムクーヘン4品目については2019年度モンドセレクションで金賞を受賞。バウムクーヘンを使用したカフェメニューは、おしゃれな見た目がSNS映えすることから、若者世代を中心に女性客から好評である。他にも、季節メニューを取り入れるなど更なるメニューの充実化が図られている。これを機に、東京オリンピック・パラリンピックへの食材提供を目指すとともに、グローバルな販売戦略の構築にも取組んでいる。

モンドセレクション金賞

三重化学工業株式会社

需要獲得 ものづくり

三重県松阪市

「冷やす」「温める」をコア技術に、積極的な産学官連携で、医療市場等へ展開

「冷やす」「温める」をコア技術とする化学製品メーカー。主力製品は防寒等の機能を有する作業用手袋、弁当やケーキの持ち帰り用から精肉、魚介類の配送用まで使われる保冷剤、スポーツ時のアイシングや発熱時の冷却用の保冷具と幅広い。医療機器製造業及び製造販売業許可を保有。2017年に医療機器ブランド「メディアン」を立ち上げ、医療関係の温熱・冷却剤の開発・販売に注力。2018年地域未来牽引企業に選定されている。

●所在地	三重県松阪市大口町262番地1
●電話／FAX	0598-51-2361／0598-51-1143
●URL	http://www.miekagaku.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　山川　大輔

●設立	1956年
●資本金	2,300万円
●従業員数	45人

外部資源を積極的に活用し、幅広い分野の課題解決に貢献

大学・支援機関・異業種企業等、外部資源を積極的に活用し、「自社に不足する技術・ノウハウの外部資源有効活用」や「現場ニーズを元にした開発」を実現。例えば、手袋に色見本をつけ、柿やミカン等の収穫適期をわかりやすくした作業用手袋「果実カラーチャート付き手袋」を、三重県中央農業改良普及センターと共同開発。収穫期を逃して廃棄する果実の減少や、出荷品の均一化に貢献。また、藤田医科大学病院の看護部ニーズから、体の患部にフィットする冷却剤「くるっとクール」を開発。同病院のスタッフによる試作品評価を繰り返し行い、既存の冷却剤では難しかった首や脇等への効率的・効果的な冷却を実現。

冷却剤「くるっとクール」

地域未来牽引企業同士で連携し、新製品を開発

岐阜県の樹脂加工メーカー（地域未来牽引企業）と連携し、冷却剤の硬くて痛い常識を覆す、お餅のような柔らかさ、手触りの良さを持つ、冷やしても引っ張って伸ばせる医療用冷却剤「ぷるCUREアイスパック」を開発。三重・岐阜両県知事から好評を得たことが、地元を含む数多くのメディアに掲載され、多くの引合いを得ている。

「ぷるCUREアイスパック」を知事報告

地元自治体との連携により、自社事業の価値を向上

松阪市、民間事業者2社、大手前大学（兵庫県）との産学官5者連携により、使い捨ての紙箱に比べて環境負荷低減につながるスイーツ持ち運び用容器「Sweets Box」（試作品）を開発。同社は、専用保冷剤の開発・提供で貢献。また、松阪市が2017年度に開始した「中小企業ハンズオン支援事業」の初代支援先に採択され（年度に1社のみ）、同支援事業を活用して、医療機器ブランド「medi-an（メディアン）」を立ちあげている。

医療機器ブランド
medi-an メディアン
OEM生産・産学連携を積極的に実施

株式会社佐藤製作所

需要獲得 ものづくり

三重県桑名市

国内でのモノづくりを堅持しつつ、高い技術力により海外メーカーに部品供給を開始

自動車エンジンのプラグや建設機械の油圧モーターの制御機器といった重要部品の切削・研磨加工メーカー。2011年から建設機械の分野に新規参入し、従来からの主力事業であった自動車部品を超える事業規模へと急成長。これに伴い、生産量・事業領域が拡大するなか、国内での「ものづくり」を重んじ、国内に新たな生産拠点を次々と整備し、地域の経済・産業にも大きく貢献している。

●所在地	三重県桑名市大字東方字掛越2820番地
●電話／FAX	0594-22-1829／0594-22-2865
●URL	http://www.sato-ss.jp/
●代表者	代表取締役社長　佐藤　敦

●設立	1954年
●資本金	1,300万円
●従業員数	270人

新たに海外農業機械メーカー向けの製品供給を開始

自動車・建設機械部品の一部は、最終的に70%以上が海外向けの製品に用いられ、日本メーカーの海外展開において重要な部品となっている。また、建設機械分野では、油圧モーターの油量の電子制御やショベルの掘削用部位の自動交換など、操作性を高める新機能に必要な基幹部品を担っている。新機能を搭載した建設機械は、国内のみならず海外の建機メーカーの導入も進んでいる。2019年からは部品ユニットとする組立工程まで対応できることが評価され、海外の大手農業機械メーカー向けの部品供給を開始し、さらなる成長が期待される。

精密油圧機器部品

国内での「ものづくり」を堅持し、地域内外での設備投資や雇用を創出

建設機械分野への参入当時は、売上高約20億円、従業員数約130名の事業規模であったが、現在はともに2倍以上に増加。自動車部品も、ユーザー企業への新たな加工方法等の提案により受注が増加し、部品生産を担っている鹿児島県に立地する子会社でも、工場の増設が進められている。こうした国内での設備投資は、2019年に稼働した本社新工場をはじめ、2011年以降に地域内外で5つの生産拠点を新設（関連する設備投資総額は、約52億円）しており、地域内外の産業・雇用にも貢献している。

新工場

独自の専用機・生産ラインや検査工程の自動化と人材育成

主力製品の自動車エンジンプラグの量産品は、月産数10万個を超えるものもあり、大半が自社で設計・開発した専用機や生産ラインで安定した量産を実現している。最も人の手に頼っていた検査工程で、独自に専用検査機を開発し、良品保証を行うとともに、専用機も継続的な改善を行っている。また、人材確保においては、従来の中途採用から地域を中心とする新卒採用への転換を進めて、自社の「ものづくり」を支える人材育成に取組んでいる。

自動施盤工程設備

株式会社パンテック

需要獲得 サービス

滋賀県大津市

サーキュラーエコノミーシステムにより世界的な廃プラスチックの課題を解決

収益の軸は、プラスチックリサイクル最適化を提案するコンサルティング事業。世界の17か国と取引を交わし、日本国内には33か所の回収拠点、48か所の委託加工工場がある。同社は、企業内で発生する廃棄物のリサイクルフロー可視化提案を推進しており、排出企業は同社製品のサーキュラーエコノミーシステム（追跡システム）は、廃棄物の最終的な行方まで確認可能となっている。

●所在地	滋賀県大津市瀬田4丁目5番8号
●電話／FAX	077-543-6625／077-543-6685
●URL	https://www.pantechco.jp/
●代表者	代表取締役　黒木　正明

●設立	1996年
●資本金	1,000万円
●従業員数	36名

新装置・新システムの開発による付加価値向上を実現

廃プラスチックは世界的な課題だが、廃棄物の品質・性状は一様でないことが市場の拡大を阻害している。また、リサイクル業取引の透明性確保も課題である。当社は、装置開発も含めた多様な品質の材への対応技術力向上と、企業が排出品の状況を確認できる新しい追跡システムを開発することで、これらの課題に対応するとともに付加価値の向上につなげている。このような活動を通じて信頼性の高い事業ネットワークを形成しており、10年で年商約3倍を実現。

サーキュラーエコノミーシステム

外国籍社員に支えられた海外展開と全員参加型の経営

創業者は欧州を始め海外業務経験が豊富であり、排出地域、加工地域、再生品の消費地域の三国間トレーディングを得意事業の一つとしている。海外展開に積極的に取組み、現在では外国籍の社員6名を擁し、世界17か国でリサイクル事業を行う。この多地域での事業展開が、安定した経営基盤を形成している。多様な社員全員の成長を実現するため、全員参加型の経営スタイルを徹底。グループ毎の採算経営を進め、全員が日々の売上・在庫等の情報を共有し、能動的に考えアクションを起こすスタイルで事業拡大に取組んでいる。

海外拠点会議の様子

パンテック流「三方良しの法則」で地域経済にも貢献

同社は、より高付加価値なコンサルティング業務に軸足を移してきた経緯のなかで、全国に処理事業を請け負う協力企業を持っている。同社のビジネスが拡大し、社会への環境負荷が低減すれば、排出企業への貢献にもつながり、同時に協力会社を通じて地元地域にも波及効果がおよぶ。また離職の少ない良質な雇用が創出されることでも地域経済に貢献している。

パンテック流「三方良しの法則」

株式会社三鈴

需要獲得 ものづくり

滋賀県蒲生郡日野町

ミクロン単位の電線加工技術と海外拠点により多様なマーケットの需要を獲得

電線用コンダクターの製造及び伸線加工業務を手掛けている。主として銅、アルミニウム、並びに合金線等の裸電線及び絶縁導線等を取扱っている。同社製品は、AV機器や通信機器用の器内配線ケーブルを中心に、同軸ケーブル、コンピューターケーブル等多岐にわたって使用されている。加工内容は伸線・メッキ・圧延加工等とし、特にメッキ製品・平角線製品での評価が高い。

●所在地	滋賀県蒲生郡日野町北脇1番地101（日野第二工場団地内）
●電話／FAX	0748-53-1631／0748-53-1634
●URL	http://www.misuzu-wire.co.jp/
●代表者	取締役会長　鈴木　雅也

●設立	1965年
●資本金	9,000万円
●従業員数	112名

需要にマッチした海外展開

主要取引先の海外進出に併せて中国、香港、ラオス、スロバキアに製造拠点を保有。様々なマーケットでの販路開拓を行っている。また、昨今の中国における人件費上昇対策として、中国工場からラオス工場への一部生産シフトを行い、海外での生産コスト低減につなげている。複数大手と取引のある独立メーカーでありながら、その取引先の海外進出に併せて積極的に海外展開している。

ラオスの生産拠点

あらゆる分野の電線に対応可能な生産技術

自動車関連部品や医療機器、情報通信機器等、幅広い領域での利用に対応すべく、用途別の電線の強度、細さ、屈曲性等に関して業界屈指のノウハウを有する。伸線加工メーカーとしては、ミクロン単位の極細線の加工を強みとし、高い技術力を有している。ISO9001、ISO14001を認証取得済。2016年には品質・環境共にISO2015年版に移行しており、導体のスペシャリストとしての高い品質管理と環境面における配慮を行っている。

多芯の集合線を生産するマルチ伸線機

関西の雇用創出、インバウンド需要の取込

関西に工場を2拠点（大阪府大東市、滋賀県蒲生郡）有しており、関西経済の雇用創出に貢献している。採用活動に関しても定期的な新卒採用を行っており、社長自らが採用説明を行うなど、企業存続に向けた人材確保に努めている。当社の製造する電線は国内大手家電メーカーの製品にも利用されており、訪日外国人向けの電化製品の開発等に間接的に寄与している。

携帯電話等の内部配線に使われる極細線

株式会社木の家専門店谷口工務店

需要獲得　サービス

滋賀県蒲生郡竜王町

商店街全体をホテルに見立てた「講 大津百町」により地域経済の活性化を実現

「みんなが喜ぶ家づくり」を理念に関西を拠点とする工務店。2018年6月に滋賀県大津市にある商店街の空き店舗7棟をホテルに改修し商店街ホテル「講 大津百町」をオープンした。ホテル業により、工務店として培ってきた建築文化の継承や大工技術による新たな価値を創造し、空き家の新しい活用方法を提案することで地方創生・地域活性化を目指すものである。

●所在地	滋賀県蒲生郡竜王町山之上3409
●電話／FAX	0748-57-1990／0748-57-1835
●URL	https://taniguchi-koumuten.jp/
●代表者	代表取締役　谷口　弘和

●設立	1995年
●資本金	900万円
●従業員数	105名

かつての東海道五十三次　最大の宿場町「大津」を復活

新たな施設や名物･名産品を作るのではなく、昔から息づく文化や風土、人々の営みを観光資源化して地域を活性化するモデルをつくることが事業コンセプト。商店街にある飲食店や銭湯等の地域資源を、そのままホテルコンテンツとして活用。街の魅力を知り尽くしたローカル・コンテンツ・エディター（コンシェルジュ）が宿泊者のあらゆる相談に対応している。地域に溶け込んだ商店街のなかで町家に泊まるという大津でしかできない特別な体験を提供している。

商店街のホテルコンテンツ活用

地域資源の有効活用とインバウンド需要の効率的な獲得

かつて東海道最大の宿場町として栄えた大津は交通アクセスが良く京都から電車でわずか9分の好立地である。三井寺などの歴史的建造物が建ち並び、外国人旅行客も訪れている。商店街の名店を案内するガイドツアーも好評を得ている。自社のPRではなく、地域のイベントをSNSで発信することで、街を訪れる人全員に対してホテルを知ってもらうきっかけを作っている。

商店街を案内するガイドツアーの様子

地域活性化によって生まれる相乗効果

「暮らしを豊かにし、街を豊かにし、感動をつくる地域貢献をしていきたい」という想いで事業をスタートした。伝統的な大津町家をホテルに転用することで、地域の観光需要を創出している。また、室内の調度品やアメニティーも滋賀県産のものを多く使用し、地元商店街、事業主がそれぞれメリットを享受できる。地域活性化をボランティアではなく、経済活動で達成する仕組みを構築することで、付加価値の向上にもつながっている。

地元から仕入れた食材を積極的に採用

長谷金属株式会社

需要獲得 ものづくり

滋賀県愛知郡愛荘町

一貫生産体制による高い対応力が強み 常に新技術習得と新市場開拓を追求

滋賀県愛知郡に本社を置き、エレベーター部品を主とする産業機械部品の製造を行っている。県内の大手エレベーターメーカーの主要サプライヤーとしてメーカーが必要とする板金加工及び組立の製品を供給している。材料手配から板金・製缶加工、機械加工、溶接、塗装、組立、品質の管理検査まで社内で一貫生産する強みを活かし、近年はエレベーター以外の分野まで一貫生産の受注を広げている。ベトナムへの工場進出も計画中。

●所在地	滋賀県愛知郡愛荘町島川115番地
●電話／FAX	0749-42-6858／0749-42-6859
●URL	http://www.hasemetal.com/
●代表者	代表取締役　長谷　佳幸

●設立	1964年
●資本金	1,000万円
●従業員数	43名

常に新しい技術の習得を心掛け、高付加価値を追求

「抜き」「曲げ」の単純な金属加工から現在では板金・製缶加工だけでなく、機械加工による複雑な構造の切削や溶接、塗装、組立の各工程を高精度で行える技術を高めた。また、それらの一貫生産により、供給先に対し迅速な納期対応と、安心な品質を提供している。蓄積した技術力を活かし、エレベーター関係以外にも、物流自動倉庫や立体駐車場用昇降装置、清掃車等の特殊車両、検査装置、自動包装機械等の産業用機械部品の加工･組立にも進出。常に新たな分野に挑戦し、需要を獲得している。

一貫生産体制の「機械加工風景」

一貫生産体制により短納期、高品質、特注品対応を実現

単一加工によらず、材料手配、板金・製缶加工、機械加工、塗装、溶接、電気配線も組込んだ組立、最終検査までを一貫して行っている。一貫生産でリードタイムを短縮できるうえ、部品単体の加工精度や強度に加えて、組立を行った際の精度や強度、安全性、品質についても高い性能を生み出している。自社で全工程がこなせることから、大型・厚物などの特注品等の対応も可能である。

製品：エレベーター・メンテナンス点検台

独自の仕入ルートを持ち、「鋼材証明書」の手配も可能

創業当初は鋼材卸売業であったこともあり、現在でも商社を通じて鋼材メーカーとの繋がりが強い。厚鋼板、薄鋼板、溶融メッキ鋼板、電気メッキ鋼板、ステンレス、アルミ、型鋼等あらゆる材料を入手できる。需要家からの要望により強度や硬度の鋼材証明書（ミルシート）の手配を行っている。一貫生産により素材から製品までのトレサビリティを確実にし、需要家から安心・安全の信頼を得ている。

素材から製品までのトレサビリティを確実に

株式会社寺子屋

需要獲得　サービス

京都府京都市

オリジナルコンセプトショップと地域資源の相乗効果により観光需要を創出

同社は「旅先での思い出づくりのお手伝い」として、全国の観光地を中心に、「スヌーピー茶屋」など22種類、157店舗のコンセプトショップを直営展開しており、観光客を中心に年間500万人以上が利用。すべてのコンテンツは主に「和」をモチーフとしており、そのテーマに沿ったオリジナル商品の企画製造販売を行っている。出店地域の食材や産品とコラボレーションした独自性のあるユニークな商品も展開している。

●所在地	京都府京都市右京区西京極豆田町7番地
●電話／FAX	075-325-3535／075-325-3525
●URL	https://www.telacoya.co.jp/company/
●代表者	代表取締役　海藏　講平

●設立	1980年
●資本金	4,800万円
●従業員数	600名

22種類のコンテンツを全国に展開

北海道から九州まで出店エリアを全国に広げることで観光需要の季節変動を少なくし、売上の安定化を実現している。22種類と豊富なコンテンツは、同一観光地内での多店舗展開を可能にし、集客力のあるエリアにおける収益性を高めるとともに、多方面の客層を取込めるため、インバウンドだけに頼ることなく堅調に売上を伸ばしている。

22種類のオリジナルコンテンツ

地域とコラボレーションした独自性のあるユニークな商品開発

地域の食材や産品と、自社オリジナルのコンテンツをコラボレーションし、独自性のあるユニークな商品を開発、各観光地の特性に沿った商品展開を実現し、各観光地に根ざしたショップ展開を行っている。日本の茶道をヒントに茶器を形取り、京都発祥の「茶の湯文化」をモチーフに京都産一級宇治抹茶を贅沢に使用し作り上げた菓子「京のいっぷく椀」など、独創的な商品を開発している。

地域食材を用いた限定商品

癒やしとゆとりを与えるキャラクターコンテンツ事業の展開

世界的に認知度の高いスヌーピーやリラックマを活用し、「和」と融合させた癒やしを追求するキャラクターコンテンツを展開している。飲食を伴ったキャラクターカフェは、日本人だけでなく外国人にも人気があり、集客力があるコンテンツである。また、ミッフィを使ったキッチン用品を中心に揃えた「みっふぃきっちん」では、ベーカリーショップを併設。キャラクターにテーマを加えた独自のコンテンツは、相乗効果を発揮し、同業他社にはない強みとなっている。

みっふぃ桜きっちん&ベーかりー　京都・嵐山

株式会社ナールスコーポレーション

需要獲得 ものづくり

京都府京都市

皮膚コラーゲン等を産生させる化粧品原料の開発 産学連携による社会実装の実現

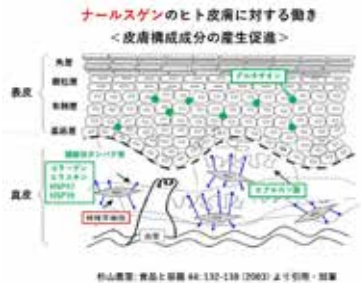
同社は、ヒト皮膚の線維芽細胞や表皮細胞を活性化し、コラーゲンやヒアルロン酸等の皮膚成分の産生を高める「ナールスゲン」を化粧品原料として開発した。これは、現在市場に出回っている魚・動物由来のコラーゲン等の化粧品原料を上から塗布するのとは全く作用が異なるものである。ナールスゲンを配合した各種化粧品は角質水分量を高め、肌弾力を向上させるアンチエイジング化粧品として好評を得ている。

●所在地	京都府京都市西京区御陵大原1-39 京大桂ベンチャープラザ2110
●電話／FAX	075-748-9524／075-748-9547
●URL	https://www.nahls.jp/
●代表者	代表取締役社長執行役員　川崎　元士

●設立	2012年
●資本金	4,077.5万円
●従業員数	4名

コラーゲン等の皮膚成分を生み出すアンチエイジング化粧品

京都大学と大阪市立大学の共同研究で見出された物質「ナールスゲン」は、線維芽細胞のGGT酵素を阻害し、一時的に酸化ストレスを生じさせることで、細胞の防御システムを作動させる。結果、線維芽細胞は活性化され、コラーゲン・ヒアルロン酸・グルタチオン等の産生が増強される。衰えた細胞に働きかけて本来の潜在力を引出し、老化した肌に弾力を取戻す画期的な化粧品原料である。全国有名百貨店やネットショップで自社ブランド化粧品を販売し、国内外の化粧品メーカーには原料を供給している。



ナールスゲンの作用

日本で開発された化粧品原料が米国輸出に成功した稀有な例

市場が大きく化粧品への関心が高い米国市場への参入に成功した。従来のコラーゲン等を配合した化粧品とは異なる画期的なメカニズムと、確かな機能性データが高く評価されており、ナールスゲンのブランドで海外進出を果たしている。日本で開発された化粧品原料が米国に輸出されるケースは極めて珍しい。現在も複数の海外企業と交渉を続けており、様々な用途に応用が可能な素材として期待されている。

ナールスゲン配合自社化粧品

高付加価値の歯科専門商品を地元企業と共同開発

美容化粧品以外の分野でも、歯科材料販売を行う株式会社ニッシン（京都府）と、口腔粘膜に対する化粧品の共同開発にチャレンジした。コラーゲンやヒアルロン酸等の成分を自身の口腔粘膜細胞に産生促進させ、口腔内の乾燥に悩む高齢者や義歯装着者の口腔内環境を良好に保つことを目指した。2019年11月にナールスゲン配合の口腔保湿剤「keora（ミストタイプとジェルタイプの2品目）」の発売に至った。株式会社ニッシンのルートを通じて現在歯科医療関係者に販売を行っている。

京都大学北部総合教育棟の研究室

株式会社クロスエフェクト

需要獲得 ものづくり

京都府京都市

世界の開発案件を最短・最速で支援
開発者の期待を超える試作品の提供

開発工程の「短縮化」「時短」こそが最大の価値と考え、『世界最速クラスの光造形・真空注型での試作品製作』や『企画・設計段階からサポートするRapid Designによる高速プロダクトデザイン・設計技術』などで、『速いものづくり』を実現し、①プロダクトデザインおよび樹脂筐体設計、②3Dスキャニング、③光造形による3D開発試作モデルの製作、④真空注型品製作、⑤CTスキャンサービスなどのサービスを展開する。

●所在地	京都府京都市伏見区南寝小屋町57番地
●電話/FAX	075-622-2600/075-622-4700
●URL	https://www.xeffect.com/
●代表者	代表取締役　竹田　正俊

●設立	2001年
●資本金	1,000万円
●従業員数	40人

世界中の外科医に心臓シミュレータを提供

心臓外科手術の現場では、短時間に手術を完了する必要があり、難易度の高さと相まって熟練執刀医に施術が集中する傾向にあり、若手人材の育成は急務である。CTスキャンデータの情報を立体化して心臓モデルを提供することにより、術前に様々なトレーニングを行うことができる。心臓モデルは、現在アメリカやドイツの病院へ提供しており、今後は世界中に展開していく予定である。再現性を確保することが難しいとされてきた心臓以外の各臓器モデルも開発中である。2013年　第5回ものづくり日本大賞「内閣総理大臣賞」受賞。

臓器造形システムによる心臓の超軟質精密ウェットモデル

世界最速の開発支援ー最短・最速こそが当社の最大価値

開発者の期待を超える試作品をどこよりも早く提供。「速さを追求し、世界の開発案件を支援」することを使命として、さまざまな思いを最速で形にする。試作を短期間で行うことで、「コスト低減」「問題点の早期発見」「データでの修復が可能」などメリットも多くすべてのものづくりに貢献する【試作×最速】。お客様のイメージ・想いを意匠デザインから設計・3D作成まで、どこよりも速くカタチにする【デザイン×最速】。

コンカレントプロセスによるリードタイム短縮

顧客の思いを素早くカタチに変えるRapid Design Service®

Rapid Design Service®は、時間という「質」を提供する-お客様が頭の中にぼんやりと描いたイメージを少しでも美しく、速く具現化し、モノづくりのなるべく早い段階において問題点の洗い出しや改善を可能にするサービスである。それらがさらなるアイデアを生むきっかけとなり、開発を一気に加速させる手助けになる。デザインから試作まで、ワンストップで対応できるので、低コスト・短納期で開発ができるだけでなく、デザイン性と機能性の両方を最大限にしたご提案が可能である。

Rapid Design Service® でデザインした自転車

能勢鋼材株式会社

需要獲得 サービス

大阪府大阪市

製造業の「困った」を一貫支援で解決 サプライチェーン統括企業として事業展開

3,000社以上の顧客ネットワークを持ち、月産20万個2万種の製品を市場に供給する素材製造販売会社。近年は、その幅広いネットワークと自社の有する在庫機能・配送機能・管理機能を活かし、航空機部品事業を担う専門部署を社内に設立。12社からなるサプライチェーンを統括する中核企業として航空機産業への参入を果たし、実績を積み上げている。約30年前からバルブ部品の供給に実績を有し、日本で唯一のバルブ産業集積地である滋賀県彦根の地場産業を支えている。

●所在地	大阪府大阪市旭区高殿1-2-25
●電話/FAX	06-6922-7631/06-6925-2441
●URL	https://www.nose-sus.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　能勢　孝一

●設立	1969年
●資本金	2,000万円
●従業員数	86人

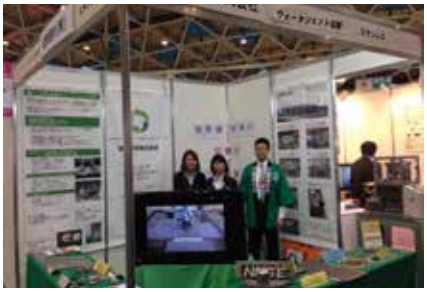
高いレベルの品質保証と納期管理で海外市場の開拓

品質マネジメントシステムである「JISQ9100」を取得し、社内に航空機部品事業を担う専門部署（KansaiSupplyChain事業部）を設立、統括会社としてメンバー企業（11社）と航空機産業へ参入。国内川下企業を介して航空機メーカー向けに機械部品を生産・供給している。また、幹部社員を海外へ派遣し、現地事務所（シリコンバレーオフィス）において営業活動を展開している。その結果、海外顧客からの見積りを取付るなど、旺盛な市場開拓を進めている。

高いレベルの品質を確保する三次元測定機

サプライチェーンを構築する地元協力企業の売上げ拡大に寄与

2018年に地域未来牽引企業に選定されるなど、地域の経済成長を牽引。基本的に加工工程をすべて地元協力企業に再発注するサプライチェーンを構築、統括企業として、工程設計、工程管理、品質保証を行っている。近年毎年100社におよぶ新規顧客開拓実績を積み重ね、地域経済活性化に大いに貢献している。また、地元協力企業単体では得られなかった「部品の一貫生産」という付加価値も付与することにより、地元協力企業の売上げ拡大に寄与している。



中小企業展で地元協力企業の新規開拓

小ロット、多品種対応可能な「一貫生産」サプライチェーン

月産20万個2万種類の製品を製造し、3,000社の顧客に配送する、小ロット、多品種対応が可能である。この対応力と自社配送網を有する配送機能の強みを、部品加工にまで広げ、「一貫生産」サプライチェーンを構築することで、材料だけではなく、「部品」の低コスト、短納期対応をも可能としている。

小ロット、多品種に対応した自動倉庫

株式会社フクナガエンジニアリング

需要獲得　サービス

大阪府大阪市

お客様の課題を現場の声をもとに解決
再生資源のノウハウで海外展開を推進

現社長の祖父（創業者）の代から70年以上にわたり金属資源リサイクル事業に取組む。「ビジネスを通じて環境問題に貢献」をモットーに、顧客の現場改善と環境対策に貢献する事業に取組む。現場の声をもとに、効率よく金属を運ぶための搬送容器コンテナバッグ(フレコンバッグ）事業や産業車両用ノーパンクタイヤ事業を開始、現在では主力事業に成長。2014年に設立したベトナム拠点では金属リサイクル事業を実施。

●所在地	大阪府大阪市城東区鴫野西5-13-30
●電話/FAX	06-6969-3647/06-6962-1613
●URL	https://www.ecosoft.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　福永　政弘

●設立	1994年
●資本金	3,000万円
●従業員数	30人

途上国で環境産業を育成～海外部門の経常利益率50%が目標

国内市場が縮小するなか、以前より海外での経常利益率50%を目標に途上国でのリサイクル事業に積極的に取組み、日本の技術を現地に伝え、環境問題の解決を目指している。バイク産業が盛んで金属需要が急増する一方金属リサイクル技術が進んでいないベトナムの状況を知り、JICAの中小企業海外展開支援事業(基礎調査)やJETROの制度等を活用し市場調査を実施し、2014年に現地法人を設立、金属リサイクル事業を営んでいる他、昨今はリサイクルが普及していないエチオピアでタイヤリサイクル事業の開始を目指し調査を行っている。

リサイクル用タイヤ（ベトナム）

リサイクル事業を通じて地域のSDGs推進をめざす

長年大阪市で金属資源のリサイクル卸売業を営んでおり、本業を通じて地域環境に貢献するとともに、金属加工業の発展に寄与してきた。近年ではベトナム現地ローカル企業と提携し、日本品質のリサイクル技術支援を行い、ベトナムに進出している日系企業の原料の現地調達にも貢献している。また、日本各地のアフリカ関連のセミナーやSDGsビジネスに関するセミナーに登壇し、自社の海外展開の事例やSDGsについて事例紹介することで、業界での海外ビジネスの推進やSDGsの普及に貢献している。

2019年8月のTICAD7でのPR

新たな仕組を活用し、付加価値向上につなげる

ものづくり補助金を活用し新型タイヤの開発や生産工程の省力化システムづくりを行う他、委託生産先と共同で部品の共通化を図るための設計や製造方法等を工夫し、生産性向上に取組んでいる。また、業界でも先進的にITを活用しIT経営百選の受賞や、エチオピアでのタイヤリサイクル事業準備にあたってクラウドファンディングを利用する等、新しい仕組を積極的に取入れ生産性向上・付加価値向上を図っている。

ハイブリッド式プレスオンタイヤの開発

株式会社天彦産業

需要獲得 サービス

大阪府大阪市

目指すは特殊鋼調達力No.1 特殊鋼素材をトータルプロデュース

特殊鋼及びステンレス、表面処理鋼板、超ステンレスシリコロイの加工・卸売業者である。自社倉庫で在庫対応を行うとともに、一部自社加工も行うほか、関係会社・協力会社など加工ネットワークを通じて、顧客のニーズに合せた付加価値の高い加工・販売を実施している。海外においては中国・タイに現地法人を有しており、現地の日系企業や地場企業への販売、日本への輸出などを行っている。

●所在地	大阪府大阪市住之江区南港南5-5-26
●電話/FAX	06-6613-2361/06-6613-2367
●URL	http://www.tenhiko.co.jp
●代表者	代表取締役社長　樋口　友夫

●設立	1875年
●資本金	2,083万円
●従業員数	40人

顧客ニーズに沿った加工提案による高付加価値な特殊鋼の供給

自社の加工技術に加えて、多くの関係会社・協力会社と連携して、顧客のニーズに沿った加工提案をすることができる。それにより、顧客のトータルコスト抑制に貢献している。また、多くの仕入れ先を有しており、特殊鋼の商品メニューの幅が広く、小ロットも可能であり、顧客の必要な商品を適切に仕入れることができる。これらの革新性・優位性により、自動車部品、建機、農機、造船、産業機械メーカーなど500社超の幅広い業種の会社が取引先となっている。

仕上り面のきれいな高速丸鋸切断機

中国・タイに拠点を設立、国内外を問わず商品を供給

2007年に中国・上海に販売会社、2008年にタイ・テパラクに加工拠点を設立。海外においては現地の日系企業に加えて、地場企業を顧客としている。また、日本や第三国向けの輸出も行っている。タイ工場では、特定の顧客がいないなかで進出したが、顧客ニーズに応えるべく自社工場での加工能力強化とエンジニアリング機能を充実させ、高品質・安定供給・短期納品の実績が評価され、顧客から高い評価を得ている。

天彦タイランドの加工拠点

女性社員が生き生きと働き海外取引が拡大

2008年に組織した女性が中心の営業チーム「TWS(天彦ウェブセールス)」では、語学力の高い女性によるインターネットを活用した海外顧客戦略を展開し、売上比率を倍増。以来女性の働く意欲も向上し、女性の平均勤続年数が飛躍的に伸びる。2010年度大阪市きらめき企業賞、2012年度「ダイバーシティ経営企業100選」、2015年3月大阪市女性活躍リーディング・カンパニーに認証される。また、2014年4月には女性社員の積極的活用現場として安倍晋三首相の企業視察を受ける。

安倍首相と懇談する営業チームメンバー

株式会社なにわ花いちば

需要獲得 サービス

大阪府大阪市

花と緑で豊かな感性を築き、暮らしに快適で多彩な生活文化の創造を提案

国内2位の花き取扱高を誇る卸売業者で、日本産花きの普及拡大を図るため、海外の展示会・商談会への参加や海外バイヤーの招へい、北米に販売拠点を設けるなど積極的に海外市場の開拓を行い、現在では米国を中心に年間約200万本の切花を輸出している。また、2018年には、保冷設備、予冷設備、梱包設備を備えた輸出対応型集出荷施設「Hana Ko」を整備。国内花き流通と海外輸出の拠点としてさらなる輸出拡大を進めている。

●所在地	大阪府大阪市鶴見区茨田大宮2-7-70
●電話/FAX	06-6914-2300/06-6914-2070
●URL	https://sites.google.com/naniwa-hana.co.jp/aniwa-hana/
●代表者	代表取締役　奥田　芳彦

●設立	1994年
●資本金	47,377万円
●従業員数	85人

品質の高い生花の流通に貢献

日本全国の産地から季節に応じて様々な花きを集荷、全国の小売店や卸売業者に卸売りを行っており、大阪市内という大都市圏にある市場であることから商圏も広く、切り花では全国2位の取扱高となっている。また、輸出にも積極的に取組んでおり、2018年にはさらなる輸出拡大を図るため、輸出対応型集出荷施設「Hana Ko」を設置。施設内で一貫して出荷作業が行えることから生花の品質の保持力が高まり、海外輸出や国内流通する花のワンストップ物流拠点としても大きな役割を担っている。

輸出対応型集出荷施設 Hana Ko

米国向けプロモーションにより切り花輸出のトップシェア獲得

日本産花きの国内需要減少や価格の低下、収入の低下による後継者不足などの現状に危機感を覚え、新たな需要拡大を目指すため、2008年以降、他の卸売業者に先駆けて切り花のマーケットが大きい米国全域でのプロモーションを開始。日本産花きの良さをPRするため、海外展示会や商談会への積極的な参加や海外バイヤーなどの招へい、現地販売拠点の設置などを行った結果、多くの新規取引先を開拓。現在まで順調に輸出を増やし、切り花輸出では全国でもトップシェアを獲得している。

ニューヨークでの販促活動

消費者ニーズを生産者に伝え、ニーズに合う生花の提供をサポート

生花を購入する消費者や需要家等の現場ニーズを汲み上げて生産者にフィードバックし、今後売れ筋になりそうな花の種類・色や出荷タイミング等を情報交換するとともに、高品質でより良い花の生産の促進や新品種開発のサポートをする等、さらなる品質向上に向けた取組を行っている。また、生花の活躍する新しいシーンの提案等も積極的に行い、日本産花きのマーケットの拡大に向けた取組も行っている。

アメリカ人バイヤーを招へいしての商談会

株式会社ラミーコーポレーション

需要獲得 ものづくり

大阪府大阪市

常に進化するラミネートメーカー 日本で培ったノウハウを基に世界に挑む

同業者のなかで唯一機器のアフターサポートを行っており、地域密着型のきめ細かなサービスを提供。平成27年度に異分野連携新事業計画の認定を受け、原稿とラミネートフィルムを自動的に送る機能を搭載したオートラミネート機を開発し、平成30年度大阪府認定新商品に選定。海外展開も積極的に行っており、欧米諸国・東南アジアへ販路拡大している。フィルム等は特注をすることで、RoHS規制をクリア、環境面でも信頼を獲得している。

●所在地	大阪府大阪市福島区福島6丁目4番11号
●電話/FAX	06-6453-4291/06-6453-4292
●URL	http://www.lami-corporation.co.jp/
●代表者	代表取締役　岸田　洋平

●設立	1980年
●資本金	10,000万円
●従業員数	114人

世界初のカセット方式を採用したオートラミネーター

異なる大きさの印刷物でも、原稿給紙から余白のカットまで、一連のラミネート加工作業を全自動で行うラミネーターを開発。世界初のカセットラミネート方式(国際特許出願中）を採用することにより、従来製品よりもラミネートフィルムの交換作業が格段に簡素化され、メンテナンスが容易である。最新型のオートラミネーターは、誰でも簡単に操作できるうえ、これまで故障が皆無という性能の高さや価格低減を実現しており、これまで利用のなかった業種への販路開拓・拡大に成功している。

カセット方式採用のオートラミネーター

各国代理店を介した、欧米諸国・東南アジアへの販路拡大

平成26年に海外事業部を設立、各国代理店を介して、欧米・東南アジア諸国へのラミネーター販売を開始。平成30年にはオランダに子会社を設立するなど、現在海外に関連会社2社を有する。また、欧米での販売にあたり、平成29年にRoHS規制に対応したラミネートフィルムを開発し、海外展開の一助となった。平成29年度より、ケニアの産業人材育成を促すことを目的とした現地調査と留学生のインターンシップ受入を実施。今後、アフリカ諸国進出に向けて、留学生等への技術支援を行っている。

各国代理店を介した海外展開

高機能装置の低価格化及び故障レスによる需要拡大

オートラミネーターの部品数の大幅な削除や、電子回路設計を見直したことで、オート機能を有する高機能な装置を、従来より大幅に低価格化させることに成功。この際、海外向けの用紙サイズの追加や、外国人の指の太さに対応させたタッチパネルへの改良を行い、海外にも対応した装置を開発。低価格化と故障レスという品質の高さによって、オートラミネーターを導入する顧客が増加し、装置を導入していなかった業界や海外への導入が進み、大幅に需要が拡大している。

海外展示会における商談

平安伸銅工業株式会社

需要獲得 ものづくり

大阪府大阪市

突っ張り棒の老舗ニッチトップメーカー 今の時代にあった暮らしの提案で新規開拓

現社長（創業者孫）の事業承継後、量産品から高付加価値の提案型企業へと変貌を遂げる。【アイデアと技術で「私らしい暮らし」を世界へ】をビジョンに掲げ、従来からの突っ張り棒に加えて、インテリアとしての突っ張り棒「DRAW A LINE」、DIYとしての突っ張り棒「LABRICO」等の新事業を展開。デザインを活用し、今の時代にあった暮らしの提案により、商品に新たな付加価値を加え、新規販路の開拓に成功。

●所在地	大阪市西区江戸堀1丁目22-17 西船場辰巳ビル4階
●電話/FAX	06-6228-8986/06-6147-7303
●URL	https://www.heianshindo.co.jp/
●代表者	代表取締役　竹内　香予子

●創業	1952年
●資本金	4,900万円
●従業員数	43人

コモディティ化した商品に新たな価値を加えることに成功

クリエイティブユニットTENTとコラボした「DRAW A LINE」は、インテリア製品の展示会出展や家具専門店への販路開拓により新たな販路の開拓に成功。単なる道具の提供だけでなく暮らし方のノウハウまで提供することで付加価値を提供。価格は従来の突っ張り棒の2~3倍に、オプションの照明器具等をセットにすることで10倍近い価格となっている。コモディティ化した従来商品とは異なる価値づくりをはじめたことで、OEM製品であっても製造者として社名の記載を希望する例も増えている。

DRAW A LINE

インテリアとして生まれ変わった突っ張り棒を欧州市場へ

クリエイティブユニットTENTとコラボした「DRAW A LINE」は、国際的なプロダクトデザイン賞「IFデザインアワード2018」「Red Dot Award 2017 honourable mention」を受賞。本格的なヨーロッパ展開を進めており、仏メゾンエオブジェや独アンビエンテへの出展、仏有名セレクトショップにおけるポップアップ出店を経て、2019年2月からフランスにおいて委託による継続販売に至っている。

海外店舗の様子

徹底したユーザー目線からのブランドライン開発

代表自ら整理収納アドバイザーの資格を取得して商品開発に反映させたり、DIYスクールに入学し学んだ経験をもとに、誰でも安全で簡単に利用でき、気軽にDIYを楽しめるように開発したブランド「LABRICO」を立ちあげるなど、徹底したユーザー目線に立ったブランディングにより、単なる家庭日用品ではない付加価値を提供。「LABRICO」の自由なサイズで好きな場所に設置できる等のこだわりは、SNS口コミなどで多くのユーザーの共感を得られ、年間15万個を売り上げる看板商品となっている。

LABRICO

松浪硝子工業株式会社

需要獲得 ものづくり

大阪府岸和田市

世界水準での独自性とスピード化に溢れる「小さな世界企業」

1844年に創業し、特殊薄板ガラスの製造技術を発展させ、現在は、ファインガラスの総合メーカーとして、ライフサイエンス分野と光・電子事業分野において事業展開し、米国にも拠点を持つ。主な製品は、日本市場の70%のシェアを誇る顕微鏡用カバーガラス・スライドガラス、医療・理化学用ガラス、病理・細胞診検査業務支援システム、ディスプレイ用基板ガラス、一般電子工業用ガラス、光学部品用精密加工ガラス、等。

●所在地	大阪府岸和田市八阪町2-1-10
●電話/FAX	072-422-4545/072-436-2265
●URL	http://www.matsunami-glass.co.jp
●代表者	代表取締役社長　松浪　明

●設立	1844年
●資本金	9,000万円
●従業員数	280人

地域雇用と地域での産学連携による技術革新で地域経済の活性化

1844年の創業以来、岸和田市で事業を継続。和泉市の工場を閉鎖し、岸和田市のゆめみヶ丘に新工場を新設。従業員のほとんどが市内及び近隣都市に在住。新工場においても隣接の近畿職業訓練大学校等、地元から従業員を採用予定。近隣の（地独）大阪産業技術研究所、関西の国立大学医学部とオープンイノベーションを実施し、地域経済の活性化に貢献。地元の高校からも正社員採用を継続している。2018年には経済産業省の地域未来牽引企業に選定されている。

ゆめみヶ丘新工場

マツナミUSAを設立、EU進出に向けISO13485取得

2013年に医療機器品質マネジメントシステムのISO13485を取得。同時にEU加盟国の基準を満たすCE-IVDマークを宣言される。米国ワシントン州に主に米国販売を目的としたマツナミUSAを設立。海外売上は5年間で約3倍近く成長。高機能カバーガラスは、米国大手製薬・医療機器メーカーのOEM製品として同社1社のみが生産・供給。スライドガラスに直接印字するプリンターで国内市場80%以上のシェアを持つ。さらに輸出が急速に拡大、同時にスライドガラスの海外販売も加速している。

海外販売用スライドガラスとプリンター

5G通信関連事業等へ積極的な展開とそれを支える分業を推進

光・電子材事業の新しい取組として、2020年より本格的に運用される5G通信関連事業に参画し、次年度の事業展開が決定している。また以前から取組んでいるガラスへの光学樹脂ナノインプリント技術については、次世代ディスプレイ開発及び光通信技術事業からの関心も強く、今後拡大していくビジネスとして注力している。同社としては、常に新しい取組を行えるようなビジネススタイルを推進。人と協働作業するロボットを導入し生産性の向上と、人出不足を解消。今後はAIで分業が加速し、人がアイデア創造に専念することを目指す。

日経新聞1面に掲載されたロボット

藤田金属株式会社

需要獲得 ものづくり

大阪府八尾市

より快適なキッチンと暮らしを求めて「軽い」「優しい」「便利な」金属の追求

フライパンや天ぷら鍋等、金属製家庭用品の製造販売を営む。金型製造から、プレス、ヘラ絞り、塗装、焼付などの表面加工、検品・梱包までを一貫して行い、買ったその人だけのフライパンをつくる「フライパン物語」や、デザイン事務所とコラボレーションし料理等の各種雑誌や展示会等でも注目を集める「フライパン ジュウ」など、オリジナリティの高い商品を展開。日本国内にとどまらず、アジア、北米、欧州等の海外各地域へも商品を展開。

●所在地	大阪府八尾市西弓削3-8
●電話/FAX	072-949-3221/072-948-3635
●URL	http://fujita-kinzoku.jp　https://frying-pan.jp/
●代表者	代表取締役社長　藤田　俊介

●設立	1970年
●資本金	1,000万円
●従業員数	13人

顧客ニーズに応じたデザイン性、機能性の高い商品を継続して提供

「フライパン物語」では「自分だけのフライパン」、「フライパン ジュウ」では高いデザイン性や、「つくる、たべる、あらうを一つに」といった機能性など、これまで顧客がフライパンを通じては得られなかった「経験」を付加価値として提供している。これらに加えて、「みせるばやお」で実施したイベントでアウトドア用品インターネット通販事業者と出会い、アウトドア向けのフライパンや鉄板など、キャンパーなどのニーズに応えた商品を開発、販売。

フライパン ジュウ

アジア地域を足掛りに、北米、そして欧州へ販路を拡大

約5年前から国内商社を通じてアジア地域（中国・香港、台湾、韓国）に商品を展開。近年では、例えば台湾では、同地域のTVショッピング用のオリジナル商品の開発、販売、中国では同国最大手のECサイトへも出店するなど、現地のバイヤーや商社との直接取引を開始し、現地の顧客ニーズに応じた商品を販売している。このようなことから、現在、アジア地域向けに年2千万円程度の売上があり、年々増加している。2020年1月にはメゾン・エ・オブジェ（フランス）、2月にはアンビエンテ（ドイツ）に初出展。欧州への展開を本格的に開始した。

TVショッピング用のオリジナル商品

地域におけるブランドづくり、ファンづくり

八尾市内にあるものづくり体験施設「みせるばやお」において子供向けワークショップを開催し、特に八尾市内の子供たちにものづくりの楽しさを伝えている。また、八尾市内の他の企業が実施するものづくり体験イベントに出店し、地域住民を中心に自社及び自社商品をPR。地域におけるファンづくりに積極的に努めている。また、地域経済の活性化を図るべく、自社の事務所・工場の改装にあたり内装材等を八尾市内の企業に依頼するなどしている。

社屋外観

ヤマトエスロン株式会社

需要獲得 ものづくり

大阪府八尾市

オーラルケア製品のトップメーカーが歯周病検出装置で歯科医療分野へ進出

90年以上の歴史を持ち、国内大手メーカーを主要取引先とし、歯ブラシを中心としたオーラルケア製品では業界トップクラスのシェアを誇る。食品用の包材や芳香剤などのトイレサニタリー製品、文具などのステーショナリー製品など多様な製品を手掛けている。海外にも工場を有しており（タイ・台湾）、ISO基準に従った高品質な製品を製造・提供を行っている。

●所在地	大阪府八尾市光町一丁目61番地
●電話/FAX	072-991-1261/072-993-7856
●URL	http://www.yamato-esulon.co.jp
●代表者	代表取締役社長　松下　俊治

●設立	1928年
●資本金	10,000万円
●従業員数	700人

オーラルケア製品の知見・技術を活かした歯周病小型検出装置

同社の歯周病検出装置は従来のものが小型冷蔵庫大のものを炊飯器程度まで小型化。価格も従来品が300万円程度するものを月額2万円程度でリースと大幅に安価で提供。また、歯垢を採取する歯間ブラシには歯垢の採取量を一定にするため、ブラシの毛の太さや、余剰に採取した歯垢をこそげ落とすためのプラスチックキャップの形状を0.1ミリメートル単位で調整。歯ブラシトップメーカーの技術力を活かしている。小規模歯科も販売のターゲットとなり、従来品と競合しない部分での普及が見込まれている。

歯周病小型検出装置

オーラルケア分野から歯科医療分野への進出を実現

オーラルケア分野から、歯科医療分野への進出に際し、大阪大学の助言や、学会に参加し知見を深めることにより、歯周病検出装置を製品開発。あわせて、自社の得意とするブラシ製造技術を活かし、適切な歯垢サンプルの採取ができるような検査キットを開発。誰でも簡単に検査を行うことができる点で差別化を実現している。歯周病小型検出装置の普及により、検査キットのほうも持続的な売上計上が可能となる。

検査キット

開発・生産ともに地域と連携、地域経済活性化に貢献

今回の検出装置は同社の研究者が大阪大学に助言を求めたり、地元の歯科学会に参加する等の連携を深めたうえで開発にこぎつけたもの。また機器の生産については同じ八尾市内の工場が担っており、同社だけでなく地域経済の活性化にもつながるものとなっている。

学会参加時の展示ブース

Jトップ株式会社

需要獲得 ものづくり

大阪府和泉市

次世代環境浄化システムを提案し地球環境への貢献とSDGsへの貢献

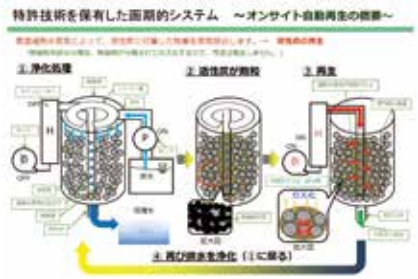
①工場排水全量を再生循環する循環型水リサイクルシステム、②上下水道料金をほぼ100%削減、③排水処理時に発生するスラッジなどの汚泥発生をゼロとすることなどを特徴とする、活性炭を用いた排水浄化処理設備の設計、製造、販売。複数の表彰実績があるほか、JICA、NEDO、JOGMEC、JSTなどの官民連携プロジェクトに採択された実績がある。国内大手企業にも装置の納入実績がある。

●所在地	大阪府和泉市箕形町4丁目5番44号
●電話/FAX	0725-51-3860/0725-51-3861
●URL	http://www.jtops.com
●代表者	代表取締役社長　仲喜　治一

●設立	2009年
●資本金	8,000万円
●従業員数	14人

維持費の安さを強みに、環境問題への関心が高まるアジアへ進出

活性炭で汚水をろ過する仕組みを使った排水浄化装置。活性炭の再生技術で特許を取得。大型貯水槽で微生物が汚れを分解するタイプに比べて、軽自動車1台程度と省スペースで済む利点がある。活性炭の再利用が可能で、加熱した蒸気を活性炭に噴射することで、たまった汚れを取り除き活性炭を再利用できる。活性炭の取り換えが必要な同業他社製品に比べて維持費は100分の1。その維持費の安さを強みに、中国、台湾、インドネシアなど海外で大型受注。現在、バングラデシュでJICAの案件化調査に着手している。UNIDO（国際連合工業開発機関）の提供するSTePPサステナブル技術普及プラットフォーム）に当社の技術が登録され、当社の技術、途上国での活動が評価されている。



特許技術の概要図

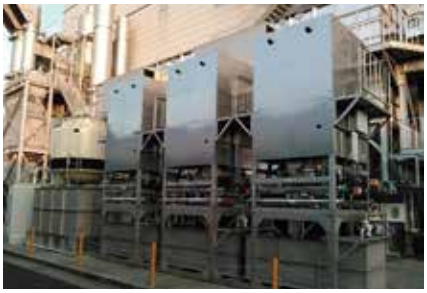
JICAの中小企業・SDGsビジネス支援事業を活用

2014~2016年にインドネシアでJICAの案件化調査及び普及・実証事業を実施。2018年1月、ジョコ大統領がチタルム川を泳げる川にするという宣言を発表。汚水垂れ流し工場の操業を止めさせ多額の罰金を科す実力行使に出た。ジョコ大統領からJICA経由で日本の環境技術への強い協力要請あり。同年3月に現地JICA技術セミナーでJトップが講演し、参加した大手繊維会社2社から大型機を相次ぎ受注。

インドネシアで稼働している排水浄化装置

三浦工業との業務提携で体制強化し、アジア市場開拓を加速

中国、台湾、インドネシアなど海外での大型受注を追い風に、ボイラーの購入先である大手の三浦工業と資本業務提携。同社は開発、三浦工業は生産・販売をそれぞれ担当することとし、グループ内で体制を整備。2020年以降は三浦工業に浄化装置のライセンスを供与する形でアジアでの生産も検討する。



排水浄化装置

株式会社スタッフ

需要獲得 ものづくり

大阪府門真市

設計から試作、量産まで ワンストップトータルソリューションサービスで製品化

ワンストップトータルソリューションの提供で、オープンイノベーションによる共同開発に積極的に取組み、大手企業やスタートアップの新製品および自社製品を生み出す。 回路・基板・機構の設計、ソフト開発、部品加工、筐体パーツの仕上から試作、量産に加え、製品化のための各種認証取得まで手がける提案型のものづくり企業。協力会社をネットワーク化して顧客のニーズに応える一貫受注システムを確立し、短納期を得意としている。

●所在地	大阪府門真市新橋町1-4
●電話/FAX	06-6906-6484/06-6906-4542
●URL	https://www.rd-stuff.com
●代表者	代表取締役　小山　栄一

●設立	1988年
●資本金	1,500万円
●従業員数	55人

アイデアを掘起し、オープンイノベーションで製品化

大手企業やスタートアップ等の具現化されなかったアイデアを掘起し、オープンイノベーションによる共同開発や自社製品として展開。大手メーカー等のアイデアは全て事業化されるわけではなく、自社のリソースを使うには間尺に合わず具現化されなかったものが多く存在する。同社はそのような埋もれたアイデアを掘起し、自社の技術力と国内外の協力会社のネットワークで数多くの製品化を実現。こうした実績により、2019年3月、第1回日本オープンイノベーション大賞科学技術政策担当大臣賞を受賞。

IoTアルコールチェッカー、呼吸デバイス

海外販路に向けた体制強化とグローバルな生産体制の確立

電子機器関連の「CES」、医療機器関連の「MD&M WEST」といった米国での展示会への出展を重ね、2020年2月には米国法人STUFF USA Inc.を開設するなど、これまでのアジア地域に加え北米市場での取引機会の拡大を進めている。また、韓国に現地事業所STUFF KOREAを構え、同国の試作企業と合弁会社を設立するなど、グローバルな生産体制を構築。韓国や中国、台湾で量産工場との業務提携を進め、設計から試作、量産まで一貫して受注できるシステムを確立している。

CES展示会の当社ブース(2019年)

大阪発のオープンイノベーション推進企業としてのブランド

ワンストップトータルソリューションの取組により、卓越した技術を持つ企業として門真市の「カドマイスター」や守口門真商工会議所の「ものづくり元気企業」に認定。大阪府の「大阪ものづくり優良企業賞」も受賞し、「匠」マークを付与されている。学習型IoTアルコールチェッカーTISPY2が大阪府事業の「大阪製ブランド」令和元年度認定製品に選ばれるなど、近年は大阪発のオープンイノベーション推進企業としても認知度を高め、協力会社への波及効果も含めて地域経済活性化に寄与している。

大阪製ブランドの表彰式(2020年)

下西技研工業株式会社

需要獲得 ものづくり

大阪府東大阪市

大阪東部企業と連携し世界トップシェアに 海外での一気通貫生産で顧客ニーズに対応

情報関連機器、住宅設備、車載機器などの部品/ユニット/モジュールの開発・製造・販売を行なう。理念は「創造せよ<Create>」。3つのテクノロジー（メカトロニクス、磁気、熱）をコアに、機構製品、磁気製品、熱製品と新商品を創造し、特に複写機・プリンター用の特殊ヒンジでは、高い信頼性と使い易さで世界シェアトップ。国内外の生産拠点で、グローバルでの取引先は情報関連機器メーカーを中心に200社を超える。

●所在地	大阪府東大阪市島之内2-4-16
●電話/FAX	0729-66-6131/0729-66-6133
●URL	http://www.simotec.co.jp
●代表者	代表取締役　下西　孝

●設立	1990年
●資本金	3,000万円
●従業員数	62人

メカトロニクス・磁気・熱の3分野をキーに新製品を創造

メカトロニクス分野において、精密メカ技術による高性能ヒンジを開発。「ダンパー付きADFヒンジ」など動作がソフトで高品質なメカ機構が特徴 。磁気分野では、限りなく多様化へと広がる磁気応用製品で、「磁束変動検出式変位センサー」などコア技術を融合した独自製品を展開 。熱分野では、小型化・高性能化を支える熱製品群で、「放熱モジュール」や「ヒーターユニット」など、熱解析技術で製品ごとの最適熱設計を実現している。

理念と主要製品

設計から生産まで、国内外で一気通貫体制を構築

機構製品・磁気製品・熱製品の3分野の製品のうち、特に複写機・プリンターの特殊ヒンジでは、信頼性と使い易さで世界シェアトップである。1991年に国内に製造拠点を設け、1994年に中国・東莞市に、2006年にタイに工場を設立し、近年は産業機械向け製品開発にも力を入れている。また、東大阪市に研究・開発拠点を持ち、開発・設計から生産まで一気通貫でものづくりを実践。 海外市場マーケットインとものづくり現地化により、海外での取引先は情報関連機器メーカーを中心に拡大し、現在は200社超との取引を実施している。

進むグローバル化

地域の中小製造業との共存共栄及びものづくりブランドの確立

部品・ユニット・モジュール製造において、ものづくり中小企業が集積している大阪東部地域の中小企業との共同開発・協同生産を進め、地域での共存共栄を徹底し、地域経済の活性化を推進。また、大阪府による、総合力が高く市場で高評価を得ている企業を顕彰する「大阪ものづくり優良企業賞<匠>」に選定され、「最優秀企業賞」及び「知的財産部門優秀賞」を受賞、競争優位性及びものづくりブランドを確立している。

大阪ものづくり優良企業賞受賞風景

阪神機器株式会社

需要獲得 ものづくり

兵庫県神戸市

地域企業との連携で技術ポテンシャル向上 地元の知的強みを生かし新分野へ挑戦

1926年にボルトナット製造で個人創業。機械、プレス成型加工、電気機器へ事業を拡大し、その生産活動で高い技術・技能を蓄積。その範囲は材料手配から加工、熱処理、表面処理まで多岐にわたる。制御盤・配電盤・プリント基板分野では、電気・構造設計から部品調達・組立・配線・試験まで一貫して対応可能。近年では、新分野への挑戦を求め、神戸水素クラスター勉強会への参画を契機に水素関連市場に向けた取組を始めている。

●所在地	兵庫県神戸市西区伊川谷町潤和字一ノ坪745番地
●電話/FAX	078-974-0037/078-974-7223
●URL	http://www.hanshinkiki.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　山田　隆一

●設立	1926年
●資本金	10,000万円
●従業員数	153人

一貫生産で独自オーダーに応える小ロット多品種製品の提供

同社が手がける「板金塗装」「機械加工」「電気機器製造」のいずれの分野においても、長年の産業インフラ分野における大手企業からの受注生産で培ったノウハウを活かし、開発設計から製造まで一貫で生産できる技術力を有することから、顧客のニーズに対応した一品一様、小ロット多品種製品の提供が可能となっている。また兵庫県立大学との連携によりAI画像検査システムを導入する等、生産工程の効率化を向上させている。

少量多量柔軟に対応する電気機器製造現場

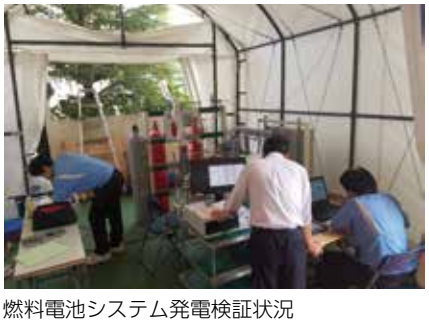
大手取引先からサプライヤー認定によりグローバル展開を加速

板金塗装分野での主な取引先は、建設機械の世界的メーカーであるキャタピラー社。キャタピラー社は全世界において、同一図面による建設機械の製作を展開しており、2003年に同社から高い技術力が評価され世界購買サプライヤーに認定されて以降、直接的に海外と取引を行っている。5年前に世界供給の拠点として中国に進出したことをきっかけに、国内では見られない同業他社との連携も生まれている。

建設機械部品製造現場

地域の中核的役割及び地域のポテンシャル活用で新規分野参入

鉄工団地での立地を活かすとともに、創業当時よりともに歩んできた同業者に対し、鍛造、切削、鋳物など機械加工の一次工程をお願いするなど、地域の中核的企業として波及効果を生んでいる。また地域連携の一環から、兵庫県や神戸市の強みである、航空機、エネルギー、医療に着目し、神戸水素クラスター勉強会や神戸航空機産業クラスタープロジェクトに参画。電気機器製造で培ったノウハウを活かし、燃料電池発電システムの開発や、航空機の装備品分野での展開のためJISQ9100(航空宇宙・防衛産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格)を取得するなど、地域ポテンシャルを有効に活用している。



燃料電池システム発電検証状況

まねき食品株式会社

需要獲得 サービス

兵庫県姫路市

老舗駅弁企業が海外に日本食をアピール 兵庫県産食材にこだわる商品開発

同社は、明治期に日本で初めて幕の内駅弁を販売したとされる食品製造販売会社。主に兵庫県の食材を使った駅弁・仕出料理は、継続的な新商品開発で多数の受賞歴あり。 また、もう一つの主力事業、姫路名物「えきそば」を提供する飲食店を駅構内等に多数展開。兵庫県播磨地方を中心に高い知名度とシェアを持つ。 近年では、大阪や東京に加え、海外にも2店舗を出店。日本の駅弁店が海外で常設出店するのは初。

●所在地	兵庫県姫路市北条953
●電話/FAX	079-224-0255/079-284-8481
●URL	http://www.maneki-co.com/
●代表者	代表取締役社長　竹田　典高

●設立	1888年
●資本金	5,700万円
●従業員数	370人

兵庫県産食材にこだわる「駅弁」と知名度抜群の「えきそば」

明治22年に日本初の「幕の内駅弁」を開発・販売。兵庫県産の食材にもこだわる。130年の歴史からその実力は高く、近畿農政局が開催する地産地消弁当メニューコンテスト入賞や、全国デパート開催の駅弁大会に常連出店。 近年は、弁当取扱駅をJR新神戸、大阪、新大阪、東京等に拡大。また中華麺に和風だしを組合せた同社開発のファーストフード「えきそば」は「姫路のソウルフード」と呼ばれ、駅以外にも「えきそば店」を出店。さらにカフェや日本料理店も展開し攻めのビジネスを貫く。

まねき食品株式会社 社屋外観

BENTOを世界へ。台湾・タイ出店で日本食文化をアピール

2017年台北駅で日本初の海外常設駅弁店をオープン。2018年には、バンコクのサイアム高島屋に出店、弁当・麺類を提供開始。「BENTOを世界へ」をスローガンに弁当を通じた日本食文化をアピール。現地では従業員の教育にも力を入れローカライズした商品を開発。サイアム店では現地日系企業の会議用途を狙った高級仕出弁当を開発しデリバリー体制も構築。国内では15名のベトナム人技能実習生が、製造ラインの中核として活躍。知識が不十分・不慣れな彼らにベテラン社員が丁寧に教える風土が醸成。

えきそば

兵庫県産の食材に徹底的にこだわった商品開発

地元のおいしい食材をアピールすることを会社のミッションに掲げ、兵庫県産の食材にこだわった商品を多数開発。 創業130周年記念弁当では、淡路島のタマネギを使った甘酢あえや赤穂の銀鮭の塩焼き、姫路産レンコンの磯辺揚げ、但馬牛の煮付けのほか、えきそばのダシで炊いたごはんなど12種類の料理を詰合せた。包装のデザインには、地元の版画家、岩田健三郎氏が姫路城や播州地域の祭りの様子を描いたオリジナル作品を使用するなど地域資源の活用に積極的に取組んでいる。

味づくし

皇漢堂製薬株式会社

兵庫県尼崎市

ジェネリックで高品質低価格医薬品を実現 国内製造医薬品をアジア各国に輸出

1980年の創業以来、便秘薬「ビューラック」に代表されるOTC医薬品(大衆薬)や医療機関向けジェネリック医薬品の製造・販売を手掛ける医薬品メーカーである。1982年、尼崎市に本社兼工場を構えて以降、商圏拡大のため東京事務所、名古屋事務所を開設。2007年には三田工場を新設。2020年には三田工場拡張を計画しており、さらなる増産・安定供給体制が確立される予定。

●所在地	兵庫県尼崎市長洲本通2-8-27
●電話/FAX	06-6482-5115/06-6482-7492
●URL	http://www.kokando.co.jp
●代表者	代表取締役財務部長　藤原　裕明

●設立	1980年
●資本金	25,000万円
●従業員数	220人

徹底した在庫管理等で高品質低価格を実現、ニーズに対応

高品質かつ低価格をモットーにOTC医薬品（大衆薬）を主に製造。 主力製品（便秘薬:ビューラック）は国内便秘薬市場で高いシェアを確保。ジェネリック製造に加え、大手製薬会社の出向者を製造部門に登用し、薬剤製錠、検査、包装など高レベルで生産管理する体制で高品質を実現。また販売先在庫まで把握することで業界通例、売上2~3%の破棄を1%程度まで低減。徹底的な原価率・在庫管理により販売価格を抑制している。

OTC商品一覧

アジア市場の販路拡大に加えインバウンド需要を取込み

成長が見込まれるアジア各国向けに医薬品、ビタミン剤の輸出に注力。国内で製造を行い香港・マカオ・台湾商社を通じて輸出、アジア諸国（モンゴル、マカオ、香港、台湾等）へ販路を拡大している。また当社製品は高品質で価格が安いため、訪日観光客からも人気を博しており、中国メディアが「日本に行ったら買わねばならない12の医薬品」として当社便秘薬ビューラックを特集、中国国内における知名度が高まっている。インバウンド需要に的確に応えることで地域経済活性化に貢献。

ビューラックA400T

人命に直結する医薬品の安定供給のための取組

2003年に医療機関向けジェネリック医薬品の製造・販売事業に参入。参入当初10年間は開発が先行し、厳しい時代が続いたが、消費者のジェネリック医薬品に対する認知、理解が浸透するにつれ、2014年頃より受注が増加。安定供給に向けた持続的な企業体制の構築に向け、毎年地元薬科大学・理系大学から新卒者を5名前後採用し、また、介護・看護休暇制度や産休・育児休暇制度の整備等働きやすい環境を提供している。

本社外観

株式会社ミヤナガ

需要獲得 ものづくり

兵庫県三木市

作業性や安全性に優れ、あらゆる穴あけに対応する国内トップのドリルメーカー

1916（大正5年）年創業（1964年設立）、2016年に100周年を迎えたコンクリートドリル・超硬工具等製造業者。国内トップシェアを誇り、工事現場等職人からの評価も高い。アメリカに現地法人、ドイツにも事務所を構え、海外にも事業展開している。また研究開発にも積極的に取組んでおり、近年ではトンネル等の公共工事において「金属拡底式アンカーシステム」の需要が拡大している。

●所在地	兵庫県三木市福井2393番地
●電話/FAX	0794-82-8263/0794-83-5571
●URL	http://www.miyanaga.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　宮永　淳

●創業	1916年
●資本金	3,000万円
●従業員数	239人

高い技術力で安心安全を提供、国内トップシェアを維持

コンクリートドリル「デルタコンビットシリーズ」は、真円に近い穴あけを実現。穿孔時の振動が少なく、作業者への負担が少ない設計。近年は穿孔時の粉塵の飛散を軽減する吸塵タイプのドリルを開発、人と環境に優しいクリーンな作業環境を可能にしている。また、時代のニーズに対応した「安全性」重視の「金属拡底式アンカーシステム」については、トンネル工事や鉄道関連などの公共工事を含む幅広い分野での採用が増加している。

多彩な製品群

北米や欧州等に「Made In Japan」を海外展開

米国に現地法人を設け、米国やカナダをはじめとする北米を中心に販売網を確立している。また、「World of Concrete」などの展示会にも販路や知名度を拡大すべく積極的に参加している。 他にもドイツに駐在事務所を構えており、「Hardware show」への参加の他、ドイツ、スイス、フランス、スペイン、北欧等ヨーロッパ各地から現地マーケットの最新情報をダイレクトに入手できる体制を構築しグローバル展開を進めている。

Hardware show（ドイツ/ケルン）

地元企業との連携による地域活性化

地元三木市の金物製品は工業製品出荷額の3割を占める地場産業であり、地元企業とも連携しながら、「三木金物」を発信すべく、国内外の展示会にも積極的に参加している。また、2017年に経済産業省より「地域未来牽引企業」、厚生労働省より「ユースエール認定企業」（3年連続）に選定され、雇用の創出や地場産品の販路拡大等を通じ地域経済の活性化に貢献している。現社長は前三木商工会議所の会頭を務めた経歴もあり、活力ある地域づくりのため、商工会議所との連携にも注力している。

地域未来牽引企業

株式会社協和製作所

兵庫県加西市

モーターローラーで海外物流効率化に寄与 物流業界のIoT化で人手不足に対応

1950年の創業以来、自動車・二輪車・農具機械用ミッション部品の機械加工の他、現在は物流システムの基幹製品であるモーターローラーやモータープーリの開発・製造・販売を行う。兵庫・東京・名古屋の3拠点と兵庫県3製造拠点のほか、アメリカ、ブルガリアには製造拠点を、ドイツには販社の拠点として現地法人を開設。当社製造のモーターローラーは国内のみならず、全米・EU諸国・東南アジア等世界的に評価されている。

●所在地	兵庫県加西市北条町古坂69-1
●電話/FAX	0790-42-5111/0790-42-5741
●URL	http://www.kyowa-mfg.co.jp
●代表者	代表取締役社長　藤本　繁行

●設立	1950年
●資本金	9,600万円
●従業員数	297人

モーター内部マイクロチップ情報で物流搬送業界の悩み解決

自社ブランド製品開発を進め、ベルトコンベア用モータープーリー、ローラーコンベア用モーターローラーの開発に成功。特に近時は、モーターローラー内部に「インプット・アウトプット」ができるマイクロチップを搭載した基盤を内蔵した業界初のローラーを開発。当社のドライバーカードと組合せることで、リアルタイムでデータのやり取りが可能。単純にモノを運ぶだけでなく、データも一緒に運ぶことで計画的なローラーの交換等の受注が獲得できる。

ベルトコンベア

世界各地の物流効率改善、自社商品の開発、先駆けの海外展開

主に海外向けのモーターローター「SENERGY AI」は従来製品に比べ省エネかつ高効率なモーターにマイクロチップを搭載。2016年に国際特許を取得、世界各地の大型物流倉庫に採用。米国、ブルガリア、ドイツにも自社の販売会社を持ち、1988年から他社に先駆けて東南アジアへ輸出するなど、グローバル展開に向けた手腕を発揮。世界各地の販売会社と独占契約を締結。アフターサービスにも対応可能なネットワークを持ち、モーターローラー関連の売上の約50%は海外向け。

2019年関西物流点展示会

物流業界のIoT化に貢献

マイクロチップを搭載した当社ローラー（パルスローラー）とドライバーカードの組合せによりモノとデータを一緒に運ぶことを実現。大規模な物流倉庫で使用する搬送物の現時点の所在場所や異常時（搬送物の停滞等）が発生した場合でも瞬時に状態把握が可能であり、物流業界のIoT化に貢献。当社製品群は、単純な物品搬送に留まらず、多様・高度化する物流システムのなかで、クリーンルームやピッキング・仕分装置への応用が可能であり、人手不足への解決策となっている。

人手不足解消

大徳醤油株式会社

需要獲得 サービス

兵庫県養父市

醤油を作る体験を販売し新規顧客を獲得
豊岡市認定の大豆利用など希少商品を販売

伝統製法・天然醸造方式で製造した国産丸大豆醤油を製造、販売。なかでも兵庫県が取組んでいる「コウノトリ育む農法」で育てられた「コウノトリの舞」認定(豊岡市が認定)の大豆・小麦を使用した醤油や国産有機醤油「機（とき）有るべし」など希少な商品販売を行う。「有機、地域、伝統」をキーに国産原料100%食品添加物不使用の製品を開発。但馬から全国へ「いのちを育むたべものづくり」を発信する企業ブランディングに取組んでいる。

●所在地	兵庫県養父市十二所930-3
●電話/FAX	079-663-4008/079-663-4009
●URL	http://daitoku-soy.com/
●代表者	代表取締役社長　浄慶　拓志

●創業	1910年
●資本金	2,000万円
●従業員数	9人

製造体験を販売することで新たな顧客を獲得

かつては各家庭で作られていた醤油作りを復活させるべく、天然醸造の手作り醤油キットを販売したいという思いからクラウドファンディングで資金を調達。伝統の醤油づくりを未来の子どもたちへ残すため、家庭での醤油づくりを広める「醤油じかん」プロジェクトを開始。 天然醸造の醤油というだけではなく、「醤油を作る」という文化も継承しつつ、新たな顧客を獲得している。また製造や原料でコストを下げるのではなく、体験を販売することで利益を高めるモデルにもなっている。

家庭での醤油づくり

国産原料を用いた有機醤油・有機しょうゆ加工品の海外展開

香港の高級スーパーである「CitySuper」のPBとしての醤油の海外展開を皮切りに、有機JASのEUとの同等性を生かし、フランス、ベルギーで有機醤油、魚醤の販売を行う。中国で子供向けの安心安全な食品を販売しているネットショップとの間で新たに有機野菜のだし醤油を開発しPBとして出荷。本社のある養父市発祥である朝倉山椒（JapanesePepper)を活用した山椒醤油（3種類）を農水省の補助金を用いて海外向けに開発するなど、海外展開に積極的に取組んでいる。

3種類の山椒醤油

国産有機原料、地域資源の活用、伝統的な製造方法によって差別化

伝統の醸造技術を広めるべく、料理教室、自然派食品店、小売店のワークショップで昔ながらの従来の醤油造りを教えている。そこには大手では真似できない、小さな醤油屋にしかできない「贅沢な醸造暮らし」「蔵としての想い」を社長自ら伝えることで、ファンを全国に獲得すべく地道な取組がある。2015年には但馬地方の有機農家、環境創造型農業者、漁協と共同で、未利用魚を含むオール但馬産の原料を活用した魚醤の開発などご当地産品としての価値を高め、地域資源の魅力発信に尽力している。

魚醤シリーズ

株式会社ケーピープラテック

需要獲得 ものづくり

兵庫県加東市

容器開発で弁当の密閉性・保温性を実現 世界市場進出に向けた海外企業との連携

1969年5月に発泡樹脂加工及びその販売を目的に創業した簡易食品容器製造メーカーである。賞味期限の延長やロングライフ惣菜トレー・容器のニーズに素早い対応が可能であり、小ロット多品種、柄印刷による意匠性付与、非対称層構成も手掛けられるなどから、大手外食チェーン店らからも高い評価を得ている。また、オーダーメイド商品や高付加価値商品の開発・提案力に強みを持ち、環境に配慮した紙製品開発にも取組んでいる。

●所在地	兵庫県加東市屋度734-5
●電話/FAX	079-542-4001/079-542-4002
●URL	http://www.kpplatec.co.jp
●代表者	代表取締役　大西　一成
●設立	1969年
●資本金	8,000万円
●従業員数	110人

密閉性・保温性に優れ消費期限延長を可能にする内嵌合容器の開発

当社が製造する容器は、主に弁当や惣菜の持ち帰りを目的としている。ユーザーが持ち帰りをする際の汁漏れへの懸念から開発したのが「内嵌合容器」である。これは、従来にはない高い密閉性と保温性を保持し、汁漏れを防ぐ役割とともに、ポリスチレンペーパーを組合せることで、「美味しさ・温かさ」の維持に繋がっている。また、容器内のバリアフィルム加工で消費期限延長を可能にし、食品ロスにも貢献している。なお、内嵌合容器の形状には特許を取得している。

内嵌合容器

紙容器の日本市場に向けて台湾の製造拠点との連携

台湾にあるパルプモールド容器製造・ラミネート加工企業と日本マーケットに向けて、台湾の製造技術と日本の開発能力を組み合わせ協力関係を築き、パルプモールド容器を輸入できる日本唯一の販売代理店である。パルプモールド容器には防水性・耐油性・耐熱性を持たすために生分解樹脂など保護フィルムを貼り、紙粉を防ぐため外側を特殊加工している。現地では当社スタッフが品質管理、技術指導を図るなど関係性を強化。紙容器のプラスティック代替品推進など世界基準での環境問題への役割を向上。

ホテレス展示会

地元との協力関係を確立し地域の雇用確保・災害対応に貢献

兵庫県加東市に加え関西と関東に工場を置いている。当社は国内に11社、兵庫県下においては姫路市、加西市それぞれ1社ずつ協力会社があり、食品容器製造にかかる外注先として協力関係を確立。また、100%地元採用を行い、地域の雇用確保に取組んでいる。近年、大規模な自然災害が全国各地で頻発しているなか、ハザードマップやJ-SHISを活用した災害リスクへの対応を整えている。過去の阪神大震災、東日本大震災発生時には、清潔な容器の無償提供を速やかに行うなど早期の復興に向けて取組んでいる。

製造現場

株式会社ごとう製革所

需要獲得 ものづくり

兵庫県たつの市

伝統のなめし革製造技術で独自に高品質化 受注・製造体制構築で海外需要を獲得

なめし革製造メーカーとして1966年創業の西岡和平製革所を前身とし、2008年に現代表が引継ぎ、2016年法人成り。日本が世界に誇る独自技術をもとに皮革製造を行う「タンナー」集団として、国内外の革製品製造メーカーと取引を展開。なかでも、最高峰の技術を要するとされる野球グローブ用の「素上げ革」は、特に高く評価され、大手商社と連携した受注・製造体制で世界的な海外スポーツ用品メーカー等に広く供給されている。

●所在地	兵庫県たつの市揖保町東用152-1
●電話/FAX	0791-67-0551/0791-67-0551
●URL	https://goto-leather.co.jp
●代表者	代表取締役　後藤　富男

●設立	2016年
●資本金	500万円
●従業員数	12人

上質な素上げ革の実現と生産性向上により多様な需要を獲得

同社は、野球グローブ用の「素上げ革」を得意としている。なめし革製造の仕上においては、通常、薬品により様々な処理を施すが、革本来の風合いやきめ細やかで柔らかなタッチ感を表現できるのは、難易度の高いとされる「素上げ」である。また、ものづくり補助金を活用した独自のスマートファクトリー化により、仕上工程のリードタイムを約60%短縮し、同時に、素上げ革のさらなる品質向上をはじめ、多彩な色合いや独自の表面加工を施した多様な製品製造を可能とし、多様化する顧客ニーズを獲得している。

野球用グローブを生み出す「素上げ革」

大手商社との連携受注・製造体制の構築で海外市場の需要獲得

兵庫県たつの市は、「皮」を「革」にする職人である「タンナー」が作り出す「なめし革」の日本最大の産地である。その伝統的な製造技術を基とした高品質な素上げ革製造の実現に加え、大手商社と連携した受注・製造体制を構築することで、海外スポーツ用品メーカー等の顧客ニーズを的確に捉えた事業展開を可能としている。この独自のビジネスモデル構築により競争優位性を獲得するとともに、顧客満足度向上を図っている。

なめし革の高品質化と独自の体制構築により海外市場を開拓

高度な職人技術と柔軟な発想を組合せた経営を展開

タンナーは独自の技術を持つ職人であるがゆえに、その製造手法には多くの暗黙知が存在してきた。そこで、現代表は事業参画後すぐに、それら製造工程を分解し、研究開発を繰り返し、数値等による形式知化を図ってきた。それにより、経験の浅い人材も容易に継承できるようになり、地域の雇用創出や若手人材等の活用・育成を可能としている。さらには、「スマートファクトリーロードマップ」等を活用した伝統技術と最新の製造管理の組合せによる独自のスマートファクトリー化や経営力向上計画をはじめとした中小企業施策の積極的な活用により、経営基盤を強化し、経営力向上を図っている。

伝統のなめし革製造技術を次世代へ継承

株式会社亀山鋳造所

需要獲得 ものづくり

兵庫県揖保郡太子町

フルモールド鋳造法で高品質な鋳物を製造 インドネシアを拠点に海外進出

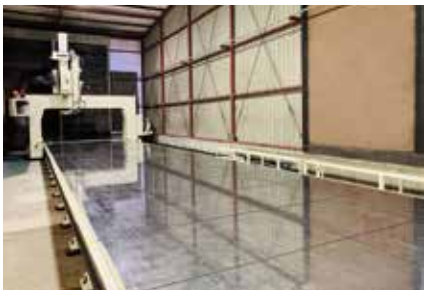
1946年鋳造業創業、現在は自動車からジェット機まで様々な部品の金型鋳物を国内外向け製造。1982年フルモールド鋳造法分野に進出、2002年3D CAD/CAMの導入により試作設計から鋳物製作まで一貫生産体制を構築。高品質、低価格、短納期のQCDを実現。自動車金型鋳物の分野ではトップクラスの業績。2017年インドネシアで現地自動車部品メーカーSASと合弁会社を設立、現地日系企業などに金型鋳物を供給。

●所在地	兵庫県揖保郡太子町原519番地
●電話/FAX	079-276-0471/079-276-0472
●URL	http://kc-kameyama.com
●代表者	代表取締役　亀山　佳裕

●設立	1953年
●資本金	2,000万円
●従業員数	49人

フルモールド鋳造法で自動車金型に特化

同社は、元素単位の金属成分調整などの技術により高品質の鋳物製造を可能にしている。消失模型も3D CAD/CAMを含む16名の技術者により「亀山鋳造所のクオリティ」を作り出している。価格面では、従来の2倍の長さの材料が搭載できる最新の発泡加工機を導入し、加工精度の向上と夜間の無人稼働により、発泡模型の増産を可能にし低価格を実現している。納期面でも、インドネシアの設計会社に一部外注しデータ作成を素早く対応することで、通常1ヶ月の納期を2週間に半減。短納期体制を構築。



新しく導入した発泡加工機

インドネシアの子会社と協力会社による連携

2013年インドネシアにおいて、当社で研修を受けた技能実習生により現地法人設立、当社からの設計を委託している。 2017年には、当社の海外拠点となる子会社SAS-K(略) を現地自動車部品メーカーと共同で設立し、当社と同じフルモールド鋳造法で製作した金型鋳物を、現地に進出している日系企業を中心に供給している。SAS-Kでは、受注の75%がアルミダイキャスト金型用鋳物で、日本でもフルモールド鋳造法によるアルミダイキャスト金型用鋳物製作の新分野への取組を着手している。

SAS-Kの朝礼風景

西播磨の経済活性化等への取組

西播磨地域には鋳物の主材料である鉄スクラップを扱う業者が多いため、地元業者から月間約500トンの供給を受けており、納品についても自社便以外は地元運送業者に発注している。地元業者との連携は、互いのコスト削減につながり地域経済の活性化に寄与している。従業員についても、本社所在地の太子町から過半数、他の西播磨地域からも雇用し地元の雇用確保にも貢献している。太子町商工会、太子町経営者協会、障害者雇用勉強会ワークアップなどに参加し情報交換も行い地域の雇用促進にも関与している。

毎年4月に開催する経営指針書発表会

和歌山マリーナシティ株式会社

需要獲得 サービス

和歌山県和歌山市

和歌山県の水産資源で集客するテーマパーク

和歌山県内トップクラスの集客力を有するテーマパークで、ポルトヨーロッパ（遊園地）、黒潮市場（海鮮市場）、黒潮温泉（温泉施設）、マリーナシティホテル（ホテル）を運営。VR体験型アクション施設の整備やイルミネーション、プロジェクトマッピング、ランタンフェスイベント等の新しい企画を打出し、毎期集客を伸長。一方、電力代等コスト低減など投資負担を最小限に抑える努力で、持続的な収益獲得ビジネスモデルを構築。

●所在地	和歌山県和歌山市毛見1527
●電話/FAX	073-448-0310/073-448-0022
●URL	http://www.marinacity.com/
●代表者	代表取締役社長　田尻　賀大

●設立	2003年
●資本金	5,000万円
●従業員数	195人

オープンパーク化と差別化

2015年度からポルトヨーロッパ（遊園地）の入場料を廃止し、オープン施設化することで、遊園地・黒潮市場（和歌山県特産品コーナーやマグロのテーマパーク化）・温浴施設・海釣り公園・ホテルとの一体化を図るとともに、気軽に来場しやすい環境を整備し、各施設ともに相乗効果により、集客力が向上している。ホテルにおいても国内有名シェフ、イタリアン落合務、フレンチ坂井宏之、中国料理陳建一、などを招きディナーショーイベントを定期開催し、他の地元ホテルとの差別化を図っている。

マグロ解体ショー

勝浦・串本産生マグロ解体ショー、イルミネーション集客

延縄漁法を用いた生マグロ水揚げ日本一の勝浦産鮪、串本産の近大養殖マグロを使用し、毎日3回生マグロの解体ショーを実施。東アジア（中国、台湾、香港）インバウンド客の獲得及び和歌山県産のマグロのPR強化に繋げている。また庭園ガーデニング資材販売業者と提携し、有料イルミネーションを実施し冬期の夜間入場者を確保。県内最大級のイルミネーションや限定イベント（浮遊ランタンフェス等）を実施したところ、夏期の花火イベント日と同等の集客を確保。他の関連施設の来場客も増加。

イルミネーションイベント フェスタルーチェ

地方テーマパークの再建、地域での雇用創出

2008年、現代表が役員を務めていた企業が、経営不振に陥っていた和歌山マリーナシティをファンドから買収。経営混乱の中から地域金融機関からの協調融資、集客力向上に取組み増収を達成し、1994年当時の地域冷暖房システムの熱供給事業が現在では高コストとなっていることに着目。電力自由化及びガス自由化を契機に個別の施設におけるコージェネレーションシステムに入替え劇的にコスト削減に成功、収支を改善。現在では、毎期新卒採用10名行っており、地元の雇用創出に貢献。

地域冷暖房システムからの脱却

株式会社アサヒメッキ

需要獲得 ものづくり

鳥取県鳥取市

ステンレス化学発色処理技術を革新 技術を利用し津山市産業発展に貢献

電気めっき等各種表面処理の製造・販売を行っている。用途は、自動車、機械、電気機器、建築金物、服飾金具等様々な部品への表面処理加工である。主な営業エリアは、兵庫、岡山、鳥取、島根、広島等で自社トラックによる納品と集荷を短納期で行っている。 営業品目は、亜鉛メッキ、亜鉛ニッケル合金メッキ、アルマイト、黒染め、ステンレス電解研磨、ステンレス酸化発色である。ステンレス関係は商社としてオロル株式会社が窓口。

●所在地	鳥取県鳥取市南栄町1
●電話/FAX	0857-53-4561/0857-37-4115
●URL	https://asahimekki.jp/
●代表者	代表取締役　木下　貴啓

●設立	1958年
●資本金	2,600万円
●従業員数	65人

ステンレス化学酸化発色処理の技術革新

ステンレス自体を発色させる技術で耐食性を向上させることに加え、干渉作用を改良し、塗装のように色調を均一化することで材料の装飾性や識別性を高める技術を特許取得している。さらにこの技術をブランド化するため、販売会社（オロル株式会社）を2018年に設立し、ステンレスの表面処理の高付加価値化をアピールしている。また経済産業省が2014年に創設した「新市場創造型標準化制度」の活用で迅速なJIS化にに動くことで、国内外で認知度が低いステレンス発色技術の信頼性を高めている。

独自技術の知財と標準化戦略

ステンレス化学酸化発色処理の用途拡大

地元鳥取県や市などへの働きかけで大手企業等に向けて同技術を訴求。 新たな用途開発のきっかけを得る場としての交流を図っている。 その結果、医療関連における病院等施設、高精度画像診断装置、医療機器、医療器具等、自動車関連における内装、インテリア関係等、電気機械関連における制御盤カバー、電気照明器具部品等、食品関連における食器、厨房機器、器具等と多様な分野で使用されるステンレス素材との組合せを実現し、ステンレス素材のデザイン性向上に貢献している。

あらゆる分野で活用できるステンレス発色技術の可能性

人材育成・地域雇用等への貢献

山陰両県のめっき技術の向上や従事者の育成に向け、山陰地区鍍金工業会（同会は1980年「山陰地区鍍金工業組合」に法人化）を設立。めっき従事者の資格制度の導入に尽力。電気めっき作業技能検定実技試験が実施できる設備導入などで多くのめっき技能士を育成。また従来よりステンレス産業が盛んな岡山県津山市では、様々な加工工程を有するステンレス加工企業が存在し、技術的にも優れている企業が多い。そこで産・学・官ネットワーク「津山ステンレスクラスター」に参画し地域の産業発展に貢献している。

人材育成と地域雇用への貢献

山陰松島遊覧株式会社

需要獲得 サービス

鳥取県岩美郡岩美町

山陰海岸ジオパークで着地型観光を展開 日本海初スイーツクルーズ船「Muse」運航

鳥取県が誇る景勝地「浦富海岸」の山陰海岸国立公園指定に合せ、1963年観光遊覧船事業を開始し現代表者は4代目。山陰海岸ジオパークエリア内の遊覧船事業をメインに地元特産品を販売。新鮮な魚介類を提供する食堂も併設。2017年に岩美町ふるさと名物応援宣言のもと地元4事業者・団体と連携し地域資源活用事業計画の認定を受け沖縄に次ぐ本州トップクラスの透明度を誇る浦富海岸で日本海初のスイーツクルーズ船を運航。

●所在地	鳥取県岩美郡岩美町大谷2182-12
●電話/FAX	0857-73-1212/0857-73-1261
●URL	http://yourun1000.com/
●代表者	代表取締役　川口　博樹

●設立	1963年
●資本金	1,000万円
●従業員数	22人

山陰海岸ジオパーク着地型観光のジオツーリズムとっとり岩美

町全域が「山陰海岸ジオパーク」エリア指定の岩美町は鳥取砂丘に隣接、兵庫県境に位置し、アジア圏、欧米のインバウンド誘致に積極的に取組む。浦富海岸のロケーションの美しさ、マリンアクティビティの楽しさ普及のため、オフシーズンは、国内外の旅行代理店を積極的に訪問。日本政府観光局主催の「VISIT JAPANトラベルマート」や中国、シンガポールでのセールスコールにも参加。キャッシュレス決済、遊覧船船内案内の翻訳システムの導入、食事メニューの多言語化などインバウンド客へのおもてなし対策を充実。

山陰海岸ジオパークを巡る遊覧船

日本海側で初チャレンジ、スイーツクルーズ船「Muse」

TVアニメ「Free!」ロケ参考地、JR西日本の豪華寝台列車「瑞風」の岩美町東浜駅停車など岩美町の知名度、関心度は向上中。本州トップクラスの透明度、水深25mを誇る海の美しさは岩美町が誇る宝物であり、アクティビティ体験参加者は着実に増加。地元の菓子工房「野いちご」が自家栽培にこだわった小麦のみを使用したオリジナルスイーツを楽しむクルーズ船の着地型観光ビジネスで顧客獲得を目指す。サンセットクルーズや星空クルーズ、アニバーサリークルーズなど、プレミアム感のある多様な貸切プランも提案。

Museで提供されるスイーツの一例

地域牽引企業として行政・団体との協力体制構築

観光業が基幹産業である岩美町にあって、当社代表者は岩美町観光協会会長、NPO法人岩美あくてぃぶカンパニー理事長を務めながら、地域資源活用事業「ジオツーリズムとっとり岩美」、農林水産省交付金事業「岩美渚泊推進協議会」代表申請者として参画事業者をまとめるなど活躍は多岐にわたる。SDGs(持続可能な開発目標)、持続可能な地域社会実現に向け、地域牽引企業として強力なリーダーシップを発揮している。

船舶部社員一同

浅利観光株式会社

需要獲得 サービス

島根県江津市

島根の観光産業の一翼を担う事業展開 地域貢献する地元資本として高い知名度

1965年創業、飲食店やエネルギー事業、旅館、ドライブステーション（複合店舗）など、地域の観光産業分野にて幅広く事業を展開する。1981年にホテル事業を開始、JR松江駅前や宍道湖畔といった松江市内の好立地にて3拠点5施設を運営する。当地で30年以上ホテル業を営み、地元資本による独立ホテルとして認知度は高い。「地域への社会貢献」をモットーに、食、買い物、宿泊など多彩な切り口で島根の観光産業の一翼を担う。

●所在地	島根県江津市浅利町72
●電話/FAX	0855-55-1063/0855-55-0306
●URL	http://www.matsue-urban.co.jp/
●代表者	代表取締役　植田　裕一

●設立	1965年
●資本金	1,000万円
●従業員数	170人

インバウンドに対する高付加価値サービスの提供

山陰インバウンド機構と連携し、運営ホテル内にて訪日外国人を主な対象として、書道と生け花の体験教室を実施している。一緒に習う地元住民との交流の場にもなっており、宿泊以上の価値をホテルに加える取組として期待されている。一方では、島根県西部の伝統芸能である石見神楽を上演する専用劇場を、江津市内に昨年開設した。県西部へのインバウンド客の取込と、顧客満足度の向上に寄与する施設として注目を浴びている。

神楽専用劇場で上演される石見神楽

優れた観光資源との相乗効果による地域活性化

島根県は優れた観光資源を有しながら、外国人旅行者の訪問率が全国最低水準にあるが、その一因として、多様な観光スタイルに対応しうる簡易宿泊施設の乏しさが挙げられる。そこで当社が新設したカプセルタイプの簡易宿泊施設は、ゴールデンルートではあたり前にある長期滞在型のインバウンド観光スタイルを当地においても実現するものであり、優れた観光資源との相乗効果や、交流人口の増加など更なる地域経済の活性化が期待されている。

新設したカプセルタイプ簡易宿泊施設

観光コンシェルジュを担うインフォメーションデスク資格取得

民間では数少ない外国人旅行者対応の観光案内所資格である「JNTO認定外国人観光案内所」の認定を山陰の宿泊施設で唯一取得しており、公設の観光案内所の営業終了後などに観光案内所を利用する外国人旅行者に対応している。また、ホテルスタッフが自ら外国人講師を招いて英会話を学びスキルアップを図るなど、交流型の観光案内所としてコンシェルジュ機能を充実させ、付加価値の向上とインバウンド客への対応に積極的に取組んでいる。

認定取得したコンシェルジュカウンター

株式会社三幸工務店

需要獲得 ものづくり

岡山県岡山市

岡山で育んだ力でアセアンへ積極展開 ライフサイクルコスト削減でインフラ整備

岡山県を中心に日本国内では、土木工事業(ダム、整地、下水、トンネル、橋梁、道路、港湾等の公共工事)、建築工事業(住宅・マンション・オフィスビル、商業施設・福祉施設、公共施設・生産工場等の建設工事)、不動産業、宅地建物取引業を行っている。 また、ラオス、タイに現地子会社を設立し、インフラ整備、建設等のビジネスを展開中。

●所在地	岡山県岡山市北区津高140番地の3
●電話/FAX	086-251-3373/086-251-3371
●URL	http://sanko-cothax.jp
●代表者	代表取締役　村社　勝

●設立	1980年
●資本金	10,000万円
●従業員数	120人

日本の技術をアセアンへ展開

ラオスでは、同じ岡山県内企業である岡山コンクリート工業株式会社と協同して、ラオス南部の経済特区に合弁会社を設立して、プレキャストコンクリート製品（PC）を製造・販売している。また、2019年12月には、首都ビエンチャンに現地法人2社目となるSanko Concrete Lao Co.,Ltd.を設立し、2020年1月より、コンクリートプラント工場が稼働。今後、都市インフラ、住宅、山間部の法面等での活用が期待されている。さらに、タイにも現地法人を設立し、建築業での展開を計画しているなど、日本の優れた技術力を活かして、アセアン諸国への展開を図っている。

ラオス現地法人Sanko Concrete Lao Co.,Ltd.

岡山県と世界を結ぶ

同社では、積極的な海外展開を通じて、高度な製品・技術を海外へ移転するだけでなく、外国人材の育成を通じて、海外と岡山県の架け橋となる人材の育成に貢献することも目的である。同社で育成した人材が、日本および母国で活躍することにより、両国の経済、社会的な発展にも寄与することが期待されている。2011年には国土交通大臣より、建築産業人材確保・育成対策顕彰を受賞した。

高梁川鶴新田河道整備外工事

長期的視野でのインフラ整備に貢献

プレキャストコンクリートの導入は短期的にはコスト増になるであろうが、より質の高いインフラを整えることにより、長期的な維持管理コストの軽減に繋がる。また、維持管理、修復もし易くなるため、長期的な視野では、ライフサイクルコスト低減が図られることで、社会への貢献を果たしていくことになる。2018年、2019年の2年連続で、中国地方整備局より、工事成績優良企業を受賞。

本社社屋

有限会社楓

需要獲得 サービス

岡山県新見市

地元食材にこだわり最高の味とおもてなし『祥華風すき焼き』を開発、高付加価値化

「A級グルメのまち」と銘打ち、「日本最古の蔓牛と言われる千屋牛」「黒い宝石・ぶどう（ピオーネ）」「フレッシュキャビア」「ワイン」など新見の代表的な産品を活用し、最高の味とおもてなしを提供する和食店「哲多食源の里 祥華」。1993年より哲多町の公設民営で薬膳料理店「哲多食源の里 祥華」の営業を開始し、2000年に法人「有限会社 楓」として千屋牛や有機無農薬野菜をはじめ、地元の農産物を活用した料理を提供。

●所在地	岡山県新見市哲多町宮河内113-1
●電話/FAX	0867-96-2106/0867-96-3588
●URL	http://shouka.biz
●代表者	代表取締役　井上　富男
●設立	1993年
●資本金	300万円
●従業員数	21人

地域ブランド活用の高付加価値商品『祥華風すき焼き』を開発

「極め細やかな霜降りの多さ」、「和牛肉本来の風味と旨味」、「やわらかさ」といった千屋牛の魅力を最大限に引出すための料理方法を研究と試行を重ね、「北大路魯山人風のすき焼き」に辿り着き、メニューを開発。なお、開発時には既存顧客へ試作品を提供し、改善を重ねた。新メニューは、砂糖を使わず肉本来のうまみを残すなどの工夫をし、合せる具材は、新見産で、すぐに火が通り、臭いや味が薄く、牛肉の味を損なわない素材にこだわっている。

祥華風すき焼き

市外客の取組とアクションプランの実践

土日祝祭日は地元の冠婚葬祭の需要で満席になるが、平日の来客数が少ないため、地域資源を活用した高付加価値の料理とおもてなしの提供を考え2017年6～10月の実績は、四国、兵庫、広島から、毎日大型バス2台80人が来客、来客者にアンケートの結果、95%のお客様から良い以上の評価をいただく。地域外のお客様は経営革新に取組む前の4倍、年間3,000人、全体の7%となり、2019年は11%と順調に増加した。

哲多食源の里　祥華

地域内飲食業界で一番の雇用創出リーダー企業

有限会社楓とは別に、他飲食店2社を経営し、雇用の創出。2019年度有限会社楓は社員1名、パート2名。グループ会社では、社員4名、パート1名の採用を実施。今後も毎年積極的に雇用を行っていく。環境への配慮として、段ボールのリサイクル、ペットボトルのリサイクル（地元本郷小学校へ）食品残渣を堆肥化し、自社農園の堆肥として活用し、農園でとれた野菜は、各店舗で使用している。6次産業化として黒ニンニクも製造している。

活き活きとした職場つくり

株式会社タック

需要獲得 ものづくり

岡山県備前市

国内外シールド工事の地盤沈下ゼロに貢献 社員が考え実行する経営と地域貢献で発展

シールドトンネル工事の裏込め注入設備等の開発・リースや各種材料販売及びトンネル工事等の設計・施工コンサルティングを行う。国内で初めて「同時裏込め注入装置」を開発。同装置は国内シェア100%で、シールド工事の地盤沈下ゼロに大きく貢献し、シールド機メーカー・ゼネコンから絶大な信頼を得ている。また、環境負荷軽減のためにバイオ関連事業を推進し、地域一体のエコプロジェクト等、地域貢献活動も積極的に実施している。

●所在地	岡山県備前市吉永町南方1073番
●電話/FAX	0869-94-2069/0869-84-3288
●URL	http://www.tac-co.com
●代表者	代表取締役社長　瀧川　信二

●設立	1932年
●資本金	1,000万円
●従業員数	60人

現場に寄り添った販売・メンテナンスで海外でも多数の実績

約40年間、進化させてきた同時裏込め注入装置は、日本製および海外製のシールド機に装備され、国内はもとより、シンガポールをはじめアジア11か国等に着実に普及している。1998年開発の第3世代型装置以降、海外での工事実績は112件を誇る。海外現場にも、国内同様に社員が訪問し、装置販売に止まらず、施工システム・メンテナンスを一体提供するなど、ものづくりに付帯する責任にも一層注力している。そして、現地のニーズに的確に対応すべく現場に寄り添った装置・材料の展開を推進している。

同時裏込め注入装置【第8回 ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞受賞】

地域資源の粘土を加工し世界に販売、クレド活動で地域活性化

岡山県は、備前焼に代表される陶磁器や耐火レンガ原料の採掘資源が豊富。地域の粘土を特殊加工して特許技術を確立し「クレーショック工法」として「裏込め注入装置・材料」とともに国内外に販売。また、社員が考え実行するクレド活動の一貫として社内で集めた文庫本の図書館・病院への進呈、老人ホームのお祭り出店、知的障害施設へのリサイクル品提供、会社周辺の清掃活動、地域主催イベントへの参画、社長による中学校授業、納税啓蒙活動等を積極的に実施している。

高粘性（300～500dPa・s）のクレーショック

全社員で心身の健康経営を推進、地域の高齢者も積極雇用

同社の裏込め注入設備等のメンテナンス作業に従事する設備課は、60歳以上が10名（内8名は65歳以上）である。セメントモルタル等で汚れた機械設備の整備は、粉じん・騒音・振動を伴う過酷な肉体労働である。そこで「ものづくり補助金事業」を活用し、3種類の研磨・集じん装置を導入した。その結果、作業環境と整備日数を著しく改善している。そして、3年連続優良法人に認定されている「健康経営」のさらなる推進と地域雇用実現を図っている。

海外で活躍する社員

オタフクソース株式会社

需要獲得 ものづくり

広島県広島市

お好み焼き文化の伝道師として世界へ 現地ニーズに合わせてハラールも認証取得

1922年、広島市で酒・醤油の卸小売業として創業し、現在はお好みソースを始め、調味料の開発、製造、販売を行っている。全国25か所の事業所と海外で3つの工場を稼働している。1952年にお好み焼き店の要望に応えて開発したお好みソースは、現在では家庭でも様々な料理に使用されている。世の中の変化に合わせて新商品の開発を強化し、新市場の創造に挑戦する企業であるとともに、美味しく健康的な日本食や調味料を世界へ広める。

●所在地	広島県広島市西区商工センター7-4-27
●電話/FAX	082-277-7111/082-277-3879
●URL	https://www.otafuku.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　佐々木　直義

●創業	1922年
●資本金	10,000万円
●従業員数	423人

お好み焼きの文化を大切に、現地ニーズに応じて海外積極展開

1997年に国際事業部を開設し、1998年にアメリカでの会社設立をきっかけに、現在、アメリカ、中国、台湾、マレーシアに拠点を構え事業展開。コーポレートスローガンである「小さな幸せを、地球の幸せに。」の実現に向け、お好み焼きを「BORDERLESS FOOD」として海外にアピール。2016年にマレーシアに合弁会社を設立し、工場を設置。マレーシアでは、イスラム教徒が多いため、ハラール認証を取得。お好み焼きの文化を大切にしながら、現地のニーズに合せた取組を積極的に進める。

お好み焼きの文化を世界へ

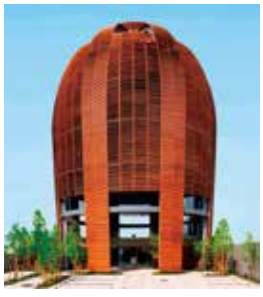
ムスリム向けにハラール認証ソースの国内販売を開始

「令和元年度輸出に取組む優良事業者表彰」農林水産大臣賞受賞（2019年、〈公財〉食品等流通合理化促進機構）広島駅にお好み焼き体験エリアをつくり、海外観光客にお好み焼き文化を楽しんでいただく場を提供。認知を進め、記憶に残してもらい、現地での販売促進につなげる工夫を実践。また、展示会や現地スーパーでの試食会で現地の嗜好を把握。現地の好みに合わせた商品選択、商品開発をしている。輸出の取組は、商社を通した輸出から開始し、直接輸出、現地法人設立へと展開。

広島駅「OKOSTA」での体験の様子

体験施設を活用し、お好み焼きの価値向上・需要拡大への取組

「Wood Egg お好み焼館」や広島駅の「OKOSTA」（お好み焼き体験スタジオ）といった自社体験施設を活用し、お好み焼きの価値向上・需要拡大に向けた取組を行っている。Wood Egg お好み焼館では、お好み焼きの歴史や文化を学ぶ『おこのミュージアム』見学、お好み焼き教室などを実施。また、広島駅のOKOSTAでは、海外旅行者、家族連れ、修学旅行生等の幅広い層を対象とした体験メニューにより、お好み焼きを作る楽しさや美味しさを伝える活動を展開。


Wood Egg お好み焼館

合同会社よーそろ

需要獲得 サービス

広島県呉市

瀬戸内海の重要伝統的建造物保存地区で地域資源の活用や移住者とで価値を創造

瀬戸内海の真ん中に浮かぶ、重要伝統的建造物群保存地区である大崎下島御手洗地区で、7つの空き家を改修しカフェ、レストラン、ゲストハウスなど移住者を引込みながら様々な事業を展開している。空き家所有者、農家、観光客、地方で起業したい若者のニーズに応えながら、建物やその場所が持つ物語を活かした“ここにしかないもの”を提供し、地域起業家の育成、価値創造の好循環を生み出している。

●所在地	広島県呉市豊町御手洗259
●電話/FAX	090-4483-3141／ー
●URL	https://yosoro.com/
●代表者	代表執行役員　井上　明

●設立	2014年
●資本金	100万円
●従業員数	4人

自利利他の精神で「共有価値」を創造

御手洗地区の建物や文化、物語を活かし地域課題の解決と企業活動を両立させている。代表者は、観光ボランティアとして働いた経験から、まちづくり組織や若手団体の要職を担い、地域のまちづくりに貢献している。例えば、空き家内で長年使用されていなかった備品を引継いで事業に活用する、多業種多店舗展開で移住者が活躍できる「場」を提供したりする、など内外のネットワークを活かしている。

若いチャレンジャーの新しい働き方

地域資源を活用した事業展開

日本遺産にも登録された重要伝統的建造物群保存地区で、江戸時代や大正時代の建物を事業に有効活用している。具体的には、古い建物の風情を活かした宿泊施設を展開し、地域に取込めていなかった外国人観光客の取込を図っている。また特産品である地元産柑橘を活用し、オリジナル商品「檸檬ぜんざい」を看板メニューとして育成、地元交通安全標識に描かれた「足長小学生」を図案化したオリジナルTシャツを製作販売するなど新商品の開発も手掛けている。

看板メニューの「檸檬ぜんざい」（冷）

地元と観光客のニーズを事業化して多業種多店舗展開

地域の課題であった空き家を、文化・物語の歴史を体感できる場所、また自然景観（瀬戸内海一望、朝日、海面を照らす月光の道等）も堪能できる場所とすることで観光資源としての価値を向上させた。他にも、①地元産柑橘を原材料としたジャム・シロップ等の加工品の開発、②多業種多店舗展開を行い、店舗自体が観光拠点となることで点から線、さらに面へと拡張し、観光客の滞在時間が長くなるような工夫、③江戸時代の空き家をリノベーションし、1泊8万円～（2名様）の一組限定宿を開業する、など近隣にはないサービスと価格帯で瀬戸内の価値向上を図っている。

新豊は一日一組様限定の貸切宿・貸別荘

テラル株式会社

需要獲得 ものづくり

広島県福山市

設立後から海外へ目を向け積極的に海外展開 次世代を見据えた研究開発を推進

ポンプ、送風機に特化したメーカーである。佐賀県、埼玉県、タイ、中国、台湾、インドに工場を有し、全国に9支店、50営業所を有する。技術力、開発力を武器に日本国内シェアを拡大し、超高層建築物における受注シェアは3割超を占める。また、ホームポンプ市場における2大巨頭であった三菱電機株式会社（2003年）、松下電器産業株式会社（2008年）のホームポンプ事業譲渡を受け、この分野でもさらなる技術開発を進めてきている。

●所在地	広島県福山市御幸町森脇230番地
●電話/FAX	084-955-1111/084-955-5777
●URL	https://www.teral.net/
●代表者	代表取締役社長　菅田　博文

●設立	1918年
●資本金	7,800万円
●従業員数	804人

創立後から海外へ目を向け海外へ5工場、9か国に拠点を展開

遡ること昭和40年からアメリカのフランクリン社と技術提携を行う等、海外企業と連携を行っている。タイ、中国、台湾、インドに工場を有する。海外での販売実績もあり、海外向け汎用ポンプは、ボリビアやバングラデシュなどにODA事業の機材として導入された実績を持つ。また、自社単独での市場開拓が比較的容易なホームポンプを通じ、給水施設不足の状況にあり、井戸の活用度が高く、ポンプ需要の高いアフリカをターゲットとして普及実証事業展開中。

水が出た

本社所在地だけでなく日本全国の拠点で広く各地域と連携

広島県福山市において、地域産業の発展・雇用創出に貢献。日本全国の営業所および国内に5社の水関連機器サービスグループ企業を有し、雇用創出に貢献。これまでのODA案件や海外民間物件向けに、製品販売実績も順調に拡大し、海外拠点も拡充している。また、海外水ビジネス推進協議会に加盟し新たな水インフラビジネスの推進にも取組んでいる。産学連携分野においては鹿児島大学、鹿児島県内市町村と共同で社会実験に取組んでいる。同実験で得られたデータは中山間地の活性化に活用されている。

カンボジアの浄水場のポンプ室

次世代を見据えた研究開発を推進

さまざまなニーズに応えるために小型機器から大型機器までラインナップを用意。また、単体製品だけでなく、さまざまな部材を組合せ、省スペース化やメンテナンス性を高めたユニット製品も多数ラインナップ。研究開発においては、大学などの研究機関との連携により、最先端技術を探求。技術部では、高効率で環境に配慮した設計、流れ解析に基づいた高効率設計、構造解析に基づいた安心設計などの研究開発を行い、次世代のニーズを先取りする製造開発に取組んでいる。

研修センター

北島酸素株式会社

需要獲得 ものづくり

徳島県徳島市

SDGsのGoal3「健康と福祉」への貢献
地域経済と連携した産業クラスターの構築

高圧ガス全般（医療用・産業用・家庭用）製造及び販売を行っている。1952年の創業から時代に合せて顧客のニーズに対応し、事業拡大と品質向上を図り、幅広い商品の製造・供給から関連装置を含めたシステム提案まで、トータルガスカンパニーとして展開している。また、海外展開及び途上国における医療体制構築への貢献を目指し、ミャンマーで現地法人を設立、製造工場を稼働し、東南アジアを中心とした事業拡大を行っている。

●所在地	徳島県徳島市東沖洲2丁目18
●電話/FAX	088-664-2811/088-664-2854
●URL	http://www.kitajima-sanso.com
●代表者	代表取締役社長　篠原　宏子

●設立	1952年
●資本金	4,500万円
●従業員数	30人

SDGsGoal3「健康と福祉」達成貢献に向けたミャンマーでの展開

ミャンマーにおいて高品質な医療用酸素ガスを安全・安定的に供給するシステム構築を目指し、JICAの普及・実証事業を実施。2018年に現地法人を設立、2019年には同国初の医療用酸素に特化した工場を開設。衛生・安全基準を満たした酸素ガスや容器の品質管理、工場から病院までの安全配送・安定供給、IoTを活用した高信頼なシステムを導入。また、ミャンマー保健省とともにこれまで同国になかった医療ガスマニュアルの作成など、SDGsのGoal3「健康と福祉」達成への貢献に向けて取組み中。

ミャンマー現地法人社屋

地域経済と連携した産業クラスターの構築

徳島県で唯一の自社クリーンルームで酸素充填を行い、徳島県における流通販売量の約8割の医療酸素を供給、地域医療分野に大きく貢献している。また、海外展開実施により、運送･海運、通関、金融、医療コンサルタント、医療機器メーカーなど同社の海外進出に直接ないしは間接的に関わる徳島県の企業とともに同社を中心とした産業クラスターが構築されている。既に運送・海運、通関、金融、高圧ガス、高圧ガス関連機器の企業と取引を進めており、今後更に事業規模が拡大していく見込。

北島酸素 土成工場

ミャンマーの現状にフィットした医療用酸素アウトレットの開発

医療用酸素アウトレット製造メーカーと共同で、ミャンマー市場に合せた価格、現地医療機関スタッフの技能に合せた使いやすさ、現地仕様環境に合せた頑丈さ等、ミャンマーの現状にフィットしたKITAJIMAブランドのアウトレットを開発。また、病院業務と病院経営の改善を行い、製品だけでなく持続的なシステムも併せて提供することで大きな付加価値を生み出している。この取組により、ミャンマーの医療機関では従来より高度な製品・サービスを提供することが可能となっている。

ミャンマーの病院にて安全使用の実施教育

有限会社うずしお食品

需要獲得 ものづくり

徳島県鳴門市

海外需要獲得へ向けた海外ルートの確立 高付加価値商品の開発による新市場創出

昭和56年の創業以来、徳島県産鳴門わかめを自社でボイルから加工・販売を一貫して行っている。新しい取組として、平成26年10月に「冷凍わかめ」の開発・製造・販売で農商工等連携事業計画を認定。また、表示の適正化や加工履歴管理にも取組んでおり、平成28年に新工場を設立、生産体制を強化。さらに同社は今まで破棄されていた色落ちわかめのパウダーの商品化を進めるなど、SDGs、エシカル消費の推進に積極的に取組んでいる。

●所在地	徳島県鳴門市里浦町里浦字花面350-32
●電話/FAX	088-685-3301/088-685-3306
●URL	http://uzushioshokuhin.co.jp/
●代表者	代表取締役　後藤　祥二

●設立	1981年
●資本金	1,800万円
●従業員数	20人

フランス商工会との交流等を通じた海外ルートを確立

アジアをはじめ、海藻を食べる習慣のない欧米でも、わかめへの関心が高まるなか、平成28年7月には、海外需要獲得に向けて、HACCP準拠の冷凍設備工場を建設。海外輸出拡大を目的としてパリ名店の日本人シェフやバイヤー等を集めた徳島県主催の「とくしま食材サロン会 in Paris」にも積極的に参加し、徳島県産のわかめ料理の提案では、約半数の来場者から使いたいと好評を博すなど、海外からも高い評価を得ている。現在は、フランス商工会との相互視察等の現地交流なども活発に行っている。

フランス現地視察の模様

「鳴門わかめ」を活かした高付加価値商品の開発による新市場創出

徳島県の地域資源に指定されている「鳴門わかめ」を活用して、調理の手間がかからず、生産コストを約1/4に抑えるなど、生産性の高い、国内初となる冷凍わかめを開発。また、今まで色落ちで廃棄されていたが、品質には遜色のない国産わかめを高品質パウダーとして商品化。地域内の生産者や中小企業者と連携し、「鳴門わかめ」の新たな付加価値創造の商品化や生産性向上に取組むなど、地域産業の活性化や雇用の安定につながる取組を精力的に行っている。

冷凍加工の作業工程

歩留り率の大幅改善と大幅な生産性向上を実現

歩留り率は約20%と生産性は低いが、8年かけ開発された製法を駆使して冷凍わかめの開発にこぎつけ、歩留り率を80%に保つことで、生産コストを約1/4と大幅にカット。今後は新設した加工工場において冷凍わかめ専用の製造ラインを整備し、更なる生産性向上を図る。また、今まで廃棄されていた色落ちわかめを高品質のパウダーとして商品化することで、これまでわかめを廃棄する手間隙やコスト負担など、負のスパイラルからの脱却につながり、真逆のゼロからの付加価値の創出、大幅な生産性の向上が期待できる。

パウダー入りわかめうどん

株式会社サンテック

需要獲得 ものづくり

香川県綾歌郡綾川町

アジアのMonodzukuri企業への進化 SDGsの取組による国際社会への貢献

医療用の精製水タンクや健康食品の製剤工場向け槽塔類、産業廃棄物処理場の熱交換器をはじめ、全国の浄水場や下水汚泥処理場向けの機器に至るまで、民間と官公庁向けに多分野のステンレス製プラント設備機器を設計・製作。「全ては家族のために～All for the Family」を経営理念として、自国経済の発展は素より、熟練技術による日本のものづくりと国際社会貢献の融合を目指し、SDGsの取組や積極的な海外展開を進行中。

●所在地	香川県綾歌郡綾川町陶1004-35
●電話/FAX	087-876-1600/087-876-0300
●URL	http://www.suntech.link/
●代表者	代表取締役社長　青木　大海

●設立	1977年
●資本金	2,500万円
●従業員数	56人

地方のモノづくり企業からアジアのMonodzukuri企業へ

2018年に国際協力銀行と民間金融機関から資金調達し、ミャンマーに合弁会社を設立。経済成長によるインフラの整備が見込れるミャンマーの経済特区で、ガソリンスタンド用のガスタンクや受配電システムの製造工場を建設。また、オリーブの絞り粕による水質汚染が問題視されているモロッコで、JICA支援のもと、処理施設の導入実証事業が進行中のほか、2019年には中国現地法人を設立。2021年春にはさらなる海外展開を見据えて新社屋『SUNTECH LEARNING CENTER』が完成する。

ミャンマーの合弁会社

地域経済発展と海外人財戦略の両輪により国際社会に貢献

同社の企業理念は「日本のモノづくりを通じて国際社会を豊かにするために存在するShokunin集団」。自国経済の発展だけでは成り得ない今日、SDGsの概念を取入れ、得意とするプラント設備機器の技術を強みに、外国人材を多数受入れ、海外進出を進めることは、地域経済発展と海外人財戦略の両輪により国際貢献を進める共通解となる。その第一歩としてミャンマーに設立した合弁会社は、同社と、配電盤・電力制御装置等の製造・販売を行う地域内の企業が連携して立ちあげた。

ABEイニシアティブ インターン生

SDGsの取組により食品ロス削減や海外の課題を解決

多業種多品目のプラント設備機器を製作するが、特に今年成立した食品ロス削減推進法や、近年浸透してきたSDGsの観点から、食品廃棄物の処理に関するニーズが高まり、同社が製作する油温減圧式乾燥機（クッカー）が首都圏や地方都市の資源化工場に広く導入され始めている。さらに、この技術を活かして、モロッコにおいて、オリーブオイルの搾油粕から二番絞り油を抽出し、脱油搾油粕から飼料や肥料を製造する実証事業に取組んでおり、今後モロッコを拠点とした海外市場への参入が期待されている。

油温減圧式乾燥機「クッカー」

株式会社愛亀

需要獲得 ものづくり

愛媛県松山市

コンセプトは『“グローカル”なインフラの町医者』農商工福連携など地域に根ざした営み

1957年創業の建設会社。道路舗装や公共インフラの管理、環境型建材・資材等の製造並びに販売等を中心に行う。同社を筆頭とする愛亀グループは、地域内での建設関連事業による連携化・複業化を通じた身近で多様な地域内インフラの整備への貢献を目的として、『インフラの町医者』というコンセプトを掲げている。同社は、カンボジアでの舗装工事・舗装資材製造販売、キルギスにおけるビジネス展開に係る調査など、海外展開も進めている。

●所在地	愛媛県松山市南江戸2丁目660-1
●電話/FAX	089-921-3030/089-913-7432
●URL	https://www.ikee.jp/
●代表者	代表取締役社長　西山　周

●設立	1957年
●資本金	4,500万円
●従業員数	190人

アジアを駆け、アジアに道を架けるインフラの町医者

愛媛県と友好関係にあるカンボジアにて、2014年度JICA中小企業支援事業案件化調査及び2015年度普及・実証・ビジネス化事業を実施。その後、カンボジアに現地法人を設立し、円借款事業へ前述の舗装補修材を供給しつつ、周辺国への水平展開を計画している。加えて、現在、キルギスにて同製品のビジネス展開に係る調査を行っている。また、同社では、現在までにアメリカ・イタリア・インド等で舗装を行い、現在は、他社とJVを組み、カンボジアの国道5号線の道路改修工事に取組んでいる。

カンボジアでのスタビライザー施工状況

農商工福連携～愛媛に生まれ、愛媛とともに～

同社は愛媛県内における舗装工事の雄として、豪雨災害からの復興を目指す大洲地域においても、地域に根ざす建設会社とJVを組み、災害復旧工事に取組んでいる。「インフラの町医者」を標榜し、建設関連事業による連携化に成功するだけでなく、グループ内の農商工福連携による6次産業化に取組むことで、地域に根ざす企業へと成長している。副次的に、雇用の多様性も確保できており、障がい者雇用をはじめ地域の人材の受け皿になっている。

愛亀グループ「農商工福連携プレー」

地域とともに育てる「資源を大切にする心」と「良い土」

地元地域内におけるリサイクル推進、環境にやさしい低炭素型社会への推進を図るため、アスファルト殻やコンクリート殻を受入れ、再生資材として販売している。地元の剪定材等を受入れ、堆肥化し農業への活用も行い、地産地消への働き掛けも行っている。グループ企業内に、リサイクル事業や農業生産法人を抱えることで、二酸化炭素排出量の多い建設業界にありながら、カーボンニュートラルを目指し地域住民からの信頼も厚くなっている。また、平成14年に、愛媛県より優良循環型事務所として認定。

愛亀ASプラント

株式会社アテックス

需要獲得 ものづくり

愛媛県松山市

地域の課題解決・地域経済の活性化
暦年の自社技術による次世代の製品開発

昭和9年に鋳造所として産声をあげ、その後、同地域の大手農業機械メーカーと協力し農機具製造業に移行。コンバイン用カッターや米の自動計量選別機の生産を手掛け、技術の蓄積を行った。平成元年発売の高齢者向け電動車いす「マイピア」は業界トップクラスにまで成長。令和元年には日本初となるハイブリッドラジコン草刈機を開発。現在は、国が進めるスマート農業に対応した次世代の農業機械づくりを目指し研究開発に取組んでいる。

●所在地	愛媛県松山市衣山1-2-5
●電話/FAX	089-924-7161/089-925-0771
●URL	http://www.atexnet.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　村田　雅弘

●設立	1934年
●資本金	6,080万円
●従業員数	210人

国内にとどまらずグローバルに展開する販売網を構築

平成19年には中国（江蘇省）に現地法人を設立するなど、国内にとどまらず、いち早くグローバル化にも対応している。現在も当社製品はアジア（韓国、台湾）、豪州（ニュージーランド）、商社経由で欧州に輸出販売されるなど、海外市場への展開実績は積み重なっている。その要因として自社内に「貿易部」を有することで広域なマーケットへの供給ルートを構築している。

海外市場の開拓

地元自治体との連携による地域の課題を解決する取組

元々、農業機械生産のメッカでもある四国・愛媛県下の地元メーカーとの協力関係に加えて、近年は地元自治体（特に地域の農村部）との連携を強めており、人出不足、高齢化、過疎地問題への対応として世に出た製品（無人草刈機等）も多数あり。新製品の試運転等に実際の山畑等ののり面を使用する代わりに、周辺篠地の整備等をボランティアで請負うことも多く、地域の課題解決・地域経済の活性化のため積極的な活動を行っている。

高齢者向け電動車椅子「マイピア」

独自の技術・ノウハウによる新製品を継続的に市場に投入

直近の新製品であるハイブリッドラジコン草刈機（商品名「神刈」）は、永年当社が培ってきた農業機械（草刈性能、クローラ走行）の技術と、後に参入した高齢者向け電動車いすのモーター制御技術が融合した当社の技術の結晶といえる。この製品には他にも45度の急斜面で草刈が行えるよう搭載したエンジンが自動で傾斜する機能も備えている。競合他社にない付加価値を創造できる企業活動を行っていると言える。

無人草刈り機「神刈」

株式会社辻利茶舗

需要獲得 サービス

福岡県北九州市

高付加価値商品の開発で新たな需要を開拓 フランチャイズ展開で本場の味を海外へ

京都辻利よりのれん分けする形で北九州市に拠点を構え、1956年に法人化。主な業態は茶卸、小売、喫茶店営業、茶道具販売等。日本茶の可能性を若者や海外に伝えるため、「抹茶カフェ」というサービス形態に国内外でいち早く取組み、新たな需要を開拓。現社長のリーダーシップのもと、国内4店舗の直営に加え海外展開にも注力。現在13か国に抹茶カフェを展開し、日本でしか味わえなかった本物の抹茶の味を現地ローカル化に成功。

●所在地	福岡県北九州市小倉北区魚町3-2-19
●電話/FAX	093-521-6514/093-522-1291
●URL	http://www.tsujiri.co.jp/
●代表者	代表取締役　辻　史郎

●設立	1923年
●資本金	1,000万円
●従業員数	40人

業界に先駆けた喫茶サービスで国内外の需要を開拓

1993年に業界に先駆け日本茶に特化したカフェを展開し、若年層を中心に新たな需要を開拓。2010年から台湾の企業と提携し海外進出。現在13か国に48店舗で抹茶スイーツに特化したカフェ「TSUJIRI」をフランチャイズ展開し、台湾統括オフィスのもと、国ごとのニーズを踏まえた商品開発を推進。フランチャイジーの選定と育成をシステム化しグローバルな均一品質を徹底。本物の味の抹茶を海外で楽しめることを可能にし、海外ファンのニーズを捉えることで、海外事業は売上の4割を占めるように成長。

京町店

自由な発想で挑戦することを武器とし、高付加価値商品を開発

「スタンスはローカル、ビジョンはグローバル」という理念を徹底実践。国内でスイーツ製造業に新たに取組み、特定産地に限らず全国のあらゆるお茶に通じ、各地のお茶と地域資源を活かした10種類以上のスイーツを開発。台湾では現地企業とのコラボで高付加価値ギフトを開発し、抹茶スイーツ商品がコンビニ3,000店舗に進出。抹茶は受注後に製造開始し、徹底管理した品質と新鮮さによって日本と同等の品質を可能にしている。また、社長が率先して国内外でお茶のセミナー等を開催しお茶文化の普及にも尽力。

海外のお客様にお点前

若手後継者の育成、外国人の活用で海外展開が加速

海外のカフェ・スイーツ事業を事業の軸に成長させるために、現地人材を活用し、海外・日本のスタッフともに育成に力を入れている。ITツールを活用し、レシピを動画撮影のうえ多言語（日、中、英）で教育し、効率化とクオリティの維持を同時に実現している。また、年に一度海外スタッフに日本での茶摘み体験研修、日本のスタッフに海外研修といったインタラクティブな研修を実施し、経験や知識の向上につながり、離職率の低減や新規雇用者の確保にも寄与している。

海外スタッフによる八女の茶畑、茶摘み研修

グリーンリバーホールディングス株式会社

需要獲得 サービス

福岡県福岡市

日本産バジルの流通拡大を推進
独自技術による高付加価値農業を展開

多数のメガソーラー施工実績を持つグリーンリバー(株)、先進農業に取組むグリーンラボ(株)の2社を傘下に、独自開発の「縦型水耕栽培装置」による高効率なバジル生産で事業を拡大する「農業ベンチャー業界大注目の企業」。傘下企業の事業領域と強みを活かし、製造・施工から販売までトータルで手掛け、IoTと再生可能エネルギーを活用した「日本最大級のバジルファーム構築」に併せ、「耕作放棄ビニールハウスの再生」を全国で展開。

●所在地	福岡県福岡市博多区博多駅前1-4-4 JPR博多8F
●電話/FAX	092-471-7332/092-471-7333
●URL	https://www.greenriver-hd.co.jp/
●代表者	代表取締役　長瀬　勝義

●設立	2014年
●資本金	12,500万円
●従業員数	92人

独自技術で高付加価値の国産バジルの生産と流通拡大を推進

独自の「縦型水耕栽培装置」による3D高密度栽培で1本のタワーあたり約20株のバジルを植栽し、通常の100倍の収穫量を実現。全国の耕作放棄ビニールハウスや廃校、地熱発電所の排熱等の未利用エネルギーの利活用、IoT統合環境制御システムによる徹底管理で、低単価・高品質で輸入品に勝る国産バジルを通年安定供給し、安心安全を求める消費者のニーズに応えている。海外展示会への出展によるPR強化で流通拡大を推進し、中国の上場企業とのアライアンス締結でさらなる事業拡大に向けた取組を推進中。

両面で栽培されたバジル

日本全国へ水平展開できる高収益な次世代農業モデルを確立

高生産性、IoT利活用を軸に、施工・栽培から販路開拓まで取組むことで蓄積した新規参入やビジネス性確保のノウハウを活かし、設備販売・生産指導から全量買取までフルサポートする高収益な次世代農業モデルを全国で推進し、現在6か所でサービスを開始している。自治体連携による耕作放棄地の再生等で地域に根づく新産業で安定生産・流通と雇用を実現し、持続可能な地方創生にも貢献。次世代農業と地域資源の有機結合の取組は福岡県ベンチャービジネス支援協議会の「FVM大賞2020」にて大賞を受賞。積極的な投資により縦型水耕栽培装置の葉物野菜全般への展開も着手中。

IoTを使いファクトリーを操作する様子

多様な人材の活用、次代を担う人材の育成を全社一丸で推進

独自技術とIoT活用で高い生産性、効率化を実現し、ファーム作業は立った状態で行うことが可能になっている。農業でありながら1日8時間勤務・週休2日制を確立し、多様な働き方を推進。女性のセカンドキャリアや障がい者の活躍の場創出、所得向上にも着実に取組みながら農業のダイバーシティの実現に貢献。組織的な経営と成長を目指し、組織再編や役員全員での議論プロセスの導入、次代を担う社員の積極登用等を全社一丸で推進中。

地域の人々を雇用し、産業基盤を作っている

エコステージエンジニアリング株式会社

需要獲得 ものづくり

福岡県福岡市

自社特許技術で循環型社会の実現を推進
海外進出し現地産業の環境負荷低減へ貢献

2000年にプラントエンジニアリング業として設立され、主として廃棄物分野に係る技術パテントを数多く保有。自社特許技術である「油温減圧式乾燥技術」を通じ、社会に貢献したいという思いで、廃棄物処理関連の企業と連携しビジネスを展開。出願及び申請中の技術も含め、本技術を核に、今後拡大が期待される環境関連投資に対応すべく、顧客ニーズへの適応力強化、多岐にわたる技術適応領域への確実な浸透を目指した事業展開を推進中。

●所在地	福岡県福岡市博多区博多駅前3-19-14 ビーエスビル博多6F
●電話/FAX	092-409-5850/092-409-5851
●URL	http://www.eco-stage.com/
●代表者	代表取締役　中園　英司

●設立	2000年
●資本金	2,000万円
●従業員数	4人

特許技術による有機性廃棄物の資源化で循環型社会を推進

「油温減圧式乾燥技術」という特許技術で高含水率の有機性廃棄物を圧倒的な乾燥率で、大型設備で10t/90分程度の乾燥時間でほぼ絶乾まで乾燥させ、乾燥済有機性廃棄物の全量有価物への転換と市場流通を実現。環境省ホームページで飼料化技術として紹介され、畜産廃棄物、食品廃棄物の製品(飼料)化や下水汚泥の燃料化等の分野で多数の実績を持ち、資源化製品の有効性・機能性を高める技術の提供を通じて顧客の信頼を獲得している。九州大学の文部科学省委託事業にも参画し循環型社会モデルの構築に貢献。

油温減圧式乾燥機（クッカー）

アフリカ進出でオリーブオイル産業の環境負荷低減に貢献

2017年から、JICA「中小企業・SDGsビジネス支援事業」を活用しモロッコにおけるビジネス化に向け準備を進めている。オリーブオイル産業の搾油過程で発生する果汁廃液や搾油粕による環境汚染が問題になっているなか、搾油粕を即日処理のうえ乾燥製品を資源化し、また搾油粕からの二番絞り油の抽出で付加価値の最大化を図り、環境負荷の低減と産業の付加価値向上を両立させるビジネスモデルを実証中。オリーブの世界最大市場であるスペインやイタリア等への展開も経営戦略の一つとして掲げている。

モロッコにて搾油粕資源化の実証

円滑な事業継承、多様な人材活用を推進

円滑な事業継承を見据え、後継者がJICAで実施中の調査でモロッコに渡航し、協力企業との合弁で現地工場を設立するためのパートナー選定等、中核的な役割を担い、海外展開の土壌づくりに取組んでいる。また、本プロジェクトのパートナー企業がモロッコと日本のハーフの人材を雇用することで言語の壁を克服し、ターゲット国言語(アラビア語、フランス語)で専門的な技術面での説明が可能となり、迅速な意思決定ができる体制を構築している。

グローバルチームでプロジェクトを推進

株式会社東和コーポレーション

需要獲得 ものづくり

福岡県久留米市

特許技術での商品開発でニッチな需要に対応 知的財産権を活用し海外へはばたく

作業用手袋の製造・販売を主要事業とし、「裏布つきフルコート天然ゴム手袋」は国内シェア1位を誇る。昭和43年に開発された代表商品「トワロン」は、「やわらかい、動きやすい、臭いがしない」と大ヒットし今日に至るまで50年以上のロングセラーである。「時代に合った商品開発を行うことが継続成長の肝」とする現社長の強いリーダーシップのもと、2018年にロボット専用手袋の開発に成功し、製造企業の生産性向上に大きく寄与。

●所在地	福岡県久留米市津福本町227
●電話/FAX	0942-32-8355/0942-38-3527
●URL	https://www.towaco.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　渡辺　聡

●設立	1947年
●資本金	5,500万円
●従業員数	174人

独自技術と先見性でロボット用手袋等時代に合った製品を創造

従来の突起状スベリ止め加工と反対に、手袋の表面に無数の凹みを加工し圧倒的なグリップ力実現で特許取得。産業現場のプロが愛用の高性能手袋の製造とともに、デザインの観点もいち早く取入れ、平成19年にグッドデザイン賞を受賞。ゴム成形、布の裁縫等のコア技術を存分に活かし、業界に先駆けロボット用手袋の開発に成功し、製造企業の生産性向上に大きく貢献。他ブランドとのコラボ商品、女性農業者向けUVカット機能商品、スマホ操作向け商品等、先見性を持ってニッチなニーズに迅速に対応。また、納入先とリサイクル契約を結び、回収手袋の資源化再生で循環型社会を推進中。

メジャーローブフィット（グッドデザイン賞）

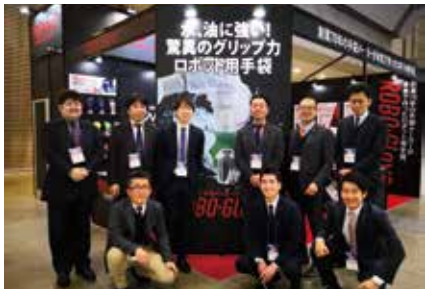
知的財産を攻めと守りから活用し海外展開を推進

手袋の売上のうち3割弱が海外向けとなり、外国における特許及び意匠の取得を重要視しながら海外展開している。バングラデシュの工場で布の縫製工程を、マレーシア、中国、国内の工場でゴムの成形工程を行い、生産リスクの分散とコスト削減を図りつつ、高い品質を実現。企画部門、開発部門を含め会社全体が知的財産に対する高い意識を有し、事業化を想定した複合的な権利の取得を開発段階から検討。知財を攻めと守りの両面から活用した点が評価され、平成25年に「知財功労賞」の特許庁長官賞を受賞。

バングラデシュの工場

生産性向上を図り、技術を受継いでいく環境を形成

海外購買業務や海外合弁会社との調整に外国人従業員を正社員に登用。外国人、若手、ベテラン、女性等多様な人材を適材適所に配置することで、海外合弁会社を含む全体としての生産性が向上。技術継承や多様なアイデア創出に若手社員を継続雇用しつつ、60代、70代ベテラン社員の智恵も活かし、世代間コミュニケーションを促進する雰囲気づくりに取組んでいる。従業員の3割強が女性であり、育休取得率と復帰率がともに100%を達成。



ロボグローブ展示会にて

株式会社シマブン

需要獲得 ものづくり

福岡県久留米市

高い商品開発力で地域経済活性化に貢献 ASEANへ積極的に海外展開

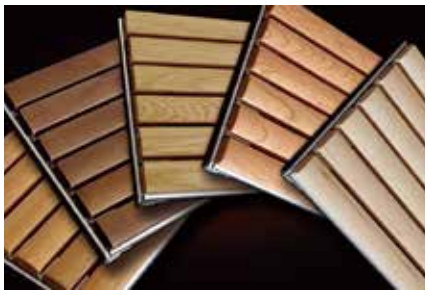
明治4年創業。ルーツは久留米藩の瓦葺棟梁だった創業者が瓦製造、販売を始めたことに遡る。その後瓦の需要減で建材店に転身。徐々に住宅資材の取扱が増え、昭和58年の排水ユニット「小川くん」の開発を機に住宅の水回りのグレーチング（排水溝の蓋）事業に特化し現在に至る。医療福祉施設向けグレーチング市場シェアでは28%、住宅在来工法浴室市場シェアでは約90%を占め、いずれも国内No.1を誇るニッチトップ企業へ成長。

●所在地	福岡県久留米市中央町28番地7
●電話/FAX	0942-89-5235/0942-89-5306
●URL	http://shimabun.jp/
●代表者	代表取締役　島　信英

●設立	1966年
●資本金	2,000万円
●従業員数	33人

木製グレーチングを始めとする高付加価値商品開発で需要獲得

グレーチングを住宅や施設の排水設備に導入したパイオニア企業として、浴室用グレーチングや排水ユニット関連商品を500種類以上企画開発し、研究機関や他企業とのコラボレーションによる商品開発も積極的に推進。木質感と防カビ機能を両立させた木製グレーチングは好評を博し「国際建築展示会ARCHIDEX 2017」で受賞。九州産木材・地元伝統工芸を活かした商品、新素材の屋外用グレーチング、金箔装飾のグレーチング等でも新たな需要を獲得。災害時でも安全な「ステンレス製鏡」が国内シェア90%を誇る等、グレーチングを基軸にニッチ市場に特化した商品開発に注力。



木製グレーチング

国内市場縮小を見越したASEAN等への積極的な海外展開

グレーチングの国内市場縮小に向け、新規市場の開拓に海外展開を決意。中小機構のF/S調査やJETRO新輸出大国コンソーシアムの専門家派遣制度の活用を契機に、シンガポール、マレーシア、タイ、台湾に代理店を構う。マレーシア、シンガポールの屋外施設プロジェクトへの参画実績を持ち、高品質のグレーチングを武器に高級リゾートホテルやコンドミニアム等、海外のラグジュアリー市場開拓を推進中。直近はフィリピンにおける代理店候補の選定、ASEANでの現地法人・現地工場の設立等を模索している。

海外の高級リゾートホテルにも納入

外国人材登用、多能工化で生産性向上と働き方改革を実践

海外展開の円滑化のために採用したバングラデシュ出身の学生が、実務で活躍し海外事業を牽引する存在へと成長している。設計担当が価格票の入力を行う、総務担当が納品書を発行する、製造の前後工程の担当を変えるといった多能工化をOJTのなかで推進。生産性の向上を図りつつ、業務の属人化をなくし、休みやすく働きやすい職場づくりを実現。また、生産、組立の自動化等にも積極的に取組み、納期の短縮化と働き方改革を実践している。

仕事風景

アイテックシステム株式会社

需要獲得 ものづくり

福岡県飯塚市

バイオトイレの開発や様々なニーズに対応 環境維持に貢献しながら工場の自動化を目指す

2003年に事業開始。電機部、機械部、環境部の3部門からなり、製品の設計からシステム開発まで一貫受注し、主に鉄道、電力、自動車関連の設備を製造。板金や加工技術を活かしたAED収納BOXの製造・販売やバイオトイレ、バイオチップ（微生物資材）の開発・製造にも取組む。常に技術の向上を図りお客様に満足をいただける製品を提供し、社会に貢献することを目指している。

●所在地	福岡県飯塚市横田後牟田工業団地
●電話/FAX	0948-22-2651/0948-22-5332
●URL	http://www.itec-system.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　吉田　和彦

●設立	2000年
●資本金	2,000万円
●従業員数	148人

お客様ニーズに対して機械・電機一体でハード・ソフトを提案

工場の人材不足解消のために、ロボット・自動機を使った自動化設備を中心に多方からの依頼を受け、お客様と一緒に新しい技術を検討・導入して機器を納入。機械屋さん、電機屋さん、ソフト屋さん、微生物屋さんが在籍している会社で、産学官と連携した提案等も行っている。今後、さらなる人手も拡大することから、新しいAI技術の導入等で自動化設備による拡充を目指す。

工場内部、転車台（鉄道関係）

技術力と設計から設置までの一貫体制でバイオトイレを開発

自社による設計・製造・設置・保守、独自開発のバイオチップ（微生物資材）を使用した一貫体制で作られている。水を使用しない、汲取の必要がない、バイオチップの交換は年一回程度(使用後は土壌改良材として資源化）等の強みを活かし、山、イベント、災害時、水洗トイレの設置が困難な環境のニーズに答えている。開発は継続しており、簡素化・軽量化・コストダウン等に取組んでいる。海外では日本よりトイレ事情の悪い国も多く、海外企業との交流会等への積極的参加から商談成立の実績がある。

国内設置事例

多様な働き手が活躍できる職場づくり

女性従業員は約3割を占めており、製造業務の職場でも女性を積極的に採用している。時短勤務等も導入しているほか、本人の希望に応じて、事務職だけではなく製造職にも異動できるようにし、製造ラインで活躍するリーダーも生まれている。他にも、定年後の再雇用や管理職でのシニア人材の雇用にも取組んでいる。また、海外からの雇用もしている。JICA主催の研修の受入れや海外からのインターンシップの受入れにも積極的に取組んでいる。

制御盤組立

大国段ボール工業株式会社

需要獲得 ものづくり

福岡県行橋市

BtoBからBtoB+Cに転換し、猫の爪とぎや幼児用玩具等の製造、ネット販売

創業当時より、段ボールの箱や緩衝材を中心に、一般企業向けに製造販売。価格競争の激化、景気、天候、受注先の生産方針によって業況が大きく左右される。持続可能な会社を目指して、会社方針を「BtoB」から「BtoB+C」に転換したことで、経営革新計画の承認（第3775号）、ものづくり補助金により導入されたレーザーカット機を活用することで、高精度な「猫の爪とぎ」や「幼児用玩具」等の製造、ネット販売を展開している。

●所在地	福岡県行橋市今井1133番地
●電話/FAX	0930-23-0050/0930-23-0056
●URL	http://daikoku-cci.co.jp/index.html
●代表者	代表取締役　寺澤　一光

●設立	1962年
●資本金	5,000万円
●従業員数	30人

デザイン性向上を目指した芸術家とのコラボ商品開発

一般消費者向けとした段ボール製品開発を進めるなか、さらなるデザイン性向上を目標に、福岡県行橋市出身の画廊　九十九伸一氏とコラボレーションを行い、2014年に「クーボウ無次元カプセルシリーズ」、2018年に「sukezoo」を市場投入した。九十九氏は大学卒業後に活動拠点を海外に移している芸術家で、現在スペインに在住していることもあって、2019年からスペインでコラボレーション商品の試験販売を開始している。

芸術家とのコラボ商品

産学連携で商品開発し、ふるさと納税で地域経済へ循環

産学連携を通じて、学生達がデザインした新たな段ボール製品の開発製造販売を行っており、デザインすることの楽しさや難しさを経験してもらうことで、卒業後の社会進出に備えてもらう。その他には、猫の爪とぎといったペット用品やイスや机、遊具といった子供用品などが、地元地域の「ふるさと納税」における返礼品に選定されており、ふるさと納税を利用する方々の寄附金が地域に循環するといった点で、地域経済活性化に貢献している。

猫の爪とぎ(グッドデザイン賞受賞)

経験の蓄積とさらなる技術・知識向上からなる付加価値向上

ペット関連や子供向けのオリジナル商品を自社部門でデザインしており、設計の経験を長年積んだことから、段ボールの新たな使い道、新たな価値を生み出すことができる技術及び知識を蓄積でき、他社が真似のできない高付加価値商品を作りだせるようになった。また、芸術家とのコラボを通じ、芸術性の高いものを作るには、切り口の綺麗さ等、様々なことで完成度の高いものが要求される。そのため、ものを作る技術や梱包する技術に加え、商品のデザイン力、商品を魅せる展示力等、すべてを一貫してお客様に提供できるようになってきている。

子供向けオリジナル商品

株式会社オークマ

需要獲得 ものづくり

福岡県朝倉市

室内ドアを主力とする木質建材メーカー 中国大手企業販売網を活用した販路開拓

室内ドアを主力製品とする木質建材メーカーであり、大手住宅メーカーへのOEM供給を主力に、自社開発したオリジナルブランドドアも供給している。多品種少量、量産の両方に対応可能な生産体制を整え、他社とは異なる競争力を持ちながら、住宅用ドアの国内需要減少を見据え、デザイン性や機能性を高めた高付加価値品の開発を続けている。国内の他、海外大手メーカーと連携した市場開拓にも取組んでいる。

●所在地	福岡県朝倉市菱野1548
●電話/FAX	0946-52-2800/0946-52-2804
●URL	http://www.o-kuma.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　大隈　賢一郎

●設立	1911年
●資本金	2,000万円
●従業員数	190人

海外大手企業のグループの販売網を最大限活用した販路開拓

中国では、入居者が個別に内装を行う従来型ではなく、内装まで仕上げたマンションの販売が増加し、ドアについても、個別対応向けの多品種少量生産品に加え、量産品の需要が出ている。受託生産工場として進出していた中国でこの変化をキャッチし、事業モデルを転換。中国大手企業グループに参画し、グループ内でドアメーカーの位置を得ることに成功した。得意なドア製造に注力しながら、グループの強力な販売網を最大限活用し、超大手デベロッパーにも採用されている。

中国大手企業傘下の企業との調印式

官民一体で研究開発を推進し、地域を巻込んだ製品の開発

地元の企業や大学、専門学校、福岡県工業技術センターとの共同研究により、独創性あるデザインと機能性を持たせた製品を開発し、他社と差別化を進めている。地元企業と開発したオリジナル家具「cabo」シリーズは、「第14回 福岡産業デザイン賞」で優秀賞を受賞する等、高い評価を受けており、地域企業間の連携で新しい付加価値を生み出している。また、杉の間伐材を活用した製品もあり、開発した「PANE Louver」は、ウッドデザイン賞2016を受賞する等、林業農家の活性化にも寄与している。

ウッドデザイン賞PANE Louver

社会ニーズに対応した高機能ドアの企業連携による開発

高齢者向け施設では引戸が多く採用されているが、開いたときに邪魔なため、手すりがない場合が多い。引戸にも手すりを設置し、出入口付近でも介助者なしに自由に移動できるようにするため、開閉にあわせて手すりが動く引戸用手すりの特許を持つ企業と連携して開発を進め、自立歩行支援機能を持つドアとして製品化に成功した（新連携を活用）。この他にも、必要に応じて、産学連携やハウスメーカーと連携し、「小児が手を挟まない扉」等、社会ニーズに対応した機能を持つ商品の開発を進めている。

自立歩行支援機能を持つドア

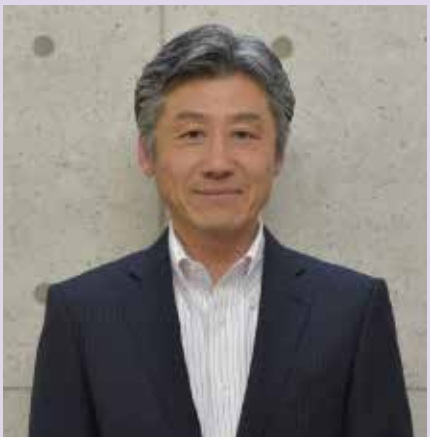
有限会社ラピュタファーム

需要獲得 サービス

福岡県田川郡川崎町

食材の8割を地元から調達する バイキングレストランを併設した観光果樹園

旧産炭地にある観光果樹園。生産農家から観光果樹園への転換、1999年から地元産野菜やフルーツをふんだんに使用したバイキングレストランを開設し、家族連れで一日中楽しめる場所を提供。地域を元気にしたいとの思いから食材の8割を地元から調達し、「食」を通じて地域を知ってもらうことを常に意識し、6次産業化の取組を展開。人口1.6万人の小さな町に域外から年間6万人もの方々が訪れる観光果樹園として好評を得ている。



●所在地	福岡県田川郡川崎町大字安真木4408-11
●電話/FAX	0947-47-4000/0947-47-4005
●URL	http://laputa-f.com/
●代表者	取締役　杉本　利雄

●設立	1998年
●資本金	300万円
●従業員数	15人

旧産炭地から自然とふれ合い身体に優しい食でもてなす場所へ

旅行会社等と提携し、バスツアーの組合せを行うことで、来園の足かせとなっていた交通アクセスの弱みを改善。国内外からアクセスの良い福岡市内からのルートを確保し、主にアジア圏からのインバウンドを積極的に取込み、個人から団体客まで幅広く受入れている。モノ消費からコト消費にシフトするなか、特に体験型のフルーツ狩りは訪日外国人観光客に高評価。一方では、園内に障害者用トイレをはじめスロープなど整備し、バリアフリーへの対応をはかったことで、新たな需要を広げることに成功した。

全国初バリアフリーいちご狩り園

「食」を通じて、地域の魅力発信/生産農家の所得向上

地域を元気にしたいとの思いから、地元産食材に徹底的にこだわり、バイキングレストランで提供するメニューの8割を地元生産農家から調達し、来訪者に「食」を通じて地域の魅力を発信。地元産食材での商品開発にも力を入れ、地域資源の活用及び生産農家の所得向上にも寄与。当園収穫のぶどうから酵母を作り、自家製パンを開発し、高い評価を得ている。旅行会社と提携し「大人の社会科見学」をテーマに、地域の名産品の工場見学と絡めたツアーを企画。昼食での季節感も出すことができ、重宝されている。

バイキングレストラン

「体験」、「食」、「商品開発」による付加価値向上

地元産フルーツや野菜を体験、食、商品開発と結びつけ付加価値を高め、需要拡大を実現。果物狩りを体験したのち、地元産食材のレストランで食事、その味を自宅でも楽しんでもらうオリジナルの商品開発も行っている。物販では地元デザイナーと連携し、新規顧客の開拓のためパッケージからまず手に取ってもらう魅力あるラベルへ進化させた。その結果、贈答用の詰合せでの販売機会も増加。従来は健康志向の高い主婦層をターゲットとしていたが、贈答品や通販をきっかけとして新しい客層も獲得しつつある。

贈答用詰合せ商品

株式会社グリーンテクノ21

需要獲得 ものづくり

佐賀県佐賀市

食品工場から廃棄される卵殻を利用し、ゼロ・エミッション社会をめざす

社長がカステラ屋を訪問した際に大量に廃棄される卵殻を見て「もったいない」と、2003年に創業。食品工場から廃棄される卵殻を回収、乾燥、粉砕し、スポーツ用白線、チョーク原料、すべり止め（ロジンバック）等を製造販売。ロジンバックは大手スポーツメーカーにも採用され、国内のシェアは7、8割を占める。近年、卵殻の吸湿性を活かした機能性壁紙の製造も行い、ゼロ・エミッション社会の実現に向け取組を進めている。

●所在地	佐賀県佐賀市鍋島町大字蛎久1539-1
●電話/FAX	0952-30-0702/0952-30-0703
●URL	http://green-21.com/
●代表者	代表取締役　下　浩史

●設立	2003年
●資本金	7,875万円
●従業員数	13人

JICA事業としてベトナムで大学と農業用有機石灰の試験中

2018年のJICA企業提案型事業に採択される。安心・安全な高付加価値野菜への需要が高まっているベトナムで農薬、化学肥料を同社の卵殻原料の農業用有機石灰に置き換えるため、ベトナム国立農業大学と共同で土壌改良試験を実施中。同社の卵殻乾燥粉砕機を現地の食品加工工場に設置し、現地で生産、現地肥料商社のチャネルで販売をめざす。また、東京オリンピックで競技種目となったボルダリングで使用する卵殻粉配合のクライミング用チョーク“GRASP”は欧州･北米･台湾への輸出を考えている。

ベトナムで土壌改良試験を実施中

全国の食品工場で生産、学校に販売する地産地消モデルを構築

キューピータマゴ等、全国7か所の工場に卵殻乾燥粉砕機をレンタル･販売。工場で生産した卵殻粉を地域の学校にライン材として販売し、地産地消モデルを構築。全国の小中学校約1,500校、幼稚園保育園約1,800校、高校・大学約350校に販売。卵殻を使用したライン材は1袋(20kg)で4,000個の卵殻を使用。従来品と比較し100mラインを引くと、車の走行距離34km分の二酸化炭素排気量の削減効果。子供達への教育上もわかりやすい製品・リサイクルとなっている。

全国の食品工場で卵殻使用製品を生産

卵殻膜にも着目し、共同研究開発で高付加価値商品を開発

卵殻部分と内側に付着する卵殻膜を分離。卵殻部分は、ひよこが呼吸をするための無数の穴があいているという特徴を利用し、吸湿性に優れた漆喰、タイル、壁紙を開発。壁紙はテレビで取上げられ社会的にも注目。また工業用原料としてタイヤの添加剤、プラスチック代替材料等にも利用されている。卵殻膜は、タンパク質、アミノ酸で構成されており、アレルゲン体を消滅させて体に良い化粧品、農業用肥料を他社や国立大学と共同研究開発し、高付加価値製品へと商品群の展開に挑戦している。

壁紙はテレビで取上げられ社会的にも注目

合資会社光武酒造場

需要獲得 サービス

佐賀県鹿島市

世界最高権威IWCでの受賞をはじめ、国内外の数々のコンクールで高い評価

元禄元年創業の酒造会社で300年以上の歴史を有し、多くの杜氏を輩出し、地元では〝光武学校〟とも呼ばれる。吟醸酒部門は、世界最高権威と評価されるコンペティションIWC（インターナショナル・ワイン・チャレンジ）でのゴールドメダル受賞をはじめ、国内外の数々のコンクールで高い評価を得ている。20年程前から手掛け始めた焼酎も、モンドセレクション、全国酒類コンクール等においても長年にわたり受賞している。

●所在地	佐賀県鹿島市浜町乙2421
●電話/FAX	0954-62-3033/0954-62-3075
●URL	http://www.kinpa.jp/
●代表者	代表社員　光武　博之

●設立	1688年
●資本金	300万円
●従業員数	58人

“SAKE”とアニメでクールジャパンを輸出

平成25年に当社初の輸出案件としてタイへ輸出。現在は東南アジア･インド･ヨーロッパなど15か国と取引中。当初は年間150万円程度の売上であったが、積極的に商談会等に出展した結果、当初の45倍以上の約7千万円にまで増加した。海外の顧客には焼酎よりも日本酒が好まれる傾向にあるが、今回のアニメと焼酎とのコラボにより海外の焼酎販売のテコ入れが期待される。

アニメと焼酎とのコラボ

まちの資源が自社の資源～観光振興とビジネスの両立～

同社が位置する肥前浜宿の通称“酒蔵通”は、江戸時代から醸造業を中心に発展した地域で、国の「重伝建地区」にも指定されている。近年衰退していた酒蔵通りに往時の賑わいを取戻そうと、同社もまちおこしに取組む。2012年には酒蔵通りをメイン会場に、同社も含めた地元酒造場6蔵が一斉に蔵開きを行い、新酒の完成を祝うイベント「酒蔵ツーリズム」を開催。地元商店街や行政も巻き込んだ一大イベントとなり、2019年には鹿島市人口の3倍以上にあたる約9万9千人が来場。自社ブランドの発信と地域活性化の両立に成功。

酒蔵ツーリズム

酒造りのその先へ～六次産業化による付加価値創造～

関連会社である(株)峰松酒造を通して、地元佐賀で良質な米を生産している農業法人とタッグを組み、せんべいやあられ、米糠を使ったバウムクーヘンなどの加工品を開発。それを酒蔵通りの店舗だけでなくオンラインショップで全国に向け販売している。一次産品に価値をつけ販売する､地方創生の王道ともいえる取組だが、当社の特色は「巻込力」といえる。地元金融機関やコンサルによる出資・支援を取付け、全国初の「日本酒を事例とした六次産業化ファンド」の事例が完成。

佐賀の米の加工品（あられ）の開発・販売

長工醤油味噌協同組合

需要獲得 ものづくり

長崎県長崎市

同業者に先駆けて無添加・有機商品の開発に取組み、醤油・味噌業界全体を牽引

1941年に醤油の醸造元29軒が、共同生産・共同販売を目指し、業界初の組合として発足。1947年には販売部門を分離し、チョーコー醤油（株）を設立。製造を組合が、販売をチョーコー醤油（株）が行う。創業30周年を機に西日本一円から、関東、関西、北海道、海外へと販路を拡大。先駆けて無添加・有機商品の開発に取組み、醤油・味噌業界全体を牽引。地産他消を心がけ、長崎産の食品の知名度向上に大きく貢献している。

●所在地	長崎県長崎市西坂町2-7
●電話/FAX	0957-53-4678/0957-53-7573
●URL	https://choko.co.jp/
●代表者	理事長　久保田　泰雄

●設立	1941年
●資本金	20,100万円
●従業員数	131人

日本伝統の味を海外に根づかせるべく、積極的に海外展開

日本伝統の味を海外に発信すべく、主に欧州、アジアに味噌、醤油を輸出。積極的に海外へ赴き、商談、展示会への参加を通じて自社の商品、技術をアピールしている。加えて、海外市場の動向を理解し、今後の商品開発のヒントを得るなどの取組も行う。また、海外での自社ブランド力の向上のためにISO規格のFSSC22000を取得。これによって自社の商品が世界基準で安全であることを示すことができるようになり、より積極的な商談につなげることが可能となった。

海外展示会への参加

長崎の企業であることに誇りを持ち、県内経済の活性化に貢献

長崎の企業であることに誇りと使命を感じ、積極的に地産他消を仕掛けている。長崎にしかない裸麦を用いて「長崎みそ」の商品名で全国展開を行い、商品名をブランドとして認知・定着させている。また、長崎の特産物である「五島、平戸の焼きあご」「対馬のゆず」「大村の黒田五寸人参」等々を生産者から仕入れ、搾汁等の加工を県内企業に外注して利用するというスタイルでネットワークを広げ県内産業の活性化を図りつつ自社の持続可能性を高めている。

長崎と工業を表す長工のマーク

変化し続ける消費者のニーズに合せた、多種多様な商品開発

変化し続ける消費者のニーズを察知し、それに合せた商品開発を行う。近年は安全な商品、一人用の商品へのニーズが高いため、材料にこだわった有機商品や、一人前パックの鍋料理のスープなどを販売。近年増えてきた機能性のある食品にも取組み、ドレッシングと焼肉のたれ各1アイテムで「機能性表示食品」の商品化に成功している。商品開発に合わせて技術開発も行うことで、商品のバリエーションと美味しさを同時に追求する。

業界随一の有機商品の数々

株式会社マテックス

需要獲得 ものづくり

長崎県長崎市

総合エンジニアリングで培った技術と信頼 地域に健康と活性化を提供

熱絶縁工事全般、保温・保冷・防音・耐火・板金工事の設計施工を中心とした総合エンジニアリング企業。県内・県外の大手造船所、タービン工場のほか、海外での工事施工実績がある。保温、保冷、耐火工事の温度域は、マイナス196℃のLNGから焼却炉はプラス2,000℃まで幅広く、取引先のニーズに沿った設計施工を実現する。資材メーカーとの信頼構築・社員の技術向上等、高い技術と信頼の構築に余念がない。

●所在地	長崎県長崎市田中町608番地73
●電話/FAX	095-838-6440/095-838-6503
●URL	https://www.kkmatex.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　三田村　信義

●設立	1992年
●資本金	1,000万円
●従業員数	18人

国内はもとより海外でも信頼される確かな技術

熱エネルギーを無駄なく利用するための熱絶縁工事、主に発電プラント・焼却場・船舶・火葬場施設等における保温・保冷・防音・耐火・板金工事等、国内・海外問わず、グローバルに展開している。基礎となるのは、必要な資格のほとんどを取得している社員がもつ技術。年に数回は東南アジア等に出張、現地作業員の指導を行う。地球温暖化対策に熱心なシンガポールでは、バイオマス発電装置の建設現場で、機器の耐火工事、煙道の保温・板金の技術指導を行い、高い評価を得ている。

海外の工事現場での技術指導

長崎の力を結集し、新たな分野へ挑戦

技術と信頼をもとに、新たな分野へ挑戦している。その一つが、パンダのデザインを施した歩行訓練器「ファン&ファン」の開発である。自宅で気軽に足や体幹の運動を行い、心肺機能向上訓練をすることができる。同社の元取締役が脳梗塞により麻痺が残ったことがキッカケで開発を開始。「やってもらうリハビリから、自分でするリハビリへ」がコンセプト。開発・製造には、長崎の力を結集させた。材料には対馬産ヒノキを使用、開発には作業療法士や県内工業高校教諭が支援、製造の全工程は地元企業間で連携し行う。

パンダのデザインを施した歩行訓練機

社員・顧客・地域に信頼される強固な社内体制

企業としての強固な体制を構築するため、県の「経営革新計画」の承認・国際規格「ISO9001」認証の取得を行った。また、経営者は、「地域活性化協議会」の会長として、地域の活性化に積極的に取組み貢献している。さらに、自然災害等が発生した際のBCP計画を作成、社員の安否確認をはじめ、取引先への責任を果たすための社内体制を構築した。自家発電装置も導入することで、インフラ復旧までの影響を食い止めるとともに、余剰電力を地域住民や近隣の工場等へ提供することも視野にいれている。

従業員の力を結集させ信頼される企業へ

株式会社フンドーダイ五葉

需要獲得 ものづくり

熊本県熊本市

醤油の常識を覆す革新的な製品 決め手は伝統と挑戦するDNA

創業150年を超える歴史をもつ老舗醤油メーカー。伝統的な製法を守り、地元熊本に愛される味を追求しながら、新しい技術にも挑戦する。特に、多様化するライフスタイルに応えようと、時代のニーズに合った商品づくりに強い。2014年、創業家からの事業承継を行い社内体制を強化した。「透明な醤油」「アルコールフリー醤油」といった斬新な商品開発、他社と連携した熊本の「味」を発信する等、新たな挑戦を続けている。

●所在地	熊本県熊本市北区楠野町972
●電話/FAX	096-245-5222/096-245-5553
●URL	https://www.fdgoyo.jp/wp/
●代表者	代表取締役　山村　脩

●設立	1969年
●資本金	10,000万円
●従業員数	130人

常識を覆す商品の開発

創業150年の伝統を守りながら、様々なニーズや文化に即した斬新な製品の開発を行っている。特殊技術により、醤油のコクを残しつつも色が透明な「透明醤油」は、料理の素材の色を活かしたままでの味つけを可能にしたり、こぼしても服などが汚れることがなく、小さな子どものいる家庭でも安心できる等、醤油の常識を覆すものになっている。その他、アルコールをゼロにした醤油では、自社保有の特許技術により、風味と味を残しながら、アルコールと食塩の大幅除去に成功した。

透明醤油などユニークな製品群

熊本から世界へ

自社商品のみならず、「熊本の味」を全国・世界に発信している。県内の食品メーカーに声をかけて、中国の現地スーパーで熊本展を開催したり、熊本産食材と醤油を組合せた加工品の販売を行う等、熊本の食材の認知度向上に取組んでいる。醤油単体ではなく、九州・熊本の味として提案、辛口醤油を好む東日本へも熊本の甘い醤油を広める。また海外展開も意識。外国人雇用や現地アドバイザーを活用、欧州では無添加、東南アジアでは甘い醤油も好まれるといった、分析を行い商品を開発している。

海外の食品展へ出展

社員が一体となり、前に進むDNA

同社は、2014年に400年続くオーナー経営から変わり、企業理念「食文化企業として発信していく」を再認識、社員が自社の「顔」となる商品の開発へ取組んだ。社員全員が一丸となったことで、「特醸甘口醤油「平成」」や「透明醤油」等、革新的な製品の開発に成功、事業を再建している。2016年の熊本地震では、工場や設備が被害に遭ったが、グループ補助金を活用、早期の復旧だけでなく、作業の効率化や品質向上の取組も同時に行った。

従業員の力を結集　新たなステージへ

新栄合板工業株式会社

需要獲得 ものづくり

熊本県水俣市

森林環境保全のため全量国産材を使用「環境と地域の未来」を見据えた経営

国産材の一大生産地である九州の再生可能な森林資源を有効活用した九州唯一の合板メーカー。国産材の利用比率は、業界平均6割を大幅に上回り、全量国産材を使用する。合法木材認定、森林認定（FSC・SGEC）を取得、使い勝手のいい輸入材よりも、地域の森林保全に繋がる国産材の使用に強くこだわる。また、地域での雇用、地域の企業との連携に積極的に取組み、九州地域の林業活性化に貢献する、地域密着型企業である。

●所在地	熊本県水俣市袋赤岸海50番地
●電話／FAX	0966-63-2141／0966-63-2145
●URL	https://www.shin-ei-style.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　古澤　憲司

●設立	1975年
●資本金	14,250万円
●従業員数	235人

合板には不向きとされた国産材を活用した合板が好評

地域の森林環境保全のため使用する木材の全てを合法的に伐採された九州産の杉・ひのきに転換。これまで合板に不向きとされてきた国産材の節やヤニ・反り・ねじれ等を、生産技術の向上や加工法開発により克服。木造住宅や大型木造施設向けの耐久性・耐震性に優れた構造用合板や、治山工事やマンション工事向けの国産材コンクリート型枠用合板が市場で好評である。また、建具の骨組に使われる単板積層材や断熱材を挟み込んだ断熱機能つき下地材等の高付加価値製品も高い評価を受けている。

同社の構造用合板を使用した住宅

目指すは九州の発展、そして地球環境の保全

地域・地球環境の未来を見据えた経営を行う。森林環境保全については、ひのき苗木の植栽活動推進を目的とした基金の設立・地元の森林再生基金への寄付に取組む。地域の発展にも積極的で、熊本地震の際は、自社製品の構造用合板5,500枚を被害の大きかった地域へ提供したほか、義援金3,000万円の寄贈を行った。その他にも、全従業員を地元及び近隣市町から雇用したり、輸送面では地元輸送業者との契約締結、地域イベントにスポンサーとして参加するなど、地域経済活性化に貢献している。

ヒノキ造林を積極的に推進

「木質文化」を担うメーカーとして世界を意識

平成30年度森林・林業白書にも明記された政府の戦略のなかに、合板等の木材製品輸出拡大に向けた取組が掲げられた。農水省と業界団体が連携し海外市場調査や日本産木材品のブランド化を進めているなか、グループ会社全体で、国産材の杉・ひのきを活用した構造用合板の輸出による海外市場獲得について検討を進めている。従来の防腐合板より大幅なコスト削減を可能にした防虫・防腐・防蟻処理済み合板や、断熱性と強度に優れた高機能製品の開発等、さらなる国産材合板の需要拡大を狙う。

施工の容易性・強度性能に優れた合板

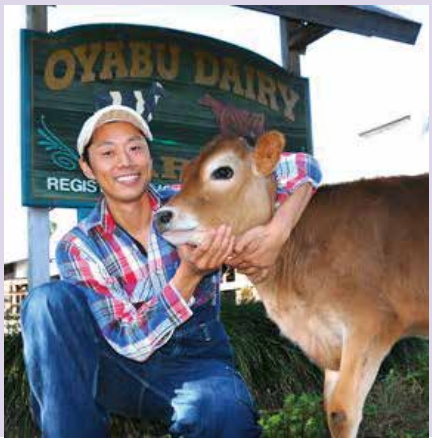
株式会社オオヤブデイリーファーム

需要獲得 サービス

熊本県合志市

次の世代へ、わが家のミルクにできること 自社のミルクを輝かせ、選ばれる生産者へ

同牧場は、自家産堆肥で畑土を作り飼料を栽培、乳牛を育て、乳製品を製造している。ミルクに何かを添加して付加価値をつけるのではなく、「飼養管理」と「遺伝改良」により、オメガ3脂肪酸強化生乳など、搾りたてのミルクそのものに、特別な特徴を持たせている。さらに、自社のミルクが一番輝く舞台を創りあげるため、世界中の乳製品を食べ歩いてミルクを磨きあげ、他の乳製品との違いを加工を通して表現している。



●所在地	熊本県合志市須屋2541
●電話／FAX	096-242-7913／096-242-6204
●URL	https://www.oyabudairyfarms.com/
●代表者	代表取締役　大薮　裕介

●設立	1975年
●資本金	220万円
●従業員数	16人

磨きあげた金色のミルクから作られたヨーグルト

「MILK'ORO」エイジングヨーグルトは、上部はクリーミー、下部は爽やか、2つの味を楽しむことができる。その秘訣は、ノンホモジナイス製法。脂肪分を人工的に均一化させることなく、生乳をそのままヨーグルト化するため、発酵の過程で上部に乳脂肪分の層：クリームクラウンを形成する。また、お客様のお腹で乳酸菌が元気に活躍してくれるように、砂糖のなかで唯一、体を温める作用がある甜菜糖を使用。「2019年6次産業アワード 農林水産大臣賞」をはじめ、様々な受賞歴がある。

2層のヨーグルト『MILK'ORO』

フランスで学んだ体・人・環境に配慮した酪農技術

フランスの有機農産物組合「ブルー・ブラン・クール（BBC）」との連携により、より健康な牛の飼育管理を実現する技術を得た。その成果として、搾りたての生乳から、メタボ予防・アンチエイジング等の効用がある「オメガ3脂肪酸」が多く検出されるようになった。この技術は、乳製品のみならず、オス仔牛や母牛の廃用時のオメガ3のお肉として、シェフからの評価も高い。地域や地球環境との共生等、酪農家のあり方についても学び、「食と命」に対する理解を深めてもらう酪農教育ファーム活動も行っている。

フランスの有機農産物組合との連携

地域とともに新しい市場を開発

酪農を通じ、地元・合志市の振興にも力を入れる。キッカケは2016年に発生した熊本地震。大きな被害を受けた県内の友人の果樹農家を盛りあげようと果実を購入、熟成させて乳酸菌を増やした自社のヨーグルトと組合せた乳酸菌発酵ジェラートの商品化に挑戦した。九州産のフルーツを使い、ヨーグルトの熟成に約20日、その後ジェラートの製造、と時間をかけて作られる。「Gelacho～ジェラーチョ～」として、合志ブランド認証品となっている。

地元果樹農家の果実で作ったジェラート

通潤酒造株式会社

需要獲得 サービス

熊本県上益城郡山都町

熊本地震を契機に生まれ変わった酒蔵 目指すのは地域全体の発展

1770年に造り酒屋として創業。地元の米と熊本酵母を使った日本酒の製造・販売を行う。熊本地震で被害を受けた酒蔵をリノベーションした「寛政蔵」は、日本初の有料試飲スペースつき観光酒蔵として注目されている。付加価値の低さに苦しむなか、地震で傾いた蔵を前に「このまま再建しても、ジリ貧」と新たな再建策を模索。米・カリフォルニア州・ナパの観光ワイナリーを参考に、日本酒の良さを伝え、楽しむ空間へと進化させた。

●所在地	熊本県上益城郡山都町浜町54
●電話／FAX	096-772-1177／096-772-0421
●URL	https://tuzyun.com
●代表者	代表取締役　山下　泰雄
●設立	1770年
●資本金	1,200万円
●従業員数	14人

日本初！有料試飲スペースつき観光酒蔵

1792年創建の酒蔵「寛政蔵」をリノベーションした観光酒蔵がある。内装には、年輪を刻んだ梁や柱を残しながら、モダンな木組みが施され、石畳や錦鯉の泳ぐ前庭を眺めながら、試飲を楽しむことができる。ソムリエによる日本酒の飲み方や特徴の説明、着物による接客、酒質にあうワイングラスでの提供等、高級なサービスを提供。2019年3月のオープン以来、来場者は9か月で13,000人を超えた。酒造り行程の案内→試飲→お土産購入、という社会科見学型の酒蔵観光を超えたものとなっている。

館内でゆったりと試飲

貫く社是「地域の発展なくして企業の発展なし」

酒蔵に観光客を呼び込むことは、自社のみならず山都町全体の振興を狙ったもの。その姿勢は蔵の運営に現れている。例えば、自社では食事提供をしないことで、地域の飲食店の利用を促進する。蔵での滞在時間が長くなる仕掛けをつくり、宿泊需要を創出。また、酒米を作る地元の農家への還元や農業体験などの新たな観光資源への発展までをも狙う。その他、マルシェ・書道展・写真展など、イベント会場としても開放している。そこには「日本酒の楽しみ方を発信し、山都町の経済をけん引したい」という想いがある。

酒蔵内で開かれたイベント

現代のニーズをとらえ、販売も製造も進化中

TwitterやFacebookを積極的に活用、情報発信するとともに顧客のニーズを把握、商品開発などに役立てている。「おり酒」「微発泡酒」へのニーズをとらえ、商品化へ繋げた。これによって、これまで廃棄していた、お酒を搾った際にでる「おり」を再利用することにも繋がった。また、デザイナー、アニメ等とコラボ、パッケージデザインにもこだわる。地元に伝わる宝刀「蛍丸」をイメージした純米吟醸「蛍丸」は、刀剣女子に人気となり、コミケへ出店するなど、新たなファンを開拓している。

コミケへ出展、新たな市場へ

有限会社山城屋

需要獲得 サービス

大分県由布市

宿泊客の8割がインバウンド 秘訣は外国人目線で安心できるサービス

昭和47年創業、家族3人とパートだけで経営している小規模旅館。2004年頃から外国人の受入を進めた結果、現在では、宿泊客全体の約8割が海外からの利用。外国人目線によるおもてなしにより、海外の旅行サイトをはじめ、高い評価を得ている。外国人の宿泊客が多いため、日本の休日体系に捉われずに、宿泊業では“あり得ない”完全週休2日制、盆・暮れ・正月の休みを実現。働き方改革も積極的に取組む。

●所在地	大分県由布市湯布院町湯平309-1
●電話／FAX	097-786-2462／097-786-2301
●URL	https://www.e-yamashiroya.jp/
●代表者	代表取締役　二宮　謙児

●設立	1972年
●資本金	10万円
●従業員数	3人

外国人目線で、真に安心できるサービスの提供

日本人よりも不安要素が強い外国人が、本当に「安心」して旅行ができるサービスを追求している。県内在住の外国人留学生に実際に宿泊してもらい、そこで得たアドバイスをサービスに反映している（例：HPにアクセスルートマップを掲載）。安心の範囲は宿泊中だけでなく、旅の前から旅の後に至るまでを、カバーする。宿泊客からの評価は高く、世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」で、2017年の日本の旅館部門で満足度第3位になった。

外国人の宿泊客に人気

海外をターゲットにした積極的なメディア活用

約15年前から顧客市場を海外へ求め、韓国・香港の旅行雑誌やテレビ局へアプローチ、徐々に知名度をあげた。「列車の乗り降り」「旅館内の過ごし方」など旅行のマナー・県内の観光案内など、外国人にわかり易い各種の動画を作成、館内の客室テレビでも視聴できるようにした。正確かつ迅速な情報提供を心掛け、2016年の熊本・大分地震では、海外へインターネットで瞬時に地震の情報を伝えた。予約が全てキャンセルとなったが、顧客との関係性を築いたことで、復旧後のカバーも早かった。

「列車の乗り降り」の方法を動画で案内

地域資源を活用、大分全体を盛り上げる

地域の魅力を発信するサービスにも力を入れている。和装婚体験サービス（着付け・メイク・記念写真）は観光スポット「湯平の石畳」で行う。また、映画「男はつらいよ」のロケ地となったことから、50作品のポスターを英文の解説とともに展示、湯平温泉への集客を促す。他市町村との連携も積極的で、県南の佐伯市の寿司店と“インスタ映えグルメ”「鯉の姿寿司」を提供したり、館内では県内各地の多言語版パンフレットを掲示している。

人気の和装婚体験

ジャパンキャビア株式会社

需要獲得 ものづくり

宮崎県宮崎市

技術を駆使した高品質キャビアの製造
日本産キャビアとして初めて海外輸出開始

宮崎キャビア事業協同組合を前身として、2016年に株式会社化。県内の養殖事業者からチョウザメを仕入れ、キャビア等の製造・販売を行う。特徴は、①国内で孵化したチョウザメを使用し、種苗・養殖から加工まで国産のみを使用。②徹底した品質管理や風味を追求。海外では主流の防腐剤添加や高塩分処理、低温殺菌等の製法を一切使用せず、クリーンルーム環境下で雑菌混入を抑え、低塩分濃度で他にはない長期（2～5か月）熟成を実施。

●所在地	宮崎県宮崎市瓜生野6388-7
●電話／FAX	0985-86-8686／0985-86-8687
●URL	https://www.japancaviar.jp/
●代表者	代表取締役社長　坂元　基雄

●設立	2013年
●資本金	4,000万円
●従業員数	12人

国内トップクラスの技術を駆使し高品質キャビアを製造

国内で孵化したチョウザメを使用した、低塩分、無添加キャビア作りに成功し、本来のコクと旨みを凝縮させた最高品質の製品開発を実現し、「G7伊勢志摩サミット」や「日露首脳会談」の食材として採用される等、国内でも高い評価を得ている。世界に通用するキャビアづくりのため、清潔さの追求も徹底しており、製造作業は精密電子部品も扱えるようなクリーンルームで実施し、温度や熱成期間はIoTを駆使したシステムにより24時間365日休みなく制御している。

完成した商品

日本産キャビアとして初めて海外輸出開始

以前は輸出規制の対象であったキャビアだが、2015年に輸出が解禁されると、2017年には日本産キャビアで初めて香港へ輸出を開始。その後も販路開拓に努め、2019年5月にはキャビアの本場であるアメリカへも輸出を本格化。高評価を受け現在も継続取引中。さらに、新たにモナコ皇室御用達のお墨付きを得た新ブランドを発足。ブランド力向上によるさらなる販路開拓に向けて、EUHACCPを取得手続き中。これらのことから、今後もさらなる海外展開が大変期待できる。

国産キャビア初海外輸出発表プレス時

設備投資やIoTを導入し生産性を大幅向上

当初国内需要に対応した量を生産していたが、輸出を見据えたキャビアの安定生産のため、農水省のA-FIVE（ファンド）やものづくり補助金を活用。キャビア生産工場として国内最大規模の工場を新設し、設備投資も実施。チョウザメの個体識別や在庫管理にIoTを導入したことで、生産効率がさらに向上し、海外輸出に向けた増産体制を整えることに成功。このように設備投資を実施し、衛生管理の徹底や生産性を向上させたことで、新事業の展開や売上拡大に成功している。

IoTを駆使したトレーサビリティの徹底

株式会社西原商会

需要獲得 サービス

鹿児島県鹿児島市

経営理念「味の世界をひろげる」のもとグループ経営で飲食店の縁の下の力持ちに

1971年創業の業務用総合食品卸売業者 。同社を中核にグループ各社が日本全国に支店や営業所、食品製造工場を全国に多数展開し、シンガポール、香港、タイ、フィリピン、台湾にも現地法人を設置している。定番商品の販売に加え、国内各地の食品製造会社を積極的にM&Aすることで、オリジナル商品や高付加価値商品を拡充させ、慢性的な人手不足に悩む顧客の品質維持向上、差別化戦略のニーズに合致した商品の販売を伸長させている。

●所在地	鹿児島県鹿児島市与次郎一丁目10-21
●電話／FAX	099-250-8001／099-253-9513
●URL	https://www.nishihara-shokai.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　西原　一将

●設立	1971年
●資本金	5,000万円
●従業員数	287人

「品質の高いオリジナル商品」を強みとしたグループ販売力

同社グループの営業本部は国内59拠点、海外5拠点を構え、九州、中国、四国、東海、関東に合計14社16工場を構える製造会社、グループ会社11社との製販連携で、専門商社としての競争力の源泉の一つである、10万点超の取扱アイテム数を確固たるものとしている。「自らお客様のニーズをつかみ、自ら作り、自ら仕入れ、自ら届ける」、この一貫体制により、競合他社が模倣困難なスピードと品質で、顧客ニーズに寄り添う提案を可能としている。

西原商会グループ本社ビル

海外に現地法人を設置し販路開拓に注力

シンガポール、香港、タイ、フィリピン、台湾に現地法人を設立している他、東アジア、東南アジア、アフリカ、ヨーロッパ、北アメリカ、オセアニアの各国との輸出入関係を構築している。海外部門を所管する貿易部においては、世界の珍しい食材を発掘、現地の製造環境などを見極めた仕入、海外の日本食レストラン向け食材の輸出を積極的に進め、ますます成長が見込まれる日本食ブームを追い風に、「日本のおいしいもの」の海外進出を加速させている。

西原商会の仕入れの中枢「MOG」

自社企画の業務用食品展示会により地域資源の販路拡大に貢献

全国各地で自社主催の業務用食品展示会を年間20回以上開催している。同社卸売先の顧客を招待し、グループ製造会社のオリジナル商品ならびに同社仕入先の中小食品製造業者等の出店を募り、約3,000点に及ぶ取扱商品を一堂に展示することで、通常の営業活動では伝えきれない全国各地の新鮮な食材を実際に試食し知らしめることができる。売上拡大を目的とした企業間協力関係を築き、同社の全国規模の卸売ネットワークを活かした地域資源の活用、地域ブランドの確立や普及にも貢献している。

業務用食品展示会

坂元醸造株式会社

需要獲得 ものづくり

鹿児島県鹿児島市

壺造りの米酢を「くろず（黒酢）」と命名 変わらない伝統製法で新しい顧客層を開拓

江戸時代後期から変わらない製法で、1975年、日本で最初に壺造りの米酢を「くろず（黒酢）」と命名して販売。鹿児島の錦江湾と桜島を望む場所に壺畑や、黒酢造りの歴史や工程を学べる情報館、黒酢を使ったメニューを楽しめるレストランを併設し、観光客も呼び込んでいる。2014年には、新ブランド「Kurozu Farm」を立ちあげるなど、黒酢の持つ魅力と価値を伝え、常に新しい顧客層を開拓している。

●所在地	鹿児島県鹿児島市上之園町21番地15
●電話／FAX	099-258-1777／099-250-1555
●URL	http://www.kurozu.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　坂元　昭宏

●設立	1977年
●資本金	12,000万円
●従業員数	85人

200年間守り続けてきた伝統製造技術の承継

壺を使った米酢造りの歴史は約200年前の江戸時代後期に遡る。壺造り黒酢は、春と秋の年2回、蒸し米・米麹・地下水の3つの原料を屋外の壺に仕込み、太陽光を利用して1年以上かけて発酵、熟成される世界でも類のない製法である。同社では伝統的な製造手法を維持するため、13名の職人が発酵の度合いを色や音で見極める技を日々磨いている。一方で、JUSE-HACCP、ISO22000及びFSSC22000の認証を取得する等、安全対策にも力を入れている。

長い熟成期間を経て“収穫”される黒酢

製造から販売、観光まで、黒酢を活かした多面的な事業展開

「黒酢」という言葉は、坂元醸造の現会長である坂元昭夫氏によって、1975年に命名された。約5万2千個の壺が並ぶ壮大な壺畑に、情報館及びレストランを併設させ、黒酢の製造・販売だけでなく、観光事業としても事業を展開している。壺畑やレストランからは鹿児島の錦江湾や桜島を見ることができ、健康をテーマとした食事も楽しめるとあって、国内のみならず海外からも多くの観光客が訪れている。また、情報館では、黒酢の歴史や製法について見学できるため、観光、見学や研修の場などにも幅広く利用可能。

壺畑

自然・健康・美をテーマに、新ブランドでアピール

黒酢の効果・効能を科学的に分析し解明するため、自社研究所における研究だけでなく、1983年から大学や公的機関との共同研究を実施している。科学的に実証された黒酢の効果・効能を日々の生活に取入れてもらうため、お酢やサプリメントとしての利用だけでなく、食卓で使える黒酢商品を、「Kurozu Farm」のブランドにて提供している。黒酢については、未だ科学的に解明されていない効能（体内の毛細血管の血流を良くする効果等）もあり、引続き共同研究を進めている。

Kurozu Farm

株式会社オキス

需要獲得 ものづくり

鹿児島県鹿屋市

廃棄ロスがなく、栄養価の高い「乾燥野菜」で国内、海外に展開

同社は、1年中豊富な野菜や果樹の採れる大隅半島の中心部に位置し、大隅半島の複数の契約農家や自社が育てた野菜を余すことなくすべて利用する「乾燥野菜」事業に取組んでいる。「乾燥野菜」は、大隅半島の農家、自社農園等のつくる野菜を原料とし、製造、物流にあたっても鹿児島県内の様々な団体・企業・個人との協力関係により成り立っており、乾燥野菜に係わる地域の中核企業として、地域に根ざした経営を行っている。

●所在地	鹿児島県鹿屋市上高隈町1910-3
●電話／FAX	0994-45-2508／0994-31-2333
●URL	https://okisu.co.jp/
●代表者	代表取締役　岡本　孝志

●設立	2006年
●資本金	1,000万円
●従業員数	40人

乾燥野菜の可能性と利点

乾燥野菜の歴史は古く、日本でも昔からさまざまな乾燥野菜がつくられており、干すという知恵のつまった伝統的な日本の食の1つである。世界的な和食ブームといわれているなか、近年では、日本産素材にも注目が集まっている。また、現代人のライフスタイルを考えた時に、乾燥野菜の利点は多く、廃棄がでない、常温保存可能、カットの手間不要、長期保存可能、手軽に調理できるなど、世界的に評価される要素を持っており、さらに、風味や旨味が凝縮されるなど高評価を得ていることから、海外展開の可能性を秘めている。

乾燥野菜

シンガポール等への積極的かつ継続的な海外展開

4年前からシンガポールへ乾燥野菜を輸出しており、現在約10店舗と取引がある。平成29年度補正JAPANブランド育成支援事業を活用し、フランスへの乾燥野菜の販路開拓及びシンガポールへの「野菜だし」「野菜パウダー」等の販路開拓に取組んだ。また、シンガポールの伊勢丹に同社商品を販売可能な売場を持っており、乾燥野菜商品の輸出を継続的に行っている他、シンガポールのMUJICAFEでも同社の乾燥野菜が使われている。

海外展開

地域資源を活用した独自の商品開発で販路開拓を行う

平成28年2月に地域産業資源活用事業計画の認定を受け、地域資源「さつまいも」を活用して、さつまいもペーストに乾燥させた鹿児島県産野菜を練り込んだノンフライ・ノンオイル膨化食品の開発と販路開拓に取組んだ。同商品は健康志向の高まりを背景に引合いも強い。また、平成28年度～平成30年度のふるさと名物応援事業補助金を活用して開発した「あしたのおやつ」のパッケージデザインは、「iF DesignAward2017」や「日本パッケージデザイン大賞2017」において賞を受賞した。

「あしたのおやつ」パッケージデザイン

町田酒造株式会社

需要獲得 ものづくり

鹿児島県大島郡龍郷町

減圧蒸留焼酎のパイオニア
本物・高級志向の黒糖焼酎

1983年、戦前から旧住用村で黒糖焼酎を製造していた石原酒造から製造免許を譲り受け創業、1991年に工場を現在地に新設し、社名の変更を行った。同社は黒糖焼酎業界ではじめて、減圧状態のタンクの中でもろみを蒸留する「減圧蒸留」の手法を導入。原料の黒糖をぜいたくに使い、長期貯蔵を基本とする本物・高級志向の焼酎を造り出しており、その品質は世界にも認められている。

●所在地	鹿児島県大島郡龍郷町大勝3321番地
●電話／FAX	0997-62-5011／0997-62-5012
●URL	https://www.satoake.jp/
●代表者	代表取締役社長　中村　安久

●設立	1983年
●資本金	2,000万円
●従業員数	64人

ボトルデザインを刷新し、海外のバー市場新規開拓

焼酎を海外で売込むうえでの課題として、海外では蒸留酒を食中酒として飲む文化がないこと、日本国内で流通している4合瓶は、海外の消費者からみると日本酒等の醸造酒と見分けがつきにくいこと等がある。同社は、主なターゲット市場を食後酒（バー市場）に定め、ボトルデザインも蒸留酒を想起するデザインに刷新し、海外専用の焼酎の商品開発を行った。また、バー向けにカクテルのベースとしての焼酎の魅力をPRするべく、焼酎カクテルのレシピ提案も行っている。

南海 ゴールド

様々な取組で地域社会の振興に貢献

1億円超の設備投資で、増加する観光客受入れ体制の強化を図るべく、シアターや試飲コーナーなどを備えた見学者対応施設を整備。同施設には地元産の木材などを使用した。また、国内外問わず各地で焼酎イベントに出展し、奄美黒糖焼酎の魅力PRを実施し、インバウンド客の取込に積極的。他にも、地域団体商標「奄美黒糖焼酎」の海外展開に向けて、ジェトロが主催するブランド委員会に積極的に参加する等、黒糖焼酎蔵元一体となった取組を推進。

里の曙レセプションホール

HACCP認証取得、サスティナビリティにも配慮

奄美群島の酒造会社で初めてHACCP認証を取得。FSSC22000の認証取得も目標に掲げ、安心・安全な黒糖焼酎の展開を徹底している。また、SDGsを指針として、企業活動を通じて世界のサスティナビリティに貢献。蒸留を終えて釜に残った焼酎粕は工場内の施設で濃縮され飼料や炭として生まれ変わり、使用した水は浄化設備でバクテリアによる自然分解を経て、環境基準を十分にクリアする綺麗な水となって排出される仕組みを構築。

SDGsへの取組

株式会社セルリアンブルー

需要獲得 サービス

沖縄県那覇市

沖縄の自然・文化を体験する豊富なツアー 多言語対応によるインバウンド需要の獲得

沖縄のオプショナルツアー（着地型旅行）専門代理店として、海外個人旅行向けに自社オリジナル商品を中心に展開している。沖縄の地域資源である美しい海、独自の文化を満喫する豊富なツアー商品100プラン以上を揃えている。地域の事業者・関係者・住民とのアライアンスを重視して商品造成に取組んできた。また、早くから多言語対応の体制も整える等インバウンド観光客の受入を積極的に行っている。

●所在地	沖縄県那覇市曙2-24-13曙沖商ビル6-A
●電話／FAX	098-941-6828／098-941-6829
●URL	https://www.cerulean-blue.co.jp
●代表者	代表取締役社長　砂川　盛潤

●設立	2007年
●資本金	4,600万円
●従業員数	16人

魅力ある観光商品を独自に開発し、直販比率を高めて販売する収益モデル

同社は、沖縄でも唯一といっていいオプショナルツアー専門の旅行代理店として、オリジナル商品を豊富に取揃えている。沖縄観光で最も人気の高いマリン商品においては、「ホエールウォッチング」や「ガイド付きダイビング」等を先駆けて商品化し、「クルーズ船体験」「カヤック」等つねに新しいプランを提供している。自社開発したオリジナル商品を数多く揃え、かつ代理店を通さない直販の比率を高めることで、高い収益性を実現している。

ホエールウォッチングツアー

市場動向をつかむ先見性／変化に対応する機動力のある経営

代表取締役社長の砂川氏は、沖縄の地域資源を活用した着地型観光商品のポテンシャルにいち早く注目する等、先見性に秀でている。商品開発・ツアー造成にあたっては、地域で活動する事業者や関係者とアライアンスを築くことで他に真似のできないオリジナル商品を開発し商品のクオリティを高めて競争力をあげている。人気のマリン商品にさらに付加価値をつけバリエーションを増やしたり、いち早くインバウンドに着目し多言語対応や外国人雇用、海外代理店との提携等、チャレンジングな経営姿勢を持ちつつ、地域の関係者とのネットワークづくりのようなきめ細かさも併せ持っている。

渡嘉敷島海水浴ツアー

多言語対応によるインバウンド受入体制の構築

海外個人旅行向けのニーズに対応すべく、ストーリー性のある着地型観光コンテンツを増やすことに取組んでいる。沖縄県内の観光事業者のなかでも先駆けて、Webの多言語対応（7言語）やパンフレットの多言語化、自社が所有する観光バスに多言語対応のWi-Fiガイドシステムを導入する等インバウンドの受入体制を整えてきた。毎年、アジアを中心に観光展示会に出展し、海外販路・顧客を直接開拓している。また、現地代理店との提携により、沖縄への送客を安定的に伸ばしている。

英語版Webページ

大髙商事株式会社

需要獲得 サービス

沖縄県那覇市

多角化経営を目指した新たな事業展開
地域資源をブレンドしたアスリートドリンク

産業機械や建設機械等を扱う商社として事業を発展させ、インフラ整備やランドマーク建設などに携わり沖縄の経済発展に貢献。現在は、スポーツクラブ等への設備品導入やウェルネス事業へも参入。さらに、伝統工芸×スポーツの「OKINAWA CRAFT LABO」や沖縄の天然素材を活用した商品開発を行う「NATURAL SELECT」など新たな事業展開を実施。沖縄の地域資源を活かした地域振興プロジェクトを推進している。

●所在地	沖縄県那覇市曙2-14-13
●電話／FAX	098-861-2213／098-861-2205
●URL	http://www.otaka-s.com
●代表者	代表取締役　中村　裕二

●設立	1959年
●資本金	3,000万円
●従業員数	9名

スポーツ×地域資源「琉球もろみ酢ゼリー リバイアス」

サッカー元日本代表にして、海外でも活躍した高原直泰氏が選手兼監督として沖縄で立ちあげたプロサッカーチーム「沖縄SV(エスファウ)」。その沖縄SVの全面的な協力のもと、琉球大学による研究・エビデンス調査、もろみ酢酒造メーカーによる商品開発と、三位一体となって「もろみ酢ドリンク」を開発。琉球大学による成分分析試験結果によるとリバイアス摂取により、疲労回復等の機能向上に効果があると認められている。さらにドリンクを原料として誰にでも飲みやすいゼリー飲料に進化させた。

「琉球もろみ酢ゼリー リバイアス」

沖縄県産天然素材にこだわった自然発酵健康飲料の開発

琉球もろみ酢の主成分であるアミノ酸とクエン酸は疲労回復に効果があり、原料にぬちまーすを加えたことで五大栄養素の一つであるミネラルも豊富となる。また、疲労回復を早める働きがあるクエン酸を多く含むシークヮーサーや糖分を補給するための黒糖、ビタミンCの王様と呼ばれるアセロラなど、健康に良いとされる沖縄県産の地域資源をブレンドした「MADE IN 沖縄」の飲料となっている。

琉球もろみ酢

「MADE IN 沖縄」であるアスリートドリンクの販路拡大

健康志向の高い台湾などのアジア諸国に対し、スポーツを活用したプロモーションを積極的に推進し新たな需要を開拓している。台湾のプロ野球チームと連携した球場でのサンプリングや、台湾サッカー協会を通じた選手によるモニター調査などを実施。これらの取組によりスポーツと沖縄の地域資源を掛け合わせて開発した同商品の認知度向上を目指している。また、台湾現地の小売店やドラッグストア等への商談も予定しており、新たな販路開拓を図っている。

台湾でのプロモーション活動

株式会社ファッションキャンディ

需要獲得 ものづくり

沖縄県宜野湾市

地域資源と斬新なアイデアによる商品開発 沖縄県菓子業界及び泡盛業界の活性化の一助を担う

1975年外国製の輸入菓子をラッピングした「キャンディレイ」を創作販売し脚光を浴びる。その後沖縄の伝統菓子である「ちんすこう」にチョコレートをコーティングした「ちんすこうショコラ」を販売。伝統的な沖縄菓子に創意工夫を加え斬新なアイディアで提供する商品は沖縄土産の定番品として好評を得ている。近年は「琉球泡盛」を活用した「泡盛BONBON」を開発し地域資源活用事業に認定、さらに地域未来牽引企業に選定される。

●所在地	沖縄県宜野湾市大山2-21-22
●電話／FAX	098-897-5194／098-897-1030
●URL	http://www.fashioncandy.co.jp
●代表者	代表取締役社長　城間　敏光

●設立	1975年
●資本金	8,000万円
●従業員数	139名

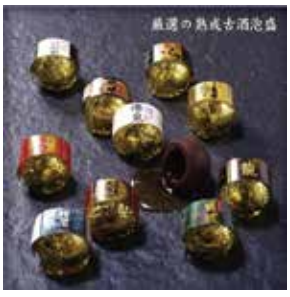
泡盛BONBONを販売・泡盛業界活性化に大きく貢献

沖縄県産泡盛の生産額・出荷額が10数年減少しているなか、泡盛業界活性化の一助となるべく、沖縄本島・離島を含む全46の泡盛メーカーで製造された琉球泡盛をダークチョコレートで封じ込めた「泡盛BONBON」を販売。沖縄県のラグジュアリーホテルで評価されウェルカムスィーツや土産品として採用されているほか、いまや国民的イベントであるバレンタインデーやホワイトデーの定番商品となっている。バレンタインイベントでは県外大手百貨店に出展。新たな需要を獲得し泡盛業界の振興に寄与している。

泡盛業界活性化に貢献する泡盛BONBON

熟成古酒をベースとした「古酒泡盛BONBONショコラ」

チョコレートと熟成古酒のコラボレーションを楽しめるのが「古酒泡盛BONBONショコラ」である。泡盛を3年以上寝かせて熟成させたものを古酒（クース）と呼ぶ。その味わいはまろやかで深く、さらに甘く芳醇な香りへと変化する。各酒造所こだわりの甕や樽などの器、熟成方法の違いが個性となって現れている。泡盛の割り水には沖縄の地下深くより汲みあげた「陸地珊瑚礁浸透古代海水」を使用。「泡盛BONBON」とは違った味が堪能できる。また、包装には泡盛のラベルを使用、見ているだけでも楽しめる。



厳選の熟成古酒泡盛BONBONショコラ

商談型人材育成事業に人材派遣、東南アジアの需要開拓

商品開発をきっかけに10数年需要が低迷していた泡盛業界が活性化。泡盛業界全体で需要開拓へと積極的に推進している。沖縄県貿易協会が内閣府から受託し開催している海外展開（貿易）向け「商談型人材育成」事業に中核人材を派遣。台湾や香港、上海等の東南アジア企業と取引・商談すべく商社・物流企業とのプロジェクトに取組んでいる。沖縄県の地域資源である「泡盛」や県産品を活用した高付加価値商品を提供できる可能性を秘めている。菓子業界及び泡盛業界の活性化の一助を担う動きが期待されている。

県外大手百貨店に出展・新たな需要を獲得

担い手確保

P309 - 353

はばたく2020
中小企業・小規模事業者300社

北海道	ものづくり	**太平電気株式会社** シニアから次世代への職人技術の継承 社員の9割以上が資格を有する技術者集団	315
山形県	サービス	**合同会社とびしま** 雇用創出をはじめとした島の活性化に寄与 同社と島民間の良好な互恵関係の構築	316
福島県	サービス	**株式会社しらた** 知識とノウハウ伝授による円滑な事業承継 各事業者の強みを活かしたサービスの向上	317
千葉県	ものづくり	**島崎熱処理株式会社** 女性からシニアまで多彩な人材戦略 経営計画書導入で方向性や数値目標明確化	318
東京都	サービス	**宇都宮工業株式会社** 高い環境技術力でSDGsを実践 世界の水処理環境の安全に貢献する	319
	ものづくり	**株式会社田中電気研究所** 地域の多様な人材の力を結集し、 ダスト濃度計のトップメーカーへ	320
神奈川県	ものづくり	**株式会社大協製作所** 地域貢献を強力なリーダーシップで実現 障がい者とともに、めっき業界をリード	321
福井県	サービス	**株式会社タッセイ** 住宅から地域のシンボルとなる建造物まで 「建てる」を応援する人材育成で地域貢献	322
長野県	ものづくり	**株式会社シュタール** 短納期・小ロットに対応する工場づくり 柔軟な発想で女性社員を積極活用	323
岐阜県	サービス	**株式会社ドングルズ** ものづくりの楽しさに触れる機会を創造 未来のものづくり人材を育てる	324

岐阜県	サービス	株式会社本陣平野屋 人を大切にし、質の高いサービスを提供 外国人を活用してインバウンド対応を強化	325
静岡県	ものづくり	株式会社オノックスエムティー 女性が活躍するものづくり現場 社員が主体的に考える環境づくりを構築	326
	ものづくり	サンコー精産株式会社 人と地域を大切にして高い定着率を確保 カイゼン提案を通じ人材を育成	327
愛知県	ものづくり	株式会社丸八テント商会 インターンシップ制度を導入し人材を確保 能力を引き出し新規開拓、海外展開を実現	328
	サービス	アルデックス株式会社 匠の技術継承とIT利活用を推進 「世界一の縫製工場」を目指す	329
	サービス	トーエイ株式会社 ダイバーシティを積極的に推進 従業員のやる気を引き出す実力主義を採用	330
三重県	ものづくり	サンユー技研工業株式会社 金型製作の専門家 次世代自動車の開発の一翼を担う	331
京都府	サービス	株式会社フューチャースピリッツ 企業のWebビジネス展開の各成長段階で 必要となるサービスをワンストップで提供	332
	サービス	株式会社特殊高所技術 高所の保守点検をヒトが安全、安価、短期 に行う画期的「特殊高所技術」の人材育成	333
大阪府	ものづくり	安田金属工業株式会社 「アルミ押出」企業の付加価値を支える 多能工技術者の育成と多様な人材の確保	334

サービス
株式会社ナカニ
伝統技法の染色加工業からオリジナル手拭
ブランドのSPAに転身して大躍進
335

ものづくり
株式会社三栄金属製作所
廃業希望の他社からの経営資源の円満承継
と外国人材の活用により事業を拡大
336

ものづくり
大阪錫器株式会社
新技法と新商品で伝統製品の需要拡大
本来の良さと若手を活かして未来に繋ぐ
337

ものづくり
株式会社廣野鐵工所
高い技術力で海外企業のニーズにも対応
社員が活き活きと働く環境を整備して実現
338

サービス
大阪糖菓株式会社
企業ブランディングとPRによる差別化
事業と地域の活性化を同時に実現
339

ものづくり
株式会社アクアテック
独自開発した製品が幅広い分野に貢献
シニアを活かし高付加価値分野に資源集中
340

ものづくり
株式会社CHAMPION CORPORATION
高い技術力と提案力で他社と差別化
積極的な投資が人材活躍と競争力強化実現
341

鳥取県

サービス
株式会社アクシス
地元の有能人材を活用してIT事業を拡大
首都圏の仕事を受託し鳥取を地域活性化
342

サービス
株式会社LASSIC
高度な遠隔分散開発技術で首都圏の仕事を
地方に移管し地方の雇用創出に多大な貢献
343

岡山県

サービス
株式会社WORK SMILE LABO
笑顔で働き続けられるワークスタイルの
創造・提案という新たなサービスの提供
344

香川県	ものづくり	仁尾興産株式会社 「脱・現状安住思考」を身上に新事業展開 社員とその家族を大切にする会社の経営方針	345
福岡県	サービス	株式会社NOTE 誰もが活き活きと輝くことのできる 就業環境の構築と地域の雇用創出	346
	ものづくり	ベルテクネ株式会社 「会社の見える化」と「社員主体経営」 の推進により経営改革	347
熊本県	サービス	立尾電設株式会社 担い手の確保と育成で 技能・技術の伝承と向上の仕組みを構築	348
	サービス	株式会社熊本アイディーエム 時勢に応じた柔軟な事業展開を行い 顧客と一体となった研究開発型装置メーカー	349
	サービス	株式会社お茶の富澤。 肥後茶の栽培、製茶、販売・サービスまで 一貫提供する「茶を以て和を成す」お茶屋	350
宮崎県	サービス	株式会社岡﨑組 ICT導入で生産性向上させ厳しい環境対応 子育て女性従業員登用で職場環境の整備	351
鹿児島県	サービス	村商株式会社 ICT活用とワークライフバランスの実現 多様な人材の登用で畜産業の拡大挑戦	352
沖縄県	サービス	有限会社海邦ベンダー工業 生涯雇用で社員の成長と会社の発展が目標 地域福祉へ貢献するレーザー金属加工会社	353

太平電気株式会社

担い手確保 ものづくり

北海道室蘭市

シニアから次世代への職人技術の継承
社員の9割以上が資格を有する技術者集団

昭和32年の設立以来、主業務である電気工事にとどまらず、大手鉄鋼メーカーから受注する大型産業機械の設計・製作や電気設計・施工・保全業務までを一貫して手掛け技術力を磨いてきた。「機械設計」「電気設計」の両方を手掛ける業界でも異色の存在である。近年は、これまで生産工程の自動化・省力化ニーズに関する顧客ニーズに応え、培ってきた技術を生かしロボットSIer事業への参画に向けて人材育成・研究開発を進めている。

●所在地	北海道室蘭市御前水町1丁目6番30号
●電話／FAX	0143-23-1188／0143-24-2615
●URL	http://taiden.jp/
●代表者	代表取締役社長　松見　哲也

●設立	1957年
●資本金	2,000万円
●従業員数	44名

65歳以上のシニア人材雇用で次世代への職人技術の継承

65歳以上の人材雇用に取組んでおり、現在3名の高いスキルを持つシニアが活躍している。若手技術者との交流を行いながら職人技術の継承を推進。次世代への人材育成を積極的に行うことにより、技術力の向上・付加価値の高い製品・技術へのチャレンジを行っている。現在10代から70代の幅広い年齢層の社員が活躍中である。近年は、将来を見据え、新規事業としてこれまで培ってきた技術を生かし、ロボットSIer事業への参画に向けて人材育成・研究開発を進めている。

次世代への職人技術の継承（ロボット実証機）

社内制度を改善し働きやすい職場環境づくりを実現

優秀な人材確保のために雇用環境の改善を行っており、週休2日制の導入や給与支給総額のベースアップ、有給休暇の取得など働き方改革を意識した取組を積極的に実施している。UIJターン希望者への相談対応の他、室蘭地域以外から入社した場合は会社契約のマンスリーマンションを貸与する等、働きやすい環境整備を進めている。また、登山やパークゴルフなど社内レクリエーションを年1回実施、年末には全員参加の慰労会にて信頼関係を構築している。円滑なコミュニケーションができる体制が整っている。

家族も参加できるパークゴルフ後の食事会

社員の9割以上が電気工事士資格を有する「技術者集団」

「技術者を育てることが会社を強くする」という同社社長の方針のもと、電気工事士等の資格取得を奨励。社員の9割以上が電気工事士資格を有する「技術者集団」である。資格取得に掛かる経費補助の他、資格取得者には資格手当を毎月支給するなど、会社全体として人材育成に尽力している。また、新入社員からベテラン社員も含めた社内試験（筆記試験と実技試験）を導入。力量管理を徹底し、3年毎の更新を義務づけ、勘と経験に頼らない安定した製品・技術・サービスを提供し続けるプロセスづくりを実現している。

品質、技能レベルを管理確認するための配線端末処理試験

合同会社とびしま

担い手確保　サービス

山形県酒田市

雇用創出をはじめとした島の活性化に寄与
同社と島民間の良好な互恵関係の構築

山形県の離島である「飛島」を拠点に活動する法人である。代表社員である本間氏は、生まれ故郷である飛島を活性化させるため、平成25年に当法人を設立。設立当初は、飛島で飲食店や魚介類等の販売を行っていたが、現在は、漁業・水産物の加工・事業承継した旅館の経営など、一次産業から三次産業までを幅広く手掛け、雇用創出をはじめとした島の活性化に取組んでいる。

●所在地	山形県酒田市飛島字勝浦乙132-19
●電話／FAX	0234-96-3800／0234-95-2150
●URL	https://www.tobi-shima.com/
●代表者	代表社員　本間　当

●設立	2013年
●資本金	300万円
●従業員数	11名

島内旅館を事業承継、島内の雇用創出に貢献

平成30年に後継者不在と経営者の高齢化に悩んでいた業歴約50年の旅館「沢口旅館」を譲り受ける。事業承継後、当面の間、前経営者を雇用し運営の協力を仰ぐことにより、顧客の引継ぎ等が進み円滑に運営している。さらに、飛島にUIターンした労働者を採用。島内の雇用創出に貢献している。また、旅館を活用し、首都圏からの短期移住者や移住体験プログラムへの応募者の受入を開始。島の魅力をSNSから発信させることで、観光客や移住者の招致を行っている。

多くの参加者で賑わうツアーガイド

島に束縛しすぎず働きやすい環境づくりを整備

福利厚生施策の一環として、観光の閑散期である10月から3月までの期間限定で、3か月間の有給休暇の取得を可能としている。（繁忙期は、4月~9月）取得期間には、島を離れることや副業をすることなどを容認し働きやすい環境づくりに注力している。また、本州山形県の酒田市内に飲食店を経営。必要に応じて島を離れながらでも同社事業に従事でき、島の生活に一時的に負担を感じた従業員が離職しないように努めている。

島の活性化に貢献するメンバー

島民によるOJT、長期有給休暇における自己研鑽の推奨

現在飛島の人口は200人程で島民の平均年齢は約70歳である。高齢化が進むなか従業員不足に悩む島民への労働力提供を支援する一方で、同社の漁業や水産加工のノウハウを支援している島民から教わっている。島民への労働力提供支援が結果的に社外におけるOJTの機会となっており、同社と島民間において良好な互恵関係が構築されている。また、3か月間の有給休暇を利用した資格取得など自己研鑽を推奨。従業員が能力開発しやすい雰囲気を醸成している。

笑顔溢れる島民と従業員

株式会社しらた

担い手確保 サービス

福島県いわき市

知識とノウハウ伝授による円滑な事業承継
各事業者の強みを活かしたサービスの向上

福島県いわき市の平地域を中心に地域密着型の葬儀社として4代にわたり経営している。低廉な価格で利用を促すとともに最新のIT技術を駆使した価格の見える化を実現し、安心感のある葬儀社を目指している。また、東日本大震災からの復旧・復興のため被災者支援強化を目的としたグループ、合同会社及び一般社団法人を設立。同社をはじめ地元の葬祭業者とその協力者がそれぞれの強みを活かして一丸となりサービスの向上を目指している。

●所在地	福島県いわき市平豊間字榎町110
●電話／FAX	0246-98-6868／0246-98-6860
●URL	http://www.shiratasaijyo.com/index.html
●代表者	代表取締役　白田　裕一

●設立	1989年
●資本金	2,000万円
●従業員数	27名

緻密な事業計画書・知識とノウハウ伝授による円滑な事業承継

本年度、3代目の社長（現相談役）から4代目社長（長男）へ事業承継を実施。それに伴い次男と長女も同社に招き事業拡大を目指している。葬儀事業の公共性・重要性・難易性を理解させることを目的とした経営知識の習得、早い時期から他の社員と同様の環境で業務に従事。さらに、緻密な事業計画書の作成と十分な知識とノウハウを伝授。これらにより、円滑に事業承継が完了。3代目の経営手腕を引継ぐとともに次男・長女の協力を得て新事業も積極的に展開している。

円滑な事業承継、白田社長(左)と白田相談役(右)

会社の枠を超えた活動・公共性の高い組織の結成

東日本大震災からの復旧・復興のため被災者支援強化を目的としたグループ、合同会社及び一般社団法人を設立。より公共性の高い組織を結成した。合同会社では葬儀社の慢性的な人材不足を補うために各社で活用できる人材を確保。大きな葬儀や自社での葬儀が重なるときに協力メンバーとして人材を派遣している。今までも葬儀社同士での助け合いはあったが、自社での葬儀優先となり活用には限度があった。そこで、合同会社が一括して配置を管理することで不公平感が解消している。

タブレットでできるビジュアル見積りを導入

各事業者のキッチン機能の相互利用による経営改善

合同会社設立により各事業者間の情報交換が盛んになり、各々の事業者がもつノウハウを持ち寄った効率的な経営を目指している。高級料理が得意なグループメンバーは、各葬儀社へ上級料理の仕出しを行い、メニュー内容によっては同社のセントラルキッチン活用を共同で行っている。総会などでは地場食材の活用を推進するためのメニュー開発や試食会などを共同で実施。さらに、グループの協力メンバーである米販売店の販促活動も支援し、全てのメンバーで福島県の風評被害が回復するように努めている。

浜の料理を提供しているセントラルキッチン

島崎熱処理株式会社

担い手確保 ものづくり

千葉県習志野市

女性からシニアまで多彩な人材戦略
経営計画書導入で方向性や数値目標明確化

1960年の創業以来、関東一円を中心とした金属熱処理受託加工の専門企業としてその信頼と実績を積み重ねている。創業当初は、建設機械部品・自動車部品などを中心に素材の調質などの大気熱処理からスタート。その後、高周波焼入・浸炭焼入・ソルトバスと少しずつその領域を拡大。今ではほとんどの熱処理をワンストップで処理することが可能である。顧客から非常に高い評価を得るとともに、縁の下の力持ちとして産業界の発展に貢献している。

●所在地	千葉県習志野市東習志野6-21-6
●電話／FAX	047-473-0121／047-477-5587
●URL	http://www.shima-netsu.co.jp
●代表者	代表取締役社長　嶋崎　利行

●設立	1960年
●資本金	1,000万円
●従業員数	20名

インターンシップや女性、シニアの活用など多彩な人材戦略

人材確保及び育成戦略の一環として、地元大学を中心とした大学生のインターンシップを15年程前から実施。理工系の四大卒を中心に積極的に採用している。また、女性雇用並びに管理職への登用を行うことで会社にとって貴重な戦力となっている。結婚・出産後もしっかりと職場に復帰できるよう働き方改革を推進し働きやすい体制の構築を図っている。シニア層も積極的に活用しており、就労に対する潜在的な需要や要望をしっかりとリサーチして見極め人材確保に繋げている。

高い技術を持つシニア従業員の作業現場

経営計画書や人事評価制度に基づいた給与制度の改革

新卒採用をはじめたおよそ10年程前は3年以内に退職する者も少なくなかった。そのため、安心して働けるための経営改善の羅針盤・ツールとして5年前から［経営計画書］を導入。毎期末、全社員参加による経営計画発表会を実施している。これにより、会社が進むべき方向性や目標としての数値が明確となった。また、社員のモチベーション向上計画の一環として、約2年をかけ人事評価制度の構築とそれに連動した給与制度の抜本改革を断行。随時改善を加えつつ経営改革に効果を発揮させるよう努力している。

全社員参加による経営計画発表会

資格取得の奨励（バックアップ）と従業員全体のスキルアップ

社員教育体制の一環として、金属熱処理技能士などの国家資格をはじめ様々な資格の取得を積極的に奨励ならびに推進している。受験費用や試験当日の手当も付与。取得時には報奨金も支給し、人事評価の対象としている。また、業界の組合等外部で行なっている各種講習会やセミナーなどにも積極的に社員を派遣。特に新卒新入社員においては、入社後のおよそ二週間、外部研修に参加、社内においても335時間の内部研修を行う。会社への帰属意識の醸成やスムーズに実務従事できるよう取組んでいる。

社内危険予知訓練（KYT）講習会

宇都宮工業株式会社

担い手確保 サービス

東京都江東区

高い環境技術力でSDGsを実践 世界の水処理環境の安全に貢献する

水処理のプロとして、下水道をはじめとする各プラントや、工場で利用される水処理設備の設計・施工・メンテナンスを行う水環境プラント事業を展開している。汚水を浄化する装置の開発・考案・設計、処理場内のプラント設備の保守メンテナンス、修理・改良などを実施。水処理施設に機能障害を及ぼすスカム除去装置の開発や油脂系汚泥の燃料化システム等、特許取得の独自技術による製品を保有している。

●所在地	東京都江東区亀戸6丁目53-9
●電話／FAX	03-3681-6685／03-3681-6687
●URL	http://www.u-pec.co.jp/
●代表者	代表取締役　宇都宮　秀雄

●設立	1959年
●資本金	2,000 万円
●従業員数	30人

独自技術で国内、海外の下水処理場の環境・安全を守る

特許を取得し、自社開発したスカム除去装置「週一君」を活用、下水処理場の処理効率や省エネに貢献している。下水処理場で必ず発生するスカムを低頻度・短時間で除去し、消費電力は従来の9割減までおさえた。さらに、10年間はメンテナンスフリーで稼働可能であり運用性も高い。国内においては、芝浦水再生センターほか国内の下水処理場各所で採用になっている。また、ブラジルなど海外での機材購入やライセンス生産についての海外展開も進みつつある。

沈殿池スカム除去装置 週一君

国籍、性別を問わないダイバーシティー経営を目指す

様々な人材を積極的に採用、登用する事業運営に力を入れている。特に、ベトナムにおいては、現地社員を社長とする現地法人を設立し、日本への派遣人材の教育を行っている。また、現地の下水道事業の受注に成功し、現地での自律的な運営が始まっている。当社の30人の社員中6人が女性である。プロジェクトの責任者を女性の統括推進部長が務める等、外国人、女性、高卒新人など多様な人材が分け隔てなく活躍できる場を目指している。

様々な人材が集まる研修風景

社員さんのやる気を引き出す人材育成

水処理施設関連事業に必要な各種免許、資格取得の環境づくりに力を入れている。働きながら合格を目指せるよう積極的に講習会へ参加、資格取得の報奨金を贈呈する制度を設けている。さらに、研修旅行、各種イベントを企画し、社員が自らスキルのアップに取組む職場環境を提供している。同社の作業環境は、臭気がきつい、汚水を扱う等、労働条件としては非常に厳しい3Kの職場だが、社員のモチベーションを高めることで、極めて高い社員定着率を目指している。

“水の守り人” 青い地球の未来のために

株式会社田中電気研究所

担い手確保 ものづくり

東京都世田谷区

地域の多様な人材の力を結集し、ダスト濃度計のトップメーカーへ

1946年に創業し、電気試験装置の開発から事業をはじめる。現在は、環境関連事業としてOEM製品製造に加え、自社製品の環境測定機器の開発、製造を手がけている。主力商品は、ダスト濃度計、環境粉じん連続モニター、PM2.5の連続測定器等の開発、製造、販売、保守サービス。その他、太陽電池パネルを利用した避難誘導塔(AE-TOWER)やOEM製品事業として原子力発電所等で使用される放射線測定器の製造を行っている。

●所在地	東京都世田谷区経堂3-30-10
●電話／FAX	03-3425-2381／03-3425-2373
●URL	http://www.tanaka-e-lab.com
●代表者	代表取締役社長　田中　敏文

●設立	1963年
●資本金	2,500万円
●従業員数	36人

地域のベテラン社員、女性社員を積極的に活用

煙突から出る煤塵（ばいじん）を連続的に測定できるダスト濃度計ではトップメーカーであり、電力会社や製鉄所、ごみ清掃工場への導入実績がある。その技術をささえるのが主力である烏山工場である。全社の8割をしめる工場従業員全員が地元採用で、その約35%が女性である。また、高度な技術を持つ定年後の社員に対しては役職を継続している。ベテラン社員がOJTを中心で進めており、技能継承の担い手となっている。

烏山工場と地域社員

限られた人材資源を製造技術へ集中、高度な人材を育てる

優れた製造・技術要員を確保し、新規開発製品に専念させることが環境技術分野では重要である。そのため、販売部門は外部委託し、自社社員は製造技術へ集中させ、自立化・高度化に注力させている。育成施策として、入社3年経過の社員に電子機器組立の技能検定取得を推進しているほか、高度な検定取得者を指導員とした社内講習会を実施し、工場従業員の7割に技能を取得させることに成功している。また、社員の自部署以外の分野の業務も経験させることで、多能工に向けた人材育成も行っている。

高度な人材育成

JIS活用で業界標準化を推進、他社の追随を許さない事業展開

自社製品である「白濁排ガス用光散乱式ダスト濃度計」は、小型軽量化を実現している競争力のある製品である。煙道内に設置した瞬間気化装置によって直接白濁したミストを気化させた後にダストを測定ができるため、排ガス吸引装置を不要にすることが可能となった。この技術の元になる非吸引光散乱式ダスト濃度計について、新市場創造型標準化制度を活用し、ダスト濃度計の性能評価方法に関する国家規格（JIS）を制定することに成功。技術の標準化を推進し、業界をリードすることで他社との差別化を図っている。

自社製品の非吸引光散乱式ダスト濃度計

株式会社大協製作所

担い手確保 ものづくり

神奈川県横浜市

地域貢献を強力なリーダーシップで実現
障がい者とともに、めっき業界をリード

自動車部品を中心とする亜鉛めっき、カチオン電着塗装、バレル研磨など金属表面処理メーカーとして幅広い分野の処理加工を得意とする。1954年に創業、現在は横浜市の本社と横浜工場、福島工場を操業している。社員の半数は障がい者で、雇用歴も60年と、障がい者雇用にも大きく貢献している。また、災害対策にも力を入れており、神奈川県メッキ工業組合の同業社と災害時における相互支援契約を締結し、BCP対策にも力を入れている。

●所在地	神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町1125
●電話／FAX	045-351-1121／045-351-1105
●URL	http://www.daikyo-inc.co.jp/index.html
●代表者	代表取締役会長　栗原　敏郎

●設立	1963年
●資本金	4,100万円
●従業員数	57人

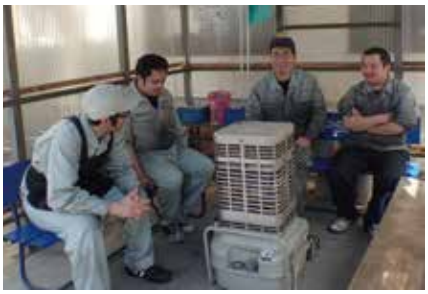
他社に先駆けた複合防錆処理（安価で高耐食性の製品開発）

高防錆処理に特化し、自社で亜鉛めっきの上に電着塗装を行い、高耐食性製品を量産する技術を有する。処理方法の違う「めっき」と「電着塗装」単独の処理では得られない高防錆性をカーメーカーから求められ、試行錯誤の結果、自社で行っている鍍金に、電着を行うことにより安価な高耐食性製品を提供できるようにした。この加工品は45年を過ぎた現在でも採用されている。

高耐食性製品を量産する技術

従業員の半数以上が障がい者、働きやすい環境作りで戦力に

60年以上前から障がい者雇用に積極的に取組み、今や従業員の半数以上を占める障がい者を戦力として育てている。仕事をするうえでの障害を取り除くことが、障がい者を雇用するうえで重要である。そのため、道具や治具を開発し、ラインにも工夫を施すことで、作業の単純化をはかって自動化を実現させた。例えば、300度の加熱炉を使用していた樹脂コーティングのラインでは、高周波を利用したラインを開発し、暑く過酷なラインでの作業をなくすことに成功した。



社員が働きやすい環境づくり

災害時に遠隔地の企業と相互に助け合う地域連携を実現

災害発生時にお互いの業務を助け合える協力体制を作るため、横浜市内の同業他社と事業継続計画の契約を締結。また、同じ地域の企業同士だけではなく、神奈川県メッキ工業組合と新潟県鍍金工業組合との間で災害支援協定を結び、広いエリアでのバックアップ体制を構築した。これにより、有事の際の資材の提供や人材の派遣などを離れた地域間で協力関係を実現した。地域を越え、民間同士及び業界団体が災害時にお互いさまの精神で相互に支援しあうこの仕組は現在、企業のBCP対策のモデルとなっている。

お互いさまBCP（事業継続）連携ネットワーク

株式会社タッセイ

担い手確保　サービス

福井県福井市

住宅から地域のシンボルとなる建造物まで「建てる」を応援する人材育成で地域貢献

住宅建材・設備の卸売業と、大型施設の内装工事を福井・石川両県を中心に展開。卸売部門は豊富な商品群や需要創造の提案力により有力住宅会社を取引先に有する。内装部門は企画提案から施工・管理までトータル展開を強みに、大手ゼネコンや地場ゼネコンからの信頼も厚く、福井・石川県の代表的な大型建造物の内装工事の施工に数多く携わってきた。施工事例として、福井県立恐竜博物館、金沢21世紀美術館、金沢駅新幹線ホーム等がある。

●所在地	福井県福井市河増町30-20
●電話／FAX	0776-31-1100／0776-54-5558
●URL	https://www.tassay.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　田中　陽介

●設立	1949年
●資本金	4,000万円
●従業員数	175人

職人が安心して働ける環境づくりと、優秀な人材の確保・育成

200名超の専属職人集団「タッセイ職友会」を組織化して60年。高い工事力を誇る責任施工体制を実現している。一方で、大きな課題である職人の高齢化の解決のため、①職友会に独自の若手育成補助金制度を設立。②正社員として、熟練職人と職人志望の新卒者を直接雇用する正社員職人チーム「TAT」を創設。職人の仕事に憧れつつも、一人親方という不安定な地位に心配する若者と家族にとって、熟練職人からの指導を受けながら正社員として安心して働ける環境を用意し、優秀な人材の確保と育成に成功している。

熟練職人と若者で技術承継を進めるTAT

“ともに働く社員＝ファミリー”チーム力で働き方改革を実践

社員を大切にし、働きやすい環境づくりに注力することで社内のモチベーションが高まってきた。子育て世代の社員には時差勤務を推進し、出産を迎えた男性社員7名全員が5日間の育児休暇を取得するなど、家庭を応援する気風を醸成させている。また、業務時間の考え方を柔軟かつ適切に運用している。早朝からの出社が必要な入出荷業務や、夜間の施工管理・打合せを求められる内装工事業務の勤務時間をフレキシブルに設定・管理。社員は家族と過ごす時間が増え、家族の満足度向上にもつながっている。

社内交流イベントには大勢の家族も参加

地元企業の需要創造やコラボレーションを積極的に仕掛ける

地元工務店6社による合同住宅展示場を自社でプロデュースする。施主が展示場で6社を比較し、最適な住宅の依頼先を見つけられる仕組により、工務店の仕事を増やしながら、自社の住宅建材や設備の拡販につなげるWIN-WINの関係を作りあげた。また高齢化社会に対応するため、地域金融機関、新聞社、税理士・司法書士、地場工務店と共同で「住まいと介護と相続とうちのこと」を立ちあげた。住まいや介護、相続等の相談窓口やセミナー開催で、地域の困りごとを解決し、顧客満足や地元貢献を図っている。

地元工務店との住宅展示場「家6!!!」

株式会社シュタール

担い手確保 ものづくり

長野県諏訪市

短納期・小ロットに対応する工場づくり 柔軟な発想で女性社員を積極活用

カスタマイズプレート加工販売、非鉄金属・特殊鋼材の流通加工を行う。長野県諏訪市本社のほか、東北営業所、フィリピンでの加工販売を行う現地法人を有する。1998年の創業以来一貫して短納期・小ロット対応をセールスポイントとして設備投資、人材の確保・育成に取組み、販売先の信用を積み重ねながら業績も安定成長を続けている。また、創業期から積極的に女性を活用し、加工現場でも女性社員が活躍できる環境を整備している。

●所在地	長野県諏訪市大字豊田123-5
●電話／FAX	0266-57-7455／0266-57-7466
●URL	https://www.stahl-ltd.co.jp
●代表者	代表取締役社長　林　直也

●設立	1998年
●資本金	1,200万円
●従業員数	80人

短納期・小ロットのニーズに対応する生産ライン設計

短納期・小ロットの顧客要求に柔軟に対応することが付加価値向上につながっている。生産ラインを「材料ごと」に整え、切削・加工の際の段取り時間を大幅に削減した。一見すると非効率と思われるライン設計であっても、顧客ニーズに100%対応することが量産受注につながり、採算性・安定受注を実現している。また、作業現場での工夫も怠らない。加工作業においてはQRコードを活用し受注から出荷までを一元管理し、熟練工の勘所のデータベース化にも取組み、加工品質の維持を図っている。

短納期・小ロットを実現する生産ライン

顧客ニーズに応える品揃えの実現

少ロットの原材料でも、その6割は翌日にスピード出荷し、顧客ニーズに対応している。その品揃えを実現しているのは、受注実績に基づく在庫管理である。毎年、顧客の受注実績に基づき、必要在庫量を見直しながら、常にタイムリーな状態を維持することで取引先からの信頼を得ている。「欲しい時に、欲しいだけ」をキーワードに、地域の製造業者の駆込寺としての役割も担っており、他社とは一線を画す優位性を確保している。

工場

既成概念に囚われない女性社員の積極的な活用

男性社会のイメージが強い金属加工の現場でも、女性リーダーを登用するなど、女性の労働力を積極的に活用している。適材適所の人材活用で工夫をこらす。身体面での差は機械装置を女性の体格に合わせ改良し、材料の重量特性などに応じて作業分担を行っている。女性の活用により、清潔な現場・作業の見える化が進み、高い加工品質が維持され、継続受注に結びつく好循環によってメリットを享受している。また、海外に設立した現地法人でも女性スタッフを積極的に採用し、現地リーダー候補として育成を進めている。

女性活用

株式会社ドングルズ

担い手確保　サービス

岐阜県岐阜市

ものづくりの楽しさに触れる機会を創造 未来のものづくり人材を育てる

ロボット工作教室運営、ものづくり人材育成、商業施設イベントの企画・運営を実施。ものづくりの楽しさに触れる場を通じ、未来を支える人材育成に取組む。 ロボット工作教室は、小中学生がオリジナルのロボット作り、対戦する大会が人気で、岐阜、愛知から全国に広がっている。また、各地で開催するイベントには、年間45,000人の子供達と保護者が参加。子供達と、指導する大学生双方の成長を促している。

●所在地	岐阜県岐阜市敷島町6-9-3-2　Primrose2F
●電話／FAX	058-201-5088／058-252-5520
●URL	http://www.dongles.jp
●代表者	代表取締役　松岡　慎也

●設立	2016年
●資本金	1,000万円
●従業員数	10人

小中学生親子、大学生、企業に喜ばれる、ものづくりイベント

ものづくりイベントに参加する、企業、学生インストラクター、小中学生の親子等関わる全てのプレイヤーに喜ばれる取組を実施している。小中学生向けに大型商業施設で行う「商業施設イベント」は、楽しいだけではなく、地域の幼稚園や小学校とタイアップした企画で信頼と安心を与えている。また、地域企業がスポンサーの「法人イベント」では、親子連れや学生に対するPRの場を、学生に対しては、インストラクター業務を通じ、地域企業の取組や現場を知る機会を提供している。

主催ものづくりイベントの全国大会

学生インストラクターの熱い思いが未来のタマゴを成長させる

ロボット工作教室、商業施設イベント、法人イベントのインストラクターには、工学部や教育学部の大学生を採用している。大学生にとって、イベントの企画・運営を行うことは、幅広い世代との交流経験の機会となり、コミュニケーション能力を高めるとともに、ものづくりに対する熱意と、社会に飛び出す自信を持たせることにつながっている。また、熱意のある大学生の思いは子供達に伝わり、未来の日本のものづくり人材のタマゴとして成長させ、それぞれの相乗効果を生んでいる。

学生の指導によるロボット工作教室

社員が働きやすい環境づくりとコミュニケーションの充実

社員が働きやすい環境づくりを目指し、処遇の改善とコミュニケーションの充実に注力している。創業四期目を迎えたタイミングで、賃金規定を見直し、給与の前年度比15%向上を実現した。加えて、業務が増加しても全社員の週休二日制を確実に行うため、社内体制を整備し、勤務時間管理徹底と業務手順の見直しに着手。効率的に事前準備ができるよう業務改善を行った。また、原価情報と収益情報を毎週の全社員会議で共有、コミュニケーションを充実させ、収益性の向上に結びつけている。

社員間のコミュニケーション充実

株式会社本陣平野屋

担い手確保 サービス

岐阜県高山市

人を大切にし、質の高いサービスを提供
外国人を活用してインバウンド対応を強化

飛騨高山の観光中心部「赤い中橋」のたもとに佇む2つの純和風旅館、花兆庵・別館を経営。人とサービスを大切にし、旅館のおもてなしと飛騨高山の魅力を伝える宿として新規からリピーターまで多くの利用客から高評価を得ている。増加する海外インバウンド観光客の需要の取込に積極的であり、日本の伝統文化を伝える取組が評価され、トリップアドバイザーエクセレンス認証を2014年～2019年まで6年連続受賞した。

●所在地	岐阜県高山市本町1-34
●電話／FAX	0577-34-1234／0577-34-7721
●URL	https://ssl.honjinhiranoya.com
●代表者	代表取締役社長　有巣　秀司 （右写真は、取締役副社長　有巣　栄里子）

●設立	1974年
●資本金	3,000万円
●従業員数	150人

外国人人材の積極採用と後継者の現場育成

女性やシニアが活躍できる職場づくりはもとより、インバウンドへの対応力強化のために外国人の雇用にも積極的に取組んでいる。インターンやワーキングホリデー、留学生採用などを通して、日本語に精通したグローバル人材を積極採用するとともに、日本語が未熟な技能実習生の採用にもチャレンジして、日本のおもてなしサービスの技能を伝える仕組を構築中である。親族後継者には、それぞれの得意分野に合せた部署で現場責任者を担わせ、後継の自覚を促し、スムーズな事業承継ができるよう取組んでいる。

最前線にて語学力を活かす外国人社員

生活環境の整備と信頼関係の構築による定着率の向上

地域外からも従事しやすいよう5年前に社員寮を新設。入社における金銭負担の軽減と、安心安全に生活し仕事に従事できる環境を整える。朝礼の時間を利用して自らの状況を皆と共有するクリアリングを行い、信頼関係の構築と精神的な働きやすさを醸成して社員の定着率を向上。「宿泊業の生産性向上セミナー」にも継続して社員を派遣し、自主的にチャレンジすることの楽しさを感じさせて、モチベーションアップと効率化を実現している。

他部署との交流もクリアリングの効力

ジョブローテーションを通じた多能工の育成

地元学生の職場体験の受入やおもてなしに関する講演を行い、宿泊業のやりがいを伝えることで将来の担い手育成に取組んでいる。入社後は、ジョブローテーションを通して、他部署の仕事も経験させ、旅館業務におけるノウハウ全般に精通した人材を育成している。社員の多能工化が進んだ結果、互いに業務をフォローし合える環境が構築され、社員の休日取得の向上にも役立っている。

接客係だけでなく調理場、フロントも経験

株式会社オノックスエムティーティー

担い手確保 ものづくり

静岡県浜松市

女性が活躍するものづくり現場 社員が主体的に考える環境づくりを構築

精密板金加工に複雑な切断が可能なパイプレーザ加工や超微細板金加工などの新技術を加えた改善提案型の融合加工技術が強み。顧客の加工課題を解消するために共同開発に参画し、合理化工法を提案する。新規顧客開拓と最新情報の収集のため、国内外の展示会にも積極的に出展。女性が多く活躍する同社では、人手不足の問題は起こっていない。

●所在地	静岡県浜松市浜北区新原5940
●電話／FAX	053-582-2137／053-582-2120
●URL	http://www.onox.jp
●代表者	代表取締役社長　青嶋　亮治

●設立	1971年
●資本金	7,000万円
●従業員数	123人

ものづくりの現場において、女性が活躍できる環境を構築

普通科高校の人材を積極的に採用しており、女性の応募も多い。全社員の54.4%が女性社員であり、「明るく」「キレイに」「笑いながら」仕事ができる環境構築に努めている。重たいものを運ぶ際には男女問わず必ず2人以上で運ばせるなど、男性には力があるという固定概念を払拭。男女の能力に依存しない作業の標準化を促進して、分け隔てなく仕事を与える社内風土を醸成している。また、定年後の再雇用にも積極的に取組んでおり、豊かな経験に裏打ちされた高品質な労働力が同社にとって貴重な戦力となっている。

機械操作をする女性社員達

産休・育休の取得促進とワークライフバランスの充実

常に80%程度の仕事量に保つことで、試作品の製作など、社員が自己研鑽するための時間を確保する。18歳から39歳の女性が約40名在籍する同社では産休・育休の取得を促進しており、近年結婚した女性社員11名のうち5名が産休を取得した。結婚・出産を控えている女性社員に対して事前に産休・育休中の見込収入を提示して家計収入の目途を持たせるなど、家庭の事情により退職する社員を減らす取組がなされている。

新卒入社15年目2度の産休取得後復帰

技術的課題に対し、社員一人ひとりが主体的に考える環境づくり

同社には部長・課長など管理職が存在しない。仕事は社長から各加工グループに大きな方向性のみが伝えられる。社員が主体的に考えて作業に従事することで加工設備や素材特性に対する理解が深まり、新規受注における応用技術の活用や納期の短縮に繋がっている。新人社員には専属の教育担当者をつけるなど研修を充実。理系知識の乏しい人材であっても、同社の精密板金加工技術を身につける環境が整備されている。

新人と教育担当者

サンコー精産株式会社

担い手確保 ものづくり

静岡県牧之原市

人と地域を大切にして高い定着率を確保 カイゼン提案を通じ人材を育成

1984年創業。自動車ワイヤーハーネス等次世代自動車に必要不可欠な金属端子について、金型設計・製造から金属プレスまでを一貫して手掛ける。精度の高い金型を使用しプレス加工された製品は顧客からの評価も高い。同社の社是は「信頼・互恵」であり、関係者が各々利益を享受できる関係になり、信頼を築くことを幹としている。地域があってはじめて「ものづくり」ができると考えており、地域防災力工場に寄与する考えである。

●所在地	静岡県牧之原市白井622-14
●電話／FAX	0548-54-2411／0548-55-3553
●URL	http://www.sanko-ss.com
●代表者	代表取締役　山本　晃

●設立	1984年
●資本金	1,100万円
●従業員数	87人

地域と連携した雇用取組で多様な人材を確保

地域住民の積極的な雇用受皿として、地元の島田工業高校・掛川工業高校と連携し、工場見学や夏季休暇インターンシップに取組み、若手従業員の確保に努めている。さらに、島田掛川信用金庫の支援により、ハローワーク島田による求人票記載方法等指導受入や産業雇用安定センターの人材紹介を積極的に行い中堅従業員の雇用を実施。若手からベテランまでの多様な人材を確保し、高度な微細プレス加工技術等の技能伝承を進めている。

地元高校のインターンシップ

労働時間適正化のための取組

取引先の信頼が厚いため多くの受注があり、従業員に残業対応を要請している。しかし、労働時間の長時間化は従業員のモチベーションの低下リスクを内包していることから、取引先への受注量抑制交渉により製造時間の低減に努めている。また、毎年1億円程度の最先端のプレス、研削盤等機械装置を積極的に導入し、従業員の負担軽減に寄与する労働環境の改善に取組んでいる。さらに、新工場を建設し、現状の製造能力強化を図ることで、労働時間適正化に取組む方針である。

画像処理装置製作で自動検査化

「毎月」のカイゼン提案を通じた人材育成

同社では、「毎月」、従業員1人1件、カイゼンに関する提案書提出を奨励している。改善提案項目は、①効率化、②品質改善、③不良流出ゼロ、④納期遅延ゼロ、⑤5Sの5つ。これに併せ表彰制度を設け、年1回優れたカイゼン提案について、報奨金を付与したインセンティブとし、動機づけを行っている。提案制度は、従業員の帰属意識の醸成につながるほか、実力発揮・能力向上の機会となっており、極めて低い不良率や高い微細加工プレス技術など同社の競争力を支える源となっている。

技術的改善提案の表彰者

株式会社丸八テント商会

担い手確保 ものづくり

愛知県名古屋市

インターンシップ制度を導入し人材を確保 能力を引出し新規開拓、海外展開を実現

業歴70年を超える老舗のテント・ルーフ等製造販売、施工業者。「オンリーワンにこだわる」をコンセプトに一点物製品を得意とし、店の軒先につけられる可動式テントや、アウトドア用、テント倉庫等幅広い商材を取扱う。2012年より半年以上に及ぶ長期インターンシップ制度導入。2016年には中小企業の悩みに学生目線で答える「ミチカラプロジェクト」を発足した。

●所在地	愛知県名古屋市中区栄5-7-10
●電話／FAX	052-251-6731／052-251-6558
●URL	https://www.08tent.co.jp
●代表者	代表取締役　佐藤　均

●設立	1951年
●資本金	2,250万円
●従業員数	24人

インターンシップを利用した人材の獲得

新卒採用は高いコストがかかるうえ、ミスマッチもあって仕事を覚えた頃に退職するケースが続いていた。こうした状況を打破すべく、2012年より岐阜県のNPO法人を通じて期間半年に及ぶ長期インターンシップ制度を導入。7年間で東京大学、京都大学、名古屋大学など累計70名の長期インターン生受入れ、6名がインターンを経て入社した。また、フィリピンからの技能実習生の受入れや同社の企画により高校生向けの短期インターンの実施をするなど幅広い人材の獲得に努めている。

長期インターンシップ制度を戦略的に活用

インターン生の能力を引出し、売上を増加

インターン生にウェブマーケティングを一任。ブログ、ホームページ運営により、1日あたり10件の新規顧客から問合せが入るようになった。また、海外進出においてもインターン生の力を活用。補助金獲得や、インド市場への遮熱テント販売、インドの大学との連携体制構築などに力を発揮した。インターン生の持つ新鮮な発想力、大胆な行動力、語学力、ITリテラシー能力等を引き出すことで、企業風土が一変し、導入前と比べ売上は約3倍に増加した。

インターン生による商品PR

シニア層を活用した技術の承継

定年退職したシニア層技術者を採用し、技術の伝承と人材の確保を行っている。同社ではインターン生が窓口となり、採用活動を実施。採用者には活動支援金という名目で一定額が支給される。シニア層技術者はインターン生やフィリピン、インドからの外国人実習生を指導する。また、同社は高校生向けセミナーも積極的に参加しており、テント作りのノウハウを伝える将来の職人候補の育成は、地域への広がりも見せている。

シニア層による外国人実習生の指導

アルデックス株式会社

担い手確保 サービス

愛知県豊橋市

匠の技術継承とIT利活用を推進「世界一の縫製工場」を目指す

「職人の匠の技術」と「ITや最先端機器」を組合せ、最高級のオーダーメイド紳士服・婦人服の縫製を事業としている。顧客の要望に寄り添った縫製にとどまらず、こだわりを持った顧客が納得する服を製作。ダイバーシティファクトリーとして、仕立ての匠の技を承継できる職人を育成しながら、継続的に組織体制を改善、品質の向上と効率化を図り、年間8,000着の高品質な製品を提供している。

●所在地	愛知県豊橋市菰口町二丁目60番地
●電話／FAX	0532-31-3600／0532-32-5707
●URL	http://www.aldex.co.jp
●代表者	代表取締役社長　山口　達三

●設立	1963年
●資本金	3,000万円
●従業員数	84人

ダイバーシティを実践するための環境を整備

優れた職人を確保し活気のある会社にするため、専門教育を受けていなくても意欲があれば性別・国籍・年齢・経験、障がいの有無を問わない採用を実施。働きやすい環境整備として休憩コーナーの設置、障がい者用のトイレ改修等の整備に努めている。また、女性従業員の出産後の離職を防ぐため、授業参観参加、看護休暇、時間単位休暇を創設したほか、高齢者の定年を廃止し、働き続けることができる職場へと転換を図っている。

働きやすい環境整備で高齢者も活躍

品質改善会議を通じ、経営意識を育成

顧客の要望に応え、恒常的な品質改善を進めるべく、毎週45分間の品質改善会議を実施。残業時間の削減やポカミスのゼロ化活動を実施し、従業員全員が経営者の意識を持つ雰囲気作りに注力する。後継者の育成とともに機械化を進め、生産効率の10%向上、従来納期の1/3以上短縮など、高品質な製品をより早くリーズナブルに提供できる体制を構築。工場縫製として最高レベルの「身体に添ってしなやかに吸いつく手縫いのスーツ」は、豊橋市「ふるさと納税」の提供品となっている。

活発な議論がなされる品質改善会議

「匠塾」における匠の技術の継承と育成の実施

最新鋭設備を配備した試作開発と職人育成のための工房を開設。意欲のある者を積極的に採用し、「匠塾」において技術指導することで、顧客からの細かな仕様の要求に速やかに対応できる人材を育成している。また、海外メーカーと若手従業員との意見交換の機会や、国内生地メーカーからの研修生受入を通じ、社内に留まらないオープン思考を醸成。手縫いで紳士服を仕立てられる職人を多数抱える国内で数少ない工房という自負を全従業員が共有し、誇りと希望を持てる技術者の育成に努めている。

洋服好きな若者達が社内で成長

トーエイ株式会社

担い手確保　サービス

愛知県知多郡東浦町

ダイバーシティを積極的に推進
従業員のやる気を引出す実力主義を採用

民間企業からの産業廃棄物の収集運搬や再生処理事業、自治体からの一般廃棄物収集運搬、家電リサイクル、下水道・浄化槽メンテナンスを主業務とする。安全に使用できるリサイクルガラス造粒砂「サンドウエーブG」は、透水・蒸発時のヒートアイランド抑制など、安心安全な生活基盤を提供する。地球環境の保全に取組む企業として、小学校への出前講座・社会見学の実施、地域ゴミゼロ運動への参加など積極的な社会貢献活動を行う。

●所在地	愛知県知多郡東浦町 大字藤江字ヤンチャ28番地の1
●電話／FAX	0562-83-3880／0562-83-8911
●URL	https://www.toei-eco.co.jp
●代表者	代表取締役　今津　真治

●設立	1961年
●資本金	5,000万円
●従業員数	290人

女性の活躍とダイバーシティを推進

ダイバーシティの観点から女性を主要なポジションに配置。役員6名中、女性役員を2名任命している。また高齢者・外国人、障がい者についても積極的に採用。60歳以上の従業員は全従業員の10%を占め、65歳までの再雇用を実施している。外国人は、日本の大学を卒業した新卒2名、日系外国人2名、技能実習生10名が活躍する。障がい者について特別支援学校から10名を新卒採用したほか、半田市社会福祉協議会の協力のもと、障がい者雇用フォーラムを開催して積極的な採用を続けている。

障がい者雇用フォーラムを開催し人材確保

実力主義の昇進により従業員のやる気を引出す

従業員のモチベーションを高める人事制度として、採用時からの実力主義を一貫している。外国人であっても日本人と同等に扱い、女性も役員への登用があるなど、様々な人材に力を発揮する機会が与えられる。高齢者についても希望に応じて雇用の延長の機会が与えられるなど、実力を重視した姿勢は変わらない。新入社員へのマンツーマン指導では、後輩社員のやる気が先輩社員の刺激になるなど、先輩・後輩双方にとってモチベーション向上に繋がっている。

社内教育によって実力のある人材を育成

マンツーマン指導により、技術力・定着率の向上を実現

新入社員は入社後、外部の社員教育機関に1か月程度派遣し社会人としての基本的なマナーを習得する。これと同時に4~9月までブラザーシスター制度＝（先輩によるマンツーマン指導）が実施され、日報によってスキルアップをチェックしている。年の近い先輩社員が新入社員の悩みをフォローすることで定着率が高まるとともに、教える側にとっても勉強となる制度によって着実な人材育成を実現している。

出前環境講座は社員の社会貢献意識を醸成

サンユー技研工業株式会社

担い手確保 ものづくり

三重県津市

金型製作の専門家
次世代自動車の開発の一翼を担う

現行および次世代の自動車のエンジン、ミッション、モーターなどを中心とする部品を作るための各種ダイカスト金型を設計・製作するものづくり企業。金型に関しては部品、検査治具、メンテナンスまで何でも手掛ける。顧客とするメーカーは、日系はもとより欧米、アジア系までと幅広い。広範な製作能力を持つなかでも、国内外で製作が難しいとされる2,000t以上の大型金型を得意とし、同社しかできない技術で受注を獲得している。

●所在地	三重県津市久居一色町265番地
●電話／FAX	059-254-2200／059-254-2288
●URL	http://www.sanyu-giken.com
●代表者	代表取締役社長　梅本　大輔

●設立	1970年
●資本金	2,000万円
●従業員数	70人

課題解決型の提案アプローチで、顧客とともに考え、成長する

依頼が多いのは、自動車メーカーが開発中の次世代車の駆動系や軽量化部品に関するもの。EV、FCV、PHVなどの次世代車については、顧客企業側も試行錯誤的な状況であることが多い。したがって、求められるのは単なる製作ではない。同社は、顧客と同じレベルで技術情報交流を進めながら、顧客が抱える高度な技術的課題を理解し、解決案や試作提案などを提示するにまで踏み込む。こうして、高度な金型製造技術に課題解決型提案サービスをプラスした高付加価値製品を提供している。

トランスミッション用金型の高精度加工

多様な人材を集めて育てる、多様な取組

同社は、技術系では珍しく24時間対応の即納体制を敷いている。これを支える多様な人材は、独身寮も備えて全国から募集し男女を問わず採用している。現在の平均年齢は約30歳で、設計開発部署の40%は女性である。社員教育にも注力しており、技術指導の技師、品質納期の生産管理者、製造生産者などに分かれる役割に応じたカリキュラムを整備しているほか、「一流の人間になるには一流の経験をせよ」との社訓に基づく一流食事会や海外社員旅行等の実施を通じて、社員同士のチームワークの醸成を図っている。

教える、教えられる、ともに楽しく学ぶこと

「働きたい改革」で、柔軟な福利厚生制度を充実

社長が10年以上取組む「働きたい改革」。これは「人を雇うことは、その人の人生を預かることだ」というモットーのもと、中小企業ならではの考え方で社員の人生が豊かになる会社を目指すもの。これまでにも、多くの画期的な福利厚生制度を作ってきた。例えば、子の看護休暇、不妊治療休暇、待機児童対策休暇、一人親手当、介護勤務、趣味休暇、大会休暇、二日酔い防止出勤、恋人記念食事会等。社員一人ひとりの状況に合せたこれらの独創的な取組が、会社への帰属意識の向上や低離職率にもつながっている。

オシャレで風通しの良い働きたい職場作り

株式会社フューチャースピリッツ

担い手確保 サービス

京都府京都市

企業のWebビジネス展開の各成長段階で必要となるサービスをワンストップで提供

インターネットでのビジネス展開を考える企業が必要とするソリューションを提供する企業。Webやメール用のサーバーを提供するサーバーホスティング事業を中心に、クラウド型のフォーム作成サービス等を提供するマーケティングソリューション事業、Webコンテンツ制作やアプリ開発等を行うプロデュース事業を展開。国内のみならず、中国、タイ、マレーシア、ベトナムにあるグループ会社を通じて、アジア地域でも事業を推進している。

●所在地	京都府京都市下京区中堂寺粟田町91番地 京都リサーチパーク9号館7階
●電話／FAX	075-326-3700／075-326-7400
●URL	https://www.future-s.com
●代表者	代表取締役　谷孝　大

●設立	2000年
●資本金	10,000万円
●従業員数	96人

海外を含むお客様企業を支える幅広い事業経験の蓄積

インターネット黎明期の1996年に、サーバーホスティング事業で創業。サーバー導入のコンサルティングから構築、運用・保守までのきめ細かなサポートを通じて、顧客との良好な関係を築き、信頼と実績を積みあげてきた。2010年の中国を皮切りにタイ、マレーシア、ベトナムで、現地のデータセンターを活用して、海外進出する日系企業や現地企業に向けたサービスをグループ会社を通じて展開。Webサイト構築から業務システム開発、マーケティング支援等のサービスをワンストップで提供している。

多数のサーバーが稼働するデータセンター

多様な人材が集い、柔軟な働き方で、能力を発揮

社内では、フリーランスとして活躍してきた人、東京からUターンした人、外国人、新卒者等、多様な人材がそれぞれの能力を発揮している。なかには、家庭の事情で一時帰国してインドからリモート勤務するインド人の女性エンジニアも。様々な人との出会い・経験が、互いを刺激し合い、新しい発想や切磋琢磨を生み、本業での活躍につながるという考えのもと、プログラマーが営業に同行、デザイナーがディレクションを手がける等、枠をこえた業務の進め方で、社員の成長を促している。

多様な人材で活気あふれる京都本社

社内外の経験を促す「働かない制度」で社員のスキルアップ

どんな経験でも必ず仕事に活かせるとの考え方から、2016年に社長の肝いりで、社員のスキルアップの支援を目的にした「働かない制度」を開始。これは、社員の誰もが業務時間中に毎月最大20時間を業務外の副業、趣味、勉強等好きなことに充ててよいというもの。今では、全社員の約1/3名が、制度を活用してアクセサリーのオンラインショップの運営、フィギュアスケートの講師等の副業や、趣味の銅版画制作等を行っている。他に、語学・健康増進のための英会話・ジムの一部費用負担等にも取組んでいる。

働かない制度を利用してアクセサリー制作

株式会社特殊高所技術

担い手確保 サービス

京都府京都市

高所の保守点検をヒトが安全、安価、短期に行う画期的「特殊高所技術」の人材育成

独自開発した「特殊高所技術」を用いて、近接が難しい高所に特化した構造物を調査する会社として、約10年前に創業した。高速道路会社、電力会社、建設コンサルタント会社、風力発電事業者等を主要顧客として、橋梁や水力発電所等の大規模土木構造物や風力発電設備の調査・点検・非破壊検査・補修工事や岩壁や不安定岩塊の除去、急崖の調査等、非常に幅広い業務に、同技術を適用し展開している。

●所在地	京都府京都市南区吉祥院三ノ宮町1
●電話／FAX	075-574-7077／075-574-7078
●URL	https://www.tokusyu-kousyo.co.jp
●代表者	代表取締役　和田　聖司

●設立	2007年
●資本金	1,000万円
●従業員数	66人

不可能を可能にした「特殊高所技術」

高強度のロープや特殊機材を用いて、大規模構造物等の高所の調査、点検等を行う「特殊高所技術」。一般的に近接困難箇所といわれる場所へ、重機や仮設足場等の大型機材を使わずに安全に近接できるのが特長である。これまで大型機材の投入が必要で、高額、長期かつ労働災害発生が多かった高所において、人が対象物に直に触われる距離まで近づいて、低コスト、短期かつ安全、高精度な設備点検・維持管理を可能にした。「特殊高所技術」は国内だけでなく海外でも活用されており、海外では「Ninja Tech(ニンジャテック)」の名で呼ばれている。

高速道路の斜張橋での点検作業

一番の課題は、事業のカギになるヒト（技術者）の育成

同社の事業の要は、現場で特殊高所技術を使って作業する技術者である。そのなかでも中核となる技術者の育成を優先課題として、技術OJTや安全教育研修の充実の他、訓練施設での高所作業技術訓練、救助訓練の実施、メーカーとの商品・技術情報の交換や提携の実施、社外研修制度への参加等を推進している。事業所や業務現場は分散しているが、全営業所をオンラインでつないで全業務を止めて行う毎月の安全研修や、全社員が一堂に会して行う年1回の話し合い等により、社内コミュニケーションを図っている。

月1回実施の安全管理研修の様子

順調な業容を受け、さらなる需要の開拓・獲得を目指す

事業は順調に拡大中であり、直近の5年間で40名以上を雇用した。現在は、風力発電設備のメンテナンスに関する需要の高まりに対する要員を増強中である。メンテナンス要員について、社屋内に訓練施設を整備する等、現場での技術OJTと社内OFF-JTを組合せた技術者の質にこだわった育成に取組んでいる。全国的な営業地域の拡大に合わせて実績を積み、信頼を構築することを通じて、需要を業績に結びつけていく方向である。

新入社員の特殊高所技術訓練

安田金属工業株式会社

担い手確保 ものづくり

大阪府大阪市

「アルミ押出」の多能工技術者への育成
高付加価値を支える多様な人材の確保

加熱したアルミ合金を様々な金型に押し通して製品を作る「アルミ押出」。アルミ押出で作る製品の設計の提案から製造、加工、納品に至るまで、アルミの全てに対応できる創業80年以上の総合加工メーカー。社員一人ひとりの技術力の向上と生産ラインの効率化を推進し、小ロット、短納期、複雑な形状の注文にも積極的に取組む「常にお客様の立場で考える」事業運営を実践することで、顧客とWIN-WINの関係を築いて高い信頼を得ている。

●所在地	大阪府大阪市中央区南船場1丁目11番9号 長堀安田ビル4F
●電話／FAX	06-6262-0692／06-6262-0697
●URL	http://www.yasudametal.com
●代表者	代表取締役社長　安田　立明

●設立	1939年
●資本金	7,680万円
●従業員数	108人

顧客の様々なニーズにワンストップで対応し高い満足を獲得

顧客からの「小ロット発注や短い納期での対応、細やかで複雑な製品」といった様々な需要に対し、商品企画→金型製作→製品製造→表面加工（アルマイト）→梱包納品までを、ワンストップで柔軟に一貫生産対応することで差別化を図っている。常時2万型以上の金型を保有管理による「受注から2週間以内の納品」の実現や、製品の品質安定化、生産性の向上、コスト削減のための機械化・自動化の推進により、顧客ニーズ全体へ付加価値の高いサービスを提供することを通じて、顧客からの高い満足を獲得している。

アルミ押出による形材の製造

アルミ押出のスペシャリストからジェネラリストへの人材育成

アルミ押出に関わる技術は、設計、金型、押出、アルマイト、設備開発や管理、梱包、運送等、様々な分野にわたる。各技術者が、多種多様な技術を身につけることによって、突発的な事故や人員不足等にも対応できる技術者の多能工化を推し進めている。工場では、各種技術の練習機材等を準備した「学び場」を設けており、常日頃から技術力の向上に励んでいる。「ものづくり」に情熱をそそぐ社長は、製造ラインを訪れる都度、従業員一人ひとりに声掛けし、各自のモチベーション向上を図っている。

技術力向上と人材育成

高い能力・技術力を発揮する多種多様な人材の獲得・育成

海外経験の豊富な社長のもと、人材の多様化に取組んでいる。海外の優秀な人材を登用するため、ベトナムから大卒技術者の採用を始めている。経験豊富なシニア人材を積極的に継続雇用し、経験が活きる現場で若手技術者への指導にあたらせている。女性社員の働きやすさ向上のため、工場内には託児スペースも整備している。営業、設計、各製造工程、経理、総務等の様々な機能を担う担当者がフラットにつながる組織体制とすることにより、社員一丸となって顧客の満足を目指す風通しの良い環境作りを進めている。

効率よく整備された生産ライン

株式会社ナカニ

担い手確保 サービス

大阪府堺市

伝統技法の染色加工業からオリジナル手拭ブランドのSPAに大転身して躍進中

大阪府堺市発祥の「注染」という伝統的な染色技法を使い、手拭・浴衣等の染色加工や自社ブランド製品「にじゆら」の製造・販売を行っている。半世紀以上前に創業して以来、受注製品への染色加工の受託を中心に行い、職人の育成に励んできた。近年、生産体制・業態を転換し、事業の中心を、「注染」の特色を活かしつつ自社でデザインした自社ブランド製品の製造や自社店舗での販売に切換えて、業績を伸ばしている。

●所在地	大阪府堺市中区毛穴町338-6
●電話／FAX	072-271-1294／072-271-3587
●URL	https://nakani.co.jp
●代表者	代表取締役　中尾　雄二
●設立	1966年
●資本金	1,000万円
●従業員数	50人

魅力的な伝統工芸品「注染」。それを守り育てる強い想い

「注染」は、主に手拭・浴衣等に使われる染色技法。布に染料を注ぐ独特の工程が特長で、国の伝統的工芸品にも指定される。高度な技術を有する職人が全工程を手作業で手掛ける。布の表裏ともがきれいに染まり、同じものは二つとしてない繊細なぼかしやにじみの風合いが、何ともいえない魅力を醸し出す。現社長は、家業を継いだ当時、染色加工の請負工賃を得る受身であった事業を、何とかして職人が喜びやプライドを見いだせるように変え、若手も育てて、伝統の「注染」を発展させる夢を抱き続けてきた。

土手を作って染料を注ぐ染色技法「注染」

自社ブランド「にじゆら」のSPAへの転換で創る付加価値

職人が誇れる仕事の創出を決意した社長は、生産体制の刷新に取組み、専属デザイナーを雇ってオリジナル手拭ブランド「にじゆら」を立ちあげ、自社製品の製造や自前店舗での小売直販を行うSPA（製造小売業）を始めた。職人とデザイナーが共同製作するオリジナルブランド商品は、伝統的工芸品に高い価値が付加され、売上・利益の向上や異業種企業とのコラボレーションをもたらしている。また、自社店舗での直販は、様々な顧客ニーズの把握を可能にし、訪日客のインバウンド需要を取込むのにも役立っている。

柔らかな風合いが特長の「にじゆら」手拭

多様な人材の活躍を引出す人材雇用・育成の取組

人材育成面では、現場の自主性を尊重した環境作りに気を配り、工場については基本的に開放して、職人やデザイナーが自由に技能習得やデザインをできるようにしている。また、SPAの強みを活かして、消費者に実際の製造現場を見てもらうオープンファクトリーを開始したところ、お客様からの直接の声による職人のモチベーション向上や、同社の製品や取組に興味を持った女性の広報や加工部門への入社等の効果が生まれつつある。以前より社員数も女性比率も増え、多様な人材が活躍する企業となっている。

直営店舗でお客さまに技術と商品をご提案

株式会社三栄金属製作所

大阪府大阪市

廃業希望の他社からの経営資源の円満承継と外国人材の活用により事業を拡大

顧客の要求コストに合せた高品質の金型設計、金属プレス加工から、組立や2次加工までのすべてを一社で手掛けて提供する、創業40年以上のものづくり企業である。廃業を検討する関連企業から、設備、従業員、取引先等の有益な経営資源を譲り受け、事業範囲を拡大してきた。外国人材の活用にも積極的に取組み、国内工場でのベトナム人技能実習生の採用の他、2013年にベトナム工場を開設して海外展開も進めている。

●所在地	大阪府大阪市生野区中川東1-8-19
●電話／FAX	06-6754-7682／06-6754-7678
●URL	https://www.sanei-1970.com
●代表者	代表取締役社長　文　敬祚（山下　裕司）

●設立	2006年
●資本金	300万円
●従業員数	50人

設計から組立までを一社で手掛ける「町工場の集合体」企業

関西を中心とする国内6工場とベトナム工場において、「町工場の集合体」のような生産体制を整備している。具体的には、切断技術、生産システム、素材特性等の幅広い要素技術や工場設備を有し、高品質の金属プレス加工、金型設計製作・樹脂成型、スポット加工、パフ加工、NC加工、組立等、2次加工も含むあらゆる工程への対応を可能としている。これにより、顧客からの多様な技術・予算要求に見合った製品を、自社の一貫生産により提供し、高い評価を得ている。

顧客要望に合せて作る様々な製品

WIN-WINの円満な事業承継により事業拡大を推進

近隣の同業他社との経営者ネットワークにおける情報交換のなかで、後継者が不在で廃業を検討する事業者から相談を受けた同社は、2010年から事業承継を開始し現在までに5件手掛けた。適正金額で承継した設備や従業員を、同社の既存経営資源とシナジーが発揮されるように配置、育成することにより、無理な設備投資等なしで事業拡大を実現した。また、廃業事業者は設備を相場より高く買取ってもらい幸せな引退を迎え、その顧客だった企業は同社が役割を継承したことでサプライチェーンを維持でき、好評である。

多様な作業を手掛ける従業員（日本）

外国人材（ベトナム人）の積極的活用と海外展開の推進

外国人材の活用にも積極的に取組む同社は、従来から日本国内工場においてベトナム人技能実習生を受入れてきた。海外展開も進めており、2013年にはベトナム工場を開設した。社長自らが毎月ベトナム工場を訪問して行う現場従業員とのコミュニケーション、大学非常勤講師によるマナー研修や日本語検定の受験支援等、外国人材の育成にも注力している。今や、ベトナム工場長には日本国内の技能実習生のなかで優秀な人材を登用し、現場のリーダーは現地採用のベトナム人に任せるまでになっている。

現地人材が活躍するベトナム工場

大阪錫器株式会社

担い手確保 ものづくり

大阪府大阪市

新技法と新商品で伝統製品の需要拡大 本来の良さと若手を活かして未来に繋ぐ

経済産業大臣指定の伝統的工芸品「大阪浪華錫器」の企画・製造・販売を行う。錫器は古くから宮中の器や神社の神具に使われ、江戸時代に一般に広まった。現在は他の伝統工芸産地と同様に規模が縮小しているなか、後継者育成に取組み、若者を積極的に雇用するとともに、長い歴史に育まれた伝統の技術・精神を守りながらも、現在の生活のニーズに合った商品を世に出すことで、産地の未来を切り開いている。

●所在地	大阪府大阪市東住吉区田辺6-6-15
●電話／FAX	06-6628-6731／06-6628-6735
●URL	http://www.osakasuzuki.co.jp/
●代表者	代表取締役　今井　達昌

●設立	1949年
●資本金	1,000万円
●従業員数	32人

新技術の考案により販路拡大と作業効率向上を実現

若手職人も可能なさざなみ模様の考案や、内側に模様を入れる技術の開発とその技術を活かした鋳型製作により、メンテナンスや作業工程の短縮に成功した。また、複合素材の鋳型開発により、作業効率向上、コスト削減を実現し、鋳造後に二次加工を行う錫器の分野にて国内シェアは約75%まで向上し、業界全体の売上を約2倍に押しあげた。また、鋳型の開発により大型製品製造が可能となったことで、大相撲の優勝記念品等の製作も始まり、現社長就任時（2002年）と比較し、同社の売上は4倍以上となった。

開発した鋳型で製造した大型製品

製作体験による若手後継者確保と若手職人の力を育てる工夫

同社が中心となり錫器事業協同組合で芸術・工芸系の学生に製作体験を行うことで就職希望者が増えた。同社では若手職人が理論と経験を身につけるため、ビジネスマナー等に加え、百貨店から講師を招き接客研修を行っている。さらに、展示会等の参加で顧客とのコミュニケーション能力を磨くとともに顧客ニーズの収集の機会を持たせている。技術面において伝統工芸業界では「5年タダ飯」といわれるところ、「3年で半人前」に育てている。半数以上を占める若手社員が管理職・経営者と意見交換を重ねる機会を設け、社内改善を行っている。

若手職人が考案したタンブラー

作り手からの発信と時代のニーズにあった商品開発

大阪浪華錫器の新たな可能性を広げるため、時代のニーズにあった商品開発・製造に注力している。また、カタログチョイスへの伝統マークの貼付を進んで行うことや、2009年から開催している、全国の超一流職人を集めた凄腕職人街展で、伝統的工芸品の良さを広めている。その活動から、輪島塗等の他産地とのコラボ商品が数多く生まれ、百貨店や海外等から注目を集めた結果、ECサイト販売に繋がっている。このコラボ商品の技術を活かし、G20大阪サミット2019で各首脳・閣僚がつけたバッジ製造も行った。

G20大阪サミット2019のバッジ

株式会社廣野鐵工所

担い手確保 ものづくり

大阪府岸和田市

高い技術力で海外企業のニーズにも対応 社員が活き活きと働く環境を整備して実現

1945年に創業した機械部品製造業者。トラクターやコンバイン、田植え機等の農業機械のエンジン・トランスミッション等の精密機械加工をはじめとし、板金加工・溶接、研削・組立まで幅広くかつ一貫したものづくりを行っている。月産800アイテム以上の多品種少量生産に対応できることが同社の強みである。創業当初より現在に至るまで株式会社クボタとの取引があり、同社に寄せられる信頼は厚い。

●所在地	大阪府岸和田市岸の丘町3丁目2番8号
●電話／FAX	072-479-1877／072-479-2772
●URL	https://hirono-iwc.co.jp/
●代表者	代表取締役　廣野　幸誠

●設立	1945年
●資本金	3,850万円
●従業員数	130人

大手に信頼される高い技術力を伴った多品種少量・現地生産

常に他社にない新技術・新工法を模索し、大手メーカーの重要保安部品の製造に寄与する高い技術力とともに、高品質・低コスト・短納期を追求している。日・中・韓・米等の顧客ニーズに合せた提案型生産を得意とするため、年々需要が増加している技術力を伴った多品種少量・短納期対応ができる優位性を持つ。国内・中国にある全5か所の同社の製造拠点では常に取引先の要望に柔軟に応えるため、積極的に設備投資をしてベテラン社員の技術に頼っていた加工を機械化させたり、社員間での技術承継を進めている。

顧客ニーズに合う多品種の高品質機械部品

地域・顧客・環境の貢献を実現する企業理念と行動規範の実行

SDGsに賛同し、ものづくり、人づくりを通じて国際社会の一員として自覚を持った行動、全社員が力を発揮できる職場環境、お客様への安心と信頼の提供、地域社会への貢献、地球環境の維持改善を「廣野グループ全社員の行動規範」として実行。具体的には、全社員参加の小集団活動、女性社員による5Sパトロール、表彰制度等で改善活動を行い、生産性向上と社員の働きがい向上を実現。地域交流を大切にしたCSR活動として、災害時の避難所を兼ねた部屋の設置、会社周辺の清掃や地域の方参加イベント等を行う。

社員全員が積極的に参加して行う改善活動

多様な社員の幸せと成長を生む、働き続けられる職場環境

快適な労働環境のため本社工場に大阪一を目指した社員食堂やジムを整備、社員・家族のライフイベント時の御祝金支給、階層別教育等で福利厚生も充実させ、社員や家族の幸せと成長を一緒に作る。また、社員の自主性を重んじた事業運営から離職者は少なく、活き活きと働く多様な人材がいる会社として「第9回日本でいちばん大切にしたい会社大賞 審査委員会特別賞」に選出。採用面では学生を工場見学に招いて入社に繋げ、定年後再雇用では社員の希望がある限り雇用。古参社員が積極的に若手に技能承継を行う。

社内サークル活動等で社内交流も図る

大阪糖菓株式会社

担い手確保 サービス

大阪府八尾市

企業ブランディングとPRによる差別化 事業と地域の活性化を同時に実現

コンペイトウを始めとする砂糖菓子製造会社。2003年から、見て・聞いて・作れる“体験型ミュージアム”を八尾市の本社工場内、堺、福岡県で運営している。コンペイトウメーカーは国内に数社程度のみで、そのなかでも手作り体験や工場見学まで実施しているのは同社のみである。製造工程を知ってもらうことで、商品の安全・安心・熱意をアピールし、新商品を開発することでコンペイトウの魅力を現場から発信し続けている。

●所在地	大阪府八尾市若林町2丁目88番地
●電話／FAX	072-948-1338／072-948-1015
●URL	http://www.konpeitou.jp
●代表者	代表取締役社長　野村　しおり

●設立	1952年
●資本金	4,500万円
●従業員数	40人

徹底した企業ブランディングと多種多様なPRの駆使による差別化

人口減少等による菓子の需要減少に対応するため、モノ作りだけではなく、製造工程や歴史文化を伝え、製品の価値を高めるミュージアム事業を実施し、徹底した「コンペイトウ王国」の企業ブランディングを社長自ら実施。SNSや多数のメディアへの露出の他、ゆるキャラや漫画、オリジナルソング、本、TikTok等、多種多様なPR方法を駆使して、通常の体験教室との差別化を図る。また、コンペイトウ作り等の体験教室を有料とすることで、ミュージアム事業の売上は全体の1割を超えるまでに成長した。

「コンペイトウ王国」の体験教室

コンペイトウの新たな需要獲得と地域活性化への貢献

コンペイトウの新商品に加え、新たな需要獲得のため、パウダーシュガーを利用したシュガラブ石鹸、リップクリーム、アクセサリーの販売等、コンペイトウに馴染みのない若い女性へのPRにも注力する等、新たな視点で事業展開を行う。現在はブランディング効果で、国内外からの取材・商談や観光、他企業からのタイアップ商品依頼も舞い込んでいる。また、地域企業の魅力発信施設の理事としてワークショップを連携して開催する等、地域活性化にも貢献し、第11回産業観光まちづくり大賞経済産業大臣賞を受賞した。

地元の近畿大学と開発した商品

社内環境改善と次世代人材の採用による技術継承と社内活性化

オープンファクトリーの導入や、社長自らによる人事配置の転換や風通しの良い雰囲気作りが従業員のモチベーション向上や離職率の低下に繋がった。あわせて、ミュージアムの収容人数の上限を大幅に下げることで、働き方改革ときめ細かなサービスの提供を実現した。また、漫画やSNSを用いた情報発信が若手人材の採用に繋がり、外国人の正社員やインターンシップ生の積極的な受入が、外国人目線の業務改善やインバウンド対応力の向上に繋がり、次世代への技術継承等の人材育成や社内活性化が進んでいる。

活き活きと働く、多様な社員達

株式会社アクアテック

担い手確保 ものづくり

大阪府大東市

独自開発した製品が幅広い分野に貢献 シニアを活かし高付加価値分野に資源集中

パナソニック株式会社ステレオ事業部の元工場長の社長が71歳で起業し、独自技術の小型チューブポンプの開発、製造、販売を行う。洗車機、カップコーヒー自動販売機、家庭用浄水器やインクジェット印刷機、医療分野等多様な機器に導入され、パナソニックオーディオブランド「テクニクス」復活にも寄与。社会に役立つ仕事をすることを企業理念とし、能力と意欲の高いシニアを中心に採用し続け、平均年齢68歳ながら先端分野で活躍を続けている。

●所在地	大阪府大東市大野2-1-13
●電話／FAX	072-806-3210／072-806-3211
●URL	http://www.ringpump-aquatech.co.jp/index.html
●代表者	代表取締役　玉川　長雄

●設立	1997年
●資本金	1,000万円
●従業員数	40人

独自技術で開発したチューブポンプが幅広い分野で活躍

チューブポンプの構造をシンプルにして製造過程を工夫することで、従来品の弱点である寿命を克服し約4倍にしたことに加え、世界最小レベルの超小型化を実現し、日本と米国で特許を取得した。超小型のマイクロポンプは、iPS細胞等の国内外の細胞培養や再生医療分野の研究現場で広く使われるだけでなく、NASAの宇宙実験用のデバイスやJAXAにも採用されている。また、医療用機器や大手の最高機種のプリンター等にも採用されており、今後も幅広い分野での需要が期待される。

独自技術の超小型のマイクロポンプ

高付加価値の技術開発と製品製造に資源を集中して競争力確保

チューブポンプの需要拡大に伴い、付加価値の高い事業や新規事業の技術開発に、より計画性を持って専念集中できる環境を作るため、ロットの大きな製品組立は外部に委託する方法に変更した。一方、今後、生産の急速な伸びが予測されるマイクロポンプについては、精密性が命であるため内製化を進める方針であり、それに伴い精密加工機、溶着器、クリーンベンチ等の設備を2019年末までに導入し、付加価値向上に繋げている。

高付加価値商品製造用の新規導入機器

社員全員が楽しみながら働く職場環境により業績向上

能力、気力、体力をもつシニアの多くがキャリアを活かした職につけない現状を問題視し、創業時から多く雇用する経験豊富なシニアが、3/4を占める。シニア社員は方針さえ示せば、自ら考え期待以上の成果をあげるため、本人の要望や適性を見極めて適材適所を実践して自主性を尊重したゆるい管理やコミュニケーションを大切にしている。それが自由で発想力豊かな製品開発に、ひいては売上拡大に繋がることで、社員は意欲が高まり、楽しみながら仕事をしている。また、未経験分野でも挑戦できる社内風土や最先端技術の社内勉強会の活発な開催等、さらに向上できる環境が整っている。

楽しみながら活き活きと働く社員達

株式会社CHAMPION CORPORATION

担い手確保 ものづくり

大阪府東大阪市

高い技術力と提案力で他社と差別化 積極的な投資が人材活躍と競争力強化実現

「お客様から難題を提示される信頼ある企業」をスローガンに、金型部品等の精密部品を製造。高い技術力や切削、研削、熱処理、放電加工までの一貫生産体制をもとに、顧客の要望に応じた提案、オーダーメイド製品の製造を得意とする。女性活躍を重視した工場「YAO-Factory」、外国人採用等によるダイバーシティを意識した経営に取組む。また、現場のロボット導入や自動化を積極的に行い、創業以来黒字経営を継続する。

●所在地	大阪府東大阪市横枕西3番28号
●電話／FAX	072-964-2511／072-964-5176
●URL	http://www.champ-j.com
●代表者	代表取締役CEO　水谷　昌晃

●設立	1966年
●資本金	8,110万円
●従業員数	91人

独自の高硬度材料の切削加工技術により他社との差別化を実現

ミクロンオーダーに対応できる最新鋭の設備を保有。医療、半導体、自動車等の様々な分野で培った部品加工技術を基礎に、多品種少量生産にも対応できる高度な技術、ノウハウを有している。特に熱処理済鋼材を切削する独自の工法を国内中小企業においていち早く開発。通常、切削後の後工程にある熱処理、熱歪除去、研削の工程が省略可能となり、納期短縮、コスト半減を実現。品質を維持しつつ国際的にも価格競争力のある製品を提供する。

高硬度材料を切削加工した鋳抜きピン

多くの顧客から信頼される高い技術力で、創業以来黒字を継続

国内外を問わず、ニーズの把握、提案を含む高い営業力で顧客から厚い信頼を得ている。海外では中国、韓国、インドネシアに製造拠点があり、それぞれに日本と同様の最新鋭の設備を導入しているほか、現地従業員に対する日本人技術者の指導により、ものづくりの基礎を共通化。現地の製造拠点でも日本国内と同品質の製品を供給できる体制を構築している。また、過去10年分のオーダーメイド部品に関するデータを有しており、それらを活用して製品品質の維持、向上を図っている。こうした取組により、創業以来54年間、黒字で事業を継続している。

ロボットアームつき型彫放電加工機

女性活躍の推進、充実した技術指導による担い手の確保

工場への女性進出を進めるために、工場長以外全員が女性の工場「YAO-Factory」を大阪府八尾市に開設。勤務形態のほか設備のIoT化などにより、子育て期の女性なども働きやすい工場となるよう取組を進めている。また、合計680時間に及ぶOFF-JT・OJTを実施。スキルアップを図ることで、従業員定着率の向上と効率的な経営を実現している。その他、従業員の士気向上を図るため、健康に配慮した取組や環境を整備。経済産業省の「健康経営優良法人2020」にも認定されている。

女性の働きやすさと環境を整備した工場

株式会社アクシス

担い手確保　サービス

鳥取県鳥取市

地元の有能人材を活用してIT事業を拡大 首都圏の仕事を受託し鳥取を地域活性化

鳥取に本社を置くIT企業で、地域活性化へ貢献することを目的として設立された。システム開発、ITコンサルティング、インフラ設計、Webサイト制作、ITスクール運営など、ここ数年の事業拡大に伴い、地元である鳥取を中心に、海外の優秀なIT技術者も積極的に採用している。ITという場所を選ばない特性を活かし、鳥取県内のみならず、東京・大阪の首都圏の大手企業の仕事を受託するなど、事業を拡大して成長を遂げている。

●所在地	鳥取県鳥取市扇町7番地 鳥取フコク生命駅前ビル7F
●電話／FAX	0857-50-0375／0857-50-0376
●URL	http://www.t-axis.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　坂本　哲

●設立	1993年
●資本金	4,000万円
●従業員数	173人

自社で優秀な人材を育成・採用し、鳥取の地域活性化を図る

IT人材を育てる土壌が乏しい鳥取県で、ITを基礎から教える「ITスクール事業」をスタート。受講生124人のうち、3割の38人が入社に至っており、自社が育てた有能な人材を採用する仕組が機能している。また、人材採用の会社説明会においては、必ず社長自らが熱意を持って説明を実施することで、それに共感する人材が集まる。「地域活性化への貢献」を掲げる同社社員の9割以上が鳥取県出身者である。さらに、海外（フィリピン）に子会社を設立し、優秀な海外エンジニア人材の採用・活用も行っている。

ITスクール事業で優秀な人材を育成

充実した社内研修による高スキル・高意欲の社員を育成

新入社員にはメンター制度を整え、入社半年はOFF-JTでの研修、その後半年は実践的なOJTを行う。また、フィリピンでの1ヵ月の英会話研修で英会話を実践的に学ぶだけではなく、グローバル感覚を養う。社員には、一線で活躍するIT講師による定期的な研修や他企業の現役エンジニアとの交流を行う朝活を実施。「東京のあたり前を鳥取であたり前にやる」を掲げ、鳥取で最先端技術を学べる環境を整えることで、エンジニアの意欲向上やスキルアップの好循環に成功した。

高い技術とモチベーションをもつ社員達

首都圏の仕事を鳥取で行うニアショアや新事業の実現

首都圏企業のシステム開発を鳥取で行うニアショアを展開。2015年からは大手飲料メーカーのWebキャンペーンサイト制作、2016年からは大手建設会社のシステム開発・運用を鳥取で実施。顧客の8割超が首都圏企業で、鳥取の新たな雇用を創出し地域活性化に繋げている。また、リモートで稼働状況や障害を監視する太陽光発電監視計測システムを構築し、プラントの安定稼働を実現。その経験を活かし、地域電力の地産地消に貢献する電源トレーサビリティシステムの開発を新たに進めている。

太陽光発電監視計測システムを展示会出展

株式会社LASSIC

担い手確保 サービス

鳥取県鳥取市

高度な遠隔分散開発技術で首都圏の仕事を地方に移管し地方の雇用創出に多大な貢献

UXデザイン及びシステムインテグレーション事業をメインに、リモートワーク(在宅勤務)の仕事に特化したエージェントサービス、アイデアとICT技術で全国各地の自治体の課題解決を支援する地域イノベーション支援、感情解析技術研究を活用したサービス開発等を営む。メイン事業においては、リモート開発力、企画提案力により、首都圏の受注を地方の拠点でオペレーションする独自のスタイルを確立させ事業を拡大させてきている。

●所在地	鳥取県鳥取市南吉方3-201-3
●電話／FAX	0857-54-1070／0857-54-1071
●URL	https://www.lassic.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　若山　幸司

●設立	2006年
●資本金	9,968万円
●従業員数	150人

地方への拠点展開と充実した人事制度により人材活用を推進

「~鳥取発~ITで、地方創生」の経営理念の下、地方を中心に順次拠点を展開。プログラミングの経験がない若者でも働けるよう充実した研修やOJT制度等を整備。また、育児・出産・介護休暇制度の他、時短・子連れ出勤など柔軟な働き方を後押しする制度を充実させ、女性が働きやすい職場環境整備にも注力している。Remogu事業においても、エンジニアの労働条件等を細かくヒアリングしたうえで最適な仕事を紹介するよう努めている。

子連れ出勤の様子

社員のスキルアップを積極的に支援

月1回、上司とメンバー間での1on1ミーティングを通じて、成長目標に対する課題・アドバイス等を行っている他、入社時の研修や役職・職種・個々のレベルに応じた座学・eラーニングも随時企画・実施している（有志によるITスキル勉強会もあり）。また、業務に役立つ資格に係る受験料のサポートや、合格報奨金支給、社外研修への参加支援の他、社外での能力開発を支援するための副業・兼業制度（一定の条件あり）の導入等、従業員の能力向上のために様々な取組を行っている。

資格取得者の喜びの様子

「感情×IT」で顧客のイノベーションを支援

平成24年から大学、医療機関と共同で行っている感情解析開発研究を活用し、広告・PR系企業向けのセールスプロモーション、集客ツール開発をはじめ、先端ICT、IoT系企業におけるIoTデバイスへの応用（気分や感情をセンシングしたデータ活用による生産性の向上）、人材サービス会社への職場環境改善支援ツールの提供等、今までにない「感情×IT」というアプローチで顧客の新しいサービス構築を支援している。

感情を可視化する

株式会社WORK SMILE LABO

担い手確保　サービス

岡山県岡山市

笑顔で働き続けられるワークスタイルの創造・提案という新たなサービスの提供

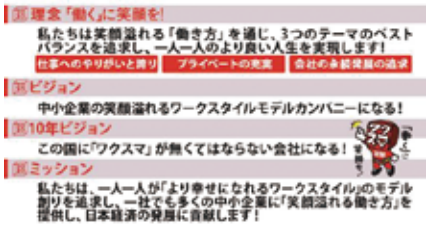
明治44年(1911年)、筆や墨を売る文具店として創業。その後、事務用品・オフィス家具・OA機器等の事務機器販売業として、お客様との信頼関係を築いてきた。現在は、事業領域を「笑顔溢れるワークスタイルの創造提案業」へと転換。「『働く』に笑顔を！」とのコンセプトを掲げ、快適なオフィス環境の提案から、テレワークの導入促進、経営課題の解決にいたるまで、誰もが笑顔で働ける企業づくりをサポートしている。

●所在地	岡山県岡山市南区福浜町15-10
●電話／FAX	086-263-2113／086-263-2605
●URL	https://ishiijc.co.jp/
●代表者	代表取締役　石井　聖博

●設立	1911年
●資本金	5,300万円
●従業員数	34人

社員満足の徹底追及が顧客満足の提供と会社発展につながる

「社員が楽しく満足して働くことができれば、お客様に満足を提供でき、会社が発展する。これが、100年続く当社の根底にあるスピリットである。お客様により満足いただける提案をおこなうために、私たちは徹底して社員自身の満足を追求している」社員満足とは、「仕事へのやりがいと誇り」「プライベートの充実」「会社の永続発展の追求」この3点のベストバランスであると考え、労働環境の整備や各種制度の充実に努めている。



根底にあるスピリット

テレワークと勤怠管理等の制度導入による業務効率と業績UP

お客様が真に求めているものは何かを考えた結果、モノやサービスの先に「笑顔溢れる職場、より良い働き方」を求めているという結論に至り、「働き方の提案」を新たなビジネスとして育てようと決意した。「『働く』に笑顔を」を新たな経営理念とし、社員の意識改革を進めた。在宅・社外でも仕事ができる「テレワーク」、勤怠管理や人事評価システムの導入、それらに伴う制度づくりを進めた。その結果、残業時間が半減し、効率化により業績もアップし、さらに社員の声を反映した解決策を講じ、働きやすい職場が実現したことで、オフィスにも笑顔が広がる。

テレワークによる導入効果

OJT、習熟度プログラム、職場環境づくりを含めた育成体制

入社後は、OJTで丁寧に指導。習熟度がひと目でわかるプログラムが用意されており、目標を持って取組むことができる。商品知識は、メーカー研修等を通して学ぶことができる。職場は、「ワクスマ」体感ショールームを兼ねる、業務効率化や意欲アップを図る仕組なども工夫され尽くしている。外部研修、資格取得奨励制度、営業ロールプレイング、社内研修、充実した内容の各種営業ツール、最新のOA機器などを用意するほか、手厚い福利厚生面により社員満足度を高める万全の体制を敷いている。

充実した研修の様子

仁尾興産株式会社

担い手確保 ものづくり

香川県三豊市

「脱・現状安住思考」を身上に新事業展開
社員とその家族を大切にする会社の経営方針

1919年に仁尾塩田株式会社を創業。1951年より塩化マグネシウム製品の製造を開始。製塩事業で培った不純物除去技術は高い評価を得ており、塩化マグネシウム(にがり)の国内トップメーカー、にがり製品の製造量は国内シェア約60%を有する。1973年よりグループ会社で始めた車海老養殖は四国最大規模で、年間約20トンを生産し、贈答用などとして出荷されている。

●所在地	香川県三豊市仁尾町仁尾辛1
●電話／FAX	087-582-3456／087-582-3459
●URL	http://www.navio.ne.jp/
●代表者	代表取締役　塩田　健一

●設立	1919年
●資本金	7,350万円
●従業員数	48人

女性、外国人等の多様な人材を活用し、働き方改革を実現

女性の働きやすさ実現のため、育児介護休業制度、保育手当、各種休暇、時短制度、母子健康管理規則による健康配慮、職場復帰プログラム基本計画に基づくスムーズな職場復帰支援などを設けており、女性社員比率は25%、女性社員に占めるワーキングマザー比率は67%で、女性リーダーも次々と誕生している。また、ベトナム人実習生を受入れているほか、障がい者を雇用しており、仕事を教えるために社員同士のコミュニケーションも増え、会社に良い影響がでている。

ベトナム実習生の誕生日会

社員全員参加型表彰制度「がんばりアワード」の導入

常に「戦う心」をなくさないよう、社員全員参加型表彰制度「がんばりアワード」を導入し、社員の意欲向上に繋げている。具体的には全社員がそれぞれの「がんばり目標」に向けチャレンジをし、社内で発表、「がんばり」の過程を随時記録し、「がんばりレポート」を提出後、選考により「大賞」「うどん賞」「努力賞」を授与。目標のテーマはなんでもよく、小さな部分からでも自分を変え、目標を達成する喜びを知ることの大切さを感じてもらうために実施している。

「がんばりアワード」ゴルフスコアへの挑戦

社員全員が生き生き生涯設計できる「カフェテリアプラン」導入

福利厚生は、自分のライフスタイルに合ったプランを選択できるようカフェテリアプランを採用している。「健康増進」「自己啓発」「視野を広める」の3つのプランで、‘もの’ではなく‘行為’に補助。本制度を通じ、「自己実現を図ること」を最終目的としている。結果、社員が様々な資格を自発的にとるようになり、能力の底上げにつながっている（野菜ソムリエ、不動産業の宅建、ファイナンシャルプランナー、豆腐マイスター等）。

「カフェテリアプラン」釣りにも補助

株式会社NOTE

担い手確保　サービス

福岡県飯塚市

誰もが活き活きと輝くことのできる就業環境の構築と地域の雇用創出

福岡県筑豊地域最大規模のフリーマガジンの発行、各種デザイン制作、イベントの企画立案・運営等を行う地域密着型の広告代理店。女性やシニア等の多様な人材の雇用、人材育成、働きやすい環境づくりに積極的に取組むなど、「人」という資源を最大限に活かす経営を行っている。メイン事業のほかに、地域の活性化に取組んでおり、これからの地域のあり方を探りながら地方創生企業を目指している。

●所在地	福岡県飯塚市新飯塚21-26 ASビル3F
●電話／FAX	0948-52-3244／0948-52-3243
●URL	http://note-note.jp
●代表者	代表取締役　桑野　健太郎

●設立	2008年
●資本金	1,000万円
●従業員数	20人

地域企業への波及効果がある女性活躍推進のロールモデル構築

個人の適性・能力を考慮した人員配置で、誰もが安心して勤務することができるように、ライフステージに合せた就業環境整備を積極的に行うとともに社内で働き方改革を推進し、産休・育休制度や時短勤務制度等の就業環境整備に継続的に取組んでいる。顧客対応や新規顧客開拓の実績がある子育て真っ只中の営業プランナーの女性社員をマネージャー職に抜擢するなど、「女性目線」「子育て世代の目線」を重視した企画提案で今までにない委託事業を次々と受注し、売上げ向上に繋げている。

女性活躍 出産に向けた社内パーティー

上下関係のないフラットで強靭な組織と活気に満ちた職場環境

プロジェクトごとに適性を有するスタッフをリーダーに据えたチームを編成する等、ヒエラルキーのないフラットな組織風土のもとで業務が行われている。これにより、個々の社員によるクライアント目線の柔軟かつスピーディな企画の設計・実行に繋がっている。社員一人ひとりに寄り添ったケアを社内全体で共有し、定期的に全額会社負担の社員旅行を実施して仕事の労をねぎらう等、社員のモチベーションとパフォーマンス向上に努めており、活気に満ち溢れた職場環境を構築している。

活気に満ちた懇親会

会社全体の成長に繋がる人材育成と社員のキャリア形成

様々な経験と能力を有する社員によるOJTの仕組が確立され、入社1年目であっても企画立案など最前線に立てる人材育成が施されている。社員一人ひとりが、常に「自分で考える」環境を意図的に作っており、それが会社全体の成長に繋がっている。加えて、社長が関わっている地域内外の経済団体や金融機関等の外部向け研修に、積極的に社員を受講させ、社外でも価値ある人材のネットワークを築かせるなど、社員個人のキャリア形成に配慮した次世代リーダーの育成にも力を入れている。

都市計画道路鯰田中線（川島～幸袋）開通式への参加

ベルテクネ株式会社

担い手確保 ものづくり

福岡県糟屋郡須恵町

「会社の見える化」と「社員主体経営」の推進により経営改革

金属加工業として大正3年に創業、2014年に100周年を迎えた。精密板金分野の総合加工メーカーとしてステンレス・アルミ・鉄等の折曲加工・レーザー加工・タレパン加工・溶接組立加工を中心に、食品関連機器・医療関連機器・IT関連機器・一般産業機械など各分野における金属パッケージ類の製作を行う。100年で積みあげてきた技術・実績・信頼や「考える」「挑戦する」を合い言葉に、「200年企業」を目指し成長を続ける。

●所在地	福岡県糟屋郡須恵町大字上須恵1495-1
●電話／FAX	092-932-4166／092-932-5951
●URL	http://belltechne.co.jp
●代表者	代表取締役社長　前田　努

●設立	1914年
●資本金	6,300万円
●従業員数	98人

変化を恐れず挑戦できる社風を築き、多様な人材が戦力化

「社員主体経営」は、社員自身の仕事が経営に貢献していることを実感できる「働きがい」のある風土創りにもつながっている。社員のエンゲージメントの高さは、委員会等様々な自主活動でも発揮され、「働き方改革実行委員会」では時間外労働削減に向けた取組を進めるほか、今後は「未来塾」として、経営方針を学び、課題分析や新規プロジェクト提案を行う勉強会を開始予定。女性・シニア・障がい者・若者等、多様なキャリア・価値観を受入れ、互いに高め合うことで、変化を恐れず挑戦できる環境を築き上げている。

「働き方改革実行委員会」の様子

経営チェックシート、経営計画発表会を導入し社員主体で成長

全社員が会社・経営陣を評価する「経営チェックシート」を導入。経営陣と社員の距離が縮まり、経営に関心をもつ社員が増加。課題は翌期の改善目標に掲げる。並行して、社員主体で、経営計画書を作成し「経営計画発表会」を開催する等、働きがいや自律的な成長を促す仕組づくりを行った。PDCAサイクルにより毎年レベルを高めることで、取組開始から10年で売上高1.6倍・収益5倍・社員数2倍まで成長。

「経営計画発表会」の様子

社員一人ひとりの技能レベル向上や多能工化で生産性を向上

社長が全社員と個人面談を実施するほか、人材育成の仕組を全社員で考え、積極的に導入。今年度の新たな取組として、新入社員が2年目を迎える際、「成長の認定式」を開催。経営陣が見守るなか、先輩社員が新入社員の1年間の成長過程を評価し、さらなる意欲向上を促す。また、国家資格の取得を奨励しており、受験費用負担や実技練習のための自社設備開放等全面的に支援し、現場のほとんどの社員が複数の国家資格を有する。一人ひとりの技能レベル向上や多能工化が、高い技術力を支え、生産性向上にもつながっている。

多数の国家技能検定試験合格者実績

立尾電設株式会社

担い手確保　サービス

熊本県水俣市

担い手の確保と育成で技能・技術の伝承と向上の仕組みを構築

昭和45年個人営業として創業。その後、従業員が最新の技術を取得することで会社全体の技術レベルが向上し、受注可能な業務の幅が広がるとともに、多くのお客様に支えられ、実績と信頼を積み重ねてきた。2年前の事業承継を機に、働き方改革に積極的に取組み、地域の同業者では初めて女性技能者を多数登用し、きめ細かなサービスを提供する等、時代の変化を見据えた取組が注目を集めている。

●所在地	熊本県水俣市初野75番地1
●電話／FAX	096-663-4336／096-662-2334
●URL	http://tateo.co.jp
●代表者	代表取締役　永田　士朗

●設立	1970年
●資本金	2,000万円
●従業員数	38人

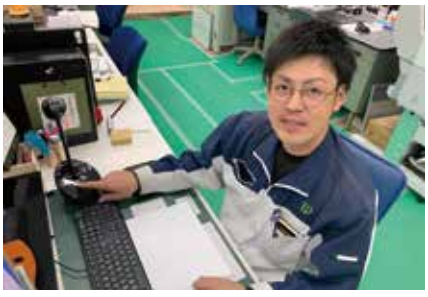
多様な人材を活用する等、働き方改革に積極的な取組

男女に拘らず、若者やシニア等、多様な人材を確保し、働き方改革に積極的に取組んでおり、従業員の意見を取入れながら労働条件の見直しや職場環境の改善を図っている。また、現場での効果的なOJTや教育訓練の実施により、従業員のさらなるスキルアップを図り、事業成長につなげるような取組を行っている。女性の社会進出応援のため、女性の積極的な雇用と育成に取組んでおり、現在5名の技能者を育成している。障がい者についても、フレキシブルな勤務が可能な受入態勢を整えている。

女性の積極的育成の現場

制度面の改善を図り、事業を維持発展させる体制の構築

電気工事業界では従業員の高齢化が進んでおり、技術や技能の質の伝承と向上が今後の事業の維持発展の課題となっているが、当事業所では労働条件の見直しや働きやすい職場環境への改善、職場のローテーション等の改革を積極的に進めることにより、若手従業員を確保し、従来の電気工事や消防施設工事に加え、今後必要とされる太陽光発電設備などの新エネルギー関連工事やEV関連施設等の専門的で高度な技術に対応できるよう教育訓練を充実し、事業を維持発展させていく体制を構築している。



IoTを活用した取組の様子

従業員のチャレンジ意欲とモチベーションを全社でサポート

従業員との面談等により幅広く意見を取入れ、魅力ある職場づくりに取組んでおり、高い定着率を確保している。業務に必要な国家資格取得のため社内研修を随時実施しており、資格取得に要する費用については教材費や受験の際の交通費を含め、全額を会社負担することで、従業員の経済的負担なしでスキルアップに取組める環境を整備している。また、取得した資格については、資格手当として給料に反映しており、従業員のモチベーションアップにつながっている。

若手への社内研修の様子

株式会社熊本アイディーエム

担い手確保 サービス

熊本県合志市

時勢に応じた柔軟な事業展開を行い顧客と一体となった研究開発型装置メーカー

「一緒に歩いていきましょう（お客様・社員・社会とともに）」をスローガンに掲げ、お客さまと一体で研究開発に取組み、新たな製品・技術を創造。対象業界・分野も医療・医薬から自動車・車載パーツ、半導体・スマートフォン、化学、農工連携等多岐に渡る。いずれの業種も利用者目線に沿った製造ラインを設計・製作し、自動化や省力化による業務効率化を実現。特に画像処理プログラム技術に強みを持つ。

●所在地	熊本県合志市福原1-13
●電話／FAX	096-349-5001／096-232-9922
●URL	http://www.idm.ne.jp/index.html
●代表者	代表取締役社長　髙倉　功

●設立	1989年
●資本金	2,500万円
●従業員数	21人

柔軟な働き方への取組・地元からの採用・リーダーの育成

社内の働く環境の整備にも前向きに取組んでおり、働き方改革で今後インターバル・フレックスタイムの導入検討を計画し、個々の従業員の家庭事情に応じたコアタイム勤務等で柔軟な働き方を推奨している。地元にあるポリテクセンター熊本や同社の近隣に立地している熊本技術短期大学から従業員を採用している。また合志市の人材育成補助金を活用しリーダーの育成促進を図るため、「リーダー向け説明力向上研修」「中堅職員リーダーシップセミナー」を受講させるなど率先した人材育成を行っている。

会社の次世代を担うリーダー勉強会

個々の従業員に権限や責任を与えてモチベーションを向上

高い技術力と発想力が求められる開発現場において「ものづくり」が好きな人間を積極的に採用。加えて従業員に設計・製造業務の一部のみを担当させるのではなく、全ての権限を与えている。工程ごとの納期は設けず、従業員の作りたいように作らせている。従業員のモチベーションが向上し、自ら勉強し成長する好循環が起こっている。また行程ごとの納期は設けていないが、従業員自身が責任を自らに課す意識が定着しており、納期遅れは皆無。デンソーグループの企業から納期賞も受賞している。

納期活動において納期賞を受賞した感謝状

外部専門家の技術指導や勉強会による個人の総合スキルアップ

自動化装置の開発は、制御、システム開発、画像解析等の要素技術の総合力が必要とされるものである。[少人数技術者（電気、設計、組立）17名、事務職4名]で高い技術力を維持・向上させて行くためには、各人のレベルを常に向上させ、多能工化を推進していく必要がある。社内の人材育成について力を入れており、外部講師、専門家を招いての技術指導や関連メーカーによる製造工程・セクションごとの勉強会等を積極的に活用し個人のスキルアップに繋げている。

定期的に開催するキャリアアップ研修会

株式会社お茶の富澤。

担い手確保　サービス

熊本県上益城郡益城町

肥後茶の栽培、製茶、販売・サービスまで一貫提供する「茶を以て和を成す」お茶屋

肥後茶の生産から販売までを手掛ける創業90年の老舗茶屋。発酵肥料主体の土作り、遮光幕を直接木にかぶせる栽培方法で高品質の茶葉（かぶせ茶）を育て自前の工場で蒸し、葉打ち、揉み、乾燥など自社で一貫製造したお茶を中心に販売。またお茶のドレッシング開発や日本文化であるお茶の魅力を発信する日本茶専門店Greentea. Labを開設し、時代とニーズの変化に対応しながら新しい形での飲み方、楽しみ方を提案。

●所在地	熊本県上益城郡益城町小谷102
●電話／FAX	096-286-2231／096-286-5941
●URL	https://www.ochanotomizawa.co.jp/
●代表者	代表取締役　富澤　堅仁

●設立	2018年
●資本金	200万円
●従業員数	10人

事業承継に伴う法人設立後に「経営の見える化」の取組

現社長は国立茶業研究所の研修制度に参加しお茶作りの基礎を学んだ後に茶所で有名な静岡県、福岡県八女市で合計4年間お茶作り修業を経験、平成29年に日本茶インストラクターの資格取得。その後父の病のため、事業承継とともに売上拡大など経営基盤強化をよろず支援拠点と相談。法人化により経営を客観的に判断できるよう事業内容の“見える化”に取組む。平成30年1月に「株式会社お茶の富澤。」を設立、4代目を踏襲し代表取締役に就任。

未来会計を導入し経営数字を「見える化」

ロゴデザイン、経営理念「茶を以て和を成す。」を決定

マーケティング、自社ブランディングの徹底に加えて、「色々な物が便利に簡単な世の中で、手間暇をかけ美しい物は何なのか考えた時、お茶の富澤。のこだわりがある」そして「人と人、物と想いの間にお茶があり、それぞれを結び、寄り添う存在が私達が考えるお茶である」その想いを込めて作成したロゴデザインが、経営理念である『茶を以って和を成す。』や、事業理念『時代に応じたお茶作りに挑戦し続ける』を体現。広く外部に発信することで共感を得ている。

Green
tea.
Lab

「、」には一旦止まりゆっくりという願い

経営理念、事業理念に基づいた地域への貢献

熊本地震により店舗が全壊したが、日本茶専門店「Greentea.Lab」を新規開店。地場のお米を使ったおむすびや若手農業後継者と連携し地場野菜を販売することで雇用拡大、地場農産物の販路拡大に寄与。また地震により離農した茶農家から茶畑を引き継いで「熊本玉露Hajimari」「熊本抹茶Ippo」の新規製造を開始。さらに葬儀社と関係事業者による「グランドゼロ益城老舗二代目社長グループ」で新規受注や雇用拡大に繋げる復旧事業計画を作成し、研修会・自主勉強会、イベントなど実施。

若手農業後継者が育てた地元の野菜を販売

株式会社岡崎組

担い手確保 サービス

宮崎県宮崎市

ICT導入で生産性向上させ厳しい環境に対応 子育て女性従業員登用で職場環境の整備

公共工事の減少や人手不足など、地域の建設業界が厳しい事業環境に直面するなか、土木工事や生コン事業を行う同社は工事現場へのICT導入（i-construction）やバックヤードへのICT導入（クラウドを活用した帳票のデジタル化等）に積極的に取組み、工期短縮や経費削減、残業時間の短縮などにより、生産性向上や現場の安全性向上、働く環境の改善など効果を実現。今後はこれらのノウハウを活用し新たなサービス展開を想定。

●所在地	宮崎県宮崎市恒久1800-1
●電話／FAX	0985-53-0567／0985-53-0567
●URL	http://www.okazakigumi.co.jp
●代表者	代表取締役　岡﨑　勝信

●設立	1953年
●資本金	4,000万円
●従業員数	70人

子育て世代の女性目線で職場環境を整備し女性従業員比率増加

建設業界は従来男性中心の職場環境であったが、人事制度を改革し女性を積極的に登用。子育て世代の女性社員を総合職として多数採用し、子育て世代目線からのマネジメントの取組や男性の育児休暇100%取得など働きやすい職場環境の整備に取組んだ。その結果、女性従業員の比率が3倍に増加、道路建設現場では子育て中の女性社員が3DCADや最新機器を活用した測量業務に従事するなど建設現場における女性活躍の場も拡大。

コマツICT施工機械を女性スタッフ視察

ICT活用した業務改革で大幅な業務効率化と経営改善を実現

ICTによる業務改革により生産性を劇的に改善。まず従業員にPCとスマホを配布し常時データのやりとりができる環境を整備。勤怠情報、日報データ、顧客管理などをクラウド化し業務進捗状況を「見える化」した結果、これまで会議と報告のため本社と現場を往復していた従業員が社内SNSで連絡し移動が激減。さらに社内イントラの活用で企業方針や工事現場の状況を共有し大幅に残業時間を削減。隙間時間ができた社員を他業務に振向け受注拡大に繋げた。

明るく機能的な事務所で働く笑顔の従業員

女性社員によるプロジェクトチームで女性目線での職場作り

女性社員で構成された社内マーケティング・企画開発プロジェクト「hata楽プロジェクト」チームを立ちあげ、女性目線での現場見学会開催や改善提案企画など、職場環境の改善と人材採用・育成に積極的に取組む。また、従業員のキャリアパスをHP上でも公開し、職種別（技術職・土木／技術職・生コン／管理部）に設定したキャリアパスに応じた教育訓練制度（研修・資格取得等）と人事評価の連動により、地域の中小建設業では類をみないプロフェッショナルな人材を育成。

女性プロジェクトチームのミーティング

村商株式会社

担い手確保　サービス

鹿児島県肝属郡肝付町

ICT活用とワークライフバランスの実現 多様な人材の登用で畜産業の拡大挑戦

鹿児島県の大隅半島にある人口約1万7千人の肝付町は農業・畜産業を主体とする一次産業の町である。ここで畜産を主力として幅広い分野への事業を展開。牛の堆肥からお米や牧草を育成し、それらを元にした独自のTMR飼料（完全混合飼料）で和牛を繁殖・哺育・育成・肥育し、加工、販売までを一貫して行い高品質な牛肉を提供。そのおいしさは海外を含め多くの関心を引いている。また輸出に関しては商社に頼らず独自で販路開拓を行っている。

●所在地	鹿児島県肝属郡肝付町後田2566-2
●電話／FAX	0994-45-5098／0994-45-5095
●URL	https://www.shinmurachikusan.com
●代表者	代表取締役　新村　順一郎
●設立	2007年
●資本金	5,100万円
●従業員数	80人

働きやすい職場の実現と多様な人材受入で一次産業に貢献

事業拡大と並行して地元の若者、高年齢層など幅広い人材を雇用。また企業全体の約半数が女性でパート従業員の社会保険完備、育児休暇制度取得の促進を積極的に取組み、農業の未来をつくる女性活用経営体WAP100選に認定された。同業種では数少ない週休2日制を導入し、また福祉施設（就労継続A型事業所）との農福連携、外国人技能実習制度（ベトナム人）等で多様な人材の活用や日本各地からの農業・畜産研修生の受入・地元学生の職場体験など全国の一次産業人材の育成にも注力している。

女性が働きやすい環境と福利厚生の充実

経営理念浸透で全ての社員が役割業務を自発的に行う組織風土醸成

畜産業では労働負担軽減と経営効率化が大きな経営課題。そのため監視カメラ、U-motion センサー（行動監視システム）などICT化導入による分娩事故率の低下。また自動給餌システム、マイクロフォガー、ミルメーカー導入による労働時間の軽減化、効率的で働きやすい職場環境を構築。経営理念「最も多くの人を喜ばせた者が最も大きく栄える」を社員に浸透させるため、あえて役職をなくした結果、全スタッフが役割業務を自発的に行うようになり、クレームやミスが減り、会社業績も伸びた。

ICT化導入と地元木材を使用した牛舎

第一次産業中心の地域で雇用拡大、皆が笑顔で働ける職場作り

社長は20代で本格的に畜産の世界へ。父親から受け継いだ16頭が現在は1,000頭まで拡大。生産から肥育まで畜舎環境・餌・水など「こだわりの牛づくり」を追求した一貫経営を実践。加えて肉牛の卸販売、焼肉店経営、ネット販売、子会社化、台湾法人を設立。現在は牛肉・お米等の輸出を商社に頼らず独自の方法で取組み、短期間で販路先の確保と事業を拡大。また地元の経営者等とも積極的に交流し経営ノウハウの継承、農福連携・耕畜連携など「地域とともに循環型農業」を実践し地域活性化にも貢献。

こだわりの牛づくりを目指して品評会参加

有限会社海邦ベンダー工業

担い手確保 サービス

沖縄県糸満市

生涯雇用で社員の成長と会社の発展が目標
地域福祉へ貢献するレーザー金属加工会社

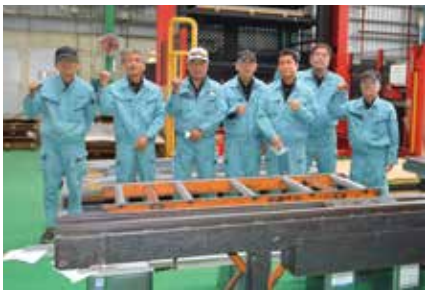
1985年シャッターの施工会社として創業。1990年鋼製建具の板金加工へ事業拡張し工場建設。1992年法人化。1996年県内1号機となる大型パンチング機の導入など設備導入で生産を合理化。2012年糸満市西崎に現工場を移転し同時に一貫生産体制を確立。「工場はお客様に見せるもの、工場は最大の営業マン」の考えから、顧客の信頼を築くため様々な設備を効率的に稼働させ最高の製品を提供できる従業員教育に注力。

●所在地	沖縄県糸満市西崎町5-14-9
●電話／FAX	098-994-7465／098-994-7467
●URL	http://www.kaiho-bender.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　登川　将光

●設立	1992年
●資本金	300万円
●従業員数	67人

生涯雇用と社内環境改善による人材確保

同社では生涯雇用を掲げており、70代の社員も現役として働いている。若手社員がその年齢まで働けるようにロイヤリティーの向上や労働時間の改善などの職場改善に取組み、モチベーションが向上、社員定着率が改善している。若い世代の積極採用のため、毎年数名の地元高校生をインターンとして受入れ、雇用の確保に取組んでいる。また自社の素晴らしさや魅力を社員自ら認識し、親族、知人、友人などに紹介し、身近な人を積極的に採用することでお互いに助け合える雰囲気作りにも努めている。



63歳から73歳まで現役バリバリ社員衆

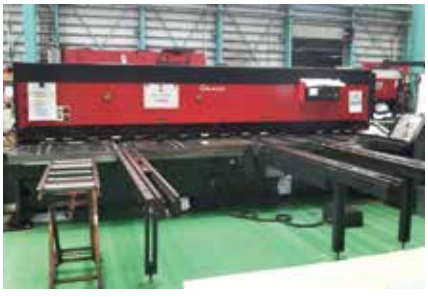
全社横断的な作業管理による働き方改革を実施

受注量が増加する一方で、即戦力となる人員の採用は難しい。現状人員で作業効率化に取組むため、昼食後に5分間ミーティングを行い早めに作業進捗を共有。部署横断的に作業の穴埋めを行うことで残業を削減し、一人あたりの作業を平準化することで会社全体で効率化させている。そのために生産管理システムを導入し製造プロセスの見える化に取組んでいる。平成30年5月からは社長号令のもと、働き方改革を実施。ノー残業日、残業時間の上限などを設定してワークライフバランスの向上に努めている。

働き方改革をテーマに全社員参加の勉強会

自律的能動的な社員育成と各種研修による技術力の向上

生産量が増加するなか、ボトルネックの解消や設備の負荷状況から積極的に設備投資を実施。業務の効率化、品質向上、生産の合理化に繋げている。また、従業員の長時間労働の解消にも寄与している。設備導入に合せて生産ラインも見直したことで作業時間が短縮し、生産性の向上、受注量の拡大にも寄与している。進捗管理システムを導入したことで、工場内全体で作業を見える化できた結果、瞬時に作業内容の把握ができるようになった。



積極的な設備投資（2019年8月導入）

事業者一覧表(索引)

はばたく2020
中小企業・小規模事業者300社

はばたく中小企業・小規模事業者300社 掲載企業一覧表（あいうえお順索引）

番号	社名	所在地	住所	電話番号	代表者	分野1	分野2	頁
ア行								
1	株式会社愛亀	愛媛県松山市	南江戸2丁目660-1	089-921-3030	西山周	ものづくり	需要獲得	281
2	アイテックシステム株式会社	福岡県飯塚市	横田後牟田工業団地	0948-22-2651	吉田和彦	ものづくり	需要獲得	288
3	株式会社アイ電子工業	栃木県大田原市	美原3丁目3323番地12	0287-60-0057	高橋温	ものづくり	需要獲得	184
4	株式会社アオアクア	東京都江東区	大島8-5-1 N&Hビル4F	03-5628-6120	井上晴貴	サービス	生産性向上	60
5	株式会社青海製作所	新潟県新潟市	南区下曲通字中江下787番地	025-371-1510	青海剛	ものづくり	需要獲得	204
6	株式会社アクアテック	大阪府大東市	大野2-1-13	072-806-3210	玉川長雄	ものづくり	担い手確保	340
7	株式会社アクシス	鳥取県鳥取市	扇町7番地 鳥取フコク生命駅前ビル7F	0857-50-0375	坂本哲	サービス	担い手確保	342
8	株式会社アサヒメッキ	鳥取県鳥取市	南栄町1	0857-53-4561	木下貴啓	ものづくり	需要獲得	269
9	朝日理化株式会社	愛知県西尾市	西浅井町尾ヶ山5番地96	0563-52-3368	朝岡陽子	ものづくり	生産性向上	103
10	浅利観光株式会社	島根県江津市	浅利町72	0855-55-1063	植田裕一	サービス	需要獲得	271
11	株式会社アテックス	愛媛県松山市	衣山1-2-5	089-924-7161	村田雅弘	ものづくり	需要獲得	282
12	アドバンス電気工業株式会社	愛知県春日井市	廻間町浦屋敷519-1	0568-88-7300	飛田剛	ものづくり	生産性向上	95
13	株式会社アピック	神奈川県川崎市	高津区宇奈根 744-8	044-833-2406	新井聡	ものづくり	生産性向上	69
14	有限会社天ケ瀬工業	埼玉県飯能市	赤沢727-1	042-977-0464	天ケ瀬和弘	ものづくり	生産性向上	56
15	有田工業株式会社	長崎県諫早市	貝津町 1769-1	0957-25-1588	有田能子	ものづくり	生産性向上	137
16	アルデックス株式会社	愛知県豊橋市	菰口町2-60	0532-31-3600	山口達三	サービス	担い手確保	329
17	アルメック株式会社	愛知県豊明市	前後町三ツ谷1361	0562-97-7215	星河秀樹	サービス	生産性向上	98
18	石川鋳造株式会社	愛知県碧南市	中松町1丁目12番地	0566-41-0661	石川鋼逸	ものづくり	需要獲得	236
19	株式会社イチカワ	東京都羽村市	神明台4-8-39	042-553-1311	市川博士	ものづくり	生産性向上	67
20	株式会社イチムラボディーショップ	山梨県南アルプス市	上今諏訪779-1	055-282-8919	市村智	サービス	生産性向上	79
21	イツモスマイル株式会社	徳島県徳島市	佐古二番町5番11号	088-611-3131	大田仁大	サービス	生産性向上	124
22	伊藤工業株式会社	愛知県西尾市	十郎島町下縄71	056-365-6111	伊藤武行	ものづくり	生産性向上	101
23	株式会社イワクラ	北海道苫小牧市	晴海町23番地1	0144-55-6811	岡本泰雄	ものづくり	需要獲得	165
24	株式会社イワタツール	愛知県名古屋市	守山区花咲台2丁目901番地テクノヒル名古屋E-3	052-739-1083	岩田昌尚	ものづくり	生産性向上	93
25	株式会社Windy	福岡県福岡市	博多区博多駅東2-8-9 ソフィアビル304	092-474-1007	中村行延	サービス	生産性向上	128
26	ウエノテックス株式会社	新潟県上越市	柿崎区柿崎7396-10	025-536-2266	上野光陽	ものづくり	生産性向上	73
27	有限会社うずしお食品	徳島県鳴門市	里浦町里浦字花面350-32	088-685-3301	後藤祥二	ものづくり	需要獲得	279
28	株式会社ウチダ	大阪府大東市	新田本町12-6	072-874-3377	内田祥嗣	ものづくり	生産性向上	112
29	株式会社ウチダ製作所	愛知県知多市	金沢字郷中120番地の2	0569-42-0939	森光賢	ものづくり	生産性向上	106
30	宇都宮工業株式会社	東京都江東区	亀戸6丁目53-9	03-3681-6685	宇都宮秀雄	サービス	担い手確保	319
31	株式会社内海機械	広島県府中市	鵜飼町743—1	0847-45-6300	内海和浩	サービス	生産性向上	122
32	エコステージエンジニアリング株式会社	福岡県福岡市	博多区博多駅前3丁目19番14号	092-409-5850	中園英司	ものづくり	需要獲得	285
33	エスエスビジネスフォーム株式会社	東京都荒川区	東日暮里2-38-8 SSビル3F	03-3801-7881	酒井雅志	ものづくり	生産性向上	63
34	株式会社エスクリエイト	愛知県名古屋市	中区錦1-4-16 KDX名古屋日銀前ビル4F	052-222-3600	本山景一	サービス	生産性向上	92
35	株式会社エストレージ	愛知県名古屋市	千種区東山通5-20-1 サン東山公園ウェスト1F	052-753-4515	矢島克記	ものづくり	需要獲得	233

はばたく中小企業・小規模事業者300社 掲載企業一覧表（あいうえお順索引）

番号	社名	所在地	住所	電話番号	代表者	分野1	分野2	頁
36	株式会社NCC	福井県鯖江市	吉谷町2-97	0778-52-9077	下内孝博	ものづくり	需要獲得	215
37	エノ産業株式会社	北海道上川郡東川町	北町10丁目1番1号	0166-82-4000	小関政敏	ものづくり	生産性向上	38
38	株式会社エム・ディー精密	茨城県高萩市	上手綱3641-48	0293-23-8255	立原賢治	ものづくり	生産性向上	45
39	株式会社大分ベニヤ商会	大分県大分市	東浜1-8-6	097-558-7492	坂本知隆	サービス	生産性向上	140
40	株式会社オークマ	福岡県朝倉市	菱野1548	0946-52-2800	大隈賢一郎	ものづくり	需要獲得	290
41	大阪錫器株式会社	大阪府大阪市	東住吉区田辺6-6-15	06-6628-6731	今井達昌	ものづくり	担い手確保	337
42	大阪糖菓株式会社	大阪府八尾市	若林町2丁目88番地	072-948-1338	野村しおり	サービス	担い手確保	339
43	大髙商事株式会社	沖縄県那覇市	曙2-14-13	098-861-2213	中村裕二	サービス	需要獲得	307
44	大野精工株式会社	愛知県西尾市	下羽角町大縄35番地1	0563-75-3922	大野龍太郎	サービス	需要獲得	237
45	株式会社オオヤブデイリーファーム	熊本県合志市	須屋2541	096-242-7913	大薮裕介	サービス	需要獲得	298
46	株式会社岡﨑組	宮崎県宮崎市	恒久1800-1	0985-53-0567	岡﨑勝信	サービス	担い手確保	351
47	岡田鈑金株式会社	東京都大田区	新蒲田1-22-18	03-3734-7101	増田武夫	ものづくり	生産性向上	61
48	株式会社岡村工機	山形県米沢市	アルカディア1丁目808-28	0238-27-0211	岡村茂	ものづくり	生産性向上	42
49	岡本硝子株式会社	千葉県柏市	十余二380番地	04-7137-3111	岡本毅	ものづくり	需要獲得	190
50	岡谷熱処理工業株式会社	長野県岡谷市	南宮1-5-2	0266-23-4610	滝澤秀一	ものづくり	生産性向上	81
51	株式会社オキス	鹿児島県鹿屋市	上高隈町1910-3	0994-45-2508	岡本孝志	ものづくり	需要獲得	304
52	株式会社沖友	静岡県藤枝市	高柳3丁目30番23号	054-636-3700	岡村邦康	ものづくり	需要獲得	230
53	オタフクソース株式会社	広島県広島市	西区商工センター7-4-27	082-277-7111	佐々木直義	ものづくり	需要獲得	275
54	株式会社お茶の富澤。	熊本県上益城郡益城町	小谷102	096-286-2231	富澤堅仁	サービス	担い手確保	350
55	小野食品株式会社	岩手県釜石市	両石町4-24-7	0193-23-4675	小野昭男	ものづくり	需要獲得	171
56	株式会社オノックスエムティー	静岡県浜松市	浜北区新原5940	053-582-2137	青嶋亮治	ものづくり	担い手確保	326
57	合同会社おひさま	岐阜県中津川市	中一色町3-14三洋堂ビル1階	0573-65-5225	藤井真也	サービス	需要獲得	220
カ行								
58	有限会社海邦ベンダー工業	沖縄県糸満市	西崎町5-14-9	098-994-7465	登川将光	サービス	担い手確保	353
59	有限会社楓	岡山県新見市	哲多町宮河内113-1	0867-96-2106	井上富男	サービス	需要獲得	273
60	株式会社カネダイ	宮城県気仙沼市	川口町1丁目100番地	0226-23-1721	佐藤亮輔	ものづくり	需要獲得	173
61	カネヤ製綱株式会社	愛知県蒲郡市	形原町北戸甫井11の1	0533-57-3151	牧原昇司	ものづくり	生産性向上	102
62	株式会社亀山鋳造所	兵庫県揖保郡太子町	原519番地	079-276-0471	亀山佳裕	ものづくり	需要獲得	267
63	株式会社唐津プレシジョン	佐賀県唐津市	二タ子3丁目12番41号	0955-72-1111	竹尾啓助	ものづくり	生産性向上	135
64	株式会社川﨑合成樹脂	新潟県三条市	下保内401-17	0256-38-2531	川﨑雄輔	ものづくり	生産性向上	71
65	河田フェザー株式会社	三重県多気郡明和町	大字山大淀3255番地	0596-55-2431	河田敏勝	ものづくり	生産性向上	109
66	株式会社カンバーランドジャパン	長野県長野市	南長池337-1	026-221-9997	原田英世	サービス	需要獲得	216
67	合名会社寒梅酒造	宮城県大崎市	古川柏崎字境田15番地	0229-26-2037	岩﨑健弥	ものづくり	生産性向上	41
68	株式会社キープ・ウィルダイニング	東京都町田市	原町田6-9-8 AETA町田 4階	042-851-8460	保志真人	サービス	需要獲得	200
69	株式会社キサヌキ	宮崎県延岡市	粟野名2015-1	0982-33-2141	木佐貫浩司	ものづくり	生産性向上	142
70	北島酸素株式会社	徳島県徳島市	東沖洲2丁目18	088-664-2811	篠原宏子	ものづくり	需要獲得	278

はばたく中小企業・小規模事業者300社 掲載企業一覧表（あいうえお順索引）

番号	社名	所在地	住所	電話番号	代表者	分野1	分野2	頁
71	株式会社北日本重量	北海道旭川市	永山北2条8丁目9番地6	0166-48-9990	影本秀基	サービス	生産性向上	32
72	北日本コンピューターサービス株式会社	秋田県秋田市	南通築地15-32	018-834-1811	江畑佳明	ものづくり	需要獲得	176
73	株式会社木の家専門店谷口工務店	滋賀県蒲生郡竜王町	山之上3409	0748-57-1990	谷口弘和	サービス	需要獲得	242
74	九州木材工業株式会社	福岡県筑後市	大字和泉309-1	094-253-2174	角博	ものづくり	生産性向上	130
75	株式会社共同	熊本県合志市	栄3766-24	096-248-1133	山下敏文	サービス	生産性向上	139
76	共和産業株式会社	石川県白山市	竹松町2810	076-276-2141	高井俊一	ものづくり	生産性向上	77
77	株式会社協和精工	長野県下伊那郡高森町	山吹 1646-5	0265-35-8288	橋場浩之	ものづくり	生産性向上	82
78	株式会社協和製作所	兵庫県加西市	北条町古坂69-1	0790-42-5111	藤本繁行	ものづくり	需要獲得	263
79	キョーユー株式会社	宮城県遠田郡美里町	関根新苗代江149-1	0229-34-2329	畑中得實	ものづくり	需要獲得	175
80	株式会社銀波荘	兵庫県赤穂市	御崎2-8	0791-45-3355	成世敏昭	サービス	生産性向上	116
81	久慈琥珀株式会社	岩手県久慈市	小久慈町第19地割156番133号	0194-59-3821	新田久男	サービス	需要獲得	170
82	熊沢酒造株式会社	神奈川県茅ヶ崎市	香川7-10-7	0467-52-6118	熊澤信也	ものづくり	需要獲得	202
83	株式会社熊本アイディーエム	熊本県合志市	福原1-13	096-349-5001	髙倉功	サービス	担い手確保	349
84	株式会社グリーンテクノ21	佐賀県佐賀市	鍋島町大字蛎久1539-1	0952-30-0702	下浩史	ものづくり	需要獲得	292
85	グリーンリバーホールディングス株式会社	福岡県福岡市	博多区博多駅前1-4-4 JPR博多8階	092-471-7332	長瀬勝義	サービス	需要獲得	284
86	株式会社クロスエフェクト	京都府京都市	伏見区南寝小屋町57番地	075-622-2600	竹田正俊	ものづくり	需要獲得	246
87	京浜精密工業株式会社	神奈川県横浜市	神奈川区入江2丁目12－4	045-401-4721	駒場徹郎	ものづくり	生産性向上	68
88	株式会社ケーピープラテック	兵庫県加東市	屋度734-5	079-542-4001	大西一成	ものづくり	需要獲得	265
89	株式会社元気広場	静岡県静岡市	葵区御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル14F	054-205-5808	竹内豪一	サービス	需要獲得	224
90	株式会社小出ロール鐵工所	千葉県習志野市	東習志野6-21-8	047-475-3811	小出明治	サービス	需要獲得	189
91	皇漢堂製薬株式会社	兵庫県尼崎市	長洲本通2丁目8番27号	06-6482-5115	藤原裕明	ものづくり	需要獲得	261
92	株式会社宏機製作所	茨城県守谷市	百合ヶ丘1丁目2411-2	0297-48-7251	大賀奉昭	ものづくり	生産性向上	48
93	甲南設計工業株式会社	兵庫県三木市	吉川町金会1004-3	0794-76-2788	澤田昌浩	ものづくり	生産性向上	117
94	株式会社神戸酒心館	兵庫県神戸市	東灘区御影塚町1-8-17	078-821-2911	安福武之助	ものづくり	生産性向上	114
95	株式会社コスモテック	福島県郡山市	喜久田町字菖蒲池22-438	024-959-5501	谷島昇	ものづくり	需要獲得	179
96	株式会社ごとう製革所	兵庫県たつの市	揖保町東用152番地1	0791-67-0551	後藤富男	ものづくり	需要獲得	266
97	毎味水産株式会社	愛知県西尾市	一色町坂田新田沖向103番地2	0563-72-8511	藤井崇悟	サービス	生産性向上	97
98	コネクテックジャパン株式会社	新潟県妙高市	工団町3-1	025-572-7020	平田勝則	ものづくり	生産性向上	72
99	小橋工業株式会社	岡山県岡山市	南区中畦684	086-298-3111	小橋正次郎	ものづくり	生産性向上	121
100	株式会社小林製作所	石川県白山市	水島町429-17	076-277-7330	小林靖典	ものづくり	生産性向上	76
101	ごはん屋さくら	静岡県静岡市	清水区由比今宿1027-8	054-376-0101	伊藤忠雅	サービス	生産性向上	88
102	小町酒造株式会社	岐阜県各務原市	蘇原伊吹町2-15	058-382-0077	金武直歩	ものづくり	需要獲得	222
サ行								
103	株式会社サーテック	東京都青梅市	根ヶ布1-380	0428-22-5111	柳内剛	ものづくり	生産性向上	65
104	株式会社サイコー	宮城県仙台市	宮城野区岩切分台1-8-4	022-255-3150	齋藤孝志	サービス	需要獲得	172
105	株式会社斉藤光学製作所	秋田県仙北郡美郷町	本堂城回字若林118-3	018-785-3300	齊藤伸英	ものづくり	需要獲得	177

事業者一覧表（索引）

はばたく中小企業・小規模事業者300社 掲載企業一覧表（あいうえお順索引）

番号	社名	所在地	住所	電話番号	代表者	分野1	分野2	頁
106	斎藤樹脂工業株式会社	神奈川県綾瀬市	吉岡507-3	046-776-4181	斉藤隆訓	ものづくり	生産性向上	70
107	株式会社栄組	岩手県遠野市	上郷町板沢9-19-1	0198-65-3032	佐々木栄洋	サービス	生産性向上	40
108	阪部工業株式会社	愛知県西尾市	中畑町水荒井8番地	056-359-8181	阪部幸司	ものづくり	生産性向上	99
109	坂元醸造株式会社	鹿児島県鹿児島市	上之園町21番地15	099-258-1777	坂元昭宏	ものづくり	需要獲得	303
110	株式会社佐藤製作所	三重県桑名市	大字東方字掛越2820番地	0594-22-1829	佐藤敦	ものづくり	需要獲得	239
111	佐藤木材工業株式会社	北海道紋別市	上渚滑4丁目1番地	0158-25-2031	佐藤教誘	ものづくり	生産性向上	35
112	サヌキ畜産フーズ株式会社	香川県三豊市	詫間町詫間2112-140	0875-83-6262	増田浩	ものづくり	生産性向上	125
113	山陰松島遊覧株式会社	鳥取県岩美郡岩美町	大谷2182-12	0857-73-1212	川口博樹	サービス	需要獲得	270
114	株式会社三栄金属製作所	大阪府大阪市	生野区中川東1-8-19	06-6754-7682	文敬祚（山下裕司）	ものづくり	担い手確保	336
115	三恵工業株式会社	三重県鈴鹿市	上野町字助町48番地	059-378-1243	岡田篤典	ものづくり	生産性向上	108
116	株式会社三幸工務店	岡山県岡山市	北区津高140番地の3	086-251-3373	村社勝	ものづくり	需要獲得	272
117	三幸理研工業株式会社	愛知県豊明市	栄町南舘114-2	0562-97-5141	三枝義典	ものづくり	生産性向上	105
118	サンコー精産株式会社	静岡県牧之原市	白井622-14	0548-54-2411	山本晃	ものづくり	担い手確保	327
119	株式会社三真	東京都江戸川区	本一色1-20-10ハビテーションワコー101	03-3655-0034	加藤久幸	ものづくり	需要獲得	198
120	株式会社サンテック	香川県綾歌郡綾川町	陶1004-35	087-876-1600	青木大海	ものづくり	需要獲得	280
121	サンユー技研工業株式会社	三重県津市	久居一色町265	059-254-2200	梅本大輔	ものづくり	担い手確保	331
122	サンライズ産業株式会社	青森県弘前市	大字一町田字早稲田863	0172-82-3316	工藤博文	サービス	生産性向上	39
123	ジー・オー・ピー株式会社	東京都渋谷区	広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア13階	03-5534-1800	千田豊治	ものづくり	生産性向上	62
124	Jトップ株式会社	大阪府和泉市	箕形町4丁目5番44号	0725-51-3860	仲喜治一	ものづくり	需要獲得	256
125	株式会社JEMS	茨城県つくば市	東新井31-13	029-863-7215	須永弘毅	サービス	需要獲得	180
126	株式会社静岡鐵工所	静岡県静岡市	葵区産女1022	054-278-3451	野賀美作	ものづくり	生産性向上	89
127	静パック有限会社	静岡県静岡市	駿河区中原713	054-281-9092	佐野哲一	ものづくり	需要獲得	226
128	島崎熱処理株式会社	千葉県習志野市	東習志野6-21-6	047-473-0121	嶋崎利行	ものづくり	担い手確保	318
129	株式会社シマブン	福岡県久留米市	中央町28番地7	0942-89-5235	島信英	ものづくり	需要獲得	287
130	下西技研工業株式会社	大阪府東大阪市	島之内2-4-16	0729-66-6131	下西孝	ものづくり	需要獲得	258
131	ジャパンキャビア株式会社	宮崎県宮崎市	瓜生野6388-7	0985-86-8686	坂元基雄	ものづくり	需要獲得	301
132	株式会社シュタール	長野県諏訪市	大字豊田123-5	0266-57-7455	林直也	ものづくり	担い手確保	323
133	株式会社正田製作所	群馬県桐生市	新里町板橋320-1	0277-74-2421	正田勝啓	ものづくり	生産性向上	52
134	株式会社庄内クリエート工業	山形県鶴岡市	下清水字内田元72-40	0235-24-7922	小田治一	ものづくり	需要獲得	178
135	株式会社しらた	福島県いわき市	平豊間字榎町110	0246-98-6868	白田裕一	サービス	担い手確保	317
136	株式会社シラヤマ	東京都江戸川区	平井2丁目1番8号	03-3682-8355	白山良一	ものづくり	生産性向上	64
137	新栄合板工業株式会社	熊本県水俣市	袋赤海岸50番地	0966-63-2141	古澤憲司	ものづくり	需要獲得	297
138	株式会社信栄食品	長野県松本市	並柳4丁目1番37号	0263-26-6261	神倉藤男	ものづくり	需要獲得	217
139	株式会社スーパー・コート	大阪府大阪市	西区西本町1-7-7	06-6543-2291	山本健策	サービス	生産性向上	110
140	杉山フルーツ	静岡県富士市	吉原2-4-3	0545-52-1458	杉山清	サービス	需要獲得	229
141	株式会社鈴木化学工業所	愛知県額田郡幸田町	大字六栗字左右作2番地1	0564-64-1058	小幡和史	ものづくり	生産性向上	107

はばたく中小企業・小規模事業者300社 掲載企業一覧表（あいうえお順索引）

番号	社名	所在地	住所	電話番号	代表者	分野1	分野2	頁
142	鈴木工業株式会社	群馬県太田市	西新町135-8	0276-33-9533	鈴木翔太	ものづくり	生産性向上	53
143	株式会社スタッフ	大阪府門真市	新橋町1-4	06-6906-6484	小山栄一	ものづくり	需要獲得	257
144	ストラシステム株式会社	埼玉県朝霞市	北原2-13-6	048-473-0180	古市良也	ものづくり	需要獲得	185
145	株式会社隅田屋商店	東京都墨田区	東駒形1-6-1	03-3626-1135	片山真一	ものづくり	需要獲得	195
146	株式会社せき	茨城県ひたちなか市	平磯町18番地	029-263-3331	関孝範	ものづくり	生産性向上	47
147	世良鉄工株式会社	北海道上川郡当麻町	3条西4丁目	0166-84-3111	三上正幸	ものづくり	生産性向上	37
148	株式会社セルリアンブルー	沖縄県那覇市	曙2-24-13曙沖商ビル6-A	098-941-6828	砂川盛潤	サービス	需要獲得	306
149	先生精機株式会社	静岡県静岡市	清水区宍原622-7	054-394-0777	先生武司	ものづくり	生産性向上	87
150	セントパーツ株式会社	岐阜県羽島市	正木町不破一色字西口460番地	058-394-0051	種谷謙一	サービス	需要獲得	221
タ行								
151	第一金属株式会社	北海道室蘭市	東町3丁目1番5号	0143-44-5195	佐藤公哉	ものづくり	生産性向上	34
152	タイガー産業株式会社	沖縄県うるま市	洲崎12-11	098-982-1888	島袋盛義	ものづくり	生産性向上	145
153	合名会社大木代吉本店	福島県西白河郡矢吹町	本町9番地	0248-42-2161	大木雄太	ものづくり	生産性向上	43
154	株式会社大協製作所	神奈川県横浜市	保土ヶ谷区今井町1125	045-351-1121	栗原敏郎	ものづくり	担い手確保	321
155	大国段ボール工業株式会社	福岡県行橋市	今井1133番地	0930-23-0050	寺澤一光	ものづくり	需要獲得	289
156	大徳醤油株式会社	兵庫県養父市	十二所930-3	079-663-4008	浄慶拓志	サービス	需要獲得	264
157	太平電気株式会社	北海道室蘭市	御前水町1丁目6番30号	0143-23-1188	松見哲也	ものづくり	担い手確保	315
158	株式会社タイヨー	群馬県みどり市	大間々町浅原1458	0277-72-3860	川合義一	ものづくり	生産性向上	54
159	大和化学工業株式会社	奈良県北葛城郡広陵町	南郷986番地1	0745-54-5121	東田誠次	ものづくり	生産性向上	120
160	タカノクリエイト株式会社	石川県加賀市	宇谷町タ1番地5	0761-76-0070	小西広大	ものづくり	需要獲得	212
161	株式会社高嶺木材	宮崎県日南市	大字伊比井173-1	0987-29-1234	高嶺清二	ものづくり	生産性向上	143
162	株式会社たから	青森県三戸郡田子町	大字茂市字佐内田15-3	0179-20-8550	寳田喜美男	ものづくり	需要獲得	167
163	株式会社武井工業所	茨城県石岡市	若松1-3-26	029-924-5200	武井厚	ものづくり	需要獲得	181
164	株式会社タケシタ	福岡県三潴郡大木町	大字大藪871	0944-33-2000	竹下義人	ものづくり	生産性向上	133
165	株式会社タスクマスター	山梨県甲州市	塩山上於曽1085-1	0553-33-8068	秋山一也	サービス	生産性向上	80
166	株式会社タック	岡山県備前市	吉永町南方1073番	0869-94-2069	瀧川信二	ものづくり	需要獲得	274
167	株式会社タッセイ	福井県福井市	河増町30-20	0776-31-1100	田中陽介	サービス	担い手確保	322
168	龍野コルク工業株式会社	兵庫県たつの市	龍野町島田321	0791-63-1301	片岡孝次	ものづくり	生産性向上	118
169	株式会社タツミ製作所	群馬県みどり市	大間々町大間々379-4	0277-73-5191	赤石康生	ものづくり	生産性向上	55
170	立尾電設株式会社	熊本県水俣市	初野75番地1	096-663-4336	永田士朗	サービス	担い手確保	348
171	立山化成株式会社	富山県射水市	大江1133	0766-55-3700	片口真	ものづくり	生産性向上	75
172	株式会社田中電気研究所	東京都世田谷区	経堂3-30-10	03-3425-2381	田中敏文	ものづくり	担い手確保	320
173	TANOTECH株式会社	神奈川県平塚市	宮の前1-4パーレン平塚ビル5F	0463-73-5490	三田村勉	サービス	需要獲得	201
174	タヤマスタジオ株式会社	岩手県盛岡市	中ノ橋通1丁目5番2号唐たけし寫場1階	019-691-9161	田山貴紘	ものづくり	需要獲得	169
175	株式会社だるま食品本舗	北海道函館市	西桔梗町589-216	0138-49-3569	工藤哲也	ものづくり	需要獲得	164
176	有限会社千田清掃	宮城県大崎市	古川狐塚字西田77番地	0229-27-3151	千田信良	サービス	需要獲得	174

はばたく中小企業・小規模事業者300社 掲載企業一覧表（あいうえお順索引）

番号	社名	所在地	住所	電話番号	代表者	分野1	分野2	頁
177	株式会社CHAMPION CORPORATION	大阪府東大阪市	横枕西3番28号	072-964-2511	水谷昌晃	ものづくり	担い手確保	341
178	長工醤油味噌協同組合	長崎県長崎市	西坂町2-7	0957-53-4678	久保田泰雄	ものづくり	需要獲得	294
179	通潤酒造株式会社	熊本県上益城郡山都町	浜町54	096-772-1177	山下泰雄	サービス	需要獲得	299
180	株式会社辻利茶舗	福岡県北九州市	小倉北区魚町3-2-19	093-521-6514	辻史郎	サービス	需要獲得	283
181	ツルヤマテクノス株式会社	千葉県市原市	青柳北2丁目3番地の1	0436-21-6522	鶴山孝行	ものづくり	需要獲得	191
182	株式会社ティー・エム・ピー	茨城県日立市	大和田町645	0294-52-6981	高橋一雄	ものづくり	生産性向上	44
183	有限会社TGテクニカ	新潟県燕市	小関字江東1414番地1	0256-61-6215	富樫克二	ものづくり	需要獲得	205
184	株式会社テクリコ	大阪府大阪市	北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル23階	06-6343-8450	杉山崇	サービス	生産性向上	111
185	株式会社寺子屋	京都府京都市	右京区西京極豆田町7番地	075-325-3535	海藏講平	サービス	需要獲得	244
186	テラル株式会社	広島県福山市	御幸町森脇230番地	084-955-1111	菅田博文	ものづくり	需要獲得	277
187	株式会社天彦産業	大阪府大阪市	住之江区南港南5-5-26	06-6613-2361	樋口友夫	サービス	需要獲得	249
188	東亜工業株式会社	静岡県浜松市	北区三方原町260-1	053-436-2101	請井正	ものづくり	需要獲得	227
189	東工・バレックス株式会社	東京都江戸川区	松島4-2-17	03-3655-5161	横山達也	ものづくり	需要獲得	197
190	株式会社東馬	佐賀県神埼市	千代田町直鳥1738番地	0952-44-5888	東島眞介	ものづくり	生産性向上	136
191	東洋レヂン株式会社	静岡県富士市	厚原2104-1	0545-71-2023	井出茂昭	ものづくり	生産性向上	90
192	株式会社東横エルメス	神奈川県海老名市	東柏ヶ谷5-15-18	046-233-7744	宮川勝洋	ものづくり	需要獲得	203
193	株式会社東和コーポレーション	福岡県久留米市	津福本町227	0942-32-8355	渡辺聡	ものづくり	需要獲得	286
194	トーエイ株式会社	愛知県知多郡東浦町	大字藤江字ヤンチャ28番地の1	0562-83-8911	今津真治	サービス	担い手確保	330
195	株式会社トーエイ	広島県庄原市	東城町川東1172	0847-72-4111	名越圭佑	サービス	生産性向上	123
196	株式会社特殊高所技術	京都府京都市	南区吉祥院三ノ宮町1	075-574-7077	和田聖司	サービス	担い手確保	333
197	株式会社トップウォーターシステムズ	東京都大田区	大森西5-27-15 梅森プラットフォーム内	03-6715-1902	武田龍太郎	ものづくり	需要獲得	196
198	合同会社とびしま	山形県酒田市	飛島字勝浦乙132-19	0234-96-3800	本間当	サービス	担い手確保	316
199	トマト工業株式会社	岐阜県関市	富之保3861-1	0575-49-3648	馬渕敦史	ものづくり	生産性向上	85
200	豊岡エンジニアリング株式会社	愛知県岡崎市	上青野町字中屋敷123番地	0564-43-5551	松井俊介	ものづくり	需要獲得	234
201	株式会社ドングルズ	岐阜県岐阜市	敷島町6-9-3-2 Primrose2F	058-201-5088	松岡慎也	サービス	担い手確保	324
ナ行								
202	株式会社ナールスコーポレーション	京都府京都市	西京区御陵大原1-39 京大桂ベンチャープラザ2110	075-748-9524	川崎元士	ものづくり	需要獲得	245
203	株式会社ナイキ	大阪府大阪市	中央区南本町4丁目5-7	06-6244-9824	内記政春	ものづくり	生産性向上	113
204	株式会社中島ターレット	福岡県遠賀郡岡垣町	大字戸切379番地の1	093-283-3030	中嶋英二郎	ものづくり	生産性向上	132
205	株式会社ナカニ	大阪府堺市	中区毛穴町338-6	072-271-1294	中尾雄二	サービス	担い手確保	335
206	ナチュラルクリーン株式会社	千葉県君津市	外箕輪2-10-1	0439-57-2611	山田幸雄	サービス	生産性向上	57
207	株式会社なにわ花いちば	大阪府大阪市	鶴見区茨田大宮2-7-70	06-6914-2300	奥田芳彦	サービス	需要獲得	250
208	株式会社ナレロー	岩手県盛岡市	中央通3丁目1－2	019-656-1706	瀬戸山光宏	サービス	需要獲得	168
209	仁尾興産株式会社	香川県三豊市	仁尾町仁尾辛1	087-582-3456	塩田健一	ものづくり	担い手確保	345
210	株式会社西浦化学	愛知県蒲群市	浜町13番地3	053-367-7171	牧原邦松	ものづくり	生産性向上	100
211	株式会社西原商会	鹿児島県鹿児島市	与次郎一丁目10-21	099-250-8001	西原一将	サービス	需要獲得	302

はばたく中小企業・小規模事業者300社 掲載企業一覧表（あいうえお順索引）

番号	社名	所在地	住所	電話番号	代表者	分野1	分野2	頁
212	日興食品株式会社	佐賀県佐賀市	大和町大字尼寺1369	0952-62-2151	上野嘉彦	ものづくり	生産性向上	134
213	株式会社日邦バルブ	長野県松本市	笹賀3046番地	0263-58-2705	菅原博	ものづくり	需要獲得	218
214	日本フォレスト株式会社	大分県日田市	諸留町2813-22	0973-26-0750	森山和浩	サービス	生産性向上	141
215	株式会社NOTE	福岡県飯塚市	新飯塚21-26 ASビル3F	0948-52-3244	桑野健太郎	サービス	担い手確保	346
216	能勢鋼材株式会社	大阪府大阪市	旭区高殿1-2-25	06-6922-7631	能勢孝一	サービス	需要獲得	247
ハ行								
217	株式会社パール技研	千葉県船橋市	旭町2-8-31	047-438-6648	小嶋大介	ものづくり	需要獲得	188
218	株式会社白山	石川県金沢市	鞍月2丁目2番地 石川県繊維会館1階	076-255-2875	米川達也	ものづくり	需要獲得	208
219	株式会社白惣	愛知県豊川市	牛久保町常盤69	0533-86-6026	岩瀬淳一郎	ものづくり	需要獲得	235
220	白馬観光開発株式会社	長野県北安曇郡白馬村	大字北城6329-1	0261-72-3150	和田寛	サービス	需要獲得	219
221	長谷金属株式会社	滋賀県愛知郡愛荘町	島川115番地	0749-42-6858	長谷佳幸	ものづくり	需要獲得	243
222	株式会社ハナノキ	愛知県北名古屋市	井瀬木井の元36番地	0568-22-3711	池山真一郎	サービス	需要獲得	232
223	ハリタ金属株式会社	富山県高岡市	福岡町本領1053-1	0766-64-3516	張田真	ものづくり	生産性向上	74
224	阪神機器株式会社	兵庫県神戸市	西区伊川谷町潤和字一ノ坪745番地	078-974-0037	山田隆一	ものづくり	需要獲得	259
225	株式会社パンテック	滋賀県大津市	瀬田4丁目5番8号	077-543-6625	黒木正明	サービス	需要獲得	240
226	株式会社ハンナ	奈良県奈良市	北永井町372番地	0742-63-8787	下村由加里	サービス	生産性向上	119
227	株式会社ピーエヌ機電	長崎県西彼杵郡時津町	西時津郷1000-135	095-882-5181	橋本進	ものづくり	生産性向上	138
228	有限会社POライフ	北海道札幌市	豊平区中の島2条12丁目1-21	011-595-7693	尾田裕彦	ものづくり	生産性向上	31
229	株式会社ヒット	東京都中央区	銀座7-14-14 GINZA7ビル	03-3543-7771	松丸敦之	サービス	生産性向上	58
230	株式会社ひでぴょん	岐阜県揖斐郡大野町	大字瀬古373番地5	0585-36-1344	田邉英彦	ものづくり	需要獲得	223
231	日の出屋製菓産業株式会社	富山県南砺市	田中411	0763-52-3011	川合声一	サービス	需要獲得	207
232	平金産業株式会社	静岡県静岡市	駿河区豊田2丁目9番17号	054-286-0288	長島十己知	ものづくり	需要獲得	225
233	株式会社廣野鐵工所	大阪府岸和田市	岸の丘町3丁目2番8号	072-479-1877	廣野幸誠	ものづくり	担い手確保	338
234	株式会社ファッションキャンディ	沖縄県宜野湾市	大山2-21-22	098-897-5194	城間敬光	ものづくり	需要獲得	308
235	笛木醤油株式会社	埼玉県比企郡川島町	上伊草660	049-297-0041	笛木正司	サービス	需要獲得	186
236	福井経編興業株式会社	福井県福井市	西開発3丁目519-3	0776-54-3602	髙木義秀	ものづくり	需要獲得	213
237	福寿産業株式会社	香川県三豊市	三野町下高瀬2135	0875-72-4433	浅野忠一	ものづくり	生産性向上	126
238	株式会社フクナガエンジニアリング	大阪府大阪市	城東区鴫野西5-13-30	06-6969-3647	福永政弘	サービス	需要獲得	248
239	福永紙工株式会社	東京都立川市	錦町6-10-4	042-523-1515	山田明良	サービス	需要獲得	199
240	藤田金属株式会社	大阪府八尾市	西弓削3-8	072-949-3221	藤田俊介	ものづくり	需要獲得	254
241	株式会社フューチャースピリッツ	京都府京都市	下京区中堂寺栗田町91番地 京都リサーチパーク9号館7階	075-326-3700	谷孝大	サービス	担い手確保	332
242	株式会社フンドーダイ五葉	熊本県熊本市	北区楠野町972	096-245-5222	山村脩	ものづくり	需要獲得	296
243	平安伸銅工業株式会社	大阪府大阪市	西区江戸堀1丁目22-17	06-6228-8986	竹内香予子	ものづくり	需要獲得	252
244	株式会社ペリテック	群馬県高崎市	片岡町1-17-2	027-328-6970	井澤年宏	ものづくり	生産性向上	51
245	ベルテクネ株式会社	福岡県糟屋郡須恵町	大字上須恵1495-1	092-932-4166	前田努	ものづくり	担い手確保	347
246	ペンギンシステム株式会社	茨城県つくば市	千現2-1-6 つくば研究支援センターCB10	029-846-6671	仁衡琢磨	サービス	生産性向上	46

はばたく中小企業・小規模事業者300社 掲載企業一覧表（あいうえお順索引）

番号	社名	所在地	住所	電話番号	代表者	分野1	分野2	頁
247	株式会社宝角合金製作所	兵庫県姫路市	飾磨区中島1345-2	079-234-4116	寶角勝利	ものづくり	生産性向上	115
248	株式会社ポーラスター	石川県白山市	木津町1613	076-276-2468	石野祐次	ものづくり	生産性向上	78
249	北陸製菓株式会社	石川県金沢市	押野2丁目290-1	076-243-1000	髙﨑憲親	ものづくり	需要獲得	209
250	有限会社北陸ベンディング	福井県鯖江市	舟枝町5-13-4	0778-54-0123	萩原勉	ものづくり	需要獲得	214
251	株式会社北菱	石川県小松市	長田町イ18	0761-21-3311	谷口直樹	ものづくり	需要獲得	210
252	株式会社本陣平野屋	岐阜県高山市	本町1-34	0577-34-1234	有巣秀司	サービス	担い手確保	325
マ行								
253	株式会社マキノ	東京都町田市	小山ヶ丘3-10	042-798-5611	牧野挙一郎	ものづくり	生産性向上	66
254	町田酒造株式会社	鹿児島県大島郡龍郷町	大勝3321番地	0997-62-5011	中村安久	ものづくり	需要獲得	305
255	株式会社マツオ	北海道滝川市	流通団地1-6-12	0125-23-1919	松尾吉洋	サービス	生産性向上	36
256	松浪硝子工業株式会社	大阪府岸和田市	八阪町2-1-10	072-422-4545	松浪明	ものづくり	需要獲得	253
257	松本ESテック株式会社	千葉県千葉市	花見川区幕張町2-7714	043-273-7174	松本晴代	ものづくり	需要獲得	187
258	松山油脂株式会社	東京都墨田区	東墨田2-17-8	03-3613-1334	松山剛己	ものづくり	需要獲得	193
259	株式会社マテックス	長崎県長崎市	田中町608番地73	095-838-6440	三田村信義	ものづくり	需要獲得	295
260	まねき食品株式会社	兵庫県姫路市	北条953	079-224-0255	竹田典高	サービス	需要獲得	260
261	マルカイチ水産株式会社	北海道紋別市	新港町2丁目11番地7	0158-24-1234	片山裕一	ものづくり	需要獲得	166
262	丸善工業株式会社	静岡県三島市	長伏155-8	055-977-2140	諏訪部行生	ものづくり	需要獲得	228
263	株式会社丸八テント商会	愛知県名古屋市	中区栄5-7-10	052-251-6731	佐藤均	ものづくり	担い手確保	328
264	丸彦製菓株式会社	栃木県日光市	芹沼1989-1	0288-31-1600	山田邦彦	ものづくり	需要獲得	183
265	株式会社丸山製作所	栃木県鹿沼市	茂呂828	0289-77-7377	丸山敏	ものづくり	生産性向上	50
266	三重化学工業株式会社	三重県松阪市	大口町262番地1	0598-51-2361	山川大輔	ものづくり	需要獲得	238
267	株式会社三鈴	滋賀県蒲生郡日野町	北脇1番地101（日野第二工場団地内）	0748-53-1631	鈴木雅也	ものづくり	需要獲得	241
268	合資会社光武酒造場	佐賀県鹿島市	浜町乙2421	0954-62-3033	光武博之	サービス	需要獲得	293
269	三星刃物株式会社	岐阜県関市	下有知5178番地	0575-22-2345	渡辺隆久	ものづくり	生産性向上	84
270	農事組合法人宮崎協業	茨城県結城市	小森807-1	0296-32-0391	大島寛	ものづくり	需要獲得	182
271	株式会社ミヤナガ	兵庫県三木市	福井2393番地	0794-82-8263	宮永淳	ものづくり	需要獲得	262
272	ムライケミカルパック株式会社	福岡県久留米市	藤山町696－5	0942-21-7667	村井正隆	ものづくり	生産性向上	129
273	村商株式会社	鹿児島県肝属郡肝付町	後田2566-2	0994-45-5098	新村順一郎	サービス	担い手確保	352
274	株式会社室岡林業	新潟県上越市	大字下荒浜393-1	025-543-6246	室岡大蔵	ものづくり	需要獲得	206
275	株式会社メイセイ・エンジニアリング	北海道室蘭市	中島町3丁目11-2	0143-43-8113	西潟勝	ものづくり	生産性向上	33
276	メークス株式会社	茨城県守谷市	中央4-10-9	0297-55-1611	森山雅明	ものづくり	生産性向上	49
277	メカトロ・アソシエーツ株式会社	石川県小松市	一針町ヌ57-1	0761-21-6166	酒井良明	ものづくり	需要獲得	211
278	株式会社メリータイムフーズ	東京都中央区	銀座2-10-6 山岸ビル	03-3545-2621	飯森正裕	サービス	需要獲得	192
ヤ行								
279	安田金属工業株式会社	大阪府大阪市	中央区南船場1丁目11番9号 長堀安田ビル4F	06-6262-0692	安田立明	ものづくり	担い手確保	334
280	安田塗装工業株式会社	愛知県安城市	根崎町西新切83-1	0566-92-7705	安田利久	ものづくり	生産性向上	104

はばたく中小企業・小規模事業者300社 掲載企業一覧表（あいうえお順索引）

番号	社名	所在地	住所	電話番号	代表者	分野1	分野2	頁
281	矢留工業株式会社	愛知県春日井市	上田楽町291番地	0568-31-8152	東海林昌仁	ものづくり	生産性向上	96
282	株式会社ヤナギハラメカックス	静岡県榛原郡吉田町	住吉1541	0548-32-1133	柳原一清	サービス	生産性向上	91
283	山口産業株式会社	東京都墨田区	東墨田3-11-10	03-3617-3868	山口明宏	ものづくり	需要獲得	194
284	有限会社山城屋	大分県由布市	湯布院町湯平309-1	097-786-2462	二宮謙児	サービス	需要獲得	300
285	ヤマトエスロン株式会社	大阪府八尾市	光町一丁目61番地	072-991-1261	松下俊治	ものづくり	需要獲得	255
286	協業組合ユニカラー	鹿児島県日置市	伊集院町郡2042-39	099-813-7213	岩重昌勝	ものづくり	生産性向上	144
287	合同会社よーそろ	広島県呉市	豊町御手洗259	090-4483-3141	井上明	サービス	需要獲得	276
ラ・ワ行								
288	株式会社ライン精工	岐阜県各務原市	前渡東町4丁目180番地	058-386-8161	長瀬徹	ものづくり	生産性向上	86
289	株式会社LASSIC	鳥取県鳥取市	南吉方3-201-3	0857-54-1070	若山幸司	サービス	担い手確保	343
290	有限会社ラピュタファーム	福岡県田川郡川崎町	大字安真木4408-11	0947-47-4000	杉本利雄	サービス	需要獲得	291
291	株式会社ラミーコーポレーション	大阪府大阪市	福島区福島6丁目4番11号	06-6453-4291	岸田洋平	ものづくり	需要獲得	251
292	株式会社リーピー	岐阜県岐阜市	香蘭3-7	058-215-0066	川口聡	サービス	生産性向上	83
293	株式会社リディアワークス	東京都墨田区	立川3-6-5-3F	03-6659-5215	小林史人	ものづくり	生産性向上	59
294	龍宮株式会社	福岡県うきは市	吉井町新治278	0943-75-3148	梯恒三	ものづくり	生産性向上	131
295	株式会社流通サービス	静岡県菊川市	倉沢340	0537-35-6868	服部吉明	ものづくり	需要獲得	231
296	菱高精機株式会社	高知県高岡郡中土佐町	上ノ加江2085番地2	088-954-0221	町田淳一郎	ものづくり	生産性向上	127
297	株式会社レアックス	北海道札幌市	東区北24条東17丁目1番12号	011-780-2222	成田昌幸	サービス	需要獲得	163
298	株式会社WORK SMILE LABO	岡山県岡山市	南区福浜町15-10	086-263-2113	石井聖博	サービス	担い手確保	344
299	和歌山マリーナシティ株式会社	和歌山県和歌山市	毛見1527	073-448-0310	田尻賀大	サービス	需要獲得	268
300	株式会社ワンデックス	愛知県春日井市	大泉寺町大池下443-145	0568-89-3355	南史朗	サービス	生産性向上	94

お問合せ先

はばたく2020
中小企業・小規模事業者300社

経済産業省		
団体名	部署	電話番号
中小企業庁	経営支援部 技術経営革新課	03-3501-1816
北海道経済産業局	産業部 産業振興課	011-709-1728
東北経済産業局	産業部 産業振興課	022-221-4906
関東経済産業局	産業部 産業振興課	048-600-0303
中部経済産業局	産業部 産業振興課	052-951-0520
近畿経済産業局	産業部 産業課	06-6966-6021
中国経済産業局	産業部 産業振興課	082-224-5638
四国経済産業局	産業部 産業振興課	087-811-8523
九州経済産業局	産業部 中小企業課	092-482-5447
沖縄総合事務局	経済産業部 地域経済課	098-866-1730

編集

中小企業庁

2020年6月発行
〒100-8912 東京都千代田区霞ヶ関1-3-1
電話 03(3501)1511
http://www.chusho.meti.go.jp/

中小企業庁

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。